

同盟 時事月報

號八第

行發日四十月九

卷八第

昭和
十九年

八月事項

最高戰爭指導會議設置

對中國儲銀四億信用供與成立

生鮮食料價格操作新構想

湖南作戰衡陽城占領

バルカン諸邦動搖・米英軍南佛上陸

☆時事月表 ☆時事文獻彙報

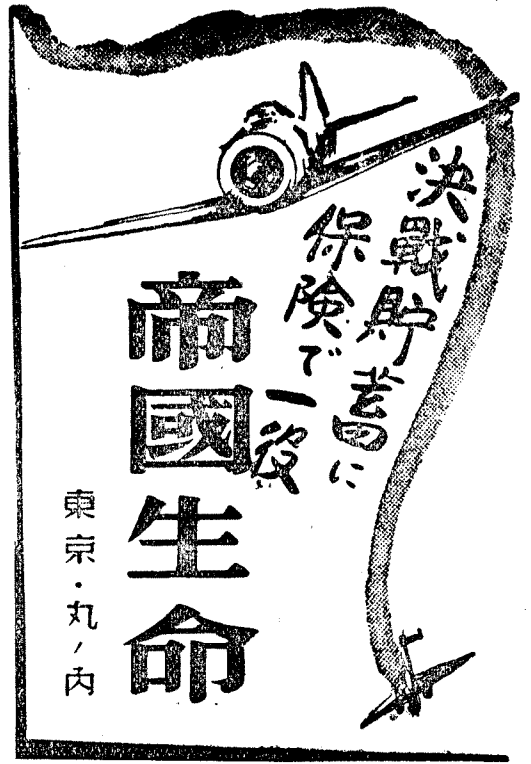
219號



日本火災海上保險

戰爭(火災・損壞)保險 取扱
戰爭死亡傷害保險

東京・日本橋



帝國生命

決戦貯蓄に
一役
保険で

東京・丸の内



王子製紙株式会社

資本金 參億圓

會長 井上憲一
社長 足立正

本社 東京都王子區王子町
營業所 東京都麴町區有樂町

東洋紡績株式会社

本社 大阪市北區堂島濱通ノ貳丁目

年九十和昭

月八

日一十三自至

月時間事

一録記外内るよに電盟同—

月間大觀
時事月表
世界戰況
國內要事
大東亞
世界情勢

月間大觀

人心一新、危局突破の重責を擔つて客月發足した小磯内閣は國民總武裝、軍需生産昂揚の二方面に全力を傾注することとなり、これが必要施策を着々具體化する共に八月二十三日新内閣初の地方長官會議を招集してその意圖の徹底を期したが、同會議に當り畏くも、天皇陛下には「戦局危急皇國の興廢繫つて今日に在り」と地方長官御激勵の御言葉賜つたのである。首相は内閣訓示を以て御言葉が地方下僚に至るまで徹底するやう時宜の措置をとつたが、政訓示にまつまでもなく、われ等一億只々恐懼の極みといふの外ない次第である。敵物量に如何に老犬を誇るとも物量には所詮限りがある。窮通無碍の意と智をもつてこれを打破し得ない道理はない筈である。なほ八月五日最高戰爭指導會議が新に設けられ統帥、國務の緊密協力の下に、水も洩さぬ戰爭指導方策が推進されることとなり、従つて、支那事變以來行はれてきた大本營、政府連絡會議は廢止となつた。

外に、この月の注目すべき事項としては、原議長の薨去に伴ふ鈴木貫太郎大將の樞府議長昇格、小林躋造大將の翼政總裁就任、地方長官大異動等の諸人事に、工場事業場管理令第三次適用、女子使用標準率決定、女子挺身勤勞令及び學徒勤勞令實施、大都市非常用主食緊急特別措置、生鮮食料價格操作の機動化、應徴士補給金増額等々がある。

戦局はさきのサイパン島失陥を契機として新たな段階に入つたが、敵米は太平洋方面では次期攻勢の飛躍臺たらしむるためマリアナ諸島基地化に全力を擧げ、大宮島、テナヤン、ロタの諸島から小笠原諸島に攻撃を反復し、同時に西部ニューギニア、モルツカス諸島方面からミンダナオ島バオに亘つて空襲の足を伸すに至つた。これに反し大陸方面では敵は更に湖南の要衝衡陽城を失ふなどが先制攻撃に全く反攻の出足を挫かれ、わづかに成都附近よりす

る南鮮、西日本、南滿等の空襲に大陸米軍不振の聲を轟轟しよとしてゐる。

歐洲戦局は反樞軸軍のノルマンデー戦線突破、南佛上陸によつて再び目まぐるしい動きをみせ、東西國境近くに敵を迎へたドイツの健闘が注目的となつてゐる。

かくて決戦の進展につれ世界政局また急を加へんとしてゐるが、大東亞新秩序の建設はその雜音にかゝはりなくひたすら進められてゐる。二十二日には日銀の中國儲銀に對する四億の信用供與成立が發表された。昨年を凌ぐといふ滿洲の豐作は新年度對日食糧供給に既に自信滿々たるものがある。ビョン首相辭職後の泰國を擔ふべき新内閣は一日アバウトン少佐によつて組閣された。新内閣は日泰親善強化の旗印を掲げ、非軍事々業を休止し、對戰準備の手配に遺憾なきを期してゐる。米國太平洋反攻の一大目標をもつてみられる比島でも内閣改造があつたが、これ又戰爭完遂を建前とすることいふまでもない。歐洲政局の動搖に關聯して最も歸趨を注目される佛印ではヴィシー政府の通告によりドクター總督の權限は軍事指揮權にも及ぶこととなり總督は佛印一切の獨裁權を掌握して佛印独自の運命を拓きうる立場に立つに至つた。大東亞諸邦がかくて自らの道を邁進しつゝあることは、その新秩序に對する確信と解放必成の意志の根強さにあると共にわが大東亞政策の成功を物語ることは米誌の證明に俟つまでもない。

大東亞の確固たる歩みにひきかへて、歐洲は小國の動搖に依然としてヨーロッパの致命的弱點を暴露してゐる。即ち戦局の深刻化と反樞軸陣の壓迫に、久しく日和見をつゞけてゐたトルコは遂に對獨斷交を敢てし、ルーマニヤまた戰火身にふりかゝるに及んで忽ち腰掛け、ブルガリヤ、フィンランド等々の動搖はいよいよ色濃くなつた。この間においてドイツは戰機を一舉に有利に轉回すべく所謂根こそぎ動員によつて戦力の凝集を圖りつゝ、不屈の闘志と滿々たる決勝の自信を漲らせてゐるが、小國の常なき向背がドイツの負擔となつたことは否定出来ないであらう。しかし、手足纏ひから開放され自らの戦ひを撰ぶ自由を得たドイツの活動こそ見ものである。



同盟時事月報

九月十四日
二一八號

目次

世界戦況

大東亞戦争

- ▲一 陸海軍七月中航空戦果.....六
- ▲週間戦況.....九
- ▲敵情情報.....九
- ▲本土空襲.....九
- ▲敵機九州山陰地方に來襲.....一〇
- ▲六十機内外白晝來襲.....二
- ▲二十機内外で再び來襲.....二
- ▲臺灣.....二
- ▲滿洲方面.....二
- ▲敵機二機鞍山に侵入.....二
- ▲支那方面.....二
- ▲三萬の米地上部隊既に入支.....二
- ▲【湖南作戦】.....三
- ▲皇軍運北占領.....三
- ▲衡陽を完全占領.....四
- ▲敵情情報.....四
- ▲重慶軍事委員發表戦況.....八
- ▲南支北上作戦.....九
- ▲航空戦.....九
- ▲北支.....三
- ▲中支.....三
- ▲麗水縣城を占領.....三
- ▲南支.....三
- ▲雷州半島に新行動.....三
- ▲東南アジア.....三

【ビルマ戦線】

- ▲緬甸方面戦況.....三
- ▲怒江方面.....三
- ▲ミイトキーナ地區.....三

印度方面

- ▲敵陣營の内幕暴露.....三
- ▲英軍の印緬作戦を攻撃.....三

濠洲方面

【ニューギニア】

- ▲敵飛行場猛爆.....三
- ▲敵航空機激化.....三

海上戦線

- ▲米海軍作戦水域.....三
- ▲【中部太平洋】.....三
- ▲父島、硫黄島.....三
- ▲サイパン.....三
- ▲マリアナ諸島.....三
- ▲中部太平洋に敵機頻り.....三
- ▲【南太平洋】.....三
- ▲皇軍勇士ガ島で活躍.....三
- ▲【南西太平洋】.....三
- ▲【印度洋】.....三

歐米戦争

獨軍公表戦況

- ▲東部戦線.....三
- ▲ワルソウ攻防戦.....三
- ▲ルーマニア地區.....三
- ▲南部戦線.....三
- ▲バルカン地區.....三

- ▲イタリヤ戦線.....三
- ▲南佛戦線.....三
- ▲佛南岸に上陸.....三
- ▲西部戦線.....三
- ▲北佛戦線.....三
- ▲侵攻軍指揮系統變更.....三
- ▲西部戦線展望.....三
- ▲西國境近くに新上陸.....三
- ▲ノルマンディー地區.....三
- ▲アヴランシュ廻廊.....三
- ▲パリ周邊.....三
- ▲パリ遂に陥つ.....三
- ▲ブルターニュ地區.....三
- ▲サン・マロー陥落.....三
- ▲流星彈爆撃.....三
- ▲航空戦.....三
- ▲海上戦線.....三
- ▲地中海.....三
- ▲大西洋.....三
- ▲セーヌ灣.....三
- ▲北方水域.....三

國內要事

政 治

- ▲【特 報】.....三
- ▲最高戦争指導會議設置.....三
- ▲戦局危急皇國の興廢.....三
- ▲かかつて今日に在り.....三
- ▲樞府正副議長更新.....三
- ▲政 府.....三
- ▲首相大詔に應へ奉る.....三
- ▲地方長官會議.....三
- ▲政務官制度を復活.....三
- ▲行政簡素化新措置.....三
- ▲官廳技術者動員令公布.....三
- ▲大東亞大藏兩省顧問陣強化.....三

- ▲官廳事項.....三
- ▲主要人事.....三
- ▲閣議決定事項.....三
- ▲【外 交】.....三
- ▲備銀行に四億圓信用供與.....三
- ▲原田公使等に對する.....三
- ▲米兵の暴行に抗議.....三
- ▲米の發行調査を依頼.....三
- ▲大東亞宣言の具現.....三
- ▲敵側も認む.....三
- ▲【軍 事】.....三
- ▲軍令部總長に及川大將.....三
- ▲陸大校長に田中大將.....三
- ▲主要人事.....三
- ▲感狀行賞.....三
- ▲貴衆兩院.....三
- ▲貴族院.....三
- ▲衆議院.....三
- ▲翼賛政治會.....三
- ▲翼政會總裁に小林大將.....三
- ▲翼政會新陣容決定.....三
- ▲翼政施策實施要綱.....三
- ▲食糧緊急對策要綱指示.....三
- ▲大政翼賛會.....三
- ▲副總裁に緒方國務相.....三
- ▲軍需食糧増産の緊急具體策.....三
- ▲小磯總裁、翼賛運動の.....三
- ▲分野明示.....三
- ▲翼壯團長を建川中將に委嘱.....三
- ▲興亞總本部首腦更迭.....三
- ▲外 地・地方.....三
- ▲地 方.....三
- ▲政治短信.....三

經 済

- ▲大消費都市の生鮮食料品.....三
- ▲公定價を是正.....三
- ▲【財 政】.....三
- ▲戦災時租稅對策法人.....三
- ▲にも擴張.....三
- ▲第二豫備金支出.....三
- ▲二十年度地方豫算編成方針.....三
- ▲金 融.....三
- ▲資金調整法の運用方針.....三
- ▲に新構想.....三
- ▲福券規則公布.....三
- ▲工 業.....三
- ▲一 般.....三
- ▲科學技術審議會答申.....三
- ▲機械金屬.....三
- ▲第三次管理工場事業場指定.....三
- ▲決戦生産集團を結成.....三
- ▲織 維.....三
- ▲電 力.....三
- ▲農 業.....三
- ▲麥類供出確保に特例.....三
- ▲勞 務.....三
- ▲男子従業者の配置規正決定.....三
- ▲學徒勤勞令公布.....三
- ▲女子養身隊勤勞令公布.....三
- ▲食糧増産勤勞學徒措置.....三
- ▲要綱決定.....三
- ▲工場勤勞者配置轉換.....三
- ▲要綱決定.....三
- ▲配 給.....三
- ▲大都市食生活確保に.....三
- ▲特別措置實施.....三
- ▲八主要地方食糧營團に.....三
- ▲價格平衡資金設定.....三
- ▲運輸・交通.....三
- ▲應急運輸措置決定.....三
- ▲會社・團體.....三

- ▲【會 社】.....三
- ▲應急運輸措置決定.....三
- ▲會社・團體.....三

時事月表

(昭和十九年九月)

國內

- 一 原田公使等に對する米兵の暴行に嚴重抗議 △新内閣第一次地方長官異動發表 △齋藤彌平太中將補拓總裁被仰付 △第三次七回大東亞戰爭死歿者行賞(海軍二十一回)發表
- 二 及川古志郎大將軍令部總長に親補 △地方部長級大異動發表
- 三
- 四 「一億總武裝」を閣議決定 △田中靜壹大將陸軍大學校長に親補 △管理工場第三次指定發表 △船舶増積に獎勵金交付發表 △關東州に價格平衡金庫設置
- 五 新に最高戰爭指導會議設置、從來の大本營政府連絡會議は廢止 △小林躋造海軍大將翼政會總裁に就任
- 六 臺灣戰場態勢整備要綱決定
- 七 原樞密院議長薨去 △樟腦、樟腦油増産對策要綱發表
- 八 小磯首相政府の決意を放送 △男子從業者の配置規正に關する事件、學徒勤勞令、女子挺身勤勞令等閣議決定 △米の死屍冒賣事件に關しスペイン國に真相調査方依頼 △關門第二隧道開通
- 九 緒方國務相翼政會副總裁を兼任 △調査研究事業令公布施行
- 一〇 鈴木貞太郎大將樞府議長に、清水澄氏同副議長に親任
- 二 翼政會小林總裁推戴總會 △翼政會中央協力會議意見書五十二件を上通
- 三 農商省關係許可認可等戰時特例外十五勅令の改正公布實施 △與近總本部水野總理、宮田同本部長、後藤翼壯團長辭任
- 三 翼政會對政府緊急施策要望決定 △控訴院長、檢事長協議會
- 二 天皇陛下、航空機増産に御言葉を賜ふ

大東亞

- 一 大宮島明石街北方地區に戰線縮小奮戰中、ロタ島守備隊敵の上陸を阻止—大本營發表 △タイ國クアン・アバイウオン内閣成立 △ビルマ獨立一周年記念式典舉行並に大ビルマ聯盟結成
- 二 華北報道協會創立 △ビルマ特別調査團歸國
- 三 我軍ミイトキーナ自主的撤退完了
- 四 衡陽總攻撃開始 △ジャワ勞務局設置
- 五 小笠原諸島來襲の敵機動部隊擊退 △雷州半島廉江完全占領
- 六 比島ダバオに敵機來襲(七日にも)
- 七 國府鄉村建設實施委員會設置 △ジャワ本年度第二回經濟部長會議開
- 八 衡陽完全攻略成る
- 九 セレベス帆船建造對策會議
- 一〇 ビルマ銀行協會設立
- 二 衡陽攻略戰果—俘虜、第十軍長先方營以下一萬三千三百、敵砲四千百以上、鹵獲品各種火砲百一門—大本營發表 △南鮮九州、山陰に敵機來襲
- 三 ビルマ方面戰況—インパール、コヒマ方面作戰部隊、八月下旬國境近く戰線整理、次期作戰準備中—大本營發表 △ジャワ第四回中央參議院開(十六日迄)
- 三
- 四 湖南方面綜合戰果—五月廿七日作戰開始以來八月八日迄、我方收容敵屍六萬六千、俘虜一萬七千、飛行機擊墜破炎上八百六十九機我方損害五千三百四十三名—大本營發表

世界

- 一 ファインランド大統領更迭—マンネルハイム元帥選出 △ケルン元比島大統領米國で死亡 △獨軍ピサ撤收
- 二 土、對獨斷交 △英、流星彈の被害家屋破壊八十一萬戶、死傷一萬八千と發表
- 三 獨、人間魚雷活躍、北佛シーヌ灣頭で米英艦船七隻を擊沈
- 四 獨、丁通商協定調印 △獨軍フィンツエ市撤收公表
- 五 米軍、ブレストに到達
- 六 コロンビア、ヴェネズエラ兩國、對アルゼンチン外交關係斷絶發表
- 七 米英石油協定成立 △フィンランド新内閣成立、外相エンケル氏組閣完了
- 八 獨、伊戰線に於ける俘虜虐殺につき米に抗議 △獨軍東プロシヤ國境で猛反擊
- 九 獨軍モルタン奪回 △米軍モンフォール到達
- 一〇 獨軍アルノ(伊戰線)撤收公表 △獨軍ルン市奪回
- 三 スロヴァキア、全土に戒嚴令を布告 △獨軍アレスタ港守備隊敵の降伏勸告を一蹴
- 三 獨軍、サン・マロ確保
- 四 反樞軸軍南佛ボルム灣上陸企圖失敗 △獨軍東プロシヤ國境東南二十八軒の要衝オソゾイエツ撤收

一五 小機首相臨時議會召集內奏 △國內警備態勢強化方策閣議決定
△帝都綜合配給實施
一六 臨時閣議應急運輸措置要綱決定 △建川美次中將翼壯團長に就任

一七 機械修理實施要綱決定

一八 重光外相兼大東亞相「わが大東亞政策」放送

一九 翼贊政治會新陣容發表 △麥供出に奨勵金

二〇 小機内閣初の地方長官會議、一同參内異例の御言葉を賜ふ △官廳技術者動員令公布
二一 理科系學徒の一部を研究員として勤勞動員除外の件發表

二二 臨時議會召集閣議決定 △政務官制度復活閣議決定 △青木、結城、安岡三氏大東亞省顧問に就任 △日銀 儲備銀行に四億圓の信用供與

二三 御垂示奉體に關し内閣訓示發表 △司法長官會同、松坂法相並に中野檢事總長訓示 △青木前大東亞相大藏省顧問に就任 △小林翼政會總裁貴族院議員に勅選

二四 石炭勞務確保のための工場勤勞者配屬轉換實施要綱決定 △官廳の日曜出勤を月二回に改む

二五 侍從長に藤田尚德大將、明治神宮宮司に鷹司信輔公發令 △生鮮食品價格特別措置決定
二六 臨時議會召集集約書公布

二七 臺灣同胞徵兵制實施—二十年度より徵集

二八 セレベス海軍々政區に事業査察制實施

二九 我皇軍勇士、なほガダルカナル島に残存、奮戰を敵側報道

三〇 支那派遣軍、作戰目的闡明 △タイ新内閣初議會開催

三一 敵八十機、九州、中國西部に來襲、其二十三機を擊墜 △トロキナの我部隊勇戰新上陸の敵を擊退 △佛政府ドクイ佛印總督に戰時獨裁權附與

三二 北九州、中國西部に敵二十機内外連續來襲

三三 我軍金華南方に新作戰開始

三四 ハルマヘラ島でB24二四機を擊破 △ジャワ住民經濟局新設 △比島内閣改造發表

三五 敵六機セレベス島メナドに來襲 △比島全島七管區制發表

三六 麗水完全占領 △滿洲鞍山、上海に敵機來襲 △我航空部隊ニユーギニア西北岸ミデルベルグを夜襲、敵機十機以上炎上

三七 我航空部隊、梁山、恩施、柳州爆撃 △國民民衆政治指導要綱可決 △華北蒙疆交易會議終了

三八 我航空部隊、桂林飛行場を夜襲、二十一機を擊破炎上 △比島全國公共保安諮問委員會創設
三九 廣東重慶系財産移管

四〇 臺灣に敵機十數機來襲、其四機を擊墜 △蒙古軍兵務部新設發表

四一 反樞軸軍、南佛ツローン、カンヌ間數個地點に上陸

四二 米、アルゼンチン資金凍結 △獨ワルソの暴動鎮壓

四三 反樞軸軍、カンヌ市占據 △サン・マロ陥落

四四 米軍、オルレアン占領 △反樞軸軍ツローン西方上陸失敗

四五 獨、軍需關係緊急令を公布 △赤軍ワルソ新攻勢開始 △米軍先鋒バリ西方セーヌ河畔に到達

四六 ヴイシー政府、ベルフォールに移轉 △獨軍、アルジャンタン轉進發表

四七 米英ソ三國會談ワシントンに開會 △米軍先鋒、グエルサイユ到達 △獨軍バリに戒嚴令布告

四八 瑞典、獨逸向船舶の保險廢止 △米軍ビスケイ灣岸に小部隊を揚陸 △佛叛軍、ツローンに突入

四九 羅、對ソ抗戰停止 △羅内閣總辭職

五〇 羅、國粹派國民政府を結成、戰爭繼續を宣言 △赤軍ダニエウ河口に進出命令 △赤軍ダニエウ河口に進出

五一 反樞軸軍バリ市内に突入 △獨羅兩軍アカレストで市街戰

五二 西、土兩國、對佛斷交發表 △勃、對ソ中立を通告 △反樞軸軍ランスに到達

五三 赤軍ガラツに進出 △反樞軸軍、伊獨國境附近に到達

五四 佛軍、スロバキヤ進駐開始 △獨軍アカレスト市包圍 △勃、米英に休戰申入れ

五五 獨軍バリ陥落發表 △ド・ゴール、佛臨時政權を組織、大統領に就任

五六 佛新内閣、抗戰繼續の決意闡明 △赤軍プロエスチ市に到達 △獨軍ルアン市撤收公表 獨軍ランス撤收

五七 スロヴァキヤの叛亂鎮定 △獨軍、グエルダン、アマリア撤收 △獨軍リヨン北方に離脫

世界戦況

大東平戦争

陸海軍七月中航空戦果

撃破炎上一千廿機
大本營發表【昭和十九年八月二十五日十五時三十分】

帝國陸海軍部隊の七月中に於ける敵航空部隊に對する進攻及遊撃作戰の綜合戦果次の如し
一、敵に與へたる損害
南太平洋方面 撃破八十一機、撃破六十機
中部太平洋方面 撃破百五十四機、撃破百十二機
北太平洋方面 撃破三機、撃破二機
支那方面 撃破八十機(内不確實十七機)炎上又は撃破四百七十五機
緬甸及印度洋方面 撃破十九機、撃破四十四機
合計一千三十機
二、我方の損害
自爆未歸還三十四機、地上に於ける損害百五機
合計百三十九機
戦闘經過【十二日】愈々熾烈化する敵の進攻企圖に伴ひ大東亞各戦域に

おける航空戦の様相もまた激烈の一途を辿り、敵米英の各戦場に動員する航空兵力は頗る増大し、七月中における來襲機数は六月中の約三萬二千機に對し、三萬六千五百機となり四千五百機の激増振りを示し敵が物量を唯一の恃みとし特に作戦遂行に當り航空作戰に依存する熱度の益々大なるものあることを明示してゐるこれに對し我が航空部隊は進攻作戰に、或は遊撃戰において寡兵克く善謀勇戰、好機を捕捉して敵を撃滅するの赫々たる戦果を挙げ、七月中の撃破炎上数は六月の一千四百六十餘に比し四百三十機の減少を見せてゐるが、五月中の戦果九百八機に比すれば、依然百二十機餘増加の上昇線を示し、特に注目すべきは、我方の損害が、六月の三百六十九機に對し、七月は百三十九機で、二百三十機の著しき減少を示してゐること満

に伴ひ、その数は約一萬五千に達し六月に比し約七百機餘りを増加し、我がマリアナ群島を繞る敵の攻勢が如何に熾烈であるかが示されてゐるまた支那の三千六百機ビスマルの五千五百機の來襲振りに見ても、如何に敵が優勢なる航空兵力を使用してゐるかが明らかに判る、特に支那方面においては、我が航空部隊は、屢次にわたる、桂林、柳州等の在支米空軍の前進基地を反復爆撃して、連日これに痛撃を與へ、七月中においては約五百五十五機の敵機を撃滅し、敵空軍に致命的打撃を與へてゐるが、印支空路をもつてする敵の補給は、豫想以上の量に上る模様で、その勢ひは侮り難いものがある、而して支那戦線における敵のこの動向並に太平洋戦局の重大化を睨み合せ

の時、今後の支那作戰のもつ意義を極めて重大なものがある、我が湖南作戰によつて、東南支那における前線基地を覆滅された在支米空軍は六月に引續き、七月、八月と三度九州地區に來襲し、更にこの間鞍山、奉天等を空襲したことは、敵の西北地區よりする新たな空襲企圖を益々明らかにせるもので、北太平洋方面よりする我が本土空襲の蠢動と相俟つて、今後警戒を要する
敵來襲機數表
(六月) (七月)
州 二十數機 十數機
州 〇 〇
方 八〇 三十數機
那 一、九六六 三、〇〇〇
印 二四 一〇六
合 計 三、〇四二 三、〇〇〇

撃し來る敵第二十軍に對し目下痛打を加へてゐる、更に安仁南方地區に對しては第三十七軍の主力及び第二十軍、第四十四軍の各一部を捕捉、撃破したのち敗敵に尾して南下中で、未陽正面の敵は七月二十八日頃より反攻や活潑化して來たが、これに對しては衡陽救援のため出撃せる李玉堂の指揮する第百軍、第七十九軍、第六十二軍を衡陽周邊乃至五十キロの線において捕捉撃破中である、この間防衛に對する我が攻撃は極めて順調に進捗中、南支方面の我が部隊は敵第七戦區軍に痛撃を加へつつ進撃態勢を強化しつつある
△航空作戰 我が航空部隊はさきより占領した長沙、湘潭、衡陽各飛行場を前進基地として地上戦間に協力する一方、桂林、柳州、芷江、梧州、零陵などを反復襲撃し、在支米空軍撃滅戰を續行すると共に、粵漢線以東地區の敵航空基地使用を封殺してゐる、七月下旬における航空部隊關係のみで收めた米空軍に對する重要戦果は撃破二十八機(内不確實四機)炎上二百二十二機、撃破七十九機、計二百二十九機、我が方損害大破以上二十六機、七月一ヶ月間の綜合戦果撃破炎上五百三十九機である、また八月一日には桂林において五十機柳州七機、芷江十六機、二日安仁で六機をそれぞれ撃破炎上せしめた、七月下旬に於ける敵機來襲は百九十回延千五百五十二機である、在支米空軍に對しては以上の如く連日痛撃を加へてゐる、印支空路をもつてする敵の補給は豫想以上に上つてゐる模様でこれに使用してゐる飛行機数は毎日百五十機輸送量一ヶ月一萬八千

ブルーゲンビル 九〇〇
ビスマルク 二、七八一
ニューギニア 七、六四二
パングダ海 五、五三三
印度洋 三、〇四二
合 計 三、〇四二

七月廿九日
八月四日
△北方方面 七月廿九日夜一機、北千島に來襲せるのみであるが、西部アリューシャン方面の敵海上部隊は敵第七戦區軍に痛撃を加へ

△滿洲方面 去る七月廿九日在支米空軍は主としてB29をもつて大連、奉天鞍山地區に來襲したが我が制空部隊の果敢な遊撃により工場地帯の一部を爆撃したのみで遁走した、また八月四日にはP38數機來襲して鞍山、本溪湖、大連地區に侵入を企圖したが我が制空陣に阻まれなすところなく遁走した、我が方被害なし、然し戦闘機をもつて鞍山地區まで出撃し來る敵の戦意と戦法に對しては將來戒心を要する
△支那方面 地上作戰 湖南方面においては衡陽市街を四圍より完全に包圍猛攻を加へると共に引續きこれが救援の爲同地周邊に蟄集する第九、第九兩戰區軍を捕捉撃滅中である、即ち湘江東側地區においては我が軍は萍鄉、茶陵、攸縣、安仁、未陽等の要衝に確保しつつ機動戰を發揮し萍鄉南方地區において蓮花八軍、第七十二軍を撃破した後、蓮花に對しては敵急進中であり、また茶陵においては同地奪回を企圖し執拗に出

週間戦況

トンに上つてゐると敵側は豪語してゐる。

△ビルマ方面 ①地上作戦 敵のレド公路打通に對する戦意は雨季の現在においても依然旺盛で、引き続き怒江方面ミイトキーナ方面で激戦が展開されてゐる、即ち怒江正面の騰越拉孟、龍陵、芒市、平禹各要衝を確保してゐる我が部隊に對し、敵雲南軍は十ヶ師以上の兵力をもつて猛烈な出撃を試みつつあるが、我が方これを前記各要衝周邊において巧みに撃砕してゐる、フーコン南方地区においては我が軍はカマイン南方四十キロ、ニンウタ東西の要線を確保し重慶軍、西阿軍、及び落下傘部隊合計約四ヶ師團の敵と相對峙し敢闘を續けつつあり、敵に與へた損害極めて大で、このため敵はカマイン、モカウン附近にその主力を集結し戦力の整備を行つてゐる現状である、インパール方面においてはウクル南方地区、バレルナタム道、ビンエンプールトンザン道の各隘路口附近において敵の攻撃を撃砕してゐるアキヤブ方面は變化なし、

△南太平洋方面 一時下火になつてゐたババウルへの敵機襲撃は更に増大、わが施設に對し執拗に銃爆撃を繰返してゐる、ニューブリテン、ニューアイルランド島方面において敵は土人を使喚してわが哨所襲撃などを行はしめた、ニューギニア西端北岸の敵寇企圖は愈々積極化してマノクワリ、ソロ、バボなどを通過、ハルマヘラ、アンボイナ方面の攻撃に敵機が著しく進出してきた(ソロモン方面)ラバウルには七月二十五日より八月一日まで來襲機數延約六百三十機(二十機撃墜破)、カビエンは七月二十六日より八月二日まで延約三百三十五機、ブーゲンビル島南端に二十六日より八月二日まで延約百十七機が來襲した(ニューギニア方面) ④西部方面 七月二十六日より八月二日まで來襲敵機二百六機、うち三十日にマノクワリに百五十機來襲せるものが顯著である、なほマノクワリ附近海上に小艦艇が出現した、二十日午後ワクデ島沖で敵輸送船二隻沈没せるを陸上より望見したが、わが潜水艦によるものと思はれる、⑤スマタ海方面 七月廿六日より八月二日まで延五百四十機が來襲、そのうち廿七日ヘルマヘラ島ワシレに百八十機が來襲した、また連日アンボン方面に三、四十機の大型機が來襲した

△中部太平洋方面 テニヤンは南部地區激戦、在留民中十六歳より四十歳男子は義勇隊を編成して第一線に奮戦しつつある、廿一日我が方最後の敵が突入、また大宮島は明石街東北方に戦線を收縮整理して奮戦中である、ロタ島には敵機連日來間海上より砲撃をも加へてゐる、トラツクには大型機二十機内外わが所在部隊の猛撃に懲りず連日來襲しまた小笠原諸島父島硫黄島には八月四日朝艦上機が數回來襲した、④マリアナ方面 廿五、廿六、廿七の三日間ロタ島に延八十六機が來襲、銃爆撃を加へ夜間海上よりの砲撃が頻繁である、⑤カロリン方面 廿五日より八月二日まで來襲機數延四千四百機を突破うち廿五、六、七の三日間延約四百機、トラツクには連日大型機が來襲してゐるの顯著である、この間所在部隊は各地に奮戦、バラオでは二十五、六、七の三日間に百十機を撃墜破しトラツクでは二十五日より八月二日の間に大型機廿四機を撃墜破した、⑥マーシャル島方面 一時下火となつてゐたウオツゼ、タロアへの來襲また頻繁にして、二十日六日より八月一日まで延百二十二機が來襲した、⑦小笠原諸島 父島、硫黄島に八月四日朝來敵回互つて敵艦上機來襲、所在部隊はこれを猛撃してゐるが、現在までに判明したところによると敵機十九機を撃墜してゐる

△北太平洋方面 今週ラバウル方面に對する敵空襲は機數が若干少くなつてゐる、ただニューアイルランド島カビエンに對しては漸増の傾向にあり、ブーゲンビル島ブイン、ニューブリテン島ラバウル、ニューアイルランド島カビエン等のわが基地に對する敵機襲撃は總じてわが空軍の對するの幸に、傍若無人の對地攻撃を加へ來り、物資格納所、陣地、諸施設に對して極めて執拗な銃爆撃を反覆してゐるが、これに對して所在のわが部隊は日々空を仰いで飛行機なきを嘆じつつも、意氣軒昂不屈

來襲し、うち二機が侵入、若干の爆彈、照明彈を投下して遁走した、わが方損害なし、西部アリューシヤン方面に對する敵の空地部隊は依然増強されつつある

△本土西部及び南鮮地區 衡陽の攻略、東南支那基地空軍に對する打撃などを隠微せんとする在支米空軍は滿洲方面とも關聯して十一日午前一時頃、三度九州、山陰、南鮮に二十機内外をもつて來襲したが、わが制空部隊の活躍により九州南部に僅少の被害を與へたのみで、他はなすところなく遁走したが、在支基地におけるB29の増強傾向と共に今後とも油断を許さない

△支那方面 ①地上作戦 八日大陸における敵抗戦の牙城衡陽は遂に陥ち、第十軍長方先覺以下敵幹部を含む一萬三千餘人が投降、わが軍は兵器彈藥多數を鹵獲した、引き続きわが軍は衡陽周邊に蟻集せる五ヶ軍、即ち北方からする七十九軍西方の七十四百六十二の二ヶ軍長沙東南方の三七七軍はかに機械化部隊一ヶ軍その兵力約十ヶ師を捕捉して撃滅戦を展開してゐる

△南太平洋方面 今週ラバウル方面に對する敵空襲は機數が若干少くなつてゐる、ただニューアイルランド島カビエンに對しては漸増の傾向にあり、ブーゲンビル島ブイン、ニューブリテン島ラバウル、ニューアイルランド島カビエン等のわが基地に對する敵機襲撃は總じてわが空軍の對するの幸に、傍若無人の對地攻撃を加へ來り、物資格納所、陣地、諸施設に對して極めて執拗な銃爆撃を反覆してゐるが、これに對して所在のわが部隊は日々空を仰いで飛行機なきを嘆じつつも、意氣軒昂不屈

五日
十一日

の闘志を爆發させて頑強な反撃を有
へてゐる、ニューギニア方面はフ
ーゲルコツプ半島をめぐるマノクワ
リ、パボ等に対する敵空襲は急減、
僅かに一日延敷機を數ふる時もある
程度であるが、これに對しこれら諸
基地を通過してモルツカ諸島方面に
往復する敵機數が増し又ミランダ
オ島方面に敵機出現しつつある事實
は最近のハワイにおけるルーズヴェ
ルト出席の米海陸軍首腦者會議等と
考へ合はせるとき何等かの新積極的
意圖を思はせるものがある、なほ八
月十一日午前にはスマトラ島パレン
パンに大型機延九機が來襲してゐる
敵機來襲狀況―

①ソロモン方面 ラペウル 三日よ
り八日まで戦爆延二百機、カビエン
三日より八日まで戦爆延百五十六
機、ブーゲンビル島南部 三日より
七日まで延百二十八機

②西部ニューギニア周邊 マノクワ
リ 三日より五日迄主として戦闘機
二十五機、ハルマヘラ島―ワシレ
日戦爆二十數機、カウ―九日戦爆三
十數機、セラム島―ブーラ四日約六十
機

△中部太平洋方面 テニヤンは去る
七月卅一日敵が機械化部隊を先頭に
わが最後の陣地に突入し來つてから
戦線は各所に入り亂れ、わが部隊は
隨所に敵を攻撃、また大宮島では明
石街北方に戦線を收縮整理後、更に
東北方山稜附近に敵を誘致し、猛反
撃を加へ、甚大な損害を與へつつあ
るが、八日頃よりは敵戦車部隊が各所
にわが陣地を突破し部分的な激闘が
夜を日に對して反覆されてゐる、十
日夜、ロタ島のわが部隊は敵艦がこ
の兩島のわが陣地に對し猛烈なる艦

砲射撃、照明彈射撃をするのを視上
するがこれは兩島のわが部隊が皇軍
傳統の鬼神も三舍を避くる夜襲戦に
敢闘してゐることを物語つてゐる、
七月二十五、六、七の三日間ヤツ
パオ兩島に對し、延千數百機の艦
上機をもつて來寇し來つた敵は、八
月四、五の兩日更に機動部隊を派し
て小笠原諸島方面に來襲、五日には
父島を巡洋艦、驅逐艦より砲撃した
が、所在のわが部隊は奮戦、敵機四
十一機以上を撃墜、巡洋艦一隻を撃
破して撃退した、ヤツパ、パオ、
トラツク等に對する敵大型機來襲は
二十乃至四十機編隊をもつて連続來
襲、ウオツゼ島、タロア島にも毎日
若干づつの敵機來襲を見てゐる

敵機來襲狀況―
①マーシャル諸島 ウオツゼ 四日
より八日まで延六十五機、タロア
八日三十二機、②カロリン諸島 ヤ
ツパ 三日より八日まで延百五十一
機、ポナペ 五日、六日、七日三日
間に四十六機

△其の他 八日廈門に敵戦闘機七機
來襲

△支那方面 ①地上作
戦 衡陽を攻撃した我
が部隊はその後引續き
周邊に集積する敵を撃
つ

②航空作戦 十二日早曉敵の西北基
地西安、漢中兩飛行場に進攻し撃破
炎上十一機、施設の爆破炎上八ヶ所
十三日未明には梁山を爆撃九機を炎

て、七ヶ所爆破、同日別働隊は柳州
を急襲炎上十一機、撃破十一機、十
四日早曉には桂林に進攻四機炎上、
一ヶ所を爆破し全機無事歸還した、
十七日にはなほ敵が未練を残し蠢動
の徴を認め、建瓴を強襲し滑走路
を爆破した、八月下旬の敵機來襲は
延一千七十三機で航空部隊關係のみ
の戦果は撃墜破炎上四十九機、な
ほ支那方面五月廿七日湖南作戦開
始以來八月八日衡陽攻略までの航空
戦果は撃墜破炎上八百六十九機、地
上作戦に協力して撃破した敵兵力二
萬三千餘、舟艇撃破二百廿二隻に上
つてゐる

△ビルマ方面 ①地上作戦 拉孟、
騰越方面ではわが部隊の奮戦により
敵の死物狂ひの第二次總攻撃に對し
去る十日大鐵槌を加へてこれを頓挫
せしめたが、敵は十二日ごろより再
び砲兵支援の下に攻撃を再開し來り
目下彼我の間に激戦展開中である、
怒江正面における八月下旬の戦果は
確認した遺棄死體のみで二千四百十
八、なほ去る八月九日夜半拉孟守備
隊は挺身隊を敵砲兵陣地に潜入せし
め山砲二門、迫撃砲二門、重機關銃
三挺を破壊敵を震駭せしめた

△中部太平洋方面
①マーシャル諸島 テニヤン島上にお
ける陸上戦闘は紛戦既に二旬に及び
我が守備部隊は同島南部に集結し猛
烈な攻撃を敢行、甚大な損害を敵
に與へたが、我が方も亦尠からざる
死傷を出した模様で、爾後各局地の
地物に據つて頑強に戦闘を續續、十
五、十六、十七日等の夜何れも海上
艦艇よりの數十發の照明彈が交錯し
て居るのは夜間強襲により皇軍尙縱
横の奮戦を續續しつつあるを物語

②小笠原諸島 マリアナ諸島敵基地
の逐日整備しつつある事を思はしむ
るものはB24四發大型陸上機が頻々
に察知出来る、八月十二日午前父島
に大型十六機、十四日晝間硫黃島に
廿二機、十六日午前父島に十八機、
十七日硫黃島に二十機が來襲執拗に
爆撃を加へんと企てつつあるが其の
都度我が戦闘機隊、防空砲火の猛反
撃に撃墜、撃破の憂目に遭つて撃退
されてゐる

△南太平洋方面
①ソロモン群島 トロキナ北方約廿キ

ロ、カレコバ付近に七月廿七日より
輕迫撃砲を有する敵がわが陣地に對
し攻撃し來つたがわが部隊はこれを
反撃し八月二日夜迄に完全にこれを
撃退した、またトロキナの西方七キ
ロ半ラマ河付近においては七月下
旬以來連日わが陣地一帯に對し敵は
熾烈に攻撃し來つたがこれに對しわ
が方は八月七日拂曉を期しこの敵を
包圍猛攻撃を加へてをり現在までに
わが方で確認した敵遺棄死體は六十
八、重機關銃破壊三、かくの如く
わが部隊は困難な状況下においても
なほ意氣軒昂あつて激戦敢闘を續
けてゐる、一時下火を思はせて居た
此の方面への敵機來襲は今週に入り
再び漸増の傾向を示し、嚴然我が部
隊が守備に就いてゐるブーゲンビル
島南部地區には八月十二日、十三日
十五日、十六日四日間延六十三機、
ラペウルには十二日より十六日迄に
計延三百十機を數へ、ニューギニア
ランド島カビエン地區には同期間に
約五十機であつた、ラペウルにおけ
る敵來襲は從來、市街家屋を銃爆撃
してゐたが近來同所周邊の各地を執
拗に攻撃し始めたのが今週の特異現
象であつた、なほ此の方面において
敵來襲はその狡猾性を遺憾なく發揮
して近近土人を獲得して遺棄せしめ
自分等は後方に温々として武装せしめ
土人隊を督戦わが陣地付近に蠢動せ
しめ來る例一再に止まらない、八月
十六日朝ラペウル、ズンゲン灣の我
が哨所に武装土民兵の一團が襲撃し
て來たが我が方は寡勢約三時間に亘
り奮戦徹底的な痛打を與へて山中に
これを追ひ込み遁走せしめた

②ニューギニア以西 フォーゲルコ
ツプ半島のわが基地に對する敵機來

襲はマノクワリに對する八月十三日の戰爆五十八機が最大でソロン、フアクアク等は來襲を見ず敵の攻撃は専らハルマヘラ島、セラム島、ケイ諸島、アンボイナ島等に指向せられ、ハルマヘラ島北部カウ灣方面のラシレ、カウ、テル島ト等に對する來襲は回数も機數も著増を見てゐる、八月十二日より十六日迄の五日間にこれ等基地に來襲した敵機は戰爆延二百卅機に達し八月十日より十三日の四日間にマノクワリ附近を通過往復した敵機數八百五十七と云ふ數字と共に此の方面の戰況激化を物語つてゐるが我が所在部隊も海陸空に猛然奮戦打擊を與へつつある、尙ほ八月十四日未明にスマトラ島スラバヤに大型機四機が來襲したが大した損害を與へ得ずして撃退した、之れに對し我が航空部隊はビアク島對岸オウイ島を反覆攻撃し敵大型機十機以上を確實に炎上、地上施設八ヶ所を撃破したほか滑走路を爆碎した。

△北太平洋方面 八月十三日晝間敵機數機づつ二回にわたり來襲我が方は空戰によりその一機を撃墜した、十五日には拂曉三機來襲したが被害なし

十九日
二十五日

△北方方面 八月二十一日敵機數二回、二十一日拂曉敵機北千島に來襲したが我が方損害なし、北千島に對する敵の來襲は八月上旬六機、中旬二十機で逐次その機數が増加し、しかも晝間來襲が多くなつてゐる、西部ア

ンニヤン方面における敵兵力の増強と眼み合せ敵の行動は逐次活潑化の傾向にあり警戒を要す

△本土西部地方 八月二十日夕及び同夜半合計百機内外の在支米空軍が九州及び中國西部地區に來襲したが我が制空部隊によりその十三機を確實に撃墜、その他不確實撃墜十機以上、損害を與へたもの二十數機に上る模様である、敵はかかる大攻撃をうけ倉皇として退去し更に大陸上空において一機墜落の憂目を見、海上においても相當數墜落したものと豫想されるが、敵今回の來襲兵法から見て愈よその空襲が本格的段階に入つたことを示唆するもので今後在支米空軍の動向は油断は出来ない

△ビルマ方面 怒江正面の我が部隊は依然各要衝を確保し來攻の敵をそれぞれ撃退してゐる、拉孟、騰越、龍陵、芒市各方面とも敵機は逐次活潑を呈してゐる、特に騰越は八月十五日以来龍陵方面には八月十六日以來敵は熾烈な砲撃に膺接し全正面に攻撃を開始し熾烈な戰闘が行われてゐる、我が部隊は士氣旺盛敢闘をつづけてゐる、同方面において八月十二日以降十九日まで確認せる敵遺棄死體二千百十八の多數に上つてゐる

△中部太平洋方面 八月二十四日朝二回に亘り敵艦上機數十機バダドン地區(西海岸中部)に來襲したが我が方これを遊撃二機を撃墜しその他に損害を與へて撃退した、我が方損害極めて輕微である

△南太平洋方面 八月二十三日朝二回に亘り敵艦上機數十機バダドン地區に來襲したが我が方これを遊撃二機を撃墜しその他に損害を與へて撃退した、我が方損害極めて輕微である

敵側情報

機四十機が來襲した◎ソロン群島より二十一日迄の四日間の敵機來襲戰爆延七十機、カビエンに對する十七日より二十二日迄の來襲機B25六機、艦上機八十二機である、ラバウルに對しては十七日より二十三日迄に戰爆三百數十機が來襲、その十機を撃墜破した、ブカ島に對し二十日、二十二日の兩日戰爆十二機來襲した

太平洋戰の今後ニミツツ豪語【リスボン十三日發】ホルル來電によれば七月末ルズヴェルト出席の下にホルルで開催された太平洋軍事會議の後太平洋艦隊司令長官ニミツツは最近幕僚二名を帶同して専用機に搭乗、マリアナ、マイシヤル群島の前線基地を視察して十二日パールハーバーに歸還したといはれ、ニミツツは歸還後記者團と會見太平洋戰の今後について特に次の三點を明かにしたと傳へられる

一、マリアナ群島の基地化は急速に進展しあらゆる方向から對日作戰を可能ならしめるであらう

二、距離の關係から日本に對して歐洲には出來ない、日本を破るために一、距離の關係から日本に對して歐洲には出來ない、日本を破るために一、距離の關係から日本に對して歐洲には出來ない、日本を破るために一、距離の關係から日本に對して歐洲には出來ない、日本を破るために

本は食糧において輸入に依存してを
り、封鎖により日本國民を飢死させ
るならば戦争の終結は一層早くなる
だらう」と豪語したといはれる

團長として従軍した代將ヘンリー・
レイリーの破きは日本の地上部隊を
決定的に破らない限り日本を撃破す
ることは出来ないとして過敏のマッ
カーサー聲明と同一の意見を述べ、
大陸決戦の必要を所以を強調してゐ
る、更に以上の所論に關聯してユナ
イテッド・ステーツ・ニュース誌は海
路からする大規模な援助が到着する
まではビルマ公路は限られた援助し
か出来ない故に支那海岸に海港を開
くことによつてビルマ公路を補足し
なければならぬと附言してゐる

【リスボン十五日發】米太平洋艦隊
司令長官ニミッツは十二日の記者團
會見において今後の對日戦における
海上封鎖の重要性を指摘し、米軍戰
略の重點が日本と南方資源地帯との
遮断にあることを確認したが、更に
最近米國內では支那大陸決戦論が俄
かに有力化し、殆ど軍事専門家の間
で支配的となつてゐるといはれる
、即ち重慶中央社ニューヨーク特
派員の報道によれば米週刊「ユナイ
テッド・ステーツ・ニュース」誌は
最新號上において「貴下は支那にお
ける日本軍に對し反樞軸軍が大規模
な地上作戦を展開せず日本を撃破
することが出来ると思ふか」との質
問に對する陸海軍専門家、支那問題
の權威等四つの回答を掲載してゐる
が、答へは何れも大規模な地上作戦
のみが日本を撃破する唯一の方法で
あるといふに一致してゐるといはれ
る、太平洋協會米國會議長アーネ
スト・ブライスは十分な裝備品を補
給するため支那海岸に大きな橋頭堡
を設定しなければならぬと述べ、
完全にニミッツ戦略を踏襲し、退役
海軍中將アレクシクリも日本の保持
する島嶼において反樞軸軍は成功裡
に作戦を遂行出来るかも知れないが
日本はあらゆる犠牲を惜しまずに支
那占領地並に滿洲を保持しようと努
めるだらうと述べてゐる、又退役陸
軍少將フアン・ウオースも大陸
の地上作戦のみが日本の進出を阻止
出来るよとの意見を吐き前大戦に師

【リスボン十五日發】ワシントン來
電によれば民主黨上院議員マツケラ
は十五日上院に對して要旨左の如
き決議案を提出したといはれる
今次大戦の終結にあたり米國は、現
實的な平和條約を締結すべく、米國
の安全擁護のため必要とみられるあ
らゆる島嶼の米國領土編入を實現す
べきである、この見地から上院は次
の各地域の領有を主張する
一、一九四一年十二月五日現在日本
の領土乃至委任統治領下だつた島嶼
の米領編入
一、パームニゲ島及び現在歐洲諸國
の領土となつてゐる西印度諸島全部
を獲得
一、マユアドルとの交渉により同國
領土ガラバゴス諸島の獲得
右決議案には上院陸軍委員長レイノ
ルズも賛成し、彼は十五日「英佛兩
國は前大戦及び今次大戦において米
國に負ふ負債支拂ひの一部として米
國の必要とする英佛領島嶼を米國に
讓渡すべきである」と言明した

本土空襲

敵機九州、山陰地方に來襲

大本營發表(昭和十九年八月十一日
七時七分)本八月十一日一時頃支
那方面より敵機二十機内外朝鮮南部
九州西部及び同北西部並に山陰地方に
數機毎に分散來襲せり、我が制空部
隊は直ちに邀撃を逃走せしめたり
戰果並に我方の損害目下調査中なる
も損害は僅少なる見込

【十一日】在支米空軍は十
一日午前一時頃、南朝鮮及び九州北
部、同西部並に山陰地方に各數機を
以てゲリラ的來襲を試み來たつた、
即ち成都附近から飛び立つた二十機
内外の敵機は十一日午前一時頃朝鮮
南部、九州北部同西部並に山陰地方
に數機宛に分散して侵入し、我が
が制空部隊は直ちにこれを邀撃して
敵機を遁走せしめた、各地區に侵入
した敵機は我が制空部隊の邀撃に遭
ふやいづれも殆んどなす所なく遁走
し、就中九州北部に來襲した敵機群
の如きは我が制空部隊が一齊照空の
光芒を放つや、周章狼狽そのまま投
彈もせず海上遙か逃走し去つた、ま
た九州の一地區において敵の投彈
は一發の例外もなく山林田畑に投下
され、或る地區では若干の被彈があ
り、民家數戸に火災を發生したが、
消防隊の出動を待つことなく、民防
空によつて忽ち消火するなど敵來襲
による被害は殆ど云ふに足らないも
のである、在支米空軍は要衝衝衡の
失陥によつて、今や對重慶及び對米
國內的に極めて不利な立場に立ち、
何等か我が方に對し手を打たざるを

得ない窮地に追ひ込められた結果、
今回の如きゲリラ空襲の擧に出たも
ので、その來襲戦法からみて全く宣
傳効果を狙つたものであることは明
らかである

【里斯本十四日發】敵B29「超空
の要塞」隊の基地が四川省の成都附
近にあることは鞍山空襲の際米英系
の各新聞通信社特派員がその發信地
として初めて成都の名を使用するこ
とを許可された事實からも讀み取れ
たが、急遽建設した巨大な基地に對
し、やがて加へられるであらう日本
航空部隊の攻撃に敵は如何に備へて
ゐるであらうか

【里斯本十四日發】敵B29「超空
の要塞」隊の基地が四川省の成都附
近にあることは鞍山空襲の際米英系
の各新聞通信社特派員がその發信地
として初めて成都の名を使用するこ
とを許可された事實からも讀み取れ
たが、急遽建設した巨大な基地に對
し、やがて加へられるであらう日本
航空部隊の攻撃に敵は如何に備へて
ゐるであらうか

【里斯本十四日發】敵B29「超空
の要塞」隊の基地が四川省の成都附
近にあることは鞍山空襲の際米英系
の各新聞通信社特派員がその發信地
として初めて成都の名を使用するこ
とを許可された事實からも讀み取れ
たが、急遽建設した巨大な基地に對
し、やがて加へられるであらう日本
航空部隊の攻撃に敵は如何に備へて
ゐるであらうか

【里斯本十四日發】敵B29「超空
の要塞」隊の基地が四川省の成都附
近にあることは鞍山空襲の際米英系
の各新聞通信社特派員がその發信地
として初めて成都の名を使用するこ
とを許可された事實からも讀み取れ
たが、急遽建設した巨大な基地に對
し、やがて加へられるであらう日本
航空部隊の攻撃に敵は如何に備へて
ゐるであらうか

【里斯本十四日發】敵B29「超空
の要塞」隊の基地が四川省の成都附
近にあることは鞍山空襲の際米英系
の各新聞通信社特派員がその發信地
として初めて成都の名を使用するこ
とを許可された事實からも讀み取れ
たが、急遽建設した巨大な基地に對
し、やがて加へられるであらう日本
航空部隊の攻撃に敵は如何に備へて
ゐるであらうか

【里斯本十四日發】敵B29「超空
の要塞」隊の基地が四川省の成都附
近にあることは鞍山空襲の際米英系
の各新聞通信社特派員がその發信地
として初めて成都の名を使用するこ
とを許可された事實からも讀み取れ
たが、急遽建設した巨大な基地に對
し、やがて加へられるであらう日本
航空部隊の攻撃に敵は如何に備へて
ゐるであらうか

【里斯本十四日發】敵B29「超空
の要塞」隊の基地が四川省の成都附
近にあることは鞍山空襲の際米英系
の各新聞通信社特派員がその發信地
として初めて成都の名を使用するこ
とを許可された事實からも讀み取れ
たが、急遽建設した巨大な基地に對
し、やがて加へられるであらう日本
航空部隊の攻撃に敵は如何に備へて
ゐるであらうか

【里斯本十四日發】敵B29「超空
の要塞」隊の基地が四川省の成都附
近にあることは鞍山空襲の際米英系
の各新聞通信社特派員がその發信地
として初めて成都の名を使用するこ
とを許可された事實からも讀み取れ
たが、急遽建設した巨大な基地に對
し、やがて加へられるであらう日本
航空部隊の攻撃に敵は如何に備へて
ゐるであらうか

【里斯本十四日發】敵B29「超空
の要塞」隊の基地が四川省の成都附
近にあることは鞍山空襲の際米英系
の各新聞通信社特派員がその發信地
として初めて成都の名を使用するこ
とを許可された事實からも讀み取れ
たが、急遽建設した巨大な基地に對
し、やがて加へられるであらう日本
航空部隊の攻撃に敵は如何に備へて
ゐるであらうか

29基地に分遣し、この新戦隊を基
 地の内周周囲に駐屯せしめて防禦を
 固めると云はれる、この戦隊は
 「最新の設計に成る軍機開闢機」
 を備へてをり、歐洲航空戦の「古参
 者」で、一九四二年十月の北アフリ
 カ最初の陸上戦以來獨伊の空の精
 銳と戦つた各中隊を中心として編成
 され、新戦隊指揮官は嘗てパナマ
 運河防空司令官を勤め、比島にも在
 任したことのあつたA・H・ギルケン
 ソン大尉である、これによつて日本々
 土爆撃を誇大に宣傳しながら、日本
 荒鷲の攻撃防遏に躍起となつてゐる
 敵隊の一端を窺ふに足りよう、次に
 米國はB29の大量生産によつて大陸
 よりするわが本土及び滿洲への空襲
 の規模と同数を強化するつもりであ
 らうが、その最も大きな條件となる
 のは燃料、彈薬その他の空輸問題で
 ある、英紙の報道によると最近にお
 ける印支空路の一ヶ月の輸送量は舊
 滇緬公路が最高輸送量を示した一萬
 五千噸乃至二萬噸を既に凌駕したと
 云はれ、更にロイター通信の重慶電
 は去る六月中の空輸量はB29の輸送
 機への改装使用によつて従來の最高
 記録を出したと報じてゐる、また敵
 が北緯三十三度の飛行場を使用し
 し得ることになつた結果として、U
 P通信重慶電はヒマラヤを越える印
 支空路がミートキーナの使用で殆ん
 ど直線的になり、飛行距離を約十五
 %短縮すると共に高度の低下によつ
 て燃料と時間の節約が出来ると稱し
 てをり、敵が印支空輸に可成り
 改革を加へつつあることが認められ
 る、だが、支那を基地とする敵の日
 本土空襲は距離、氣象などの天然
 の障害に非常に悩まされてゐる、即

ちA・P通信重慶特派員はB29の基
 地建設に先立つて昨年十月廿一日
 インフレッド・ソードレット大尉が
 ロックフォードP38偵察機を墜つて日
 本土に寫眞偵察を行つた、三千五
 百二十キロを翔破して支那の基地に
 歸還したことをはじめ報じ、敵が
 如何に距離、氣象などの天然障害に
 悩まされてゐるかを次の如く述べて
 いる
 ソードレット大尉(當時中尉)の偵
 察行は恐らく日本本土に對する米軍
 最初の寫眞偵察であり、且つ支那の
 基地からする最初のものであつたこ
 とは確かだ、日本本土への偵察任務
 で最も窮屈なことは長距離飛行に必
 要な燃料の問題である、この偵察飛
 行についてはソードレット大尉が氣流
 の速度、燃料の消費量及び基地と目
 標間の安全な最短距離等の如き諸要
 素について數學的に自信を持てるま
 では長時間を要した、彼が基地に
 歸還した時には出発前に積載した九
 百ガロンの燃料が僅か七十ガロンし
 か残つてをらずこれは約一時間
 の飛行に足りるだけであつた、彼は
 羅針盤を頼りに東支那海を飛行して
 基地を探し當て目と鼻の先にある基
 地を経て支那沿岸に彼が印をつけた
 箇所から二十哩南方の沿岸上空を通
 つて歸還した、彼の偵察行における
 最も重要な任務の一つは十五分毎に
 氣象記録を作成することであつた、
 彼はこの飛行は一種の氣象學的手
 掛りを明かにする主として氣象偵察
 を任務とするもので、約二千里の高
 度で東支那海を横断し、目標上空の
 は三萬呎の高度をとつたと語つてゐ
 る

以上の敵側報道によつても距離と氣
 象が敵の空襲に非常な障害となつて
 いることが明瞭であるが、而も日本
 地の衛戍占領による米空軍基地の興
 地の全面的後退は敵に更に大きな
 障害を加へ、一方で、空襲の要件と
 なる補給状態に改善をみながら他方
 では爆撃距離を甚だしく引伸ばされ
 るといふ重大な蹉跌を來してゐる、
 然し、敵はB29の行動圏内において
 宣傳爆撃から一歩を進め國內におい
 て需生産に對する組織的爆撃に移行し
 ようとする努力を傾けてゐるから
 油断は禦物だ

六十機内外白晝來襲

—十數機を撃墜

大本營發表(昭和十九年八月二十日
 二十時)
 本二十日在支米空軍六十機内外
 數梯團となり十七時頃より約一時間
 九州及中國西部地方に來襲せり
 二、我制空部隊は直ちに之を邀撃其
 の十數機を撃墜せり、内三機は當體
 一、敢行によるもの如し、墜機機よ
 り落下傘降下せる米兵若干名を捕獲
 せり
 三、我地方地上に若干の損害あり
 (梯團とは編隊の群が連結して梯狀
 をなして來襲する攻撃體形を示すも
 ので、所謂波狀攻撃よりはその空間
 的、時間的間隔が接近した攻撃方法
 と解すべきである)
 戰闘經過【二十日】在支米空軍機動
 部隊は、去る六月以來三度に亘る夜
 間空襲の後、二十日遂に白晝本土に
 侵入したが、神州護持の圖畫に燃え
 るわが制空部隊は、空地一體の猛攻
 により、これに未曾有の損害を喫せ
 しめ、敵のわが本土防衛隊に對する
 不敵なる挑戰を痛烈に粉碎した、こ

の敵空軍は、數個の編隊群に分れ
 て、同時に九州西、北部及び中國地
 方の西部に侵入を企圖したが、すで
 に萬全の邀撃態勢を整へて、待構へ
 たわが制空部隊は、一齊にこれ等編
 隊群に襲ひかかり、わが地上からも
 猛砲火を開いて、敵機群を彈幕に包
 み、忽ちにしてその十數機を血祭に
 あげ、幸じて撃墜を免れた敵空軍も
 所期の目的を達するに終始して、遁走
 したも徒らな盲躍に終始して、遁走
 の餘儀なきに至つた、特に中國西部
 地方では、敵機はわが制空部隊に追
 ひまかれて投擲の餘裕もなく、從
 つて同地方の被害は皆無である、本
 戰闘における戦果の詳細は目下尙調
 査中で追つて大本營から再發表の豫
 定であるが、現在までに判明したと
 ころでは、少くも來襲敵機數の略
 三分の一に當る十數機を撃墜してを
 り、しかもその内の三機はわが荒鷲
 の果敢なる體當りによつて屠り去つ
 た感激の戦果が包まれてゐる模様で
 ある、また北九州地區で撃墜された
 敵機から數名の米兵が落下傘降下し
 たが、これ等米兵は直ちにわが軍に
 對して捕獲された、なほ北九州地方
 では地上に數ヶ所若干の損害があつ
 たが、現在までに判明したところは
 いづれも極めて輕微の模様である、
 米空軍機動部隊が、今回多大の損害
 を覺悟しつつも敢て晝間の侵入を試
 み來つたのは、來襲機數の増大及び
 來襲間隔の短縮と等には注目すべき
 事實である、即ち彼等もは少くも從
 前三回の夜間爆撃におけるが如き宣
 傳爆撃からわが戦力の破壊を狙ふ本
 格爆撃へ一歩を進め來つたもので、
 たゞその初動においてわが猛撃の
 下はその企圖を粉碎されたとはいへ
 今後の推移に關しては多大の戒心を
 要するものがある

二十機内外再び來襲

大本營發表(昭和十九年八月二十一
 日六時)本二十一日零時頃より約一
 時間支米空軍二十機内外北九州及
 中國西部地區に再び來襲せり
 我方の損害は僅少なり
 戰闘經過【廿一日】敵米空軍機動部
 隊の本土空襲は、回を重ねること四
 度に及んで、漸く本格且つ眞劍化し
 動に妨げられ、殆んどなすところな
 り、所謂分散空襲の手に出たが、折
 柄月齡一の眞の間に妨げられて、目
 標を發見出來ず、重要地帯には侵入
 し得ず、市街の郊外や山中に爆彈、
 燒夷彈、照明彈などをばらまいたに
 過ぎず、地上に若干の火災を生じた
 が、いづれも直ちに消しとめられ、
 被害は頗る僅少であつた、敵今回の
 反復攻撃は晝間爆撃による火災を利
 用して、夜間戦果の擴大を狙つたも
 のと思はれるが、最初の薄暮空襲が
 見らるべき戦果をあげず、數ヶ所に生
 じた火災も、第二次部隊の來襲まで
 に殆んど消しとめられてゐたため、
 敵の攻撃は何等の効果を收めるに至
 らなかつた

敵機二十三機撃墜

大本營發表(昭和十九年八月廿一日
 十七時)昨二十日夕の九州及中國西
 部地方に對する空襲に關し其後判明

せる主要なるもの次の如し
一、來襲敵機約八十機
二、我方攻撃機二十三機
三、我方攻撃機の損害三機
四、敵機に體當りて敗行し壯烈なる戦死を遂げたる者次の如し

陸軍曹長 山田 守
同 軍曹 野邊 重夫
同 兵長 高木 傳藏

△嶺當りの三勇士 △山田守曹長
△岐阜縣出身、熊谷飛行學校卒業
△野邊重夫軍曹(四)、埼玉縣出身、少年飛行兵出身△高木傳藏兵長(三)、鹿兒島縣出身、少年飛行兵出身

戦鬪經過【廿一日】今次北九州並に中國西部空襲の敵に與へた損害はその後の調査により、當初十數機撃墜と發表された戦果は、さらに擴大して撃墜二十三機を壯烈なる體當りによつて屠つた事實も確認され、この内には、われらの軍機をもつて敵二機を一舉に屠つた戦史破天荒の壯舉が含まれてゐる、かくて米空軍は來襲八十機のうち約三割を失ひ、しかも何等見るべき成果を收めず、完全な失敗を記録したが、さらに確實に爆撃二十三機の他に撃墜した模様なるも不確實なるもの及び損害を與へたものは相當の多數に上り、基地に歸還し得なかつた敵機がかなりの數にのぼつてゐることは確實である

これに對しわが方は飛行機三機を失つたほか、若干の被弾機があつたのみである、最も注目されるのは敵が從來の如く目的の列然しない散發盲爆とは趣を異にし、要地攻撃によるわが戦力の根柢破壊を期しつつわが本土防衛陣に敢へて正面から挑戦する態度を示し來つたこと、○敵來襲

機数は第一次、第二次を合せて約百機に上り、在支機動部隊の主力を動員してゐるとみられること、○薄暮深更と計畫的な反覆來襲により戦果の確實と甚大を期したこと、○第一次空襲部隊が從來の兩三回の夜間空襲の如き、無效果に近い分散潜入を行はず、一應數個の掃蕩を連續した本格的隱密體形をもつて要地侵入を企圖したこと、など爆撃の規模、戦法、攻撃體形のいづれからみて、敵が豫め、わが軍の熾烈な遊撃覺悟の上で、しかも彼等なりの、自信を抱いて來襲したことは明白である、米陸軍省が例の如き先走り發表を行はず、慎重を持してゐた點からも、敵は今回の攻撃をもつて日本空襲の本格的出發點と、その成果に甚大な期待を懸けてゐたことも、推察される、わが本土防衛部隊を制壓し、八幡その他の重要施設を一舉に破壊せんとしたこの不敵の野望はわが軍の善戦により見事に粉碎されたが、米空軍は、その教條において「徹底せざる攻撃は爲さざるに如かず」即ち敵發射の空襲はその中斷期間に攻撃効果を回復し、攻撃部隊の損失を差引けば結局マイナスになると、自ら戒め世界各戦線において、この教條を忠實に實行してゐる、また大陸からの日本空襲は米人好みの表現を藉れば、數個軍團の大軍を動かすにも等しい百億ドル作戦で、尨大な飛行基地を建設し、飛行機始め一切の人員物資は、悉く一萬キロの長距離を越えて支那奥地へ空輸するな要する、しかも日本空襲行自體も種々の惡條件に圍繞された難行であつて、一時的効果を狙つて出來るやう

な、生易しい事業ではない、大陸からの日本空襲は實に敵の根本戰略の一環をなすもので、今回の失敗によつて敵の日本空襲企圖は、今後ますます熾烈化するとも、緩和するやうな事態は想像されない、むしろこれを契機として敵の日本西部空襲企圖を中心とする彼等の航空決戦は漸く本格的段階に這入つたものと見られるが、段々に一生二十殺の悲願を皇土上空に華と咲かせた無敵荒鷲あり、生産戰線がこれに歩調を併せて邁進するならば、本土周囲の海域を百萬米鬼の墓場とすることは期して待つべきものがあらう

米軍重大な損害を認む
【リスボン廿一日發】二十日夕刻及び二十一日深更の北九州、中國西部地方に對する米軍航空隊の空襲に關し、B29基地のA・Pの特派員は二十一日朝米軍當局の檢閲を經た基地電において、今回の空襲が第二十航空部隊の現在可能とする最大限度の攻撃規模を以て行はれたことを明かにすると共に、爆撃隊が甚大な損害を受けたことを認め次の通り報道してゐる。

第二十航空部隊は二十日、日本々土に對しアジアの航空基地が會つて演じたことのない最大の攻撃を遂行し、二十四時間攻撃にその全攻撃力を繰出した、第二十航空部隊は四たび日本本土に到達することが出來たわけだが、今回は隊長ブロンディ、サウ

ンダー代將は最初の白晝攻撃を以て日本航空部隊の本土防衛豫備兵力に對して挑戰することに決した、目標は八幡の重工業で、第二十航空部隊はこの中樞部を全力日晝攻撃によつて弱体化させる計畫を立てた、B29は

このために設計されたものである、攻撃隊は二十日午後完全な視度を以て九州上空を飛翔し、日本がこれまで上空に對して放つた最も猛烈な高射砲の彈幕に突入した、日本追撃機隊は非常な高度を高速で飛ぶ巨大な爆撃機隊に向つて、黒い飛雲の様な彈幕を突抜けて旋回上昇で迫り、一追撃機は後續の爆撃機一機に體當りて、爆撃機の遊撃に當つた日本航空隊の機数は豫想外に強大であつた、殿りの爆撃機が立去るまでに目標地區は爆煙に包まれたため爆彈の炸裂するのを上空から認めることが出來なかつたが、火災の焰はこの白晝爆撃に續く夜間爆撃に道しるべを與へた、第二十航空部隊は今回の爆撃で搭乗員と爆撃機に甚大な犠牲を拂ひ、日本の航空部隊がその本土を如何に防衛し得るかといふことを知つた

十數機臺灣を空襲
【九月一日】去る三十一日午後十時頃支那基地から在支米空軍のB24、B25など十數機臺灣に來襲したが、わが制空部隊の果敢なる遊撃に遭つて、四機(内不確實二機)を撃墜され何ら爲すところなく遁走した、わが方は地上施設に輕微な損害があつたのみである

支那方面

三萬の米地上部隊既に入支
【湖南前線十五日發】印支空輸が急速に積極化したのは湖南作戰開始直後の六月下旬で、六月下旬には相當確實な情報が早くも昆明、桂林、重慶等に米機械部隊、砲兵隊、落下傘部隊が入支したことを傳へてゐる、最近の情報を綜合するとこの數は次第に増加して三萬人を下らぬものと想像され、また不確實な情報ではあるがこれら米機械化部隊は西南支那に集結したに止らず、七月に入つて遠く西安に一ヶ師を派遣し北支戦線へ進出をも企圖しつつあるものと傳視すべきは米將校の指導部が設置されんとする形勢にあること、かかる形勢は既に今次作戰においても米蔣一體作戰として各處に現れた、敵の衡陽守備隊が意外に頑強に抵抗したのは在支米空軍が相當力を割いて食糧、彈藥投下に當つたことが大きな原因であつて、衡陽のみに止まらず戦線各處の據點においても極めて積極的に行はれてゐる、尨大な量に上る援將武器彈藥は重慶軍を以て砲兵隊が長時間に亘る砲彈の彈幕を構成すると、支那事變以來會つてみぬ熾烈な抵抗を展開せしめた、かくの如き米國式裝備は隨所に現れつつあるが、一方重慶軍事委員會は米國駐支印緬總司令部と連合して米式機械化部隊の編成を急ぎ、既に三ヶ大隊の編成を完了、一部は戦線に出勤する等重慶軍裝備の高度化

滿洲方面

敵機二機鞍山に侵入
【新京二十七日發】二十七日午後零時四十分支那方面より敵機二機鞍山上空に侵入し來つたが我が制空部隊の活躍に阻まれ一彈も投下せず何等なすところなく遁走した

敵機二機鞍山に侵入
【新京二十七日發】二十七日午後零時四十分支那方面より敵機二機鞍山上空に侵入し來つたが我が制空部隊の活躍に阻まれ一彈も投下せず何等なすところなく遁走した

の火蓋が切られんとしつあつたが俄然四日皇軍諸部隊の精銳は積怨の敵空軍根據地衡陽城攻略に怒濤の如き勢ひを以て、一大殲滅戦を開始した、これに對し城内に立て籠る敵軍は第十軍の二ヶ隊、四十八師所屬對戰車砲隊、百五十一師の一部の約二萬餘であり、トーチカ陣からは重砲機を連發的に我々に浴びせ或は守備軍の配置を晝夜間巧みに交替して小隊にも猛反撃を續けてゐる、また西南方に後退通塞したりと雖も量を持む在支米航空部隊は常時衡陽上空に飛來、我が荒鷲部隊に備へつつ地上部隊の潮の如き包圍部隊の頭上に爆撃銃撃の雨を降らせ執拗深刻極まりなき反撃を加へてゐる

北西、南三方から一齊突入
【湖南前線八日發】 我が衡陽攻略部隊は、四日午後四時四十分を期して北、西、南の三方面より一齊に衡陽城總攻撃の火蓋を切つたが、北方及び西北方より敵中を挺身し來つた我が猛進部隊は六日拂曉二時敵の頑強なる抵抗を排し小西門附近を突破、城内に入りその北端を奪取、急をきいて増援し來れる敵第七十九軍を邀撃し、これに殲滅的打撃を與へた、一方西南方より攻勢中の我が主力部隊は敵の三大防衛據點たる蘇仙井高地、天馬山高地、西禪寺高地を完全占領、息をもつかず城内突入の攻勢に出でゐる、更に敵の頼みとする米式陣地岳嶺高地奪取に向つた南方突撃部隊は同じく七日雁峯寺南端及び小岳阜の高地を占領、意氣軒昂、窮心も等し敵の反撃を排し市街の中心目指して流れ込みつつある

湘江を敵前渡河【湖南前線八日發】
 衡陽總攻撃開始とともに湘江を隔て東方に待機し敵軍を壓迫してゐた我が勇猛挺身部隊は五日夜半を期して前上陸に成功し、夜の明くるのを待たず六日拂曉より市街地中心部に對し猛攻を開始した、かくて敵は腹背に我が痛撃を受け城内に全く混亂状態に陥ち入つてゐる

周邊の敵を殲滅
【湖南前線八日發】 萍鄉、醴陵南方の殲滅戦に引續き同方面の我が部隊は目下周邊の敵敵に對し徹底的に掃蕩戦を展開中であるが、二日以前來、白竺（醴陵南方約四〇キロ）方面において敵第七十二軍の有力敗殘部隊に對し壯烈なる殲滅戦が續行されつつある、同方面の敵はさきの萍鄉、醴陵の殲滅戦において後方部隊であつたため我が方の網外にあつた第七十二軍の第三十四師である

【湖南前線八日發】 第二十七師附近【湖南前線八日發】 第二十六師、第九十九、暫編第三の三個軍の有力な兵力を有する敵軍は七月下旬以來耒陽南方八キロの小水舖附近において衡陽救援のため小隊にも出撃の態勢を整へつつあつたのに對し、我が新銳部隊は三日五里丁（耒陽西北二キロ）附近において敵の先遣部隊を擊破し、混亂の敵軍を三方から包圍殲滅を壓縮しつつここに殲滅戦を展開中であるが、これと共に五日夜我が部隊の一部は耒江を渡河して敵の背面を奇襲し敵の退路を遮斷四方から猛攻撃を續行中であり敵三個軍の殲滅は今や決定的となつた

早くもこれを知つた我が部隊は三日これを追撃潰走せしめ更にこれを應援に來た第七十九軍をも赤水河畔に捕捉これに徹底的打撃を與へた

萍鄉を自指す敵二個師擊滅【湖南前線十四日發】 湖南、江西省境の山岳地帯を萍鄉、蓮花道沿ひ、殘敵を掃蕩しつ一路南下しつあつた我が精銳部隊は七月二十九日早曉、萍鄉西南方四十キロ梨樹嶺で敵第七十四軍の第三十四師並びに新編第十三師の二個師に遭遇、八月二日に至るまで同地特有の峻嶒山岳地、ジャングルに覆はれた豁谷において戰闘を交へて敵遺棄死體一千百、負傷（確認せるもの）二千二百といふ大戦果をあげ、殆んど潰滅的打撃を與へてこれを南方に敗走せしめ、引續き一兵も餘さじと放膽な追撃戦を續行中である、八月四日までに敵の損害擊破又は鹵獲した追撃砲一門、重機二、輕機二〇、小銃四〇〇、各種彈藥一、二、六〇〇

衡陽を完全攻略
 一重慶四ヶ師を擊滅
 大本營發表（昭和十九年八月八日十七時三十分） 衡陽を包圍中なりし我部隊は八月四日夕總攻撃を開始し同市を在支米軍と共に固守せる重慶軍四箇師を擊滅し、本八日八時完全に之を攻略せり

戰闘經過【八日】 ①追撃戦から飛行場奪取、長沙攻略と同時に長沙南方の株州を攻略した中央進撃部隊は沛然たる豪雨泥濘の惡路を衝いて急進して忽ち衡陽北方六十軒の朱亭を屠り六月二十一日には衡山（衡陽北方四十軒）を占領し、廿六日には衡陽周邊に迫つた、敵はわが疾風の追進

の前に同飛行場を觀念し、その各種施設を爆破せんとしたがわが推進部隊の神速適切な活動によつて殆んど無疵のままこれを占領、同時にわが航空部隊は間髪を容れず同地に推進して鹵獲した燃料、彈藥を逆用して直ちに地上戰闘に協力多大の戦果を収めた、かくしてわが雄渾無比の突進作戦によつて衡陽死守の外郭施設たる飛行場奪取によつて敵防衛軍は全く孤立に陥つた、この衡陽包圍戦と共に他方これに併行して衡陽外側作戦として東北方（醴陵、萍鄉）東方（攸縣、安仁、耒陽）西方（永寧、衡陽）及びその周邊、三地區に別かれ、即ち東北方では六月十八日浙南、江西の省境に聳える萬洋山山脈を突破して二十二日には萍鄉附近で第三戰區から挑戰して來た敵第二十六軍の大部隊と遭遇して約十時間激戦の後これを擊破して同日午後これを占領し、東南方地區では萬洋山沿ひに一路南下した快速部隊は萍鄉を陥入れた餘勢をかつて更に猛進、二十五日に攸縣を占領、一部は衡陽包圍をとると共に更に南下して衡陽東々南六十軒の安仁を抜いて七月三日には粵漢線の要衝（耒陽南方五十軒）を衝き粵漢線を遮斷した、また衡陽西北七十軒の永豐を攻略すると共に金蘭寺（衡陽西北四十軒）白鶴舖の線に進出した

②衡陽包圍作戦 湘江對岸の衡陽飛行場を攻略したわが一部の部隊は、北、西、南の三方面から完全包圍によつて城内の敵軍を完全孤立せしめ、第十軍長の指揮する敵三乃至四ヶ師は辛じて空中補給によつて潰滅して行く戦力を補ひつつ一方第六、第九戰區の主力が四周から救援のため衡陽周邊に殺到して來るのを空頼みにしつて徹底抗戦を續けた、しかし敵の戦意は旺盛で衡陽城周邊には無數の浮島があり、この浮島に敵は陣地を構築我が軍は、この一つ一つを孤立に破壊するのでなければ、城内に突入することが出来なかつた、衡陽死守の決意固い敵は、城内の凡ゆる建物をトーチカ化し、その下には縱横に地下坑道を張り廻らして頑強な抵抗を續けるなど、一廓一點の地點を爭つて彼我の凄愴な手榴彈戦は日夜續けられた、この間我が後方補給線は漸次整備され、重火器その他攻城兵器が着々と補給されて攻勢態勢は順調に進歩我が包圍鐵環また着實に壓縮されて、遂に八月四日夕總攻撃の火蓋を切り、攻撃開始後三晝夜半にして遂に衡陽城はわが手中に歸した

③衡陽救援敵野戦軍の大殲滅戦 かく粵漢線東及び西の兩側地區より一齊に南下突進して衡陽周邊の各要衝を確保した我精銳諸部隊は、敵重慶の衡陽死守の嚴命に應じて四邊より蟻集し來る第六第九兩戰區の野戦軍に對して徹底的の大殲滅戦を展開して行つた、即ち△東方地區 我軍は醴陵、萍鄉、攸縣、茶陵、安仁、耒陽を確保して衡陽救援のため蟻集した第九戰區の主力を捕捉殲滅した次で萍鄉地區では第三十集團軍長王陵基の指揮する第七十二軍（三）第五十八軍（三）、第九十九軍（二）の計八ヶ師約七、八萬の敵を巧みな機動戦によつて捕捉し、痛烈な損害を與へた、敵はこの打撃によつて衡陽

救援を放棄して遁走し、その兵力は夥しい數に上り、而も敵空軍の中樞一萬から二萬程度に減退した、茶陵附近では第二十七集團軍長歐震の指揮する第四十四軍(二)第二十軍(三)第三十七軍(二)その他合計八ヶ師を捕提大損害を與へて潰走せしめた未陽正面では、第二十六軍(三)暫編(二)外(二)計七ヶ師が執拗に反撃せんとする出鼻を叩いて撃破した△西方地區湘湖郷、金蘭寺、白鶴舖の各要衝を確保したわが部隊は衡陽救援のため西北方からこの附近に蟄集して来た、第九戰區副長方先黨の指揮する第三十七軍(一)第二軍(二)第七十九軍(三)第六十二軍(二)合計八ヶ師がこれ等の三要衝の内側地區に入りこんで来たのを好餌として我軍は巧妙にこれを捕提して撃破し去り敵が焦慮のあまり蟄集せしめた第六、九兩戰區の主力約三十一ヶ師の野戰軍は一撃に撃滅されたのである

◎航空撃滅戦Ⅱ一方この攻略戦における一大戦果は實に在支米空軍の一大撃滅戦でもあつた、即ち長沙、衡陽飛行場の失陥によつて粵漢線以東に配置された遂川、玉山、建甌、麗水、贛州等の各基地は殆んどその機能を喪失し更に桂林始め芷江、丹竹、恩施、梁山も亦悉くわが轟翼下に曝されて敵空軍は隨所にわが荒鷲に痛烈な打撃を喫して行つた、即ち衡陽飛行場占領後の七月三日から十一日まで撃滅破百六、十二日には芷江で五十一、十三日桂林で八十九、柳州、芷江、桂林では二十七日に百十九、更に二十九、三十一、八月一日には同地で百十三機を撃滅破炎上を重ね七月一ヶ月間に在支米空軍に與へた損害は實に五百三十九機といふ

衡陽陥落の意義 【八日】大陸戰場の米鬼殲滅をめざして蜿蜒二千キロに及ぶ酷熱の戦野に雄渾な大進撃を續行中の皇軍部隊は洛陽、長沙の攻略について今また粵漢線上の敵最重要據點衡陽を掌中に收め大東亞決戦下貴重な大戦果を樹立するに至つた、今次のわが大陸大攻勢の目的は太平洋の海上侵寇と相呼應し抗戦支那を足場に空中から皇土を挾撃しようとする敵米の根本略を先制粉碎しわが西方國防圏域より米鬼を徹底驅逐するにあり、衡陽はこの意味において實に大東亞西方戰場の鎖鑰點である、衡陽は天險衡山山脈に圍まれ北は兵資に富む湖南平原を控へ、西南には粵漢、湘桂兩鐵路をはじめ湘粵、湘桂、湘黔各公路湘江等、桂林、貴陽を通じて重慶、昆明と結ぶ縱横の交通網を擁する天然の要害であり、東南には日本空襲、南方航路攪亂の前進基地群を抱いてその戰略價値は敵米も夙に重視するところ、座して彼に時を與へたならばこれに近代築城を施して難攻不落の一大要塞と化し彼の期するスチルウェル攻勢の最も有力な據點たり得たかも知れず従つて衡陽の得失は彼の戰勢を左右する一つの決定點であつたといふも過言ではない

この要害今やわが手中に在り、今後大陸戰局に測るべからざる影響を齎らさうとしてゐるが、現状に基いてわが衡陽攻略の意義を大觀すれば左の如し

○米空軍必滅の態勢強化衡陽失陥の痛手を最も直接に痛感するのは大陸戰場におけるわが主敵米空軍(陸軍航空部隊)であり、従つて敵米は第九戰區軍はもとより近接戰區から移動可能な全重慶軍を擧げて衡陽死守に動員せしめると共にその在支航空部隊また全力を揮つて大陸戰場未茲に衡陽爭奪をめがけて大陸戰場曾有の日月決闘を展開したのであるが、この決闘において米空軍は戰闘直後に衡陽飛行場を失つたといへばそのホームグラウンドに我を邀へ撃ち、しかも戰場至近距離に多數の整備された基地群を有する絶對優位の態勢にあり、機動において戰場上空に局部優勢を占め得る等多くの有利な條件に恵まれながら或はわが挺進夜襲隊の神技に集結機の過半を失ひ或は敵前の衡陽飛行場に躍進したわが戰團の猛威に阻まれ、一日平均百機に及ぶ空軍を動員しながら衡陽守備隊の掩護解圍部隊への協力、わが兵站線擁護など各種の重要任務を完遂するに至らなず、却つて四月以降一千機に垂んとする大損耗を蒙り、遂に狂瀾を既倒に回し得なかつたことは、白日の下に彼我航空部隊の實力の差を明證したもので、これの一戦を大陸戰場における米空軍の試金石としてその活躍に至大の期待をかけた重慶側に甚大な失望を與へたことはもとより凡ゆる不利な條件

では愈よ米空軍必滅の確信を固めるに至つた、今後わが軍の衡陽完全基地化に伴ひ敵前進基地零陵と十五分、桂林とは四十分の至近距離における凄絶な航空鏖合ひが續行されることとなるがこれらの敵基地は既にわが地上軍の直接脅威下にあり、米空軍の奥地退却は必至の形勢にある、しかしわが精銳は米鬼の大陸に限り地り果までも追求の手を緩めないであらう

◎重慶に重大打撃 わが湖南作戰軍は衡陽攻略によつて縱深三百五十キロ、巾概ね百五十キロ乃至百キロ面積四萬方キロ餘、即ち略々九州全土に比敵する廣大な地域を占領し、第九戰區を全縱深において蹂躪すると同時に粵漢線の死命を制し抗戦支那湖南の地は今更喋々する迄もなく饒饒業等の物産に富む抗戦支那の經濟中樞であり、これらの豊富な物産がわが權内に入つたことはさきの河南平原制壓と同様、和平地區の民生に寄與するところ莫大で上海の米價が早くも落調に向つた事實はその一つの現れである、また軍事的に粵漢線の死命を制したことは湘江江西福

建方面の第三戰區のわが南支軍の強壓を受けつつある第七戰區の背面に脅威を加へるなど重慶軍の防衛態勢の根本に利刃を擬するに至つたが、これら軍事、經濟的戦果と共に最も注目すべきは新占領地域の民衆が己れの破壊した道路の修復や市街の整理その他の建設工作に積極的にわが軍に協力してゐる事實でこれは所謂不燒、不奪、不犯の三原則に徹底したわが神兵の無言の行爲が何ものよ

りも雄辯に今次大攻勢の目的を民衆に知らしめ、日華協力による防衛大東亞の理想が砂に浸み入る水のやうに重慶治下の民衆の間に浸透しつゝある證左であり、作戰に勝つころ名目なき抗戦重慶に與へる精神的影響は寔に重大であらう、衡陽攻防戦における重慶軍の抵抗は強烈であり特に十七、八から二十歳の湖南青少年を中核とする第十軍麾下の衡陽守備隊が孤立無援の窮地に陥りながら四圍に亘る死闘に耐え得たことはわが攻撃部隊が懸軍萬里の急追撃に伴ふ兵站の困難、火器の不足その他の不利な條件に災ひされ戰場周邊の地形また防守に利したためといへ、重慶軍として稀なる健闘でありわが攻撃部隊をして「敵ながら天晴れ」とその最期を悼まされた、米鬼の隕使する

ために己れの抗戦を「祖國防衛」のままと信じつつ散つて行つた湖南二萬の子弟に對しては一脈哀切の情を禁じ得ないが、重慶軍にして蔣の抗戰理念を支持する限り衡陽の悲劇は更に至る所に繰り返されるであらう

◎大陸戰線變貌の行く手 衡陽會戰の終結によつて第九戰區軍主力を第六戰區軍一部と併せて完全な屠り去つたわが湖南作戰軍は完全な作戰の自由を確保しつつ衡陽を中心とする大戰略橋頭堡に征旗を進め大陸戰局は更に新たな戦雲を孕まうとしてゐる、今後一戦局の推移はもとより豫斷の限りはないが、現下の情勢においては南粵漢線は未陽、英德間約二百五十キロがなほ敵の手中にあり西は米空軍基地零陵、桂林が夫々百十キロ、三百キロの間に米鬼焦慮の翼を包んでゐる、東江西の關門萍郷

は愈よ米空軍必滅の確信を固めるに至つた、今後わが軍の衡陽完全基地化に伴ひ敵前進基地零陵と十五分、桂林とは四十分の至近距離における凄絶な航空鏖合ひが續行されることとなるがこれらの敵基地は既にわが地上軍の直接脅威下にあり、米空軍の奥地退却は必至の形勢にある、しかしわが精銳は米鬼の大陸に限り地り果までも追求の手を緩めないであらう

◎重慶に重大打撃 わが湖南作戰軍は衡陽攻略によつて縱深三百五十キロ、巾概ね百五十キロ乃至百キロ面積四萬方キロ餘、即ち略々九州全土に比敵する廣大な地域を占領し、第九戰區を全縱深において蹂躪すると同時に粵漢線の死命を制し抗戦支那湖南の地は今更喋々する迄もなく饒饒業等の物産に富む抗戦支那の經濟中樞であり、これらの豊富な物産がわが權内に入つたことはさきの河南平原制壓と同様、和平地區の民生に寄與するところ莫大で上海の米價が早くも落調に向つた事實はその一つの現れである、また軍事的に粵漢線の死命を制したことは湘江江西福

建方面の第三戰區のわが南支軍の強壓を受けつつある第七戰區の背面に脅威を加へるなど重慶軍の防衛態勢の根本に利刃を擬するに至つたが、これら軍事、經濟的戦果と共に最も注目すべきは新占領地域の民衆が己れの破壊した道路の修復や市街の整理その他の建設工作に積極的にわが軍に協力してゐる事實でこれは所謂不燒、不奪、不犯の三原則に徹底したわが神兵の無言の行爲が何ものよ

はわが手にあり、第三戦區の腹背に迫る途を開いてゐる、これら何れの地點、或は他のいかなる新地點にわが攻勢が向けられるかは敵統帥部の臆測に委ねておくのがよいであらう但しこの際今次大攻勢を契機として大陸戰場の性格が全く一新したことは特に注目を要する、即ち敵米の太平洋侵寇がわが本土を隔る二千五百キロ内外の離島に指向され、戰勢苛烈を極めるとき西方、本土より二千五百キロ乃至三千キロの線において戰はれつつある大陸の戰闘は、更に西方遠くビルマ印度の戰闘と共に、最早重慶軍を對手とする支那事變の延長ではなく、正に神州護持、米鬼必滅の聖戰の強力な一環として國民に事變七年の情眼を一掃した新しい認識を求めてゐる

衡陽攻略部隊を御嘉尚

【衡陽十日發】 畏き邊りでは衡陽完全攻略の湖南軍に對し九日御嘉尚の御言葉を賜ふ旨仰せ出され同日午後四時前線各部隊においてそれぞれ厳肅なる御言葉傳達式が舉行された

軍長方先覺以下 一萬三千三百投降

大本營發表【昭和十九年八月十一日十五時三十分】衡陽攻略に際し收めたる戰果中、現在迄に判明せる主要なるもの次の如し

一、俘虜、第十軍長方先覺、同軍參謀長、第三、第九十、新編第十、暫編第五十四各師長以下一萬三千三百名

二、確認せる死體四千四百以上(外に敵の處理せるもの多數)

三、鹵獲品、各種火炮百一門、重、輕機關銃五百二十挺、小銃約三千五

百挺、其他器材彈藥等多數

【湖南前線發】 わが西方よりする猛攻にたまりかねた衡陽城内の敵は我方の市内突入によつて張り詰めてゐた戰意も遂に喪失し八日拂曉に至り第十軍長方先覺をはじめ軍參謀長孫鳴玉第三師長周慶祥、第九十師長容有略、豫備第十師長代理李拔夫第五十四師長饒少偉など城内の敵最高指揮者は白旗を掲げて兵とともに相次いで我が南方からの新銳進撃部隊に投降した、投降して來た軍師長の略歴は次の通り

△第十軍長方先覺(子城) 江蘇省宿縣生、黃埔軍官學校三期出身、民國廿八年第十軍第十師副長、同廿九年師長、同卅一年三代目の軍長となり今次作戰開始と共に衡陽直接防衛を命ぜられた

△第三師長周慶祥(棲亭) 四十、山東省華縣生、黃埔軍官學校四期步兵科出身、民國廿六年第三團長、同卅一年師長

△第九十師長容有略(天碩) 三十八、廣東省中山縣生、陸大特別班四期生、民國卅二年師長

△豫備第十師長代理李拔夫四十四、湖南省零陵縣生、ソ聯カス學校出身、陸大十二期、民國卅二年師長代理

方軍長陸伏書に署名

【衡陽十日發】 我が衡陽攻略の〇〇部隊長と敵將第十軍長方先覺中將との歴史的な全面降伏談判は八日午前十時五十分から衡陽市外南方四キロの仁愛中學校において行はれた、我が軍の學校高地攻略によつて急速に戰意を喪失した敵が全面降伏の白旗を掲げたのは七日午後七時、その後敵が軍使をたてて我が軍門に降る旨正式に申出たのが午後十時であつた、そしてこの時の取極めでは八日午前二時を期して我が〇〇部隊長と方先覺軍長とが彼我第一線の中間地點において會見すべきことに定められたが、敵は最後の土壇場に至つてなほ卑劣なる遷延策に出た、即ち興奮と緊張の裡刻々と時間が経過し、定刻午前二時になるも敵軍からは何の普沙汰もない、午前三時漸く傳令が來た、しかしこれは徒らに敵の選延の言葉を傳へたのみである、ここにおいて我が軍は敵の卑劣な策動を斷乎一蹴すべく有事即應萬全の態勢を整へて飽くまで方先覺軍長の出席を要求した、敵も我が決然たる態度に最早逃れる術もなく軍長の出席を承諾して來た、凄慘を極めた戰場に曉が訪れた午前七時(日本時間)方先覺軍長は第四師長以下軍司令部暫編第五十四師各師長以下軍司令部付高級將校十数名を引具して學校高地北側から砲臺を潜り抜け我が第一線を越えて〇〇部隊第一線司令部に姿を現したのである、學校高地を主柱とする衡陽西南外部陣地の左翼攻路の〇〇部隊長と會見の後方軍長一行は〇〇部隊長に別れていよいよ降伏談判の場所に定められた仁愛中學校に向つた、我が〇〇部隊長は幕僚長以下を従へて一足先に仁愛中學校に入つた、待つ程もなく軍長を追つて來た三師長並に參謀長も到着した、午前十一時四十五分談判場に當てられた學校構内防空地下壕の中で談判は開始された、壕内にて〇〇部隊長がその真正面にどつしり腰を下げ、これと向き合つて方先覺軍長が腰を掛ける、方軍長の兩側に第十軍參謀長孫鳴玉以下各師長が居並んだ、方先覺軍長は見たところ四十前後の長身でガツシリした體軀の持主であり、精悍の氣がその引きしまつた緒顔に現れてゐる、鬚が濃い典型的中國軍人の相貌である、隨行の豫備第十師長は三十五、六とも見える瘦身の若い師長である、その服装は團長と同じやうに草色の粗末な折襟軍服であり布靴を履いてゐる、第九十師長も三十五、六歳前後に見える、小肥りその眼が軍人に似合はつて柔和である、暫編第五十四師長は身體の貧弱な老百姓のやうな感じのする男であり、どう見ても師長と思はれない、緊張した空氣を破つて

「本官は日本軍の最高指揮官として貴官にこの通り要求する」と凛然言ひ放つと共に曩に敵軍が提示した七無條件降伏條件を斥けて我が全面的な降伏に更なる要求書をつきつけた、さうして更に「しかしして速答を要求する」と力強くたたみかけた、通譯の言葉を頷きながら附いてゐた方軍長は低いがしつかりした聲で「この要求に服従する」と答へた、これに對して〇〇部隊長は「武装解除に關しては後に日本軍から指示する」といひ續ぎ、これを以て衡陽城守備軍は我が軍に對し即時全面的無條件降伏したのである、時に十二時、最後

に我が〇〇參謀長は方軍長に對し、「即時戰闘行為の中止を衡陽城内にある重慶軍に命令せよ」と要求、方軍長これを孫參謀長に通じて全軍に命令する旨答へ、また方軍長は我が〇〇部隊長の前で各師長に對し無條件降伏に服従したことを告げれば各師長もこれを異議なく諒承する、〇〇部隊長は最後に各軍師長の身分は

皇軍に於て責任を以て信證すること

を言明、會見を終へ壕を出て來た方軍長をはじめ各師長の顔も漸く安堵の色さへ溢れてはゐた、かくて敵第十軍軍長師長以下將官數名の他唯一名の脱出兵もなく現有全兵力を擁して全面的に無條件降伏をしたのであ

る

湖南前線十一日發

【湖南前線十一日發】 在支米空軍は衡陽の陥落によつて受ける戰略的打擊を重視し印支空輸ルートによつて桂林方面に空輸した機械化部隊を北東進せしめて衡陽奪回を策し九日拂曉には衡陽附近街道上の英陵附近を始め衡陽附近に戰車を含む自動貨車四輛を基幹とする機械化部隊並に重慶軍七千の兵力を集結せしめたが我が精銳部隊は在支米軍の執拗な反擊を一舉に粉碎すべく九日正午より行動を開始し目下米軍機械化部隊を衡陽西方地區に於て捕捉猛攻を加へ衡陽西方九〇キロの寶慶方面に制壓中である

北上の敵を殲滅中

【湖南前線十二日發】 耒陽方面の敵第二十六師の第四十一師、暫編第四十八師は優勢を恃み耒陽南方八キロの小水艇附近から衡陽道を北上中、わが部隊は九日これを三方から包圍し、特に中央部隊は凄壯な夜襲戦をもつて當面の敵主力第四十一師の司令部を奇襲し多大の戰果を挙げた、このため敵は全く混亂に陥り、右翼方面から救援の暫編第四十八師軍をわが軍と誤り猛烈な火炮をもつて應戰禁止にも同軍の大半を失ふなど同志討ちの醜態を演じ、周邊からのわが部隊の猛攻に今や敵全軍の殲滅戦は最高潮に達してゐる

綜合戦果發表

大本營發表【昭和十九年八月十四日十五時】

一、湖南方面の我部隊は、衡陽周邊に蟻集せる敵を撃退すると共に、

二、五月二十七日湖南方面の作戦開始以降、八月八日衡陽攻略迄の綜合戦果中、主要なるもの次の如し

①敵に與へたる損害
各種火砲三百三十五門、重機關銃一千五百五挺、小銃一萬三千六百六十六挺、飛行機擊墜破炎上八百六十九機

②我方の損害
戦死五千三百四十三名

③重慶抗戦力更に低下【十四日】八日の衡陽を攻略した我が軍は、引き続き衡陽周邊の敵に對し鐵槌を加へると共に、更に次期作戦に備へ、着々と新行動への戦備を整へてゐる、我が軍は去る五月二十七日湖南省に作戦を開始して以來、七十餘日、この間に米將軍の戰略的心臟部たる湖南の山野に縱横の機動戰を展開し、長沙、衡陽の二大據點を攻略して、敵戰略態勢を根底から崩壊せしめたが、更に敵に與へたる人的、物的戦果も、十四日大本營發表の如く、極めて尠大な數量に上ることが明らかにされた

なかつ今次作戦は、大陸からする敵米の對日反攻の一翼を粉碎した點に最も重大な戰略的意義がある、即ちニミッツ攻勢に即應し重慶軍を對日攻勢に驅りたて在支米空軍との合作によつて東西より我を攻撃せんとす

敵企圖は今や完全に畫餅に歸せしめられたのである、然し敵米の筈に軍事的、政治的更に經濟的に治癒し難き打撃を喫した重慶こそ、最も悲劇的な存在であらう、重慶は我がガダルカナル撤退以來、我が戦力を過小評價し日本に對支作戦遂行の力なしと観てゐた、今春の河南作戦の時、敵はこの迷夢を捨てず我が衡陽進撃を信ぜず、その作戦指導は當面を糊塗する瀾縫策に終始し、一度び我が強大戦力の發揮に遭ふや忽ち收拾すべからざる混亂を惹起し、徒ら本營發表の數字によつて明らかになつた、從來對日總反攻軍として東支那地域に準備してゐた重慶軍中最良裝備を誇る薛岳麾下の三十ヶ師が捕捉撃破され、さきの第一戰區湯恩伯軍の潰滅と相俟つて、重慶抗戦陣營は今や再起絶望の窮地に陥るに至つた、更に經濟的には敵は「湖南総れば中支餓へず」と評された穀倉を喪失したほか、財政的には重慶豫收の十%内外を喪ひ、更に鐵道、水路の喪失によつて江西省の米をばはじめ粵漢地區の物資の利用を封ざられ重慶地區は早くも食糧難が豫想されてゐる、重慶陣營の没落を示唆する大陸戦線の現状は我が作戦軍の嚴正な軍紀に對する敬慕と相俟つて民衆は翕然として和平の一途に向ひつてあり、戦備の完了を俟つて近く發揮されるであらう次期作戦の進展に伴ひ重慶の苦惱は更に一段と深まるであらう

湘江二百四十五哩啓開完了【漢口十四日發】 執拗極まる。在支米

空軍の跳梁洞庭湖岸○から長沙湘潭を経て衡陽迄怒濤の如き陸の精銳の進撃に呼應、江上からの突撃路啓開に挺身しつゝあつた海軍水路啓開は八月○日遂に湘江全水路二百四十五哩の啓開を完了、この間實に機雷處分總數七百七十六箇といふ戰果を収めたが、右につき漢口海軍現地部隊は十三日、左の如く發表した

○漢口海軍部隊發表(八月十三日) 二時)帝國海軍部隊は長沙航路に引き続き湘江を通航開始しつゝありしが八月○日湘江水路の啓開を完了せり五月二十七日以降における處分機雷總數七百七十六箇なり

衡陽周邊敵撃滅戰果

【湖南前線十四日發】 我が諸部隊は衡陽救援のため繰り出された敵軍を七月五日より二十日までの間に萍鄉、醴陵、茶陵、安仁、耒陽等の衡陽外圍で徹底的に殲滅したがその戦果は次の通り

交戦敵兵力五五、〇〇〇、敵遺棄死體一、二、四一六、俘虜五〇六、鹵獲品火砲一四、重機機一五六、小銃一、四〇三、擲彈筒一四一、各種彈藥二八、三〇

【湖南前線十六日發】 衡陽をもつて對日航空決戦の最も有力な前進基地と定めた米國は將校並に技術者約七十名からなる地上警備隊を前線に派遣し、湘江東岸の衡陽飛行場には技術師の米人約二百名を配し、又衡陽城内には宣教師その他凡そ百五十人を送り込み巧妙な謀略宣傳を以て秘かに毒牙を磨いてたかかると折突如先制攻撃を開始したわが湖南作戦は米國の前線謀略陣を震撼させ

衡陽城の百五十人は六月十八日の長

沙陥落に前後して後方へ引揚げ、衡陽飛行場の二百人も失陥数日前に後退し、將校及び技術者六十餘名のみが衡陽死守に最後の望みをかけて残留した、かくして衡陽攻撃戦において孤城衡陽が頑強な抵抗を續けたのは籠城軍幹部を取圍んでゐる、右の米軍警備隊が直接物を言はせてゐる一應男性的な決死作戦を宣傳されたが、いよいよ本格的な總攻撃が開始され、衡陽城の命旦夕に迫つたと知るや、六十餘名の警備隊は本月初め第七十九軍が北門に逆襲を企てた混亂に乗じて全員衡陽城を脱出したと傳へられる、陥落した衡陽城には米國人の姿は一名もなく一個の死體も發見されない城内にはただ米軍自慢の航空無線臺のみが取り残されわが荒鷲に挑戦した敵の報ひを甘受してゐるやうであるが、米空軍の警備隊はあくまで督戦で重慶軍と運命をともにする決死隊ではなかつたのだ

第九戰區作戦計畫押收 【湖南前線二十五日發】 衡陽陥落の少し前であつた、同市東方五十キロ安仁附近に敵の後方遮断を命ぜられた敵中深く決死潜入したわが○部隊の挺身隊は或る夜僅か○名で敵第三十七軍の司令部を襲撃、敵の機密書類多數を押收する殊勳を樹てたが、その中に「絕對秘密」の押印があつた、それを見れば去る四月四日第九戰區司令長官薛岳が各軍長を集めて對日反撃作戦會議を開き、慎重決定したといはれる敵第九戰區作戦計畫の全貌が解る、それに詳細な十數葉の地圖も附いてをり以後の我が殲滅作戦に非常に役立つたこと

△緒戦 ○新瀋河初期消耗戰、○汨羅江次期消耗戰、○長沙碎鐵保衛戰(碎鐵のやうに日本軍を引寄せろ) ○湘江沿岸反撃、防禦戰、○長沙外圍包圍殲滅戰

○追撃戰 ○撈刀河初期追撃殲滅戰 ○汨羅江次期追撃戰、○新瀋河三期殲滅戰

敵兵の動員數は十四箇師、この彈藥六百六十四萬發を醴陵僅か五ヶ所に六百四十五ヶ所に米七千四百四包、鹽二十九萬六千斤の食糧を夫々貯藏してゐたが何れも我が方に逆利用されて了つた、また我が軍を儲ました機雷は湘潭まで二千五百個で施設個所がいちいち明示してあるの

と云ふまでもない、配布番號は「〇〇二九」右肩に「第三十七軍」と墨書してある、作戦計畫といふ點から見ると實に綿密周到を極めてゐるが、飽く迄も勝利を過信し我が野戦軍の實力を侮つて反轉作戦を豫想しての計畫であり、従つて範圍も新瀋河から長沙の南、湘潭までと云ふ極めて狭い規模のものである、期間も僅か二ヶ月と斷定してゐる、併し云ふことは流石に抗日の英雄を以て任ずる第九戰區長官薛岳の方針とみて圖判斷」として

敵側情報

でその後我が方の損害は皆無となつたのである

衡陽舊市街に突入【リスボン二日發】

重慶のA・P特派員は衡陽城内の市街戦を傳へ次の通り述べてゐる

重慶軍當局は一日夜の戦況公報において衡陽市街に對し猛烈な攻撃を集める中する日本軍が五週間にわたる凄愴な戦闘の後、遂に城内の舊市街に突入したことを確認すると共に重慶軍守備隊と市街戦を展開してゐる旨發表した

衡陽の陥落迫る【リスボン四日發】

重慶のロイター通信特派員は衡陽の戦況につき三日左の通り報道してゐる

重慶軍當局は毎日夕刻定期的に戦況公報を發表するが三日に限つて深更に至るも發表しなかつた、衡陽からの最近の情報によれば戦況は重慶軍にとつて改善の兆候は少しもない、日本軍は漢口地區から更に多くの部隊を粵漢線に沿つて南方へ繰出し、衡陽に對する壓力を強化した、重慶軍の救援部隊は衡陽の外側を攻撃してゐるが依然として日本軍の包圍鐵環を突破出来ない、城内の守備部隊は現在空中補給を受けられるだけで食糧と武器、彈藥に不足を來してゐると見られる、増援部隊の到着が間に合はなければ守備部隊が城内の舊市街を持ちこたへることは困難だ

重慶軍甚大な損害【リスボン五日發】

重慶のU・P特派員は衡陽の戦況につき左の通り報道してゐる

陽の守備部隊が甚大な損害を出したことを確認した、舊市内に追ひ詰められ痛撃を受けてゐる守備部隊の將兵多数は、日本軍の銃砲撃によつて次々と絶え間なく燈され衡陽防戦の犠牲となつてゐる

衡陽の陥落日誌【リスボン七日發】

重慶のロイター通信特派員は六日、日本軍の衡陽總攻撃を認め、同市の陥落が目前に迫つてゐる旨次の通り報道してゐる

日本軍は衡陽に對し總攻撃を開始した、同市の運命はここ二十四時間内に決定する様子である、日本軍は城内に對し四日徹宵の猛砲撃を加へた後、五日には航空部隊が出勤して銃爆撃を加へ、歩兵部隊は重慶軍の諸陣地を強襲占領し、一隊は市街西南部の重慶軍守備隊を突破するに至つた

日本軍の次期進撃を臆測【リスボン十日發】

重慶のU・P通信特派員は衡陽攻略後日本軍の攻勢の方向につきき左の如く報道してゐる

重慶及び米人軍事消息筋では衡陽を攻略した日本軍が次の段階を未だ決定してゐないとして、その方向は来るべき二週間乃至一ヶ月の間に答へが出て来るものとみてゐる、ここで考へられるのは日本軍には現在三つの方向が開かれてゐるといふことだ、その第一にして明らかに最も有利な方向は廣西省の南寧を経て在支米第十四航空部隊の主要前進據點たる桂林、柳州を抜いて佛印國境のラソンソに新拠し進撃であらう、第二は湖南作戰の當初の目標と見られてゐた粵漢線の南下進撃續行、第三は衡陽の攻略を以て湖南進撃を終結し強力なる基地長沙まで後退する

粵漢線は重慶軍に破壊されてゐるのをその再建設乃至道路の構築は大きな事業であり、また桂林その他の第十四航空部隊の前進諸基地を無力化するのなければ、鐵道が再建設されても同航空隊の不斷の妨害を受けることになるので、重慶軍と米軍が最も神經を使つてゐるのは日本軍が桂林を攻略して佛印方面に向ふ企圖を持つてはなにかと言つて最も有利であるが、同時に高價な仕事でもあるので、多分實現はしないだらうとも考へられてゐる、然し、桂林—ラソンソルートは南方への最短路をなし、鐵道を以てマレー半島を南下して昭南に至る陸上ルートを提供するものである、重慶の多數の消息筋では米軍のサイパン侵攻と小笠原諸島空襲は却つて日本に桂林進撃を執行せしめるものと觀測し、一部では衡陽の陥落が粵漢線を打通して東京から昭南に至る鐵路啓開に寄與するであらうと稱してゐる

重慶衡陽失陥を確認【上海十一日發】

衡陽の陥落に關しては重慶軍當局は前線連絡社絶のため情況は一切不明であるとのみ稱しその失陥を一切隠しにしてゐるが、嚴然たる事實の前には包み切れず重慶軍事委員會は十日夜の公表で遂に衡陽の陥落を確認したと發表した、右發表は同時に衡陽守備軍についてと言及し、全員戦死をとげたが龍城軍事機關の運命については不明であると言を濁してゐる、これは、一昨日まで最後の兵一に至るまで戦つたと宣傳これ努めた手前方先覺軍長以下各師團長、參謀長等守備軍首腦を始めとする全面的

投降の事實をそのまま認める譯にもゆかず出来るだけ糊塗せんとする姑息な手段に出たものとみられる

衡陽南方に猛進撃【リスボン十四日發】A・Pの重慶特派員は衡陽方面のその後の戦況につき十四日左の通り報道してゐる

衡陽を喪失した重慶軍は同市の奪回を目指して攻撃を續けたが、日本軍はこれを撃退して衡陽を完全に確保してゐる、衡陽の遠く外周地區では激戦が続いてをり、重慶軍は重慶に幾回となく攻撃を加へ、特に衡陽の南方では反復強襲してゐる

日本軍の一部隊は未陽の西北二十九

の南方では反復強襲してゐる、日本軍の一部隊は未陽の西北二十九の地點で湘江を渡河し北方へ進撃したが、恐らく西南方から衡陽方面進撃を企圖する重慶軍を背後から捕捉しようとの作戦であらう、衡陽の北方では日本軍は湘湖の西北郊外の重慶軍諸陣地を攻撃した

衡陽陥落をひた隠し【上海二十五日發】

過般の衡陽失陥が重慶にとつて如何に拭ふべからざる痛烈な打撃であつたかは重慶當局が今日に至るも右にしてゐること又各地において衡陽、全體將兵戦歿及靈祭等を行はせてゐるが、最近では民衆の抗戰心理に與へる影響を憂慮して衡陽周邊の奪回作戦及び湖北反攻作戦開始を誇大に吹聴、更に我がミイトキーナ撤收以來漢綸戰線の進撃近しなどと大に宣傳中央社にてゐる、また二十四日は重慶に中央社電によれば重慶當局は昨廿四日全國慰勞總會及び重慶市をして目下歸國中の駐印重慶軍副司令官鄭洞國の歡迎會を開催せしめ、賀耀祖市長始め重慶市要人總出で大歡

迎ぶりを示し、席上鄭司令に従軍記念指輪、ハンカチを贈ると同時にスチルウェルに對しても「同船共濟」と書込んだ磁器製品を贈り、重慶軍の勝利を宣傳すると共に米支合作の効果を印象づけんとしてゐる、而してこれらは衡陽陥落を國民の腦裏から抹殺せんとする努力の現れに他ならない、事實は却つて一層深刻な印象を與へることにあらう

前衛據點防衛に大重【廣東廿五日發】

敵第九戰團の牙城衡陽陥落以來重慶側は今後の皇軍の動向に多大の脅威を感じつつその成行を見守つてゐる模様であるが、粵漢線打通必至と見る重慶は湖南方面皇軍の南進は時間の問題として韶關及び桂林梧州等の前衛據點の防衛に大重となつてゐる

即ち最近當地に達した情報によれば廣西戰區司令官張發奎は七月中旬桂林防衛のため桂林城防司令部を廣西綏靖主任公署内に設置し、同司令には集團軍副總司令韋雲清を任命したしかして彼は桂林防空疎散委員會の協力のもとに市民の強制疎散を強行疎散證を發行して青年團戰時服務隊隊員をしてこれが實施に懸念となし、既に千五百軒に及ぶ大中商社を移轉せしめてゐる、一方軍事委員會廣西船舶總隊は桂林をはじめ梧州、平業等に辨時處を特設して列車に收容し得ざる避難民及び物資の運搬に躍起となつて居り更に西南輸入物資督軍委員會は桂林並にその附近一帯に集積中の物資を他に疎散すべく六百臺のトラックを桂林に移送するなど大重になつてゐる、又現在桂林には文化人が移住し常に重慶の政治施設を難詰してゐるが、大多數の市民がこれに共鳴してゐるので檢察當局

では皇軍の進撃を契機として、これら文化層の動搖を恐れ連日に互り市監視の検査、或は各種團體の行動を監視し、又市民の集會を嚴禁する等極端なる彈壓を加へてをり、皇軍の進撃に怯える重慶當局の風聲鶴唳の狼狽ぶりは市民の嘲笑と反感をいやが上にも買つてゐる

奉陽の重慶軍を猛攻【廣東廿六日發】

湖南の要衝衡陽を攻略後、粵漢線及び湘桂線をそれぞれ進撃中の我が軍はその後優位なる進撃態勢を整へ順調な快進撃を續行してゐる模様であるが、二十五日の重慶中央社電によれば重慶軍發言人少將曾慶極は記者團會見において湖南戦況について大要次の如く發表した

過去一週間湖南各地においては激戦が續行されたが、重大なる發展は認められぬしかし、衡陽から南方湖桂鐵路線上においては彼我死闘が演ぜられ未陽東西の線に於ける重慶軍は日本軍の猛攻を受けつつあり、安仁、茶陵及び醴陵郊外でも戦闘が展開中である

大陸作戦の重要性を認む【リスボン廿二日發】

紙の重慶特派員は湖南の戦局につき次の通り報告してゐる

日本軍が東部支那全域作戦を放棄した兆候は重慶では認められない、日本軍は長沙以南に大兵力を擁してをり、若し日本軍が更に南方へ進撃する意圖でなければ現在までに湘郷から萍鄉を経て南昌へと東西に走る南萍鐵道の線まで後退してゐる筈である、然るに日本軍は在支米軍第十四航空部隊の間斷なき妨害攻撃を冒して長沙から南へ走る各道路の完成と補給物資の集積を進めつつあり、ま

た兵力の重點を湘江の東側から西側へ移して桂林、柳州への進撃態勢を示してゐる、日本軍が粵漢線の占領とは別に、南方へ進撃すれば米軍航空隊を雲南省に閉ぢ込めることとなり雲南における米軍航空隊の攻撃力は可なり減殺されよう、この點から米軍の支那大陸上陸計畫を検討すれば、米軍海兵隊と陸軍部隊は近接地を基地とする航空機の利點と、重慶正規軍の掩護なしに、支那沿岸に上陸しなくてはならない、米國太平洋艦隊司令部が重慶軍からどれだけの援護を期待し得るかは既に算定済みであることは疑ひないが、現在の狀態では餘り大きな期待はかけられないであらう、然し太平洋機動部隊の壓倒的火力は如何なる場所にも最少限度の犠牲で上陸を可能とするかも知れない、しかし東南支那における現在の情勢には色々と迷はれる局面が強くない、日本軍は廣東地區に充分強大な兵力を持つてゐながら北進進撃は兵力に相應する程全面的ではなく、未だに粵漢線の完全な占領を企ててゐない、衡陽の重慶守備部隊が四十七日間にわたつて抵抗し、第十四航空部隊もまた日本軍の補給線を攪亂したと言ひながら、日本軍が再び進撃を開始する前に長い期間をとつてゐるのは解し難いことである、重慶軍の示した抵抗と第十四航空部隊の妨害とは今後日本軍の行手に横はるだらうが、五月に開始された日本軍の攻勢は日本軍にとつては最も重要な作戦である、重慶の軍事力の一切が雲南、四川等の西部各省に閉ぢめられるならば、日本軍にして、支那の東部全地域の防禦を比較的自由に組織させることにな

重慶軍司令部發表表戦況

【リスボン廣東發】重慶來電

【四日】日本軍は衡陽城内の重慶軍守備陣地に對し二日夜猛烈な夜襲を加へ重慶軍守備部隊は必死に防戦したが、日本軍は更に三日夜次から次々と連續する波狀攻撃を加へ戦闘は市街の西南部が特に激烈であつた以上の戦闘で衡陽の守備部隊は多數の死傷者を出した、一方日本軍の二部隊は安仁の西方から南下して未陽の北方地區を攻撃し、重慶軍はこの阻止に努めると共に、安仁の郊外で激戦を續けてゐる、江西省境の萍鄉では目下なほ市街戦が續いてゐる

【六日】衡陽の戦闘は最も熾烈な段階に突入した、衡陽外部の日本軍砲兵隊は四日夜重慶軍諸陣地に對し山砲、野砲を以つて連續的に猛砲撃を加へ、砲弾は徹宵重慶軍陣地に雨と降り注いで炸裂し續けた、この間、日本軍歩兵部隊は衡陽城内の守備部隊に對し攻撃を加へ、或いは陣地を強襲占領し、特に城内の守備部隊は日本軍を激撃して、壯烈な激戦を交へた、越えて五日には〇〇機以上の日本機が衡陽上空を飛翔して地上部隊を掩護し、この時日本軍の一隊は市街西南部の重慶軍諸陣地に突入した目下戦闘は衡陽の全戦線では進展してゐる

方面でも戦闘が行はれてゐるが、目下戦況には何等の變化もない、廣東方面では廉江城外及び化縣西南地區において激戦が行はれてゐる

【七日】

湘潭、衡山方面から續々増援部隊を得た日本軍は引續き五日夜猛烈な砲撃の掩護下に衡陽市内内外の前面陣地に徹宵猛攻を加へ城内守備軍との間に空前絶後の血戦が展開されてゐるが、六日拂曉日本軍一部は遂に衡陽北陣地にも突入した一方市街西南部重慶軍陣地の強力部隊との間に高地を繞り壯烈な爭奪戦が依然續行されてゐる、その他蓮花茶陵、未陽、安仁南方、湘郷、寧郷

【八日】蔣介石は八日朝衡陽を保留した第十軍長方先覺よりの通報を受け、右は七日午後七時發信されたもので、方先覺と蔣傑及び三師長の署名があり、文面は左の通りである「日本軍は今朝市街に突入し來たり市街戦が勃發した、我が部下は事實上最後の兵に至るまで戦死した、余は軍人の責務に従ひ最後まで死守して後遺れる覺悟である、余はこれが貴下に對する最後の通報となるものと思ふ」

【九日】日本軍は八月四日來衡陽に對し猛攻撃を續行してゐるが、七日遂に市内中央部深く突入するに至つた、防衛軍司令官第十軍長方先覺は蔣介石に對し最後の打電をなし更に激烈な市街戦のち八日遂に陥落したのである、日本軍は直ちに前進を始めるとは考へられないが、今後更に南進して粵漢線の打通を圖るか、或は東南方に進んで米空軍の基地群を攻撃するであらう

【十五日】

衡陽外周の戦闘は十四日も終日續いたが、重慶軍の損害は輕微であつた、増強された日本軍部隊は攸縣附近で重慶軍を攻撃し、戦闘は十四日夜を徹して續いた

【廿三日】衡陽地區の日本軍は二隊に分れ、一隊は衡陽西北約四十キロの渣江に、また一隊は衡陽西北約三十キロの地點をそれぞれ進撃中である、また中部浙江地區の日本軍は武義より東南方に進撃を開始、所在の重慶軍と激戦を展開中である

【廿五日】二十五日重慶軍の一部が

湖北省の日本軍基地宜昌方面に對し【南支前線三日發】七月末以來重慶...

【廿七日】漢口と揚子江北方の河南戰線で長らく沈黙してゐた日本軍は...

【廿八日】衡陽地區では廿六、七の兩日引續き戰鬪が續行され殊に湘鄉...

【三十日】一、衡陽外周の日本軍は廿八日夜來衡陽東南株木冲以東地區...

激戰が展開されてゐるが、耒陽附近の戰鬪は何等變化はない、安仁南方及び西方でも戰鬪が繰返されてゐる...

南支北上作戰

敵韶關防衛に必死

【南支前線三日發】七月末以來重慶第七戰區に鐵滅的打撃を與へつつある...

航空戰

桂林、柳州、芷江進攻航空戰果

大木營發表(昭和十九年八月三日十五時) 支那方面の我航空部隊は七月二十九日...

建甌滑走路爆撃

△廿五日

遂川夜間の爲戦果不明

贛州夜間小型一機

△廿七日

零陵夜間の爲戦果不明

芷江夜間大型一機、撃破小型五機

△廿八日

柳州夜間大型六機、撃破大型一機

恩施二箇所炎上

梁山夜間の爲戦果不明

△廿九日

桂林撃破炎上二十一機、一箇所爆

梁山炎上小型二機、二箇所炎上

△三十日

恩施炎上小型五機、撃破小型二機

自動貨車二輛撃破、六箇所炎上

遂川二箇所炎上

雷州半島に活躍

【大陸基地八日發】二日拂曉我が急

降下爆撃隊は地上部隊の進撃に先立

つて遂溪北方十キロ馬頭嶺敵正面陣

地トチカ群に對し風潰しの猛爆を

加へた他、同地東方十キロ良洞壩附

近に蟻集せる敵兵を爆砕したが、翌

三日は引續き良洞壩西北八キロ赤嶺

附近陣地を痛撃し、更に四日拂曉地

上部隊の廉江攻撃に際しては同地方

高地の敵陣を反復攻撃、それに巨彈

を投じ敵の抵抗企圖を粉碎するなど

地上部隊の巧妙な進撃路に沿つて猛

威を發揮した、この間米空軍機動基

地たる丹竹は同方面より極めて短距

離にあるにもかかわらず敵機は我が

重なる強襲に居たたまらなくなつた

ものか戦場附近には遂に一回も姿を

見せず、我が荒鷲の蹂躪に委せた

不時着のB29を討取る

【大壩基地十二日發】十一日わが本

土官爆を終へて歸還の途に就いたB

29の一機は本土強襲中に被弾したた

めか大陸上空において遂に出発した

成都附近に歸り得ず、西安東方百料

の華陰飛行場不時着し巨體を滑走

路に横たへた、この日敵機を求めて

飛ぶ新司令官から、飛電一下、手具匣ひ

いて待ち受ける鐘鬼戦隊は直に離

陸、霧らに華陰目指して飛ぶ、だが

華陰は西安を去るわずかの距離だ、

敵は早くもそこから戦闘機隊を飛ば

して上空にわが鐘鬼の追撃を待ち受

けてゐた地上のB29を睨みつけて機

關砲を浴びせんとするわが機、させ

衡陽、新提の空中戦

【大陸前線基地九日發】

地上の敵軍

が遂に白旗を掲げた八日午前衡陽上

空を哨戒中のわが軍部隊は折柄侵入

して来たP40二十數機を發見、直ち

に激戦を交へた、この戦闘で

撃破七機、撃破二機の戦果を挙げた

わが方軍も三機未機遭の尊い犠牲

を出した、更に同日午後湖北省南方

の新提上空で軍機部隊は再び交戦し

たP40十數機を發見これと交戦し

三機を撃破、わが方は全機歸還した

投降兵に鬼畜の爆撃

【大陸前線九日發】

衡陽陥落の八

日向上空を哨戒中の我が荒鷲は珍ら

しくも敵戦闘機P40に掩護され出撃

して来た爆撃機B25の編隊とぶつか

つたが若鷲達は良き獲物ご参なれと

ばつたりその巨體目掛けて殺到して行

つた、敵機は四十數機我が方はこれ

に較べると僅かQ機、猛然と突込む

我が荒鷲の攻撃も多勢を頼むP40の

掩護に守られて中々近寄れない、B

25の編隊は衡陽上空を小面憎い旋回

飛行を續けてゐる、突然敵機胸腹よ

り黒い煙が糸をひくやうに投下され

れば驚ては無念の齒をかみ、空中戦

軍の合戦を見て城内を見下すと意外

に降るため長蛇の列をつくつてゐる

敵の爆撃は城内より續々と我が軍門

に降り注がれてゐる、數十人の投

降兵が一個の爆彈でまるで跡方やな

く吹き飛ば、一群を終れば又他の一

群を全く戦意を喪失した武器なき投

降兵に爆撃は續けられた

衡陽市内官爆【衡陽に於て十五日發】

敵在支米空軍は衡陽の陥落直後の九

日午後二時半頃B25四機、B24二機

三十分發表)

【上海三日發】二十九日午後十一

時頃敵機數機はまた上海地區に侵入

したが敢然たる我が防空態勢に何等

爲すところなく遁走した、右に關し

陸海軍報道部は午前一時三十分左の

如く發表した

【上海陸海軍報道部三十日午前一時

三十分發表)

【武漢地區】大陸前線基地廿一日發】

二十九日二十三時頃敵機數機上海地

區に侵入せるも、我が防空砲火によ

りこれを遁走せしめたり、我が方損

害なし

【北京八日發】三日午

後八時B25二機が京漢線黃河鐵橋附

近を襲つたが、地上部隊の防空砲火

に阻まれ巨砲を投じたのみで遁走し

た、尙うち一機は我が被弾のため賽

子街(洛陽西南方廿五キロ)附近に

おいて墜落、機體並に乗員屍體は我

が警備隊員に收容された

【大陸基地十一日發】十一

日未明三度日本本土を襲つた敵空軍

は今回も亦前二回と同じく同夜(正

確には十日午後九時半頃)廣東地區

に對し陽動的な遊撃を行つたが我が

峻烈なる警戒の爲同市街及び附近に

侵入し得ずして遁走した

【大陸基地十八日發】在支

米空軍は十七日午後二時過ぎ戦爆連

合廿數機を以て九江地區に來襲した

が、我が戦闘隊は直ちにこれを遊撃

し壯絶な空中戦を交へB25、P51各

一機を撃破し、對空部隊によりB25

三機、B24一機を撃破、合計B24一

B25四、P51一の六機撃破の戦果が

擧つた、我が方地上施設に輕微なる

損害を受けたのみ

【南京廿九日發】廿九日午

後零時十五分頃在支米空軍のP40四

機が蕪湖上空に侵入したが、わが航

空部隊及び對空砲火の熾烈な反撃に

遭ひ忽ちにしてその一機を撃破、一

機を撃破され、残りの二機も倉皇と

して遁走した、なほ撃破敵機に搭乗

の米人將校一名は落下傘によつて揚

子江上に着水し、わが方の捕虜とな

つた

廿九日午後零時五十分敵在支米空軍
戦機連合四十數機武漢地區に來戦
我が戦隊は時を移さずこれを邀撃
我が數機にして忽ち敵戰機P40三
機、P51一機撃墜、P40四機、P51
一機を撃破、爆撃機B24四機を撃破
する戦果を挙げた、我が猛攻に遭つ
て慌てふためいた敵爆撃機は洞庭湖
上に首領を投じ倉皇として遁走した
が我が方にも二機未歸還の尊い犠牲
を出した

北支

【濟南十四日發】 わが諸部
隊、山東省内地に残存匪の肅清
討伐情況次り通り
△原口討伐隊 山東省西方河北省境
葦縣周邊に集く、冀南軍區第七分區
第二十二團その他が葦縣西方十五軒
張魯集一帶を藪動の氣配あるを察知
十日未明先制攻撃を開始し同匪の一
部約二百名を張魯集北方二軒の地點
に捕捉包圍猛攻してこれを潰亂せし
め引續き附近一帶を掃蕩中である、
わが方に收容せる屍體五十、捕虜三、
鹵獲品小銃三十二、同彈六百、迫撃
砲三、擲彈筒四、拳銃五その他多數
△坂本討伐隊 去る四日拂曉泰安道
新泰縣城南方十三軒の高庄附近に
敵匪潜入の報に接して出動、逃走す
る同匪を追撃、その一部を捕捉攻撃、
又坪井討伐隊もこれに呼應同縣城東
方二十軒上温村附近で土匪を捕捉攻
撃潰走せしめた、わが方に收容せる
敵屍十、鹵獲小銃二、その他多數

【濟南十四日發】 わが諸部
隊、山東省内地に残存匪の肅清
討伐情況次り通り
△原口討伐隊 山東省西方河北省境
葦縣周邊に集く、冀南軍區第七分區
第二十二團その他が葦縣西方十五軒
張魯集一帶を藪動の氣配あるを察知
十日未明先制攻撃を開始し同匪の一
部約二百名を張魯集北方二軒の地點
に捕捉包圍猛攻してこれを潰亂せし
め引續き附近一帶を掃蕩中である、
わが方に收容せる屍體五十、捕虜三、
鹵獲品小銃三十二、同彈六百、迫撃
砲三、擲彈筒四、拳銃五その他多數
△坂本討伐隊 去る四日拂曉泰安道
新泰縣城南方十三軒の高庄附近に
敵匪潜入の報に接して出動、逃走す
る同匪を追撃、その一部を捕捉攻撃、
又坪井討伐隊もこれに呼應同縣城東
方二十軒上温村附近で土匪を捕捉攻
撃潰走せしめた、わが方に收容せる
敵屍十、鹵獲小銃二、その他多數

【濟南十四日發】 わが諸部
隊、山東省内地に残存匪の肅清
討伐情況次り通り
△原口討伐隊 山東省西方河北省境
葦縣周邊に集く、冀南軍區第七分區
第二十二團その他が葦縣西方十五軒
張魯集一帶を藪動の氣配あるを察知
十日未明先制攻撃を開始し同匪の一
部約二百名を張魯集北方二軒の地點
に捕捉包圍猛攻してこれを潰亂せし
め引續き附近一帶を掃蕩中である、
わが方に收容せる屍體五十、捕虜三、
鹵獲品小銃三十二、同彈六百、迫撃
砲三、擲彈筒四、拳銃五その他多數
△坂本討伐隊 去る四日拂曉泰安道
新泰縣城南方十三軒の高庄附近に
敵匪潜入の報に接して出動、逃走す
る同匪を追撃、その一部を捕捉攻撃、
又坪井討伐隊もこれに呼應同縣城東
方二十軒上温村附近で土匪を捕捉攻
撃潰走せしめた、わが方に收容せる
敵屍十、鹵獲小銃二、その他多數

【太原十七日發】 山西現地軍の七月
中における肅清討伐隊の綜合戦果は
左の如くである、この中には最近目
立つて積極的な戦闘を繰返す中國
側軍隊の戦果も加はつてをり、省民
の信頼感を昂めてゐる、中でも李部
隊は七月廿二日沁縣東方鮑家峪附近
で敵決死第九團死傷五十を捕捉、我が
方に收容の遺棄死體八、捕虜三、小
銃二、小麥多數を鹵獲、また三十日
には我部隊が瀋安東南方古郊村に獨
立隊約三百を巧みに誘ひ込み、我が
方に收容の遺棄死體二十、捕虜一、
小銃四の戦果を挙げた、なほ鹵獲品
により敵側裝備の貧困さが察せられ
るが、從來敵匪とともに逃亡するか
或は傍觀的であつた村民が自國軍隊
の勇氣と軍規に感激し全面的に協力
してゐることは注目すべき類もしい
傾向といへやう

【太原十七日發】 山西現地軍の七月
中における肅清討伐隊の綜合戦果は
左の如くである、この中には最近目
立つて積極的な戦闘を繰返す中國
側軍隊の戦果も加はつてをり、省民
の信頼感を昂めてゐる、中でも李部
隊は七月廿二日沁縣東方鮑家峪附近
で敵決死第九團死傷五十を捕捉、我が
方に收容の遺棄死體八、捕虜三、小
銃二、小麥多數を鹵獲、また三十日
には我部隊が瀋安東南方古郊村に獨
立隊約三百を巧みに誘ひ込み、我が
方に收容の遺棄死體二十、捕虜一、
小銃四の戦果を挙げた、なほ鹵獲品
により敵側裝備の貧困さが察せられ
るが、從來敵匪とともに逃亡するか
或は傍觀的であつた村民が自國軍隊
の勇氣と軍規に感激し全面的に協力
してゐることは注目すべき類もしい
傾向といへやう

【太原十七日發】 山西現地軍の七月
中における肅清討伐隊の綜合戦果は
左の如くである、この中には最近目
立つて積極的な戦闘を繰返す中國
側軍隊の戦果も加はつてをり、省民
の信頼感を昂めてゐる、中でも李部
隊は七月廿二日沁縣東方鮑家峪附近
で敵決死第九團死傷五十を捕捉、我が
方に收容の遺棄死體八、捕虜三、小
銃二、小麥多數を鹵獲、また三十日
には我部隊が瀋安東南方古郊村に獨
立隊約三百を巧みに誘ひ込み、我が
方に收容の遺棄死體二十、捕虜一、
小銃四の戦果を挙げた、なほ鹵獲品
により敵側裝備の貧困さが察せられ
るが、從來敵匪とともに逃亡するか
或は傍觀的であつた村民が自國軍隊
の勇氣と軍規に感激し全面的に協力
してゐることは注目すべき類もしい
傾向といへやう

【張家口十七日發】 蒙疆地區七月中
におけるわが所在部隊の綜合戦果次
の如し
△交戦回数九三△交戦敵兵力九、九
六九△捕虜六七△我が方に收容せる
敵屍體三一△鹵獲品(小銃六三、
同彈藥八二七、輕機一、手榴彈一五
四)その他多數
【張家口十七日發】 蒙疆地區七月中
におけるわが所在部隊の綜合戦果次
の如し
△交戦回数九三△交戦敵兵力九、九
六九△捕虜六七△我が方に收容せる
敵屍體三一△鹵獲品(小銃六三、
同彈藥八二七、輕機一、手榴彈一五
四)その他多數

【張家口十七日發】 蒙疆地區七月中
におけるわが所在部隊の綜合戦果次
の如し
△交戦回数九三△交戦敵兵力九、九
六九△捕虜六七△我が方に收容せる
敵屍體三一△鹵獲品(小銃六三、
同彈藥八二七、輕機一、手榴彈一五
四)その他多數
【張家口十七日發】 蒙疆地區七月中
におけるわが所在部隊の綜合戦果次
の如し
△交戦回数九三△交戦敵兵力九、九
六九△捕虜六七△我が方に收容せる
敵屍體三一△鹵獲品(小銃六三、
同彈藥八二七、輕機一、手榴彈一五
四)その他多數

【張家口十七日發】 蒙疆地區七月中
におけるわが所在部隊の綜合戦果次
の如し
△交戦回数九三△交戦敵兵力九、九
六九△捕虜六七△我が方に收容せる
敵屍體三一△鹵獲品(小銃六三、
同彈藥八二七、輕機一、手榴彈一五
四)その他多數
【張家口十七日發】 蒙疆地區七月中
におけるわが所在部隊の綜合戦果次
の如し
△交戦回数九三△交戦敵兵力九、九
六九△捕虜六七△我が方に收容せる
敵屍體三一△鹵獲品(小銃六三、
同彈藥八二七、輕機一、手榴彈一五
四)その他多數

【南支前線七日發】 雷州半
島北部遂溪東方に蟄居する敵第七團
第四百五十五師及第四百六十五團
を潰滅せしむべく八月一日早朝を期
し荒鷲の協力の下に行動を起した南
支軍は同日午前九時早くも敵が堅壘
を誇る馬頭嶺の陣地を占領、二日後
背塘、三日良河堤、西朗、赤嶺等を
相次いで攻略、二千數百の敵を蹴散
らして敵の據點たる廉江に突入、翌
四日午後二時市内に抵抗を試みてゐ
た約八百の敵を潰滅、同夜十二時三
十分これを完全に占領した、この作
戦における戦果次の通り
△敵屍五八〇△捕虜四一△鹵獲品
重機四、輕機八、小銃一五〇、手榴
彈約一千、その他兵器彈藥多數
敵據點安鋪占領【南支前線十二日發】
去る四日第六百五十五師第四百六十
三、第四百六十四、第四百六十五の
各團を撃破した我が南支軍精銳部隊
は鐘を轉じて九日早朝雷州半島に今
なほ蠢動を續けつつある敵南路挺身
隊隊並に第四百五十五團及び保安團
の一部八百名餘りの根拠地たる安鋪
並に橫山城を強襲、一舉にこれを撃
碎同日午前九時半完全に攻略した、
敵はかた安鋪を據點として北海その
他から戒兵によつて軍需物資を集積
し或は不逞なる蠢動を續けてゐたも
ので今次敵の潰滅は雷州半島一帯の
住民に安居樂業を齎らすものとして

【南支前線七日發】 雷州半
島北部遂溪東方に蟄居する敵第七團
第四百五十五師及第四百六十五團
を潰滅せしむべく八月一日早朝を期
し荒鷲の協力の下に行動を起した南
支軍は同日午前九時早くも敵が堅壘
を誇る馬頭嶺の陣地を占領、二日後
背塘、三日良河堤、西朗、赤嶺等を
相次いで攻略、二千數百の敵を蹴散
らして敵の據點たる廉江に突入、翌
四日午後二時市内に抵抗を試みてゐ
た約八百の敵を潰滅、同夜十二時三
十分これを完全に占領した、この作
戦における戦果次の通り
△敵屍五八〇△捕虜四一△鹵獲品
重機四、輕機八、小銃一五〇、手榴
彈約一千、その他兵器彈藥多數
敵據點安鋪占領【南支前線十二日發】
去る四日第六百五十五師第四百六十
三、第四百六十四、第四百六十五の
各團を撃破した我が南支軍精銳部隊
は鐘を轉じて九日早朝雷州半島に今
なほ蠢動を續けつつある敵南路挺身
隊隊並に第四百五十五團及び保安團
の一部八百名餘りの根拠地たる安鋪
並に橫山城を強襲、一舉にこれを撃
碎同日午前九時半完全に攻略した、
敵はかた安鋪を據點として北海その
他から戒兵によつて軍需物資を集積
し或は不逞なる蠢動を續けてゐたも
ので今次敵の潰滅は雷州半島一帯の
住民に安居樂業を齎らすものとして

【南支前線七日發】 雷州半
島北部遂溪東方に蟄居する敵第七團
第四百五十五師及第四百六十五團
を潰滅せしむべく八月一日早朝を期
し荒鷲の協力の下に行動を起した南
支軍は同日午前九時早くも敵が堅壘
を誇る馬頭嶺の陣地を占領、二日後
背塘、三日良河堤、西朗、赤嶺等を
相次いで攻略、二千數百の敵を蹴散
らして敵の據點たる廉江に突入、翌
四日午後二時市内に抵抗を試みてゐ
た約八百の敵を潰滅、同夜十二時三
十分これを完全に占領した、この作
戦における戦果次の通り
△敵屍五八〇△捕虜四一△鹵獲品
重機四、輕機八、小銃一五〇、手榴
彈約一千、その他兵器彈藥多數
敵據點安鋪占領【南支前線十二日發】
去る四日第六百五十五師第四百六十
三、第四百六十四、第四百六十五の
各團を撃破した我が南支軍精銳部隊
は鐘を轉じて九日早朝雷州半島に今
なほ蠢動を續けつつある敵南路挺身
隊隊並に第四百五十五團及び保安團
の一部八百名餘りの根拠地たる安鋪
並に橫山城を強襲、一舉にこれを撃
碎同日午前九時半完全に攻略した、
敵はかた安鋪を據點として北海その
他から戒兵によつて軍需物資を集積
し或は不逞なる蠢動を續けてゐたも
ので今次敵の潰滅は雷州半島一帯の
住民に安居樂業を齎らすものとして

【リスボン七日發】 重慶來
電、重慶軍當局は六日の戦況公報に
おいて日本軍が廣東省の雷州半島で
も攻勢に出でる旨の通告發表し
た
日本軍は廣東省西南部雷州半島の遂
溪周邊に大増援部隊を派遣した後、
三日正午頃重慶軍諸陣地に對し航空
敵掩護のもとに攻撃を開始した、日
本軍の一隊は遂溪から街道に沿つて
北上し、遂溪北方三十軒の石城(廉
江)に向けて進出し第一線の戦闘は
目下同市の外廓で展開されてゐる

【リスボン七日發】 重慶來
電、重慶軍當局は六日の戦況公報に
おいて日本軍が廣東省の雷州半島で
も攻勢に出でる旨の通告發表し
た
日本軍は廣東省西南部雷州半島の遂
溪周邊に大増援部隊を派遣した後、
三日正午頃重慶軍諸陣地に對し航空
敵掩護のもとに攻撃を開始した、日
本軍の一隊は遂溪から街道に沿つて
北上し、遂溪北方三十軒の石城(廉
江)に向けて進出し第一線の戦闘は
目下同市の外廓で展開されてゐる

【リスボン七日發】 重慶來
電、重慶軍當局は六日の戦況公報に
おいて日本軍が廣東省の雷州半島で
も攻勢に出でる旨の通告發表し
た
日本軍は廣東省西南部雷州半島の遂
溪周邊に大増援部隊を派遣した後、
三日正午頃重慶軍諸陣地に對し航空
敵掩護のもとに攻撃を開始した、日
本軍の一隊は遂溪から街道に沿つて
北上し、遂溪北方三十軒の石城(廉
江)に向けて進出し第一線の戦闘は
目下同市の外廓で展開されてゐる

東南アジア

北タイ國境戦況
【バンコック四日發】 タイ
國宣傳局は北タイ國境方面
(舊ビルマ領シヤンステ
ー)の戦況につき三日左の如く發表
した
サハラ・タイムム東北部地區に駐屯
中のタイ國軍偵察隊は七月十四日午
前十時頃機銃二挺を有する約一個小
隊の敵と約一時間に互つて交戦、こ
れを撃退した、我が方に損害なし

ビルマ戦線

緬甸方面戰況

大本營發表(明治十九年八月十二日十五時三十分)

緬甸方面目下の戰況次の如し
一、南部印緬國境方面

二、中部印緬國境方面
三、北部緬甸方面

四、怒江方面
五、各要衝を確保し

六、對し其の滇緬公路打通企圖を封殺しつあり

七、戰鬪經過
八、太平洋戰線

九、那大陸戰線
十、場をなすビルマ戰線

十一、十二日大本營から發表された

十二、連日沛然たる季節雨が降りしきり

の結果に基き、米英蔣の聯合軍を以て、ビルマを奪回することによつて

我が南方資源圏を脅かすと共に、レド公路を打通し

大陸の對日戦力を飛躍的に昂揚し、以て日本歴代の挾撃態勢を獲得しよ

うとし、その反攻は太平洋からする反攻に策應して、愈々激化の一途を

辿つてゐる、我が軍はあくまでもこの敵企圖を破挫すべく、寡兵と状況

の不利を忍んで、善戰敢闘の限りを盡し、これを對應することが何よ

りも肝要である

○北部ビルマ戰線
北部印緬國境より、レド公路打通を目指して出撃し

た米英蔣聯合軍に對し、我が軍はこれをフリーコン地区に於て邀撃したが

敵は空中補給により糧食彈薬を補給しつ、我が陣地の兩側山地を濫過

し南下してきたので、彼私の態勢上我が軍は敵に甚大な損害を與へつ

つ逐次後退し、現在モガウン西方ビルマ鐵道北側の新陣地について、敵と

その優勢なる空軍であつた、空中兵

站線を以て、無限に物量を注ぎこむ敵の戦法が、我が第一線將兵を如何

にも切齒扼腕せしめたか、想像に絶するも太平洋、支那大陸戰線に於ても

空軍の活動範圍が、直接戰鬪参加に止まらず、交通線遮斷、空中兵站活

動にまで擴大された近代戰の實相を直視し、これに對應することが何よ

りも肝要である

○怒江戰線
同方面の我が部隊は、拉孟、騰越、龍陵、平戛等の要點を

確保し、これら要點に蝟集し來る六ヶ軍十數ヶ師の敵を邀へて奮戰、敵

に多大の損害を與へ、そのレド公路打通企圖を粉碎してゐる、同方面の

敵の損害は夥しい數に上り、敵各師共に既に戦力半減に低下してゐる實

狀である

○鐵道部隊の奮戰
以上の如き激烈なる彼我決戰の蔭に、我が鐵道部隊

も多大の感銘を與へ、蔣介石は先般

全重慶軍に對しミイトキーナ及び怒江戰線の我が軍の敢闘振りを激稱し

最後の兵に至るまで、その任務を死する烈々たる日本軍の信念と、そ

の勇戦敢闘たるは、以て重慶軍の範としなければならぬ、重慶軍將兵現

れの戰鬪振りは、これら日本軍に對し、まさに慙死すべきであるといふ

意味の訓示を與へており、これを以て見ても、我がミイトキーナ守備部

隊が如何に勇戦敢闘したかが窺はれる

○航空作戰
我がビルマ方面航空部隊は、約九百機に上る優

勢なる敵の第一線機を相手とし、地上戰鬪に形影一體の協力を行ふと共に

、或ひは邀撃に或ひは進攻に、文字通り不眠不休の戰鬪を續けてゐる

米空軍新爆彈使用
【廣東十二日發】重慶中央社電によれば米空軍はビルマ前線に於て日本

軍の補給路、橋梁等を破壊するため米本國に於て應急的大量生産したる尖頭式爆彈を使用してゐるといはれる

これは從來使用してゐた時限性爆彈が投下後弾力性のために目標物より

はるかに離れた地點で爆發し目的を果し得なかつた缺點を補つたもので

爆彈の先端を鋭く切り削り目標物に完全に突き刺し數秒後に爆發せしめる仕掛になつてゐる

敵損害小出發表
【リスボン一日發】ロンドン來電に英國陸相グリッグは一日下院におい

て去る一月から六月三十日現在ビルマ戰線における反樞軸軍の(インド人及び西アフリカ人を含む)損害を

次の通り小出しに發表した

戦死 五、九一八人
負傷 一九、九一六人
行方不明 二、五九四人
合計 二八、四二八人

作戦の遅延を陳
【ストックホルム二十五日發】ロンドン來電に東南アジア反樞軸軍司令

官マウントバツテンは英國軍首腦と協議のためロンドンを訪問最近イン

ドに歸任したが、彼がロンドン滞在中新聞記者團に與へた會見談が二十

五日一般に發表された、この會見談ではビルマ作戰が豫期通り進捗し

ないことに對する一般の非難に應へ

次の通り陳辯した
東南アジア戦區には當初多くの上陸
用舟艇が送らることとなつてゐた
が、歐洲戦域におけるアンチオ及び
北佛上陸作戦のためこれらの舟艇が
全部この方面にまはされてしまつた
結果、東南アジア軍は手持の舟艇の
みで作戦を繼續しなければならなかつた、ビルマ戦線はその長さ七百哩
にわたりこの點では世界全戦線にお
いて東部戦線につぐ長大な戦線であ
り、しかも日本にとつてはビルマは
飽くまでも戦略的に防衛しなければならぬ地域であり、また反樞軸軍
としても重慶への輸送路を獲得するた
めには是が非でもビルマを奪回しな
ければならぬ、この戦線で反樞軸軍
は日本軍に對して多大の損害を與へ
たが、こちらの損害も甚大に上り、
本年に入つてからも戦死約一萬、
行方不明三千に上つた、更にマラ
ア病患者は廿五萬にも上つたが、そ
の後醫療隊の努力で患者数は四十
も減少し、また患者の九十%までは
約三週間で勤務に服し得る程度に恢
復した、一方海軍では英國東洋艦隊
は印度海軍をはじめ米國、フランス、
オランダ諸艦隊の援助をうけたが特
に印度海軍は最近著しく増強されて
ゐる。

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

【米軍高射砲隊出動】
【リスボン十二日發】重慶
米軍の地上部隊が参加し
てゐることが明かとなつた、即ち重
慶軍當局は十日の戦況公報において
「支那の地上戦闘に参加する米軍部
隊、米軍高射砲隊が、西部雲南の松
山(怒江渡河點附近)の陣地に據る
日本軍を攻撃する重慶軍の掩護行動

越に對する攻撃には、米國製の最新型の火焰放射器を重慶兵に使用して「素晴らしい効果を擧げた」と稱してゐるが、重慶兵はこの新兵器の操作に未だ馴れないらしく、U・P通信の從軍記者は三十日の報道で、この兵器による火傷事故が起きたことを次の様に傳へてゐる

記者が騰越の外側で米人連絡將校と立話をしてゐる所へ、支那人の一、中尉が運ばれて来たが見ると彼は顔の右半分に物凄い大火傷を負つてゐた、説明によると、この中尉は未經験の火焰放射器を指揮して、日本軍の特火點を三十碼離れた所から除去しようとしてゐたところが、前日戦死した三人一組の放射器の代りに急いで補充された若い支那兵が、この放射器の操作を間違つて、日本兵の特火點を焼拂ふ代りに、味方の陣地に猛火をぶつかけ、六名の支那兵をばりばりに焼殺してしまひ、この中尉だけが助かつたのは全く運がいいと言ふことだつた

敵は騰越と龍陵が雲南における日本軍の最大基地で、これを奪回しなくては印支陸上ルートは打通出来ないことを報道してゐるが、在支第十四航空部隊は暗闇を見ては重慶軍は武器彈藥糧食を投下し、日本軍に爆撃を加へ最近では印度の第十航空部隊まで騰越に出勤して騰越龍陵を中心に爆撃を加へ、特に騰越では破壊彈を投下して城壁の一部に破壊口を作るなどして地上部隊を掩護してゐる

然し重慶軍がここから城内へ突入しようとする時、日本軍は兩側からの進路を狙撃出来るやうな強力な縦深壘壕を構築してをり、城内は白晝は米軍機の攻撃に備へて日本兵が極めて巧みに蔽護してゐるので、恰も一兵も居ないかの様に見えるが、重慶兵が一度この破壊口に近づくと、沈黙を破つて一齊に機銃の火蓋を切つてこれに應へると報じてゐる、こうして日本軍との戦闘に傷つた重慶兵は、米軍の移動野戰病院に運ばれて、米人軍醫の手當を受け、また米軍は怒江特有の悪性マラリヤの罹病率を減ずることに懸命だと云はれる、最近の前線報道は怒江渡河點附近の松山方面に米軍高射砲隊が到着し、高射砲を山砲代りに使つて松山の強力な陣地に據る日本軍に平射を加へてゐると報じてゐる

以上敵側の前線報道は米軍が怒江攻勢の重慶軍に對して、作戰戰術、裝備、食糧、彈藥から戰陣醫術まで、一つの攻勢に必要な新しい條件を一應備へた援助を與へてをり、これを逐次本格化することによつて西から進むスタルウエル軍との連絡を計らうとしてゐることが判り、現在が最も作戰困難な雨季の最盛期にも拘らず、最大洋の戦力を傾注してゐるのみならず、太平洋作戦の大陸接岸より先に北緬を突破して支那大陸に抜けようとする作戰上の要請と焦慮によるものであらう

ミイトキーナ轉進

【北ビルマ前線十三日發】北ビルマの要衝ミイトキーナ市街をめぐつて過去四ヶ月に亘る攻防戰は市の東部四ヶ所に亘るイラワジ河を朱に染め、彼我共に情愴極まりない死闘をつづけ米英將聯合三萬餘の敵を邀へ我が精銳諸部隊は寡兵克く最後の

一兵まで善戰し、七月末までの四ヶ月間に遺棄死體、俘虜、投降、負傷合せて一萬五千以上の大損害を敵に與へた後八月二、三日最後まで敢闘した我が勇士らは命令こより遺骨を胸に自主的にミイトキーナより轉進し一時陣地を他に移した、空地より立體的に量で押し来る敵の侮り難い戦法に對し我が勇士らは如何に皇軍の神髓を發揮し不屈の闘魂を傾けて戰つたが、この攻防戰も同時に陸の新戰場たる現在のビルマ戰線における戰闘様相の苛烈性を物語るものだ、印支レド公路打通を主目的の一つとしてミイトキーナの奪回を策し遠く北部緬國境バトカイ山脈を越え昨秋十月以來フリーコン方面より侵入し來つたミイトキーナ周邊の敵は印支重慶軍第十四、第十三、第五十の三ヶ師を中心とする（ミイトキーナ北方約百キロ）より南下する英米本土兵、インド西阿混成二ヶ旅で兵力において絕對多數を誇る米空軍の優勢なる協力の下に北緬總反攻を蒙語しつつ侵攻を反覆し去る七月四日の如きは僅か一日のみでミイトキーナ來襲機の出動機數は戰爆四十機に上りまさしく海の前線線ラバウルに優るとも劣らぬ敵機跳梁の激しさであつた、叩いても叩いてもやつてくる敵の有力兵數は遂に同市西方の飛行場及び市街の一角に地位を占むるに至つたが、我が諸部隊はこの激しい戦ひの真只中にあつて同志滿々陣地に敵を引寄せ一人十殺百二十殺の血連騰突撃を敢行して數方向の地上より連なる敵の出撃をその都度撃碎、敵をしてミイトキーナ攻撃は死の進撃だと戦慄せしめ、又蔣介石が七月初旬全軍に對し「ミ

印度方面

【リスボン十七日發】ニューヨーク來電「素破抜き記事で有名なトリュ・ピアソンは十六日のスクリツツ・ス・ハワード系各紙の「ワシントンメリー・ゴードランド」欄に再び印緬戰線における反樞軸軍陣營の内幕を暴露した要旨左の一文を發表した

日本軍が本年春印緬國境で攻勢を開始した時、同方面の英印軍は日本軍の銳鋒を支へきれず逐次印度領内に壓迫されて行つた、この急を救ふため反樞軸軍は重慶から數千の重慶軍將兵を印緬戰線に派遣したが、その際増援が一刻の猶豫をも許されない數が足りなかつた爲に重慶兵士は文字通り「鐵詰のサーズ」の如く飛行機の内積み重ねられた、しかもその空輸路はヒマラヤ越えの航路であり數萬呎の高空を飛んだに拘らず空輸將兵に酸素吸入器など裝備することは思ひもよらなかつた爲、空輸の途中で死んでしまつた兵士も多數に上つた、辛うじて生きながらへた者達も印度の目的地に着いた時は殆んど全員が人事不省の状態で人工呼吸で漸く蘇生させるといふ騒ぎだつた、然し食物を與へ一週間ばかり休養するとこれらの重慶軍將兵は同方面の困難なジャングル戰で英印軍とは比較にならない程戦闘力を發揮する軍隊となつた、英印軍の危機が救はれたのは實にこのおかげである、以上は今まで反樞軸側から一度も發表されたことのない事實だが、これに關して特に注目し値することが二つある、即ち

一、重慶援助空路が皮肉にも重慶による反樞軸軍援助空路となつたこと、一、重慶軍に裝備と食糧とを與へればどの軍隊にも劣らない優秀な軍隊となること

【リスボン廿二日發】シカゴ來電「獨自主義新聞を以て知られる「シカ

ゴ・トリビニオン」紙は廿二日「ピ
ルマにおける大失敗」と題する要旨
左の社説を掲げた

ビルマ戦線の反極軸軍最高司令官を
英國人とすることはケベック會談で
ルーズヴェルトとチャーチルとの間
で取り極められ、この戦線では米國
軍は補助的な任務しか與へられず、
専ら兵站補給に従事することとなつ
た、英國政府は最高司令官にマウン
トバツテンを任命したが、この方面
における反極軸軍の作戦が一向に進
捗しなかつたのは専ら彼の責任であ
る、一時は日本軍の進撃によつて印
度が征服されて了ふのではないかと
思はれるほどだったが、この時英
軍當局は作戦の不利を隠蔽するため
實に非常識極まる檢閲を實施し如何
に根據のある報道でもこれが打電を
許さず、さらに従軍記者が休暇で歸
國する場合には反極軸軍の作戦を批
評するような記事は一切書かないと
の札を入れた上で漸く後方に歸さ
れるといふ有様だった、米國の輿論
は英國軍がビルマにおいて犯した失
敗を永久に忘れないだらう、従つて
今後米國軍はビルマ戦線から完全に
手を引くか乃至はその指揮権をスチ
ルウエルの如き戦手に經驗ある軍人
に引き渡すようとの要求が屢々行は
れるだらう、ビルマ戦線の指揮権は
英國に譲つたことは確かにルーズヴ
エルトの大失策だった

【リスボン廿日發】ニューヨーク來
電素つ破抜き記事で有名な米國新
聞記者トラービヤンは廿日のデー
リー・ミラー紙上に再び印緬作戦に
關する暴露記事を掲載この方面に於
ける英國軍の無能振りを攻撃して次

の通り述べた
今から約一年前カナダのケベックで
開催された、米英會談においてチャ
ーチルとルーズヴェルトは日本に對
する主要作戦の一つとしてビルマに對
する奪回し支那を経て日本本土に到る作
戦計畫を發表した、然るに米國軍に
割當てられた對日作戦は作戦計畫以
上の進捗を示したにも拘らず英國軍
の擔當した印緬作戦のみは何等の進
展も示さなかつた
何故印緬作戦が進捗しないかとの理
由については米國軍事専門家は印度
に於ける國內事情がその原因だと
つてゐる、このことに關しては蔣介
石がかつてルーズヴェルトに對し英
國人への忠告を依頼した手紙を送つ
たことがあるこの手紙は今まで一度
も發表されることがないが一九四二
年四月廿八日重慶政權外交部長宋子
文から當時の米國務次官ウエルズに
手交されたものでその内容要旨次の
通りである

印度の民衆は過去久しきに亘り米國
が正義と平等とのために立ち上るこ
とを要望してゐる、余の個人的見解
によれば印度民衆當面の目標は英國
の桎梏を逃れて國家的自由を確保せ
んとするにありその目的貫徹のため
に英印問題につき米國が公平な第三
者として乗出すことを希望してゐる
印度民衆のかかる要望が達成される
いならば彼等は總ゆる反極軸國に對
して英國に對すると同様の反感を抱
くに至るべくこの悲劇において犠牲
となるのは一國のみに止らない、英
國がその帝國としての聲威を確保し
その權益を維持せんとするならば宜
しく勇氣、忍耐、決意を示すべきで
ある、英國がかかる勇氣を示さず現

狀を放任し印度に反英運動が勃發す
るならば、この運動はその他の英領
各地にも波及すべく英帝國全體は正
に收拾すべからざる混亂の巷と化す
だらう、英國の壓迫が強ければ強い
程これに對する反動は大きい、余は
米國が英國に對して印度民衆が求め
てゐるところは人類の福祉と反極軸
陣營の名譽のために妥當にして満足
な解決を望む以外に何物もないこと
を忠告するやう希望する

【南太平洋基地三日發】
我が航空部隊は七月三
十日午後八時半頃ピア
ク島ノード飛行場を、
八時四十分頃ピアク島
對岸のオウイ島飛行場
更に九時三十分頃再びオウイ島飛行
場を攻撃し、敵の猛烈な對空砲火、
照射を冒して低空砲爆撃を加へ何れ
も甚大な損害を與へたが夜間のため
戦果を確認するに至らなかつた、ま
た他の一隊は同夜九時過ぎ二回にお
たりヌンホル島カメリー飛行場を爆
撃、掩體地區及び滑走路を火網を以
て捕捉し、五ヶ所を炎上せしめたが
同様夜間のため戦果を確認するに至
らなかつた

濠洲

敵飛行場猛爆

【南太平洋基地廿日發】 わが航空
部隊は廿八日夜間ニューギニア島の
オーゲルコップ半島東岸ギニア島の
敵飛行場を強襲し、敵戦闘機及び防
禦砲火の熾烈な抵抗を排して果敢な
爆撃を敢行、多數の命中弾を與へ、
全機歸還した、わが痛爆により同飛
行場敷ヶ所から火災が生じたが、な
かでも二ヶ所に炎々たる大火災が認
められた

【三十日】 我が航空部隊はニューギ
ニア島鳥頭半島西北岸ミデルブルグ
島に最近開設された敵飛行場に對し
廿七日夜九時頃の夜間攻撃を敢行
敵の熾烈な對空砲火に敵戦闘機の
機來襲は五日戦闘機六機六日同四機

ひ、次の戦果を収めて全機無事歸還
した
中型機炎上十機以上、飛行場施設大
火災二箇所、その他敵施設に與へた
損害極めて大

【南太平洋基地廿日發】 わが航空
部隊は廿八日夜間ニューギニア島の
オーゲルコップ半島東岸ギニア島の
敵飛行場を強襲し、敵戦闘機及び防
禦砲火の熾烈な抵抗を排して果敢な
爆撃を敢行、多數の命中弾を與へ、
全機歸還した、わが痛爆により同飛
行場敷ヶ所から火災が生じたが、な
かでも二ヶ所に炎々たる大火災が認
められた

【南太平洋基地廿日發】 わが航空
部隊は廿八日夜間ニューギニア島の
オーゲルコップ半島東岸ギニア島の
敵飛行場を強襲し、敵戦闘機及び防
禦砲火の熾烈な抵抗を排して果敢な
爆撃を敢行、多數の命中弾を與へ、
全機歸還した、わが痛爆により同飛
行場敷ヶ所から火災が生じたが、な
かでも二ヶ所に炎々たる大火災が認
められた

【南太平洋基地廿日發】 わが航空
部隊は廿八日夜間ニューギニア島の
オーゲルコップ半島東岸ギニア島の
敵飛行場を強襲し、敵戦闘機及び防
禦砲火の熾烈な抵抗を排して果敢な
爆撃を敢行、多數の命中弾を與へ、
全機歸還した、わが痛爆により同飛
行場敷ヶ所から火災が生じたが、な
かでも二ヶ所に炎々たる大火災が認
められた

【南太平洋基地廿日發】 中部太平洋方
面の敵機跳梁に相呼應してニューギ
ニア西部及北部方面の敵の航空侵攻
も亦漸次激化の一途を辿つて居るが
主なる來襲敵機敷左の通り
バポ
十二日午後 大型約五〇 撃墜 一
十四日朝 大型 一三
廿三日晝 戰爆 八〇 撃墜破六
廿四日晝 戰爆延一二〇 撃墜四
廿七日午前 小型約七〇 擊破約四〇
廿九日晝 小型 廿數
十一月朝 大型約二〇
廿四日晝 小型 十數
廿八日午前 戰爆約一二〇
擊墜八以上

【南太平洋基地廿五日發】 廿三日
未明我が舟艇がニューギニア西端の
ソロン附近海面を航行中敵魚雷艇數
隻と遭遇舟艇隊は直ちに地上部隊と
協力猛攻を加へこれに損害を與へて
遁走せしめたところ、敵は戦闘機四
機を繰出し十數回に亘つて執拗に反
撃し來つたが我方は陸上海上協力し
て勇戦遂にその三機を撃墜した
敵潛艦を爆沈

【三十日】 西南太平洋上の我が補給
線哨戒のため飛行中の我が連絡機は
廿六日敵潜水艦を發見、直ちに附近
の航空部隊に通報、出動した我が航
空部隊は不敵にも我が補給線攪亂を
意圖し浮上南下中の敵潜水艦を捕捉
必殺の爆撃を加へ、第一撃は見事敵
艦尾に命中、敵艦は重油を噴出しつ
つ艦尾から沈没し始めたが、つゞい
て第二弾は沈み行く敵艦首に命中、

【三十日】 西南太平洋上の我が補給
線哨戒のため飛行中の我が連絡機は
廿六日敵潜水艦を發見、直ちに附近
の航空部隊に通報、出動した我が航
空部隊は不敵にも我が補給線攪亂を
意圖し浮上南下中の敵潜水艦を捕捉
必殺の爆撃を加へ、第一撃は見事敵
艦尾に命中、敵艦は重油を噴出しつ
つ艦尾から沈没し始めたが、つゞい
て第二弾は沈み行く敵艦首に命中、

九日二十數機が來襲して居るが、最
近同地に來襲する敵機數は少くなり
同地域を通過して西行する機數が著
しく多くなつて居り十日より十三日
の四日間に戦爆八百五十七機を算し
た、尙ほ同方面沖合には相變らず敵
小艦艇が蠢動を續けてゐる、其後の
十六日晝 敵機十二
十八日 大型機六
十九日晝 小型機十數
二十日早朝 午後
戰闘機數機(十數回、
二十一日午前 小型機約八十
二十二日晝 延五十六機
二十三日晝 延二十機
二十四日午前 戰闘機延九機
上空通過延二六七
二十九日晝 小型約二十機
敵魚雷艇を猛攻

【南太平洋基地廿五日發】 廿三日
未明我が舟艇がニューギニア西端の
ソロン附近海面を航行中敵魚雷艇數
隻と遭遇舟艇隊は直ちに地上部隊と
協力猛攻を加へこれに損害を與へて
遁走せしめたところ、敵は戦闘機四
機を繰出し十數回に亘つて執拗に反
撃し來つたが我方は陸上海上協力し
て勇戦遂にその三機を撃墜した
敵潛艦を爆沈

【三十日】 西南太平洋上の我が補給
線哨戒のため飛行中の我が連絡機は
廿六日敵潜水艦を發見、直ちに附近
の航空部隊に通報、出動した我が航
空部隊は不敵にも我が補給線攪亂を
意圖し浮上南下中の敵潜水艦を捕捉
必殺の爆撃を加へ、第一撃は見事敵
艦尾に命中、敵艦は重油を噴出しつ
つ艦尾から沈没し始めたが、つゞい
て第二弾は沈み行く敵艦首に命中、

【三十日】 西南太平洋上の我が補給
線哨戒のため飛行中の我が連絡機は
廿六日敵潜水艦を發見、直ちに附近
の航空部隊に通報、出動した我が航
空部隊は不敵にも我が補給線攪亂を
意圖し浮上南下中の敵潜水艦を捕捉
必殺の爆撃を加へ、第一撃は見事敵
艦尾に命中、敵艦は重油を噴出しつ
つ艦尾から沈没し始めたが、つゞい
て第二弾は沈み行く敵艦首に命中、

海上戦線

米海軍作戦水域

【リスボン十七日發】ワシントン來電ニ米海軍次官ラルク・ボードは十七日の新聞記者團會見で次の通り述べた

太平洋戦域にある米海軍は今や延長三千五百哩その廣さ八百萬平方哩にわたる廣茫たる水域で作戦を行つてゐる、この水域はマシヤル諸島から西にのびてブーゲンヴイル島に亘り、ビスマーク諸島からニューギニアの北岸を経て北は千島列島の幌筵島に及んでゐる

日の丸掲げて反撃

【太平洋前線基地二十四日發】太平洋戦局今やいよいよ重大段階に突入するや遂に目的のために手段を選ばぬ米鬼根性を遺憾なく暴露するに至り、攻殲のため我が日の丸の標識を飛行機に或は潜水艦に用ふるなど國際道義を無視しての卑劣極まる行為を各戦線に於て敢へてしてゐる、以下は各戦線から報ぜられて來たこれら事實の二、三である

(その一) 七月中旬ニューギニアのマダン西方ルヤニル河口に敵小型舟艇が我が旭日十六光の軍艦旗を堂々と掲げて接近し來り、「友軍來る」と歡呼する我が陸上部隊がけて卑劣にもいきなり攻撃を加へた

(その二) 七月初旬タイ國の印度洋に面したブケット港附近に敵潜水艦が日の丸を掲げて浮上しタイ國船舶に對して砲撃を加へた

(その三) 八月初旬ニューギニアのサルミ方面に於て敵は舟艇に我が軍艦旗を掲げたり或は飛行機に日の丸の標識をつけるなど我方を欺瞞して攻撃を加へた

中部太平洋

敵機動部隊

父島硫黃島を攻撃

父島硫黃島を攻撃

大本營發表【昭和十九年八月十七日十六時】

八月四日午前敵機動部隊小笠原諸島東方海面に出現し、四日五日の兩日に亘り父島及硫黃島を空襲、五日には敵巡洋艦、驅逐艦數隻を以て父島を砲撃せり

四十一我が部隊は之を邀撃し、敵機所不在の上を撃墜、巡洋艦一隻を撃破し此の敵を撃退せり

我が方の損害輕微なり

戰闘經過【七日】大宮島、テニヤン

兩島に對する上陸作戦に呼應し敵は四日午前又も機動部隊を小笠原諸島東方海面に出撃せしめ、基地航空部隊と共に四五の兩日父島及び硫黃島を空襲し、更に父島に對し敵は五日巡洋艦、驅逐艦等の艦艇數隻をもつて艦砲射撃を加へて來た、小笠原諸島に對しては七月三、四日の兩日も敵機動部隊が來襲してをり今回は約一ヶ月目に當るが、同方面所在のわが部隊は如何に敵が強烈な攻撃を復し來らうとも些さかも屈せず、烈々たる闘魂と必勝の信念を堅持して力戦敢闘、その都度詳細に多大の損害を與へてゐる、戰闘の詳細左の如し

△硫黃島 四日は三回に亘つて敵艦載機群が來襲してゐる、内譯は第一回七十七機、第二回七十機、第三回

五十機で、わが所在部隊は熾烈な攻撃を浴せて第一回十三機、第二回二機、第三回三機合計十八機の敵機を撃墜した、次いで五日には第一回B24一機、第二回B24二機合計三機が來襲した

△父島 四日には敵艦載機廿二機が來襲、わが方その三機を撃墜、五日には敵大型機及び艦載機延四百機以上が來襲、わが方その十機以上を撃墜、兩日に十三機以上の敵機を屠つた、特に五日の戰闘においては、敵大型機一機が父島上空に現はれるやわが所在部隊は猛烈な攻撃を浴せて瞬時にこれを撃墜してゐる、五日父島に對し敵巡洋艦、驅逐艦數隻が砲撃を加へて來た

△我が艦船に對する攻撃、敵機は四日小笠原諸島海域のわが艦船に對しても二回に亘つて攻撃を加へて來た第一回目には五十機をもつて來襲したが、我が方その二機を撃墜、第二回目は五十機以上來襲、我が方その八機を撃墜した

△敵巡洋艦を撃破 五日わが基地航空隊は敵機動部隊を強襲し、敵巡洋艦一隻を撃破した

△我が方の損害に至つて輕微である 父島我方に敵機動部隊【中部太平洋基地四日發】四日午前艦上機群が硫黃島に二回父島に三回何れも有力なる編隊をもつて來襲したが同日午後に至り父島東方洋上に巡洋艦並びに驅逐艦等十數隻が出現した、これにより同方面海域には有力なる敵機動部隊が出現してゐることを確實で我が本土に對する空襲は警戒を要する

父島に敵大型機來襲【中部太平洋基地十七日發】十六日午前小笠原諸島父島に敵四發大型爆

撃機十八機が來襲、所在部隊はこれに反撃撃退したが、同諸島に來襲する敵大型機が増加して來たことは嚴重な目標とする

【中部太平洋基地十三日發】十二日午前父島に敵四發大型機十六機が數群に別れて來襲し來れるも我が所在部隊は猛反撃によりこれを撃退した我が方の被害なし

【中部太平洋基地廿四日發】廿三日書間小笠原諸島父島附近に敵大型機わが艦艇はその附近海上にあつた硫黃島に大型機來襲

【中部太平洋基地十五日發】八月十四日書間小笠原諸島硫黃島に敵B24大型爆撃機廿二機が來襲、所在部隊はこれを邀撃、空戦によりその二機を撃墜、撃退した

【中部太平洋基地廿七日發】十七日書間小笠原諸島硫黃島に敵四發大型爆撃機約二十機が來襲、所在部隊の奮戦により敵に相當なる損害を與へてこれを撃退した、我が方の損害は輕微であつた

【中部太平洋基地廿九日發】硫黃島に對し廿八日午後四發大型機十數機が來襲、我が所在部隊はこれと交戦撃退した

つた、併し島内には相當數の在留民がをり、その多數は陸下のために喜んで死についた、サイパン島における米軍の勝利に續いて起つた西洋人の頭には諒解出來ない悲壯な仕業を次に敘述しよう

日本軍最後の突撃を撃退したので日本軍の自殺についてはわれわれは萬事見ても了つたといふ考であつたが實際は違つてゐた、次に出て來たのは全く異つた事態であつた、水陸兩用の牽引車に乗つて海兵隊の一隊が島内の掃蕩戦をやつてゐたところ海岸から離れた珊瑚礁の上に七人の日本人を發見し捕へようと思つて彼等の所に押掛けて行つた、牽引車が近付くと共に日本人七人が珊瑚礁の上に従容と自決を遂げた、もうこの頃になると、多數の在留民が自殺し出したと云ふ思ひも及ばないやうな話だ段々耳に入つて來る、記者はサイパン島の北のマツド岬といふ處に赴いたが、其處は長い臺地になつてをり日本軍が前に第二の飛行場を建設してゐた處だ、第一の突端は高さ二百呎位の崖になつてをり、北の珊瑚礁から海に通じてゐるが、自分が朝早く飛行場を横切りこの崖の端に達した際には海兵隊員二名が前日職死した米國兵二名の死體をロープで引揚げてゐた、記者は今迄聞いた話について海兵隊員に事情を質したところ彼は「本當に見なければ嘘だと思ふに運ひないが昨日も一昨日も數百名の日本人―男もあれば女もあり、子供迄混つてゐる―がこの崖の上に立つて居つた、まるで當り前の事でもするやうにこの日本人達は崖から飛び降り、或ひは崖を降つて海の中に入つて行つた、或る父親の如きは三

壯烈、サイパン島最後の日の

【ストツクホルム十九日發】ニューヨークの週刊「タイム」誌は八月七日附の誌上に「敵の正體」と題する前線特派員ロバートシャロッドの記事を掲げてゐるが全文次の通り

サイパン島に於ける米軍海兵隊員にとつては同島攻略の最後の數日日本兵の自殺は決して珍しい話ではなかつた、併し島内には相當數の在留民がをり、その多數は陸下のために喜んで死についた、サイパン島における米軍の勝利に續いて起つた西洋人の頭には諒解出來ない悲壯な仕業を次に敘述しよう

日本軍最後の突撃を撃退したので日本軍の自殺についてはわれわれは萬事見ても了つたといふ考であつたが實際は違つてゐた、次に出て來たのは全く異つた事態であつた、水陸兩用の牽引車に乗つて海兵隊の一隊が島内の掃蕩戦をやつてゐたところ海岸から離れた珊瑚礁の上に七人の日本人を發見し捕へようと思つて彼等の所に押掛けて行つた、牽引車が近付くと共に日本人七人が珊瑚礁の上に従容と自決を遂げた、もうこの頃になると、多數の在留民が自殺し出したと云ふ思ひも及ばないやうな話だ段々耳に入つて來る、記者はサイパン島の北のマツド岬といふ處に赴いたが、其處は長い臺地になつてをり日本軍が前に第二の飛行場を建設してゐた處だ、第一の突端は高さ二百呎位の崖になつてをり、北の珊瑚礁から海に通じてゐるが、自分が朝早く飛行場を横切りこの崖の端に達した際には海兵隊員二名が前日職死した米國兵二名の死體をロープで引揚げてゐた、記者は今迄聞いた話について海兵隊員に事情を質したところ彼は「本當に見なければ嘘だと思ふに運ひないが昨日も一昨日も數百名の日本人―男もあれば女もあり、子供迄混つてゐる―がこの崖の上に立つて居つた、まるで當り前の事でもするやうにこの日本人達は崖から飛び降り、或ひは崖を降つて海の中に入つて行つた、或る父親の如きは三

壯烈、サイパン島最後の日の

【ストツクホルム十九日發】ニューヨークの週刊「タイム」誌は八月七日附の誌上に「敵の正體」と題する前線特派員ロバートシャロッドの記事を掲げてゐるが全文次の通り

サイパン島に於ける米軍海兵隊員にとつては同島攻略の最後の數日日本兵の自殺は決して珍しい話ではなかつた、併し島内には相當數の在留民がをり、その多數は陸下のために喜んで死についた、サイパン島における米軍の勝利に續いて起つた西洋人の頭には諒解出來ない悲壯な仕業を次に敘述しよう

日本軍最後の突撃を撃退したので日本軍の自殺についてはわれわれは萬事見ても了つたといふ考であつたが實際は違つてゐた、次に出て來たのは全く異つた事態であつた、水陸兩用の牽引車に乗つて海兵隊の一隊が島内の掃蕩戦をやつてゐたところ海岸から離れた珊瑚礁の上に七人の日本人を發見し捕へようと思つて彼等の所に押掛けて行つた、牽引車が近付くと共に日本人七人が珊瑚礁の上に従容と自決を遂げた、もうこの頃になると、多數の在留民が自殺し出したと云ふ思ひも及ばないやうな話だ段々耳に入つて來る、記者はサイパン島の北のマツド岬といふ處に赴いたが、其處は長い臺地になつてをり日本軍が前に第二の飛行場を建設してゐた處だ、第一の突端は高さ二百呎位の崖になつてをり、北の珊瑚礁から海に通じてゐるが、自分が朝早く飛行場を横切りこの崖の端に達した際には海兵隊員二名が前日職死した米國兵二名の死體をロープで引揚げてゐた、記者は今迄聞いた話について海兵隊員に事情を質したところ彼は「本當に見なければ嘘だと思ふに運ひないが昨日も一昨日も數百名の日本人―男もあれば女もあり、子供迄混つてゐる―がこの崖の上に立つて居つた、まるで當り前の事でもするやうにこの日本人達は崖から飛び降り、或ひは崖を降つて海の中に入つて行つた、或る父親の如きは三

壯烈、サイパン島最後の日の

人の子供を海の中に投げ込みそれから自分が飛び込んだ、この崖の下の珊瑚礁で取圍れたボケツト水域は自殺した日本人で一杯だ」彼は一寸言葉を切つて海の方を指さした後續けて次のやうに語つた

「そもそも一人飛び込まうとしてゐるではないか、下の方を覗くと未だ十五歳にもならぬやうな若い日本人が岩の間を往つたり來たりしてゐる、今にも飛び込みさうに腕をおげそれから、岩の端に座つて足の上を海水のかかるのを眺めてゐる、遂々彼は從容として海の中に入つて了つた」

「それからの子供も死んだのだ」と海兵隊員が叫んだ、荒波が海岸迄押寄せて來て子供は波の間に流されてゐる、始めは子供は一寸も動かず顔水を水に突込んで横になつてゐる、十分ばかり空氣の入つた彼のズボンが水中にただよつてゐたが消えてなくなつて了つた、下を見降すと丘に自決した日本人の屍體七つを數へた、それから崖の上から次々に飛込んでゐる子供が破れて了つた白シャツのまゝとつて波の間に流れてゐる、自分が歸らうとしたところ、海兵隊員は「これ位は何でもない、西側にもう半哩も行けば何百人もかう云ふ實例を見るのが出來よう」と語つた、その後西側で作戦に従事してゐた掃海艇の士官はこの話を確めることが出來た、士官は言ふ「西側の海岸は日本人の浮屍體で一杯で掃海艇が屍體を避けて通ることは出來ない、カーキ色のズボンに白い水玉模様のついたブラウスを着た女の屍體が黒髪を水に漂はしてゐるのを見た、これから先あんなブラウスを見る度に自分はあの屍體のことを想ひ出す

のではないかと思つて心配してゐる所だ、お産を間近に控へた女が自決したのも見た

四つか五つの子供が兵隊さんの首にすつかり抱きついて二つの屍體が波の間に間に漂つてゐるのみみた、掃海艇の側に漂つて來た日本人の屍體だけでも何百あつたか知れない、マツビ岬では海兵隊は崖の内の洞穴から日本人狙撃兵一名を引きづり出さうとした、この日本兵は非常に狙撃が巧い、七百碼から一人、更にもう一人を射殺し、三人目に負傷させた、その側に父親と母親と三人の子供が岩の上に立つてゐたが、この人達も海中に飛び込み、殊に母親は血にまみれて海上に漂つてゐる、日本兵は之等の人が自決したのを見た後、敢然洞穴から出て來たが、何十發もの海兵隊の彈で倒れて了つた

又一部の日本人は立派な儀禮を濟した後に自決した、海兵隊員の語る所によれば、父親は子供達を自決させた後、崖の上から次々に飛込んでゐる、或る所では三人の婦人が岩の上に坐つて悠揚迫らず長い黒髪を梳つてゐるのを見て海兵隊員がびつくりしたが髪を梳つた後で手を取合つて靜かに入水した、併し一番立派だつたのはマツビ岬の崖下の岩の上で整然と自決の儀式を行つた百人ばかりの日本人であつた、彼等は海兵隊員の見である前で遙かに或る方向に向つて皆一緒に敬禮した後先づ方角をぬき去り海に入つた、身體を淨めた後新しい着物を身につけ大きな日の丸の國旗を平らな岩の上に擡げた、それが濟むと指導者が手榴彈を手渡した、恰かもピンを引抜くやうに日本人が一人づつ順序正しく自決して

行つた、又或る日海兵隊は小さな子供達数名が混つた日本人五十名ばかりが丁度野球の選手が試合の前にウオミングアップするやうに嬉々として手榴彈をやり取りしてゐるのを見て其處へ今迄海兵隊員を狙撃して來た日本兵のお手本を示し續いてこの日本人達も同様、手榴彈で自決した一體の自己破壊は何を意味するものであらうか、米國人は黙て捕まつたら皆殺されて了ふと考へてゐたのであらうか、海兵隊員は日本兵が最後、山崎大佐の壯烈な玉碎の話も聞かされてゐる、併し乍ら一般市民の間におけるこの英雄的な自決行爲は全く豫想外であつた、サイパン島は相當數の日本人が住んでゐた日本領土で米軍が侵入した最初の土地である、サイパン島に於ける日本人の自決は日本國民全體が最悪の場合悉く玉碎をも辭しないと云ふ事實を示すのであらうか

日本軍の「萬歳」突撃

【リスボン十九日發】最近マリアナ戦域から歸還したUP從軍記者マツク・ジョンソン及びリチャード・ジョンストンは米國軍の心膽を寒からしめる日本軍將兵の敢闘精神を傳へ十九日次の通り報じてゐる

サイパン、グアム、テニヤンの三作戦に従軍して感じたのは、日本兵が死を恐れぬどころか寧ろ死を喜んでゐる氣分さへ見受けられることだ、この點で日本軍は前代未聞の奇妙な敵と云ふほかはない、日本兵は靖國神社に祀られることを無上の光榮としてゐるが、例へば米軍が山嶽地に迫つた際日本軍は突如口々に「萬歳」を絶叫しながら死の突撃に出て來た、またテニヤンでもグアムでも日本軍は勇敢な突撃を敢行して來た要するに日本軍は戦闘の際には何もかも忘れ去れる、従つて今後の太平洋作戦は一段と血腥い戦闘がくり返され米軍は多大の犠牲を拂はねばならぬ

基地電は出鱈目

【ストックホルム十九日發】サイパン島の戦闘に關する反極軸側の報道は米軍が上陸以來日本軍を一氣に壓迫、樂々と全島を制壓して暢氣な掃蕩戦に日を送つてゐたかの如き印象を與へようとなつてゐるが、實際には日本軍の死を恐れぬ反撃に直面し、血腥い惡戦苦闘を續けてゐたことが米紙の現地特派員に曝露され米國新聞界に霹靂の衝動を與へ多大の波紋を捲き起した、即ち米國週刊誌「タイム」の八月七日號は「新聞欄」に「余は糾弾する」と題する一文を掲げ特派員の無責任な「安樂椅子」報道を次の通り素破抜いてゐる

第二次世界大戦は史上會つてなき程よく報道されてゐる戦争だがその報道振りには必ずしも完全無缺とは言ひ難い、先週本誌編輯局や發行人は戦況報道の重大缺陷を暴露する痛烈な公開狀を印刷したが、右公開狀の筆者はシカゴ・タイムズ紙のサイパン從軍記者ケイス・ホイラーで要旨は次の通りだ「余は米國新聞界がサイパン戦を米國未曾有の汚辱に満ちた出鱈目な遣り口で取扱つたことを茲に糾弾する、余の糾弾は昨日サイパンで入手した六つの新聞記事切抜きと數種のホルル西岸の新聞といふ薄弱な證據に基くものであることを認めるし、また余の公開狀が發表さ

れる時にはシエルプールの攻圍、B 29の日本爆撃、米國共和黨の全國大會等の大物記事と張り合はねばならぬことが判つてゐるが、余が敢へて今回の擧に出た所以は米國新聞界が太平洋戦が「最大の惡戰」であることを頑として認めたらだ、今迄も當にそうだつたが、眞珠灣の司令部附記者の報道は前線記者の報道を數時間乃至數日間先き驅けてゐる、特にサイパン戦の當初は酷かつた、司令部附記者は勝手に記事を作つて送る手段を持つてゐたが我々前線記者は記事を送らうにも手がなかつた

以上述べたことは要するに司令部附記者が愚にもつかぬ嘘つパチを並べ立て眞相が明かなる前に太平洋の戦況記事を滅茶々々にしてしまふことを糾弾する前置にほかならない、眞珠灣の記者達は十行ばかりの戦況公報をもとして記事を書かねばならぬのだが讀む者をして掌に汗を握らしむ程の大戦果をでつち上げねばならぬといふ妙な責任感に驅られて、全然空想だけのビンからキリま

で出鱈目な戦況記事を捏ねあげた譯だ、つまり彼等は何か書ねばならぬのだが何も知らないで、どの戦闘も勝利で始まり、次の日には凱歌で終るといつた遣り口であつさり片付けてしまふ、こんな風にして一週間もたぬうちに、そしてまだ前線から第一報が米國に届かぬうちに、司令部附の専門家諸君はサイパン戦を大團圓にしてしまふのだ、彼等はいと美しい熱狂をもつて米軍が群が

る日本軍を薙ぎ伏してサイパン島の海岸に一氣に上陸させ、日本軍の防禦陣地を躍り越えて、同島最大の飛行場や首都最高の山嶽に跳び掛から

る日本軍を薙ぎ伏してサイパン島の海岸に一氣に上陸させ、日本軍の防禦陣地を躍り越えて、同島最大の飛行場や首都最高の山嶽に跳び掛から

せる、彼等は勝利を確信して戦況記も夜間數十個の照明弾が交錯するの事をでつち上げてゐた、新聞の編輯が望見されたが、今尙我が將兵が得意な野遊びをしてゐることを疑はない

【中部太平洋基地廿二日發】 テニヤン島におけるわが所在部隊は敵に甚大な損害を興へつ各局地の地物を利用して戦闘を繼續してゐるが、二十日夜間同島においては敵機が同島南部地區を爆撃した他、更に同日夜間海上よりの砲聲は激烈を極め、照明弾交錯して百數十發に及び、夜間強襲により今なほ皇軍が粘り強く奮戦してゐる模様である

【中部太平洋基地廿三日發】 テニヤン島においては廿一日夜も引き続き數十發の照明弾の交錯するの認められた、またテニヤン島においては廿二日午前、大宮島においては同日午後何れも陸上數ヶ所に炎々たる火災が望見された、兩島における彼等の戦闘は引續き熾烈に繼續されてゐる模様である

【中部太平洋基地廿五日發】 テニヤン島の我部隊はその後依然勇戦を續けてゐる模様で廿三日午前敵機は同島南部のカロリナ高地を爆撃し來り海上艦艇もこれに呼應數時間に亘つて同方面を砲撃し來つた

【中部太平洋基地廿七日發】 テニヤン島の大宮島上空に廿五日夜も數十發の照明弾が交錯するの望見された、兩島におけるわが部隊は引續き

【中部太平洋基地廿九日發】 廿八日午前ロタ島に敵戦闘機十數機が來襲し執拗に銃爆撃を加へ來つた、敵は既に大宮島の飛行場を使用し始めた模様である

【中部太平洋基地卅日發】 廿七日午前マリアナ諸島バカン島に敵戦闘機十數機が來襲、わが所在部隊はその二機を撃破した、更に廿九日未明にも同島に敵四發大型爆撃機三機が來襲した、わが方何れも被害なし

【中部太平洋基地發】 米空軍の中部太平洋方面の我基地に對する攻撃は益々激化熾烈を極めて居るが我所在部隊は寡兵よく敢闘其都度之れに大損害を興へて居る、其後の敵機來襲狀況次の通りである

【マニヤル諸島】

△ウオツゼ 來襲敵機 擊墜 擊破

二日朝 一七

十日晝 一一

十二日朝 一六

十三日午後 一三

十九日 一八

二十日朝 一八

廿七日朝 卅數

廿八日朝 一七

廿九日朝 卅數

【比律賓群島】

▲ミランダナオ 廿九日 一

▲ダバオ 廿九日 二

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

▲三十一日未明 延三

【ラバウル來襲機數】 八月中に於けるラバウル來襲敵機數次の通り

一日 來襲機數 擊破

九日 約九〇

十二日 延約一〇〇

十四日 約六〇

十五日 約七〇

廿三日 延七〇

廿六日 約八〇

廿七日 約七〇

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

【ラバウル二十四日發】 十八日エヌーブリテン島ラバウルに敵機の大編隊が來襲、わが地上部隊はこれを邀撃して多大の損害を興へて遁走せしめた、この際わが熾烈な地上砲火により見事ラバウル東方海面に撃墜された敵機から落下傘により海面に降下した搭乗員があり、海面に漂流した救助を求めあるうち胴腹に標識を附した僚機が、低空を旋回して出現し救助をもとめる漂流搭乗員を見出すや海面すれすれに飛翔し、機首をグツと差しこんだと思ふ間もなく機銃を向けて銃殺してしまつたのである、この非道な處置は敵陣營

の機密保持上の顧慮からの常套手段であらう

ブーゲンビルに敵機來襲

【ラバウル十八日發】十七日ブーゲンビル島ブイン方面に敵機爆延三十機が來襲、所在の我が部隊はこれと交戦、爆撃機一機を撃墜した

トロキナ岬上陸軍を撃退

【廿九日】ブーゲンビル島の我が部隊は敵のトロキナ橋頭堡周邊に布陣

【石原報道班員記】昨年二月皇軍のガダルカナル島轉進に際しわが本隊と連絡取り得ず同島に踏み止つたわが小部隊が、轉進以來一年有餘、未だ敵占領下の孤島において敵米兵

【リズボン十六日發】ロンドンからのA・P電報によればガダルカナル島において日本軍の小部隊がいまだに活躍してゐる様子で、最近ガ島から中部太平洋の基地に到着した中に

【石原報道班員記】昨年二月皇軍のガダルカナル島轉進に際しわが本隊と連絡取り得ず同島に踏み止つたわが小部隊が、轉進以來一年有餘、未だ敵占領下の孤島において敵米兵

【リズボン十六日發】ロンドンからのA・P電報によればガダルカナル島において日本軍の小部隊がいまだに活躍してゐる様子で、最近ガ島から中部太平洋の基地に到着した中に

【リズボン十六日發】ロンドンからのA・P電報によればガダルカナル島において日本軍の小部隊がいまだに活躍してゐる様子で、最近ガ島から中部太平洋の基地に到着した中に

皇軍勇士ガ島で活躍

【リズボン十六日發】ロンドンからのA・P電報によればガダルカナル島において日本軍の小部隊がいまだに活躍してゐる様子で、最近ガ島から中部太平洋の基地に到着した中に

【石原報道班員記】昨年二月皇軍のガダルカナル島轉進に際しわが本隊と連絡取り得ず同島に踏み止つたわが小部隊が、轉進以來一年有餘、未だ敵占領下の孤島において敵米兵

【リズボン十六日發】ロンドンからのA・P電報によればガダルカナル島において日本軍の小部隊がいまだに活躍してゐる様子で、最近ガ島から中部太平洋の基地に到着した中に

【石原報道班員記】昨年二月皇軍のガダルカナル島轉進に際しわが本隊と連絡取り得ず同島に踏み止つたわが小部隊が、轉進以來一年有餘、未だ敵占領下の孤島において敵米兵

【リズボン十六日發】ロンドンからのA・P電報によればガダルカナル島において日本軍の小部隊がいまだに活躍してゐる様子で、最近ガ島から中部太平洋の基地に到着した中に

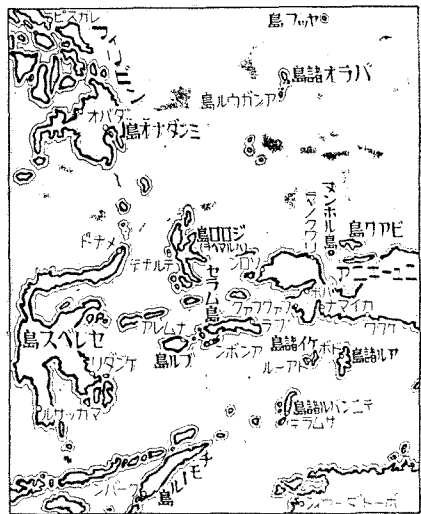
【石原報道班員記】昨年二月皇軍のガダルカナル島轉進に際しわが本隊と連絡取り得ず同島に踏み止つたわが小部隊が、轉進以來一年有餘、未だ敵占領下の孤島において敵米兵

【リズボン十六日發】ロンドンからのA・P電報によればガダルカナル島において日本軍の小部隊がいまだに活躍してゐる様子で、最近ガ島から中部太平洋の基地に到着した中に

【石原報道班員記】昨年二月皇軍のガダルカナル島轉進に際しわが本隊と連絡取り得ず同島に踏み止つたわが小部隊が、轉進以來一年有餘、未だ敵占領下の孤島において敵米兵

たのか」と聴くと「自分達は出奥の険しい岩窟に立籠り隙を見ては敵陣地に夜襲戦を執行、食糧、彈薬を奪取して總員意氣軒昂、今尙闘ひ續けて

南西太平洋



△モロタイ 廿三朝 戰爆約四〇

△北部 廿一日午前戰爆約一〇〇

△アンボン 一日 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十一日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十二日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十九日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 廿八日午前戰爆七十數

△ケイ諸島 十一日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十二日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十九日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 廿八日午前戰爆七十數

△ケイ諸島 十一日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十二日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十九日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 廿八日午前戰爆七十數

△ケイ諸島 十一日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十二日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十九日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 廿八日午前戰爆七十數

△ケイ諸島 十一日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十二日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十九日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 廿八日午前戰爆七十數

△ケイ諸島 十一日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十二日夜 戰爆約四〇

△ケイ諸島 十九日夜 戰爆約四〇

【南方基地十一日發】軍報道部長談

歐米戦争

(八月十一日十一時發表)

八月十一日三時五十分敵機六機バレン上空に來襲焼夷弾を交へ爆撃を行ったが、我が航空部隊の邀撃により直に撃退された、敵に與へた損害については目下調査中であるがその二機を撃墜した事は確實である

敵の空襲法は極めて拙劣であつて我が方の損害としては石油タンク一個が炎上しただけでその他損害はない、次いで五時頃敵機三機が再び來襲したがこの敵は瞬時にして撃退され我が方の損害は全然なかつた

獨軍公表戦況

總統大本營發表【ベルリン發】

一 北佛戦線

一、ドイツ軍はオツド、ヴイール兩河中間地區における一切の敵企圖に對し激戦を交へ陣地を確保した、新陣地に對する敵有力部隊の攻撃は悉く撃退された

一、ベルシー東北方地區において有力な戦車隊並びに重砲火の援護の下に進出せる敵の攻撃も撃退された
一、西翼においてドイツ軍陣地深く突入せる敵はアヴランシユ南部における反撃により進出を阻止された、全線に互る激戦は三十一日夜に入るも續けられてゐる
一、ドイツ軍重爆撃機隊はアヴランシユ西北方における敵軍隊集結並びに陣地に對し夜襲に成功した
一、セーヌ灣においてドイツ軍雷撃機の攻撃により輸送船二隻計一萬

五千噸を撃破した
一、V一號報復攻撃は日夜ロンドンに對して續けられてゐる
△イタリヤ戦線

一、イタリヤ戦線の敵は再びフィレンツェ方向への突破企圖に出たが、敵の攻撃はドイツ軍装甲擲弾兵並びに落下傘部隊の反撃に遭ひ甚大な死傷者を出して挫折、重要ならざる局地的突出部も一掃された
一、兩軍ともに悉く苦闘の激戦は今なほ續行されてゐる
△東部戦線

一、カルパチア山脈北麓においては赤軍はベスキツド峠に向つて進んでをり、ドイツ軍の反撃は續行中であり、ドニエツト川の源流とヴイッツラ河の大彎曲部の中間地區においてドイツ軍戦車師團は赤軍戦車多數を破壊した後數ヶ所において赤軍を撃退した、ヴイッツラ河大彎曲部における赤軍の渡河企圖は悉く撃破されたが、ただ一ヶ所においてドイツ軍陣地に侵入するに至りこの侵入地區においては戦闘はなほ續行されてゐる

一、ワルシヤワに對する赤軍の強壓は續いてゐる
一、ブグ河中流とアウグストウ中間におけるドイツ軍の局地的離脱行動は赤軍の追躡と數回に互る攻撃にも拘らず組織的に遂行された
一、コヴノ西方において赤軍はメーナルの兩側に攻撃を加へたが、不成功に終つた、マリアンポリでは熾烈な市街戦が展開されてゐる
一、ミタワの市内においても同様熾烈な戦闘が行はれてゐる、ピルゼン地區においてはドイツ軍陣地を突破した敵軍は反撃によつて撃退された
ドヴィナ河東方における赤軍の攻撃はすべて反撃によつて粉碎された
一、ナルヴァ地峡においてはここ數日間にかつた甚大な損害のため赤軍は大規模な攻撃を繼續せず小規模な攻撃は挫折した

△北佛戦線
一、カーン南方において戦車並びに有力な重砲火の掩護の下に行はれた敵の攻撃は甚大な損害を蒙つて挫折した
一、モヨン兩側並びにベルシー、ヴイレデュー地区においては敵の攻撃企圖はすべて破挫された、この地區における敵戦車撃破三十臺

一、アヴランシユ南方並びに西南方において敵戦車部隊の進出を迎へて激戦續行中であり既に敵戦車三十四臺が撃破されてゐる
一、一日夜ドイツ爆撃機隊は敵軍先鋒並びに敵軍宿營地を攻撃、相當の成果を収めた
一、フランス内地においては百二名のテロ團が殲滅された
一、ロンドンに對する報復攻撃は續行されてゐる

一、ワルシヤワ南方ではドイツ軍は赤軍の橋頭堡に對して反撃を加へてゐる、ドイツ軍直協機隊はヴイッツラ河で兵員を滿載した赤軍の渡船二十八隻を撃沈した、ワルシヤワ東北方ではドイツ陸軍並に親衛隊は直協機隊の掩護の下に逆襲に出で敵を後退せしめた、アウグストヴォの森林地帯とメーメルとの中間では一進一退の激戦が續けられ、カルヴァリアとヴイルクゴヴィシユケンは喪失した
一、ラトヴィアではミタワ南部で過去數日來激戦が展開されてゐるが橋梁を悉く破壊した後、ミタワを撤收

△イタリヤ戦線
一、イタリヤ戦線フィレンツェ南方並びに西南方における敵の突破企圖は悉く失敗に歸した、敵砲火は一日フィレンツェに對し集中されたが、同市はその文化的記念物を保護するためにドイツ軍においてもこれを軍事的に利用しをらず、市内にはドイツ軍は全く存在しない
一、ピアザの歴史的斜塔の附近には一切軍事施設なきにも拘らず、斜塔は敵砲火のために破壊された
一、ドイツ雷撃機隊は北河海岸沖において敵護送船團を攻撃、貨物船四隻計二萬六千噸並びに驅逐艦一隻に命中弾を與へたほか、輸送船七隻計四萬九千噸に魚雷攻撃を加へた

△東部戦線
一、カルパチア山脈の北麓でベスキツド峠に向つて前進中の赤軍に對してドイツ軍は反撃に出で之を撃退した
また同方面の西北方特にサンボル地帯にライヒスホーフでは局地的激戦が展開された、ヴイッツラ河大彎曲部における赤軍の攻撃も撃退された

一、過去二日間に敵軍は戦車二百十六臺を喪失した
△東部戦線
一、七月廿一日から八月三日に至る間にカルパチア山脈の麓地區でドイツ軍は赤軍の火砲百八十一門、戦車十三臺、その他歩兵用武器、車輛多數を撃破乃至鹵獲した、レイシシヨフ西方における赤軍の反復攻撃は撃退されバラノフ西方でも敵戦車二十三臺は撃破された

一、ヴイッツラ戦線の他の地區、即ちカラドミェルス東方地區ブラウイの兩側並にデアアルカ東南方では激戦した、ドヴィナとフィンランド灣との中間における敵の局地的攻撃は撃退された

四

△北佛戦線
一、ノルマンデー戦線カーン西南地區における敵の局地的突破は撃退された、ク

一、その西南方ヴイール地區においてはドイツ軍装甲擲弾兵部隊の反撃は突入せる敵軍を驅逐し、戦線再建に成功した、敵戦車撃破五十臺、この方面の隊はドイツ軍の包圍に陥り現在集中的攻撃を加へられてゐる
一、戦車に掩護せられたる敵部隊はアヴランシユ東方並びに北東方において攻撃を加へ來つたが、甚大な損害を蒙つて潰え去つた

一、ブルターニュ東部においてはアヴランシユより南方に突破せる敵部隊が更に西方及び南方に向つて進軍を續けてゐる、この地區の敵軍は若干地點においてドイツ軍基地の守備隊と交戦中である

一、過去二日間に敵軍は戦車二百十六臺を喪失した
△東部戦線
一、七月廿一日から八月三日に至る間にカルパチア山脈の麓地區でドイツ軍は赤軍の火砲百八十一門、戦車十三臺、その他歩兵用武器、車輛多數を撃破乃至鹵獲した、レイシシヨフ西方における赤軍の反復攻撃は撃退されバラノフ西方でも敵戦車二十三臺は撃破された

が展開された、ワルソー東北方ではドイツ軍の反撃により赤軍は連絡を絶たれ、狭隘な地区に壓迫され、戦車七十六臺を撃破された

一、ワルソーとコヴノとの中間における赤軍の攻勢は悉く撃破された、ラトヴィア戦線では赤軍の攻勢は敵地区で崩壊し、数ヶ所の局地的突出部は閉塞された、ナルヴァ地峡では赤軍は歩兵九ヶ師、戦車四ヶ部隊を以て再びドイツ軍陣地に殺倒したが甚大な損害を蒙り成功をおさめることは出来なかつた

一、ダルマチア海岸のコルクラ島に對し反樞軸軍は八月二日朝驅逐艦隊と戦闘爆撃機隊の掩護砲爆撃の下に上陸を試みたが、短時間の激戦の後敵の企圖は失敗した

一、反樞軸空軍の爆撃機隊はドイツ西部並に西南部、殊にフリードリヒスハーフェン、ザールブリュッゲン、ケンデンの各地を攻撃したが、四發爆撃機四十機を含む四十三機は撃墜された

△海上戦線
一、ドイツ海軍は「新兵器」及び潜水艦により侵襲戦線沖で敵巡洋艦一隻、驅逐艦三隻、コルヴェット艦二隻並に輸送船五隻、特殊船舶一隻、合計三萬六千噸を撃沈し、更に多数の船舶合計五萬六千噸をも雷撃した

一、二日夜ドイツ快速艇隊はセーヌ灣の東部で英砲艦一隻を撃沈した

五

一、ノルマンディーでは四日反樞軸軍はヴィル北方、アマランシユ東方及び東北北方において戦軍隊掩護の下に強襲を行

つたが激戦の後撃退された、ドイツ軍陣地の後方で包圍された敵個部隊は掃蕩された

一、バルターニユでは数ヶ所の基地守備隊は四日も亦、更に西方及び西方に前進しようとする敵機動部隊に熾烈な抵抗を行つた、ドイツ直協機隊も地上の戦闘に協力して戦果をあげ、敵部隊を潰走せしめた、四日夜敵高射砲隊の占領した敵村落はドイツ爆撃機並に夜間直協機隊の攻撃をうけた

一、フランス後方地区で暴徒五十九名を倒し、V一號の報復攻撃は依然ロンドンに對して續けられてゐる

△イタリヤ戦線
一、ドイツ軍はフィレンツェ市の史的、文化的記念物を戦火から救ふため同市を撤収、同市北方地区に據つた、四日終日フィレンツェは反樞軸軍の猛烈な砲火に曝された、アレツツオ北方ではモンテ・アルツチオのドイツ軍陣地を突破した敵と激戦を展開してゐる、イタリヤ雷撃機隊はベンガジ東北方で七千噸級貨物船を撃沈、他の二隻合計一萬四千噸に大損害を與へた

△東部戦線
一、カルパチア山麓並にヴィスツラ河大彎曲部でドイツ軍は反撃に出て赤軍の攻撃を撃退した

一、赤軍が地域獲得に成功したのはミレク並にヴァルカ西南方の兩地區に過ぎなかつた、右ドイツ軍は目下兩地區で反撃中

一、ワルソー東方ではドイツ陸軍、親衛隊並にモーデル元帥麾下のヘルマン・ゲーリングが落下傘戦車師團は赤軍を包圍してゐるが赤軍は依然頑強に抵抗してゐる、同方面における赤軍の牽制攻撃は失敗した、ブゲ河

中流とメーメルとの中間特にビアリストツクの兩側並にスダウエンシエケン地區で赤軍は攻勢を繼續したが突破企圖は大體失敗し、数ヶ所の突出部では依然激戦が續けられてゐる

四日同方面でドイツ戦車一軍團は敵戦車百十九臺を撃破した

一、ドヴィナ東方、シヴアネンブルグ東北方及びナルヴァ地峡における赤軍の大規模な攻撃は撃破乃至阻止され空戦及び高射砲隊は敵機四十一機を撃墜した

一、反樞軸空軍の長距離戦闘機はルーマニア領に侵入したが、ドイツ、ルーマニア制空隊は十機を撃墜した

更に四日敵爆撃機隊はドイツ北部特別ブレリメン、ハンブルグ、アンクテム、シヴウエーレンの各地を攻撃したが四十六機を撃墜された、四日夜反樞軸空軍はインステルブルグ並にグンビネンを爆撃した

六

△北佛戦線
一、反樞軸軍はカーン南方において反復攻撃を加へ來つたが、失敗に歸し、ヴィ

ル東北方及び西方、アヴランシユ軍陣地の内六十七臺を撃破ドイツ空軍も他に二十七臺を撃破した

一、ストヴィアにおいて特にミタウ及びベルゼ附近で激戦が展開されドイツ軍は一地區だけでも赤軍戦車五十臺中四十臺を撃破した

一、フランス内地地区では匪賊を少なくとも十七名殲滅した

一、ロンドンに對する報復攻撃は晝夜續行されてゐる

△イタリヤ戦線
一、反樞軸軍はアルノー全地區に對し偵察攻撃を行つたが、フィレンツェ南方のアルノー渡河企圖はドイツ軍の集中砲火によつて撃退された

一、反樞軸軍はアレツオ北方で局地的に突破したが、ドイツ軍は直ちに反撃に出て撃退した

△東部戦線
一、八月一日以來ワルソー東方で後方を遮断されてゐる赤軍の第三戦車部隊は數日にわたる激戦の後殲滅され、赤軍は多数の死傷者を出したほか戦車百九十二臺、砲四十五門を失つた

一、赤軍はヴィスツラ河とメーメル河中間の重點地區に對する攻撃を續け激戦の後局部的重要性を有する若干の突破口を形成したほかは悉く撃退された

一、ドイツ軍はメーメル河北方に突入せる赤軍主力と激戦、五日赤軍戦車も他に二十七臺を撃破した

一、ストヴィアにおいて特にミタウ及びベルゼ附近で激戦が展開されドイツ軍は一地區だけでも赤軍戦車五十臺中四十臺を撃破した

一、ドヴィナ河及びブスコフ湖中間でドイツ軍陣地を突破した赤軍は數個所でドイツ軍の反撃を受けた

一、赤軍の小部隊はナルヴァ地峡において攻勢に出て來たが、ドイツ軍により撃退され、ドイツ空軍はナルヴァ灣内で二千噸級のソ聯油槽船一隻、輸送船二隻を撃沈、他の二隻を

大破した

△航空戦
一、反樞軸爆撃機隊は五日中部ドイツの數個所を盲爆、特にマゲデブルグ、ブランスウイック兩市の住宅地區を攻撃損害と死傷者を生ぜしめた

七

一、反樞軸空軍の數機は五日夜ライプツィヒを爆撃した

△北佛戦線
一、反樞軸軍はオルヌ河西方の廣汎な戦線で反復攻撃を來つたがドイツ軍は激戦の後撃退した

一、反樞軸軍は次いでヴィール河西方及び西南方アヴランシユ東方において強力な空軍の掩護下に約九個師の兵力を繰り出して猛攻を加へ來り六日に至り刻々に攻撃を激化數時間に亘る戦闘の後反樞軸軍は多大の犠牲を拂つてドイツ軍陣地に入上るに成功したが、ドイツ軍は直ちに反撃に出て反樞軸軍の突破口を閉塞した

一、イタリヤ・ラヴアル兩市のドイツ軍守備隊は再び反樞軸機甲部隊と戦闘を展開、更にサン・マロー東方及びサン・マロー要塞圏内においても激戦が續いてゐるが、同地區における反樞軸軍の攻撃は悉く撃退された

一、ブルターニユのドイツ軍各據點は依然頑強な抵抗を續けてゐる

六十名を殲滅した
一、ロンドンに対するV一號の攻撃は依然猛烈に續行されてゐる
△イタリヤ戦線

一、反樞軸軍はフイレンツエ地区においてアルノ河を反覆渡河しようと試みたが悉く失敗し、同市東方附近で渡河に失敗した反樞軸軍小部隊は殲滅された
一、イタリヤ後方地区における八月一日から八月五日までの數次の掃蕩作戦で匪賊並に後方攪亂隊千二百十二名を殲滅した
一、ドイツ掃海艇隊はダルマチア海岸沖合で反樞軸機帆船二隻を撃沈、英海軍快速艇一隻を撃破した
△東部戦線

一、キエレットの兩側面及びバラノフ東北方において赤軍は猛攻を加へ來つたがドイツ軍により撃退され北進中の赤軍も反撃を蒙つて撃退された
一、ヴァルカ東南方においてはドイツ軍は赤軍を東方へ撃退した
一、赤軍はビヤリストツク西方において熾烈な準備砲撃の後攻撃を加へ來つたが、ドイツ軍はこれを撃退した

一、赤軍はメーメル河北方において六日突破作戦を續行したが、ドイツは赤軍戦車七十八臺を撃破して赤軍の突破企圖を粉碎した
一、ラトヴィアではビルゼン附近とドヴィナ河東方で激戦が展開されてゐるが、ドイツ軍は赤軍の突破企圖を悉く粉碎、二個聯隊を掃蕩した
△北佛戦線

一、反樞軸軍は數時間に亘る熾烈な準備砲撃の後八日朝再びカーン南方及び東北方において攻撃の火蓋を切り、激戦が展開されてゐる

一、オルヌ西方では反樞軸軍は強力な兵力をもつて個々に攻撃を加へ來つたがドイツ軍により撃退された
一、ヴィール西南方アヴランシュ東方では米軍は大量の器材と強力な航空兵力を繰り出して廣汎な戦線でのドイツ軍陣地の突破攻撃を續行、夕刻まで激戦が展開されたが、ドイツ軍は第二線陣地正面で大損害を與へて撃退した
一、更に南方ではドイツ機甲軍は反樞軸軍の頑強な抵抗を排してモルタインの兩翼から西方に反樞軸軍を撃退した
一、ラヴアル東方地区においては反樞軸軍は壓迫を一段と強化した
一、ブルターニュにおいてはドイツ前線部隊は反樞軸軍の先鋒を撃破した後ブレスト、ロリアン兩地区に釘付けにした
一、サン・マローでは激戦が展開されてゐる
一、六日夜反樞軸驅逐艦一隻はセーヌ灣内で空中からの雷撃を蒙り大破された
一、ノルマンデー及び西歐占領地域における空中戦でドイツ軍は反樞軸機十九機を撃墜した
一、フランス後方地域の戦團で匪賊八十名を掃蕩した
一、ロンドン市と郊外に對するV一號の攻撃は熾烈に續行されてゐる
△東部戦線

一、赤軍はミエンツ西方で反覆攻撃を加へ來つたが、撃退されたバラノフ西方では赤軍は大量の器材を繰り出してドイツ軍陣地に突入、ドイツ軍豫備部隊は直ちに反撃に出て激戦が展開されてゐる

一、リトアニアにおいてはメーメル北方で赤軍は再びドイツ陣地を突破しようと企圖したが、ドイツ軍は戦車六十臺を撃破して撃退した
一、ビルゼン北方及びドヴィナ北方ではドイツ軍陣地に突入した赤軍との間に防衛戦が展開されたが、その間に防衛戦が展開されたが、赤軍の攻勢は至る爾余の戦線では赤軍の攻勢は大損害を蒙つて悉く撃退された
△航空戦

一、米軍爆撃機隊は七日上部シレジアの數個所に攻撃を加へた
一、反樞軸空軍は七日夜ドイツ軍東南部に來襲したが獨汎制空陣は二十八機を撃墜した
△北佛戦線

一、カーン南方からアヴランシュに至るノルマンデー戦線全域では極めて熾烈な戦闘が展開されてゐる、尠大な物量を擁する反樞軸軍は多數の戦車と強力な空軍の掩護下に反覆ドイツ軍陣地を強襲したが、僅かにカーン地区及びヴィール市南方においてドイツ軍陣地に突入したのみである、但し反樞軸先鋒軍はドイツ軍陣地の内深くまで阻止された、爾餘の地区ではドイツ軍は陣地戦において大損害を與へて反樞軸軍第一線部隊の進撃を依然阻止してゐる
一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレスト攻撃を撃退戦車多數を粉碎した、サン・マロー攻撃は熾烈に續行されてゐる
一、ドイツ空軍爆撃機隊はアヴランシュ、ブレセイの補給基地を強襲多

大の戦果を収め、七日夜アヴランシュ沖合で一萬噸級貨物船一隻を撃沈した
一、反樞軸空軍はノルマンデー及び西歐占領地域で飛行機二十機を喪失した
一、大ロンドン地区に對して熾烈なV一號攻勢が行はれた
△イタリヤ戦線

一、反樞軸軍は僅かにフイレンツエ東南方及びアレツツオ北方地区で局地的攻撃を加へ來たがドイツ軍により撃退された
一、ドイツ海軍護送艇隊はダルマチア海岸沖合で英海軍快速艇二隻を撃沈、ドイツ側も二隻を喪つた
△東部戦線

一、バラノフ地区の赤軍は戦車隊の掩護下に熾烈な攻撃に出て來たがドイツ軍は戦車四十七臺を粉碎して撃退した
一、ヴァルカ東南方ではドイツ機甲部隊は反撃に出て強固な赤軍陣地に突入した
一、ビヤリストツク西方では赤軍は熾烈な準備砲撃の後強力な戦車、飛行機兵力の掩護下に攻撃を再開數箇所を突破地点で激戦が展開されてゐる
一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレストの赤軍突破企圖を閉塞し戦車六十六臺を撃破した
一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍は激戦のち赤軍の攻勢を隨所に撃退した
△北佛戦線

一、カーン南方の敵は強攻を續け、その滲透地区を南方並びに東南方に擴大した

が、ドイツ軍の反撃はこれを阻止した、八月七日より九日まで三日間にカーン南方並びにオルヌ西方で敵は戦車二百七十八臺を喪失した
一、他の戦區も敵も前日に引續き重點地区に猛攻を續けたが、ルプレツシ南方並びにヴィール南方で小地域を得たにすぎない、激戦はなほ續けられてゐる
一、ブルターニュ半島の米軍は、サン・ナゼール、ロリアン、ブレストの諸港周邊地区において戦車掩護の下に攻撃を加へて來たが、多數戦車を撃破されて後退した
一、サン・マロー守備隊は四面より攻撃する戦と激戦を交へてゐる
一、フランス内地では掃蕩戦において百二十名の匪賊を殲滅した
一、敵大型驅逐艦一隻はブレスト西方水域においてドイツ爆撃機の直撃弾により大破した
一、敵はまたしてもドイツ海軍の新兵器によりセーヌ灣頭において滿載の補給船六隻、計二萬五千噸並に驅逐艦一隻、護送艦艇一隻を喪失した
一、ドイツ護送船團の護衛艦はジャージー島南方において米陸軍に接近戦を挑み舟艇二隻を撃沈した
一、ロンドンに對する流星弾の熾烈な擾亂攻撃は續けられてゐる
△東部戦線

一、サノワツ並びにミエレットにおける突入せる赤軍との間に激戦が展開されてゐる
一、バラノフ西方における赤軍の反覆攻撃は粉碎され、赤軍は後方に撃退された、八月六日より九日まで四日間にこの地区で赤軍の失つた戦車は百八臺に上る
一、ヴァルカ東南方で反撃に出たド

一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレスト攻撃を撃退戦車多數を粉碎した、サン・マロー攻撃は熾烈に續行されてゐる
一、ドイツ空軍爆撃機隊はアヴランシュ、ブレセイの補給基地を強襲多

大の戦果を収め、七日夜アヴランシュ沖合で一萬噸級貨物船一隻を撃沈した
一、反樞軸空軍はノルマンデー及び西歐占領地域で飛行機二十機を喪失した
一、大ロンドン地区に對して熾烈なV一號攻勢が行はれた
△イタリヤ戦線

一、反樞軸軍は僅かにフイレンツエ東南方及びアレツツオ北方地区で局地的攻撃を加へ來たがドイツ軍により撃退された
一、ドイツ海軍護送艇隊はダルマチア海岸沖合で英海軍快速艇二隻を撃沈、ドイツ側も二隻を喪つた
△東部戦線

一、バラノフ地区の赤軍は戦車隊の掩護下に熾烈な攻撃に出て來たがドイツ軍は戦車四十七臺を粉碎して撃退した
一、ヴァルカ東南方ではドイツ機甲部隊は反撃に出て強固な赤軍陣地に突入した
一、ビヤリストツク西方では赤軍は熾烈な準備砲撃の後強力な戦車、飛行機兵力の掩護下に攻撃を再開數箇所を突破地点で激戦が展開されてゐる
一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレストの赤軍突破企圖を閉塞し戦車六十六臺を撃破した
一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍は激戦のち赤軍の攻勢を隨所に撃退した
△北佛戦線

一、カーン南方の敵は強攻を續け、その滲透地区を南方並びに東南方に擴大した

一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレストの赤軍突破企圖を閉塞し戦車六十六臺を撃破した
一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍は激戦のち赤軍の攻勢を隨所に撃退した
△北佛戦線

一、カーン南方の敵は強攻を續け、その滲透地区を南方並びに東南方に擴大した

一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレストの赤軍突破企圖を閉塞し戦車六十六臺を撃破した
一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍は激戦のち赤軍の攻勢を隨所に撃退した
△北佛戦線

一、カーン南方の敵は強攻を續け、その滲透地区を南方並びに東南方に擴大した

一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレストの赤軍突破企圖を閉塞し戦車六十六臺を撃破した
一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍は激戦のち赤軍の攻勢を隨所に撃退した
△北佛戦線

一、カーン南方の敵は強攻を續け、その滲透地区を南方並びに東南方に擴大した

一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレストの赤軍突破企圖を閉塞し戦車六十六臺を撃破した
一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍は激戦のち赤軍の攻勢を隨所に撃退した
△北佛戦線

一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレストの赤軍突破企圖を閉塞し戦車六十六臺を撃破した
一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍は激戦のち赤軍の攻勢を隨所に撃退した
△北佛戦線

一、カーン南方の敵は強攻を續け、その滲透地区を南方並びに東南方に擴大した

一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレストの赤軍突破企圖を閉塞し戦車六十六臺を撃破した
一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍は激戦のち赤軍の攻勢を隨所に撃退した
△北佛戦線

一、カーン南方の敵は強攻を續け、その滲透地区を南方並びに東南方に擴大した

一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレストの赤軍突破企圖を閉塞し戦車六十六臺を撃破した
一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍は激戦のち赤軍の攻勢を隨所に撃退した
△北佛戦線

一、カーン南方の敵は強攻を續け、その滲透地区を南方並びに東南方に擴大した

一、メーメル河北方ではドイツ軍は八日再び赤軍の突破企圖を悉く粉碎し、ロリアン、ブレストの赤軍突破企圖を閉塞し戦車六十六臺を撃破した
一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍は激戦のち赤軍の攻勢を隨所に撃退した
△北佛戦線

イツ軍戦車部隊は赤軍の頑強な抵抗を排し更に地歩を得た

一、ナレヴ上流西岸の赤軍は攻撃を繰返したがごとく撃退または阻止された、ドイツ軍の反撃はヴイルコヴィツケンにおいて進行されてゐる

一、メーメル北岸の赤軍はラゼイナ一地区において突破を試みたが甚大な損害を蒙つて挫折した、撃破せる赤軍戦車五十二臺

一、ラトヴィアにおける赤軍はミタウとペイブス湖の中間で突破を試みてゐるが、その都度失敗を繰返した

一、ドイツ軍直協機隊はヴイスマラ河大彎曲部並にコヴノ西方地区の赤軍陣地並に戦車集團に効果的な爆撃を加へた、また九日夜ドイツ爆撃機隊及び夜間直協機隊はペラノフ西北方及びヴァルカ東南方の赤軍集結點を攻撃した

一、ブレンシ東方においては過去數日間敵戦車四十臺以上を撃破した

一、ドイツ直協機隊はル・マン北方において敵車輛隊列を攻撃、戦果を収めた

一、ドイツ重爆撃機隊はノルマンデー海岸の敵艦船を襲撃、四千噸級貨物船一隻を炎上せしめ、大型貨物船、驅逐艦各一を大破した

一、海軍護衛艦並に海軍對空砲火は西部占領地区沖合で敵十一機を撃墜した

一、フランス内地の掃蕩戦では匪團二百七十一名を殲滅した

一、東プロイセン國境東方のドイツ軍は反撃に出てヴイルコヴィシニケ市を奪回した

一、ストルイとヴイスマラ河との中間における赤軍の攻撃は崩壊した、ペラノフ西北方でドイツ軍は依然攻撃を続け、丘陵を占領し赤軍のこれに對する反撃は不成功に終つた、戦間爆撃機、直協機隊もヴイスマラ河上における赤軍の輸送並に渡河企圖を攻撃した

一、ワルシャワとアウグストヴォとの中間で赤軍は數日に亘る小康状態の後、數地區で有力部隊を以て攻勢を再開した、ワルシャワ東方では敵の攻撃は悉く撃退され、ピアリストツク西北方では赤軍はドイツ軍防衛線に突入するに成功したが、ドイツ軍は反撃を加へ赤軍の進撃を停止せしめた

一、獨軍はコヴノ西南方のヴイルコヴィシニケンを奪回したが同方面における過去二日間の戦闘で赤軍は戦車六十九臺、砲六十一門を喪失した

一、フランス内地の掃蕩戦では匪團二百七十一名を殲滅した

一、カイン東南方地区における敵の渗透地区は封鎖され戦線は全く膠着した、十一日早朝敵重砲火の連續射は熾烈の度を加へてゐる

一、オルス兩岸地区の敵は十日局地的攻勢をとつたにすぎず、それも悉く挫折した、敵戦車撃破三十二臺

一、ドイツ軍直協機隊はヴイスマラ河大彎曲部並にコヴノ西方地区の赤軍陣地並に戦車集團に効果的な爆撃を加へた、また九日夜ドイツ爆撃機隊及び夜間直協機隊はペラノフ西北方及びヴァルカ東南方の赤軍集結點を攻撃した

一、フランス内地の掃蕩戦では匪團二百七十一名を殲滅した

一、ドイツ軍直協機隊はノルマンデー海岸の敵艦船を襲撃、四千噸級貨物船一隻を炎上せしめ、大型貨物船、驅逐艦各一を大破した

一、ドイツ軍直協機隊はヴイスマラ河大彎曲部並にコヴノ西方地区の赤軍陣地並に戦車集團に効果的な爆撃を加へた、また九日夜ドイツ爆撃機隊及び夜間直協機隊はペラノフ西北方及びヴァルカ東南方の赤軍集結點を攻撃した

一、フランス内地の掃蕩戦では匪團二百七十一名を殲滅した

一、ドイツ軍直協機隊はノルマンデー海岸の敵艦船を襲撃、四千噸級貨物船一隻を炎上せしめ、大型貨物船、驅逐艦各一を大破した

一、海軍護衛艦並に海軍對空砲火は西部占領地区沖合で敵十一機を撃墜した

一、フランス内地の掃蕩戦では匪團二百七十一名を殲滅した

一、ドイツ軍直協機隊はヴイスマラ河大彎曲部並にコヴノ西方地区の赤軍陣地並に戦車集團に効果的な爆撃を加へた、また九日夜ドイツ爆撃機隊及び夜間直協機隊はペラノフ西北方及びヴァルカ東南方の赤軍集結點を攻撃した

一、フランス内地の掃蕩戦では匪團二百七十一名を殲滅した

一、ドイツ軍直協機隊はノルマンデー海岸の敵艦船を襲撃、四千噸級貨物船一隻を炎上せしめ、大型貨物船、驅逐艦各一を大破した

一、海軍護衛艦並に海軍對空砲火は西部占領地区沖合で敵十一機を撃墜した

一、フランス内地の掃蕩戦では匪團二百七十一名を殲滅した

日一十

北佛戦線

一、カイン東南方地区における敵の渗透地区は封鎖され戦線は全く膠着した、十一日早朝敵重砲火の連續射は熾烈の度を加へてゐる

東部戦線

一、東プロイセン國境東方のドイツ軍は反撃に出てヴイルコヴィシニケ市を奪回した

日二十

北佛戦線

一、カイン東南方及びオルス兩線においてドイツ軍は反撃に出て目下激戦中である

日三十

北佛戦線

一、オルス河兩岸並にヴイール市南方の敵は執拗な攻撃を繰返した、局地的突出部を繞る戦闘はなほ繼續されてゐる

日四十

北佛戦線

一、ノルマンデー戦線では反樞軸軍の強烈な壓迫が續けられてゐるが、大きな成功を収めるに至つてゐない

一、ガーンジー島南方水域においてドイツ掃海艇隊は駆逐艦一隻を大破せしめた
一、フランス後方地区においては匪賊百二十名を掃蕩した
一、ロンドン市及び郊外に對して熾烈なV一號攻撃が續行されてゐる

△東部戦線

一、カルパチヤ山麓からグイストツラ河に至る地域ではドイツ軍は一部分反撃に出で赤軍の攻撃を悉く撃退した
一、グイストツラ橋頭堡、バラノフ西方及びワルカ東南方においては激戦が續けられてゐる
一、ワルシャワ東北方及びビヤリストク西南方ではドイツ軍は赤軍の攻撃を隨所に擊破、赤軍の形成した局部的突破口を閉塞した
一、ピヤリストク西北方では赤軍は多數の戦車、飛行機掩護下に攻撃を加へ來り、激戦の後ドイツ軍を數軒西方へ壓迫した

一、ラトヴィア戦線では赤軍は優勢な兵力をもつてドイツ軍陣地の突破を圖つたが、ドイツ軍は頑強に抵抗、赤軍の突破企圖を粉碎した
一、ブスコフ湖西南方の突破地区では激戦が續行され、赤軍は更に前進するに成功した

四十臺を撃破した
一、ブレストの戦間地区ではドイツ軍は反樞軸軍の局部的攻撃を粉碎、猛砲火を浴せて反樞軸軍の新展開線に四分五裂に陥らしめた
一、サン・マロー及びツイナルのドイツ軍守備隊は優勢な兵力をもつて再び攻撃を再開した反樞軸軍を激撃、基地を堅持した
一、フオール・ド・ラ・ヴァルドのドイツ軍守備隊は減少せる兵力をもつて勇戦奮闘してゐたが、十四日夕刻同要塞は陥落した
一、ドイツ海軍高角砲隊並びに哨戒艇隊の高角砲は西部及び南部フランス海岸水域において反樞軸機三十機を撃墜した
一、フランス後方地域において匪賊二十六名を掃蕩した
一、ロンドンに對する報復攻撃は續行されてゐる

△南佛戦線

一、反樞軸軍は過去數日フランス南岸の防備施設並に交通線に對する爆撃を強化した後、十五日早朝ツロー、カンヌ地区に上陸した

△東部戦線

一、カルパチヤ山系前面では十四日局部的戦闘が行はれたのみ
一、バラノフ西方では依然戦闘が續けられてゐるが、十四日ドイツ軍の一軍團のみで赤軍戦車五十一臺を撃破した

△北佛戦線

一、カーン東南方及び南方において反樞軸軍は十四日ドイツ軍の反撃により防禦方地区方面へ進出するため火砲、戦車大軍の掩護下に大攻勢を再開、激戦の後數地区でドイツ軍陣地に突入するに成功したが、ドイツ軍は反撃に出でそれ以上の進出を阻止、戦車

日五十

た突出陣地より赤軍を驅逐、戦車六十三臺、砲十八門を撃破した
一、ラトヴィアにおいて、ドイツ軍はモバン(マドーナ)地区において赤軍の執拗な攻撃を撃退した
一、ブスコフ湖西南方の突出戦線においては赤軍は極めて強力な兵力を繰り出したにも拘らず、ドイツ軍の頑強な抵抗に遭遇して僅かに若干地域を進出することが出来たのである
△航空戦
一、反樞軸空軍は、十四日マンハイム、ルドウイクスハーフェン、トリエール、カイザースラウテルンを盲爆、トリエールの大伽藍が大破され、ウエストフアリア地区を爆撃した
一、ドイツ本土及び西歐洲上空において十四日反樞軸機二十二機を撃墜した

日六十

△北佛戦線
一、フアレーズ北方及び東方地区における甚大な物量を擁する反樞軸軍はカルージュ地区から北上する米軍と握手するため廣汎な戦線でフアレーズを突破を企圖、反復攻撃を加へ長時間に亘る激戦の後多大の犠牲を拂つて漸くドイツ軍陣地に突入するに成功南方及び東方へ進出した
一、アランソン地区から東進する反樞軸軍はドイツ軍と激戦を交へつつシャトルブル地区に到達した
一、ディエールは陥落した、ディエール港はブルターニュ半島東部、ランヌ河口を隔ててサン・マロー港に對し、同港の守備隊はサン・マロー市のドイツ軍同様寡兵をもつてよく反樞軸軍の攻撃を阻止、長期間同港を死守してゐた
一、サン・マローのドイツ軍守備隊は強力な反樞軸軍の攻撃を撃退した
一、後城砦内に撤収したが依然反樞軸軍の攻撃を喰ひ止めて前後三回に亘る反樞軸軍の降伏勧告を無視した

△南佛戦線

一、南佛海岸においてはドイツ軍は軍數次の上陸企圖を挫折せしめた、但し反樞軸軍は海岸の數箇所足場を得るに成功、目下激戦が展開されてゐる
一、反樞軸空挺部隊はドイツ軍防禦地帯の後方に降下したがドイツ軍豫備隊は目下攻撃を加へてゐる
一、西部および南部フランス海岸における空中戦並びにドイツ空軍の高角砲火により反樞軸空軍は廿三機を喪失した
一、フランス後方地域において匪賊百六十四名を掃蕩した
一、大ロンドン地区に對する熾烈なV一號攻撃は續行されてゐる

△東部戦線

一、カルパチヤ山麓前面ではドイツ軍はサノク西方において赤軍歩兵七個師と三日間に亘り激戦を展開した
一、後陣地を改善するに成功した、赤軍は多數の死傷者を出し、戦車五十一臺、砲九十八門、その他を失ひ、捕虜多數を出した
一、グイストツラ大彎曲部のバラノフ西方においてはドイツ軍戦車隊及び戦車擲弾兵隊は赤軍の頑強な抵抗を排して數個所の地帯を占領、戦線の間隙を閉塞した
一、バルカ東南方及び、グイストツラ河とナレウ河上流の中間においては赤軍の攻撃を悉く撃退した

△北佛戦線

一、メーメル河兩翼においては赤軍は強力な空軍の掩護下に大軍をもつてグイルコヴィシユケン、ラセイニヤイ地区で攻略を加へ來つたが、僅かにグイルコヴィシユケンにおいて多少進出しただけで、他は大損害を蒙つて撃退された
一、ラトヴィア戦線においては赤軍はビルゼン北方において大軍をもつて攻撃を再開したが、ドイツ軍により撃退され、戦車四十臺を喪失した
一、ブスコフ湖西南方の突破地区においては、一進一退の激戦が展開されてゐる
一、赤軍は十五日飛行機五十二機を喪失した

日七十

△フランス戦線
一、ノルマンディーではカナダ第一軍はディーヴ地区のアレーズ兩側において強襲を繼續した、ドイツ軍はこれを邀へ一進一退の後敵の突破企圖を撃破したが双方ともに損害は甚大であつた
一、同方面では目下なほ激戦が展開されてゐる、ドイツ軍戦車隊はアルジャンタナ地区から攻撃中の米軍に對して反撃に出た米軍を東方及び東南方に撃退した、敵の機械化部隊はセリヌ中流に向つて更に東方に又ローアールに向つて東南方にそれぞれ前進してゐる、ドイツ軍は激戦の後ドルルを喪失し、ジャルトル、オルレアンでは熾烈な攻防戦が展開されてゐる
一、ブルターニユではブレスト戦区において敵は數次に亘つて攻撃に出たがドイツの集中砲火を浴びて撃破された、サン・マローの城砦では守備隊は依然英雄的抗戦を續けてゐる、敵は熾烈な反撃にも拘らずセザール砲臺は敵の數次の攻撃を撃破した

一、南フランスの海岸地帯では海空より著るしく増強された敵を邀へ激戦が續けられた後敵はカンヌ市突入に成功した、ドイツ艦隊並に哨戒艇隊は大西洋岸沖で八月十五日朝英艦隊と交戦、驅逐艦二隻を撃沈、巡洋艦一隻を撃破、ドイツ軍一隻を喪ひ、一隻は損傷した、サン・トロペー沖における敵の上陸作戦艦隊に對しドイツ空軍は攻撃を加へ敵輸送船二隻合計八千噸に大損傷を與へたが右兩船は沈没したと認められ、更に戦艦には大型爆彈を命中せしめたフランス内部では暴徒百六十八名を掃蕩した

日 八 十

一、東部戦線ではルーマニア軍は赤軍のドニエストル下流の渡河企圖を撃破した、カルパチア山麓サノク西方並に北部地區において八月十一日から十五日までに暴徒八百八十四名を掃蕩した

△東部戦線
一、カルパチア山麓クロソノ西北方で攻撃中の赤軍は一時ドイツ軍陣地内に突入したが撃退された、ヴェルバレンの兩側地區において戦車、空軍の掩護の下に赤軍は終日、突破作戦を行ひ、同方面では現在なほ激戦が展開されてゐる

一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍擲弾兵隊は赤軍の強襲に對しビルゼン北方の陣地を維持した、エストニアではドイツ直協機隊は同方面の地上部隊に協力、ベイス、ブスコフ兩湖上の赤軍輸送部隊を攻撃多大の戦果をあげ、兵員を満載した渡船十一隻を撃破、また空中戦及び高射砲隊により赤軍は五十六機を喪失した

一、東部戦線中部地區の戦闘におい

てドイツ空軍並に高射砲隊は過去六週間に敵戦車八百八十六臺、飛行機二百九十七機を撃墜した

一、反極軸空軍爆撃機隊はドイツ中部を攻撃、損害は特にマダゲスカール、デッサウにおいて甚だしくかつた

十五日夜英空軍爆撃機隊はステツチン、キールに恐怖空襲を加へステツチンでは大損害を蒙り死傷者を出し、ドイツ制空隊は反極軸軍の四十九機を撃墜した

△イタリヤ戦線
一、イタリヤ戦線では數次に亘る反極軸軍の渡河企圖に並に威力偵察は失敗した

△北佛戦線
一、ノルマンデー戦線オルヌ西岸の突出陣地は東岸に撤收した、敵は有力な部隊をもちつてフアレーズ東方並に北部地區において北方よりこの離脱企圖は阻止された

一、敵の迂回行動はアルジャンタン地區においてドイツ軍逆突破のため粉碎され、フアレーズ、アルジャンタン間の狹隘な脱出路は擴大された

一、シャルトルを繞る激戦はなほ繼續されてゐる

一、オルレアンにおいても米軍に對し終日激戦が續けられたが、米軍は遂に同市を占領した

一、サン・マロの守備隊は遂に敵の優勢の前に屈した、敵重砲火のたれに重兵器一切の沈没を餘儀なくされてから後者は、サン・マロ守備隊は輕兵器のみによつて防衛するのやむなきに至り、司令官フオン・アウロック大佐以下全戦闘員は極めて有力な敵の攻撃に抗し殆ど三週間に亘つて英雄的戦闘を續け、敵に甚大な損害を與へた、彼らの勇戦は青史に不朽の名を止めるであらう

△南佛戦線
一、南フランスの敵はツィロン、カンヌ間の橋頭堡を擴大、兵力を増強した、ドイツ軍の殿軍並に掩護射撃部隊は北方に行動する敵機偵察部隊を撃退した

一、ツィロン西方において數回に互に企圖された敵の新上陸作戦は挫折した

△海空戦
一、ドイツ海軍戦闘部隊はセーヌ河において敵驅逐艦二隻、輸送船四隻、計二萬五千噸を撃沈、一萬五千乃至二萬噸の大型輸送船一隻別に船舶八隻計四萬八千噸に魚雷を命中せしめ、爆發の状況よりみて撃沈は確實なりと推定される

一、海岸沿岸砲臺は南佛海岸沖において敵掃海艇二隻を撃沈、驅逐艦一隻を大破した

一、大ロンドン地區に對する熾烈な報復攻撃は日夜繼續されてゐる

來たがドイツ軍は撃退した

△海空戦
一、反極軸空軍は十八日ノルマンデー及び西歐占領地域の空中戦で二十機を喪失した

一、南佛海岸橋頭堡沖合においてドイツ戦闘爆撃機隊は六千噸級の輸送船一隻を大破した

△東部戦線
一、ドニエストル下流で赤軍は再び渡河作戦を開始したが、ドイツ軍により撃退された

一、カルパチア山系ではハンガリー軍はデラチン西南方の高地を占領した

一、グイストラ橋頭堡ではバラノフ西方のドイツ軍の攻撃に對し赤軍の抗戦は著しく強化された

一、ワルソノ東方では赤軍は戦車直協機隊の掩護下に廣汎な戦線で攻撃を開始したが、ドイツ軍の頑強な抵抗と猶豫なき反撃により僅かの成功を収めただけであつた

一、ヴェルコグイシユケン兩翼では赤軍は強力な戦車、歩兵部隊を繰り出して突破企圖を續行したがドイツ軍は大損害を與へて挫折せしめ、數箇所の突破口を閉塞した

一、ラトヴィア戦線のモドン地區ではドイツ軍は赤軍の強襲を撃退した

一、エストニアではブスコフ湖西方で一進一退の激戦が續けられドイツ軍は反撃に出て赤軍部隊を殲滅した

一、ドイツ護送艇隊はノルウェー北方水域でソ聯快速艇二隻を撃沈、一隻を大破した

日 九 十

△北佛戦線
一、ノルマンデーは東方オロヌ、デイイヴ兩河を渡るドイツ軍の作戦に基く離脱企圖は北方からトリュン地區まで突破した反極軸軍と交戦しつつ遂行されねばならなかつた、トリュン地區では十八日戦車の激戦が展開された

一、シャルトル東北方地區ではドイツ軍は反極軸軍の戦車攻撃を阻止し、同地區北方ではドイツ軍後衛部隊はマント、ヴェルノンにおいて米軍前哨部隊と戦闘を展開してゐる

△南佛戦線
一、反極軸軍は海岸橋頭堡の兵力を増強、ツィロンの陸上陣地に對して戦車隊の掩護下に數回攻撃を加へて

△フランス戦線
一、ノルマンデー方面のドイツ軍は正面においては頑強な敵の抵抗に遭遇し、側

一、南フランスの海岸地帯では海空より著るしく増強された敵を邀へ激戦が續けられた後敵はカンヌ市突入に成功した、ドイツ艦隊並に哨戒艇隊は大西洋岸沖で八月十五日朝英艦隊と交戦、驅逐艦二隻を撃沈、巡洋艦一隻を撃破、ドイツ軍一隻を喪ひ、一隻は損傷した、サン・トロペー沖における敵の上陸作戦艦隊に對しドイツ空軍は攻撃を加へ敵輸送船二隻合計八千噸に大損傷を與へたが右兩船は沈没したと認められ、更に戦艦には大型爆彈を命中せしめたフランス内部では暴徒百六十八名を掃蕩した

日 十 二

一、東部戦線ではルーマニア軍は赤軍のドニエストル下流の渡河企圖を撃破した、カルパチア山麓サノク西方並に北部地區において八月十一日から十五日までに暴徒八百八十四名を掃蕩した

△東部戦線
一、カルパチア山麓クロソノ西北方で攻撃中の赤軍は一時ドイツ軍陣地内に突入したが撃退された、ヴェルバレンの兩側地區において戦車、空軍の掩護の下に赤軍は終日、突破作戦を行ひ、同方面では現在なほ激戦が展開されてゐる

一、ラトヴィア戦線ではドイツ軍擲弾兵隊は赤軍の強襲に對しビルゼン北方の陣地を維持した、エストニアではドイツ直協機隊は同方面の地上部隊に協力、ベイス、ブスコフ兩湖上の赤軍輸送部隊を攻撃多大の戦果をあげ、兵員を満載した渡船十一隻を撃破、また空中戦及び高射砲隊により赤軍は五十六機を喪失した

一、東部戦線中部地區の戦闘におい

てドイツ空軍並に高射砲隊は過去六週間に敵戦車八百八十六臺、飛行機二百九十七機を撃墜した

一、反極軸空軍爆撃機隊はドイツ中部を攻撃、損害は特にマダゲスカール、デッサウにおいて甚だしくかつた

十五日夜英空軍爆撃機隊はステツチン、キールに恐怖空襲を加へステツチンでは大損害を蒙り死傷者を出し、ドイツ制空隊は反極軸軍の四十九機を撃墜した

△イタリヤ戦線
一、イタリヤ戦線では數次に亘る反極軸軍の渡河企圖に並に威力偵察は失敗した

△北佛戦線
一、ノルマンデー戦線オルヌ西岸の突出陣地は東岸に撤收した、敵は有力な部隊をもちつてフアレーズ東方並に北部地區において北方よりこの離脱企圖は阻止された

一、敵の迂回行動はアルジャンタン地區においてドイツ軍逆突破のため粉碎され、フアレーズ、アルジャンタン間の狹隘な脱出路は擴大された

一、シャルトルを繞る激戦はなほ繼續されてゐる

一、オルレアンにおいても米軍に對し終日激戦が續けられたが、米軍は遂に同市を占領した

一、サン・マロの守備隊は遂に敵の優勢の前に屈した、敵重砲火のたれに重兵器一切の沈没を餘儀なくされてから後者は、サン・マロ守備隊は輕兵器のみによつて防衛するのやむなきに至り、司令官フオン・アウロック大佐以下全戦闘員は極めて有力な敵の攻撃に抗し殆ど三週間に亘つて英雄的戦闘を續け、敵に甚大な損害を與へた、彼らの勇戦は青史に不朽の名を止めるであらう

△南佛戦線
一、南フランスの敵はツィロン、カンヌ間の橋頭堡を擴大、兵力を増強した、ドイツ軍の殿軍並に掩護射撃部隊は北方に行動する敵機偵察部隊を撃退した

一、ツィロン西方において數回に互に企圖された敵の新上陸作戦は挫折した

△海空戦
一、ドイツ海軍戦闘部隊はセーヌ河において敵驅逐艦二隻、輸送船四隻、計二萬五千噸を撃沈、一萬五千乃至二萬噸の大型輸送船一隻別に船舶八隻計四萬八千噸に魚雷を命中せしめ、爆發の状況よりみて撃沈は確實なりと推定される

一、海岸沿岸砲臺は南佛海岸沖において敵掃海艇二隻を撃沈、驅逐艦一隻を大破した

一、大ロンドン地區に對する熾烈な報復攻撃は日夜繼續されてゐる

來たがドイツ軍は撃退した

△海空戦
一、反極軸空軍は十八日ノルマンデー及び西歐占領地域の空中戦で二十機を喪失した

一、南佛海岸橋頭堡沖合においてドイツ戦闘爆撃機隊は六千噸級の輸送船一隻を大破した

△東部戦線
一、ドニエストル下流で赤軍は再び渡河作戦を開始したが、ドイツ軍により撃退された

一、カルパチア山系ではハンガリー軍はデラチン西南方の高地を占領した

一、グイストラ橋頭堡ではバラノフ西方のドイツ軍の攻撃に對し赤軍の抗戦は著しく強化された

一、ワルソノ東方では赤軍は戦車直協機隊の掩護下に廣汎な戦線で攻撃を開始したが、ドイツ軍の頑強な抵抗と猶豫なき反撃により僅かの成功を収めただけであつた

一、ヴェルコグイシユケン兩翼では赤軍は強力な戦車、歩兵部隊を繰り出して突破企圖を續行したがドイツ軍は大損害を與へて挫折せしめ、數箇所の突破口を閉塞した

一、ラトヴィア戦線のモドン地區ではドイツ軍は赤軍の強襲を撃退した

一、エストニアではブスコフ湖西方で一進一退の激戦が續けられドイツ軍は反撃に出て赤軍部隊を殲滅した

一、ドイツ護送艇隊はノルウェー北方水域でソ聯快速艇二隻を撃沈、一隻を大破した

面では間断なき敵の攻撃を防ぎつつアルジャンタン北方地区より東方に向つて戦鬪轉進を續けてゐる

一、シャトル東北及び北方地区では、ドイツ殿軍部隊は、西南方より増援を受けつつ前進する敵部隊と交戦中である

一、南フランスの敵軍は有力な戦車部隊をもつて橋頭堡を兩翼並に北方に擴大せんとつとめ特にツローン北方山峽地帯において激戦が續いてゐる

△イタリヤ戦線
一、イタリヤ戦線の敵はアドリア海岸地区で突破作戦を再開、終日激戦が續けられたが、敵は甚大な損害を蒙りながら僅かの地域を獲得したにすぎなかつた

△東部戦線
一、東部戦線の南部地区においてはドニエストル河とセレット河との中間で赤軍は猛烈な砲撃の後攻撃に出たが成功しなかつた、ベラノフ西方のグイッスラ橋頭堡ではドイツ軍は終日熾烈な防禦戦を行ひ、反撃に出て情勢を緩和した、ヴアルカ東南方の橋頭堡において赤軍は戦車、直協機

の支援の下に攻撃に出たが、激戦の末撃退された

一、ワルシャワ東方で赤軍は十九日新鋭部隊を前線へ投じたにも拘らず、僅かの地域を獲得したに過ぎなかつた、同方面では依然激戦が展開されてゐる、グイルコグイシユケン

ニアでも赤軍の壓迫はブスコフ湖の西方で續けられてゐるが、敵は重要地域を占領するに至つてゐない、更に極北戦線ではドイツ山嶽部隊は赤軍の強力な要塞化された要塞陣地を奪取した

一、米軍は爆撃機の小編隊を以てプロエヌフ地区を攻撃、敵機四を撃墜した

△フランス戦線
一、ノルマンディー戦線のドイツ軍はアルジャンタン北方地区に向つて敵陣地を突破、反撃中のドイツ機甲部隊と連絡した

一、ドイツ軍防禦陣地に對する敵の攻撃は粉碎された、ドイツ軍の反撃は數ヶ地點において續行されてゐる

一、ユーレ、セーヌ河中間地区の敵軍は北方に壓迫を加へ來つたが、その先鋒はパシー、ヴェルタン間で撃退された

一、シャルトル東北及び東方地区では、敵はセーヌ中流に對する重壓を持續してゐるが、それ以上前進してゐない

△東部戦線
一、東部戦線における赤軍の大攻勢は今や南部地区に擴大された

一、ワルシャワ東方においては、ドイツ軍はブク河を目指す赤軍の突破企圖をドイツ軍陣地の内深線において喰ひ止めた

一、グイルコグイシユケン南方及びシャケン地区では熾烈な防衛戦が續行されてゐる

一、ラトヴィア戦線においてはドイツ機甲部隊はツクムスを越えて進撃、ドイツ軍部隊との間に一時杜絶した

一、モドン西方、ブスコフ湖西方における赤軍の突出陣地擴大企圖はドイツ軍の頑強な抵抗によつて阻止された

一、ドイツ軍は東部戦線の全線で二十日赤軍機四十一機を撃墜した

△北佛戦線
一、ノルマンディーにおいてアルジャンタン北方地区で反樞軸軍の包圍を脱出し

たドイツ軍が更にドイツ軍の戦線後方に來着した

一、リジュー及びエヴルー南方においては反樞軸軍は強力な歩兵、戦車兵力をもつて攻撃を加へ來り激戦、戦車後リジュー西方地区のドイツ軍防禦陣地に突入した、ドイツ軍の反撃が

進められてゐる

一、ドルー西方及び北方では反樞軸軍は激戦の後僅かに數軒北方へ進出することが出来た

一、マントにおいてセーヌ北岸に出た反樞軸軍はドイツ軍の反撃により爾後の進出を阻止された

一、パリ南方においてセーヌ地区を模索中の反樞軸軍は前哨陣地においてドイツ軍の離脱作戦を急追中である

△南佛戦線
一、エー及びデュランス流域ではドイツ軍は反撃に出た反樞軸軍を撃退した

一、フランス後方地域においては匪賊二百二十九名を殲滅した

一、エヴルー及び同西方、ワール、セーヌ河間ではドイツ軍は大量の擁して北方から攻撃する反樞軸軍に對し頑強に抵抗を續けてゐる、反樞軸軍は多大の犠牲を拂つた後僅少の地域を進出するに成功した

一、ドイツ軍はヤント北方の反樞軸軍橋頭堡に反撃を加へ、激戦の後セーヌ河岸へ撃退した

一、パリ南方においては反樞軸の大軍はドイツ軍前哨掩護陣地を攻撃、逐次セーヌ河の方へ壓迫してゐる

一、更に南方ではヨンスにおいて戦鬪が行はれてゐる

△南佛戦線
一、ツローンのドイツ軍守備隊は反樞軸軍と激戦を展開、同市を堅持してゐる

一、デユランス河南方においてはドイツ軍は反樞軸軍の強壓下に豫定通り西方へ離脱した

一、佛伊國境の山徑においてドイツ軍は大損害を與へて匪賊の數集團を撃退、大部分を掃蕩した

△海空戦
一、アーヴル北方水域においてドイツ掃海艇及び驅逐艇は英潜水艦三隻を撃沈、他の三隻に損害を與へた

一、サン・マロ沖合のセキセンパル島におけるドイツ海軍砲臺は反樞軸艦隊の攻撃に對し依然頑強に抵抗を續けてゐる

一、ドイツ海軍哨戒艇隊はフランス大西洋岸水域で反樞軸爆撃機三機を撃墜、ドイツ側も二隻を撃沈された

△東部戦線
一、南部ベツサラピヤ及びモルダヴィアにおいては赤軍は戦車、機械化部隊の大軍を擁して攻撃を續行、數地點において深く突入したが、獨羅

は反樞軸軍はドイツ軍の反撃により進出を阻止された

一、マントにおいてセーヌ北岸に出た反樞軸軍はドイツ軍の反撃により

一、パリ南方においてセーヌ地区を模索中の反樞軸軍は前哨陣地においてドイツ軍の離脱作戦を急追中である

兩軍はその先鋒を喰ひ止めた
一、バラノフ西北方においてはドイツ軍は砲兵隊及び迫撃砲隊の有効な掩護下に赤軍主力を撃滅した
一、ヴアルカ東南及びヴルシヤワ東北方においては赤軍は突破企圖を再開したが、ドイツ軍により撃退された、ドイツ戦車一個師は以上の戦闘で赤軍戦車五十二輛を撃破した
一、プグ、ナレフ兩河間では赤軍は強力な戦車、直協機隊の掩護下に攻撃を再開、激戦が展開されたが、ドイツ軍は後方陣地において赤軍を喰ひ止めた
一、モドン西方の突破地区においてはドイツ軍は激戦の後赤軍を撃退した
一、プスコフ湖西方においてはドイツ軍は赤軍の攻勢を悉く撃退した

廿四日

一、東部戦線の南部では赤軍は機械化歩兵部隊と戦車部隊とをもつてブルト河下流の両側地区に進出した、更にセレト河の中流でもロマンにおいて激戦續行中である
一、ワルソー東北方ではドイツ親衛隊は戦の後数回に亘る赤軍の攻撃を粉碎した
一、プグとナレフ兩河の間では赤軍の猛攻撃は凄烈な森林戦の未阻止された
一、プスコフ湖西方においては赤軍は再び強襲を開始したが失敗に終わった
一、赤軍は歩兵数ヶ師團をもつてトルバートに向ひ突破口を企圖したがドイツ軍によつて阻止された
一、東部戦線の北部地区のみでドイツ空軍直接機隊は赤軍戦車六十臺、砲十五門、車輛百輛以上を破壊した

北佛戦線

一、ノルマンデー戦線のドイツ軍はリシユエー地区、トゥーケ地区及びその南方で敵の攻撃を悉く撃退した
一、エヴルル西方より北上する敵部隊はドイツ軍機甲部隊の攻撃に遭遇して前進を阻止された、ドイツ直協機隊は地上作戦を掩護、敵渡河部隊並に戦車車輪隊列に對し極めて効果的な攻撃を加へ、セーヌ河の二橋梁を爆弾により破壊、空中戦において敵十二機を撃墜した
一、マンリーの西北方においてはドイツ軍はラ・コツシュ・ゴワインにおいてセーヌ渡河中の米軍を爆撃、甚大な損害を與へ、ラ・ロンシュ・ゴワイアン以南の彎曲部における敵軍を一掃した
一、セーヌを渡河せるフオンタンブロー東北方の敵はドイツ軍の反撃により河岸まで撃退された
一、ドイツ軍爆撃機隊は二十三日夜エヴルルを攻撃廣範圍の火災と爆煙が認められた

南佛戦線

一、リヴィエラ戦線においてマルセーユ並にトゥーロン守備隊は優秀な敵軍に對し頑強な抵抗を續けてゐる
一、デュランヌ北岸の敵はドイツ軍の離脱作戦をローヌ溪谷において遮断せんと北方に前進中である
一、佛伊國境アルソ地方ではドイツ軍機甲部隊は匪團の執拗なる妨害を排除しつゝ山路の西方に進撃してゐる、マツグレナ峠は激戦の後再びドイツ軍の手に奪回された

東部戦線

一、ドイツ軍は八月十八日から二十二日に至る間に敵戦車百五十一臺を撃破、又同期間親衛隊戦車部隊も戦車九十九臺を撃破した
一、東部戦線の南部地区ではルーミア軍の一部がボルシェヴィイキに對する抵抗を中止した後ドイツ軍は更にブルト並にセレイト兩河に向つて後退してゐる、カルバチア山脈とヴイヌツラ河との中間では赤軍の強力な局地的攻撃を粉碎した
一、バラノフ西方のヴイヌツム橋頭堡ではドイツ軍歩兵並に戦車部隊は空軍及び高射砲隊の有効な掩護下に赤軍の北方へ向つての突破企圖を撃破した、以上の戦闘で赤軍の戦車及機甲、二個軍團並に歩兵十二ヶ師團は甚大な損害を蒙り、八月十一日から廿三日に至る間に何方面で敵戦車四百三十四臺、砲六百三十四門を鹵獲乃至撃破した

東部戦線

一、プグ、ナレフ兩河間における赤軍の突破企圖も激戦のち撃破された
一、モドン西方における敵の反復攻撃も撃破され、ヴアルカ西方の敵の新攻勢も失敗に歸した、過去數日間互に互の同方面の戦闘で戦車及び迫撃砲隊の掩護をうけた赤軍歩兵十ヶ師による攻撃は撃退された
一、ドルバート地区ではドイツ軍並にエストニア軍は敵の攻撃を阻止し二十四日同方面でドイツ軍は敵機五十八機を撃墜した
一、ノルウェー北部のドイツ海軍基地に對する空襲において英空軍二十機を撃墜、北氷洋で作戦中のドイツ潜水艦隊は二十三日既に敵巡洋艦一隻を撃沈したが、更に補助空母一隻驅逐艦四隻を撃沈し、又他の艦艇一隻に大損害を與へた

東部戦線

一、米爆撃機隊はドイツ中、北部並にズデーデンランド、ボヘミヤを攻撃、特にキール及びバルドビツクの損害を甚だしかつたが、四發機四十三機を含む敵機合計四十八機を撃墜した
一、バラノフ西方のヴイヌツム橋頭堡ではドイツ軍歩兵並に戦車部隊は空軍及び高射砲隊の有効な掩護下に赤軍の北方へ向つての突破企圖を撃破した、以上の戦闘で赤軍の戦車及機甲、二個軍團並に歩兵十二ヶ師團は甚大な損害を蒙り、八月十一日から廿三日に至る間に何方面で敵戦車四百三十四臺、砲六百三十四門を鹵獲乃至撃破した
一、メルン西方でセーヌ河を渡河しようとした敵は撃退されたが、一地区の突破地点ではドイツ軍は反撃に出た
一、赤軍はモドン西方及びヴアルカ東北方で反復猛攻を加へ來つたがドイツ軍は大損害を與へて撃退した
一、ドルバートでは激戦が展開されてゐる

東部戦線

一、セーヌ河下流のドイツ軍は壓縮された橋頭堡において反極軸軍の攻撃を悉く撃退した
一、エルブーフ攻防戦は特に熾烈を極め反極軸軍は一旦市内に突入したが、ドイツ軍は反撃に出て反極軸軍を再び撃退した
一、ドイツ爆撃機隊はブリエンヌの反極軸軍集團に對し猛爆を加へた
一、反極軸軍一個大隊はバリ西北方で渡河を試みたが、ドイツ軍により

東部戦線

一、ルーミアニア戦線ではドイツ軍は赤軍の執拗な攻撃を撃退しつゝ命令された地域へ離脱してゐる
一、モルダヴィア戦線では獨軍及びドイツの同盟に忠誠なルーミアニア軍戦車隊は廿四日協力して赤軍の數次にわたる攻撃を撃退した、ルーミア國王一味の追隨者共による孤立した抵抗は撃退された
一、ブカレスト地区及び市内においてはドイツ軍はルーミアニア叛逆軍の攻撃を撃退した
一、カルバチア山系とヴイヌツラ河中間では赤軍は廣般な戦線で攻撃を加へ來つたが、ドイツ軍により撃退された

東部戦線

一、赤軍はヴイヌツラ、ナレフ兩河間の攻撃を更に數地區へ擴大したがドイツ軍によつて撃退され、數箇所突破地点ではドイツ軍は反撃に出た
一、赤軍はモドン西方及びヴアルカ東北方で反復猛攻を加へ來つたがドイツ軍は大損害を與へて撃退した
一、ドルバートでは激戦が展開されてゐる

廿五日

一、ドイツ軍は八月十八日から二十二日に至る間に敵戦車百五十一臺を撃破、又同期間親衛隊戦車部隊も戦車九十九臺を撃破した
一、東部戦線の南部地区ではルーミア軍の一部がボルシェヴィイキに對する抵抗を中止した後ドイツ軍は更にブルト並にセレイト兩河に向つて後退してゐる、カルバチア山脈とヴイヌツラ河との中間では赤軍の強力な局地的攻撃を粉碎した
一、バラノフ西方のヴイヌツム橋頭堡ではドイツ軍歩兵並に戦車部隊は空軍及び高射砲隊の有効な掩護下に赤軍の北方へ向つての突破企圖を撃破した、以上の戦闘で赤軍の戦車及機甲、二個軍團並に歩兵十二ヶ師團は甚大な損害を蒙り、八月十一日から廿三日に至る間に何方面で敵戦車四百三十四臺、砲六百三十四門を鹵獲乃至撃破した
一、モドン西方における敵の反復攻撃も撃破され、ヴアルカ西方の敵の新攻勢も失敗に歸した、過去數日間互に互の同方面の戦闘で戦車及び迫撃砲隊の掩護をうけた赤軍歩兵十ヶ師による攻撃は撃退された
一、ドルバート地区ではドイツ軍並にエストニア軍は敵の攻撃を阻止し二十四日同方面でドイツ軍は敵機五十八機を撃墜した
一、ノルウェー北部のドイツ海軍基地に對する空襲において英空軍二十機を撃墜、北氷洋で作戦中のドイツ潜水艦隊は二十三日既に敵巡洋艦一隻を撃沈したが、更に補助空母一隻驅逐艦四隻を撃沈し、又他の艦艇一隻に大損害を與へた

東部戦線

一、ドイツ軍は八月十八日から二十二日に至る間に敵戦車百五十一臺を撃破、又同期間親衛隊戦車部隊も戦車九十九臺を撃破した
一、東部戦線の南部地区ではルーミア軍の一部がボルシェヴィイキに對する抵抗を中止した後ドイツ軍は更にブルト並にセレイト兩河に向つて後退してゐる、カルバチア山脈とヴイヌツラ河との中間では赤軍の強力な局地的攻撃を粉碎した
一、バラノフ西方のヴイヌツム橋頭堡ではドイツ軍歩兵並に戦車部隊は空軍及び高射砲隊の有効な掩護下に赤軍の北方へ向つての突破企圖を撃破した、以上の戦闘で赤軍の戦車及機甲、二個軍團並に歩兵十二ヶ師團は甚大な損害を蒙り、八月十一日から廿三日に至る間に何方面で敵戦車四百三十四臺、砲六百三十四門を鹵獲乃至撃破した
一、モドン西方における敵の反復攻撃も撃破され、ヴアルカ西方の敵の新攻勢も失敗に歸した、過去數日間互に互の同方面の戦闘で戦車及び迫撃砲隊の掩護をうけた赤軍歩兵十ヶ師による攻撃は撃退された
一、ドルバート地区ではドイツ軍並にエストニア軍は敵の攻撃を阻止し二十四日同方面でドイツ軍は敵機五十八機を撃墜した
一、ノルウェー北部のドイツ海軍基地に對する空襲において英空軍二十機を撃墜、北氷洋で作戦中のドイツ潜水艦隊は二十三日既に敵巡洋艦一隻を撃沈したが、更に補助空母一隻驅逐艦四隻を撃沈し、又他の艦艇一隻に大損害を與へた

東部戦線

一、セーヌ河下流のドイツ軍は壓縮された橋頭堡において反極軸軍の攻撃を悉く撃退した
一、エルブーフ攻防戦は特に熾烈を極め反極軸軍は一旦市内に突入したが、ドイツ軍は反撃に出て反極軸軍を再び撃退した
一、ドイツ爆撃機隊はブリエンヌの反極軸軍集團に對し猛爆を加へた
一、反極軸軍一個大隊はバリ西北方で渡河を試みたが、ドイツ軍により

東部戦線

一、ルーミアニア戦線ではドイツ軍は赤軍の執拗な攻撃を撃退しつゝ命令された地域へ離脱してゐる
一、モルダヴィア戦線では獨軍及びドイツの同盟に忠誠なルーミアニア軍戦車隊は廿四日協力して赤軍の數次にわたる攻撃を撃退した、ルーミア國王一味の追隨者共による孤立した抵抗は撃退された
一、ブカレスト地区及び市内においてはドイツ軍はルーミアニア叛逆軍の攻撃を撃退した
一、カルバチア山系とヴイヌツラ河中間では赤軍は廣般な戦線で攻撃を加へ來つたが、ドイツ軍により撃退された

撃退された
一、反樞軸軍は強力な兵力をもつてパリ市南部に突入、二十五日終日市街戦が展開された、反樞軸軍は戦車五十輛以上を喪つた
一、パリ南方では反樞軸軍はコルベ、イユ及びモントロワ間の數個所でセーヌ河を渡河、橋頭堡を擴大するに成功した
一、ヨンスヌ地方では反樞軸軍偵察部隊は東南方へ摸索前進中である
一、ドイツ哨戒艇隊はフランス海岸で反樞軸駆逐艦三隻、快速艇一隻に損害を與へた
一、ツローン、マルセーヌ兩港のドイツ軍守備隊は強力な反樞軸軍の攻撃を避けて死闘を續けてゐる
一、ローム流域ではドイツ軍のリヨンに向ふ移動を阻止しやうとする反樞軸軍機械化部隊との間に激戦が展開されてゐる
一、ドイツ海軍は南佛水域で反樞軸駆逐艦、コルヴェット艦各一隻に魚雷攻撃を加へた

日七廿

△東部戦線
一、ルーマニア地區において赤軍は赤軍の機甲部隊並に有力な戦車隊が南下進撃しドイツ軍は撃退し戦車多數を撃破した、ルーマニア國內ではブカレスト市の北郊外で特に熾烈な戦闘を展開しプロエヌチ地區ではソヴェト政府の指令に基きルーマニア軍がドイツ軍の武装解除を企圖したがドイツ軍は甚大な打撃を與へて撃退、ルーマニア軍戦車三輛はドイツ軍高角砲の犠牲となつた、ルーマニア軍の死傷は異常に大きい、ドイツ軍は飽くまで奮戦しルーマニア軍は數的に優勢にも拘らず遂に敗走した
△北佛戦線
一、セーヌ下流西方のドイツ軍後衛部隊は激しく追躡する敵軍の屢次にわたる攻撃を退けた、敵はマント北の橋頭堡より猛烈な攻撃を繰返したが僅かの地域を獲得したにすぎない
一、パリでは市内ドイツ軍守備隊の必死の抵抗により、敵は絶へず甚大な死傷者を出してゐる
一、パリ南方並にトロワエ地區においては米軍有力部隊は北方並に東方に數軒前進した
△東部戦線
一、ドイツ軍はブルート河下流兩翼において熾烈な突破戦闘を續行中である
一、赤軍は更に南方及び西方へ進出抵抗にも拘らずオクサニ市を占領した、以上の戦闘において赤軍は戦車多數を喪つた
一、獨逸兩軍はカルパチヤ東部からハンガリー國境を越えようとする赤軍に反撃を加へ着々戦果を収めてゐる
一、ウイスマラ、ナシフ兩河間の赤軍は大攻勢を續行、作戦範圍を北方ホブル地區に擴大したが、ドイツ軍は激戦の後撃退、數個所の突破口を閉塞した
一、ミタウ西北方、モドン北方及びヴアルカ東北方においてはドイツ軍は頑強に抗戦して赤軍の猛攻を撃退ドルバート北方地區に突入した赤軍を反撃によつて進出を阻止した

日八廿

△北佛戦線
一、ルアン西方地區の敵は廿七日もセーヌ左岸のドイツ軍後衛部隊に對し激しく攻撃を加へたが、ドイツ軍の集中する防禦砲火の前に悉く進出を阻止された、エルブツツ東方の敵は橋頭堡は反撃のために縮少を餘儀なくされ、敵の新攻勢は戦車二十臺、偵察車六臺を失つて挫折した
一、マント北方の敵は橋頭堡の擴大に努めたが有力な歩兵及び戦車部隊を戦闘に注入せるにも拘らず、得た地域は極めて少かつた
一、パリにおいては、多數ドイツ軍據點は今なほ不屈の抵抗を示し、東方郊外より戦車援護の下に迫る敵の攻撃は反撃により喰ひ止められた
一、パリ東南方地區では敵は激戦の後ドイツ軍をマルタ下流に壓迫した
一、ドレスト要塞司令部に對する降伏勧告が拒否されるや、米軍は廿七日有力な歩兵並に戦車部隊をもつて總攻撃を開始、戦闘は益々熾烈の度を加へたが、ドレスト守備隊は陸海軍砲臺並に高射砲隊の効果的掩護射撃の下に一切の敵攻撃を粉碎、敵は戦車七臺を喪失した、要塞前面における數ヶ所の小突破口は直ちに閉鎖された

日九廿

△東部戦線
一、ルーマニアにおいてはブルート河下流兩翼のドイツ軍は八方から攻撃を加へる赤軍と戦闘を續行中である
一、セレット河下流西南方に於ては激戦の後ブサウ市が赤軍の手に歸した
一、ハンガリー國境地方の東部カルパチヤ南翼ではドイツ軍及びハンガリー軍は進撃する赤軍先鋒部隊と激戦を展開してゐる

日十廿

△東部戦線
一、ドイツ軍はパリー西方のセーヌ河橋頭堡から加へられた前後七回互る反樞軸軍の猛攻を阻止、激戦の後、東方の新陣地に離脱した
一、ドイツ軍は港灣その他の軍事上重要施設を破壊した後ルーマニ市を撤収した
一、パリ、フランス間ではドイツ軍は北方に向け攻撃中の有力な米軍歩兵と激戦を展開、これを阻止した
一、ソワソン市の南部では熾烈な市街戦が行はれてゐる
一、マルヌ河南方では反樞軸機械化部隊はシヤロン・スール・マルス東方に突入、目下激戦が展開されてゐる
△南佛戦線
一、ローム峡谷ではドイツ軍の側面部隊が東方から襲撃した反樞軸軍の攻撃を撃退、多數の戦車を撃破した
一、佛、伊國境西方のアルプス地帯ではドイツ軍はフランス人匪圍及び米軍偵察部隊と激戦を交へた後ブリアンソン市を奪回した

日一卅

△東部戦線
一、ルーマニア戦線ではドイツ軍はプサウ附近及びピストリツァ流域において赤軍の攻撃を撃退した
一、同方面で山徑を経てハンガリー國境に侵入した赤軍は反撃により數地點を撃退された
一、二十九日夜ドイツ軍西方沖でドイツ軍快速艇隊が反樞軸駆逐艦一隻を撃沈した、またドイツ海軍哨戒艇及び小型舟艇隊は同水域で「ハン」ト級英國驅逐艦一隻を攻撃、同艦は大爆發の後破壊沈没した
一、ロンドンに對するV一號の報復砲撃は依然續行された
△東部戦線
一、赤軍はプロエヌチ地區到達に成功し、赤軍の先鋒部隊は既に數ヶ所で市内に侵入した、然しドイツ軍は依然防禦線を保持し優勢な赤軍を邀撃してゐる、ペカウ南方のカルパチヤ山脈の時對する赤軍の壓迫は三十日著しく増大した、ドイツ軍は殺到する

日一卅

△東部戦線
一、赤軍はプロエヌチ地區到達に成功し、赤軍の先鋒部隊は既に數ヶ所で市内に侵入した、然しドイツ軍は依然防禦線を保持し優勢な赤軍を邀撃してゐる、ペカウ南方のカルパチヤ山脈の時對する赤軍の壓迫は三十日著しく増大した、ドイツ軍は殺到する

赤軍に大損害を興へ戦闘は三十日早朝再び激化した

一、トランシルヴァニアの東南國境で新たに開始された赤軍の熾烈な攻勢は粉碎された、ワルソー東北方では赤軍はワルソー市内への突破を企圖したが、戦車二十四臺を喪失して再び撃破された

△イタリヤ戦線
一、イタリヤ戦線では再び反樞軸軍はアドリア海岸で廣汎に互つて大規模な攻勢を開始、海軍部隊の掩護下に多數の直協機砲兵隊を動員しワルビーノ並にベサロにおいて局地的突入に成功したが、ベサロ西南方では二ヶ所の突破地区においていまなほ激戦が展開されてゐる

一、敵爆撃機隊はブレームン、キールに恐怖攻撃を加へ、更にハンガリアの數ヶ所にも攻撃を加へた、三十日夜英空軍は編隊を組まずにラインメーン地區に來襲、爆弾を投下した
△フランス戦線
一、パリ北方においてドイツ軍の離脱運動を急迫する敵の銳鋒は遂に阻止され、ポーウェー地區より北上する敵攻撃部隊に對してはドイツ軍の反撃が開始された、ラオン、ランス地區のドイツ軍は敵戦車部隊と激戦を交へたが、敵は更に東北方並びに北方への進出に成功した

一、ローヌ溪谷における敵の壓迫は特にヴァランスに對し強化されたが同地區における敵の攻撃は激戦の後悉く粉碎された



【ベルリン二日發】
統大本營は二日次の通り發表した

ドイツ空軍は七月中に反樞軸空軍の一千八百三十機を撃墜した、うち二千二百三十六機は四發爆撃機であつた、又ドイツ本土の上空だけで空中戦及び高射砲により八百四機を撃墜した

【ベルリン九月一日發】
八月月中撃墜【ベルリン九月一日發】
ドイツ軍當局一日言明【ドイツ軍は八月月中に反樞軸軍機千八百六十八機を撃墜した、うちドイツ本土上空の撃墜数は七百九十八機に上つた】

東部戦線

東プロシヤに重壓
【ストックホルム一日發】
東部戦線において現在戰闘の焦點をなしてゐるのはリガ周邊、コヴォノ南方のシュヴァルキ地帯並にワルシヤワ地區でその他の戦線では大した變化はない、ワルシヤワ攻略を目指すロコフスキ軍は徐々にヴノスツラ河に接近し目下ワルシヤワ東北方のヴォロミーンから東南方のヴノスツラ河岸にかけ半圓形の包圍陣を布き空軍及び砲兵隊を以て盛んにワルシヤワ市の東部をなすブラガに砲撃を加へてゐるといはれる、消息筋の一部では赤軍従来の戦法に徴しワルシヤワを迂回するのではないかと、赤軍の進撃方向から見て右の觀測は、的を外れてゐるやうだ、モスクワからのU・P電によれば目下ワルシヤワの市内は炎上し砲煙はヴイスマツラ河を蔽ふてゐるといはれ、ワルシヤワ攻防戦の幕は將に切つて落されやう

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

としてゐる、シュヴァルキ地帯の戰闘も白熱化し既に赤軍の一部は同地帯内深く突入し東プロシヤまで十五哩の地點に迫つてゐると傳へられるこの方面の戦況はコヴォノ地區及びシアウアイからナリジツトを目指す赤軍の攻勢と關聯し東プロシヤに對する大規模な攻勢の前提をなすものと見られる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

三日ワルソー東北方で反撃を續けてゐるドイツ軍がラトシミンを奪回した旨言明した

【ストックホルム四日發】
前線報道によればワルソーの正面攻撃に失敗した赤軍はコーネフ元帥麾下のウクライナ第一戦線軍を以てワルソーを南から西南方へかけ大きく包圍しようとな企圖してゐるといはれる、モスクワ來電によれば四日夜の赤軍司令部の戦況公報はワルソー前面の戦況に殆んど觸れてをらず同方面におけるドイツ軍の抵抗強化を暗に認めてゐるが、同時にワルソー南方二百二十哩のテン河、ヴイスマツラ河合流點附近で作戦中のコーネフ軍がヴイスマツラ河を二ヶ所で渡つたことを大々的に謳つてゐる、ドイツ側でもサンドミユルス、その他一ヶ所における赤軍の渡河を認めてゐるといはれるがサン・ドミユルス西南方のバラノフ附近で赤軍が設立した橋頭堡は幅約十八哩と傳へられ、目下コーネフ軍はレンベルグからブルゼイスルを経てワルソー西南方のロッツに至る道路に始まつて西北進を焦つてゐるといはれる、右赤軍の狙ひは明かにワルソー、クラカウ兩地區のドイツ軍の連絡を遮斷するにあり、今後同方面の戦闘は一段と激化するものと見られる

【ストックホルム五日發】
前線報道によればワルソー前面の戦闘は依然熾烈を極めてゐる模様だが、同方面ではドイツ軍の反撃により赤軍は防禦態勢をとつてゐるといはれる、東プロイセンの國境東方地區では第三白露戦線軍の砲火が東プロイセン領内に落下してゐると傳へられるが同時にドイツ軍の抵抗も豫備軍の到着によつて急角度に増大してをり、國境地方の作戦に困難な地帯と相俟つて赤軍の國境突破を阻んでゐる一方南部地區では戦況は極度に緊迫しヴイスマツラ大彎曲部のワルカ附近と更なる南方のバラノフ附近で設立された赤軍の橋頭堡を繞り、激戦が展開されてゐる、又、レンベルグ、ラカウ鐵道に沿つて西進中のコーネフ軍はヤロスラウ西方に到達したと傳へられ作戦の重點は漸次舊ポーランド領の南部に移動してゐる

【ストックホルム五日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

【ベルリン二日發】
ドイツ軍當局はドイツ軍が一切の橋梁を破壊した後リガ南方のミタウから撤収した旨言明した

【ストックホルム三日發】
ドイツ軍當局は既に東部戦線における離脱機動が最終段階に達した旨言明したドイツ軍の抵抗強化を認め二日次の通り報道してゐる

戦線軍を動かして牽制攻勢を展開、前線報道によればドイツ軍はポーランド最大の油田都市ドロホヴィツを抜いて西南下するベトロフ大將麾下の第四ウクライナ戦線軍を油田都市ボリスラウで喰ひ止めレンベルグから西進するコーネフ元帥麾下第一ウクライナ戦線軍をドロホヴィツ西北方二十五料の交通要衝サンボルで阻止、赤軍のカルパチヤ山系突破企圖を必死で粉碎に努められるといはれるが、西ウクライナ戦線軍を以つてする赤軍の舊チエツコ領寇企圖は漸く明瞭となり、南部戦線の戦局は再び重大化するに至つた

【ストツクホルム八日發】

ヤン麾下の赤軍は八日シヤウリヤヤンルジツト自動車道路上のバグラジヤンチスに進出、東プロイセンに至る五十料の距離を必死で短縮しやうと焦つてゐるやうだ、他方チエルニヤホフスキー軍はニーマン河支流のシヤルツヴィス上流のラセイニヤイから西南下してチルジツトを東方から捲き込む作戦とみられるが、バルト海から東プロイセン東方國境附近のヴァイルカウイシユキスに亘つて鐵形に布陣したドイツ親衛機甲軍は八日前後二十回に亘つて猛戦車反撃を展開、息詰る白兵隊下に赤軍先鋒の破挫に努めたり、戦線は多少固定してゐるが、戦闘の激度は恐らく今次夏季攻勢開始以來最大と稱されてゐる、ビヤリストク北方から國境を覗ふザハロフ軍はスワルキ、アウグストウの兩地區でドイツ軍鐵壁の防衛陣に跳ね返されて苦戦に陥つてゐるが、八日スワルキ北方六十料のヴァイルパリスへ迂回、インステルブル

グに一路西進を企圖したが、前線報道によればドイツ軍は約一千臺の戦車を繰り出して赤軍の進出を斷乎阻止凄惨な殲滅戦を展開してゐると傳へられる

【獨軍四十回の猛反撃】

【ストツクホルム九日發】ソ聯情報局は九日夜の戦況公報でドイツ軍が東部戦線の殆んど全域に亘つて猛反撃に出てゐる旨認めてゐるが、特にドイツ軍の反撃が強烈なのは東プロイセン國境一帯で、モスクワからのAP電報によればドイツ軍は八日來戰略豫備軍を東プロイセン國境に投じたと傳へられる、赤軍はシヤウライ・チルヂツト自動車道路の東方ラセイニヤイからヴァイルカウイシユキス、マリヤンポール西北方の三個所から東プロイセン東南國境に侵入、チルジツト、インステルブルの兩市を結ぶ線を押へやうと企圖してゐるがUP記者シヤビロの報道によればドイツ軍の反撃により進路を全く阻まれ、非常な苦戦に陥つてゐる様だ、他方ワシレフスキー計畫の實現を狙ふ赤軍はドヴィンスタク西北方ドヴィン北岸のクルストビルスからリトワニアのアナチャ湿地帯北端のピルザイに至る線に徐々にリガへ壓迫を加へてゐるがUP電報によれば、ドイツ軍はピルザイ附近に歩兵と強力な戦車部隊を集結、九日には前後四十回に亘つて猛反撃を展開、赤軍の捲上げ作戦の粉碎に努めてゐるといはれる

【ストツクホルム十三日發】東部戦線の重點は依然ビヤリストク西北方の東プロイセン戦線におかれてゐる前線報道によればこの方面で攻勢をとつてゐるザハロフ麾下の第二白霧戦線軍の南翼は、ワルシヤワ東北方のドイツ軍突出陣地を西方に壓しつつ南方からブグ河を渡河したロコソフスキー麾下の第一白霧戦線軍と合流を遂げたといはれる、かくて赤軍はワルソを北方から衝く態勢を整へると同時に東プロイセン國境へ到着を焦る赤軍の先鋒は東プロイセン國境を去る十八哩ビブルグ河西岸のゴニオンツに達した模様で同市から國境内のドイツ都市プロトケンを経てリツクを衝かうとしてゐる、ビブルグ河(ポール河)は東プロイセン國境の東南方を流れるナレ河の支流であるが、ドイツ軍はこの線に祖國防衛の鐵血の陣を布くものと期待され、既に同河の線に彼我砲撃の應酬が開始されてゐるといはれる、一方ヴスコツ西方で攻勢を開始したマズレニコフ麾下の第三バルト戦線軍の出足は注目すべきものがあつて、現在その一部はヴスコフ西方五十哩のヴァイラフに達したといはれ、更に同市西方五十哩のヴァルカでタリンとリガを結ぶ鐵道の大動脈の遮断を狙つてゐる模様であるが、ドヴィンスタク方面からリガ南方に進出しているバルト海に到達し、リバウ以南のドイツ軍との連絡を絶ち切らうとする赤軍の動きと共にバルト戦線の今後の發展は輕視出來ないものがあつた

【ストツクホルム十四日發】ビヤリハロフ麾下第二白霧戦線軍は十四日ゴニアツからオンソヴエツの線に東プロイセン國境東南方のビニアルザ河に到達、オンソヴエツを撤収したドイツ軍に追尾して同市西北方の湿地帯で熾烈な機動戦を展開してゐるが、ザハロフ軍の別動隊は十四日ビヤリハロフ西方七十料の戰略要衝ロムザに迫り、東プロイセン國境の攻防戦は再び風雲急を告げるに至つてゐる、ドイツ軍當局もオンソヴエツ地區の赤軍作戦を極度に重視「赤軍が東プロイセンの包圍態勢を整へて以來、同方面において大攻勢を開始することはい既に判つてゐた、以上の作戦は直接東プロイセンに對する赤軍攻勢の開始を意味するものであり、今後壓迫は一段と強化されよう、しかしドイツ軍は既に豫備兵力と大量の器材を集結して決戦に備へてをり、近く史上空前の大野戦が展開されよう」と十四日言明、斷乎たる總反攻の火蓋を切る決意を披瀝してをり、東部戦線の戦局が新段階に突入するも間近かに迫つた感を深めてゐる

【ベルリン十五日發】ドイツ前線報によればリンドンマン上級大將麾下のバルト戦線ドイツ軍は十四日リトアニア戦線のラセイネン(ラセイニヤイ)を奪回した、ラセイネンはドイツ軍の攻勢は漸次北方に擴大され、ロコソフスキー軍のワルソ攻略作戦は全く行き惜みの態といはれる、更にモスクワからのロイター電報によればソヴエト情報局十八日夜の戦況公報は「シヤウリヤイ西方の赤軍は有力なドイツ軍戦車並に歩兵部隊と激戦を交へドイツ軍は赤軍陣地内に突入するに至つた」と述べてリトアニア中西部におけるドイツ軍の熾烈な攻撃を認めてゐるといはれる、一方東プロイセン東方ではチエルニヤホフスキー軍大將麾下の全兵力を雄

【ストツクホルム十六日發】

東プロイセン國境邊及びワルソ前面におけるドイツ軍反攻は愈々激化、十六日には東部戦線の全域にわたり數地に除き赤軍は全くの受太刀に追ひやられてゐる様で、モスクワ來電によれば、ソ聯情報局は十六日夜の公報で本年夏季攻勢開始以來初めてドイツ軍の「反撃」といふ言葉を使は

【ストツクホルム十八日發】

東部戦線におけるドイツ軍の攻勢は目下ワルソ前面並にリトアニア中西部で展開され赤軍必死の抵抗を排して逐次前進してゐるといはれる、前線報道によればブラガ東方におけるドイツ軍の攻勢は漸次北方に擴大され、ロコソフスキー軍のワルソ攻略作戦は全く行き惜みの態といはれる、更にモスクワからのロイター電報によればソヴエト情報局十八日夜の戦況公報は「シヤウリヤイ西方の赤軍は有力なドイツ軍戦車並に歩兵部隊と激戦を交へドイツ軍は赤軍陣地内に突入するに至つた」と述べてリトアニア中西部におけるドイツ軍の熾烈な攻撃を認めてゐるといはれる、一方東プロイセン東方ではチエルニヤホフスキー軍大將麾下の全兵力を雄

【ストツクホルム十九日發】

東部戦線におけるドイツ軍の攻勢は目下ワルソ前面並にリトアニア中西部で展開され赤軍必死の抵抗を排して逐次前進してゐるといはれる、前線報道によればブラガ東方におけるドイツ軍の攻勢は漸次北方に擴大され、ロコソフスキー軍のワルソ攻略作戦は全く行き惜みの態といはれる、更にモスクワからのロイター電報によればソヴエト情報局十八日夜の戦況公報は「シヤウリヤイ西方の赤軍は有力なドイツ軍戦車並に歩兵部隊と激戦を交へドイツ軍は赤軍陣地内に突入するに至つた」と述べてリトアニア中西部におけるドイツ軍の熾烈な攻撃を認めてゐるといはれる、一方東プロイセン東方ではチエルニヤホフスキー軍大將麾下の全兵力を雄

結してコヴノケーニヒスベルグ鐵道
の兩側地區で東プロイセン突入を企
圖、目下夏季攻勢開始以來最大の激
戦を展開してゐるといはれる、ドイ
ツ軍當局も認めてゐるやうに赤軍は
コヴノ西南方のヴイルコヴイシユネ
クを奪回した後國境地區を漸次接近
してゐるが、モスクワからのA.P.來
電は赤軍の先鋒部隊は國境を距る三
哩半のヴイルバリに到達し、一地區
ではドイツ軍はセツペ河の南岸に退
き同河を橋に役とする赤軍を遊撃し
てゐると報じてゐる既に赤軍がセツ
ペ河を渡りし東プロイセンの一角に
突入したとの先走つた情報もあるが
未だ赤軍當局でも確認してゐない、
然し乍ら同方面の戦況が榮めて緊迫
してゐることは最早疑問の餘地はな
く今後数日の戦況の推移は注目に値
する、更に赤軍はサン河とヴイヌツ
ラ河との合流點西南方パラノフの橋
頭堡の擴大を焦り、十七日にはサン
ドミニエツトを占領したと傳へられ
又ドミニエツト下流でも赤軍の動き
が可成り活潑化して來てゐるやうだ
尤もドイツ軍當局ではドニエツトル
下流の作戦は未だ局地戦の域を出な
いと觀測してゐるが、同時に今次夏
季攻勢において赤軍が二百ヶ師の大
兵力と戦車四千乃至五千臺を使用し
ながら依然有力な部隊を擁してゐる
點を指摘して赤軍今後の動きに深甚の
注目を拂つてゐる

東部戦線決戦迫る

【ベルリン十九日發】十九日の總統
大本營公報はワルソー東北方の高斜
面による赤軍の攻撃再開を報じてゐ
るが東プロイセン進撃と相俟つて東
部戦線の風雲は再び急迫を告るに至
つた、七月廿二日カルパチヤ山脈か

らブスコフ湖南方に亘る長大な戦線
に展開された赤軍の攻撃はワルソー
攻略と東プロイセン侵入と云ふ劇的
段階に急進展したがドイツ軍必死の
反攻は之を阻止して戦線は一度安定
をみたが、茲数日の戦況に鑑み、赤
軍の總攻撃再開必至とされてゐる、
今次夏季攻勢における赤軍の企圖は
回復地域の擴大ではなく、ドイツ軍
主力の捕捉殲滅を狙つてゐる事は七
月中の作戦経過によつても瞭かだが
赤軍は歩兵二百ヶ師、戦車五千臺を
繰り出して、追撃に次ぐ追撃を重ね
ドイツ軍は屢々絶望的危機に曝され
て來たが、ドイツ軍は後方豫備軍を
防備線に配置せず、専ら退避作戦に
出で、東プロイセンの國境線に至つ
て始めて赤軍の進出を喰ひ止めた、
現在の戦線を南方から北に辿つてみ
ると、今年の夏季攻勢に於て膠着し
た儘に残された戦線はスタニスラヴ
オフ以南の戦線だがこれはカルパチ
アの麓から、東に延び、ヤツスイの
北方からベツツラピアを横切り更に
ドニエツトル河に沿つて南下して河
口に達する、この東カルパチヤから
ドニエツトル河口に及ぶ戦線はドイ
ツ、ハンガリー、ルーマニア軍共同
の防衛線であり、冬季戦以來ひたす
ら陣地の強化が行はれルーマニア油
田地帯への侵入を喰ひ止めてゐた、
しまつたに八月十八日コヴヱリ附近に
始まつた赤軍の攻勢によつて戦線は
一大變化をみた、新戦線はスタニス
ラヴオフからカルパチヤ山麓の西方
ドコイホヴイツよりサノク、グロス

獨逸の互撃に赤軍苦戦

【ストツクホルム廿一日發】バルト戦
線のドイツ軍は數日來猛反撃に轉じ
赤軍は夏季攻勢開始以來の難戦に陥
つてゐる様子でモスクワからのロイ
ター電報は廿一日次の通り報道して

ツ軍は以上の橋頭堡を抹殺すべく猛
反撃を繰返してゐるが戦線は其處か
らヴイヌツラ運河に移りワルソーの
東方を迂回して東方に走り、ピヤリ
ストクの西方に延び東プロイセン國
境外側のアウグストヴオ、スヴアル
キを経てニールメン河に沿ひ、ここか
ら最近微戦を傳へられるラセイヌヤ
イに接近、ドイツ軍の防禦線は更に
トワニア、エツトニアを縦斷してア
スコフ湖の西方を経てナルヴァ地峽
帯に終る譯だ、北部戦線の戦況は最
近頗る活潑を加へ殊にヴイルコヴイ
シユケン及びブスコフ西方における
赤軍の攻撃は最近頗る突破攻撃の性
質を明かにして來た、かくて北部戦
線を除いて東部戦線は全般的にみて
安定してゐるが、この状況は來らん
とする風を豫告するものに過ぎない
であらう、赤軍は果してケーニヒス
ベルグ及びリガ灣への突破意圖を飽
くまで遂行するか、ワルソー攻略を
主目標にするか、或は全く方向を變
へて冬期戦以來膠着を續けてゐる南
部戦線に重點を轉じバルカン地區に
進出を企てるかは豫斷を許さない

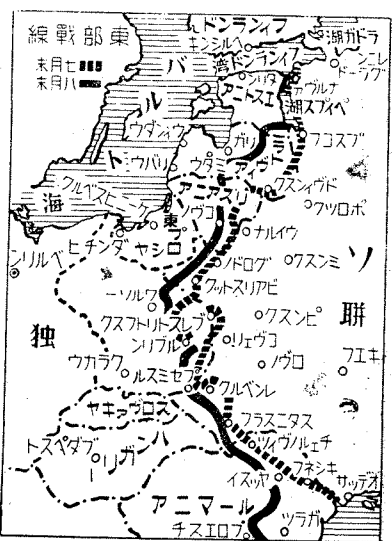
ワルソー戦線の激戦

【ベルリン廿一日發】ドイツ軍當局
はラトヴィア戦線のドイツ軍がツツ
ムスを占領した旨廿一日發表した、
ツツムスはリガ西方五十軒、リガか
らの鐵道がヴエツツピルス港とミタ
ラを結ぶ鐵道と會する地點にある要
衝である

【ストツクホルム廿二日發】D、N、
Bの前線報道によれば赤軍は十九日
以來ヴイヌツラ河西岸の橋頭堡が戦
車並びに直協機掩護のもとに一大攻
撃を開始し特にワルソー市の北方地
區において突破企圖を繰り返へして
ゐるがドイツ軍の善謀攻守に阻まれ
殆ど進撃してゐないと傳へられる、
同方面の赤軍はコソフスキ元帥
ガハロフ大將麾下精銳でワルソー、
ピヤリストク鐵道の奪取を狙つてゐ
るがモスクワからのロイター電報は
ドイツ軍の猛反撃を報道し廿二日次
の通り述べてゐる

波部の匪圍覆滅さる

【ベルリン廿五日發】ワルソー市内
におけるポーランド遊撃隊の蠢動に
關しドイツ軍當局は二十四日次の通
り言明した
從來ワルソー市内には若干の遊撃隊
が存在し最初或る程度の蜂起に成功
したが、ドイツ軍は直ちにこれを鎮
定し同市を再び確保するに至つた、
ポーランド遊撃隊長は無電を以てモ
スクワに救援を求めたが効果はなかつた
以上で懲すればモスクワ當局は
ポーランド遊撃隊から手を退いたも
のとみられる、一方赤軍はポーラン
ド進駐に際し、常にポーランド國民
を強請的に戦闘に参加させてゐる
赤軍ドルベートに入る



【ベルリン廿六日發】ドイツ軍當局

五十挺、船舶百十隻、被服、衛生材料等多數を虜獲した

バルカン新作戰の機運
【ブダペスト十七日發】バルカン各國は反樞軸軍の南フランス作戰について北フランス作戰開始當時程の衝動を示してゐないが内面的には相當重大視し、ドイツ軍防衛體制の推移を注視してゐる、リヴィエラ作戰についでかゝつてからチレニア海方面に集結した反樞軸軍の船團兵力が同方面に使用された結果バルカン作戰は取止めとなり反樞軸軍はフランス全國を占領してドイツ本土へ向ふため南北兩侵攻軍の合流を目指してゐるとの見方も出てゐるが、消息筋の多くは逆にリヴィエラ作戰によりイタリア方面からバルカン地方への作戰遂行の一層早くなるといふ見方だ、反樞軸軍が上陸地點としてイタリア寄り海岸を選んだのは技術的理由その他にフランス國內の遊撃部隊マキス匪團との連絡もあり、より重大なのはイタリア北部進撃の意圖を示すものと解される、即ち同作戰の模様により反樞軸軍はサボイイ地帯からイタリア北部に侵入し或ひはジェノア方面に新上陸を執行する方針でイタリア南部には依然相當な兵力が上陸用部隊としてアレキサンダーの麾下に待機してゐるといはれる、現在イタリア戰線ビーザ・フイレンツェリミニの戦線に進出した反樞軸軍が大規模な新攻勢を準備してゐるとの情報もあるからイタリア北部を拒む作戰により、イタリア戰線におけるドイツ軍の側面を脅威してバルカン方面への攻勢をとらうとする意圖と解される、チャーチルとチトーとの會談も右觀測を強めてゐる

バルカン地方の攻撃路としてアドリア海方面の上陸作戰は、種々の點から反樞軸軍に對つて有利だが、東岸は特に前線司令に對しビーザ市の歴史の宗教的建造物を軍用に供しないよう厳命してゐるといふ事から今回もまた米軍が何等軍事上の必要もないのに徒に由縁ある記念物を破壊するの暴舉に出たと解される

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

イタリア戰線

ビーザの斜塔砲撃

【チューリッヒ二日發】ミラノ來電によれば米軍砲兵隊は過般來ガレリオ誕生の地として知られる古都ビーザに砲撃を加へてゐるが廿一日に至り砲弾が斜塔の土臺に當り斜塔は遂に大破するに至つたと傳へられる、どの程度破損したか正確には判らな

いが修復は殆んど絶望と見られる、ベルリン電報によればヒトラー總統は特に前線司令に對しビーザ市の歴史の宗教的建造物を軍用に供しないよう厳命してゐるといふ事から今回もまた米軍が何等軍事上の必要もないのに徒に由縁ある記念物を破壊するの暴舉に出たと解される

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

反樞軸軍獨病院を爆撃

【ベルリン三日發】反樞軸空軍は再びジェネロウ條約を犯し三日イタリア戰線のドイツ軍野戰病院に爆撃を加へ傷病兵中に相當數の死傷者を出した

【ベルリン三日發】反樞軸空軍は再びジェネロウ條約を犯し三日イタリア戰線のドイツ軍野戰病院に爆撃を加へ傷病兵中に相當數の死傷者を出した

【ベルリン三日發】反樞軸空軍は再びジェネロウ條約を犯し三日イタリア戰線のドイツ軍野戰病院に爆撃を加へ傷病兵中に相當數の死傷者を出した

獨軍抵抗激化

【リスボン三日發】ロンドンBBCの放送によればイタリア戰線のドイツ軍の抵抗は頓に激化イタリア戰線

【リスボン三日發】ロンドンBBCの放送によればイタリア戰線のドイツ軍の抵抗は頓に激化イタリア戰線

獨軍アルノ北岸から撤収

【ベルリン十一日發】ドイツ軍當局はフィレンツェ地帯のドイツ軍がアルノ河の北岸から撤収、フィレンツェ市北方に新陣地を布いた旨十一日發表した

開始以來の抗戦ぶりを示してゐるといはれる

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

【ベルリン二日發】イタリア派遣反樞軸司令官アレキサンダーはフィレンツェ市を無防備都市と宣言されてゐるに拘らず三十日遂に同市内の水道施設、發電所に砲撃を加へるに至つた、以上の事態に鑑みドイツ當局は一日特に次の通り言明した

る左翼の攻撃は既に開始され、重戦車掩護の下にドイツ軍陣地の虚を衝かんとしてゐるが英軍は局地的に進出したとしても既に甚大な消耗を蒙つてしまつたのみで何等成功を収めてゐない、アドリア海沿岸地区では廿九日午後ドイツ軍部隊はさしたる妨害を受けることなく第二線陣地へ撤収、英軍は既に「ゴシツク」線二哩の地點に迫つたと見られる

南佛戰線

米英軍佛南岸に上陸

【リスボン十五日發】ローマ來電 米軍英軍並びにフランス叛軍はフランス南岸に上陸した
【ベルリン十五日發】反樞軸空軍は三日以前からフランス南岸の軍事施設並に交通線に對する爆撃を強化し特にマルセイユ港地区には等身大の人形兵士を投下してドイツ軍の注意を外らさうと企圖したが、既に反樞軸軍の上陸艦艇群がコルシカ島西岸の諸港を出發した當時からドイツ軍偵察機は右艦艇群を發見終始追跡すると同時にドイツ軍沿岸警備隊に報告したので反樞軸軍が愈々十四日夜半過ぎツーロン港東方卅料のボルム附近に上陸を企圖した際には既にドイツ軍は邀撃の態勢を整へてゐた、上陸用舟艇群が海岸に近付くとともにドイツ軍沿岸砲臺は一齊に砲口を開いて十字砲火を浴びせた、僅かに上陸した部隊はドイツ軍の地雷原に押し込められて殆ど全滅した、但しボルム地区の上陸企圖は牽制乃至威力偵察の範圍を出でず一、二時間後十五日拂曉に至つて反樞軸軍はサン、ラファエルと

カラマツ岬との間二十五料の地帯を焦點としツーロン港とニス港との間に隨所に上陸を企圖した、東においてはアシテブ岬附近、中間ではアルシヤン河畔のサン・ラファエル、ドラム岬更に西南のサン・トロペ岬、西においてはイエール灣等の各地區に或は海上から或は空挺部隊によつて上陸を企圖し反樞軸艦隊は以上の海岸線一帯に猛烈な艦砲射撃を加へ空軍の爆撃によつて掩護を加へた、特にサン・ラファエル地區では略一個大隊の空挺部隊がドイツ軍第一線の後方に降下を企圖したが、ドイツ軍の猛砲火によつて殲滅的打撃を受けた、唯今までの所反樞軸軍が戦車揚陸に成功したのはサン・トロペの地帯だけである、特にドイツ軍の廣汎な地雷原は異常な威力を發揮して反樞軸軍の進撃を阻み、サンラファエル東方の地雷原では將校一名兵士六十名が早くもドイツ軍に伏した、ニス港からツーロン港に至る地帯はモン・デ・モールその他アルプスの支脈に蔽はれ僅か數料の平原を除き標高六百呎程度の丘陵が東西に走つてゐる、ドイツ軍はこれらの丘陵地帯に堅固な陣地を築いてゐるので、反樞軸軍の上陸企圖は未だ所期の戦果を収めるに至らず、アルンテブ岬、サン・ラファエル北地區並びにサン・トロペ灣に僅に據點を占めた反樞軸軍も未だ相互に聯絡するに至らず未だ單一戦線を構成してゐるに、上陸部隊の兵力は勿論艦隊並びに空軍の掩護も六月六日ノルマンディー地方に對する侵攻作戦とは比較出來ぬ程度の規模だが差當り反樞軸軍としては増援軍揚陸のため先づサン・トロペ灣を占據しサ

ンラファエル附近の飛行場を押へる作戦と見られる、反樞軸軍の損害については未だ詳報がないが、サン・ビエール岬沖では反樞軸軍の上陸用舟艇がドイツ軍の砲臺の直撃彈を受けて再三爆破しアルシヤン河口に降下した空挺部隊も殆ど全滅し、損害は上陸作戦開始以來數時間で相當數に上る見込みである
【ベルリン十五日發】反樞軸軍今回の上陸作戦につきドイツ軍當局は十五日次の通り言明した、反樞軸軍が今回ニス・コロシカ島との最短補給路を確保し北するの一番好都合なロイヤル谷の戰略路を抑へることが狙ひであらう、ローマの密谷を通じてフランス北部の友軍と握手しようといふ肚だらうが、他にサヴァ高地に可成り大きい匪團が蠢動してゐることも上陸地點の選擇に當つて考慮に入つてゐると思ふ

ツロン、マルセイユ奪取企圖か
【ベルリン十六日發】反樞軸軍が何故フランス南岸に新上陸を企圖したのかは現状で即斷するのは稍早計だらう、上陸地點はプロヴァンス・アルプが地中海に迫り、フランス國內でも最も風光明媚な保養地帯であり海岸線の平坦な部分は廣い處で幅員僅か二十料内外に過ぎず、後方は屹々たる二千メートルの山塊が屏風のやうに屹立し、所謂天然のバリケードを構成してゐる、従つて同方面に大兵力の上陸は困難とされ作戦展開の可能性は極めて尠い
反樞軸軍が殊更にこの海岸線を選んだのはドイツ軍の牽制を第一の目標としてゐよう、ノルマンディー橋頭堡が大機動戰の戦場に擴大された現在ではフランス南部のドイツ機動部隊が北上するのを牽制しようとの企圖と見られる、反樞軸軍は上陸作戦に犠牲の多いマルコーニ港以西の平地帯を避け地形は困難だが後方交通線の乏しい地點を選んだ比較的安全な上陸を斷行したのであらう、右海岸線の内軍事的に重要な地點といへばサン・ラファエルで同地方唯一のドイツ空軍基地があり、反樞軸軍は落下傘部隊をもつて一気に右基地を占領しようとしたが、今迄のところ成功しない、ツーロン軍港はドイツ軍の重要根據地だがイタリア國境のマントリアに至る海岸線は約一年前までイタリア第八軍の守備區域であつた、その後も防禦施設は強化され殊に崖壁にたたま込まれた砲火陣は相當期間に互つて抵抗を續けると見えてよからう

上陸地點は今のところカンヌ、ニス間の二十五料に限られるが、反樞軸軍が更にツーロン乃至はマルセイユに橋頭堡を擴張した場合フランス戦場は局面を一變し、曾つてナポレオン一世が通つたマルセイユ、グルノブルを結ぶ陸路は近代戰に適しないとしてもマルセイユ、リヨンの線即ちロヌヌ河を遡つて北上し、ノルマンディー上陸軍と連絡することによつてフランス西海岸のドイツ防備軍を無力化させることとならう、或ひは今一つの進撃路としてピレネー山脈の麓傳ひにツーリングに進出すると同時に大西洋岸のビスケー灣に新たに上陸を企圖、ギヤロンヌ河中流において友軍と連絡してドイツ軍を一地區では二十哩進出したと傳へら

も想像出來ぬ譯ではない、しかしかかる進撃路はいづれも地域的な性格から想定されるだけで周知のごとくフランス地中海海岸は一九四二年十一月末、反樞軸軍がアフリカ北部に上陸して以來殆んど晝夜兼行で防備施設が強化されてゐるので交通網に乏しいフランス軍の後の進撃展開は極めて困難なことは疑ひない
【リスボン十六日發】前線報道によれば反樞軸艦隊はフランス南岸に上陸した部隊を掩護してイタリア西部のサン・レモからツーロン軍港に至る地中海岸一帯に砲撃を加へ、ドイツ軍沿岸砲臺またこれに應酬して熾烈な砲撃戦を展開してゐるといはれ

地中海海岸一帯を砲撃

イエール灣頭の島嶼を占據

【ベルリン十六日發】ドイツ軍當局は反樞軸軍がイエール灣頭のポールクロイ島並にレヴアン島を占據したことを認めた
【リスボン十六日發】南フランスリヴィエラ戰線の反樞軸軍は目下頻りに兵力の増強に努め戦闘はツーロン東方のイエールからイタリア領のサン・レモに至る約百二十哩の線に互つて展開されてゐるといはれる、尤も右戦線は連繫してゐる譯でなく重點はカンヌ、サン・トロペ、イエール等を中心とする地區にある様子だ、ローマ來電によればウイユル司令官は歩兵先鋒部隊の主力を揚陸した旨發表したといはれ、少將パツチ麾下の米第七軍は現在までのところ大體五哩乃至八哩奥地へ進撃し、一地區では二十哩進出したと傳へら

れるが恐らく右は空挺部隊と見られる、反樞軸軍は十六日も数千の空挺隊をドイツ軍陣地の後方に降下させドイツ軍増強部隊の海岸地帯到達を阻止してゐる様子だがドイツ軍の反撃をうけて苦戦に陥つてゐるといれる、ローマ情報によれば現在最大の激戦地となつてゐるのはサン・ラファエル西方のフレンジュ地帯で、一方クエール附近に上陸した反樞軸軍は同地附近でセーンとカンヌを結ぶ道路を遮断せんとしてゐるといれるがベルリン情報は未だ認めない、更に反樞軸軍は代將ゴードン・サヴィルの指揮する第十二戦術航空隊を以てドイツ軍の反撃阻止に躍起となると共に重爆撃機隊を以てローヌ溪谷特にヴァランス附近に爆撃を加へてゐるといはれる

上陸作戦後艦隊動靜

【ベルリン十六日發】反樞軸軍は主として空挺部隊をもつて東はニース港から西はツローン軍港に至るリヴィエラ海岸地帯約二百料に互り随所に上陸據點を確保したが各據點間には未だ聯絡がつかず兵力も空挺部隊のほかは第一回の波状上陸を了した程度に過ぎず第二、第三の波状上陸が後續すると見られる、但し今までの所で反樞軸軍の一軍團程度が上陸に参加してゐることは間違ひない、恐く反樞軸軍は第一期の作戦目標としてツローン軍港を狙つてをリシエールブル港に對する場合と同様直接正面から同軍港を攻撃せず迂回して聯絡遮断の企圖に出ると豫想される、サン・ラファエル並にクエール附近に對する反樞軸軍の上陸は以上の企圖に出ると解される、今回の上陸作戦に當つても反樞軸軍は海軍力の優勢を極度に發揮し約四百隻の艦艇を使用したと傳へられるがドイツ空軍の偵察によれば上陸作戦開始後における艦隊の動靜次の通り

△十五日正午(サン・ラファエル東方水域) 巡洋艦一隻、驅逐艦三隻、大型上陸艦十五隻、小型上陸艦百廿隻(サン・マキシム水域) 巡洋艦六隻、驅逐艦十二隻、大型上陸艦三隻、小型上陸艦百廿七隻(カヴァレール水域) 護衛船六隻、上陸艦廿隻、△十五日午後三時(カンヌ・テオーリ水域) 主力艦一隻、巡洋艦二隻、驅逐艦六隻、テオーリ港内に碇泊、巡洋艦一隻、驅逐艦一隻(マルセイユ水域) 小型船二十隻

地中海方面軍の司令

【リスボン十五日發】ロンドン來電によれば反樞軸軍司令部はフランス南岸に對する上陸作戦に關聯し地中海方面軍の司令に於ける十五日次の通り發表したと傳へられる
地中海方面最高司令大將ヘンリー・メイトランド・ウィルソン(英國) 同副司令兼米軍航空隊司令中將ジャコブ・G・ペヴァス(米國) イタリヤ派遣軍司令大將ハロルド・アレキサンダー(英國) 地中海方面空軍司令中將F・G・ペーサー(米國) 同副司令中將ジョン・S・スレツサー(英國) 地中海艦隊司令長官大將ジョーン・カンガム(英國)

リヴィエラ海岸の要塞線

【ベルリン十七日發】セーヌ、ロワール兩河の間に展開されてゐる機動戰は愈々バリ攻略の性格を現はし、一方反樞軸軍のリヴィエラ地方に對する上陸作戦と相俟つてフランス戰局はいまや最高潮に向つて急テンポに進展してゐる十五日未明反樞軸軍

はツローン、ニース間に上陸を開始したがリヴィエラ海岸線の切斷に満足せず、さらに晝夜の別なく海空から橋頭堡を增強して着々ローヌ谷への進出を企ててゐる、サン・ラファエルの南面に上つた反樞軸軍はアルヂヤン河に沿つて谷間を北上し、また新たにツローン軍港の兩側に上陸を試みた、一方カンヌ附近に上陸した反樞軸軍は同市に侵入、ニース市は反樞軸部隊の重砲火の下に曝されてゐる、ほかに反樞軸軍はトロベ岬の西方キャンヴァレール、ラヴァンドウからサン・マキシム等の戦場を揚陸して橋頭堡の強化に努めてゐる、記者は一九四三年八月當時イタリア第八軍の分擔區域であつたりリヴィエラ海岸の要塞線を具に視察したことがあるが、現在激戦の展開してゐるツローン、カンヌ間は凹凸に富んだ約二百料の海岸線であつたが、入江とフイヨルド風な谿谷とで綴られた風光絶佳な海岸線である、大部分海岸傳ひの自動車道路はただ一本きりで敵軍の攻撃によつて直ちに遮断されるおそれはあるが、反對に上陸軍が兵力を展開するにも困難な地形である、海岸防備施設も地形、地物を利用して實に巧みに構築されてゐるし、空軍の掩護さへあれば、反樞軸軍を再び海中に叩き込むことは容易とみられる天險の地だ反樞軸軍をなほ海上の彼方に上陸船團を遊ばせ進攻の構へを誇示してゐるが、ドイツ空軍の劣勢こそ残念だ

反樞軸軍 橋頭堡を擴大

【リスボン十七日發】リヴィエラ戰への戦勝は愈々第二段階に移らうと線報道によれば、反樞軸軍は装甲部

隊を含む有力部隊を揚陸してゐるといはれ、ツローン、カンヌ間に設定した橋頭堡は徐々に擴大されてゐる模様だ、目下戦況は明瞭でないがドイツ軍は艦砲射撃圏外で一戦を交へる方針と見られ海岸地帯からかなり後退し、反樞軸軍はツローン東方十里の地點からカンヌ附近へかけ約五里の線で大體橋頭堡の連絡に成功し更に奥地へ二十五哩乃至二十八哩進出したといはれる、反樞軸軍が現在最も進出してゐるのはサン・ラファエル西北方約二十哩のロルクで、既に反樞軸軍空挺隊はロルクに到着した様子だ

ツローン後方決戰迫る

【リスボン十八日發】前線報道によれば、サン・トロペ附近の橋頭堡から西進する米軍は海空兩面からの猛烈な砲撃の掩護下に十八日ツローを去る五哩の地點に達したといはれ、更に戦車光鋒は内陸幹線道路を西進してマルセイユを去る三四十哩の地點に迫つたと傳へられる、ローマからUP電報は有力なドイツ軍部隊がツローン後方の要塞地帯に集結南佛上陸以來最大の激戦の機が切迫してゐると報じてゐるが、他方カンヌ地区から東北進する米軍はニースを指して遮二無二猪突するの様だ

ツローン マルセイユ 狙ふ

【チューリッヒ十八日發】リヴィエラ海岸地帯に橋頭堡を設立した米軍並にフランス叛軍は十七日更に増援軍を得て輻員、深度の何れにおいても橋頭堡を擴大した様子だ、UP前線報道によれば反樞軸軍はツローンニース間に約七十哩の戦線を構成し奥地へ進出したといはれるが、作戦の重點は橋頭堡の西側にありツロー

米機動部隊マルセイユに向ふ

【チューリッヒ十九日發】リヴィエラ戦線における反樞軸軍の作戦はドイツ軍の頑強な抵抗にも拘らず依然進行してゐる模様で、ローマからのUP電は反樞軸軍のツローン及びカンヌ郊外で激戦しつつある一方米軍機動部隊はツローンから北上してマルセイユに向ひつつあると報じてゐる、なほ反樞軸司令部當局は英海軍空母七隻、米空母二隻がリヴィエラ橋頭堡沖合から作戦に協力してゐると發表してゐる、一方ドラキニヤラ海軍艦隊は橋頭堡を設立した米軍陸軍の米空挺部隊は兵力を集結して西進を開始、ドイツ軍當局もその進撃兵力の些少なからぬことを認めてゐる

ツローン 郊外で激戦

【リスボン二十一日發】前線報道によればリヴィエラ戦線における反樞

軸軍の橋頭堡は二十二日既に二千平
方哩に擴大され、ドラギニヤン北方
の米軍は海岸線から六十哩奥地に喰
ひ込んでゐると傳へられる、ドイツ
側の情報によればツローン北方を迂
回して西進する米軍は二十二日マル
セーユ北方十五哩のエアに到達して
ゐる様だが、ド・ダツシーニ麾下の
フランス叛軍はツローン北部及び南
部郊外でドイツ軍の頑強な抵抗を受
け激戦を展開してゐる、さらにフラ
ンス叛軍の他の一隊は二十二日ツ
ローン西方のバンドールに到達、包圍
態勢を強化したと傳へられる、また
米軍の一部隊はマルセーユ東方三哩
の地點に迫つてゐるといはれる
米軍グルノーブルに到達

【リスボン廿三日發】前線報道によ
れば南フランス海岸に上陸して以來
八日間、ローン流域に沿つて進二無
二北上してゐた米軍戦車機械化歩兵
部隊は廿三日グルノーブル市に達し
たといはれるが、米軍の次の目標が
西北方五十八哩のリヨンにあるは明
瞭である、他方リヴィエラ海岸では
ツローン、マルセーユを繞る攻防戦
が激化したとある

ツローン堅守

【リスボン廿四日發】DNBの前線
報道によれば米軍並びに佛叛軍はツ
ローン及びマルセーユの兩港市に突
入現在激烈な市街戦が行はれてゐる
といふが、反樞軸軍當局もドイツ軍
の猛烈な抵抗を認めツローンは未だ
完全に占領されてはゐないと述べて
ゐる、マルセーユに關しても前線か
らのロイター電報はドイツ軍の抵抗
が續いてゐると報じてゐる

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局

は廿九日ドイツ軍がロイヤル谷から
離脱しつつかある旨言明したが、ロイ
ター電報によれば地中海方面反樞軸
軍司令部は反樞軸軍が數ヶ地點にお
いてロイヤル河を渡河してゐる旨廿九
日發表したといはれる、ロイヤル前
線特派員は同部隊の動きを重視、恐
らくスペイン國境に至る主要道路に
沿つてモンペリエ、ベジエールに
向ふだらうと觀測してゐるが同方面
ではマキ匪團が相當活潑な動きを示
してゐるといはれる、一方リヨン目
指しロイヤル谷を北上してゐる反樞
軸軍は既にモントリマルに突入、
同市東北方でドイツ軍との間に激戦
が展開されてゐると傳へられる

西部戦線

北佛戦線

日付「タイムズ」紙記事によれば歐
洲侵攻反樞軸軍參謀長として英空軍
少將ジェイムズ・ロブが現在空軍の
戦略戦術一切を掌握してゐるとい
はれる
反樞軸軍空挺軍團を新設
【リスボン十日發】ロンドン來電
歐洲侵攻反樞軸軍最高司令部は十日
次の人事を發表した
米第九航空隊司令
中將 ルイス・ブレアトン
補綜合空挺軍團副司令官
英陸軍中將
フレデリック・ブラウニング
補綜合空挺軍團司令官
歐洲侵攻反樞軸軍副司令
米少將
ホイト・ヴァンデンバーグ
補米第九航空隊司令官
西方面米軍司令官
米少將 ラルフ・ロイス

【ストツクホルム五日發】ロンドン
來電によれば反樞軸軍司令部は北フ
ランスの侵攻作戦が開始された六月
六日から七月二十日までのノルマン
デー戦線における反樞軸軍の兵員損
害は、一、米軍七〇、〇〇九名、内
一七〇名、行方不明六、六八三名、
一、英軍三九、五九四名、内譯戦死
五、六四六名、戰傷二七、七六六名
行方不明六、一八二名、一、カナダ
軍七、三九七名、内譯戦死九一九名
戰傷四、三五四名、行方不明二、一
二四名、以上總計一七、〇〇〇名
空軍擔當參謀次長はロブ
【リスボン七月卅一日發】七月廿五

反樞軸軍の損害
【ストツクホルム五日發】ロンドン
來電によれば反樞軸軍司令部は北フ
ランスの侵攻作戦が開始された六月
六日から七月二十日までのノルマン
デー戦線における反樞軸軍の兵員損
害は、一、米軍七〇、〇〇九名、内
一七〇名、行方不明六、六八三名、
一、英軍三九、五九四名、内譯戦死
五、六四六名、戰傷二七、七六六名
行方不明六、一八二名、一、カナダ
軍七、三九七名、内譯戦死九一九名
戰傷四、三五四名、行方不明二、一
二四名、以上總計一七、〇〇〇名
空軍擔當參謀次長はロブ
【リスボン七月卅一日發】七月廿五

【リスボン十五日發】ロンドン來電
十四日侵攻米軍部隊の總司令官は
中將オマール・ブラドレーなる旨發
表した
侵攻軍の指揮系統變更
【リスボン十五日發】ロンドン來電
歐洲侵攻反樞軸軍司令部は十五日
次の通り發表した
アイゼンハウアーはノルマンデー、
ブルターニュ戦線の全地上軍を指
揮することになり、彼の下にあつて第
二集團軍司令官大將バーナード・
モンテゴメリーと第十二集團軍司令
官中將オマール・ブラドレーは對等
の地位に立つことになつた
右アイゼンハウアー司令部のノルマ
ンデー移駐に伴ふ必然的措置で従來
はモンテゴメリーがノルマンデー、
ブルターニュ兩戦線の全地上軍を指
揮してゐたが今回アイゼンハウアー
總指揮の下に二分された譯で、モン
テゴメリー麾下の第二十一集團軍
は英第二、カナダ第二一兩軍が、ブラ
ドレー麾下の第十二集團軍には米
第一、第三兩軍が所屬する、更にこ
れまで米第一軍を指揮してゐたブラ
ドレーの昇格に伴ひ、米第一軍司令
官には中將コートネー・ホツジス
が、第三軍司令官には中將ジョージ・
バットンが補せられ、又北阿戦線に
おいてチャド湖から北上してチュニ
ジア戦線に加はつた中將ジャク・レ
クレル麾下のフランス裝甲師團は現
在米第三軍と共に戦闘に参加してゐ
る
反樞軸軍の陣營【ベルリン十九日發】
フランス上陸の反樞軸軍は今や全面
的野戦を展開する形勢を示してゐる
が、反樞軸フランス派遣軍總司令官
アイゼンハウアーは司令部と共にフ
ランス北部に前進し、フランス北部
軍司令官モンテゴメリーおよび地中
海軍司令官ウイイルソンの兩方面軍を
指揮下に收めるに至つた、反樞軸軍
の構成次の通り
△フランス北部軍(總兵力六十個師)
總司令官 モントゴメリー(英軍大將)
一、米第十二集團軍司令官ブラドレー
(米軍中將) 米第一軍司令官ホヰズ
(米軍中將) 米第一軍司令官ホヰズ
一、英第廿一集團軍司令官デンブ
(米軍中將) 英第二軍、カナダ第三軍
△地中海方面軍(總兵力五十個師)
總司令官ウイイルソン(英軍大將) 副司
官兼米軍司令官ヤコブ・デグアース(米

第二戰線米軍總司令官
【ストツクホルム十四日發】ロンドン
來電によれば反樞軸軍司令部は北フ
ランスの侵攻作戦が開始された六月
六日から七月二十日までのノルマン
デー戦線における反樞軸軍の兵員損
害は、一、米軍七〇、〇〇九名、内
一七〇名、行方不明六、六八三名、
一、英軍三九、五九四名、内譯戦死
五、六四六名、戰傷二七、七六六名
行方不明六、一八二名、一、カナダ
軍七、三九七名、内譯戦死九一九名
戰傷四、三五四名、行方不明二、一
二四名、以上總計一七、〇〇〇名
空軍擔當參謀次長はロブ
【リスボン七月卅一日發】七月廿五

【リスボン廿八日發】西部戦線の焦點
は八日早朝より大攻勢を開始せるカ
ン西南方の英加軍大攻勢にあり、
一方ブルターニュに突入せる米軍機
動部隊の動向も益々重大になつてゐ
る、ドイツ軍當局の言明によるとカ
ン地区の攻勢は第一五八國道に沿
つて八日午前四時半に開始された
といふが、その準備爆撃は實に凄烈を

【リスボン廿一日發】アイゼンハ
ウアー司令部廿一日の發表によれば、
現在フランスにおける反樞軸軍の指
揮系統は次の通りである
△第二十一集團軍 司令官モンテゴ
メリー、英第二軍司令官デンブ、
加第一軍司令官クリアラ
△第十二集團軍 司令官ブラドレー
米第一軍司令官ホツジス、米第三軍司
令官ハットン、モンテゴメリーとブラ
ドレーは對等の地位にあるが、これ
は最初よりの案であり、昇格とか格
下げとかの問題ではないと稱してゐ
る、なほ南フランスより北進するパ
ツチ麾下の米第七軍は戦線が連絡し
た曉にはアイゼンハウアーの傘下に
統合されるとみられる
ブラドレー昇格【リスボン廿一日發】
ロンドン來電によれば反樞軸軍最高司令部
は米軍司令官オマール・ブラドレーが
現在集團軍司令官としてモンテゴメ
リーと對等の地位にある旨正式發表
した
【リスボン廿八日發】西部戦線の焦點
は八日早朝より大攻勢を開始せるカ
ン西南方の英加軍大攻勢にあり、
一方ブルターニュに突入せる米軍機
動部隊の動向も益々重大になつてゐ
る、ドイツ軍當局の言明によるとカ
ン地区の攻勢は第一五八國道に沿
つて八日午前四時半に開始された
といふが、その準備爆撃は實に凄烈を

場に重大なる影響を齎らすものである

フアレーズ攻撃を企圖

【リスボン十二日發】北佛戦線における戦局の急角度の激化に伴ひ反樞軸軍當面の作戦目標は愈々明瞭となつた、即ち①ブルターニュ半島を押へてドイツ軍潜水艦基地を交際する②ノルマンディイ戦線南部に於けるヴイール地区のドイツ軍突出陣地の巻き上げて、カイン地区のドイツ軍を孤立化せしめる、③パリ攻勢を策すの三點にある、以上の三作戦中最大の激戦が傳へられてゐるのは第二のノルマンデー捲上作戦で、カイン南方から南下するカナダ軍はモルタン

西國境近くに新上陸

【ベルリン廿三日發】DNBの前線報道によれば米軍は廿二日猛烈な艦砲射撃の後フランス人擾亂分子の協力のもとにスペイン國境近くのサンジャン・ド・ルーツに小部隊を揚陸したと傳へられる、米軍は更に増援部隊を揚陸しようとしたが、ドイツ軍沿岸砲臺の反撃で増援部隊揚陸の企圖は挫折した

獨軍ヴイール南方頑守

【リスボン十三日發】十二日から十三日にかけての西前線はドイツ軍當局が指摘してゐるやうにカイン方面ドイツ軍に對する反樞軸軍の包圍作戦が焦點となつた、即ちアラソン方面から北上する米軍の動きに呼應し、ノルマンディ戦線における英加三軍の攻撃も活潑化し、反樞軸軍司令部の公報によればカイン南方の反樞軸軍はオルヌ河とその東方支流レーズ河の中間

ノルマンディ地区

【ベルリン廿三日發】ドイツ軍當局はフランス東部エイン河兩岸地区におけるドイツ軍の掃蕩作戦に關し廿三日の通り言明した

佛匪賊掃蕩戰果

【ベルリン廿三日發】ドイツ軍當局はフランス東部エイン河兩岸地区におけるドイツ軍の掃蕩作戦に關し廿三日の通り言明した

三日次の通り言明した

ドイツ軍山岳部隊は東部戦線ウクライナ地方のコサック部隊並びにココカサス北部の部隊と協力、ドイツ爆撃機編隊の援護の下に十日間に匪團の中心地七十八ヶ所及び隠れ場所百三十七ヶ所掃蕩した、右掃蕩作戦でドイツ軍は自動拳銃二千五百挺、小銃三百餘挺、手榴彈千五百個、機關銃四萬八千發、彈藥多數、車輛百九十八臺、自動車二千三百餘臺を鹵獲した

米フアレーズ南方に迫る

【リスボン十四日發】西部戦線の戦況は、ブルターニュ半島においては大きな變化は認められずノルマンディ戦線のドイツ軍の動向が戦局の中心になつてゐる、ドイツ軍當局では十三日正午この方面の戦況に關しアラソンから北上する米軍の先鋒がアルジャンタンへの途中でドイツ軍の反撃に阻止されたと言明してゐるが、その後の形勢は優勢な空軍を擁する反樞軸軍に有利に展開してゐる模様で、反樞軸軍最高司令部陸軍のAP記者は、米軍が既にアルジャンタンを包圍し、フアレーズ東方十三哩に迫つたと報告してゐる、一方カナダ軍はフアレーズに向つて新攻勢を開始し、同東北方五哩に迫つてゐるので、兩軍の間には約十八哩の廻廊が残されるのみで、反樞軸側宣傳機關は既に包圍態勢を完成したやうな宣傳を開始してゐるが、反樞軸軍最高司令部では、ドイツ軍が整然たる撤退を開始したことを認めてをり、モルタン方面のドイツ軍は十二日來撤收を開始してをり、敵軍の健闘に無事戦線收束に力めてゐるらし

バルベリーを通過してムリオンに到り、他の一部隊はオルヌ橋頭堡から進出してプロ・アルを占領したといはれる、その他この附近の戦線はドイツ軍の反撃が顯著で、反樞軸軍は餘り進出してゐない、コンド街道を南下する部隊も若干の進撃を傳へられるにすぎず、一方ヴイール地区の米軍は頻りに東南方に突破を企てるカイン方面のドイツ軍突出陣地の包圍せんとする態勢を示してゐるがドイツ軍の抵抗は熾烈を極めてゐるといはれる

パリに向ひ進撃

【ベルリン十七日發】ル・マン、アラソン方面から東に進撃を開始した米軍機甲部隊は一部はパリ及びセーヌ河中流に、他の一部はロウール河中流に向ひシャトランを経て既に入力に入り更にパリに向つて進撃してゐる様子だ、ノルマンディ戦線では反樞軸軍はカイン、フレール、アラソンの三點を結ぶ馬蹄形地帯のドイツ軍主力を包圍殲滅しようとする攻撃を加へたが四日以来ドイツ軍はフアレーズ、アルジカン間に残された關門を抜けて轉進に成功した旨當局は言明してゐる、ドイツ軍の次期抵抗戦はいふまでもなくセーヌパリの線であらう、ドイツ軍が果してパリにおいて防戦するかどうかはわからない、とにかくいふやうに固定した戦線を持たぬ自由奔放な機動戦の性格を益々濃厚にしてゐるかどうかドイツ軍は決して反樞軸宣傳機關の主張するやうに總崩れに陥つたわけではなく、整然たる轉進作戦といひ、また幾度かの降伏勧告を蹴つて最後の兵まで戦ひ抜かうとするサン・マロ守備隊の奮戦ぶりを遙か後方に撃退した、この方面で數ヶ町村を奪取するため、フアレール、アルジャンタン廻廊の幅には變化はない

米戰軍先鋒ドルーで作戦

【リスボン十八日發】十八日の前線は米軍先鋒ドルーで作戦

米軍アルバジオンに進出

【ベルリン二十日發】ドイツ軍當局は米軍戦軍部隊はシャトルル東北方地区並びにドルー東方地区より頻りに進出を企てゐるが、現在その鋭鋒

は十八日次の通り言明した

一、ワール河とセーヌ河中流の機動戦は十七日到的處に激戦を生じたが遂に同市を占領するに至らざ

フアレーズ陥落

【ベルリン十八日發】ドイツ軍當局は十八日次の通り言明した

フアレーズ陥落

【ベルリン二十日發】ドイツ軍當局は米軍戦軍部隊はシャトルル東北方地区並びにドルー東方地区より頻りに進出を企てゐるが、現在その鋭鋒

【ベルリン二十日發】ドイツ軍當局は米軍戦軍部隊はシャトルル東北方地区並びにドルー東方地区より頻りに進出を企てゐるが、現在その鋭鋒

はウダン、ラムブイエ、アルバジョ
【ストツクホルム八日發】反樞軸軍
司令部はドイツ軍が六日夜來の反撃
シブイエの線に喰ひ止められてゐる
る、一方マントよりセーヌ西岸を下
道に於ては目下モルターンを起點と
ルノン地區で撃退され、ドイツ軍戦
軍部遂はヴェルノン西南方のパシー
を奪回した

ドイツ軍兩市を撤收

【ベルリン廿三日發】ドイツ軍當局
二十三日言明ドイツ軍は戦線整理
のため、ジュニー並びにシャルトル東
方三十餘哩のエタンズ兩市を撤收し
た

英戰機爆隊隊長戦死

【ストツクホルム十六日發】ロンド
ン來電ハサンデー・タイムス紙の報
道によれば英空軍タイフーン戦闘爆
撃機隊長コリンスはノルマンデー戦
線で戦死したといはれる

既に三哩進撃

【ストツクホルム十七日發】
米軍司令部付ロイター特派
員ロバート・リューベン
七日次の通り報道してゐる
ドイツ軍は六日夜七哩半の
正面にわたつて大規模な反
攻を開始し早くもヴェイル市の南方十
四哩アヴランシユの東方廿哩のモル
ターンを奪回した、更に他のドイツ
軍裝甲師團はモルターンの北方二哩
半ジュヴイニー街道上の要衝サン・
パトリミエを通過した、前線から
の報道によればドイツ軍は既に三哩
の深度で米軍の戦線を突破したとい
はれる、サウルドヴァルからモルタ
ーンに至る反攻作戦の正面にドイツ
軍は少くとも機甲師團四ヶ師を繰出
してゐる

三角地帯で戦車戦

【ストツクホルム八日發】反樞軸軍
ルンから二軒の地點に達したといは
れる、反樞軸最高司令部の公報はフ
アレーズの市街戦は最後の段階と發
表した。更に前線からのロイター電
報はアランソン方面から北上せる米
軍の先鋒部隊はコンドから南下する
カナダ軍の尖兵とフレールで連絡し
たと報じてゐるが、既にモルター
ン方面のドイツ軍は大部分撤收を完
了してゐるとみられ、兩部隊の連絡は
時期すでに遅しの感が深い、
【リスボン十八日發】北
フランスの
戦雲は愈々急を告げ、前戦報道は反
樞軸側もドイツ側も米軍のバリ進撃
とフアレーズ方面の包圍作戦につい
て刻々の情勢を報じてゐるが、バリ
方面の戦闘に關してはドイツ軍當局
は現在ラムブイエにおいて激戦中な
る旨言明し、一方反樞軸軍司令部筋
は米軍が三隊に分れ、一部はシャル
トルから東北方ラムブイエに向ひ、
一隊は東方ドゥールダンへ、他の一
隊はエタンズに達して南方からバリ
に迫らうとしてゐると發表してゐる
但し公式の發表は全くなく、ただシ
ヤトル東方二十一哩、バリ西南方
二十二哩の町オートンの占領を發表
してゐるにすぎない、バリ市内の混
亂はドイツ側通信も認めてゐるやう
に警官隊及び交通機關の罷業にまで
發展してをり、エクスチエチエ・テ
レグラフ社はモロツコからのラジオ
放送に基いてヴァチカンの法王廳が
パリ市保存を交戦諸國に提案したと
報じてゐる、いづれにせよオルレア
ン、シャルトル、ドゥール等交通の要衝
を抑へられた結果、バリは軍事的に
全く無意義な存在と化し、その陥落
は時間の問題とみられてゐる、ノル

【ストツクホルム八日發】反樞軸軍
司令部はドイツ軍が六日夜來の反撃
シブイエの線に喰ひ止められてゐる
る、一方マントよりセーヌ西岸を下
道に於ては目下モルターンを起點と
ルノン地區で撃退され、ドイツ軍戦
軍部遂はヴェルノン西南方のパシー
を奪回した

モルターンで獨軍進出

【リスボン九日發】モルターン地區
におけるドイツ軍の反撃はその後益
々熾烈化してゐる模様で、ロンドン
からのロイター電報は次のやうに報
じてゐる
モルターンを繞る亂戦は依然續けら
れてゐる、ドイツ軍は戦車及び歩兵
部隊をもつてモルターン西北方で反
撃に出で反樞軸軍陣地を突破して約
一哩進出した、この地區の戦線は現
在ガテモとヴェイル間の道路に沿つて
擴大してゐる、ヴェイル周邊でもド
イツ軍は同市の南方及び西南方で頑強
な抵抗を試みてゐる

一路パリ攻防戦へ

【リスボン十七日發】西部
戦線の戦局の重心は十七日
パリに迫る米軍機動部隊の
動向と一轉北上してノルマンデー方
面の新作戦の退路を断とうとする
米軍新部隊に置かれるに至つた、即
ち放送は一部隊がバリ郊外において
戦闘中だと述べてをり、ドゥール方面
の米軍部隊はユール河を渡るや一轉
北上してセーヌ河に迫り、ノルマン
デーより離脱せるドイツ軍の再包圍
を企圖してゐるやうで、この動きに
はドイツ軍當局も注目してゐる、一
方ノルマンデー戦線では英加波三軍
がトロアレンを抜いた餘勢を驅つて
一氣にデーヴ河畔を南下、トロア

リパ

【リスボン十七日發】西部
戦線の戦局の重心は十七日
パリに迫る米軍機動部隊の
動向と一轉北上してノルマンデー方
面の新作戦の退路を断とうとする
米軍新部隊に置かれるに至つた、即
ち放送は一部隊がバリ郊外において
戦闘中だと述べてをり、ドゥール方面
の米軍部隊はユール河を渡るや一轉
北上してセーヌ河に迫り、ノルマン
デーより離脱せるドイツ軍の再包圍
を企圖してゐるやうで、この動きに
はドイツ軍當局も注目してゐる、一
方ノルマンデー戦線では英加波三軍
がトロアレンを抜いた餘勢を驅つて
一氣にデーヴ河畔を南下、トロア

【リスボン十九日發】ドイツ軍當局
は十九日米軍先鋒部隊はバリ西北方
において遂にセーヌ河に到達したと
言明してゐるが、この意圖は明かに
セーヌ下流においてノルマンデーか
らのドイツ軍の撤退を妨げ、一方バ
リを西フランスから完全に遮断する
にあるとみられる、但し反樞軸軍當
局はまだセーヌ河到達を確認してを
らず、米軍先鋒がドゥール東北方二十
八哩、セーヌ河より五哩以内のナン

マンデー戦線のドイツ軍はフアレー
ズこそ陥落したがアルジャンタン方
面では却つて地域を獲得し、無事離
脱作戦を續行してゐるが、これに對
し反樞軸軍は第二回の包圍を策し、
カナダ軍がトロアレンより東方に向
つて進出する速度とドイツ軍がルア
ン方向に撤退する速度とが問題であ
り、一方ドゥール方面の米第三軍もセ
ーヌ河めざして進撃中であるが、ド
イツ軍もパド・カレール方面からセ
ーヌ河を越えて援軍を繰出してゐる
といはれる、セーヌ河畔においては再
び大機甲決戦の展開が豫想される、
また反樞軸側前線報道によればドイ
ツ空軍は十八日北フランス上空に數
百機の戦闘機隊を出撃せしめ撤收作
戦の遂行を掩護してゐる模様で、フ
オケウルフ並びにメツサーシュミ
ットの最新機が隨所に反樞軸空軍と
空中戦を演じてをり、ドイツ空軍
侮つてゐた反樞軸軍をして「ドイツ
空軍の返り咲き」と驚嘆せしめてゐ
る、アルバーニユ方面のドイツ軍は
サン・マローの守備隊が遂に戦闘を
停止せる他、アレスト、ロリアン等
諸港の防衛軍は依然健闘を續けてゐ
る

米軍セーヌ河畔に到達

【リスボン十九日發】ドイツ軍當局
は十九日米軍先鋒部隊はバリ西北方
において遂にセーヌ河に到達したと
言明してゐるが、この意圖は明かに
セーヌ下流においてノルマンデーか
らのドイツ軍の撤退を妨げ、一方バ
リを西フランスから完全に遮断する
にあるとみられる、但し反樞軸軍當
局はまだセーヌ河到達を確認してを
らず、米軍先鋒がドゥール東北方二十
八哩、セーヌ河より五哩以内のナン

佛軍バリ郊外に到達

【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した
【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した

【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した
【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した

【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した
【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した

【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した
【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した

【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した
【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した

【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した
【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した

【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した
【ストツクホルム廿五日動】ロンド
ン來電ハ歐洲攻反樞軸軍司令部は
バルレルク麾下のフランス軍第二
機甲師團の一部隊がバリ郊外に達し
た旨廿五日正式に發表した

過去数日間ドイツ軍はパリの若干地区に兵器を集結、近く活動を開始する豫定である、パリ南方並に西南方においてはドイツ軍とマキ匪團との間に再び戦闘が勃發した

【ベルリン廿五日發】ドイツ軍當局廿五日言明ドイツ軍は猛反撃に出で、マント北方セーヌ北岸のラ・ロッシュ・キヌオンを奪回した

【ベルリン廿六日發】ドイツ軍當局は反樞軸軍がフランスに到達した旨廿六日發表した

【ベルリン廿九日發】ドイツ側情報によれば反樞軸軍はパリ東方四十軒モー地区においてドイツ軍陣地に二つの強力な楔を北方に向けて打ち込んだといはれるが、これによつてエ

【ベルリン廿五日發】ドイツ軍當局は五日次の通り言明した

【リスボン廿六日發】北佛戦線の反樞軸軍はパリを北方及び東方に大きく回轉、一九四〇年春ドイツ軍のフランス進攻の際大戦場と化したエーヌ、ミューズ、マルヌの諸河を中心

【リスボン廿七日發】パリの激戦が最高潮に達するに従つてフランス戦線はセーヌ河を越えて東方に移動し始めた、總統大本營公報はパリ南方の米軍が東方に進撃を續けてゐる旨發表してゐるが、ロンドンからのU

【リスボン廿九日發】ドイツ側情報によれば反樞軸軍はパリ東方四十軒モー地区においてドイツ軍陣地に二つの強力な楔を北方に向けて打ち込んだといはれるが、これによつてエ

【リスボン三十一日發】西部戦線現在の焦點はアミアンに到達して更に東方ベルギー國境を望む英國軍並びにラオン、ランス地区よりセンを窺ふ米國軍の動向である、現在アミアンより更に十哩東方に進出してゐるといはれる、米國軍は過去四十八時間

【リスボン廿五日發】米軍機甲部隊のブルターニュ進出によつて北フランス戦線には著しい變化が起り、情勢はドイツ軍にとり重大化するに至つたと傳へられる、アヴランシュ附近でドイツ軍陣地を突破した米軍は三方向に分れて進撃を開始、南下した有力部隊はレンヌに到達した後、更に二方向に分れ、一隊はモーロンルーデアクからブルターニュ半島の奥地に侵入し、プレスト、ロリアンの占領を目指してゐる様子だ、レンヌからロアル河口を目指して南進中の他の部隊はサン・ナゼール北方約三十軒のサン・ジルダ、デ・ボア及びレンヌナント中間に達したといはれ、今後米軍がロアル河口にまで達することになればブルターニュ半島は孤立する譯で同方面の戦況如何は至大の關心を惹いてゐる、アヴランシュからドゥゼーを経て東南進する部隊はドゥゼー南方に向つてをりアヴランシュから東進した部隊は目下ロアル河上流のバラタン地区でロメル軍の熾烈な抵抗に遭遇してゐるといはれるが之ら米軍の進出によつて側面に脅威をうけるに至つた、オドン・オルヌ戦線のドイツ軍もオ

策してゐるが、ドイツ軍は巧妙に反樞軸軍の鋒先を誘導してこれが阻止に努めてゐるといはれる

【リスボン廿六日發】ドイツ軍當局は反樞軸軍がフランスに到達した旨廿六日發表した

【リスボン廿九日發】ドイツ側情報によれば反樞軸軍はパリ東方四十軒モー地区においてドイツ軍陣地に二つの強力な楔を北方に向けて打ち込んだといはれるが、これによつてエ

【リスボン三十一日發】西部戦線現在の焦點はアミアンに到達して更に東方ベルギー國境を望む英國軍並びにラオン、ランス地区よりセンを窺ふ米國軍の動向である、現在アミアンより更に十哩東方に進出してゐるといはれる、米國軍は過去四十八時間

【リスボン廿五日發】米軍機甲部隊のブルターニュ進出によつて北フランス戦線には著しい變化が起り、情勢はドイツ軍にとり重大化するに至つたと傳へられる、アヴランシュ附近でドイツ軍陣地を突破した米軍は三方向に分れて進撃を開始、南下した有力部隊はレンヌに到達した後、更に二方向に分れ、一隊はモーロンルーデアクからブルターニュ半島の奥地に侵入し、プレスト、ロリアンの占領を目指してゐる様子だ、レンヌからロアル河口を目指して南進中の他の部隊はサン・ナゼール北方約三十軒のサン・ジルダ、デ・ボア及びレンヌナント中間に達したといはれ、今後米軍がロアル河口にまで達することになればブルターニュ半島は孤立する譯で同方面の戦況如何は至大の關心を惹いてゐる、アヴランシュからドゥゼーを経て東南進する部隊はドゥゼー南方に向つてをりアヴランシュから東進した部隊は目下ロアル河上流のバラタン地区でロメル軍の熾烈な抵抗に遭遇してゐるといはれるが之ら米軍の進出によつて側面に脅威をうけるに至つた、オドン・オルヌ戦線のドイツ軍もオ

【リスボン廿九日發】DNB前線報道によればパリ市内におけるドイツ軍最後の據點は優勢な反樞軸軍の前に陥落したといはれる

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は九日發「ドイツ軍當局はパリ市街戦の状況につき廿九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】DNB前線報道によればパリ市内におけるドイツ軍最後の據點は優勢な反樞軸軍の前に陥落したといはれる

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は九日發「ドイツ軍當局はパリ市街戦の状況につき廿九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】DNB前線報道によればパリ市内におけるドイツ軍最後の據點は優勢な反樞軸軍の前に陥落したといはれる

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は九日發「ドイツ軍當局はパリ市街戦の状況につき廿九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】DNB前線報道によればパリ市内におけるドイツ軍最後の據點は優勢な反樞軸軍の前に陥落したといはれる

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は九日發「ドイツ軍當局はパリ市街戦の状況につき廿九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】DNB前線報道によればパリ市内におけるドイツ軍最後の據點は優勢な反樞軸軍の前に陥落したといはれる

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は九日發「ドイツ軍當局はパリ市街戦の状況につき廿九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】DNB前線報道によればパリ市内におけるドイツ軍最後の據點は優勢な反樞軸軍の前に陥落したといはれる

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は九日發「ドイツ軍當局はパリ市街戦の状況につき廿九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は二十九日次の通り言明した

ブルターニュ地区

【ストックホルム廿四日發】ブルターニュの首府レンヌ市に達した米軍部隊は總統大本營公報の指摘するごとく一路南下を續けてをり、そのブルターニュ半島基部を切断せんとする企圖は漸く明かになつて來た、反樞軸軍司令部の言明によれば、既にビスケイ灣の大港灣都市ナントまでは四十三哩を残すのみで、ドイツ軍の潜水艦基地と目されるサン・ナゼールも略々同距離であつて、ドイツ側報道もシエルズール戦再現の可能性如何を論じてゐる

北佛現在の戦線

【リスボン廿九日發】ドイツ軍當局は九日發「ドイツ軍當局はパリ市街戦の状況につき廿九日次の通り言明した

イツ軍哨戒艇隊並に驅逐艇隊は夜半に到るまで反樞軸軍の快速艇六隻に反撃を加へたが、數分後反樞軸軍は巡洋艦一隻、驅逐艦三乃至四隻からなる有力艦隊の増援を得て反撃を開始、更に中口徑高射砲隊は遠距離の地點から呼應して砲撃を加へて来たが、ドイツ艦隊はよくこれに對抗し、反樞軸軍の驅逐艦一隻に直撃弾を浴せ、更に快速艇一隻を撃沈、他の數隻にも甚大な損害を與へた、一方、ドイツ艦隊もフアコム西南で一軍を喪失、他の數隻は輕微な損害をうけた

ドイツ海峽の海戦

【ベルリン十二日發】ドイツ哨戒艇隊は十二日早朝ドーヴァ海峽において數的の損害を蒙ることなく敵に直撃弾を與へ一隻を撃沈、數隻を撃破した

カナダ、コルヴェツト艦喪失を發表

【リスボン十八日發】オタワ來電カナダ海軍省はコルヴェツト艦「レギナ」がドーヴァ海峽水域で一商船の援助に向ふ途中ドイツ軍の攻撃を受けて沈没、死者船員二名、行小不明將校一名、下士官二十六名を出した旨十八日發表したが、これによりカナダ軍艦の損害は合計十七隻に達した

米中型商船沈没

【リスボン十八日發】ワシントン來電米國海軍省は十八日次の通り發表した
中型商船一隻は七月下旬南大西洋で雷撃を受けて沈没したが、乗員は無事であつた

驅逐艦に命中彈

【ベルリン十日發】ドイツ戰艦擧撃機隊は九日夜から十日にかけてブレスト沖で反樞軸軍艦船を襲撃、内驅逐艦一隻に命中彈を浴びせた、撃沈はほぼ確實と推定される
隨所に大爆破起る

又一七

【ベルリン三日發】セーナ灣頭ウルガールボドイツ艦隊は新兵器を以て反樞軸艦船團に集中攻撃を加へ午前二時から卅分間に海上隨所に爆破が起り、次で午前五時と六時の間にも數回に亘り爆破が起つたと傳へられる、殊勳のドイツ水兵の一人はまた午前九時三十分約七百米の至近距離において戦友が大型驅逐艦を見事雷撃を浴せ同艦が忽ち沈没するのを目撃したといはれる

一人魚雷の殊勳

【ベルリン三日發】DNBの前線報道によれば「最近屢々言及されたドイツ海軍の新兵器により反樞軸艦船數隻三日拂曉セーナ灣頭で相次で轟沈したと傳へられる恐く「一人魚雷」の殊勳と解されるが轟沈の状況次の通り
八千噸のフイジー級巡洋艦一隻は三日前前三時四十二分雷撃を受けて艦體は眞二つに分解沈没状態に入り乗務員は艦を棄てて脱出した、次で午前五時十五分千八百七十噸のアシヤンテ型驅逐艦も雷撃を受け一大爆音とともに沈没した、最後に少くとも七千噸級の大現貨物船も雷撃を受けて爆破、瞬時に沈没した

ドイツ軍の新攻勢

【ベルリン七日發】ドイツ海軍の一人魚雷の威力は二日夜のセーナ灣頭における大戦果に如實に示されたが、このドイツ海軍の新兵器に關し軍事記者エドガー・シュレーダー氏は

は七日次の通り述べてゐる
ドイツ海軍は一人乗魚雷の他にも未だ恐るべき武器を持つてゐる、最近歐洲侵攻水域にドイツ潜水艦が出撃してゐる事實はドイツ潜水兵器が再び猛威を振はうとしてゐる證左であり、このことはチャーチルが最近下陸においてドイツ潜水艦が再び重大問題化す可能性があると述べたことによつても裏書きされてゐる

七隻撃沈

【ベルリン七日發】ドイツ軍當局は六日夜セーナ灣における海砲の戦果を七日次の通り發表した
驅逐艦三隻、△大中破 輕巡二隻、驅逐艦一隻、四千噸級軍隊輸送船一隻
右戦果はすべてドイツ雷撃機隊の船團攻撃によるものとみられる
驅逐艦六十四隻を撃沈破

驅逐艦六十四隻を撃沈破

【ベルリン八日發】ドイツ軍當局は八日次の通り言明した
一、ドイツ軍は侵攻作戦開始以來セーナ灣において反樞軸驅逐艦三十四隻を撃沈、三十隻を大破した、過去四日間に反樞軸驅逐艦六隻はドイツ軍の雷撃により撃沈された
二、英軍爆撃機約五十機は八日午後ノルウェー南部沿岸エグルスンド沖合でドイツ輸送船團を攻撃、雷撃、ロケット爆撃、機銃掃射を加へて來たが、ドイツ船團は直に激撃してうち四機を撃墜した、乗員の間に機銃掃射により重傷を出したが、船團は一隻も喪失せず目的地に着いた

獨艦艇リガの戦闘參加

【ベルリン二十日發】ドイツ軍當局は二十日次の通り言明した
ドイツ海軍部隊は二十日リガ西方、トクム附近で展開されてゐる地上部隊の戦闘に参加した、巡洋艦數隻を含むドイツの艦隊はリガ灣の内部に入り海岸近くの赤軍に砲撃を加へたドイツ艦艇が以上のやうな作戦に加つたのは今回が初めてである

北方水域

【ベルリン二十日發】ドイツ軍當局は二十日次の通り言明した
ドイツ海軍部隊は二十日リガ西方、トクム附近で展開されてゐる地上部隊の戦闘に参加した、巡洋艦數隻を含むドイツの艦隊はリガ灣の内部に入り海岸近くの赤軍に砲撃を加へたドイツ艦艇が以上のやうな作戦に加つたのは今回が初めてである

隊の戦闘に参加した、巡洋艦數隻を含むドイツの艦隊はリガ灣の内部に入り海岸近くの赤軍に砲撃を加へたドイツ艦艇が以上のやうな作戦に加つたのは今回が初めてである

（八五頁より續く）

- 一、經濟犯罪發生の一原因としての行政監督上に關する問題
- 二、經濟統制諸法令實施に伴ふ不備改善に資する件
- 三、つき討議が行はれたが司法省と等してはこの協議會を通じて關係各省から經濟事情統制の實情及び業界の實情を聞きこれに基き檢察取締りの重點を何れの方に定むべきかの基礎材料を得、政府全體が打つて一丸となり綜合對策を検討樹立すべく多大の期待をかけてゐるが出席關係官もその趣旨を了承し毎月一回開催することに打合せ午後一時散會した

訃

- ▲原嘉道氏（樞密院議長） 七十八歳 七日 實施
- ▲永代靜雄氏（中央普鳩會々長、元新聞研究所長） 五十九歳 十日
- ▲服部曉太郎氏（陸軍中將） 五十三歳 十二日
- ▲松田禎輔氏（黒龍會理事、新聞新報社主） 六十四歳 十八日
- ▲西川虎次郎氏（退役陸軍中將） 七十八歳 十八日
- ▲名川侃市氏（元代議士、第一東京辯護士會長） 六十四歳 十九日
- ▲清水賢一郎氏（元日銀副總裁） 六十八歳 廿一日
- ▲田中穗積氏（早大總長、貴院議員） 六十九歳 廿二日
- ▲阿部徳藏氏（奇術研究家） 五十六歳 廿七日

- 法博）
- ▲阿部徳藏氏（奇術研究家） 五十六歳 廿七日
- ▲田中穗積氏（早大總長、貴院議員） 六十九歳 廿二日

文化短信

- 一 技能報國隊結成式
- 二 日獨伊親善協會懇談會
- 三 關門トンネル第二線貫通
- 四 全國一齊に敵軍滅祈願祭
- 五 同盟通信社大獄、脇本、林三社員合同誌拜
- 六 黃海々戰四十周年記念祭
- 七 關門海底トンネル門司陸上部トンネル貫通式
- 八 故原嘉道男葬儀イイブラヒム翁平癒祈念禮拜式
- 九 第二次社長徵用令書傳達式
- 十 出版人歐起大會
- 十一 長崎日報社長に渡貫良治氏選定
- 十二 商工省與亞院兩疑獄事件求刑
- 十三 初の「豫言なし列車防制」實施
- 十四 新聞用紙増産勤務奉仕隊結成式
- 十五 川崎驛附近で省線追突、死者一名、負傷者十三名
- 十六 大段博士東大理學部葬
- 十七 全國玩具統制組合發足△印刷用紙規格縮限告示

國內要事

政治

特報

最高戰爭指導會議を設置

【五日】民族の興亡を

決すべき重大戦局の最中に大命を拜した小磯内閣は深刻なる時局突破のため組閣當初より陸海軍緊密關係の強化並に統帥と國務の間然するところなき一體化をその最高念願とし、組閣に當つては陸海軍の長老たる杉山元帥、米内大將を夫々陸海軍大臣に据へ、陸海軍關係の統帥府と密接なる連絡のもとに國務と統帥の完全なる一體關係確立の方途に關し慎重考慮を重ねて來たが今回大本營政府連絡會議を廢止し新たに最高戰爭指導會議を設置、最高戰爭指導會議において戰爭指導の根本方針を決定し政戰兩略の吻合調整に任ずることに決した、即ち在來の統帥と國務の連絡調整方式から統帥と國務の一體的關係確立を目的とする最高戰爭指導會議の設置へと進んだのであつて、同會議は陸海軍首脳部と關係關係が之に當るのである、右に付小磯首相、梅津參謀總長、及川軍令部總長は五日午前十時三十分

打ち揃つて宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付られ、謹んで最高戰爭指導會議設置の趣旨を奏上、御裁可を得てこゝに小磯内閣に課せられた統帥と國務の關係は水も洩らさぬ緊密一體關係が完壁し、帝國の戰爭指導の最高方針は今後一切を擧げて最高戰爭指導會議に於て確立され、民族決戦に突入すべき我が政戰兩略不敗の態勢は全き姿で確立せらるるに至つた、よつて小磯首相は同日午後一時より首相官邸に開催された關係懇談會に於てこの旨を報告、更に同日午後情報報局より小磯首相の講話並に情報發表を行つた

こゝに政治的に完了を見るに至つたものとして新機構の運営は極めて注目せられる
情勢局發表(八月五日) 今般御裁可を経て戰爭指導の根本方針の策定及政戰兩略の吻合調整に任ずる爲最高戰爭指導會議設置せられたり右に伴ひ從來の大本營政府連絡會議は廢止せらる
尙別に毎週定期的に政府大本營閣に於て情報交換を行ふこととせり小磯首相謹話(八月五日) 本日最高戰爭指導會議の件に付奏上致しました處悉くも 天皇陛下に於かせられましては之を御嘉納あらせられ、最高戰爭指導會議を構成する者克く渾然一體となり、戰爭指導に關する最高方針の策定及政戰兩略の調整に萬遺憾なきを期し、以て大東亞戰爭の完遂に邁進すべし、との御主旨の有難き御言葉賜はりました、誠に恐懼感激に堪へざる次第であります、今日の重大時局に際し統帥と國務との吻合調整が何よりも大切な事であることは申す迄もありません、今日迄に於きまして此の點には特に重

なほ同會議は從來の大本營政府連絡會議と同様飽くまで畏き思召により設置せられたもので、官制上の措置ではなく、また軍令によるものでもなく、同會議と大本營會議及び閣議との關係も法制的なものではない、飽迄政治的關係によつて律せられるものである、即ち閣議は最高戰爭指導會議によつて法的に拘束せられることはないが政治的意味においては當然同會議の決定に拘束せられることとなる

點が置かれて來たものであります、今日改めて御言葉を賜はりましたことは誠に畏き極みであります、深く聖慮の程に思ひを致しまして苟も從來の行掛りに囚はれることなく克く事態を直視して萬全を期して参りました存ずる次第であります、軍官民克く 大御心を奉戴し眞に全國國民渾然一體となつて大東亞戰爭の完遂、滅私奉公の率先御聖諭を奉體愈々盡忠報國その責務に勵精すべきを諭した

御垂示全官公吏に徹底【廿五日】小磯首相は廿五日の閣議劈頭、陛下より地方長官に賜つた御言葉に對しては單に地方長官のみならず、全國官公吏も同様御聖旨を奉體率先精勵すべきであり、各關係においても末端官公吏に至るまで御聖慮のほどを徹底渗透するよう充分の措置を採られたい旨を要望した
内閣訓示【廿六日】小磯首相は廿六日官報號外をもつて左の如く内閣訓示を發表、天皇の官吏たるもの率先御聖諭を奉體愈々盡忠報國その責務に勵精すべきを諭した
△訓示
今般地方長官會議の開催に際し、畏

くも會議出席者一同に謁を賜はり、戰局危急皇國の興廢繫つて今日に在る旨を宣ふと共に、地方長官の一層奮勵精、衆を率ゐ、官民一體、戦力を物心兩面に充實し、以て皇運を扶翼すべき旨を諭させたまへり、聖慮を拜察して、洵に恐懼感激に堪へず
關く惟みるに、戰局危急皇國興廢の顯くに立つに當り、皇國官吏省みて身の民衆指導の任に在るを顧ふとき聖諭を奉奉服膺して、國體護持に邁進する同胞の先頭に挺身するの概なくはあるべからず
皇國は由來君民體を一にす、而して畏けれど、皇祖皇宗の神靈を繼承し給ふ、天皇の大御稜威は絶対なり、是に於てか皇國臣民の眞に發揮すべき物心亦絕對にして、戦へは必ず勝ち攻むれば必ず取る、必勝の信念實に此に源を發し、皇運天壤と共に無窮なり、率先民衆に垂範すべき天皇の官吏たるもの特に發憤せざるべからず
本大臣乃ち普く全國官吏に對し奮勵勸精を要望すること爾り
樞府正副議長更新
【十日】小磯首相は去る七日逝去せる原樞密院議長の後任に關し慎重銜を進めてゐたが、今回現副議長鈴木實太郎大將を議長に、又現樞密顧問官清水澄江を副議長に夫々奏薦するに決し十日午前十時四十分參内、上奏御裁可を得たので、同日午後一時二十分小磯首相待立の下に親任式をとり行はせられ、同時に情報局より別項の如く發表された、武人の樞相は曾て元帥山縣有朋公に之を見た丈けで異例のことであるが鈴木新樞

かゝつて今日に在り

した
二、同法に依る金製錬業者、鑛業権者、砂鑛権者の事業計畫の設定變更の届出義務を廢止した
三、電氣事業法又は電氣管理法に依る關係事項の決定については従來電力審議會に對する諮問を必要としてゐたが、これを停止した
【砂鑛法戰時特例改正】【廿六日】砂鑛法の戰時特例は昨年五月二十六日に制定され、砂鑛法に依る主務大臣の職權たる砂鑛出願の處分及び技術管理者の選任又は改任命令の權限は地方鑛山局長に委任されたが、二十日六日の官報で右勅令の改正を公布即日實施した、この結果砂鑛法に依る主務大臣の權限は總て地方鑛山局長に委譲されることになつた

【廿三日】政府は學徒勤勞令及び女子挺身勤勞令の公布施行と併行して重要工場事業場における技術者不足を解消するため、官廳、官公立試験研究所および官立學校職員たる技術者を臨時動員し現職のまま航空兵器その他軍需物資の増産に協力せしめることとなり、廿三日附官報をもつて右に關する勅令を公布、即日施行した、勅令内容左の如し
大東亞戰爭に際し航空機その他重要軍需物資の緊急増産の爲特に必要ある場合に於ては本廳長官は其の指示する所に從ひ其の所屬職員をして臨時に此等物資の増産上緊要なる業務に従事せしむることを得

【廿八日】官廳の常時執務に關しては決戦非常措置要綱に基き本年三月以來各官廳とも毎日曜日職員を交替出勤せしめて來たが、檢討の結果寧ろ休日と出勤日とを確然として能率増進を圖るに如かずとの結論に達したので、今後は毎月第一及第三日曜には平日通り出勤執務し、その他の日曜日は官廳の常時執務態勢を失はざる限度に於て職員を休養せしむるも差支へなきこととするとなり
二十八日これが實施方を書記長官の依命通牒により各官廳へ示達、九月の第一日曜より實施される事となつた、ただ現業官廳は決戦非常措置以前に於ては毎日曜常時執務態勢をもつてきて居ることあり今後ともこの方針に變りはない

【廿三日】政府は學徒勤勞令及び女子挺身勤勞令の公布施行と併行して重要工場事業場における技術者不足を解消するため、官廳、官公立試験研究所および官立學校職員たる技術者を臨時動員し現職のまま航空兵器その他軍需物資の増産に協力せしめることとなり、廿三日附官報をもつて右に關する勅令を公布、即日施行した、勅令内容左の如し
大東亞戰爭に際し航空機その他重要軍需物資の緊急増産の爲特に必要ある場合に於ては本廳長官は其の指示する所に從ひ其の所屬職員をして臨時に此等物資の増産上緊要なる業務に従事せしむることを得

る休日と出勤日とを確然として能率増進を圖るに如かずとの結論に達したので、今後は毎月第一及第三日曜には平日通り出勤執務し、その他の日曜日は官廳の常時執務態勢を失はざる限度に於て職員を休養せしむるも差支へなきこととするとなり
二十八日これが實施方を書記長官の依命通牒により各官廳へ示達、九月の第一日曜より實施される事となつた、ただ現業官廳は決戦非常措置以前に於ては毎日曜常時執務態勢をもつてきて居ることあり今後ともこの方針に變りはない
大東亞、大藏兩省顧問陣強化
▲大東亞省【二十五日】重光兼壽大東亞省顧問陣を充實し、その機能の強化を圖ることとなり、前大東亞大臣青木一男、前日銀總裁結城豐太郎及び安岡正篤の三氏を新たに顧問陣に加へることになり、廿五日發令、これにより大東亞省顧問は先任の現國民政府最高顧問小倉正恒氏を加へて四名となつた、新顧問は民間の異色安岡氏を除き何れも大東亞政策の基調をなす經濟金融政策の最高權威者である
▲大藏省【廿六日】石渡藏相は大藏省顧問陣を強化するため今回前大東亞大臣青木一男氏を大藏省顧問に加へることになり廿五日發令、これで大藏省顧問は結城豐太郎、賀屋興宣、井坂孝、澁澤敬三、大野龍太、柿木秀茂の六氏と併せて七名となつた

【廿八日】官廳の常時執務に關しては決戦非常措置要綱に基き本年三月以來各官廳とも毎日曜日職員を交替出勤せしめて來たが、檢討の結果寧ろ休日と出勤日とを確然として能率増進を圖るに如かずとの結論に達したので、今後は毎月第一及第三日曜には平日通り出勤執務し、その他の日曜日は官廳の常時執務態勢を失はざる限度に於て職員を休養せしむるも差支へなきこととするとなり
二十八日これが實施方を書記長官の依命通牒により各官廳へ示達、九月の第一日曜より實施される事となつた、ただ現業官廳は決戦非常措置以前に於ては毎日曜常時執務態勢をもつてきて居ることあり今後ともこの方針に變りはない

便をも考慮して東京都及び横濱市關係で四、大阪市及び附近新興都市關係で五、名古屋に、合計十稅務署を新設し八月一日より開署した
▲分課規程改正【十七日】大藏省では機構簡素化を圖るため課の統合、名稱變更並に事務移管を行ふこととなり、十七日分課規程を改正、即日施行したが、今回の改正要點は左の通りである
○總務局 財務課を國有財産課と改稱、企業整備課を理財局に移した、
○國民貯蓄局 特別施設課を廢止しその所管事務を計畫課、指導課及び戰時生活課に分掌せしめた、
○理財局 金融課を證券課と改稱、資金調整、經理統制兩課を統合し資金統制課とし、さらに總務局企業整備課を移管して特殊決済課と改稱した
▲學徒動員企業課を新設
【十六日】文部省では學徒勤勞動員に關する綜合企畫の萬全を期するため十六日分課規定を改正し總務局に新たに動員企業課を創設した
▲厚生省移轉【四日】厚生省官房各課及び健民、衛生勤勞各局は芝區白金臺町の厚生省研究所内に又保險局は隣接の白金三光町聖心女學院内に四日それぞれ移轉した
▲健民局分課規程改正【二日】厚生省では二分分課規程の改正を發表、従来の健民局函養、修練、鍛鍊、母子、指導五課を今回健民、修練、體力、母子、戰時援護の五課と改めた
▲運通省に航空局委員【九日】運通通信省では今回航空に關する民間の知識経験を者航空局委員に起用、八

【廿八日】官廳の常時執務に關しては決戦非常措置要綱に基き本年三月以來各官廳とも毎日曜日職員を交替出勤せしめて來たが、檢討の結果寧ろ休日と出勤日とを確然として能率増進を圖るに如かずとの結論に達したので、今後は毎月第一及第三日曜には平日通り出勤執務し、その他の日曜日は官廳の常時執務態勢を失はざる限度に於て職員を休養せしむるも差支へなきこととするとなり
二十八日これが實施方を書記長官の依命通牒により各官廳へ示達、九月の第一日曜より實施される事となつた、ただ現業官廳は決戦非常措置以前に於ては毎日曜常時執務態勢をもつてきて居ることあり今後ともこの方針に變りはない

九兩日初會議を催した、委員頼胸左の通り
大日本航空熊本航空訓練所長中尾純利△同東京支所第一運航所長松井勝吾△同東京支所第二運航所長藤田勝人△同福岡支所支所長大森正男△同横濱支所針生治△朝日新聞社航空部長野野三郎△毎日新聞社航空部長羽太又夫
▲地方燃料局整備強化【十五日】軍需省では地方燃料局等設置制の一部を改正し十六日公布、二十日施行、要點左の通り
○新たに非專賣石油の需給調整並にエーテルの生産及び配給に關する事務を地方燃料局をして分掌せしめ、
○地方行政協議會及び軍需監理部との連絡を密にして管内事務を迅速適實に現地に於て即決する爲め
○地方行政協議會及び軍需監理部の所在地であつて地方燃料局の設置されるない地に新たに地方燃料局を設置すると共に、
○從來の地方協議會及び軍需監理部の管轄區域に一致させた、同時に現在四十五箇所の地方燃料局出張所を地方燃料局出張所二十三箇所に、地方燃料局出張所七箇所に整備し職員に集中し、事務能率の向上を圖ることとした、
▲大藏省
任内閣參事官(一)
▲大藏省
任内閣參事官(一)
▲大藏省
任内閣參事官(一)
▲大藏省
任内閣參事官(一)

【十六日】文部省では學徒勤勞動員に關する綜合企畫の萬全を期するため十六日分課規定を改正し總務局に新たに動員企業課を創設した
▲厚生省移轉【四日】厚生省官房各課及び健民、衛生勤勞各局は芝區白金臺町の厚生省研究所内に又保險局は隣接の白金三光町聖心女學院内に四日それぞれ移轉した
▲健民局分課規程改正【二日】厚生省では二分分課規程の改正を發表、従来の健民局函養、修練、鍛鍊、母子、指導五課を今回健民、修練、體力、母子、戰時援護の五課と改めた
▲運通省に航空局委員【九日】運通通信省では今回航空に關する民間の知識経験を者航空局委員に起用、八

する新技術を採用、その生産増強と原料食糧資源、節減の根本方針を樹立するため今回味噌、醬油技術對策委員會を米穀利用研究所内に設置し味噌、醬油、アミノ酸の各部會を組織し専門部別に審議する
▲粉食規格委員會設置【三十日】農商省では各粉食食品の適否を審査決定し、且つこれを指導するため米穀利用研究所内に粉食規格委員會を設置した、これは過般食糧行政査察に際し設けられた粉食委員會の一部を繼承したもので、同委員會において取上げられる問題は粉食の概念、原料の選擇、未利用資源の活用、小麦粉の活用、粉食の形態、原料並に製品の規格審査、製造工程などである
▲内閣
樞密院副議長 鈴木貫太郎
海軍大將 正二位 勳一等功三級男爵
樞密院議長
樞密院副議長 清水 澄
正二位勳一等
任内閣參事官(一)
▲大藏省
任内閣參事官(一)
▲大藏省
任内閣參事官(一)
▲大藏省
任内閣參事官(一)

【十六日】文部省では學徒勤勞動員に關する綜合企畫の萬全を期するため十六日分課規定を改正し總務局に新たに動員企業課を創設した
▲厚生省移轉【四日】厚生省官房各課及び健民、衛生勤勞各局は芝區白金臺町の厚生省研究所内に又保險局は隣接の白金三光町聖心女學院内に四日それぞれ移轉した
▲健民局分課規程改正【二日】厚生省では二分分課規程の改正を發表、従来の健民局函養、修練、鍛鍊、母子、指導五課を今回健民、修練、體力、母子、戰時援護の五課と改めた
▲運通省に航空局委員【九日】運通通信省では今回航空に關する民間の知識経験を者航空局委員に起用、八

陸軍司政長官 橋本 昂藏
任大藏省調査官(一)
大臣官房勤務を命ず
▲司法省

【九日】 神戸地方裁
判所検事正 熊谷 誠
判所検事正 大
阪地方裁
判所検事正 船津 宏
判所検事正 福
岡地方裁
判所検事正 吉村 武夫

補東京刑事地方裁判所検事正 高知警林局長を命ず(二)
▲運通省
【一日】 大阪府知事 池田 清
兼任海運局長 池田 清
兼任地方海員審判所長(二)
【九日】 札幌逓信局長 長 得一
任運輸通信省航空局監理部長(二)
通信院業務 局郵務課長 福田 敬之

補神戸地方裁判所検事正 大竹武七郎
東京刑事地方裁判所次席検事 大
補福岡地方裁判所検事正 兼任海運局長 池田 清
▲厚生省
【一日】 埼玉縣知事 敷藤 鐵臣
任軍事保護院副總裁(一)
關東局司政部長 伊藤 謹二
任厚生省保險局長(二)

【廿五日】 日本醫療團副總裁を命ず
【卅日】 海軍司政長官 入江誠一郎
任厚生省健民局長(二)
▲大東亞省
【一日】 陸軍中將 齋藤彌平太
滿洲拓殖公社總裁被仰付
【廿三日】 大東亞省總務局長 竹内 新平
大東亞省總務局長 安東 義良
任大東亞省總務局長(二)
【二十五日】 青木 一男
結城豊太郎

任農商省顧問被仰付(各通)
▲農商省
【一日】 佐賀縣知事 田中 省吾
任農商省生活物資局長(一)
【十六日】 畜産試験場技師 中江 利郎
畜産試験場技師 藤島信太郎
農商技師 藤島信太郎
高知警林局長を命ず(二)
▲運通省
【一日】 大阪府知事 池田 清
兼任海運局長 池田 清
兼任地方海員審判所長(二)
【九日】 札幌逓信局長 長 得一
任運輸通信省航空局監理部長(二)
通信院業務 局郵務課長 福田 敬之

任運通省航空局監理部長(二)
通信院業務 局郵務課長 福田 敬之
任逓信局長(二) 補札幌逓信局長
【二十三日】 陸軍司政長官 赤木 鐵夫
任逓信局長(二)
補名古屋逓信局長
▲軍需省
【一日】 地方參事官(愛知) 岡田 包義
兼任軍需省軍需監理官(二)
【十二日】 海軍中將 鉾立 金夫
補軍需省軍需監理官兼軍需官
九州軍需監理部長を命ず

八月中の閣議決定主要事項左の如し
(内容は政治、經濟其他關係各欄に
内容左の通り
【八日】 男子従業者の配置規正に關

する件△學徒勤勞令△女子挺身勤勞
令
【十五日】 國內警備態勢の強化方策
【十六日】 應急運輸措置要綱△大消
費都市に於ける食生活確保に關する
應急特別措置
【十八日】 大東亞戰爭に際し各廳職
員をして航空機其他重要軍需物資
の増産上緊要なる業務に臨時從事せ
しむるの件△鐵道の回收轉用に關す
る件
【廿二日】 昭和十九年産麥類の供出
確保に關する件中改正の件
【廿五日】 臨時議會奏請の件△政務
官制復活に關する件
【廿九日】 遠距離旅行者に對する警
察署證明廢止に關する件△生鮮食料
品價格に關する件

備銀行に四億圓信用供與
【廿五日】 政府は國民政府行政院長
代行周佛海氏の訪日を機會に、中央
儲備銀行の健全なる發展を一層強力
に支援するため同行に對し日本銀行
より四億圓の信用を供與する事にな
り、廿五日後四時日本銀行におい
て中央儲備銀行總裁周佛海氏と澁澤
日本銀行總裁との間に正式に信用供
與契約書の調印了し、同日午後四
時情報局より發表した、中央儲備銀
行に對しては既に昭和十七年七月廿
八日同行の通貨準備として日本銀行
より一億圓の幣制借款を供與してを
り今回の四億圓の信用供與に依て中
央銀行としての同行の地位は一段と
強化されたものとして注目される、
内容左の通り
一、中央儲備銀行は本契約締結の自

より五ヶ年以内に日本銀行より日本
通貨四億圓を限度とし借入れを爲し
得るものとす
二、中央儲備銀行は右借入れをなし
たる場合、これを一回に又は分割し
て本契約締結の日より五ヶ年以内に
隨時返済するものとす
三、右借入れをなし得る期間及びこ
れが返済の期間は日本銀行及び中央
儲備銀行間の協議によりこれを延長
し得るものとす
なほ今回の協定が前回の借款と異
なるとは前回の分は日銀が儲備銀行の通
貨準備の一端として一億圓の日本圓
による借款を供與し、儲備銀行はこ
れを在外資金勘定として日銀内に預
金するといふ方法をとる、儲備銀行
に對する純然たる幣制借款の性質を
持つたものであるに對し、今回の信
用供與は契約内容にある如く、儲備
銀行が今後五ヶ年以内に臨時日本通
貨を以て日銀より總額四億圓の範圍
内で借入れをなし得る契約をなした
點にある
原田公使等に對する米兵の暴行
に抗議
【一日】 帝國政府はローマ法王駐
刺帝國使節原田公使以下館員一同が
ローマに侵入した米兵によつて不法
行爲を加へられた事實に鑑み、利益
代表國スเปนの抗議を通過して米國政
府に嚴重なる抗議を發し、これにこ
き一日午後三時外務當局談を發表し
た、要旨左の如し
「最近羅馬法王廳を通過し帝國政府の
入手せる法王廳駐刺帝國使節原田公
使の電報に依れば、同公使以下館員
一同は米英軍の羅馬侵入に伴ひ六月
六日以来羅馬市内に在る同使節官邸
内に監禁せられ、此間米國兵士は數

次に互り官邸内に侵入、原田公使が
其の不法なるを諭し退去を要求せる
處、彼等は甚しく非禮且不遜なる態
度にて同公使に對し罵言雜言を加へ
たるのみならず、其の身邊に危害を
及ぼすに及ばざり、其の態度に出でた
り、元來交戰國の外交官が敵國占領
地に於ても敵國に於けると同様の待
遇を享受し得べきは、國際慣習とし
て最近廣く認められ居る所なるのみ
ならず、之等外交官は一般敵國民と
異なり特別の敬意を以て待遇せらる
べきものにして、例へば大東亞戰爭
勃發に際し支米英外交官が現地帝
國官憲より東京に於ける自國外交官
と略々同様の待遇を受けたる事實に
鑑みるも、羅馬を占領せる米軍が原
田公使に對しヴァチカン市内への移
轉に至る迄同様の待遇を與ふべかり
しは論を俟たざる所なり、況んや原
田公使は法王廳に派遣せられたる外
交使節なるも、特にラテラン條約の
規定に依り伊國領域内に於て外交官
の特權を享有しつつ在留すること
を認められ居りたるものにして、米國
政府と雖もラテラン條約の存在を全
然無視するものとは考へられざるに
於てをや、上述の如き米國兵士の行
爲は外交官に對し特別な待遇を與
ふべき國際法及慣習を全然無視する
ものと云ふべく、文明國間の國際議
禮に悖反する部下將兵の蠻行を司令
官も之を阻止せざるが如き實情は其
の無秩序及軍紀の弛緩を示すものな
るに付、帝國政府は利益保護國たる
スเปน國政府を通じて米國政府に對
し其の不當なる旨を指摘し嚴重抗議
を提出せり、尙原田公使及館員は七
月九日やうやくヴァチカン市内に居
るを移したるに付現在身邊の危険な

外 交

一、中央儲備銀行は本契約締結の自

米の蠻行調査を依頼

【八日】太平洋戦線が戦死した我が勇士の頭蓋骨が米兵よりの記念品として米国内においてもあそび、また責任ある米國會議員がわざわざ日本兵の腕骨で作られた紙切ナイフを大統領に直接送り届けたと云ふ報道は、平常からの米人の野獸性を知らぬものとして信じられぬほどの驚くべき蠻行であり、日本國中の憤激の嵐を喚び起してゐるが、外務省では同事件が神聖なるべき死者の冒瀆問題であるので特に重大視し、右報道に接するや直ちにわが國の米國における利益保護國たるスペイン國を通じて真相調査依頼の手續をとつた旨八日外務當局より發表された、更に七月廿八日同盟リスボン電によつて傳へられたツラ・レックにおける邦人虐待事件に關しても、外務當局は同様スペイン國を通じて取調べ方を依頼中であるが、同事件の概要は左の如くである、即ちカリフォルニア州ツラ・レックの日本人收容所では昨秋の騷擾事件の直後不法にも三百十九名の抑留者を收容所内で監禁、その後暫く釋放してゐたが、最後に残された十四名は當局の不法監禁に抗議するため去る七月廿日から斷食を臨み、收容所當局は廿八日に至り瀕死の一名を病院に收容したが、その他は依然監禁所内で悲壯な斷食を續けてゐる由である

日獨文化聯絡協議會十五回會議

【十一日】世界戦局の重大化とも、日獨兩國關係は更に緊密の度を加へ、相共に最後の勝利を目指して邁進しつつあり、兩國の文化關係もまた昭和十三年十二月締結された日獨文化協定を基礎として着々強化されてゐるが、同協定の實施に關してきくに東京に設置された日獨文化聯絡協議會では第十五回會議を十一日午前十一時より帝國ホテルに開催、左の事項を附議決定した

一、日獨醫學取極を最も有効に實施するため小委員會を設置すること
二、國際文化振興會及びドイツ對外國書交換部は日獨兩國の交通が杜絶した場合においても文化交流を中絶させぬため、相互に二萬圓、二萬マルクの基金を設定、兩國の重要文獻の購入交換に努力すべきこと
三、戦時下は勿論戦後においても日獨兩國の學術的協力を益々緊密活潑化するため兩國に在留中の學者をもつてする文化研究、學術情報及び文獻資料の交換蒐集を行ふ

なほ日獨懇談會を設けて兩國文化人の親和に資すると共に兩國の盟約の固きことを世界に立示せんとすることに於いても意見一致し午餐を共にしたのち散會した

▲出席者(日本側) 安東外務省條約局長を委員長として井口情報局第三部長、永井文部省總務局長、黒田國際文化振興會專務理事、井上日獨文化協會會長(ドイツ側) シュルツェ駐日獨大使館文化部長を委員長としてポルツェ公使、ツアヘルト日獨文化協會主事等

周佛海氏來朝
【十一日】國民政府行政院院長代行兼財政部長周佛海氏は行政院秘書馬驥良、財政部參事黃遠の兩氏を帶同十一日午前八時二十分東京驛着入京した、今回の來朝は我國専門醫より病疾の診斷をうけるとともに、汪主

席見舞のため一、二週間休業券を滞在の豫定である、なほ周佛海氏は十一日午前十一時宮中に參内、記帳を行ひ、ついで午後一時半重光外相兼大東亞相を外相官邸に訪問、來朝の挨拶を述べた、之に對し重光外相兼大東亞相は一行を同日午後六時半外相官邸に招待歓迎晩餐會を開催、石渡藏相、有田外務省顧問を初め外務、大東亞兩省首腦部も出席談話した

尙ほ周佛海氏は十二日小磯首相、石渡藏相、杉山陸相、梅津參謀總長等を歴訪、夫々來朝の挨拶を述べた所あり、同夜は更に藏相官邸における藏相主催晩餐會に出席、重光外相兼大東亞相、小倉國府最高顧問、蔡中華民國大使、澁澤谷口日銀正副總裁、大野、賀屋兩藏省各局長らと中國金融事情等に關し懇談した

日泰首相外相メツセージ交換
【廿九日】アバイウオン泰國新内閣は成立以來日泰兩國の友好關係増進に努力してゐるが、二十九日小磯首相並にアバイウオン泰國首相はメツセージを交換、アバイウオン首相は「兩國の友好關係強化に不撓の努力を爲さんと述べたのに對し、小磯首相は日泰兩國は益々提携を強化し、共同戦争に勝利をさめんとする確信を披瀝した、また、同時に重光外相、シヤナ泰國外相との間にもメツセージの交換が行はれ、兩國の傳統の友誼の増進に努力せんとする決意が表明された

大東亞宣言の具現、敵愾も認む
—井口情報局第三部長談
【廿六日】井口情報局第三部長は廿六日午前十一時内外記者團との會見において、大東亞戰爭が一面武力戦であつて同時に他面精神上的の戦ひより重大なる意味を持つ精神上の戦ひであることを強調し、大東亞宣言こそ相互に自主獨立を尊重し將來永遠に互つて東亞に安定を確保せんとする諸國家諸民族共通の宿願なることを力説し更に此の現實に關しては敵國側にて「アメリカン・ヘレン・ミーアス」六月號に掲載された「ヘレン・ミーアス」の「日本は政治的戰爭に勝ちつた」と題する論文を引用して敵米英側の戰爭目的の低級劣弱さを論じ、彼等がいかに焦慮の餘り惡宣傳を弄するも帝國積年の理想は着々實現し大東亞解放の黎明をみるに至つたのは當然の歸結であると結んだ、引用文要旨次の通り

ヘレン・ミーアスは米國が今次戰爭遂行に當つて從來通り飽迄自國本位の民族的乃至國家的覺醒に想到せず躍起となつて日本打倒抹殺を企圖し、日本さへ破れば東亞は自國の思ひが現實ししかる簡單なものではない、と前提し「米國が日本軍部指導者等の意圖乃至方法を侵略的と言つて居るに拘らず、日本軍の功業は亞細亞諸民族間に廣く亞細亞の國民的革命的尖端的事實として歡迎せられて居る、我々は東亞の各現住民が我々を解放者として歡迎するものと早合點してゐるが、彼等は是迄大部分歐洲諸國のために制壓されて居た分ではないか、獨善的な考へから我々は支那に於て汪精衛政府が相當有力なる軍隊を擁して米英兩國に宣戦し國民軍を編成してゐる事實を無視し、又チャンドラボースが自由印度政府を樹立しては故意に知らぬ振をしようとする、これらの事實を忘却するのは容易だが事實の暗示する深甚なる意義を無視するのは難かしい我々は刻下亞細亞を揺り動かしてゐる國民革命の大ききには氣が付かず亞細亞民族が西洋帝國主義國を憎むこと恰も我々米國人が日本人を憎むが如き事實に對しては全く無智である」と米國の對東亞強及態度の根本的誤謬を指摘し、其唯我獨尊的政策を論難して亞細亞の諸國家民族が日本の政治的宣傳に共鳴し日本と同調してゐることを力説し、更に「我米國の對日宣傳と日本の對亞細亞宣傳とを比較吟味すると全く薄氣味悪い感じがする、双方共不思議にも同じ線に沿つて相手方を論難攻撃してゐる線がある、即ち我々は「亞細亞を日本侵略者から解放する十字軍」と自稱するに對し、日本側は「亞細亞を歐米侵略者から解放する聖戰」となしてゐる、日米双方の宣傳の眞實性如何を比較するよりも、肝腎なことは此宣傳を聽く諸民族が其の執れ、日傾聽し信賴するかの問題である、日本人が汎亞細亞運動に依つて有色人種を解放すると云ふのを我々は僞善と罵倒してゐるが、彼等有色の植民地民衆が我々と同じ感情を抱いてゐると臆斷する譯にはゆかぬ、要するに亞細亞諸民族は亞細亞の東南部諸國及南洋地域が是れ獨立國家である歐米諸國に領有され遠隔なる之等母國のみの利益の爲に統治されて居た事を徹底的に知り抜いてゐる、政治的自覺を有する亞細亞の指導者及其

尙海軍中將阿敬純は海軍省軍務局長事務取扱を免ぜられたり

【二日】

海軍大將 及川古志郎
補軍令部總長 吉出 善吾
海軍大將 嶋田繁太郎
補軍事參議官 野村 直邦
海軍大將 井上 成美
補横須賀鎮守府司令長官 井上 成美

海軍中將 井上 成美
海軍次官正四位 井上 成美
勳一等功三級 井上 成美

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 大川内傳七
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純
海軍中將 阿 敬純

右は中澤少尉指揮の下に挺進斥候となり昭和十七年十二月軍のガダルカナル島作戦の難局に際しルンガ西飛行場に潜入し飛行機及施設を爆破して敵の後方を擾亂すべき任務を受け

同月六日薄暮アウステン山附近出發荆棘密林を潜り數次に亘り敵警戒の間隙を縫ひ九日夜雷雨に乗じて果敢

破し飛行場附近に隠忍潜伏すること三夜此の間細密周到なる偵察準備を遂げ十二日夜飛行機二機、大型給油

自動車二輛、照空燈一基を爆破して十五日夕刻歸還せり、右の行動は沈

着剛膽思慮周密克く萬難を排し極めて困難なる任務を達成せるものにして

全軍の志氣を高揚すると共に敵を畏怖せしめたること尠からず、挺進斥候の範として其の武功拔群なり仍

て茲に感状を授與す
昭和十七年十二月二十九日
軍司令官

三橋孝一郎
小河 正儀

陸軍少尉 中澤 勳
同 伍長 湯淺 義行
同 兵長 筒井 金市
同 村上 政明
同 高木 清隆

院內議長應接室に關係各省との聯合

懇談會を開催、同對策案を提示して急速なる實施を要望、當局との間に懇談を重ねて正午散會した

鐵鋼調査班構成
【廿一日】貴族院では政府の鐵鋼増産施策の強力なる實現に側面する積

極的協力を行ふため、調査會内に鐵鋼調査班を特設したが、同調査班の

構成につき慎重銜銜の結果、二十一日運通相八田嘉明氏以下左の十氏と決定、二十五日初會合を行ふこととなつた

八田嘉明、伍堂卓雄、寺島健、村瀨直實、伊東二郎九子、澤田大三郎、古市六三男、竹下豊次、飯田精太郎、左近司政三

懇談會結成
【廿四日】貴族院は現下戦局の様相を重視し空前の時艱克服を期して過

般來各派緊密なる連繫の下に協議檢討を重ねてきたが、調査會の運用によつて具現されてゐる各派提携の現

状を更に鞏固に前進せしめ、過去一切の面目等を決然一擲し眞に己を空うして貴族院本來の使命達成に邁進

するため、之が中核機關として各派代表の意味を持つ世話人十餘名を以つて構成するの意見に一致を見た、

【廿六日】貴族院では戦時下に於ける國民思想の動向を重視し二十六日調査會内に安井英二氏等委員十八名理事中川望、西尾忠方子、岩倉具榮公の三氏よりなる思想調査委員會を設置した、委員の名左の如し、安井英二、岡部長景子、小松吉吉、

岩田宙造、澤田大三郎、一條實孝公二荒芳徳伯、舟橋清實子、平塚廣義、小村捷治侯、井田盤楠、村田保定男、山岡萬之助、村上恭一、入江貫一、加藤政之男、澁澤金藏、水野甚次郎

小林翼政會總裁勸選
【廿六日】政府は早大總長田中慈積氏の逝去に伴ふ勸選の補充について翼政會總裁小林躋造大將を奏請二十

六日左の如く發令された
貴族院令第一條第四號に依り貴族院議員に任ず

陸海軍大將にして勸選議員に就任したのは政友會總裁田中義一大將及び十七年五月十八日前翼政會總裁阿部信行大將の前例があり、今回は第三

回目のことであり、その狙ひは兩院に議席を持たぬ翼政會總裁が貴衆兩院の指導權を握ることは議會の權威

の上からも好ましくはなからぬことであり同時に議會運営上も不便を生ずるもの

であるが、阿部大將と同様これを勸選とした入りはかくて恒例の形となつた

八日會決議
【廿一日】代議士有志の團體たる八日會では二十一日午後一時藏前工業會館で總會を開き、江藤、齋藤(隆)、正木、紫安、森田(福)、赤尾、中村(又)、三田村、原(三玉)、松本(壽)、猪野毛、松本(忠)、笹川、西尾、平野(力)の

各氏出席、時局並に對臨時議會策につき意見を交換の結果左の決議をなし、實行委員をあげて同五時翼政會本部に於て小林總裁と會見、決議を

手交するとともにこれが實現方を要望、これに對し小林總裁は、(一)幹部の全面的に一新については速かに斷行

致し兼ねるが改選期に際して刷新の方途を講ずる、(二)議會の運営については趣旨に同感である旨を答へて會見を終つた

一、前内閣は人心一新のため辭職したり、就ては政府と表裏一體にありし翼政會舊幹部は責任を明かにすべし、右の趣旨により新幹部選任に當つては斷乎舊幹部を一掃すべし

二、議會の運営に關しては從來の態度は議員の審議權を不當に蹂躪し來りたり、今後議會運営に關しては右の過を明確に改むべし

翼政幹部、首相訪問
【三日】金光翼政會總務會長代行、松村謙、松村(光)政務調査會正副會長、太田(正)、伍堂兩常任總務等

翼政首腦部は三日午前十一時官邸に小磯首相を訪問、町田、兒玉兩國務相、前田運通相、藤原軍需相、田中書記官長、三浦法制局長官も列席し當面の諸問題につき種々懇談、午後

零時二十分辭去した

翼政會總裁に小林大將

【五日】翼政會後繼總裁の銜銜は三日の臨時會員總會に於て金光總務會長代行を含めた四十八名の推薦委員に一任と決定したので、右推舉委員

は總會散會後直ちに會合を行ひ協議懇談を行つた結果、金光庸夫、大藤唯男、山崎達之輔、酒井忠正伯、太田耕造、藤山愛一郎の六氏が小委員

にあげ、同小委員は同夜並に四日午前中會合を重ね協議を續行した結果



貴族院

調査會緊急勤勞對策決定
【十七日】決戦下戦力増強の根幹たる勤勞對策の重要性に鑑み貴族院調査會では勤勞對策委員會を設置し、去る三月以來十六回に亘り對策を協議するとともに重點産業の現場視察を行つた結果勤勞行政の一元的運営、勤勞動員の強化と再配置、勤勞管理の刷新、學徒、女子挺身隊、日僱勞務者對策等各般に亘る「勤勞緊急對策案」の策定を得たので十七日午前十時より院內議長應接室に關係各省との聯合

衆議院

【廿一日】代議士有志の團體たる八日會では二十一日午後一時藏前工業會館で總會を開き、江藤、齋藤(隆)、正木、紫安、森田(福)、赤尾、中村(又)、三田村、原(三玉)、松本(壽)、猪野毛、松本(忠)、笹川、西尾、平野(力)の各氏出席、時局並に對臨時議會策につき意見を交換の結果左の決議をなし、實行委員をあげて同五時翼政會本部に於て小林總裁と會見、決議を手交するとともにこれが實現方を要望、これに對し小林總裁は、(一)幹部の全面的に一新については速かに斷行

海軍大將、翼賛會中央協力會議々長
小林躋造氏を二代目の總裁に推挙す
べきを適當とすることに意見の一致
を見た、よつて正午から本部に推挙
委員の全體會議を開催、金光氏から
小委員の經過並びに結果を報告し
全會一致を以てこれを承認、同時に
右小委員を以て直ちに就任懇請の交
渉委員とすることに決定、金光氏ら
六氏は同日午後相携へて小林大將を
訪問、翼賛全會員の總意として總裁
就任方を懇請、小林大將は熱慮の結
果五日後三時東京俱樂部において
金光庸夫氏等六氏と會見、總裁就任
に内諾を與へた

▲小林總裁推戴總會【十一日】翼政
會では新總裁を迎へ、舉國的政治力
結集體として重大時局下陣容を刷新
し、決意を更新して再出發をなすべ
く十一月午後二時から本部において
二代目總裁推戴總會を開催、金光總
務會長代行から小林躋造大將推舉に
至る經過を報告し満場の承認を求
め、新總裁を紹介小林大將起つて別
項の如き就任の挨拶を行ひ、同四十
分散會した

小林總裁挨拶要旨「今日の時局は一
億國民の總てが進んで難に赴くべき
時であり、難きを見て躊躇逡巡を許
さるべき秋ではない、加ふるに既に
銓衡委員一致の御推舉であるから
會員各位の全面的御援助を期待して
君國の爲に御奉公する事が臣子の分
である」と考へ敢て御引受した次第で
ある、この際私素懐の一端を申添
へて置きたい、大東亞戰爭は今や最
も深刻なる段階に突入り敵は既に皇
土の表支那に迫つて居る、我等一億
國民はこの秋の際一切の雜念妄憶
を捨てて其全精力を發揮しこれを結

集して唯一筋に完勝の一路を邁進す
るのみである、而して我翼賛政治會
の任務は正に國家の要請に應ずる
力を擧げてこの國民の陣頭に立ち全
國を奮勵するに在りと言する、新内
閣は今回戰爭指導の根本方針の策定
並に政敵兩略の吻合調整に任ずる爲
「最高戰爭指導會議」を設置した、
政府今後の施策はこの會議の決定を
基調として案書せられ大東亞戰爭の
完遂に向つて邁進されることと存す
、我翼賛政治會も政府のこの態勢
に呼應しこれを協力して以て共に共
より今日の情勢は徒らに批判に時を
過ごすべきではないが、この聖戰に
勝ち抜く爲に匡すべきを匡し、進言
すべきものは進言し、實踐すべきも
のは力強く實踐し、斯くして眞に軍
官、民渾然一體の態勢を更に強固に
し宣戰の大詔に應へ奉らねばならぬ
翼賛政治會創立以來二年有餘、その
間我が國唯一の政治結社として各位
の熱烈眞摯なる御努力に依り大東亞
戰爭の遂行に貢獻する所大なるもの
があつた、今や戦局の重大化に伴ひ
その使命も亦益々重且大を加へた、
而してこの重大使命を果すには先づ
内に發刺たる範圍氣の下、和衷協同
の實を擧げてを國民に示し、會員
諸君の國民代表たる地位を善用して
以て國民總力の結集に一段の工夫を
加ふるに在ると存する

▲小林躋造推舉の經緯「翼政會總裁阿
部信行大將の朝鮮總督就任に伴ひ同
會は創成二年二月に於て後總裁、去
る二十五日まづ臨時代議士會を開催
を推舉決定すべく事懸に當面し、裁
會は創成二年二月に於て後總裁、去
る二十五日まづ臨時代議士會を開催
を推舉決定すべく事懸に當面し、裁

分野には今次重大戦局下の政局轉換
に對處し、翼政會は我が國唯一の政
事結社としてその本然且つ強力なる
政治力を戰爭完遂の一點に集中すべ
きであり、後總裁の決定に先立ち
會運營を徹底的に反省批判すると
もこの際發展的に解消し翼賛會翼
壯らと融合、舉國一體の新國民中核
組織を結成すべしとの意見が熾烈に
提唱され、また後總裁はこの見地
から當然衆議院分野から選定すべし
などの意見も出た、併し現下の重大
時局下總裁の地位は一日も空位とす
るを許さない事情もあり、會を解消
して新國民組織を再編成することも
容易でない、結局後總裁の推
舉を第一先決要件とし前田、大藤、
金光、山崎氏ら會首腦部を中心とな
つて貴族院、各界並に政府の各意嚮
を打診して急速推舉の物色を開始し
た、まづ文官出身とすれば近衛公、
廣田氏らの重臣、會内からすれば水
野鍊太郎氏、武官出身とすれば宇垣
岡田の兩陸海軍長老なども話題に上
つたが、その承諾は何れも困難と見
られたるを消し、代つて陸軍の南次
郎、本庄繁大將、海軍の安保清種
小林躋造の兩大將が有力候補者とし
て登場、この四人中から推舉すべし
とする意嚮が壓倒的となつた、かく
て銓衡委員を設けて協議、懇談を遂
げた結果、小林躋造大將を推舉する
ことに意見の一致を見たのである

▲幹部は一應全部辭表提出【七日】
翼政會では七日正午から常任總務會
午後二時から總務會を開催、金光總
務會長代行から後任總裁として小林
大將に就任前の交渉並に同氏の快諾

を得たる願末を報告したる後、この
際役員一同の總てのべき態度につき協
議の結果、新總裁をして會の運營を
ため首腦幹部が辭表を提出すること
が妥當であることに意見一致、直ち
に總務會長代行、各總務、代議士會
正、副會長、政調正、副會長、各部
長同次長、會計監督、政調各省委員
長の辭表を取纏め新總裁に手交した
【新陣容【二十二日】翼政會では二
十二日會機構全體に亘る役員を新に
小林總裁より次の如く指名、委嘱し
た、新役員の特長は原則として一人
一役として擔任事項につき責任を明
確にするとともに各機構の構成を規
正した點にあり、總務會長制は一時
見合せとなつた、而して新舊役員の一
主要なる異動は顧問に建川美次、前
田米藏氏が加はり、新に總務部長に入
つた者は賀屋興宣、森岡二期、横山
三郎、中島彌國次、○永井柳太郎、
助成、松野鶴平の各氏で、衆議院總
務から一宮房治郎、青木精一、西方
利馬、中島彌國次、鶴見祐輔、松田
竹千代の六氏が昇格して本部總務と
なり、その他は入閣による辭任の他
郷ど留任し、また代議士會長は東
郷實氏、衆議院部長は前次長の三好
英之氏の昇格、事務部長に永野護氏
が就任、實踐、情報、民情、防衛の
各部長並に政調正、副會長は何れも
留任となり、その他では會計監督、
政調各役員、各部長、衆議院總務
各部長理事などに夫々若干の異動があ
り、これを全般的に見て各機構とも
清新なる活力を盛り加へ得た
ものといへよう、尙ほ今後役員改選
の場合には半数交替を行ひ常に人心
一新を期することとなつた、新役員
と各機關の規正は次の通り

- △顧問(一七名) 安安保清種、秋田清、有田八郎、小倉正恒、男大井成清、小泉又次郎、後藤文夫、櫻内幸雄、島田俊雄、末次信正、建川美次、中島知久平、藤原銀次郎、前田米藏、町田忠治、水野鍊太郎、結城豐太郎
- △總務(○印は常任) (五二名内常任二五名) 明石照男、安藤正純、青木精一、○候井上三郎、石井田磐楠、○井野碩哉、一宮房治郎、男黒忠篤植、松野鶴平、小原直、伯瀨口直亮、○大藤唯磨、○太田耕造、太田正孝、岡喜七郎、小知忠良、○賀屋興宣、○勝正憲、○勝田永吉、○金光庸夫、○清瀨一郎、○伍堂卓雄、○伯瀨井忠正、○櫻井兵五郎、○下村宏、正力松太郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、○千石興太郎、○田邊七六、○瀧正雄、田中與吉、高石眞五郎、○津雲國利、津崎尙武、鶴見祐輔、次田大郎、中島彌國次、○永井柳太郎、西方利馬、○八條隆正、橋本清之助、○男東久世秀雄、○藤山愛一郎、松田竹千代、松野鶴平、前田房之助、藤岡二期、○八角三郎、○山崎達之輔、○湯澤三千男、横山助成
- △會計監督 賀屋興宣、田中武雄、藤山愛一郎、横川重次
- △代議士會 會長東郷實、副會長池田秀雄、牛塚虎太郎、作田高太郎
- △事務部長 永野護、次長横山正一
- △實踐部長 高橋守平、次長馬場元治、濱地文平、松浦周太郎、子三島通陽
- △情報部長 川島正次郎、次長男杉山由實、長野高一、南條徳男、野田武夫
- △民情部長 瀧正雄、次長佐藤洋之助、橋橋渡、春名成章、森下國雄
- △防衛部長 窪井義道、次長今牧嘉

雄、子穴戶功男、田中好、山本象吉
△衆議院部長 三好英之、次長加藤
鎌五郎、中井一夫
△衆議院總務 綾部健太郎、新井堯
爾、今井連彦、伊豆富人、上田孝吉
小高長三郎、小山倉之助、遠智太兵
衛、清寛、小山邦太郎、高木義人、
武知勇記、村秀吉、手代木隆吉、
豊田肥、中井川浩、中瀬拙夫、中村
梅吉、田中井司、眞崎勝次、眞鍋儀
千、依光好秋

△政務調査會 會長松村謙三、副會
長兼企畫部長(未定) 企畫部長愛野
時一郎、藤本捨助、副會長兼企畫部
長松村光三、查察部次長中村三之丞
本領信治郎、森田重次郎、副會長兼
資料部長村瀬直養、資料部次長男岩
村一木、河野密

△各省別委員委員長 内閣伯二荒
芳徳、外務藤原隆朗、内務岸田正記
大藏木村正義、陸軍宇大島陸太郎、
海軍男柴山昌生、司法濱野徹太郎、
文部清水留三郎、厚生深澤豊太郎、
大東亞松本忠雄、農商三善信房、軍
需木暮武夫、運輸通信小柳牧衛
なほ各役員會は左の通り出席者を定
めてその構成を明確にしたが、國務
大臣並びに顧問は常任總會及總務
會には自由に出席、また本部總務
顧問、會計監督は衆議院部會(代議
士のみ)各部會及び政調役員會に出
席自由のこととした

一、常任總務會 常任總務の代議
士會長、政務調査會長、各部長
一、總務會 總務の外代議士會正副
會長、政務調査會正副會長、各部長
衆議院部長、會計監督、兩院正副
議長及兩院の議長たりし者
一、衆議院部會 衆議院部總務次長
理事の代議士會正副會長及衆議院關

係の各部長、次長、政務調査會正副
會長、同各省別委員長及各部連絡理
事衆議院部總務會及理事會は適宜必
要に應じ開會す
一、政務調査會役員會 政務調査會
役員の外各部長各部連絡理事
一、各部會 部長、次長、理事及各
部連絡理事

緒方情報局總裁に建言
【九日】 翼政會では九日午後三時か
ら本部で情報宣傳部理事會を開催、
川島部長以下各理事出席、緒方情報
局總裁を招き、現下重大時局下の宣
傳報道に關し懇談した、席上緒方總
裁から「從來の言論報道上の取締り
態度を戰爭完遂、國策の遂行に障害
となるやうな場合を除き根本的に改
訂、不必要と考へられる取締りは斷
乎中止する考へである、從つて言論
は可及的に尊重、これを公正ならし
めるとともに、特に輿論指導には新
聞を重點的な對象として考へ、而
して現下稍もすれば國民の一部に元
氣がないといふやうなことを聞くも
要は新聞報道をして公正感を失はし
めるところに原因があると思ふから
今後は當局としも公正なる發表を
なして、また種々資料は提示せしめ
る、また種々資料は提示せしめる
へて制肘を加へず十分批判せしめる
考へである、この方向に急速に持
て行くやうに具體的に措置する方針
である、殊に一旦空襲を受ける如き
非常事態に關しては特に宣傳報道の
主力重點は新聞にあるものとして最
善の態度をもつて臨み度い」と確固
たる所信を披瀝した、これに對して
情報宣傳部理事會としては全面的に
賛意を表した、更に次の如き情報
宣傳政策の強化を總裁に手交、これ
に基いて種々懇談を遂げたが、總裁

としてその趣旨に賛同、その實行
を約し同五時散會した
情報宣傳政策の強化
軍及び政治に對する國民の信頼を強
化せしめ戦局の現實と國民の心構と
の間に中間隙なからしむることを目
途とし情報宣傳政策の刷新徹底を圖
るを要す
一、國民をして誤つて安全感に陶醉
せしむることなからしむ様常に政府
は戦局の眞相を國民に知悉せしめ、
いかなる事態に處するも苟も動搖す
るが如きことなき襟心構へを涵養す
る
二、言論の指導に當りては不當の拘
束をすることなく國民の心理を把握
し且つその時機を失せざる様つとめ
ることを要す、特に新聞にありては
現在の低調劃一的なる方針を打破し
各紙夫々特色を生かし清新潑潑たる
紙面を製作し國民の感激を發揚せし
むる
三、各省に分屬する情報宣傳機關は
これを情報局に統合し、集約強化統
一の任に當らしむる
四、思想戦が戰爭最後の決定条件た
るに鑑み情報局をして「思想戰本部」
たるの性格を有せしめる
五、國民の政治的意志發表に付ては
これを翼政政治會の活動に俟つ様措
置する

翼政施策實施要望
【十四日】 翼政會では十四日正午か
ら小林總裁を迎へて初の常任總務會
同午後二時から總務會を開催、過般
首腦部が小磯首相を始め政府側各關
係と會見、提示した諸政策につき討
議を遂げた結果正式に翼政の政綱と
して採用、實施を要望することにし
て、而して右政綱の中にはすでに

政府において實現せる最高戰爭指
導會議をはじめ今後政府に於て急速
實現を準備中のものも多々あり今回
翼政會の決定せる政綱は政府の實施
せんとする諸決戦施策の樞軸となる
ものとして期待されてゐる、翼政が
「施政に對する緊急要望」として決
定せる諸政綱の要旨は左の如し
△施政に對する緊急要望
帝國興廢の繫る今日、國民愛國の熱
意を結成して凡ゆる方策施設を決戦
の一點に集中し、必勝國內體制の確
立、軍需の生産、食糧の確保、國土
の防衛等必勝の態勢に萬算算なきを
期せんが爲、強力果敢に左の諸方策
を實行するを要す
一、政戦兩略の一致活動 軍國の大
計は文武相應じて謀議し、緊密に陸
海軍の策應、協同を圖るより急なる
はなし、政府は宣し戦局の現況に
鑑み、其の責任に於て速に政戦兩略
の一致活動を更に強力に推進すべし
二、軍需及び食糧生産の確保 政府
は萬難を排し、軍需及び食糧生産に
全力を傾注し、之が配分の根本方針
を速かに策定すべし、①國家計畫の
再檢討に作戦と生産計畫との完全な
一致に依り直ちに物資動員計畫、
生産擴充計畫、國民動員計畫等國家
計畫に再檢討を加へ、綜合性と機動
性を確保し、特に陸海軍及び官民保
有物資の綜合的活用を強化し、重點
的に物資の高度効率化を期すること
②軍需生産行政の統一と生産責任體
制の確立 生産行政における陸海軍
間の隔壁を撤し、發註め一元化は固
より技術の交流、互換性の確保を圖
り、他方に産業人の創意工夫を尊重
し其の全責任において生産遂行に當
らしめ、監督行政の範圍を逸脱して

妄に關與、制肘を加ふる如き弊を芟
除すること、③食糧の確保 内外地
及滿洲を通ずる食糧生産に對し根本
的の施策を講ずると共に、食糧の配
給統制に再檢討を加へ戦時政策の
生活を保證すること、④物價政策の
確立 物價政策に生産増強の面と國
民生活の面より再檢討を加へ其の機
構と對策に根本的の刷新を圖ること
三、必勝國內體制の確立 ①國民政治
組織の強化 憲法の精神に格違して
複雑なる機構を簡明にし、人心を一
新して國民協力の下に、強力なる政治
を斷行すること、②國民道德の振作
意を更に昂揚せしむるに付格段の工
夫を圖ること、③言論の尊重、宣傳
の徹底化 内外の實情を普く國民に
周知せしめ、一億愛國の至誠を結集
せしむる爲、言論を不當に拘束せず
、又情報、宣傳機關は之を情報局に
界合すること、④官界の決戦化 官
統の綱紀を肅正し、廣く人材起用の
方途を拓き、事務の簡潔刷新を行ひ
以て決戦の體制に即應せしむること
猶政策の統一を圖り、總力戰體制に
關する計畫並に一般施政機關の調整
を期する爲内閣總理大臣の下に綜合
的中樞機關を運動すること
【十八日】 翼政會では十八日常任總
務會を開き、小林總裁から十六日臨
時議會その他につき小磯首相と會談
した結果を報告、ついで高橋實踐部
長から同部で決定した今後の國民運
轉の運営方法を説明、承認を得たの
で即時實行に移ることとなつた、今
回新に展開せんとするものは來る臨
時議會を機會として議會閉會後政府

の方針及び戦局の實情等の周知徹底を中心題目とする全国的國民運動で先期中途で打ち切りとなつた政府、翼政會翼賛會の國民總動起運動の繼續でなく翼政會独自の立場で試みられ、點が特に注目される。

食糧緊急對策要綱指示

【廿六日】翼政會を代表して、松村(謙)、松村(光)、村瀬の各政調正、副會長、金光、千石、東郷各總務、高橋實踐部長は廿六日午後二時首相官邸に小磯首相、島田農商相、石渡藏相、大達内相、廣瀬厚相、藤原軍需相と會見、各機關を経て決定せる食糧緊急對策要綱につき説明、これが急速實施方を要望、懇談を遂げた。また陸海兩相に對しても同様これを進言した、緊急對策要綱は、第一基本對策、第二地方的特殊對策の二つから成つて居り、第一の基本對策では、食糧の全國劃一的經濟統制を再檢討し、一切の戦時非常措置を強力に實施して其の内地自給應勢の確立、外地及滿洲に於ける増産増送と其の助成、諸類の主要食糧配給統制除外、大都市自給經濟圏の設定、主要食糧以外の食糧統制の簡素化等根本的施策の必成を期すると共に、その價格の改訂、輸送の強化等格段の措置を講じて食糧の綜合的絕對量を確保し彈力機動性ある配給方法を策定して確保したる戦時國民生活の最低限度を保障せざるべからずとて九項目に亘り具體案を擧げ、第二地方的特殊對策では右基本對策の外地方特殊の事情に即應して次の特殊對策、即ち(一)計畫的人口疎開の急速斷行、(二)學童給食の是正、(三)外食券制度の再檢討、(四)雜炊食堂の廢止、(五)魚介類の増産と配給の圓滑化を實施する

對議會案協議

【廿九日】翼政會では二十九日午後一時から本部で衆議院部會を開催、第八十五臨時議會の運営方針並に對議會案につき自由討議をなし、懇談を遂げた結果今次議會運営方針として、衆議院關係の問題は衆議院部會で決定権を持つこと、二、今議會の審議に當つては匡すべきを匡し徹底的に議論するとともに「眞の官民一致の體制」を確立する方向に持つてゆくこと、三、議會での論議、質疑を通じて行はれる、政府當局の言明、公約に對して議會後官吏がこれを輕視する風潮の濃厚なるは甚だ遺憾であるからこれを監視するとともに實行せしめ方を途を講ずる要があること、また議會の決議、意思表示に對しても同様厳に實行を監視すること、四、委員その他人事については因緣情實を排し、適材適所主義に依り清新なる人事布陣をなすこと、を決定、また今議會で審議する問題として(一)物價、(二)食糧、(三)爲替政策(四)軍需生産、(五)國民動員、(六)官紀振肅の各題目を重點的に採り上げることに決定、三時半散會



副總裁に緒方國務相

【十日】小磯首相兼翼賛會總裁は後藤文夫氏の辭任に伴ふ翼賛會副總裁の人選につき過般來熟慮を加へて來

たが、翼賛會顧問國務相情報局長緒方竹虎氏に委嘱するに決し九日發令し、十日翼賛會當局より發表した從來翼賛會副總裁は、副總裁の資格で國務大臣に親任せられ、政府と表裏一體の關係に立つて國民運動を綜合把握して來たが、今回は國務相兼情報局長に就任したのであり、これにより政府と翼賛會が直接極めて緊密に結びつけられ文字通り一體關係に立つたわけである、殊に情報局長の指導力が翼賛會の組織を通じて國民組織の最末端まで滲透し得ることとなつたのは情報局長機能の畫期的強化といふことが出来る、かくて輿論の活潑ぶたが出来る、迅速強力な實踐力が相並んで最大の効果を發揮することが期待され輿論の明朗化上最善の方途が確立されたものとして極めて大きい意義を有する、而して翼賛會自體としては緒方副總裁就任の辭によつても明白なる如く今後の運動の方向を戦力増強の一點に集中すべく、政府の國民運動に期待するところも、これで確乎不動のものとなつたといふことが出来る、緒方副總裁は昭和十七年十月翼賛會總務、同十八年八月與亞協力會議員となり國務相親任と共に翼賛會顧問に就任し、それまで翼賛運動と極めて緊密な間柄にあつた

軍需食糧増産の緊急具體案

【十一日】翼賛會五十二件を上通

【十一日】翼賛會五十二件を上通

上通すべきものとして五十二件を決定、十一日小林協力會議議長名をもつて小磯首相以下關係各閣僚並に情報局長、神祇院、技術院各總裁、法制局長官あて夫々意見書を上通した。今回の上通件数は昨年度の二十三件に比し倍加してゐるが、更に近く第一二次の上通を行ふことになつて、また翼賛會事務局において直に實踐すべきもの、更に調査研究を進めるもの等についても目下慎重検討中である、緊急上通された五十二件を四件、大別すると、(一)決戦士氣の昂揚、(二)軍需増産の完遂十五件、(三)食糧増産の完遂二十件、(四)決戦生活の確立十一件となり、中主なるものは左の通りである。

△決戦時士氣の昂揚 (一)時局の眞相徹底(二)戦争の實情報道に一段の工夫を加へ、國民の知らんと欲すること、(三)徹底的に戰況を充分認識させること、また檢閱方法に改善を加へ新聞社の責任と自主性を強化すること、(四)指導者層の覺醒(一)指導者として軍官側では自ら國民の一員たる心掛を以て國民を導くよう努めること、(二)行政監察の實施(一)吏道刷新の爲め嚴格な査察を實施し信賞必罰の實をあげること、(二)軍需増産の完遂 (一)綜合的物動計畫の樹立(二)現在の物動計畫の根本的缺陷を是正して綜合的物動計畫を樹立し、(三)各種産業に凹凸なきやう所謂空襲生産制を斷行すること、(四)工場空襲對策の確立(一)工場移轉先の劃當、遊休工場整備、企業集團の劃當、(二)地方行政官廳の權限強化 (一)學徒過般乏しきを以て國政變理の大任を命を賭して一億同胞諸君とともに御奉公の誠をつくし得る事になつたこと、(二)技術の尊

小磯總裁、翼賛運動の分野明示

【十六日】小磯首相は廿六日午後二時、日比谷の翼賛會本部に初登壇し、緒方副總裁、小畑事務總長以下全職員に對し左の如き要旨の訓示を行ひ、決戦下翼賛運動の方向を明示した。分野につき「あらゆる國民活動は國體の本義に基づく大政翼賛運動に歸せられるが、この中政治面は翼賛會、精神面は翼賛會並にその傘下團體が擔任する」旨を明にし、さらに翼賛精神運動の具體的方向として、(一)必勝の信念の培養、(二)決戦の努力を強く要望した、小磯總裁訓示要旨左の如し

とは洵に恐懼に耐へぬ、しかししてこの機会に大政翼賛會の總裁に推舉せられたが、大政翼賛運動は職分奉公の國民體制を確立し、もつて臣道實踐の體制を實現することであると記憶してゐる、更に職分奉公の國民組織を確立し、臣道實踐體制を實現するためには、行く道は二つあるのではないかと存する、その一つは政治の面を通してである、他の一つは政治運動と申すものの中には色々の團體乃至は分派が存在してゐるようで、最近この翼賛運動の一元化の必要があるといはれてゐるが、その理念においては今や一億結集、苛烈な戦局を突破すべき今日、なし得るものならば一元化が望ましいと考へる、しかし色々裏面事情を觀察してみると大和一致、一億結集、眞に氣魄を同じくして邁進すべき今日一元化運動を具現するために、もし不幸にしてここに反目相剋でも起るようなことがありとするならば、戦局突破の一億結集を素す憂がある考へる、故に大政翼賛運動はその機構において從來通りの立場において邁進することのむしる必要なることを自覺したのである、大政翼賛運動と稱する各團體は各その存立の意義に基き國策の線に沿ひ邁進する時、その達成せねばならぬ任務の本質を異にしてゐる考へる、私を以てすれば翼賛政治會は政治面を通して國策遂行に邁進すべき一團體と考へる、その政治面を通して邁進すべき翼賛政治會の行方は先般翼賛政治會におけ、總裁推戴式場で申した通り、政治力を充分に一元的に結集し、國體の本義の下、國策の線に沿つて政治的に邁

翼壯團長を建川中將に委嘱

【十六日】大日本翼賛壯年團團長後藤文夫氏は、十二日辭表を提出したので、小磯總裁の手許で後任銜衝中であつたが、前駐ソ大使建川美次陸軍中將を推すことに決定、十六日後藤團長の解任と共に發令された、これまで翼壯團長は翼賛會副總裁が兼任して來たが今回翼壯運動の強力な展開を期して專任團長を設置するに至つたものである

大橋理裕、小川喜一、渡邊金造、柏原幸一、鹿子木貞吉、吉澤忠男、田村五郎、田中長茂、名取忠彦、矢野機、松永壽雄、近藤英次郎、小山亮越生虎之助、江橋英次郎、朝比奈策太郎、坂井德太郎、下中彌三郎、森口淳三、關家清、鈴木正吾

外 地

【六日】臺灣總督府では臺灣の有事する人的總力の戦場的切換へを斷行、臺灣防衛の完璧を期するため六百六十萬

建川團長略歴 新潟縣出身、本年六十五歳、陸士十三期、陸大卒業後騎兵第五聯隊長、參謀本部課長、支那在勤公使官附武官、參謀本部第二、第一各部長、第四各師團長を歴任し昭和十一年豫備役仰付、昭和十五年松岡外相の懇請により駐ソ大使となり同十七年退任、日ソ中立條約成立上多大の功績を殘した

【廿八日】翼賛會與亞細亞總本部總理水野鍊太郎、同本部長宮田光雄兩氏は翼賛運動の新展開を控へて辭任することとなり、十二日小磯總裁の手許に辭表を提出した、小磯總裁の手許において後任銜衝の結果、新総理には松井石根陸軍大將(前同總本部顧問)また同本部長には高木陸郎氏(現中日實業副總裁)を起用することに決定、二十八日發令した

外地地方

臺灣戰場態勢の確立へ

【六日】臺灣總督府では臺灣の有事する人的總力の戦場的切換へを斷行、臺灣防衛の完璧を期するため六百六十萬島民の總動員を促すこととなり、六日「臺灣戰場態勢整備要綱」を決定發表した、同要綱は陸海軍の防衛施設及び作戦行動に對する人及び物の優先的動員を第一義とし、臺灣の防衛力強化並に戰場産業態勢整備の二點に目標を置きこれがため、(一)整備力の充實及び防空の徹底、(二)戦場勞務及び資材の戰場的轉換、(三)戰場必需物資の自給力並に平靜秩序の維持、(四)全島民の戰場行政態勢の確立の方途を講せんとする畫期的施策である

【廿三日】大日本翼賛壯年團では新團長として十六日建川美次中將を迎へたが、其後中央本部長として代議士橋本欣五郎氏を迎へ更に牛島副團長の辭任に伴ふ副團長の後任として總務小林順一郎大佐を帝都翼壯團長牛島中將の後任には荻洲立兵中將を煩はすこととなり、十七日、廿一日、廿三日付それぞれ發令、之と前後して團陣容の整備強化に努め特に顧問、總務陣の一新をはかつてきたが、廿三日發令の荻洲中將、帝都團長就任を以て一段落となし、將た新陣容の通過、

小林順一郎(專任)、橋本欣五郎、荻洲立兵(本部長)、橋本欣五郎(顧問)、德富猪一郎、松井石根、末次信正、金光庸夫、伍堂卓雄、吉田茂、千石與太郎、△總務 本間精、堀内一雄

實際上來る九月中旬以降滿十七歳以上二十歳未満の男子にのみ施行するが、明年度以降は一般都道府縣と同様の年齢層(滿十五歳以上二十六歳未満)の男子は實施されるはずである

地方長官異動

【一日】大連内相は決戦態勢下の内務行政刷新を眼目とする地方長官の大異動を決意し、内相就任直後より山崎次官古井警保、灘尾地方兩局長を參謀格として鋭意銓衡を行つた結果、辭表提出中の近畿地方行政協議會長、河原田大阪、中國地方行政協議會長、横山廣島兩府縣知事のほか行政刷新を目標として近藤神奈川縣知事以下七縣知事を勇退せしめその後任補充に伴ふ異動を内定、一日の定例閣議の決定を経て即日上海奏御裁可を仰ぎ別記の通り發令した、即ち大阪府知事、近畿行政協議會長には元大阪府知事、海軍司政長官池田清氏、並に廣島縣事中國行政協議會長には東京都次長松村光磨氏を夫々起用し、東京都次長には元厚生次官兒玉九一氏を復活させ、更に神奈川縣知事には軍事保護院副總裁藤原孝夫氏を任命し、又岡山、熊本、和歌山、長野、秋田、青森の各縣知事には英斷を以て新進を抜擢する等内務行政の決戦態勢に備へた

尚ほ翌二日右長官異動に伴ふ部長級六十八名の大異動が行はれた

地方行政協議會長會議

【二十四日】小磯内閣成立後初の地方行政協議會長會議は地方長官會議に引續き廿四日首相官邸に開催、協議會長側より西尾關東地方外各協議會長及び各參事官、政府側より小磯

首相以下全閣僚、内閣三長官並に各關係官は午前十一時官邸に參集、午餐を共にしたる後午後一時より會議を開催、劈頭小磯首相は行政協議會制度の効果は自分の充分認めてゐるところである、同時に現下各協議會長の協力に俟つべきものは非常に多いと考へてゐるついでには各位は管内の各地區長官各官衙長をよく取纏め一致協力し協議會制度本来の目的を達成するやう努力された、殊に各位は總理と全力一心一體だといふ考への下に努力されたい、現内閣も今後毎月一回定期的に協議會長會議を開き、決戦施策の實施に萬全を期したい

旨の挨拶を述べた後懇談會に入り、食糧、燃料、勞務、軍需、生産、防空その他諸般の問題に關し、各協議會長全部が交々管内地方の實情を述べこれに基き意見を開陳、政府側關係關係より夫々應答があり、同六時三十五分散會した

Table with columns for location (地方), position (官職), and name (姓名). It lists various government appointments and dismissals across different regions like Tokyo, Osaka, and other prefectures.

茨城縣經濟第二部長 門叶 宗雄
補警察部長
山形縣內政部長 平本 義隆
任栃木縣內政部長 (三) (勅待)
領事兼內務事務官 村川重太郎
任奈良縣警察部長 (四)
內務書記官 工藤 太郎
(大臣官房)
任三重縣經濟第二部長 (三)
後藤吉五郎
臺灣總督府保安課長
任三重縣警察部長 (三)
永岡 文男
任愛知縣警察部長 (三)
岩澤 博
警視廳消防部長
任靜岡縣警察部長 (四)
秦 重德
警視廳警視
任滋賀縣警察部長 (四)
高橋 貢
情報局情報官
任長野縣警察部長 (三)
早坂 冬男
警察講習所教授
兼內務書記官
任福島縣內政部長 (三)
玉柳 實
厚生省施設課長
任福島縣經濟第一部長 (三)
埜玉縣警察部長 神崎 廣
任岸手縣內政部長 (三)
伊能 芳雄
厚生省勞務官
兼厚生省書記官
任青森縣內政部長 (三)
阿賀 正美
厚生省修練課長
任山形縣內政部長 (三)
加藤 巖雄
地方警視 (兵庫)
任山形縣警察部長 (四)
宮協 倫
厚生省鍛鍊課長
任秋田縣內政部長 (三)
鹽谷 隆雄
地方警視 (福岡)
任秋田縣警察部長 (四)
磯部 巖
福井縣內政部長
勅任官を以て待遇せらる
地方事務官 (大阪) 玉越 勝治

任福井縣經濟部長 (四)
警視廳官房主事 青木 重臣
任石川縣內政部長 (三)
文部省特技訓練課長 石井 通則
兼運輸通信書記官
任石川縣經濟第二部長 (三)
地方副參事官 (東京) 清水 芳一
任石川縣警察部長 (三)
警視廳勤勞部長 豐原 道也
任富山縣內政部長 (三)
福井縣經濟部長 石井 榮三
任富山縣警察部長 (四)
任富山縣經濟部長 (四)
石橋 豐德
內務書記官
任島根縣內政部長 (三)
厚生事務官 (衛生局) 古海 正雄
任島根縣經濟第二部長 (四)
和歌山縣內政部長 坂田喜一郎
勅任官を以て待遇せらる
島根縣內政部長 高島 資吉
任香川縣內政部長 (三)
千葉縣經濟第二部長 細谷 喜一
任香川縣警察部長 (四)
內務事務官兼大藏事務官外務事務官 (警保) 小田切 潔
任大分縣警察部長 (四)
石川縣經濟第二部長 大濱 芳雄
任佐賀縣內政部長 (三)
松澤 美雄
任鹿兒島縣內政部長 (三) (勅待)
任鹿兒島縣經濟第二部長 (四)
內務書記官
(大臣官房)
任鹿兒島縣警察部長 (三)
防衛局企畫
東京都書記官
時田 吉雄
地方警視 (愛知) 南 八男
任臺灣總督府書記官 (保安) 談
京都府內政部長 野間 正秋
新潟縣經濟第一部長 有松 昇
群馬縣內政部長 多田雄次郎 京

福島縣內政部長 柏木 輝夫
岩手縣內政部長 伊藤 正良
青森縣內政部長 鶴田 義隆
秋田縣內政部長 川崎 勇
香川縣內政部長 玉置 一
任石川縣內政部長 浦吉 勳
任佐賀縣內政部長 浦 正胤
依願免本官 (各通) 【三十日】
內務書記官 小川 節郎
(大臣官房)
任山形縣經濟第一部長 (四)
▲新任市長
▲伊丹市 森井 貫
(退役陸軍少將、七日)
▲釧路市 佐藤 國司
(元同市長、十六日)
▲鹿兒島市 岩切 重雄
(元商工省政務次官、十七日)

【十日】小磯首相參內政務奏上
【十二日】大達內相、前田運通相、兒玉國務相、梅津參謀長神宮參拜のため西下、十四日歸京
【十四日】地方參事官會議勤勞勸員
【十五日】中野檢事總長神宮參拜のため西下、十九日歸京
【十五日】小磯首相參內政務奏上
水野南方事務局長南方視察より福岡着歸京
【廿一日】重光外相兼大東亞相「我々が大東亞政策に就て」放送
【廿二日】大達內相參內政務奏上
小林翼政總裁小磯首相と會談△第三回軍需監理部長會議△翼壯、食糧増産、航空機増産二本部設置決定
【廿三日】翼餐會全國支部長會議
【廿四日】重光外相小磯首相と要談
次いで宮中に參內政務奏上△翼政岡田衆議院部長小磯首相を訪問△翼政會總務會
【廿五日】小磯首相參內政務奏上△翼政衆議院部會臨時議會對策意見交換
【廿六日】翼政、旱水害對策政府に
【廿八日】石渡藏相參內政務奏上△翼政、自給肥料對策進言
【廿九日】藤原軍需相神宮參拜のため西下△松井大將以下與亞總本部新舊整理、本部長四氏小磯首相を訪問挨拶
【卅一日】小磯首相、重光外相交參內政務奏上

政治短信
【一日】島田農商相、廣瀬厚相、緒方國務相神宮參拜の爲西下、之より先島田農商相、小磯首相を訪問要談
【二日】小磯首相參內政務奏上△藤原軍需相小磯首相を訪問要談
【三日】小磯首相、二宮文相、藤原軍需相、石渡藏相、阿部朝鮮總督等の來訪を受け要談△翼政會幹部小磯首相を訪問當面の諸問題に付懇談△翼政會臨時全員總會總裁推舉銓衡委員指名
【四日】阿部朝鮮總督赴任△安藤前內相小磯首相を訪問要談
【五日】樞府顧問官南大將、結城內閣顧問相前後して小磯首相を訪問要談
【八日】重光外相參內政務奏上△二宮文相神宮參拜のため西下、十日歸京

大消費都市の生鮮食料品公定價を是正
【二十九日】政府は六消費都市の食糧事態に對應するためさきに緊急措置として備蓄食糧の一部を割いて放出するなどの非常施策を講じて來たが今回さらに價格面から當面大都市において最も問題となつてゐる生鮮食料品の入荷を促進するためこれに特別の手段をとることとなり、去る十八日の閣議にこれに關する方針を決定、爾來農商省を中心としてこれ等具體策の立案を急いでゐたが成案を得たので、廿九日の閣議に島田農商相より

「生鮮食料品價格特別措置に關する件」を報告、諒解を求め、同日午後一時四十分情報局より次の如く發表された。なほ新制度は卅日より直ちに實施される
この場合問題となるのは隣接の間都市であるが、六大都市へ出荷を集中することによりその他の都市への出廻りは不圓滑を來すことになるからかかることのないやう特に地方長官の責任出荷體制を強化する方針を進む、かくて六大都市の荷受統制機關は現行公定價格によらずして所謂機動的な價格を以て仕入るこれを一定の販賣價格を以て小賣業者に卸す譯であるがこの場合には現行の如く三分

經濟

特報

大消費都市の生鮮食料品公定價を是正
【二十九日】政府は六消費都市の食糧事態に對應するためさきに緊急措置として備蓄食糧の一部を割いて放出するなどの非常施策を講じて來たが今回さらに價格面から當面大都市において最も問題となつてゐる生鮮食料品の入荷を促進するためこれに特別の手段をとることとなり、去る十八日の閣議にこれに關する方針を決定、爾來農商省を中心としてこれ等具體策の立案を急いでゐたが成案を得たので、廿九日の閣議に島田農商相より

の手數料を加へて賣渡し、小賣業者はさらにこれに手數料を加算し消費者公定價格を以て消費者へ賣渡す段取となる、この場合小賣價格は成可く一定期間安定する方針を以て臨む、この價格操作を行ふため荷受統制機關は一定の平衡資金を設定し剩餘金の一部を積立て運管の圓滑適正化を期すこととして、本特別措置の實施に伴つて荷受統制機關の卸賣價格および小賣業者の小賣價格は殆んど全品目に亘つて相當大巾に引上げられ三十日告示と同時に實施される

△情報局發表

今般生鮮食料品の價格特別措置に關し閣議決定を見八月卅日より實施することとなり要旨左の如し

戦局の現段階に對慮し生鮮食料品の價格制度運管上遺憾なきを期する爲に依り特別措置を講ずるものとす

一、生鮮食料品の生産、出荷、配給の計畫的増強に即應し公定價格の適正を期すると共に價格対策上之が機動的施策を講ずるものとし之が爲必要に應じ臨時品種、期間及地域を定め現行公定價格に必要な額を加算し得ることとするの外例外價格設定の方途を活用するものとす

二、主要消費都市に於ける生鮮食料品の需給狀況に鑑み特に之等の地域に對する供給の確保を爲る爲出荷の増強と照合し農商大臣の監督の下に荷受機關等をして左に依り適時適正なる價格操作上の措置を講ぜしむること

○東京都及大阪市の荷受統制機關 (東京—東京青果物統制會社、東京水産物統制會社、大阪—大阪青果物統制會社、大阪魚類統制會社)に付

ては現行公定價格に依らず農商大臣監督の下に適正なる價格操作を爲し得るものとす

○横濱市、京都市、神戸市及名古屋(魚類のみ)の荷受統制機關に付は必要に應じ農商大臣の指示する價格の範圍内に於て價格操作を爲し得る途を拓くこと

○及○の措置に呼應し統制機關の販賣價格に一定割合の金額を加算したる額を以て配給上の小賣價格とす

三、價格操作の運管に即應し必要な價格審査並に産地消費地間の連絡に關する施設を講ずること

四、價格上の特別措置の運管を圓滑ならしむると共に消費者負擔の關係を考慮し戰時國民生活の安定に資する爲調整の措置を講ずるものと必し要に應じ國庫補給の方途を講ずること

情報局總裁談 政府では決戦態勢の整備に伴ひ食糧問題が國民士氣の昂揚上極めて重要喫緊なるを思ひ、さきに東京都及び大阪市をはじめとする大消費都市方面に於ける食糧事情の改善を爲るため、東京都及び大阪市の對し蔬菜、魚類の夏期不足対策の改善を爲るため、横濱市、京都市、神戸市及び名古屋(魚類のみ)の荷受統制機關に付は、農商大臣の指示する價格の範圍内に於て價格操作をなし得る途を拓くと共に特に東京都及び大阪市の荷受統制機關に付ては現行の公定價格に依らず農商大臣の監督の下に適正なる價格操作をなし得ることと致すのである、今回特別措置はその關連する所極めて廣汎であり、これが運用は慎重を要することとなり、去る十五日の閣議で改正要綱を決定、十九日付官報をもつて同法施行規則、同施行細則の改正を公布し、六月一日以降に生じた

とした、その内容は情報局發表の通りである、從來生鮮食料品の公定價格制度には生鮮食料品の性質上種々の難點があつたこれらの隘路は相當克服し得るものと考へて居る、戰時統制經濟の下價格統制の全般の見地よりして生鮮食料品に對しても適切な統制の必要なるは素より言を要せざる所であり、今回の措置に於ても價格統制の全體の體制はこれを保持しつ主要消費都市をはじめと中間消費地帯、産地に亘り隨時適切な措置を採らんとするものであるのであるが特に東京、大阪等主要消費都市に於ける食糧事情に鑑み、これらの地域に於ける國民生活の確保に重點を指向し、特段の措置を講ずることと致した次第である、即ち新施策の重點は戰時下帝都を首め主要都市の特殊並にこれらの地域に於ける最近の食糧需給の狀況に鑑み、生産地に於ける計畫出荷の遂行を容易ならしむることを主眼とし、適正なる價格操作を行ふこととした所に在る、その具體的措置として、横濱市、京都市、神戸市及び名古屋(魚類のみ)の荷受統制機關に付は、農商大臣の指示する價格の範圍内に於て價格操作をなし得る途を拓くと共に特に東京都及び大阪市の荷受統制機關に付ては現行の公定價格に依らず農商大臣の監督の下に適正なる價格操作をなし得ることと致すのである、今回特別措置はその關連する所極めて廣汎であり、これが運用は慎重を要することとなり、去る十五日の閣議で改正要綱を決定、十九日付官報をもつて同法施行規則、同施行細則の改正を公布し、六月一日以降に生じた

操作の實施に當つては、産地の計畫出荷と照應せしめ、産地に於ける需給の調整、産地出荷の圓滑を阻害せざるやうに留意し責任出荷の完遂に資することに留意すること

第二、消費都市に於ける價格と産地中間消費地帯に於ける價格とは可及的諒調を保つやう考慮すること

第三、可及的に小賣價格の安定に努むること等

蓋し生鮮食糧品の供給を繞る隘路は生産、出荷、輸送、配給の各方面に存致して居る状態であつてこれらの隘路を各個擊破的に打開することと相俟ち、本價格上の措置も十全の効果を收め得るのである、これらに關する對策は目下具體策を練りつつある次第で、従つて今直ちに價格操作のみにより著しき効果を期待することとは或ひは困難であるかも知れず、現下の緊急情勢に對慮し取敢へず本措置を實施することと致した次第である、これが効果は各方面殊に産地、出荷地側の十分なる理解と協力に俟たなければならぬので、各方面の協力と推進とを冀つて已まない

戰災時租稅對策法人にも擴張適用

【十八日】戰時災害に對する國稅の減免及び徴收猶豫等に關しては既に昭和十七年制定の戰時災害國稅減免法、同施行規則、同施行細則があるが政府は最近における北九州その他の戰時災害の實狀並に重産協その他一般産業界の改正を望み、現行措置を擴張強化することとなり、去る十五日の閣議で改正要綱を決定、十九日付官報をもつて同法施行規則、同施行細則の改正を公布し、六月一日以降に生じた

戰時災害に因り所得の基因たる資産又は事業の用に供する資産に被害を受けたる者に對する輕減、免除を擴張して被害ありたる後に到來する納期に於て納付すべき所得稅、營業稅又は臨時所得稅中被害を受けたる資産又は事業の部分より生ずる所得(純益又は利得)に對する稅額を年額に換算したるものを左の區分に依り輕減又は免除することに改むること

總所得(純益又は利益)金額三萬圓 (現行所得稅及營業稅一萬圓、臨時所得稅二萬圓)以下なるとき

當該資産又は事業より生ずる所得(純益又は利得)に對する稅額の全部同十萬圓(現行五萬圓)以下なるとき同稅額の七割

同十萬圓(現行五萬圓)を超ゆるとき同稅額の五割

二、戰時災害に因る事業主(又は營業主)の死亡の爲事業を廢止したる

ときは總所得(又は純益)金額三千圓以下のものに限り死亡後に到來する納期に於て納付すべき所得税又は營業税中廢止したる事業の部分より生ずる所得(又は純益)に對する所得税又は營業税を免除すること

第二法人税、法人の營業税及臨時利得税
一、戰時災害に因り自己の所有に係る總資産價額の三割以上の被害を受けたる拂込資本金額二十萬圓以下の法人に對しては左の如く輕減又は免除を行ふこと

①被害ありたる事業年度の直前事業年度に於ける所得、純益又は利得に對する法人税、營業税及臨時利得税額中被害を受けたる資産の部分より生ずる所得、純益又は利得に對する額を年額に換算したるものを左の區分に依り輕減又は免除すること
利益金額(全部)三萬圓以下なると
三萬圓を超ゆるとき同稅額の五割

②右の輕減又は免除は被害ありたる日以後に於て納付すべき當該直前事業年度分及被害ありたる事業年度開始の日より二年以内に終了する事業年度分の法人税、營業税及臨時利得税(當該期間内に合併又は解散したる場合の清算所得に對する法人税及清算利益に對する營業税を含む)より順次之を行ふこと

二、戰時災害に因り資産に付甚大な(過半)被害を受けたる法人に對し被害ありたる時より一年以内に解散したる法人に對しては清算所得に對する法人税及清算純益に對する營業税に對する三割を輕減すること
三、戰時災害に因り自己所有の家屋其の他の築造物、船舶、機械等の固

定資産を滅失又は毀損したる場合に當該固定資金の滅失又は毀損に因り支拂を受けたる保險金額が滅失又は毀損したる資産の被害直前の記帳價額中被害部分に相當する額を超ゆるときは其の超過金額を家屋其の他の築造物、船舶、機械等の固定資産を取得する爲被害ありたる事業年度の翌事業年度開始の日より五年以内未決算として整理することを認むること、被害を受けたるに因り支拂を受けたる保險金の全部又は一部を以て家屋其の他の築造物、船舶、機械等の固定資産を取得したるときに、當該固定資産に附すべき記帳價額は保險金額に對する被害を受けたる固定資産の部分の被害直前の記帳價額の割合を當該固定資産の取得費に乘じたる金額迄壓縮することを認むること

四、戰時災害に因り生じたる損失額を損金として計上したる場合は被害ありたる事業年度の翌事業年度開始の日より五年以内に終了する各事業年度の所得、純益又は利益の計算上を損金に算入すること
五、戰時災害に因り自己所有に係る總資産價額の三割以上の被害を受けたる法人が一定率(年七分)以下及び翌事業年度開始の日より二年以内に終了する事業年度に於て稅務署長の承認を受け資産の評価換を爲したる場合に於て其の評価換に因り生じたる益金に對しては臨時利得稅法に依る利益の計算に對しては全額を、法人稅法に依る所得及營業稅法に依る純益の計算に對しては半額を益金に算入せざるべし被害ありたる事業年度の直前事業年度の配當率を超ゆること

配當を爲す法人には適用せざること
第三相續稅
一、戰時災害に因る死亡に因り開始したる相續に對する相續稅の輕減又は免除の區分を左の如く改め輕減又は免除(とする)こと
行五萬圓)とする
課稅價格三萬圓(現行一萬圓)以下たるとき相續稅額の全部
同五萬圓(現行三萬圓)以下なると同五萬圓(現行三萬圓)を超ゆるとき相續稅額の二割
二、戰時災害に因り相續財產(相續開始前一年以内に被相續人が贈與したる財產を含む以下同じ)に付課稅價格の決定前に被害を受けたるときは、被害を受けたる部分の價額(保險金に依り補填せられたる金額を控除す)を控除して相續財產の價額を計算すること
三、戰時災害に因り相續財產に付課稅價格の決定後に相續財產の價額の二割以上の被害を受けたるときは被害ありたる後に於て納付すべき相續稅中被害を受けたる部分(保險金に依り補填せられたる金額を控除す)に對する稅額の左の區分に依り輕減又は免除すること但し課稅價格決定の日より被害ありたる日には三年以上を経過したる相續稅に對しては之を認めざること
課稅價格三萬圓以下なるととき
當該相續稅額の一部
同十萬圓以下なるととき
當該相續稅額の七割
同十萬圓を超ゆるとき
當該相續稅額の五割

第四徵收猶豫
所得稅等の徵收猶豫の期間を三年(現行一年)以内に改むること
第二豫備金支出
政府は本月中の閣議で左の一般會計
第二豫備金支出を決定した(單位千圓)
一、一般會計
【大藏省所管】△稅務講習所建物其他買收諸費(八〇)(十五日)情報局移轉費(一〇)(國民貯蓄獎勵特別補助)銀特別回收補助(一、〇〇〇)(廿五日)
【文部省所管】△東京工業專門學校建物其他買收諸費(五〇)(十五日)宗教團體戰時中央報國會事業費補助(三〇)、臨時技能者養成施設補助(三〇)、工業學校その他教員緊急養成費(一〇)東京帝大第二工學部學生寄宿舎その他買收費(三〇)(廿五日)
【厚生省所管】△傷殘軍人療養所建物その他災害復舊諸費(一〇)、國民勤勞援護事業補助(一〇)(廿九日)
【大東亞省所管】△文化事業費其他特別補助(三〇)(廿九日)、文化事業費其他特別補助(三〇)(廿九日)、△開拓民役馬購入費補助(三〇)(廿九日)
【農商省所管】△食糧増産應急諸費(五〇)(廿九日)、△水産緊急策對補助(八〇)(廿九日)、畜力動員補助(七、五〇)(廿五日)
【軍需省所管】△石炭特別價格報弊格報獎金(一、六〇〇)(一日)△輕金屬特別價格報獎金(一、六〇〇)(廿九日)△華人勞務者確保費(一、九〇〇)(廿九日)△勸勞昂揚方策實施費(九〇)(廿九日)
【運輸通信省所管】△華人勞務者移入補助(三、三〇〇)(廿九日)△船員養休施設緊急擴充諸費(一、三〇〇)(廿九日)△特別會計
【朝鮮總督府】△林産物生産緊急施設補助(一、〇〇〇)朝鮮證券取引所配當

補助(一、〇〇〇)(廿九日)△食糧増産應急諸費(一、〇〇〇)(廿九日)
【臺灣總督府】△臨時刑務費(五、〇〇〇)臨時經濟對策費(一、〇〇〇)銅鑛業特別價格報獎金(三、〇〇〇)港灣荷役増強費(三、〇〇〇)(廿九日)△企業整備臨時補助(四、〇〇〇)(廿九日)
【樺太廳】△道路緊急改良費(三、〇〇〇)(廿九日)
【關東局】△貯蓄券貯金制度實施費(三、〇〇〇)(廿九日)
二十年度地方豫算編成方針
【十二日】政府は重大時局に對處すべき昭和二十年度都道府縣並に市町村等地方豫算の編成方針に關し豫て内務、大藏兩省間に於て慎重考究を重ねた結果、成案を得たので十二日內務大藏兩次官名を以て全國地方長官宛左の通り通牒した、而して明年度地方豫算の當初總豫算額は本年度と大差ない四十數億圓見當に上るものと推定されてゐるが、これが編成方針は戰爭完遂への總力結集を基調とし、(一)地方の施設、施策は國策と地方施策の一體化を期することに留意すること、(二)地方の特殊事情に即し豫算編成には特に創意工夫を圖ることに重點をおき、決戦下地方財政運営に萬遺算なきを期する方針である、從て歲出に關しては既定經營に改編を加へるとともに新規經營は防空、重要物資の生産増強、食糧確保その他戦力の維持増強上眞に緊要なる經營で急速確實に效果を擧げ得べきものに限定する等、大體明年度の豫算編成方針に準ずる戰局即應の新構想を盛つてゐるが、豫備費については地方豫算の質に鑑み極力その増資を抑止する方針である

△昭和二十年年度地方豫算編成方針

一、歳出に關する事項

◎昭和二十年年度に於て豫算化するべき事項は既定經費にありては前年度豫算を基準として現下の戦局に顧み其の推移に即應する改編を斷行すると共に新規經費にありては防空重要物の維持増強上眞に緊要なる經費に於て急速確實に顯著なる効率を擧げ得べきものに限ること

◎資金物資及勞務の効率發揮を最高度ならしむると共に現下に於ける之等の需給の實勢に鑑み其の需要量多き施設の豫算化は之を避くること

◎行政運営の戦場態勢化と既存人員の重點的配置替とを強行し以て職員(雇員 備員を含む)の増加は之を行はざること

◎物資及勞務需要の隨伴する繼續費の設定は此の際原則として之を避くることと共に既定繼續費にありても物資及勞務の需給状況等に鑑み事業完成の見込なきもの、時局の推移に伴ひ緊急性の乏しきに至りたるもの等の如きは之を打切ること

◎豫見し得べき必要經費は漏れなく之を當初豫算に計上すると共に緊要なる施策の臨機實行に遺憾なからしむる爲め豫め相當程度の追加財源の調達に支障なきやう財政計畫に留意し置くこと但し地方豫算の特質に鑑み豫備費を濫りに増徴するが如きは之を避くること

二、歳入に關する事項

◎配付税は豫算編成期前通達する額に基き計上すること

◎稅收入就中營業稅附加稅の見積に付ては現下諸般の經濟情勢等に付一段の考慮を拂ひ見積過大に失せざる

様特に留意すること

◎三收益稅附加稅の賦課率は必要財源調達上眞に已むを得ざる場合の外之が引上げを爲さざると共に年度中途に於て配付稅其の他に相當の増収を見たとときは負擔の年度間の調整に留意すること

◎起債は屢次指示せる抑制の方針に則るの外本通牒の趣旨を體し眞に緊急已むを得ざる事業費の財源に限ることとし且つ地方稅負擔の調整其の他財政計畫に留意の上之を計畫すること

金 資金調整法の運用

方針に新構想

【四日】軍需生産増強の重要課題たる資金効率化問題については大藏、軍需その他關係各省で具體策を考究中であるが、四日日本銀行に開催の臨時資金審査委員會において、その一環として主として新規の事業設備資金に關する臨時資金調整法の運用方針につき審議を重ねた結果當面の措置として左の事項を申合せた

一、臨時資金調整法に依る許認可に際し資材及勞務と資金との適合に付今後一層嚴密なる注意を拂ふこととし之が爲資材に關する所管廳の證明を一層強化し又會社より勞務需要の見込を徵する等の措置を講ずること

二、國家資金計畫の一環としての産業資金計畫と資金調整に基く具體的事業の處理との關係を一層密接ならしむる工夫を爲すこと

三、新規事業設備の進捗状況を當時知悉する爲許認可を爲したる設備擴充に關し必要と認められるものに付ては工事等の完成報告又は其の進捗

狀況に關する経過報告等を徴し又工事等に於て著しく遅延せるもの等に付き其の續行に關して政府の承認を受けしむる等の措置を講ずること

尙臨時資金調整法に基き許認可を爲せる事業の實況を把握し主として資金調整關係當局自身の内省に資し今後に於ける事業審査の一層の適正を圖る爲關係當局共同にて簡素なる企業實況調査を實施すること

【廿一日】政府は國民購買力吸收の手段として今般臨時資金調整法第十條の五の規定に基き高額割増金附證券を「福券」なる名稱の下に日本勸業銀行をして發行せしめんとす

【廿一日】政府は國民購買力吸收の手段として今般臨時資金調整法第十條の五の規定に基き高額割増金附證券を「福券」なる名稱の下に日本勸業銀行をして發行せしめんとす

【廿一日】政府は國民購買力吸收の手段として今般臨時資金調整法第十條の五の規定に基き高額割増金附證券を「福券」なる名稱の下に日本勸業銀行をして發行せしめんとす

【廿一日】政府は國民購買力吸收の手段として今般臨時資金調整法第十條の五の規定に基き高額割増金附證券を「福券」なる名稱の下に日本勸業銀行をして發行せしめんとす

【廿一日】政府は國民購買力吸收の手段として今般臨時資金調整法第十條の五の規定に基き高額割増金附證券を「福券」なる名稱の下に日本勸業銀行をして發行せしめんとす

【廿一日】政府は國民購買力吸收の手段として今般臨時資金調整法第十條の五の規定に基き高額割増金附證券を「福券」なる名稱の下に日本勸業銀行をして發行せしめんとす

【廿一日】政府は國民購買力吸收の手段として今般臨時資金調整法第十條の五の規定に基き高額割増金附證券を「福券」なる名稱の下に日本勸業銀行をして發行せしめんとす

五、獎金の金額その他の發行條件は大藏大臣がこれを定むる事とする

が政府はこれに基き所謂新興階層を主たる消化の對象として從來の報國債券に代るものとして年に五、六回繼續的發行を行ふ管で九月廿五日より廿日間第一回賣出を行ふ豫定である

株式評價臨時措置令三度延長

【廿一日】戦時下における株價對策の一翼として政府は株式價格統制令と並んで、昭和十六年八月三十日總動員法に基き會社所有株式評價臨時措置令を制定、その後二回に亘りその適用期間を延長し會社經理内容の適正を圖つて來たが、同令は八月廿九日を以て有効期間を満了となるので今回これを有効期間を更に一年間延長することとなり、右に關する會社所有株式評價臨時措置令中改正勅令案を廿五日の閣議に付議決定、來る三十日公布即日實施した

東取組合の株價維持對策

【廿一日】東京取引員統制組合では去る七月十四日、株價維持に關し行府及び日證に協力する申合せを行ひシンヂケート團の結成、東京證券(資本金一千万圓、全額拂込済、積立金三百萬圓を所有)の活用、その他種々の方策を考究中であつたが、この程東京證券をして發動機關とし買入工作に當らしめることに決定した、右に要する資金は特殊金融機關より買入株を擔保として第一次三千万圓融資の諒解を得たので、近く第一回出動として關東配電株十萬株を目標に買入に着手することになつた、なほ今後資金を要する場合は第一、第二次、第三次の融資をも受ける内約

が成立してをり、今後の買入銘柄については戦時金融庫車を買入銘柄の如何に拘らず、取引所、取引員統制組合の兩者で協議の上選定する、また大阪はじめ各地支所取引員統制組合でも夫々の機關を利用して具體の方策を進めつつあり、近く東京に倣つて實際的活動を開始し得る見込である

生命保圍、株價安定協力申合【四日】生命保險統制會では四日金融委員會を開き株價對策につき協議の結果、加盟各社は他の機關と緊密なる連繫をとり、適正なる株價の維持安定に努力する、旨の申合せを行つた

科學技術審議會答申

▲航空機部品大量生産方式

【九日】科學技術審議會航空部會では去る七月八日の第五回部會において陸海軍大臣提案諮問第一號「航空機の生産技術方式確立決定に關する件」に對する第四次答申案として「節約増産技術方式を強調し航空機部品的大量生産を策する件」を決定同月廿一日總裁の決裁を経て答申、九日その要旨を發表した、内容は○節約増産技術方式の採用に於て、素材の節約に依つて製品の數を増すと同時に素材の製造に要する資材努力及時間の消費を省き以て二重、三重の節約即増産の効果を期待し、以下○設計及規格に依る生産指導の強化、○部品製作用諸機械の改善(専用、特殊機械の活用)

○部品製作用各種技術方式(例、1

1

1

1

1

1

1



型製造技術、2 鑄造技術、3 プレス加工技術、4 熔接技術、5 特殊焼入技術、6 検査及補修等に依る製品得率の増加、7 特殊陸路部品の特別対策、8 各種材料の合理的活用、9 現圖の調整に印刷技術の導入、10 大量生産技術等を指摘し、現在航空機工業力の中核は中小工業にあり、等業者の技術向上を計るべき有效なる手段として各地要素所に技術相談に手軽く應じ得る適切な機關を設置すべきことを提唱してゐる。

▲航空機部品に可鍛鑄鐵利用【十日】航空機部品に對し可鍛鑄鐵の適正使用を計ることによつて鋼材、銅合金及び輕合金並に工作能力を著しく節用し得る事が最近實驗の結果明らかとなつたので、科學技術審議會航空部會では去る七月八日の部會において審議の結果、達海軍大臣提案諮問第一號に對する答申案として「可鍛鑄鐵技術方式を採用し航空機部品の急速増産に資せしむる具體的方策」を決定、七月二十一日總裁の決裁を経てこれを答申した、而してこれが實施に當つては先づ信頼性ある黒心可鍛鑄鐵を利用し取敢へず少數の優秀工場を限定して製造に當らせる方針である。

▲航空機軸受等に合成樹脂適用【十一日】科學技術審議會航空部會では去る七月八日の部會で審議の結果、海軍大臣提案諮問第一號に對する答申案として「航空機部品として合成樹脂製軸受、シム及びコック類の使用に依り機能及生産向上に資與せしむる件」を決定七月二十一日總裁の決裁を経てこれを答申した、これを答申しなく一般鋼構造物の生産増強に重大な役割を演ずるものとして期待されて

▲ニツケル緊急増産対策【二十九日】科學技術審議會では去る七月十八日の部會でニツケルの緊急増産対策を審議の結果、成案を得たので小磯總裁の決裁を経て決定、二十九日閣議に提出した、内容は緊急増産の適正化、代用化の強化、屑の回收、選製製錬技術の開発等であつて、價格の適正化、南方資源の開發等を受け、未活用技術活用による増産基礎方式として、金屬ニツケル製錬法二種（ニツケル鐵（ニツケル五〇％以下）製造法四種、高ニツケル鐵（ニツケル五〇％以上）製造法二種）を提唱してゐる。

▲第三次管理工場事業場指定【四日】軍需省では物的戰力の急速増強を圖るため創設以來海軍關係機械工場および陸海軍軍本所管の航空機工場を軍需省管理に適用したが、今回第三次として航空機以下輕金屬、鐵鋼、機械、化學、非鐵金屬等の諸部門に亘り數百の重要工場及び事業場を對し工場事業場管理令を適用することになり、四日これを發令した、今回の措置は一面、從來主要物資の生産を行ひ乍ら企業體が小規模なため各種の障礙により所期の生産を挙げ得なかつたものを強力に指導育成しうる體制を整備したものとへるが、とくに注意すべきは非鐵金屬關係の重要鑛山を包含することで、鑛山に對する重要工場事業場管理令の適用はこれを嚆矢とする。

▲集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

▲集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

屬金機械

第三次管理工場事業場指定

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

決戦生産集團を結成

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

④集團構成員としての戰局的進展に伴ふ國家要請の急變に即應せしむる爲

の供出割當量を一定の手續に依り減額したるときは當該改定供出割當量を基準として(一)に準じ供出獎勵金を交付する

尙部落内の農家の供出總量が當該部落に對する供出割當量の十割に達しない種類の麥類のある場合に於ける其の不足分に對する他の種類の麥類を以てする代當供出及び供出獎勵金の部落内農家に對する配分方法は前回の決定と同様である

▲朝鮮の米麥供出經費千六百萬圓支出【二十二日】政府は去る七月廿八日の閣議で外地における米穀等の増産および供出獎勵に關する特別措置を決定、朝鮮、臺灣における米麥類の供出報獎制を内地に準じて實施したが、右に伴ふ朝鮮における所要經費は第二豫備金より差當り一千六百萬圓を支出することとなり、廿二日の閣議において朝鮮總督府第二豫備金支出の件を決定した、なほ臺灣の分は近く決定の筈

故農機具を回収【二十三日】農商省では食糧増産に不可欠の農機具用資材を確保するため農村に死蔵してある故農機具および小農機具類を回収する方針の下に軍需省と協議を進めた結果、意見の一致を見たので廿三日附軍需省鐵鋼局長、企業整備本部長および農商省總務局長連名を以て地方長官宛通牒した、この回収は金屬回收令の例外措置として取扱はれ、使用不能となつた農機具をはじめ鋏、鋤、鎌の類を農機系統團體において回収の上、金屬回收統制會社を通ずることなく直ちに農業會から指定農機具修理工場又は野鍛冶に配給され、これを修理し、またはこれを資材として製造

【十五日】農商省戰時纖維増産推進部では十五日午前十時より大東亞會館において第一回委員會を開き推進部長重政農商次官以下各委員並に幹事出席、篠山織維局長より最近の纖維事情を説明、今後の推進運轉方法につき諒解を求めた後

男子従業者の配置規正決定【八日】男子勤勞給源の現狀に鑑み政府は新に女子使用標準率を設定、男子従業者の雇入制限とその配置轉換を行ひ、勤勞配置の適正化と勤勞總力の昂揚を期することとなり、八日の閣議に「男子従業者の配置規正に關する件」を附議、廣瀬厚相の説明あつてこれを決定、同日午後情報局より左の如く發表した

△男子従業者の配置規正に關する件(情報局發表)

第一方 針 男子勤勞給源現狀に鑑み女子勤勞動員の飛躍的強化と併行し新に女子使用標準率を設定して男子従業者の雇入を制限するの外要すれば其の配置轉換を爲し以て勤勞配置の適正を期し勤勞總力の發揚を圖らんとす

第二要 項 一、女子使用標準率の設定 〇事務者並に作業者(技術者を除く)に付き別表に定むる女子使用標準率を設定すること、 〇女子事務者女子作業者の數は原則として右に定むる女子使用標準率以上たらしむるを目的とする

二、男子従業者の雇入制限 工場事業場に配置すべき勤勞要員は需給狀況を勘案の上女子使用標準率を目的として其の男女別數を定むること

三、男子従業者の配置轉換 〇特に男子を配置するの要ある工場、事業場の男子需要に對し新規給源を以て充足し得ざる場合は必要に應じ女子使用標準率を目的として必要最少限度の要員に限り他の工場、事業場の現在男子従業者を轉換配置すること

〇右に依る男子従業者の轉換實施に付ては特に慎重を期し苟くも生産力の減退を來たさざるが如く措置すること

四、女子勤勞動員の強化 〇女子給源を確保する爲要すれば業種又は職種を指定して女子従業者の雇入、使用就職及び従業を制限又は禁止すること、 〇有業者に付き職域毎に挺身隊を結成せしむる等女子の動員を一層徹底すること、 〇男子従業者の配置轉換に依る女子の補充は緊要度に應じ之を爲すこととし必要ある場合は之を制限又は禁止すること

五、男子従業者の配置轉換並に女子の動員配置は可成集團的に之を實施すること

六、轉換従業者の轉換先の給與は原則として従前の収入を減少せざるが如く措置すること (備考) 〇公務従事者に付ては別途措置すること、 〇本件實施の爲必要なる法的措置を講ずること 一、事務者女子使用標準率 二、女子使用標準率 六〇%のもの 三、女子使用標準率 四〇%のもの 四、女子使用標準率 五〇%のもの 五、女子使用標準率 六〇%のもの 六、女子使用標準率 七〇%のもの 七、女子使用標準率 八〇%のもの 八、女子使用標準率 九〇%のもの 九、女子使用標準率 一〇〇%のもの



ゴム製品工場(大型製品工場を除く) 皮革製品工場、フィルム、乾板工場 三、使用標準率 四〇%のもの 航空機機體及び部分品工場、銃砲、彈丸、兵器工場(大型製品工場を除く) ガラス製品工場(板ガラス工場を除く) 石綿製品工場 四、使用標準率 三〇%のもの (製造部門を除く)

重電機工場、自動車及び部分品工場 航空機發動機及び部分品工場、プロペラ工場、辨及びコック工場、塗料及び顔料工場、動植物油脂工場、ゴム製品工場(大型製品工場)、皮革工場、耐火煉瓦工場 五、使用標準率 二〇%のもの 輕金屬工場、(ピッチコークス、電極工場を除く)、工作機械工場(大型製品工場を除く)、産業機械工場 鍛壓機械、生産機械、運搬機、風力機 水力機工場) 銃砲、彈丸、兵器工場 (大型製品工場)、工業藥品、染料、肥料工場

六、使用標準率 一〇%のもの 原動機工場、鐵道車輛工場、鋼船工場、工作機械工場(大型製品工場) 學徒勤勞令公布 【廿三日】 政府は去る六月六日の國家總動員審議會において學徒勤勞協力に關する勅令案要綱を決定したが文部省を中心に關係各省間に法制的準備を進めた結果、成案を得たので二十三日附官報を以て學徒勤勞令同施行規則(文部、厚生、軍需三省令)を公布、即日施行した、從來學徒の勤勞勤員は總動員法第五條に基く國民勤勞報國協助力に依つて運営されて來たが、學徒勤員は飽くまで學徒たるの身分を保有しつつ勤勞作業に従事するもので、本質上勤勞即教育

の本義に即つてこれを運営する必要があり、一般の國民勤勞報國隊の勤勞勤員とは趣を異にする點が多いので緊急戦力増強の國家要請に即應して、今回新に勅令を學徒の勤勞勤員を一般の國民勤勞報國隊に依る協助力と分離しその圓滑なる運営を期せんとするものである、而して本令に依る取扱と從來の國民勤勞報國協助力に依る取扱との差異の主なる點を擧げれば左の通りである

一引續き學徒を勤勞勤員せしめる期間を一年以内と明示したこと 二勤勞勤員の對象を中等學校低學年及國民學校高等科兒童の範圍に擴張し且學校長及教職員をも勤勞對象に入れたこと 三學徒勤員は勤勞即教育たるべき旨の指導精神を明示したこと 四學徒勤勞運上上の手續を簡素化したこと 五勤勞過剩の不受態の不備等特別の場合には出勤學徒勤勞の停止を命じ得ることとしたこと 六工場事業等の職員に學徒勤勞指導に關する事務を囑託し得ることとしたこと

△學徒勤勞令 第一條 國家總動員法第五條の規定に基く學徒(國民學校初等科及之に準ずるもの兒童並に青年學校及び之に準ずるもの)の勤勞協力(以下學徒勤勞と總稱す)に關する命令並に同法第六條の規定に基く學徒勤勞を爲す者の使用又は従業條件に關する命令に於ては當分の内本令の定むる所を以てする

第二條 學徒勤勞は教職員及學徒を以てする隊組織(以下學校報國隊と稱す)に依るものとす但し命令を以て定むる特別の場合に於ては命令の

定むる所に依り學校報國隊に依らざることを得 第三條 學徒勤勞に當りては勤勞即教育たらしむる様力むるものとす 第四條 學徒勤勞は國、地方公共團體又は厚生大臣若は地方長官(東京府長官に之を請求又は申請すべし)學校の校地、校舍、設備等を利用して爲す學校報國隊に依る學徒勤勞に付亦同じ

第七條 前條の規定に依る請求又は申請は厚生大臣又は地方長官(東京府長官に之を請求又は申請すべし)都に在りては警視總監が割當てた人員の範圍内に於て之を爲すものとす但し命令を以て定むる特別の場合に於ては此の限に在らず

第八條 文部大臣又は地方長官第六條の規定に依る請求又は申請ありたるときは特別の事情ある場合を除くの外學校長に對し學徒勤勞を受くべき者、作業の種類、學徒勤勞を爲すべき場所及報國隊に所要人員數其他必要な事項を指定して學校報國隊の出動に關し必要な措置を命ずるものとす

第九條 前條の措置を命ぜられたる學校長は命令の定むる所に依り學校報國隊に依る學徒勤勞を爲すべき者を選定し其の選定ありたる旨を本人に通知し學徒勤勞に關し必要な事項を指示すべし

第十條 命令を以て定むる特別の場合に於ては第六條の規定に依る請求又は申請は當該學校長に爲すものとす 前項の場合に於て學校長は特別の事情ある場合を除くの外直に前條に規定する措置を爲すものとす

第十一條 前二條の規定に依る通知を受けたる者は同條の規定に依る指示に従ひ學校報國隊に依る學徒勤勞を爲すべし

第十二條 文部大臣又は地方長官は命令の定むる所に依り特別の事情ある場合に於ては學校報國隊に依る學徒勤勞の全部又は一部の停止に關し必要な措置を爲すことを得

第十三條 隊長たる學校長又は教職員は當該學校報國隊の隊員の學徒勤勞に關し其の隊員を指揮監督す

第十四條 文部大臣又は地方長官は學徒勤勞を受くる工場、事業場等の職員に對し學徒勤勞の指導に關する事務を囑託し得ることを得

第十五條 學徒勤勞に要する經費は命令の定むる所に依り特別の事情ある場合を除くの外學徒勤勞を受くる者之を負擔するものとす

第十六條 厚生大臣(軍需省所管企業に於ける勤勞管理及給與に關する事項に付ては軍需大臣)及び文部大臣又は地方長官(東京都に在りては警視總監を含む)必要ありと認むるときは、國家總動員法第六條の規定に基き學徒勤勞を受くる事業主に對し學徒勤勞を爲す者の使用又は従業條件に關し必要な命令を爲すことを得

第十七條 左の各號の一に該當する者は學徒勤勞を爲さしめざるものとす但し學徒勤勞を爲す者にして第三號に該當するに至りたるものは此の限りに在らず

○陸海軍軍人にして現役中のもの(未だ入營せざる者を除く)及召集中のもの(召集中の身分取扱を受くる者を含む) 〇徴用中の者、 〇陸軍大臣若は海軍大臣の所管に屬する官衙(部隊及學校を含む)又は厚生大臣の指定する工場、事業場其他の場所に於て軍事上必要な總動員業務に従事する者、 〇法令に依り拘禁中の者

第十八條 左の各號の一に該當する者は志願に依る場合を除くの外學徒勤勞を爲さしめざるものとす 〇厚生大臣の指定する總動員業務に従事する者 〇其の他厚生大臣の指定する者

第十九條 文部大臣又は地方長官は命令の定むる所に依り學徒勤勞に關し學校長又は學徒勤勞を爲す者若は學徒勤勞を受くる事業主を監督す

第二十條 第六條乃至第十二條の規定は學校報國隊に依らずして爲す學徒勤勞に之を準用す

第二十一條 第十六條及第十九條の規定は事業主たる國及都道府縣には之を適用せず

第二十二條 本令に於て學徒と稱するは文部大臣の所轄に屬する學校の學徒を謂ひ學校と稱するは第十七條第三號の場合を除くの外文部大臣の所轄に屬する學校を謂ひ學校長と稱するは文部大臣の所轄に屬する學校の長を謂ふ

第二十三條 前條の規定は朝鮮及臺灣には之を適用せず

疾病に罹り又は死亡したる場合に於ける本人又は其の遺族の扶助に關し必要な事項は命令を以て之を定む

第六條、第八條、第十二條及第十四條中文部大臣とあるは朝鮮に在る學校の學徒に關しては朝鮮總督、臺灣に在る學校の學徒に關しては臺灣總督とし地方長官とあるは朝鮮に在る學校の學徒に關しては道知事、臺灣に在る學校の學徒に關しては州知事又は廳長とす

前項の場合を除くの外本令中厚生大臣とあり又は文部大臣とあるは朝鮮に在りては朝鮮總督、臺灣に在りては臺灣總督とし、地方長官とあるは朝鮮に在りては道知事、臺灣に在りては州知事又は廳長とす、本令中郡道府縣とあるは朝鮮に在りては道、臺灣に在りては州又は廳とす

第二十四條 學徒勤勞には國民勤勞報國協力令は之を適用せず
第二十五條 本令に規定するもの外學徒勤勞に關し必要なる事項は命令を以て之を定む

附則
本令施行の際現に國民勤勞報國協力令に依りて爲す學校在學者の國民勤勞報國隊に依る協力は之を本令に依る學徒勤勞と看做す

第一條 學徒勤勞令(以下令と稱す)
第二條但書の規定に依る特別の場合ハ大學及專門學校の最高學年に在る學徒の學徒勤勞にして當該後學の專攻する學科に關し其卒業後就職と關聯して之を爲さしむる場合とす

に依り左に掲ぐる總動員業務に付之を爲さしむるものとす
○總動員物資の生産、修理、保管又は配給に關する業務、○國家總動員上必要なる運輸又は通信に關する業務、○國家總動員上必要なる衛生又は救護に關する業務、○國家總動員上必要なる試験研究に關する業務、○軍事上特に必要なる土木建築に關する業務、○國家總動員上必要なる警備に關する業務、○國家總動員上必要なる證券の生産に關する業務、○其の他厚生大臣の指定する業務

第三條 令第六條の規定に依る請求又は申請にして大學、高等學校、專門學校及此等に準ずべき學校並に教員、養成を目的とする諸學校の學校報國隊に依る學徒勤勞又は第一條の規定に依り隊組織に依らずして爲す學徒勤勞に係るものは文部大臣に、其の他の學徒勤勞に係るものは當該學校を管轄する地方長官に之を爲すべし

前項の規定に依り地方長官に請求又は申請すべき場合にして作業地の郡道府縣以外に在る學校の學校報國隊に依る學徒勤勞を受けんとするときは當該作業地を管轄する地方長官(東京都に在りては警視總監)を経由すべし

第四條 前條の請求又は申請は様式第一號に依り之を爲すべし
第五條 左に掲ぐる業務にして臨時緊急なるものに關する令第六條の規定による請求又は申請は令第七條但書の規定に依り文部大臣又は地方長官の制當たる人員の範圍内に於て之を爲すべし

○農林、水産又は畜産に關する業務
○土木建築に關する業務、○其の他

特に必要と認むる業務
左に掲ぐる業務に關する令第六條の規定に依る請求又は申請にして、大學、專門學校、青年師範學校及此等に準ずべき學校の學徒が其の專攻する學科に關して爲す學徒勤勞に係るものは令第七條但書の規定に依り文部大臣の制當たる人員の範圍内に於て之を爲すべし

○警備に關する業務、○農林、水産又は畜産に關する業務
第六條 令第八條の規定に依る措置は様式第二號に依る學校報國隊出動令書に依り之を命ずるものとす
第七條 令第九條の規定に依る通知及指示は口頭を以て之を爲すことを得るものとす

第八條 第五條第一項各號ノ一に該當する業務にして學徒勤勞の所要期間二十日以内のものに關する請求又は申請は令第十條第一項の規定に依り當該學校長に之を爲すべし

第九條 左の各號の一方に該當する場合ハ文部大臣又は地方長官は令第十二條の規定に依り學校長に對し必要なる措置を命ずることを得
○勤勞要員過剰となり學徒勤勞を繼續する要なしと認めらるる場合、○使用又は從業條件適正を缺き學徒勤勞の本旨に悖ると認めらるる場合、○前項各號の場合に關する認定は文部大臣又は地方長官關係、官廳と協議の上之を爲すものとす

第十條 前條第一項の規定に依る措置を爲さんとする時は豫め學徒勤勞の停止を爲すべき時期及隊員數に關し事由を附し當該學校報國隊に依る學徒勤勞を受くる者に之を通報するを要す
第十一條 令第十五條の規定に依り

學徒勤勞を受くる者に於て負擔すべき經費は左の如し
○學徒勤勞を爲す者の通勤に要する交通費、作業地に至る往復旅費等の實費、○學徒勤勞に對する報償、○第十二條の規定に依り負擔すべき經費、○其の他文部大臣又は地方長官に於て必要と認めたる經費、文部大臣又は地方長官に於て特別の事情ありと認むるときは第一項の經費の全部又は一部を負担せしめざることを得

第十二條 令第十六條第二項の規定に依る本人又は遺族の扶助は工場法労働者災害扶助法又は礦業法の適用を受くる工場又は事業場に在りては此等の法律の規定に準じ之を爲し、其の他の工場、事業場等に在りては厚生大臣及文部大臣又は地方長官(東京都に在りては警視總監を含む)の定むる所に依り之を爲すべし

厚生大臣及文部大臣又は地方長官(東京都に在りては警視總監を含む)特に必要ありと認むるときは前項に規定する扶助の外に本人又は其の遺族を扶助すべきことを命ずることを得
第十三條 令第十九條の規定に依る文部大臣又は地方長官の監督は學徒勤勞を爲す者の身分、心身の情況並に教育訓練の内容に付之を行ふもの

文部大臣又は地方長官は學校長又は學徒勤勞を爲す者若しは學徒勤勞を受くる者より學徒勤勞に對する報告を徴することを得
第十四條 令第二十條の規定に依る女子挺身隊勤勞令公布

政府は昨秋來指導勸奨によつて實施してきた女子挺身隊制度を強化し、これに法的根據を附與す

べく今春來その準備を進め、去る六月六日の總動員審議會において「女子挺身隊による勤勞協力に關する勸奨案要綱」を決定、爾來これが法制的手續を進めた結果、廿三日附官報をもつて女子勤勞者および施行規則を公布、即日施行した

本令は二十三條より成り、國民勤勞報國協力令の特別法として規定されたが、その動員對象は國家總動員法第五條の勤勞協力命令を受けた者と指導勸奨による従前の女子挺身隊員とを含み、これをいづれも國民勤勞員計畫に基く常時要員として把握し、その雇入、使用、就職、從業給與、その他の從業條件に關する國家總動員法第六條の規定にもとづく規制を受ける點に著しい特色を有してゐる

△女子挺身勤勞令
第一條 勤勞常時要員としての女子(學徒勤勞令の適用を受くべき者を除く)の隊組織(以下女子挺身隊と稱す)に依る勤勞協力に關する命令にして國家總動員法第五條の規定に基くもの並に當該命令に依る勤勞協力を爲すべき者及女子挺身隊に依る從業を爲す者の雇入、使用、就職、從業又は給與其の他の從業條件に關する命令にして同法第六條の規定に基くものに關しては當分の内本令の定むる所に依る

第二條 國家總動員法第五條の規定に依る命令に依り女子が女子挺身隊に依り爲す勤勞協力(以下挺身勤勞と稱す)は國、地方公共團體又は厚生大臣若しは地方長官東京都に在りては警視總監以下同じ)の指定する者に付ふ命令を以て定むる總動員業務に付之を爲さしむるものとす

女子挺身隊勤勞令公布
政府は昨秋來指導勸奨によつて實施してきた女子挺身隊制度を強化し、これに法的根據を附與す

第三條 挺身勤勞を爲すべき者（以下隊員と稱す）は國民職業能力申告令に依る國民登錄者たる女子とす
前項該當者以外の女子は志願を爲したる場合に限り隊員と爲すことを得るものとす

第四條 引き続き挺身勤勞を爲さしむる期間は特別の事情ある場合を除くの外概ね一年とす隊員をして引續き一年を超え挺身勤勞を爲さしむる場合に於ては隊員の同意あることを要す

第五條 挺身勤勞を受けんとする者は命令の定むる所に依り地方長官に之を請求又は申請すべし
第六條 地方長官前條の規定に依る請求又は申請ありたる場合に於て女子挺身隊を出動せしむる必要ありと認むるときは命令の定むる所に依り市町村長（市町村長に準ずべきものを含み東京都の區の存する區域並に京都市、大阪市、名古屋、横濱市及神戸市に在りては區長とす以下同じ）其の他の團體の長又は學校長に對し隊員と爲るべき者を選抜すべきことを命ずるものとす

第七條 前條の命令を受けたる者は本人の年齢、身體の状態、家庭の状況等を斟酌し隊員と爲るべき者を選抜し之を地方長官に報告すべし
第八條 地方長官は前條の規定に依る報告ありたる者の中より隊員を決定し本人に其の旨を挺身勤勞令書に依り通知し挺身勤勞令書に必要なる事項を指示するものとす

第九條 前條規定に依る通知を受けたるものは同條の規定に依る指示に従ひ挺身勤勞を爲すべし
第十條 挺身勤勞を爲す場合の女子挺身隊の組織及運営並に其の隊員の規律に關し必要なる事項は命令を以て之を定む

第十一條 地方長官は命令の定めるところに依り特別の事情ある場合に於ては挺身勤勞の全部又は一部を停止に關し必要なる措置を爲すことを得第十二條 挺身勤勞に要する經費は命令の定むる所に依り特別の事情ある場合を除くの外挺身勤勞を受ける者の之を負担するものとす
第十三條 厚生大臣（軍需省所管企業に於ける勤勞管理及給與に關する事項に付ては軍需大臣）又は地方長官必要ありと認むるときは國家總動員法第六條の規定に基き挺身勤勞を受くる事業主に對し隊員の使用又は給與其の他の從業條件に關し必要なる命令を爲すことを得
第十四條 左の各號の一に該當する者は隊員と爲さざるものとす但し隊員にして第一號又は第二號に該當するに至りたるものは此の限に在らず
第十五條 左の各號の一に該當する者は隊員と爲さざるものとす但し隊員にして第一號又は第二號に該當するに至りたるものは此の限に在らず
第十六條 左の各號の一に該當する者は隊員と爲さざるものとす但し隊員にして第一號又は第二號に該當するに至りたるものは此の限に在らず

第十七條 地方長官必要ありと認むる場合に於ては國家總動員法第六條の規定に基き挺身勤勞を爲さざる者に對し第五條の規定に依る請求又は申請に係る工場事業場其の他の場所に就職することを命ずることを得
第十八條 工場、事業場其の他の場所の事業主は國家總動員法第六條の規定に基き同項の規定に依る命令を受けたる者より就職申出を受けたるときは之を雇入ることを要す
第十九條 厚生大臣（軍需省所管企業に於ける勤勞管理及給與に關する事項に付ては軍需大臣）又は地方長官必要ありと認むるときは國家總動員法第六條の規定に基き第一項の規定に依る命令を受けたる者、又は前項の事業主に對し第一項の事業主に對し第一項の規定に依る命令を受けたる者の使用、從業又は給與其の他の從業條件に關し必要なる命令を爲すことを得
第二十條 第一項の規定は第一項の規

定に依る命令を受けたる者又は其の遺族の扶助に之を準用す
第二十一條 本令中厚生大臣とあるは朝鮮に在りては朝鮮總督、臺灣に在りては臺灣總督とし地方長官と在るは朝鮮に在りては道知事、臺灣に在りては州知事又は廳長とし市町村長とあるは朝鮮に在りては府尹（京城府に在りては市長）又は邑面長、臺灣に在りては市長又は郡守（澎湖廳に在りては廳長）とし都道府縣とあるは朝鮮に在りては道、臺灣に在りては州又は廳とす
第二十二條 挺身勤勞には國民勤勞報國協力令は之を適用せず
第二十三條 本令に規定するもの外挺身勤勞に關し必要なる事項は命令を以て之を定む

△女子挺身勤勞令施行規則
第一條 女子挺身勤勞令（以下令と稱す）に依る挺身勤勞は左に掲ぐる總動員業務に付之を爲さしむるものとす
一、總動員物資の生産、修理、配給
二、保管に關する業務
三、國家總動員上必要なる運輸又は通信に關する業務
四、國家總動員上必要なる衛生又は救護に關する業務
五、國家總動員上必要なる教育訓練に關する業務
六、軍事上特に必要なる土木建築に關する業務
七、國家總動員上必要なる證券の生産に關する業務

△令第五條の規定に依る請求又は申請は挺身勤勞を受くべき工場事業場等の所在地の所轄國民勤勞動員署長を経由し當該工場、事業場等の所在地の所轄地方長官（東京都に在りては警視總監とす以下同じ）に之を爲すべし
△令第六條の請求又は申請は所要人員、作業の場所、挺身勤勞を爲すべき作業の内容所要期間等を具し地方長官の定むる期日迄に之を爲すべし
△令第七條の報告又は申請は所要人員、作業の場所、挺身勤勞を爲すべき作業の内容所要期間等を具し地方長官の定むる期日迄に之を爲すべし
△令第八條の挺身勤勞令書は様式第三號に依り第四條の國民勤勞動員署長を経由し隊員選抜者をして

市町村長其の他の團體の長若學は校長又は隊員若は挺身勤勞を受くる事業主を監督す
第十七條 地方長官必要ありと認むる場合に於ては國家總動員法第六條の規定に基き挺身勤勞を爲さざる者に對し第五條の規定に依る請求又は申請に係る工場事業場其の他の場所に就職することを命ずることを得
第十八條 工場、事業場其の他の場所の事業主は國家總動員法第六條の規定に基き同項の規定に依る命令を受けたる者より就職申出を受けたるときは之を雇入ることを要す
第十九條 厚生大臣（軍需省所管企業に於ける勤勞管理及給與に關する事項に付ては軍需大臣）又は地方長官必要ありと認むるときは國家總動員法第六條の規定に基き第一項の規定に依る命令を受けたる者、又は前項の事業主に對し第一項の事業主に對し第一項の規定に依る命令を受けたる者の使用、從業又は給與其の他の從業條件に關し必要なる命令を爲すことを得
第二十條 第一項の規定は第一項の規定に依る命令を受けたる者又は其の遺族の扶助に之を準用す
第二十一條 本令中厚生大臣とあるは朝鮮に在りては朝鮮總督、臺灣に在りては臺灣總督とし地方長官と在るは朝鮮に在りては道知事、臺灣に在りては州知事又は廳長とし市町村長とあるは朝鮮に在りては府尹（京城府に在りては市長）又は邑面長、臺灣に在りては市長又は郡守（澎湖廳に在りては廳長）とし都道府縣とあるは朝鮮に在りては道、臺灣に在りては州又は廳とす
第二十二條 挺身勤勞には國民勤勞報國協力令は之を適用せず
第二十三條 本令に規定するもの外挺身勤勞に關し必要なる事項は命令を以て之を定む

△女子挺身勤勞令施行規則
第一條 女子挺身勤勞令（以下令と稱す）に依る挺身勤勞は左に掲ぐる總動員業務に付之を爲さしむるものとす
一、總動員物資の生産、修理、配給
二、保管に關する業務
三、國家總動員上必要なる運輸又は通信に關する業務
四、國家總動員上必要なる衛生又は救護に關する業務
五、國家總動員上必要なる教育訓練に關する業務
六、軍事上特に必要なる土木建築に關する業務
七、國家總動員上必要なる證券の生産に關する業務

市町村長其の他の團體の長若學は校長又は隊員若は挺身勤勞を受くる事業主を監督す
第十七條 地方長官必要ありと認むる場合に於ては國家總動員法第六條の規定に基き挺身勤勞を爲さざる者に對し第五條の規定に依る請求又は申請に係る工場事業場其の他の場所に就職することを命ずることを得
第十八條 工場、事業場其の他の場所の事業主は國家總動員法第六條の規定に基き同項の規定に依る命令を受けたる者より就職申出を受けたるときは之を雇入ることを要す
第十九條 厚生大臣（軍需省所管企業に於ける勤勞管理及給與に關する事項に付ては軍需大臣）又は地方長官必要ありと認むるときは國家總動員法第六條の規定に基き第一項の規定に依る命令を受けたる者、又は前項の事業主に對し第一項の事業主に對し第一項の規定に依る命令を受けたる者の使用、從業又は給與其の他の從業條件に關し必要なる命令を爲すことを得
第二十條 第一項の規定は第一項の規定に依る命令を受けたる者又は其の遺族の扶助に之を準用す
第二十一條 本令中厚生大臣とあるは朝鮮に在りては朝鮮總督、臺灣に在りては臺灣總督とし地方長官と在るは朝鮮に在りては道知事、臺灣に在りては州知事又は廳長とし市町村長とあるは朝鮮に在りては府尹（京城府に在りては市長）又は邑面長、臺灣に在りては市長又は郡守（澎湖廳に在りては廳長）とし都道府縣とあるは朝鮮に在りては道、臺灣に在りては州又は廳とす
第二十二條 挺身勤勞には國民勤勞報國協力令は之を適用せず
第二十三條 本令に規定するもの外挺身勤勞に關し必要なる事項は命令を以て之を定む

△女子挺身勤勞令施行規則
第一條 女子挺身勤勞令（以下令と稱す）に依る挺身勤勞は左に掲ぐる總動員業務に付之を爲さしむるものとす
一、總動員物資の生産、修理、配給
二、保管に關する業務
三、國家總動員上必要なる運輸又は通信に關する業務
四、國家總動員上必要なる衛生又は救護に關する業務
五、國家總動員上必要なる教育訓練に關する業務
六、軍事上特に必要なる土木建築に關する業務
七、國家總動員上必要なる證券の生産に關する業務

市町村長其の他の團體の長若學は校長又は隊員若は挺身勤勞を受くる事業主を監督す
第十七條 地方長官必要ありと認むる場合に於ては國家總動員法第六條の規定に基き挺身勤勞を爲さざる者に對し第五條の規定に依る請求又は申請に係る工場事業場其の他の場所に就職することを命ずることを得
第十八條 工場、事業場其の他の場所の事業主は國家總動員法第六條の規定に基き同項の規定に依る命令を受けたる者より就職申出を受けたるときは之を雇入ることを要す
第十九條 厚生大臣（軍需省所管企業に於ける勤勞管理及給與に關する事項に付ては軍需大臣）又は地方長官必要ありと認むるときは國家總動員法第六條の規定に基き第一項の規定に依る命令を受けたる者、又は前項の事業主に對し第一項の事業主に對し第一項の規定に依る命令を受けたる者の使用、從業又は給與其の他の從業條件に關し必要なる命令を爲すことを得
第二十條 第一項の規定は第一項の規定に依る命令を受けたる者又は其の遺族の扶助に之を準用す
第二十一條 本令中厚生大臣とあるは朝鮮に在りては朝鮮總督、臺灣に在りては臺灣總督とし地方長官と在るは朝鮮に在りては道知事、臺灣に在りては州知事又は廳長とし市町村長とあるは朝鮮に在りては府尹（京城府に在りては市長）又は邑面長、臺灣に在りては市長又は郡守（澎湖廳に在りては廳長）とし都道府縣とあるは朝鮮に在りては道、臺灣に在りては州又は廳とす
第二十二條 挺身勤勞には國民勤勞報國協力令は之を適用せず
第二十三條 本令に規定するもの外挺身勤勞に關し必要なる事項は命令を以て之を定む

△女子挺身勤勞令施行規則
第一條 女子挺身勤勞令（以下令と稱す）に依る挺身勤勞は左に掲ぐる總動員業務に付之を爲さしむるものとす
一、總動員物資の生産、修理、配給
二、保管に關する業務
三、國家總動員上必要なる運輸又は通信に關する業務
四、國家總動員上必要なる衛生又は救護に關する業務
五、國家總動員上必要なる教育訓練に關する業務
六、軍事上特に必要なる土木建築に關する業務
七、國家總動員上必要なる證券の生産に關する業務

市町村長其の他の團體の長若學は校長又は隊員若は挺身勤勞を受くる事業主を監督す
第十七條 地方長官必要ありと認むる場合に於ては國家總動員法第六條の規定に基き挺身勤勞を爲さざる者に對し第五條の規定に依る請求又は申請に係る工場事業場其の他の場所に就職することを命ずることを得
第十八條 工場、事業場其の他の場所の事業主は國家總動員法第六條の規定に基き同項の規定に依る命令を受けたる者より就職申出を受けたるときは之を雇入ることを要す
第十九條 厚生大臣（軍需省所管企業に於ける勤勞管理及給與に關する事項に付ては軍需大臣）又は地方長官必要ありと認むるときは國家總動員法第六條の規定に基き第一項の規定に依る命令を受けたる者、又は前項の事業主に對し第一項の事業主に對し第一項の規定に依る命令を受けたる者の使用、從業又は給與其の他の從業條件に關し必要なる命令を爲すことを得
第二十條 第一項の規定は第一項の規定に依る命令を受けたる者又は其の遺族の扶助に之を準用す
第二十一條 本令中厚生大臣とあるは朝鮮に在りては朝鮮總督、臺灣に在りては臺灣總督とし地方長官と在るは朝鮮に在りては道知事、臺灣に在りては州知事又は廳長とし市町村長とあるは朝鮮に在りては府尹（京城府に在りては市長）又は邑面長、臺灣に在りては市長又は郡守（澎湖廳に在りては廳長）とし都道府縣とあるは朝鮮に在りては道、臺灣に在りては州又は廳とす
第二十二條 挺身勤勞には國民勤勞報國協力令は之を適用せず
第二十三條 本令に規定するもの外挺身勤勞に關し必要なる事項は命令を以て之を定む

之を本人に交付せしむべし

第七條 前條の挺身勤勞令書の交付を受けたる者は所定の日時及場所に出頭すべし前項の者疾病、家庭の状況その他已むを得ざる事由に因り所定の日時及場所に出頭すること能はざるるとき又は挺身勤勞を爲すこと能はざるるときは直に第四條の國、勤勞

第九條 隊長は地方長官之を命免す
第十條 隊長は隊務を掌理す
第十一條 女子挺身勤勞令に依る隊員(以下隊員と稱す)は常に皇國女子たるの自覺に徹し婦徳の涵養と心身の鍛錬に努め規律を遵守し挺身勤勞すべし

第十二條 挺身勤勞を受くる者(以下事業主と稱す)隊員が婚姻、疾病その他事由により引續き挺身勤勞を爲すこと困難と認むるときは第二條の地方長官に挺身勤勞の免除を請求又は申請すべし隊員婚姻、疾病其他の事由に因り挺身勤勞を爲すことを得ざるに至りたるときは挺身勤勞の免除を第二條の地方長官に申請することを

第十三條 地方長官前條の請求又は申請を受けたる場合に於て事情已むを得ざるものと認むるときは直に當該隊員に對し挺身勤勞すべきことを免除すると共に令第八條の地方長官に其の旨通知すべし
第十四條 令第十一條の地方長官は

第二條の地方長官とす

第十五條 地方長官令第十一條の規定に依り挺身勤勞の全部又は一部の停止を爲さんとするときは關係官廳及協議の上之に關し必要なる事項を當該事業主及當該隊員に指示すべし第十六條 令第十二條の規定に依り事業主に於て負擔すべき経費は左に掲ぐるものとす
①作業地に至る往復旅費、②給與、③扶助に要する費用、④其他の他地方長官に於て必要と認めたる費用

第十七條 隊員の給與に關しては會社經理統制令及重要事業場勞務管理令の適用あるもの外は賃金統制令を準用す
第十八條 令第十三條第一項の地方長官は第二條の地方長官とす
第十九條 隊員業務上負傷し、疾病に罹り又は死亡したる場合に於て第二條の地方長官特に必要ありと認むるときは、事業主に對し本人又は其の遺族を他の法令の規定に依る扶助又は厚生大臣若は同體の地方長官の定むる扶助を爲す外に扶助すべきことを命ずることを得

第二十條 地方長官又は國民勤勞勤勞員署長は挺身勤勞を關し隊員選抜者隊員又は事業主より報告を徴すことを得
第二十一條 地方長官令第十七條第一項の規定に依る命令(以下就職命令と稱す)を爲す場合は様式第四號に依る挺身就職令書を本人の居住地を管轄する國民勤勞勤勞員署長をして本人に交付せしむべし

第二十二條 前條の就職令書の交付を受けたる者(以下就職受命者と稱す)は指定の日時及場所に出頭し就職令書を提示して就職の申出を爲すべし
第二十三條 就職受命者疾病其他の事由に依る事由に因り指定の日時及場所に出頭すること能はざるるとき又は就職すること能はざるるときは、其の事由を證明するに足る書類を具し就職令書を交付したる國民勤勞勤勞員署長を經由し就職命令を爲したる地方長官に遲滞なく其の旨を届出づべし

第二十七條 受命事業主と就職受命者との間に雇傭關係成立したるときは受命事業主は直に就職受命者と連署を以て様式第六號に依り其の旨受命事業主の工場事業場等の所在地の所轄國民勤勞勤勞員署長を經由し就職命令を爲したる地方長官に届出づべし

第二十八條 就職受命者又は其の遺族の扶助に關しては第十九條の規定を準用す
第二十九條 第十七條乃至第十九條の規定は地方長官又は國民勤勞勤勞員署長が指導又は勸奨に基き女子が女子挺身隊に依り工場事業場其他の場所に於て従業する場合に之を準用す

第三十條 收穫の秋を控へて文部省では學徒を大農林水産業方面に勤勞出動せしめることになつたが廿一日、農林水産業に對する學徒勤勞勤勞員受入例及び學校側措置要綱を決定、地方長官學校長等に通牒したが大體において工場事業場等の場合と同じで報償の點が異なる主なる點は、一、出動期間二十日以内のものは學徒勤勞令により學校長が必要と認めれば直に出動することが出来る、一、一日の作業時間は休憩時間を合めて十時間以内とする、一、宿泊は合宿分宿何れでもよいが分宿の場合はその農家の衛生等に十分注意し、女子の場合には女子専用宿舎に收容すること、一、報償は作業の種類、給與の状況等に應じ中等學校學徒以下は地方の實情に即して適宜とするが、大學高等學徒は次の如き標準とする

第三十一條 收穫の秋を控へて文部省では學徒を大農林水産業方面に勤勞出動せしめることになつたが廿一日、農林水産業に對する學徒勤勞勤勞員受入例及び學校側措置要綱を決定、地方長官學校長等に通牒したが大體において工場事業場等の場合と同じで報償の點が異なる主なる點は、一、出動期間二十日以内のものは學徒勤勞令により學校長が必要と認めれば直に出動することが出来る、一、一日の作業時間は休憩時間を合めて十時間以内とする、一、宿泊は合宿分宿何れでもよいが分宿の場合はその農家の衛生等に十分注意し、女子の場合には女子専用宿舎に收容すること、一、報償は作業の種類、給與の状況等に應じ中等學校學徒以下は地方の實情に即して適宜とするが、大學高等學徒は次の如き標準とする

第三十二條 就職受命者又は其の遺族の扶助に關しては第十九條の規定を準用す
第三十三條 第十七條乃至第十九條の規定は地方長官又は國民勤勞勤勞員署長が指導又は勸奨に基き女子が女子挺身隊に依り工場事業場其他の場所に於て従業する場合に之を準用す

△大學、通年勤勞員の場合は一、日一圓十錢、農業期のみ勤勞員の場合は一、日六十錢、女一日五十錢

△高卒、通年勤勞員の場合は一、日九十錢、農業期のみ勤勞員の場合は一、日五十錢、女一日四十錢
以上何れも通勤食費携行の場合である

工場勤勞者配置轉換要綱決定
【二十八日】厚生省では今回石炭勞務の特殊性に鑑み所要勞務を現に工場勞務に従事するもの配置轉換によつて充足するの方針を定め二十八日の次官會議に「石炭勞務確保の爲の工場勤勞者配置轉換實施要綱」を附議工場勞務の一部を石炭勞務に配置轉換することに決定した、これにより工場より勤勞者の配置轉換を急速かつ的確に斷行し所要勞務を充足免角困難視される所定生産の確保が期待される、石炭勞務者確保の要領中注目すべきは左の如くである

一、勤勞者の配置轉換を爲さしむべき轉換工場は配炭、配電、資材等が僅少であるものの中から綜合勘案し決定すること
一、轉換勤勞者の選抜は極力炭鐵勤勞適格者を選ぶこと
一、轉換勤勞者が入職前一定期間の國家訓練を行ひその重責を自覺させ、勤勞を昂揚せしめ、他方給與等從業條件の改善に努めること
主要土建業者に重需會社法を準用

【二十四日】政府は職局推移に即應し軍事施設、軍需産業施設、輸送施設その他緊要工事の急速完遂を圖るとともに非常時態に即應し各種重要

施設の保全、復舊、修理に遺憾なきを期するためかねて軍需、厚生兩省を中心とした...



大都市食生活確保に特別措置

【十六日】政府は過般來東京、大阪兩都市を中心として馬鈴薯、冷凍蔬菜、豆腐、納豆、豆モヤシ、罐詰その他の食糧を加配すべく準備を進め...

特別配給する英断措置をとることとし、一、生鮮食糧品不足対策...

○蔬菜不足夏季対策 東京都及大阪府に對する蔬菜入荷の不足を補充す...

○魚類不足補充対策 東京都及大阪府に對する鮮魚入荷を確保する為...

○罐詰の特別配給 東京都及大阪府に對し水産罐詰、畜産罐詰及農産罐詰計四一萬函...

○主要食糧の家庭備蓄 京濱、中京、大阪府及北九州の重要防空都市における各家庭に對し主要食糧の五日分...

○代替食糧の特別配給 食糧不足を緩和し國民士氣の昂揚に資する為...

八主要地方食糧管團に價格平衡資金設定

【二十三日】農商省ではかねて地方食糧管團の經營健全化を圖るため價格平衡資金設定の要を認め大藏當局と連絡...

一、價格平衡資金に繰入るべき一定標準 (繰入標準) は地方長官に於て之を認可すること...

二、繰入標準は品名毎に一定額を繰入又は拂出は固定式のものなること...

三、繰入標準は地方長官の認可を受けることとする...

四、價格平衡資金は價格平衡の目的の爲に設定せられたるものなるを以て目的以外の爲に支出せんとする場合は地方長官の認可を受けしむることとする...

配給統制を實施するため

一、日本石炭株式會社に帝國コークス株式會社を接収せしめてコークス...

二、各地方行政協議會地區毎に設置せる地方石炭配給統制株式會社に各地方コークス配給統制組合及び地方販賣業者を接収せしめて下部配給機構とする...

に決定した、右機構整備要綱は十八日付次官名をもつて各地方長官及び關係方面に通牒され、これに伴ひ現行コークス配給統制規則も改正された...

▲電氣銅生産者價格【十一日】政府は過般電氣銅の生産者價格を改訂し本年四月一日に遡及實施する方針を決定、四日發表したが其の後全國銅山中八十七鑛山を指定してそれぞれ價格を定め、その他の鑛山は一括して電氣銅一桶當り五千圓と決定、十一日軍需省から發表した、必要者價格は従來通り據置き、生産者價格との差額に對し價格調整補助金を交付することには既に發表された如くである...

しめ、その回收を強化すると共に、中央における日本故紙統制組合の最高販賣價格を設定、十九日附告示、二十日より實施することとなり、十八日發表した、新價格は古新聞一貫當一圓二十五錢、古官報一圓である...

▲古新聞、官報引上げ【十八日】農商省では一般紙類の需給現狀に鑑み今回故紙配給統制規則により古新聞及び官報を故紙として指定し、日本故紙統制組合をして一元的に集荷配給せしめ、その回收を強化すると共に、中央における日本故紙統制組合の最高販賣價格を設定、十九日附告示、二十日より實施することとなり、十八日發表した、新價格は古新聞一貫當一圓二十五錢、古官報一圓である...

▲棉糸、ス・フ糸公價引上げ【廿日】農商省では棉糸及びス・フ糸の最少限度の確保を圖るため今回公定價格の全面的改訂を行ひ、廿日の官報で告示即日實施した、引上率は棉糸三割七分、混紡糸三割五分、ス・フ糸四割三分に當るが、價格調整金制度の創設により價格の安定をはかつたことは價格形成の新方式として注目される、調整金制度とは例を棉糸二〇番手にとれば、その新公價は五百五十六圓で百五十一圓の値上げとなるが、實際の生産者價格は四百三十圓で、新公價との差額百二十圓は價格調整金として織維統制會が徴收積立てる、今後の生産費昂騰により生産者價格が五百圓となれば新公價との差額五十六圓が價格調整金となり、更に生産者價格が新公價を超過すればその差額を價格調整金から生産者に補充する、かくて或る程度に生産價格の安全をはかることと生産費の變動に即應して生産者の利潤を確保せんとするものである...

▲古新聞、官報引上げ【十八日】農商省では一般紙類の需給現狀に鑑み今回故紙配給統制規則により古新聞及び官報を故紙として指定し、日本故紙統制組合をして一元的に集荷配給せしめ、その回收を強化すると共に、中央における日本故紙統制組合の最高販賣價格を設定、十九日附告示、二十日より實施することとなり、十八日發表した、新價格は古新聞一貫當一圓二十五錢、古官報一圓である...

▲棉糸、ス・フ糸公價引上げ【廿日】農商省では棉糸及びス・フ糸の最少限度の確保を圖るため今回公定價格の全面的改訂を行ひ、廿日の官報で告示即日實施した、引上率は棉糸三割七分、混紡糸三割五分、ス・フ糸四割三分に當るが、價格調整金制度の創設により價格の安定をはかつたことは價格形成の新方式として注目される、調整金制度とは例を棉糸二〇番手にとれば、その新公價は五百五十六圓で百五十一圓の値上げとなるが、實際の生産者價格は四百三十圓で、新公價との差額百二十圓は價格調整金として織維統制會が徴收積立てる、今後の生産費昂騰により生産者價格が五百圓となれば新公價との差額五十六圓が價格調整金となり、更に生産者價格が新公價を超過すればその差額を價格調整金から生産者に補充する、かくて或る程度に生産價格の安全をはかることと生産費の變動に即應して生産者の利潤を確保せんとするものである...

▲古新聞、官報引上げ【十八日】農商省では一般紙類の需給現狀に鑑み今回故紙配給統制規則により古新聞及び官報を故紙として指定し、日本故紙統制組合をして一元的に集荷配給せしめ、その回收を強化すると共に、中央における日本故紙統制組合の最高販賣價格を設定、十九日附告示、二十日より實施することとなり、十八日發表した、新價格は古新聞一貫當一圓二十五錢、古官報一圓である...

高販賣價格は柿澁搾取用生柿一貫當り(工場持込渡)六十錢で引上率五割、柿澁(四度もの石當)は生産者工場渡價格七十一圓で引上率四割二分、販賣業者店先渡價格は八十八圓で引上率三割五分である

運輸交通

應急運輸措置決定

【十六日】運輸通信省では空襲その他敵襲時ににおける混亂を防止し災害地の應急運輸を迅速果敢に實施するため十六日の閣議に「應急運輸措置要綱」を附議決定、直ちに實施することとなつた、要綱左の如し
△應急運輸措置要綱(情報局發表)
第一方針
空襲其の他敵襲に依る災害に對し災害地方に於ける陸海運輸機關の輸送力を結集して迅速果敢に應急運輸を實施せんとす
第二要領
一、應急運輸は空襲其の他敵襲に依る災害時に於ける救護、防疫、給水、應急勞務の移動、應急復舊、非常用物資の配給、避難、清掃、警備等に必要なる運送を計畫實施するものとす

二、應急運輸の計畫及實施は京濱、名古屋、阪神、北九州及吳廣地區並に其の周邊地域に於ける陸海の全輸送機關を動員して之を行ふ
三、應急運輸の計畫及實施に關し中央及地方に強力簡素なる組織を設く

四、應急運輸の實施は防衛上必要ある場合特に防空警報の發令ありたる場合行動を開始し緊急事態處理上所要の運輸業務を終了したる後運輸通信大臣の指令に依り行動開始前狀態に復歸せしむ
第三措置
一、應急運輸に關する中央及地方組織は左の如くす
○中央機關 運輸通信省に應急運輸總本部を設置す、運輸通信大臣を總本部長、運輸通信次官を總本部長とす、陸海軍及關係官廳は所要の職員を派遣し主要業務に參畫せしむ
○地方機關 ①第三要領二の各重要地區に應急運輸地方本部を設置す、地方行政協議會長を本部長とし當該地域の鐵道局長、海務局長及地方長官(東京都に在りては警視總監)を以て構成す當該地域内に所在する陸海軍及關係各官衙は所要の職員を派遣し主要業務に參畫せしむ ②當該地域の各都府縣に應急運輸都府縣本部を設置す、地方長官(東京都に在りては警視總監)を本部長とし、之に參畫せしむ
二、應急運輸地方本部長は應急運輸總本部長の、同都府縣本部長は地方本部長の指示する方針に依り、應急運輸を計畫し、各本部長は夫々實施に當る、但し重要な事項の實施に付ては緊急已むを得ざる場合を除くの外上級本部長の指示に依るものとす
三、應急運輸實行部面の組織は各運輸機關毎に必要な應急除糞成とし強力なる命令徹底の體制を整備す
應急運輸に必要な車輛、舟艇其の他小運搬具、輸送要員(勞務者を含む)油脂燃料、車輛用部品、食糧、

飼料等を確保す特に車輛運轉要員及車輛修理要員に付ては防空法施行令第四條第一項第二號の規定に依り特殊技能者として地方長官に於て之を指定する如き措置を講じ確保を圖る
四、自動車其の他小運搬具の配分は職員の推移を考慮し軍官民需の調整を計る如く計畫實施す
五、應急運輸に關し所要の經費、補償等に付財政並に法令上必要なる措置を講ず
陸上小運送運賃引上げ
【二十五日】陸上小運送は輸送力増強上の重大隘路であり、これが打開は焦眉の急務とされるが、現行運賃は昭和十六、七年頃の認可運賃の儘据置かれ、諸掛りの騰貴に伴ひ、輸送費を賄ひ得ないため開運賃を誘發、惹いては運輸統制を混亂せしめてゐる實情にある、運通省ではこの點に鑑み今回貨物自動車、荷牛馬車鐵道小運送の運賃を全面的に改訂することとなり、過般來關係各省と協議を進めたる結果諸般の手續を終り、廿六日附官報に告示、九月一日より全國一齊に實施することとなつた、今回の改訂は運送品、運送距離、重量その他の運送條件並に事業種別により相當の差異があるが、現行實收運賃(認可運賃に各種特殊運賃を加へた業者の報告運賃)に比し最高五割、平均二、三割程度の値上げとなる予定で、これによつて輸送費は充分賄へることとなる筈である
なほ今回の改訂は小運送力増強の見地から左の諸點に重點を置いて決定された

一、開運賃を絶対防止し、適正運賃を設けて輸送費を賄ふことを主眼とした、従つて從來取締上手加減を

加へてゐた開運賃は今後斷乎として取締ることとなつてゐる
一、開運賃の發生は運送契約が荷主と業者間に個別的に行はれる點にあるので、今後は組合及びその支部を通じて契約せしめ、個別取引を禁止せしめる方針を以て處むこととなつてゐる
一、從來貨物自動車、荷牛馬車等小運搬及び鐵道小運送間に相當の不均衡が見られたが、今回これを綜合的に考慮、參酌し、共通出來得るやうにした、短距離は専ら小運搬に依らしめ、相當距離以上は貨物自動車を利用せしめる等の考慮が拂はれた、一現在の運賃は極めて複雑であり、夜間、降雨時等には各種の特殊運賃が加味されてゐるが、これを綜合的に考慮の上極力簡易化することとなつた
一、今回の改訂の結果、生産費、販賣費價格等に對する影響は上るものと下るものがあり、全體としては從來とさして變りがないと思はれるが、從來公定價格を以てしはられてゐる生活必需品、重要原料等は相當値上りとなるので、これに對しては國庫負擔その他の方法で價格の變動を避けしめることとした
運通省では今回の改訂を機に開運賃の絶滅を期してゐるが、開運賃防止には一般國民特に荷主側の協力が絶對必要なので當局の方針を充分理解の上全體的に協力戰時陸上小運送力増強に寄與することを切望してゐる
國鐵、一部營業線を休止
【十七日】運通省では十七日午前十時より東京鐵道ホテルに第二十七回鐵道會議を開催、前日運通相より「國鐵の回收轉用の爲の營業休止」等に關して諮詢し、原案通り可決した、本回收轉用は國鐵の緊急建設用に充當するための鋼材捻出が目的であるが、營業線の休止は極力小部分に止め、重要なならざる施設の回收に重點を置くこととなつた、なほ席上私鐵の回收轉用及び省營自動車の開業に關して報告が行はれた

會社問題

東洋曹達の改組問題

圓滿解決

【二日】航空機急速増産を期し經營の刷新と生産能率向上に關聯してその動向を注目されてゐた東洋曹達工業株式會社の改組に關しては豫ねてより軍需省及び海軍省と會社當局者間に協議を進められたが會社側も政府の意圖を諒解し政府の方針に沿つて一意生産増強に邁進することとなり右改組の中心問題たる生産責任者の交替に關しては七月卅一日をもつて圓滿に解決した即ち現生産責任者たる岩瀬徳三郎氏は生産責任者及び取締役を退任し、政府の適當と認める新生生産責任者を選任されることとなつたが新生生産責任者には海軍中將別府忠三氏が就任するものとみられる

團圓

組合の改組完了

【二日】布帛製品製造並にメリヤス製造關係工業組合(メリヤス)五日の北關東(布帛)の創立總會をもつて完了するが、組

等

獨國空軍參謀總長

空軍上級 將軍 ユンター・コルテン

勳一等瑞寶章贈與

東條前首相に特旨叙位
【二日】長きあたりでは前内閣總理大臣東條英機大將の功績を思召され二日左の如く特旨叙位の御沙汰あらせられた

陸軍大將正三位 東條 英機
從二位(特旨を以て位一級被進)
侍從長に藤田尚徳大將

【廿九日】百武侍從長は高齡の爲豫ねてから辭意を表明してゐたが、今回後任に藤田尚徳海軍大將が決定、宮内省から左の如く發令された、尙明治神宮宮司は鷹司信輔公に決定、同日内閣より左の如く發令された

海軍大將正三位 藤田 尚徳
勳二等功四級
侍從長 百武 三郎
依願免本官

公爵 鷹司 信輔
官幣大社明治神宮宮司に任ず
勳任官を以て待遇せらる

官幣大社明治神宮宮司 藤田 尚徳
治神宮宮司
願に依り本職を免ず
定期 叙 勳

海軍大將勳一等 澤本 頼雄
授旭日大綬章
東北帝國大學 佐武安太郎
教授勳二等
東北帝國大學 熊谷 侍義
學總長 同

敍勳一等授瑞寶章(各通)



早大に「島中出版文庫」

【一日】早稲田大學圖書館内に今度「島中出版文庫」が生れることになつた、これは中央公論社に併置されてゐた出版文化研究室が、集大成を急いでゐた明治大正時代の雜誌並びに出版に關する文化的資料が同社の自發的廢業によつて散逸する懼がある爲め島中社長の意志によりこの程早稲田大學に一括寄贈、永久に保存され一般研究家の利用に供せられることとなつたものである

國民總躍起標語入選發表

【八日】國民總躍起運動の一環として翼賛會、翼賛會の主催で募集した國民總躍起標語は應募總數十七萬六千餘の中から銓衡の結果八日情報局から次の如く發表された
△一等(國債千圓)「意氣、和氣、根氣、總躍起」愛知縣 鈴木 八郎
寄留届に戸籍抄本無用

寄留届に戸籍抄本無用

【十八日】本籍地外で九十日以上居住する場合には法規上その地の役場に寄留届を出さねばならぬことになつてをりながら届出を怠る者があるが寄留は戸籍と共に軍事、教育、物資配給その他國の諸施策と密接不可分の關係をもつ重要な制度であるので記載の正確を期する上に差支ない限り出来るだけ寄留の手續を簡略にして一人も怠る者のないよう司法省民事局から十八日全國市町村役場に通牒を發した

情報局撰定の國民歌成る

【廿五日】情報局では國民の士氣を昂揚する「國民歌」を制定すべくかねてその作詞を日本文學報國會に、作曲を日本音樂文化協會に委嘱中であつたが、このほど「一億總進撃の歌」佐藤春夫作詞、草川信作曲、中村「復仇賦」(尾崎士郎作詞、中村俊介作曲)の二篇が出来上つたのでこれを情報局撰定の國民歌として放送、音盤、移動音樂等を通じて普及することとなつた

△一億總進撃の歌
噫サイパンの防人よ
きみが恨を晴らすべき
きみが同胞一億の
心がまへは誰か知る(以下略)

△復 仇 賦

颯氣に乗ずる敵の勢
千機萬機をつらねたる
機動部隊を邀へ討つ
サイパン島の鐵の陣
米夷百萬來るとも
などか恐れん神州の
士魂は此處に奮ひ立ち
將兵の意氣天を衝く
十日にあまる激戦も
七月七日の朝まだき
有明月の影消えて
全軍すべて玉碎す
衆寡敵せず南海の
悲風に託す同胞の
恨みはいかにわが胸の
燃ゆる思ひに比ぶべき
疑ふなかれ神勅の
光を映す一億の
悲願は高く凝りて成る
丈夫の道今ぞ知れ
今日仰ぎ見る富士の峰
われ等いかでか立たざらん

報復の日は近づけり

撃滅の時近づけり
生産戰士のために旬刊誌「ちか

生創刊

【廿九日】銃後生産陣第一線の工具に戦時下明瞭活潑な報道、娛樂教養を贈つてより一層増産に勵んで貰はうと來る九月一日から旬刊誌「ちか」が創刊される、これは大日本産業報國會が從來の刊行物を悉く統合し軍需省指導の下に朝日新聞社に一切の編輯費を擔當せしめて總二十四頁、編四頁をグラビヤ、またはオフセットの寫眞讀物にあてたもので、全國の指定工場に割當配給される、發行日は毎月十一、二十一日の三回、一部二十錢

大東亞新聞協會顧問

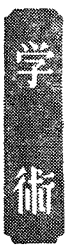
【廿日】昨秋結成された大東亞全境新聞協会は打つて九とす大東亞新聞協議會はその傘下新聞百數十紙を通じて大東亞の思想結合の達成を計りつつあるが、その程同協議會日本側顧問として前興亞總本部統理水野鍊太郎、言論界の重鎮徳富猪一郎及び報道通信界の長老、光永星郎の三氏を決定した、尙中國、泰南國を除く各國も夫々左の如く決定した
△滿洲國、榮厚(日滿文化協會長、滿洲國參議府參議)
△フィリピン、ペドロ・アウナリオ(比島新聞界の耆宿、同國參議院議員)
△ビルマ、ウ・パ・ガレー(トリヤ新聞社長、ラングーン市長)

調査研究事業令實施

【八日】政府は科學技術、人文科學自然科學等の全分野に亘る智能を總動員するため、去る六月七日國家總動員審議會で決定を見た調査研究事業に關する勅令案要綱に基き調査研究事業令の制定を急いでゐたが、四日の閣議においてこれを決定、上奏に九日公布、即日施行することになつた、本勅令は調査研究を行ふ事業に對し必要な規制を行ふことを目的とするものであつて、國家總動員法第五條に基き調査研究業務についての協力、同法第十三條第二項の規定に基き調査研究事業に關する施設の管理及び同法第十六條の三つの規定に基き調査研究事業の開始、讓渡、廢止又は休止に關する命令等を規定し全文十七條より成つてゐる、今後同令は科學技術研究機關を除く一般調査研究機關に關しては内閣の指導監督下に主として財團法人調査研究動員本部がその運営に當り、又科學技術研究機關に關しては技術院においてこれ運用に當るものであつて同令の適切な運用によつて我國調査研究機關の決戦動員體制は迅速に整備せられ、戦力増強の根幹たる調査研究の劃期的躍進が期待される、主要條文左の如し

第二條 主務大臣必要ありと認むるときは閣令の定むる所に依り調査研究業務を行ふ帝國臣民及帝國法人其の他の團體をして主務大臣の指定する者の行ふ調査研究業務に付協力せしむるを得

第三條 主務大臣必要ありと認むるときは調査研究事業に屬する施設を管理することを得



第七條 主務大臣は其の管理に係る施設の調査研究業務に付事業主を指揮監督す

第八條 國家總動員法第二十七條の規定に依り補償すべき損失は管理に因る通常生ずべき損失とす

第九條 管理に係る調査研究事業に屬する施設の經營を承繼する者は本令又は本令に依る命令に基く前者の權利義務を承繼す

第十條 主務大臣必要ありと認むるときは閣令の定むる所に依り人又は法人其の他の團體に對し調査研究事業の開始を命ずることを得

第十一條 主務大臣調査研究事業の整備の爲必要ありと認むるときは閣令の定むる所に依り調査研究事業の事業主に對し事業の譲渡又は譲受を命ずることを得

前項の場合に於ける譲渡の條件は當事者間の協議に依る協議調はず、又は協議を爲すこと能はざるときは主務大臣之を裁定す

前項の協議は主務大臣の認可を受くるに非ざれば其の效力を生ぜず

第十二條 左の各條の一に該當するときは主務大臣は當該調査研究事業の事業主に對し其の事業の廢止又は休止を命ずることを得

一、第二條の規定に依る命令に従はざるるとき

二、前條第一項の規定に依る命令又は同條第二項の規定に依る裁定に従はざるるとき

三、當該調査研究事業の運営が綜合

國力の擴充運用に重大なる支障を及ぼし又は及ぼすの虞あるとき

第十四條 本令に定むる主務大臣の職權の一部は閣令の定むる所に依り之を所轄官衙の長をして行はしめ又

之を昭和十七年法律第十五號に依り昭和十九年四月三十日設立せられたる財團法人調査研究員本部をして行はしむることを得

科學技術總力を結集

【十四日】技術院では十四日午後四時半より帝國ホテルに主要官立試験研究所長の參集を求めて懇談會を開

催、科學技術總力の結果並に戦力の直結方策等に關し忌憚なき意見を交換、和田次長より現下の決戦體制に對處し技術院がとりつゝある

○科學技術者動員計畫、○調査研究事業令の運営等の諸方策を闡明した

【十三日】決戦科學の總動員が呼ばれてゐる折、若き科學者が重大兵器の研究に死を以て當り、文官の二階級特進に敘せられ、全日本の科學者の總動員を促した

【十三日】決戦科學の總動員が呼ばれてゐる折、若き科學者が重大兵器の研究に死を以て當り、文官の二階級特進に敘せられ、全日本の科學者の總動員を促した

【十三日】決戦科學の總動員が呼ばれてゐる折、若き科學者が重大兵器の研究に死を以て當り、文官の二階級特進に敘せられ、全日本の科學者の總動員を促した

【十三日】決戦科學の總動員が呼ばれてゐる折、若き科學者が重大兵器の研究に死を以て當り、文官の二階級特進に敘せられ、全日本の科學者の總動員を促した

【十三日】決戦科學の總動員が呼ばれてゐる折、若き科學者が重大兵器の研究に死を以て當り、文官の二階級特進に敘せられ、全日本の科學者の總動員を促した

【十三日】決戦科學の總動員が呼ばれてゐる折、若き科學者が重大兵器の研究に死を以て當り、文官の二階級特進に敘せられ、全日本の科學者の總動員を促した

【十三日】決戦科學の總動員が呼ばれてゐる折、若き科學者が重大兵器の研究に死を以て當り、文官の二階級特進に敘せられ、全日本の科學者の總動員を促した

遂に去る十五日の午前に至り一應の完成を見るに至つた、かくも短時日にかくの如き重大研究が一應完成したことは驚異とされ東大舉げての歡喜を爆發させたが、大段助手は同日午後更にその研究成果を再確認する

ため再び研究操作を行つてゐる中午後四時二十五分胸部腹部に瀕死の重傷を負ひ息絶る、日本軍事科學研究途中既に息絶る、日本軍事科學研究の一角をかざる殉職を遂げた

大段助手はこの功績により八月十五日付を以て東京帝國大學助教授に任官され判任官から一躍高等官六等に

擡せられ二階級特進の恩命に浴し、またかねて提出中の研究論文に對し

東京帝大では八月十五日付を以て理學博士の學位を授與した

九部門に亘り研究課題指定

【十五日】文部省では今回日本諸學振興委員會に對し研究費二十七萬圓を交付し、學界から一流の權威者を

選定して重要研究課題を課することになつた、文部省が學界に初めて指定研究を課することは今回が初めてで

あるが、教育學、哲學、國語國文學、歴史學、經濟學、藝術學、法學、自然科學及び地理學の九部門における

基礎的問題をはじめ現下の諸政策に即應する重要な諸問題を廣くとり上げ適切な研究をして時局下眞に國家要請に副ふ研究成果を挙げしめん

とするものである

而して昭和十九年度の研究課題並に研究者は一部門約十課題を標準に、

同會常任委員會及び専門委員會で審議、決定したもので研究課題は合計百一件に上り、その中には「勤勞管理並に勤勞者教育の問題」「日本軍學

武教の歴史的研究」「歐米に於ける戰爭指導の方向」「戦時財政の原理研究」等興味ある問題が含まれてゐる

が、研究者は明年三月までに文部省にその成果を報告し學會を通じて發表することとなつた、主なる研究課題、並に研究者は左の通りである

我が國の家と教育「家憲」研究」東京女高師教授 倉橋 惣三外

勤勞管理並に勤勞者教育の問題 東大助教授 上村 福幸外

支那及印度に於ける英國の教育政策 東大助教授 平塚 益徳外

九州帝大教授 諸民族の思维方法の比較研究 東大教授 伊藤吉之助

日本思想史に於ける論理思想の發達 東大教授 務臺 理作外

士氣の人間技術學的研究 三高教授 佐藤 幸治

（國語國文學部）日本語に關する問題 日本語と各異民族語との關係、各國の言語政策の過去及び現在

調査、日本語の發音、日本語教育振興會研究部 長沼 直兄

（歴史學部）日本軍學武教の歴史的研究 京大教授 西田 直二郎外

歐米に於ける戰爭指導の方向 京大教授 原 隨園外

（經濟學部）統制經濟の日本的性格 民族研究所員 高田 保馬外

（藝術學部）大東亞音樂學 田邊 尙雄外

（法學部）皇國勤勞根本法 東大教授 吾妻 光俊

帝國憲法と大東亞諸地域 慶大教授 山崎又次郎

（自然科學部）大東亞地域に於ける動物と人生との關係 京大講師 中村 健兒

風土と國性、大東亞地域を中心として 氣象技監 東大教授 藤原 咲平外

（地理學部）皇國郷土觀に基く郷土に關する地理學的研究 東大教授 田中 啓爾外

日本人の氣候馴化の問題 岡田 武松外

大東亞の民族衣料の地理學的研究 神商大教授 田中 薫

新卒業生の科學技術者登録 【廿九日】厚生省では理工科など技術系統學校卒業者に對し科學技術者登録を實施してゐるが、今秋の新卒業生も卒業當日から十四日以内申告するよう同省勤勞局長から廿九日地方官宛左のやうな通牒を發した

（一）申告を要する者は厚生大臣の指定する學校で工學、理學、農學、心理學などの指定學科を卒業したものと

（二）申告書は學校長からもらひ一人二通記載する

（三）申告書は卒業後直ちに就職するときは就職先を管轄する國民勤勞員署長に、就職しないときは居住地の勤勞員署長に夫々提出すること

東大助教授 川野 重任

文學の天

芥川賞直木賞受賞者決定

【十八日】本年度芥川賞並に直木賞の受賞者及び受賞作品は日本文学振興會で銓衡の結果次の通り決定、十八日同會から發表された

△芥川賞 一、八木義徳氏「劉廣福」(日本文学賞三月創刊號所載) 二、小尾十三氏「登攀」(國民文學二月號所載)

△直木賞 岡田誠三氏「ニューギニヤ山岳戰」(新青年三月號所載)

教育

決戦科學陣に優秀學徒動員

【廿四日】大學高等專門學校學徒は殆ど全部通年勤勞動員されてゐるが科學決戦下、智能動員の一環としてこれら大學高專第二學年以上の理科系學徒の優秀なるものを簡拔して勤勞から引上げ科學戰の研究補助要員とすることになつた、これにつき文部省では二十四日各學校長に通牒を發したが、學校長は適格者を文部省に申請、文部省ではその中から次の如き適格者を頭腦動員する

○戰時研究員の補助員、○文部省科學研究動員の重要研究課題の研究補助員、○將來、大學助手その他の科學研究者たらんとする成績優秀なものの尙理科系の女子學徒も同様である
高校新卒は全員大學入學
今秋十月帝國大學及び官立大學に入

一般心經

【十二日】曹洞宗では管長高階瑞仙禪師の發願により皇土安穩、大東亞戰爭必勝を祈願するため全國一億國民に呼びかけ一般心經一千万卷の淨寫を結集し、九月一日から七日まで大本山永平寺で般若心經讀誦必勝祈願大法要を嚴修することの心經の淨寫にあつては小磯首相をはじめ官民各層の赤心こむる協力があり、淨寫運動には管長をはじめ各教區長、寫師約三千が動員され、淨寫された心經は各府縣教區毎に纏められ永平寺の法要に先だつて二十八日から各教區の主催のもとに必勝祈願の法要が営まれる、なほ同宗直轄の各大

學する學生の選抜方法は學科試驗を停止して高等學校長の調査書と從來の實績等により決定することになつてゐるが、この方針により既に第一次銓衡を七月三十一日に終了し入學者約七千名を各大學に於てそれぞれ決定、本人に入學許可を通知された次いでこの第一次銓衡にもれた第二志望以下の約一千六百名については廿八、九日約日文部省に於て入學者銓衡協議會を開きそれぞれ志望の順位により志願者全部の入學決定を見ため、廿一日各大學で發表通知される、また現在應召中の高等學校學徒兵で九月卒業の見込のものも九月中には大學進學を決定することになつてゐる、これで九月卒業する高等學校生徒は一人も洩れなく十月には大學に進學することとなつた

民生

庶民金庫で戰災簡易貸付制度新設

【十七日】庶民金庫では政府の非常金融對策に即應し、空襲等戰災罹災者の救済に萬全を期するため今回「戰災簡易貸付制度」を設け、即時實施することとなつた、これによつて空襲等戰災の被害をうけた場合隣組長又は派出所警官の罹災證明があれば庶民金庫では即時その場で一世帯五百圓迄生計應急資金を簡易に貸出してゐる、但し簡易貸付の受付期間は戰災發生の日より一ヶ月以内に限られてゐる、貸付の要領次の通り

○貸付對象 空襲等戰災罹災者
○資金の用途 生計應急資金(治療費を含む)
○貸付限度 一世帯五百圓以内、
○返済期限 三ヶ年以内、
○償還方法 月賦償還、但し六ヶ月以内の据置を認める、
○利率 年利

四分二厘(月利三厘五毛) ①保證人不要、但し町内會長、隣組長、市町村長、警察署長又は派出所警官の何れかの罹災證明を要す、
②受付期間 戰災發生以後一ヶ月以内、
③受付場所 庶民金庫本支所又は代理所
【十八日】警視廳では今回「工場事業場空襲時勤勞對策要綱」を決定、要綱の概要は次の通り
一、服務規律の嚴守に關する事項
①勞務者は空襲下でも常に正規に出勤し事業主の指揮統率の下に職場を死守する決意を發揮するため次のやうな方法で趣旨の徹底を圖る
②平素から朝禮の機會に空襲時職場防守の精神を昂揚する、
③寄宿舎及職場常會を開き職場防守の精神を徹底せしめ工場が壊滅の場合の集合場所の徹底を期すこと

④工場事業場が壊滅した場合の集合場所は次のやうな場合を想定し工場内の空地その他適當な場所を具體的に決定して置き沈着冷靜な指揮と迅速的確な集合を期すること
⑤晝間作業中の空襲に際して工場の一部若しくは全部が壊滅した場合に於ける工員の活動方針を定めて工員に周知徹底させること、
⑥休日、休電日、夜間など工場の大部分が出動してゐない場合空襲を受けた場合は工場防衛從事者は直に出動せしめその他のものは定時出勤途隣組防衛活動させること、
⑦工場全部が壊滅した場合は事務所の移轉先を明示するなど連絡を緊密に保てるやう處置すること
⑧通勤者の地域別に通勤隣組を組織

④交通機關破壊等のため出勤不能の場合に於ける集合場所を通勤者の地域別に決定しておき同時に指揮者を定め工場との連絡を講ずる
⑤自宅罹災のため止むを得ず欠勤をするものは被害状況欠勤日数を通勤隣組責任者を通じて届出させること
⑥空襲時の職務遂行に關する表彰又は懲戒は迅速嚴正に行ふこと
二、安否通報に關する事項 工場事業場が空襲に因り被害を受けた場合は特に人心の安定に意を用ひ、勤勞者の家庭に對する安否に關する通報は事態の沈靜を待つて警察その他關係官廳と連絡の上で行ふ、このために次の事項を徹底しておくこと
①職場即職場の精神を徹底させ安否通報は勤勞者各自が性急に行ふやうなことなく必ず指揮者の指揮に従ふやう趣旨を徹底させる
②安否通報に關しては良く言動に注意し指示以外の事項に就いては素に口外させないこと
③安否通報は事業場の規模に應じ通報係員を定めて置き通報の正確を期する

④勤勞者死傷その他の事由で本人自ら郷家、又は自宅へ通報することの出来ない場合に備へ事業主の下で豫め通報先を届け出させ整理しておく
⑤勤勞者の郷家又は自宅の安否に關し家人の死傷その他の事由のため勤勞者に通報することが出来ない場合に備へ親戚、知人、隣組員、應徵家庭相談委員等に各自が豫め通報方を依頼しておくやう指導すること
⑥工場に於て前項の通報を受けた時は當人が勤務時間中でも歸宅させること
三、被害の復舊に關する事項

- ①工場事業場で被害を受けた時はその状況を所管官廳に報告し指示を受けること
- ②前項の指示を受けた事業主は復舊資材その他を勘案し工事に必要な勞務要員を計畫し急速復舊を要するものは署長に勞務士隊の出動を要請し工事に従事させる
- ③給與及び保護に關する事項
- ④勤勞者の家族疎開に事業主が費用を負擔した場合、その金額は賃金と看做さない
- ⑤工場事業場は疎開別居手當として一世帯一ヶ月十五圓を支拂ふこと
- ⑥空襲警報下の就業には日給の五割程度の空襲時就業手當を考慮すること
- ⑦生産確保のため勤勞者を假泊させる場合に要する食費、宿泊費は凡て工場事業場で負擔すること
- ⑧但し宿泊長期(半月以上)に亘るときは食費を徴收することを得るが一日五十錢以内とすること又勤勞者を復舊作業に従事させた場合はその期間を直前三月月の實收賃銀の平均收入額を下らぬやうに支給する
- ⑨被害のため作業休止となり勤勞者を他の工場事業場に派遣する場合の給與は原工場に於ける給與額を下らないやうに支給する、この際派遣先工場が原工場より高い賃銀水準にあるときはその差額を派遣手當として支給すること、又派遣によつて來た交通費の増加又は家族との別居による生活費の増額はこれらに相當する金額を派遣手當として支給し、勤勞者の不利とならぬやう取計ふこと
- ⑩已むなく作業に従事出来ない事態の生じたときはその期間標準日額を下らない額を支給する

- ⑦法規に定める扶助、保護並びに援護は迅速簡便に行ふこと
- ⑧甲祭慰籍に就いては出来る限りの措置を講ずることとし勤勞者の戦争死亡傷害保険の保険料は事業主が負擔すること
- ⑨收容施設の確保に關する事項
- ⑩家族を疎開させた勤勞者のため合宿施設を速かに整備する様努力すること又勤勞者の家族で空襲災害を受けた者があれば事業主の側でも第一次の救護に手を差し伸ばすやうな處置を講ずること
- ⑪食糧確保に關する事項
- ⑫平常配給物資の消費節約を圖り非常用食糧の貯備に努めること
- ⑬空襲時に勤勞者を假泊させた場合に長期に亘るときは家庭配給の異動申告をさせ、工場給食に遺憾なきを期すこと
- ⑭大量假泊の給食に對處し炊事給食施設を擴充しておくこと
- ⑮水道斷水の場合を豫想し井戸の利用を準備すること
- ⑯共同炊事場協力班保護班の活用を圖るとともに有力な炊事場を有する工場と給食の相互援助出来るやうな態勢を整へておくこと
- ⑰空襲時或ひはそれ以後には勞務者の異動甚しいことが豫想せられるので配給を受けべき基準人員の移動はその都度明かにして報告すること
- ⑱應徴士補給限度額大幅引上げ
- ⑳三十日 厚生省では應徴士の最低生活の保障を目的として現行の補給金限度額と扶助限度額の大幅引上げを斷行、九月の給料から全國の應徴戦士に對して實施することになつた茲にいふ補給金限度額は、工員の人収入が徴用前に比べて少い場合、年

年齢階級	新限 度額	舊限 度額	引上 度額
十八歳未満	四圓	三圓	一圓
十八歳以上	五圓	四圓	一圓
二十歳未満	六圓	五圓	一圓
二十歳以上	七圓	六圓	一圓
二十五歳未満	八圓	七圓	一圓
二十五歳以上	九圓	八圓	一圓
三十歳未満	一〇圓	九圓	一圓
三十歳以上	一〇圓	九圓	一圓
三十五歳未満	一〇圓	九圓	一圓
三十五歳以上	一〇圓	九圓	一圓
四十歳未満	一〇圓	九圓	一圓
四十歳以上	一〇圓	九圓	一圓

齡別に限度を設けてこの額までに全収入があるやうにしてもよいといふ額を指すものである、改正の要點は三十歳以上は従来一律に九十圓までであつたものが、三十歳以上三十五歳未満、三十五歳以上四十歳未満、四十歳以上の階級を設けて補給限度を順次高めてゆき獨身でも百四十圓まで全収入があるやうにしてもよくなり、従來の九十圓に比し一舉に五十圓の引きあげとなるわけだ、これに現行の家族扶助一人十圓が定められてゐるから扶養家族四人なら四十圓となりこれを百四十圓に加算すると百八十圓となり、これにより最低生活を維持せしめやうといふのが狙ひである、改正補給限度額の通り

【六日】全國學徒皆泳訓練は六日午前九時半から全國一齊に行はれたが中央會場の明治神宮外苑プールに於ける訓練演習最高記録は左の通り

△國民校初等科男子五百米繼泳 杉並第四(7分7秒8) △同高等科男子 豊島第一(6分39秒2) △同初等科女子 池袋第六(9分5秒0) △同高等科女子 日進(7分50秒4) △同大專高等科男子 野並傳(3分41秒4) △同大專高等科女子 西野泰正(1分2秒6) △同二百米 平泳 鈴木重一(法政) 3分2秒2 △同四百米速泳 酒井孝一(立教) 5分22秒0 △同中等校男子五百米繼泳 都立九段中(6分47秒4) △同三百米混繼泳 九段中(4分53秒0)

△同女子五百米繼泳 都立第四高女(7分0秒8) △女子專門校三百米混繼泳 東京商專(6分16秒4)

【廿七日】全國學徒武道演習關東大會は廿七日午前九時から神宮外苑競技場で開會、入賞校次の通り

柔道 ①東高師、②東京獸醫、③山梨高工

劍道 ①東高師、②日大齒、③東京農學院

射擊 ①日大、②日醫大、③日大齒

【十二日】司法省では戦時犯罪防遏對策樹立に關する閣議決定に基き「經濟犯罪對策中央協議會」を設置したがその第一回協議會を十二日午前十時から司法省構内法曹會館で開催した、内閣、法制局、情報局、内務、大藏、陸海、文部、厚生、農商軍需、運輸通信の各省並に大審院檢事局の中堅關係官二十一名出席、池田司法省刑事局長會長席につき協議會開催に關する挨拶を述べ、磯部刑事局長の報告に對して最近に於ける經濟犯罪の状況につき説明を行つたのち協議會に入つたが、協議事項は

一、經濟違法精神並に經濟道義の昂揚に關する件

二、經濟犯罪處理上の知識經驗を經濟統制の圓滑なる運営に貢獻する件

【五四頁(續)】



大東亞

國民政府

政治・軍事

汪主席の經過順調

【上海廿一日發】行政院代理院長兼財政部長周佛海氏は旬餘に亘る訪日旅程を終へて廿日歸滬したが、廿一日訪日の感想を左の如く語つた

今日訪日の感想は非公式のもので汪主席の病氣見舞と自分の病後の休息が主なる目的であつた主席の病狀は經過極めて順調で秋風がたてば恢復は一層早くなるだらう、自分が日本に着いた時は丁度新内閣が成立したばかりであつたので、この機會に新舊責任當局並に朝野の要人を訪問して意見を交換した、各要人は殆んど舊知で互ひに存分に話合ふことが出来たが、いづれも日支關係は新内閣の成立によつて變更するものでなく既定政策は今後一層切實に實行されるだらうといふことを確實に示された、決戦體制下の日本官民の努力については實に敬服させられるものがあつた、儲備券と日本圓との比率に關して上海ではこれが變更されるだらうとの謠言が傳へられてゐるが、自分は斯ることは決して行はれるものでなく既定比率を堅持することは國

落陽縣政施行

【洛陽二日發】重慶政權下に喘いでゐた河南省に皇軍が正義の師を進め、早くも四ヶ月、古都洛陽には八月一日を期して縣政が施行され輝く前途を慶祝する民衆大會が一日盛大に舉行された

鄉村建設實施委員會新設

【南京八日發】國民政府は去る七月二十六日の最高國防會議において食糧増産、民生安定を主軸とする鄉村建設大綱を決定、これが實施方策に關し具體策を練つてゐるが、鄉村建設實施委員會を行政院直屬機關として設置するに決定、七日の國民政府令をもつて鄉村建設實施委員會組織條例を公布、同條例に基き即日同工務の實施に着手した

廣東東亞系財產移管

【廣東廿一日發】廣東總領事館ではかねて代理管理中の東亞系不在中國人の財產たる土地及び家屋中一千五百八十六件を第一次分として廣東省

民衆政治指導綱要可決

【南京廿八日】國民政府は去る廿六日の最高國防會議において新國民運動促進委員會より提出せる民衆政治指導綱要草案を可決、同草案に基いて戰時下における民衆の政治經濟指導工作を新國民運動促進委員會に統一し、治安確立、生産増加、民生安定の三大國策を強力に推進することになつた、同草案に於ては民衆指導が各地區の民衆指導團體においてそれぞれ立場に應じて實踐されつつあつた施策工作を新國民運動促進委員會一に遂行せんとするに導き、十二項目にわたる指導綱要の概要次の如し

- △指導の要領 ①民衆政治指導は中央においては新國民運動促進委員會省特別市は同委員會分會、縣市は同委員會支會がこれにあたる、②民衆の政治指導は各地區保甲の實踐に應じて保甲委員會と密接なる連繫をとつて實施する、③民衆各團體をして自發的に新運動訓練工作に従事せしめる、④新運動委員會分會、支會は直接民衆訓練の權限を有する、但し民衆の職業を妨害せざるを原則とする

- △指導の要點 ①民衆に國父の遺教を實踐せしめる、②國策に順應し協力實踐せしめる、③日華同盟條約、大東亞宣言の認識を徹底せしめる、④民衆に戰時生活を實踐せしめる

政府に移管することとなり廿日省政府代表に移管目録を手交、この旨總領事館より發表された、南支におけるこの種中國側財產の移管は本年五月南支軍が移管した軍管理敵性財産三百七十件があり、今次移管を含め合計一千九百五十六件である

【廣東廿一日發】廣東東亞系財產移管の開始されてゐる清鄉工作は第一期地區に展たると、引き続き強力なる政治工作を推進しつづつある、從來東江地區は共産匪が長年に亘つて蟄居しその細胞組織を農層に扶植してゐるだけに短期間の武力討伐のみでは到底成果が擧らず強力なる政治工作を必要とするので、同工作の中核體たる清鄉督察專員公署は共産匪の肅清別決と並行して政治工作團の活潑なる展開を推進豫期以上の成果を擧げてゐる、さらには省政府は同工作を擴大強化するため統靖公署參謀長兼清鄉秘書長黃克明氏を第卅師々長に任じ現地の諸工作を掌握せしめるとともに〇ヶ師の綏靖軍を常駐せしめる一方聯防隊を組織し自衛力量の増強を圖り、各區署管轄區域を明確に劃定して警察分駐處を設置する等保甲制度を強化し共産匪の蠢動を完封してゐる

【南京廿五日發】「國內要事」外交欄の信用供與に關し國民政府は次の如き周財政部長談を發表した

今回中央儲備銀行は日本政府の斡旋により日本銀行と四億圓の借款契約を締結することとなり本日その調印

を了した、本借款の成立により一年契約成立した一億圓と併せて都合五億圓となる譯であり、中國通貨制度の健全なる發展と中央儲備銀行の信用の増大とに資するところが甚大であつて盟邦日本の與へられた援助に對し深甚の謝意を表する次第である、中央儲備銀行は創業以來順調なる發展を見て來たのであるが現下の重大なる時局に際し參戰中國の中央銀行として盟邦日本と協力するためにはまづもつて金融の安定、儲備券の維持をはかることが何よりも緊要である、この秋に當り新たに四億圓の借款を供與せられたのは兩國中央銀行の一層緊密なる結合を示すと共に中央儲備銀行の信用を愈々増大し、その使命達成に資するところ隨る大なるものがあるのであつて、今後一層努力して金融の安定と通貨の價值維持につき遺憾なきを期する次第である

【上海三日發】中支那振興の昭和十八年度投融資狀況はこの程同社より發表されたがこれによれば投融資總額は九千九百二十七萬圓で、うち資額九千七百四十九萬圓、投資額百七十八萬圓である、これに對する資金手當は日本内地における社債引受額七千三百萬圓、正金上海支店トリの借入金三千六百萬圓、儲備券建二億圓合計一億六百萬圓で賄はれ、このほかに十七年度末における社債殘高一千五百五十萬圓が十八年度末においてもその儘同額の殘高となつて本年度に繰越され、又十八年度に新規發行された社債七千六百五十萬圓は同年度中に全額償却済みである

【廣東廿一日發】廣東東亞系財產移管の開始されてゐる清鄉工作は第一期地區に展たると、引き続き強力なる政治工作を推進しつづつある、從來東江地區は共産匪が長年に亘つて蟄居しその細胞組織を農層に扶植してゐるだけに短期間の武力討伐のみでは到底成果が擧らず強力なる政治工作を必要とするので、同工作の中核體たる清鄉督察專員公署は共産匪の肅清別決と並行して政治工作團の活潑なる展開を推進豫期以上の成果を擧げてゐる、さらには省政府は同工作を擴大強化するため統靖公署參謀長兼清鄉秘書長黃克明氏を第卅師々長に任じ現地

の諸工作を掌握せしめるとともに〇ヶ師の綏靖軍を常駐せしめる一方聯防隊を組織し自衛力量の増強を圖り、各區署管轄區域を明確に劃定して警察分駐處を設置する等保甲制度を強化し共産匪の蠢動を完封してゐる

【南京廿五日發】「國內要事」外交欄の信用供與に關し國民政府は次の如き周財政部長談を發表した

今回中央儲備銀行は日本政府の斡旋により日本銀行と四億圓の借款契約を締結することとなり本日その調印

を了した、本借款の成立により一年契約成立した一億圓と併せて都合五億圓となる譯であり、中國通貨制度の健全なる發展と中央儲備銀行の信用の増大とに資するところが甚大であつて盟邦日本の與へられた援助に對し深甚の謝意を表する次第である、中央儲備銀行は創業以來順調なる發展を見て來たのであるが現下の重大なる時局に際し參戰中國の中央銀行として盟邦日本と協力するためにはまづもつて金融の安定、儲備券の維持をはかることが何よりも緊要である、この秋に當り新たに四億圓の借款を供與せられたのは兩國中央銀行の一層緊密なる結合を示すと共に中央儲備銀行の信用を愈々増大し、その使命達成に資するところ隨る大なるものがあるのであつて、今後一層努力して金融の安定と通貨の價值維持につき遺憾なきを期する次第である

財政・經濟

儲備銀行の信用を増大

【南京廿五日發】「國內要事」外交欄の信用供與に關し國民政府は次の如き周財政部長談を發表した

今回中央儲備銀行は日本政府の斡旋により日本銀行と四億圓の借款契約を締結することとなり本日その調印

いては總額計數は九千九百三十七萬圓なるものうち華中水電並に華中運輸に回收されたる分約二百萬圓を削除すれば實際の融資額は九千七百四十九萬圓となる

△融資 華中鐵業 一、五〇〇、內河輪船 一、五〇〇、華中電氣 三、四〇〇、大上海瓦斯 二、〇〇〇、華中鐵道 三、〇〇〇、淮南炭礦 一、五〇〇、中華輪船 九、九〇〇、華中運輸 五、四〇〇、中支那振興購買(一)〇、計 九、九〇〇(融資實額を、四〇〇) △投資 華中水産一、三六〇、華中運輸 四〇〇、計 一、七六〇、合計 九、九〇〇

なほ十八年度末における投融資額の各殘高は投資殘高八千三百九十一萬五千圓、融資殘高二億五千五百四萬三千圓の巨額に達してゐる

上海食米配給復活

【上海三日發】上海地區における華人側食米の配給は一時中止の状態にあつたが八月より重點工場勞務者に對しては從來通り一ヶ月一人につき最高十五キロより最低五キロ、一般市民に對しては同じく四・八キロのほかに小麥その他雜穀二キロの配給が來る八日より實施されることとなつた、上海大使館事務所では三日當局談を發表した

大運河の修築着手

【上海十六日發】北は北京から南は杭州まで蜿蜒一千七百餘キロを一本の水路で結ぶ大運河の修築工事に關してはさききその第一期工事として山東省台兒莊、揚子江岸瓜洲渡閘三百八十餘キロを實施することに決定その實施監督機關として國府で治運河工程局を設置諸準備を進めてゐるが、この工程下請負も日本側與南公司と工程局との間に契約の成立を見たので愈よ八月十五日から

ら着工されることになつた 第一工事の終了は大體年末と豫定されてゐるが、同工事完成の曉は中北支物資交流に裨益する所甚大で就中山東省中興炭の中心移入は極めて圓滑化するものと見られ各方面で多大の期待を寄せてゐる、しかして第一期工事は大體中運河の航運打通と裏運河の水増加工事の二つに大別されるが中運河航運打通工事の中心は淮陰閘門の修築であり、過日與南公司が一億三百萬元で落札した運河工事とは即ちこの淮陰の閘門を修築する工事で、これに要する一日使用員は二千五百人、十一月末完成の豫定であるからこの間の延人員は約廿六萬人を要する、同公司では既に去月十日頃より第一回實地調査を完了八月下旬技術關係者を中心とする先發隊が南京を出發し十五日から正式に着工することになつてゐる

在留邦人就職許可制擴大

【上海十九日發】上海總領事館では本年初頭大東亞省令をもつて公布された勞務等臨時調整規則に基き指定重點産業十三業種並に四團體の邦人勞務者の就職許可制又は不急業種に對する就職許可制をそれぞれ實施して邦人勞務者の決職配置を進められてきたが、戰局の緊迫せる推移に對處し十九日附告示を以て現地邦人の就職に擴大實施することとなつた、即ち從來當局に於て重點産業に指定された十三業種及び四團體外の一切の業務關係邦人從業者は舉げて今後現地の適用を受けるもので、今後現地に於ける就職は總べて當局の定める手續に基き許可を待たなければならぬ、なほ告示但書をもつて除外

される十三業種と並に四團體は次の通りである 一、鑛業、二、造船業、三、鐵工業、四、機器製造業、五、石油業、六、陸運業、七、海運業、八、航空業、九、電氣通信、十、放送業、十一、電氣事業、十二、化學工業、十三、セメント工業 四團體 一、上海日本居留民團の業務、二、上海日本商工會議所の業務、三、同仁會中華支部の業務、四、社團法人同盟通信社中華總局の業務 河南の交通制限強化

鄭州二十二日發

河南新占領地區の政治的經濟的特異性に鑑み、華北華中間との物資交流ならびに人の出入について從來より嚴重取締りを行ひ統制を實施して來たが、今回更にこれを徹底化するため當分の間物資の交流に對しては六ヶ所に通行監視所、又人の出入に對しては看視所においてすべて許可制をとる旨二十一日午後當局談をもつて發表した

華北報道協會創立

【北京二日發】非常時局に對應する強力一元的な報道機關として今回華北報道協會が設立されることとなり、二日午前十時から北京飯店において設立總會を開催、協會規約並に役員の決定を行つた、新發した華北報道協會は報道刊行物の統制指導及び綜合訓練、報道業務從事者の登録及び養成訓練などを行ふが、同協會の設立によつて從來の華北新聞協會並に資材協會は發展的解消を遂げた、新協會の役員次の通り

理事長管翼賢(華北新報社長)、副理事長何崑義男(宣傳聯盟理事)、常務理事長谷川光太郎(東亞新報論說委員)、趙大同(華北政務委員會情報局第三科長)、理事大川幸之助(東亞新報副社長)、他二十六名

【興華保亞】に遇進 【北京十九日發】華北政務委員會情報局長管翼賢氏は十九日一支那派遣軍聲明に應じてと題する談話を發表、「興華保亞の完成へ邁進すべき決意を左の如く表明した 今回支那派遣軍が重大聲明を發表、中國復興建設への態度を明示された事は我々の深く喜びとするところで、さきに盟邦日本は政府聲明をもつて大陸作戰の意義を闡明されたが我々は河南、湖南の兩作戰によつてその使命を充分汲み取ることが出来た、敵米國は太平洋戰線において喫した痛手を隠蔽せんがため中國領土をその空軍基地として無辜の民衆に對して盲爆を加へるが如き暴舉を敢てし最近では陸上部隊をさへ繰り出して中國の焦土化を企圖してゐる盟邦日本はこれに對して斷乎鐵槌を加へ大東亞宣言を實踐されたのである、我々はこの厚誼に應へるために盟邦の眞意を再認識し、今次の派遣軍聲明を契機として後方基地華北の偉力を更に一段と發揮し日華相携へて興華保亞の使命を完成しなればならぬ

敵側偵諜團を檢舉、死刑

【北京二十二日發】在支米空軍の首動に伴ふ敵側偵諜團の活動に對し至嚴別決檢舉を續ける北支軍では最近開封に於て第五戰區九十二軍二十一師所屬の特務工作員殷德山(江蘇省泗陽縣出身、二十六歳)一味を檢舉し嚴重調査の結果二十一日軍律に照し死刑を執行した

鑛土の對日輸出進捗

【北京二日發】華北においては本年大増産を期し對日供給に萬全の態勢を整へてゐるが華北鑛土佐藤董事は一日鑛土増産並に對日供出状況につき左の如く語り殊に對日供出は計畫通り進捗し、戦力増強上の要請は完全に遂行の自信がある旨言明した

鑛土の飛躍的増産について

内地の資材の入手が豫定より遅れたため目下の所豫定額に達しないが、これに備へ急遽現地及び滿鮮に對し資材手當を行ひ資材不足を補ふ方針に改めたため九月以降の生産は極めて順調となる見込である、尤も對日輸出關係では從來相當貯蓄を行つてゐたので現在の生産状況には何ら影響されることなく計畫通り輸出して居る、今後の對日輸出も九月以降の増産見込みと相俟つて戦力増強上の要請を完全に充たす自信がある

小麥の收買割當量を突破

【北京十四日發】華北の小麥は今や出廻最盛期に入り各地において積極果敢な收買戦が展開されてゐるが、華北合作事業總會に達した八月十日現在の收買狀況報告によれば蒐荷工作は極めて順調に進捗し華北三省の小麥收買実績は既に中央供出割當量を完全に突破し下地方供出割當量を大童の努力を續けてゐる、即ちこれを各省別に見れば中央供出割當に對する實際收買量は河北省一二四パーセント、山東省一一一パーセント、河南省九八パーセントと何れも目標



政 治

【北京二日發】非常時局に對應する強力一元的な報道機關として今回華北報道協會が設立されることとなり、二日午前十時から北京飯店において設立總會を開催、協會規約並に役員の決定を行つた、新發した華北報道協會は報道刊行物の統制指導及び綜合訓練、報道業務從事者の登録及び養成訓練などを行ふが、同協會の設立によつて從來の華北新聞協會並に資材協會は發展的解消を遂げた、新協會の役員次の通り

理事長管翼賢(華北新報社長)、副理事長何崑義男(宣傳聯盟理事)、常務理事長谷川光太郎(東亞新報論說委員)、趙大同(華北政務委員會情報局第三科長)、理事大川幸之助(東亞新報副社長)、他二十六名

を超過してゐる

蒙疆

華北、蒙疆交易會議終了

【張家口廿九日發】華北、蒙疆交易會議は對日期待物資の配分、糧穀及び特用作物の華北輸出、國際收支など華北、蒙疆間の本年度交易關係諸問題を中心議題とせる華北蒙疆交易會議は二十八日終了したが本會議に會ける主なる決定事項は次の通り、

○對日、對一般交易物資の配分については個々の品目につき配分數量を決定した、○來る十月一日からは華北交易統制總會に入荷せる對日期待物資は今回の會議が決定せる計畫に基き蒙古生必需品輸入公社が裸價格で導入、張家口において價格の調整を行ふ、○華北、蒙疆間の國際收支については今後交易及び交易外資金とす、○本年度華北向雜穀の輸出數量については既に決定されてゐたが、今次會議においてその價格の決定をみた

蒙古軍兵務部新設

【張家口卅一日發】蒙古防衛と治安確保の重責を果しつつある蒙古軍では戦局の苛烈化に即應し軍機構の一層整備強化を圖るべく新に兵務部を設け、張家口に分派常駐せしめることとなり、この旨卅一日發表された蒙古軍作戰任務完遂のため昨年八月軍連絡部を政府に派遣し、軍事と一般行政の連絡に當らしめ來つたのであるが、戦局の進展に鑑みますます軍と政府との連繫緊密化を必要とすに至つたのでここに軍事行政部門

に兵務部を新設、従来の連絡部を廢止することとなつたものである、この結果兵務部は連絡部の機能並びに蒙古軍總司令部軍政機構をもこれに吸收統合し、強力なる軍政の遂行に當り、總司令部は専ら作戰指導に専念し得ることとなり、軍政軍令の系統的整備は著しく強化され、大東亞共榮圈北の護りに磐石の重みを加へるに至つたわけである

中國 短 信

(△國府△華北×蒙疆)

【一日】△汪主席ビルマ獨立一周年記念日に當り、ペー・モウ國家代表に祝電

【十一日】△華北基督教團米鬼の日本兵戰死者冒贖事件に對し對米抗議決定

【十四日】△上海復興節米兵による日本兵戰死者の死體冒贖事件に對し對米抗議決定

【十六日】△國民政府外交部長褚民誼氏天津イタリヤ專管租界接收のため南京發空路北京に向ふ

【十七日】△天津租界返還式

【廿一日】△華北食糧公社食糧證券三億圓發行

【廿二日】△鹽澤公使東上、北京大使館鹽澤公使、岡松經濟部長を帶同東上

【廿三日】△北支製鐵社長に福田庸雄氏選任

△國民政府宣傳部顧問柳町精氏赤痢のため南京同仁病院にて死去、享年五十

【廿五日】△褚外交部長天津へ

重慶政權

政治・軍事

國共相剋

▲延安の對米接近【北京一日發】昨夏胡宗南集團軍の延安包圍態勢強化によつて一波瀾免れがたしと傳へられた重慶、延安兩政權の相剋はその後小康狀態を呈したまま今日にいたつたが、今春以來大陸の戰野に展開されたわが在支精銳部隊の雄渾なる大作戦によつて重慶戰力が徹底に破砕されるや、果然延安政權は對重慶態度を硬化、重慶の獨裁を徹底的に非難するとともに對米接近の媚態を露骨に示しはじめ、副大統領ウー・レンスの重慶訪問を繞つて兩者の相剋は再び尖鋭化したと傳へられる

即ち今春四月米紙ニュー・レバブリックが重慶の對日戰回避の態度を非難して重慶が現在のごとく延安と戦ふことのみに關心を有つからだと重慶はやがてニュー・ギョーのミハイロフが拂はれなければならぬ

▲ニミッツ、國共相剋に憂慮【リスボン十八日發】ニュー・ヨーク・ヘラ

▲ニミッツ、國共相剋に憂慮【リスボン十八日發】ニュー・ヨーク・ヘラ

▲ニミッツ、國共相剋に憂慮【リスボン十八日發】ニュー・ヨーク・ヘラ

▲ニミッツ、國共相剋に憂慮【リスボン十八日發】ニュー・ヨーク・ヘラ

▲ニミッツ、國共相剋に憂慮【リスボン十八日發】ニュー・ヨーク・ヘラ

捕死刑 【廿九日】△國府社會福利部次長更迭、同部主任秘書黃慶中氏次長昇格

國に對して常に媚態を示してゐたことは隠れもない事實である、しかしながら武力的に劣弱な延安の實態を知り盡してゐる米國は延安を煽だてあげることによつて延安の有する基地の獲得を狙はんとし、延安またその裏を讀んで自己勢力の扶植に役立たつた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏はアメリカの對支政策を論じバハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

米國がたとへ支那に到達しても米國は先づ支那に社會教育を施す必要がある、尤も國民黨も共產黨も支那を教化しようとするが、専ら政治教育に傾倒してゐるため不幸にしてかへつて支那の政治の統一への道を塞いで支那、主義上の憎悪と國內の強力政治を齎らす惡弊を生ぜしめてゐる實狀だ國共兩黨が支那の新生を妨害してゐるのは最大の悲劇だ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

▲狡猾米の二股政策【北京廿日發】D・N・B通信社在北京特派員ルツケンハウス氏は重慶と延安に對してそれぞれ個別的交渉を續けて特に重慶に關して過去一世紀に亘つて採り來つた植民地政策を再び用ひはじめ

應領けるし、その提案のうちには米機不時着の場合における搭乗員の救助とか、空陸部隊の緊密化とか、氣象その他の軍事情報の提供とかが含まれてゐるであらうことも容易に想像される、過般赤都延安を訪問した米人記者團は延安が今日既に重慶の勢力牽制に有力な地歩を築いてゐる事實を指摘すると共に華北に潜在する二百萬の組織的便衣隊のほか〇萬の正規兵を有して重慶の勢力に抵抗してゐる事を認めてゐるが、斯くて延安の勢力伸張は臨所に重慶軍との衝突を惹起し、最近北京に達した情報によれば六月中山東省で四回に亘つて激しい戦闘を演じたとき一言はれる、又延安は現在直接間接重慶から軍需品の供給を受けながら更に米國の援助の下に自己勢力を扶植しようとし、重慶に對して延安軍並に新四軍用の醫療品の配給數量を増して呉れと要求してゐるが、延安側の肚の中を知る重慶がおいて、何れに於ても米國が重慶の疑惑を無視して延安に働きかけてゐることは事實であり自己の野望を満足させるために重慶における不評判も中國自體の不利益をも一切意に介せず、平然として重慶を欺き、重慶を騙つて米國の本懐を發揮してゐる、この秋に當つて日本が重慶軍隊と雖も米英との協力を排するものは敵と見做さないと言明したのは米國の二足草鞋の態度と對照して日本の對支態度を明らかにしたものである

▲重慶延安交渉暗礁に乗上ぐ【上海十七日發】當地に達した報道によれば重慶延安會談は依然兩者各主張を曲げず全く暗礁に乗上げてゐる模様である、交渉は中共代表林祖涵と、重慶代表王世杰並に張治中との間に進められてゐるが、交渉開始後三ヶ月を経過する今日に至るも基本的問題についてすら互に自説を固持し、いづれかが譲歩せざる限り交渉が從來の主張を撤回乃至修正せざるが延安側としては再考の餘地なく可及的速かに延安に引揚げたい旨表明したと傳へられる、これに對し重慶側としては米國の意思を憚り交渉を決裂せしめることは極力避けんとし、六月十六日の外人記者會見席上において宣傳部長梁寒操も林祖涵延安引揚げ表明の如きは全くのルマーなりと否定してゐる、何れにしても交渉が最早決裂の一步前にあることは確實と見られる

▲延安、國共交渉全貌を發表【リスボン廿二日發】延安、重慶兩政權の紛争和解交渉は全く行詰り、延安側の態度硬化によつて交渉は決裂の兆を呈すに至つたが、延安來電によれば、周恩来は最近、延安通信社との會見において交渉の全經過及び重慶側要求の詳細を發表、延安側から見ると和解交渉の全貌を初めて明らかにしたと云はれる

八箇師を以て構成する六箇軍を編成すべきことを要求した、これに對し重慶代表は各軍とも十二箇師のみを以て四箇軍を編成することに同意したに過ぎなかつた、林祖涵は中國共產黨は合法的となるべきこと及び共産主義者の逮捕と共産主義書籍類の沒收を直ちに終止すべきこと、更に言論の完全な自由とを要求した、林祖涵は日本軍背後のゲリラ諸地區が經濟的、政治的、軍事的に重慶に隸屬することに同意した、林祖涵が、共産地區に對する封鎖は停止されるべきことを要求した際、僅か特定の貿易に對して中共の介在が認められなかつたので、兩代表は、重慶と延安の各中央委員會に提出すべき覺書中に、會見の詳細を書くことに同意した、右の覺書には、重慶宣傳部長がさう信じさせようと努めた如き、如何なる協定も含まれてゐない、次に重慶における交渉では、五月二十一日、中共の中央委員會より林祖涵に對し、最も緊急な諸問題を解決するための二十ヶ條の提案を送り、これを國民黨の中央委員會に提出した、右の提案中に含まれる最も重要な條項は

○重慶政府は民主主義政治制度を採用すること、及び出版、言論、集會の自由、並に個人の自由を保障すること、○重慶政府は中國共產黨及びその他一切の愛國的政黨並に團體の合法的地位を認めると共に、すべての愛國的政權に釋放の保障をなすべきことを要求する、○重慶政府は地方の自治行政を實現することを有効に保障すべきである、○國民兩黨間の未解決問題を取上げたもので、そのうちゲリラ部隊の組織に關しては、中共の要求は現在では縮小されて、五ヶ軍、總計十六ヶ師となりこれに對し重慶が武器彈藥醫療品及び糧食を支給すべきことを要求するものである、地方の自治行政に關しては、重慶に對し各自の自治政府の組織を要求し、これらの各中、南支の民衆によつて選ばれたものを指すのである、共産地區に對する軍事的、經濟的封鎖は停止されるべきである、共産軍將兵に對する一切の攻撃は直ちに終止しなくてはならない、共産第八路軍及び新西軍は聯合國からの糧食、武器彈藥、及び醫療品のうち當然受けるべき部分を支給されるべきである、黨及び軍に對する叛逆及び間諜の活動と反共煽動は終止すべきであり、重慶と西安にある共産系の各ラジオ放送局は再開されなくてはならない、以上の要求を含んでゐる重慶と延安の交渉の何等の成果も生ぜず、重慶は中共の根本的要求に觸れることを頻りに回避しながら、一方で戦後一年以内の憲法政治の樹立によつて民主化に發足しようとする重慶自身の計畫は反駁し得ない事實として受け容れるべきだと主張してゐる、かくして重慶は現在の一黨制度を民主主義と置代へることを拒否したため重慶と延安との間には現在までのところ、如何なる協定にも到達してゐない、國共兩黨の論争はなほ續いてをり、このため内亂の急険は未だ除去されな

深い論争に橋渡しを試みたが、これ不成功に終つた、斯くてすべからず従來通り、何等改善されてゐない、唯、變るところは、おそらく重慶と延安の對立が從來より一層尖鋭化し、一層非妥協的となつたことであらう然しながら、このことは國共兩黨が實際に衝突する危険が差迫るに至つたことを意味するものではない

▲重慶、延安兩政權の政治的不和増大【リスボン廿三日發】重慶、延安兩政權の五月以來の長期に對する和解交渉は兩者主張の根本的對立によつて重大な難關に逢着して、延安政權は領袖周恩來の名を以て「中國内亂の危険未だ去らず」との聲明を發表し、交渉の全貌を自ら暴露して重慶政權を攻撃したが、ニューヨーク・タイムズ紙重慶特派員はこの問題を取上げ、兩政權の政治的不和は今回の和解交渉によつて却つて從來よりも悪化するに至つた旨廿二日次の通り報道してゐる

邊境政權の主席たる林祖涵は二ヶ月の重慶留中に蔣介石と一度會見しその代表たる王世杰及び張治中とは幾回も會談したが重慶と延安との立場の懸隔は依然として廣く、互ひに相手を手を信じてゐないのが解決の主要な障礙となつてゐる、重慶政權側では、租税を徵集し、通貨を發行し、民政の機能を行つた二つの政權が中國には有り得べからざるものと主張し、またすべての軍隊は重慶政權の統帥下に置かれねばならぬと主張してゐる、これに對し延安政權は和解の基礎として、中國における政治の即時民主主義化を提言してゐるが、重慶は義に發表した戦後に立憲民主主義

を樹立するといふ政策を固執して、

重慶に至る新輸送路に沿ひ日本軍を

撃破して再び重慶に復歸せんとして

る、この作戦は少數の米英兩國兵

の支援を得て相當の戦果を擧げてあ

る、この結果重慶への空輸路の安全

性が大に改善され、やがては陸上に

よる重慶への輸送路も再開されるこ

とならう、一九四二年春以前にピ

ルマ道路を通じて数千臺の米國製ト

ラックに對する部分品が重慶に送ら

れたが、これらトラツクの多くはピ

ルマ失陥後木炭車に改造され作戦に

使用されてきた、またこれらトラツ

クの一部は重慶奥地に設定されたシ

ェンノット軍飛行基地補給にも使用

された勿論輸送の關係上重慶に對す

る武器貨品が巨額に上ることとは不

可能だつたのであり、本年六月廿日

までは重慶に送られた武器貨品總額

は僅か一億五千三百五十八萬四千弗

に過ぎずその他スチールウエル宛に送

られた、最後に重慶軍に引渡される管

になつてゐる武器貨品總額が二億二千

七百萬弗に達しただけである、しか

しながら一度重慶に對する陸上並に

海上よりする連絡路が回復された曉

には對日戦を急速に終らせ得るだけ

の巨額の物資が送られるであらう

孔祥熙米上院で演説

【リスボン廿三日】ワシントン來電

重慶に至る新輸送路に沿ひ日本軍を

撃破して再び重慶に復歸せんとして

る、この作戦は少數の米英兩國兵

の支援を得て相當の戦果を擧げてあ

る、この結果重慶への空輸路の安全

性が大に改善され、やがては陸上に

よる重慶への輸送路も再開されるこ

とならう、一九四二年春以前にピ

ルマ道路を通じて数千臺の米國製ト

ラックに對する部分品が重慶に送ら

れたが、これらトラツクの多くはピ

ルマ失陥後木炭車に改造され作戦に

使用されてきた、またこれらトラツ

クの一部は重慶奥地に設定されたシ

ェンノット軍飛行基地補給にも使用

された勿論輸送の關係上重慶に對す

る武器貨品が巨額に上ることとは不

可能だつたのであり、本年六月廿日

までは重慶に送られた武器貨品總額

は僅か一億五千三百五十八萬四千弗

に過ぎずその他スチールウエル宛に送

られた、最後に重慶軍に引渡される管

になつてゐる武器貨品總額が二億二千

七百萬弗に達しただけである、しか

しながら一度重慶に對する陸上並に

海上よりする連絡路が回復された曉

には對日戦を急速に終らせ得るだけ

の巨額の物資が送られるであらう

孔祥熙米上院で演説

【里斯本廿三日】ワシントン來電

重慶政權財政部長孔祥熙は二十四

日米國上院で約十五分間演説し米國

の對將援助を謝すると共に終始重慶

軍の抗戦ぶりを強調將來も重慶政權

は反樞軸諸國と協力して重大な役割

を演ずるだらうとひとよりやがりを並

べたてた

盛世才、重慶農林部長

【廣東廿九日發】重慶來電によれば

重慶政權はこのほど新疆省政府主席

盛世才を重慶政權農林部長に任命し

たといはれる

【蔣の新疆工作成功】上海三十日

發】重慶來電によれば重慶政權は廿

九日の行政院會議で新疆省政府主席

の更迭を決定、盛世才に代つて吳忠

信を任命したが重慶政權が今回一九

三三年以來新疆省を獨立的に支配し

てゐた盛世才を更迭し蔣介石の腹臣

といはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

【廣東三日發】重慶來電によれば重

慶政權は八月十四日重慶からワシント

ンに開催される、所謂英、米、ソ、支

に對しては特に敵意を持つ

四ヶ國會議に重慶代表として外交部

常務次長胡世澤を派遣することに決

定した旨二日發表した

四國會議に重慶對案提出

【廣東六日發】米英ソ蔣四國會議は

が五日重慶發中央社電によれば重慶

國民外交協議會會長吳鐵城は右會議に

關し記者團と會見「重慶としては四

國會議に研究に研究を重ねた最後の

對策案を提案する事となつてゐる」

旨を發表し、同時に右案は重慶側專

門家が一ヶ年半年に亘つて研究完成し

たる五章十一節に亘るものである事

を説明したといはれる

對重慶武器貨與報告

【里斯本廿三日發】里斯本來電

米國大統領ルーズヴェルトは二十

三日議會に對し第十六次武器貨與報

告を行つたが、右報告のうち重慶援

助に關する部分次の通り

米國は今回重慶軍に極少量の武器

貨與補給をなし得るに止つた、従つ

て米國は重慶軍將兵を支那から連れ

出したにそれ補給するといふ方法を

とつた、即ち數百名に上る重慶軍航

空見習兵は空路米國に飛來して武器

貨與の下に米國で訓練を受け再び飛

行機で重慶に歸つて行つた、これ等

米國で訓練を受けた重慶空軍の將兵

は目下訓練中である

四航空隊の内部に組織された米重慶

混合飛行隊の隊員として對日戦に活

動してゐる、一方一九四二年春ピ

ルマが日本軍の手中に陥つた後スチ

ールは重慶軍將兵を印度に連れ出

したがこの部隊はその後更に重慶か

ら空輸された多數の將兵によつて増

強された、これら重慶軍將兵は印度

で武器貨與計畫により訓練され、既

に數ヶ師團の兵力となり戦車部隊さ

へも配備されてビルマ北部を越えて

重慶に至る新輸送路に沿ひ日本軍を

撃破して再び重慶に復歸せんとして

る、この作戦は少數の米英兩國兵

の支援を得て相當の戦果を擧げてあ

る、この結果重慶への空輸路の安全

性が大に改善され、やがては陸上に

よる重慶への輸送路も再開されるこ

とならう、一九四二年春以前にピ

ルマ道路を通じて数千臺の米國製ト

ラックに對する部分品が重慶に送ら

れたが、これらトラツクの多くはピ

ルマ失陥後木炭車に改造され作戦に

使用されてきた、またこれらトラツ

クの一部は重慶奥地に設定されたシ

ェンノット軍飛行基地補給にも使用

された勿論輸送の關係上重慶に對す

る武器貨品が巨額に上ることとは不

可能だつたのであり、本年六月廿日

までは重慶に送られた武器貨品總額

は僅か一億五千三百五十八萬四千弗

に過ぎずその他スチールウエル宛に送

られた、最後に重慶軍に引渡される管

になつてゐる武器貨品總額が二億二千

七百萬弗に達しただけである、しか

しながら一度重慶に對する陸上並に

海上よりする連絡路が回復された曉

には對日戦を急速に終らせ得るだけ

の巨額の物資が送られるであらう

孔祥熙米上院で演説

【里斯本廿三日】ワシントン來電

重慶政權財政部長孔祥熙は二十四

日米國上院で約十五分間演説し米國

の對將援助を謝すると共に終始重慶

軍の抗戦ぶりを強調將來も重慶政權

は反樞軸諸國と協力して重大な役割

を演ずるだらうとひとよりやがりを並

べたてた

盛世才、重慶農林部長

【廣東廿九日發】重慶來電によれば

重慶政權はこのほど新疆省政府主席

盛世才を重慶政權農林部長に任命し

たといはれる

【廣東廿九日發】重慶來電によれば

重慶政權はこのほど新疆省政府主席

盛世才を重慶政權農林部長に任命し

たといはれる

【蔣の新疆工作成功】上海三十日

發】重慶來電によれば重慶政權は廿

九日の行政院會議で新疆省政府主席

の更迭を決定、盛世才に代つて吳忠

信を任命したが重慶政權が今回一九

三三年以來新疆省を獨立的に支配し

てゐた盛世才を更迭し蔣介石の腹臣

といはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

【廣東廿九日發】重慶來電によれば

重慶政權はこのほど新疆省政府主席

盛世才を重慶政權農林部長に任命し

たといはれる

【蔣の新疆工作成功】上海三十日

發】重慶來電によれば重慶政權は廿

九日の行政院會議で新疆省政府主席

の更迭を決定、盛世才に代つて吳忠

信を任命したが重慶政權が今回一九

三三年以來新疆省を獨立的に支配し

てゐた盛世才を更迭し蔣介石の腹臣

といはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

【廣東廿九日發】重慶來電によれば

重慶政權はこのほど新疆省政府主席

盛世才を重慶政權農林部長に任命し

たといはれる

【蔣の新疆工作成功】上海三十日

發】重慶來電によれば重慶政權は廿

九日の行政院會議で新疆省政府主席

の更迭を決定、盛世才に代つて吳忠

信を任命したが重慶政權が今回一九

三三年以來新疆省を獨立的に支配し

てゐた盛世才を更迭し蔣介石の腹臣

といはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

へたといはれる吳忠信を邊疆の探題に備

【廣東廿九日發】重慶來電によれば

重慶政權はこのほど新疆省政府主席

盛世才を重慶政權農林部長に任命し

たといはれる

【蔣の新疆工作成功】上海三十日

才がその職にあつた新疆周邊防督辦公署長官の職も廢止されたと傳へられる、最近頃には露骨化してゐた重慶政權の所謂新疆中央化工作は今回の盛世才の中央祭上げ及びその軍隊の直接統轄により一應完成されるに至つた譯である

▲朱紹良新疆に乗込む【上海廿一日發】重慶政權は新任新疆省主席吳忠信の着任まで第八戰區司令長官朱紹良を以て代行せしむることに決定、朱紹良は三十日朝空路蘭州より迪化に到着したといはれる、朱は既にその麾下部隊の一部を昨年來新疆へ移駐せしめて着々中央化工作を進めてゐたもので重慶今回の新疆乗り取り工作には朱の活躍があづかつて力あつたものと見られる

陳誠第一戰區長官就任【廣東十日發】さきにも湖北省主席を罷免された陳誠はこの程第一戰區司令長官に就任したといはれる、右は重慶北門の守りを強固にするとも延安に對する重慶探題を意味するものとみられるが從來西北方面に全く勢力を有せざる彼が果してどの程度の成功を収めるかは極めて注視されてゐる

米軍事視察團延安訪問【北京六日發】最近の重慶情報によれば重慶政權發言人は八月三日の記者團會見においてアメリカの軍事視察團一行が二日延安に到着した旨發表したといはれるが、今次視察團の延安訪問の目的が奈邊にあるかは疑問であり、重慶發言人もこの點に關しては沈黙を守つてゐるため軍事視察團の編成及び顔ぶれを豫想するこゝとは出來ぬが、兎も角從來の如きこの座北りの視察ではなく相當長期間に

亙つて延安側各地の視察が行はれるものとみられ、第二十爆擊機動部隊の西北地區駐屯と睨み合せて日本本土爆擊のための基地獲得を主要目的とするのではないかと想像される、又對日反攻のための軍事的諸情報の獲得や米空軍飛行士が延安治下に不時着した場合の對策について延安側とひざつき合せて折衝するものとみべく、對米接近を狙ふ延安側につきその交渉の前途に重大關心と焦燥感を抱いてゐるものとみられる

▲米軍事使節團重慶視察【リスボン九日發】重慶來電に重慶米國第十四航空隊司令官は九日次の通り發表した
米陸軍航空部隊參謀長中將バーネー・ジャイルスを首班とする將官軍事視察團は去る七月廿九日から卅一日まで三日間にわたり重慶地區の空軍基地を視察した
この發表により航空部隊參謀長ジャイルスが重慶を訪問してゐることが初めて明らかとなつたが、彼は右發表と共に次の聲明を發した
インドからヒマラヤ越えの空輸は既に空輸能力のぎりぎりのところまで來てゐる、然し北ヒルマ方面に新空路が開設されれば北ヒルマ方面に新空路は更に増加しよう
米軍、民衆と衝突【太原十五日發】最近成都からの情報によれば成都西南五十キロの新津の地主農民は米第二十航空隊の飛行場建設地として同地東南部の一畝當り七、八萬元の土地を愛國の美名の下に二萬五千元で提供させられたが數ヶ月経つても代金を支拂はぬので地主農民は大舉三回到り米空軍の

兵士を襲ひ數十人の米人を殺傷、農民にも多數の犠牲者を出すなど兩者の對峙は急激に險惡化していつた、このため省政府は軍隊を出動鎮撫す一方、四川省主席張群自ら出張取調べたところ行政專員二名が結託右土地買収金で市政府を籠絡、成都市内に朱葆三路といふ享樂街を設けその日の食に事欠く大衆を尻目に酒食に耽つてゐたことが判明した、しかも前記專員二名の處分で事件を有耶無耶に葬らんとする省政府の遣り口と米空軍の横暴に民衆の不満は愈よ昂まり、ちらゆる手を以つて横車を押し飛行基地を強化して行く米空軍の野望に民衆の懾々たる非難を買つてゐる

軍制改革【リスボン十八日發】日本軍の河南湖南兩州作戦によつて大敗北を喫した重慶は、軍制改革に乗出した様子がある、即ち、A P通信の重慶特派員は支那事變勃發以來重慶の最も重要な大改革であるとして十七日次の通り報道してゐる
最も徹底的な軍制改革につき廣範な討議を行ふ一聯の會議が蔣介石の自邸で開催されて來た、これらの會議によれば、第一に各戰區司令官の持つ政治的權力と武權との間に完全な分權が實現する等で、各戰區司令官は各自が駐在する各省の政府主席の肩書を持つことはもはや許されぬ、はさずがに穀倉の名にはちぬ響作ぶれを見せられて農民に話かけて見ただけの農民の顔は疲勞しきつてをり、作で有りながらどうしたのかと訊ねて見ると農民は戦時の各種の負擔が過重なことだといふ、劍州から、更に北

五は徵兵計畫は今後學生にも適用され従來の徵兵から除外されてゐた中等學校卒業生は非常に多數の學生旅團を編成するために召集される
西安にもカキ服の米國人【北京廿三日發】重慶南方の一溫泉界石にある邊蒙學校を卒業し重慶、梓潼、劍州、寶鷄、西安、寧夏など西北支那を踏破してこのほど郷里厚和に歸着した一蒙古學生徒がある、以て設立した邊蒙學校卒業の同蒙古人學徒の眼に映じた抗戰培養基地西北支那の現状抗戰首都重慶の腐敗ぶりや抗戰地區隨一の穀倉といはれる四川農民の困窮ぶりを次の如く報じてゐる
重慶は表面非常な繁華であるが貧富の差が甚しい、金持や高級官吏は街を我物類で横行し料理店などにも自由に入居してゐるが、中等以下の官吏や一般民衆の困窮ぶりは實にひどいので街の雜沓などもこれらのもて彷徨してゐるためである、重慶は貴族の住む街だといふ感じを強くした、人民に抗戰を強ひてゐるが一般民衆は食に餓えてゐる、滞在三日して重慶を後に歸郷の第一歩を踏み出したが、只一つの交通機關である木炭があるが、最近では更に謀略方面にまで手を延ばし和平地區の擾亂工作の積極的指導に乗り出してゐるといふ積極的指導に乗り出してゐるといふ報に依れば去る五月安徽省最南部歙縣に中美訓練班なるものが組織され、同訓練班は約五個の中隊に分れ第一中隊は爆破訓練その他の中隊もそれぞれ三ヶ月にわたり特殊工作を訓練されるものと言はれるが、この教練には米人約四十數名より成る指揮

上したが、これからの宿驛の宿は満員で辛うじて軒下で寝たが夜になると強盜が出没するるときかされて荷物に監視のため夜もくらくら寝られない状態であつた、梓潼を過ぎるころからあまり自動車賃が高いので歩行に決めたが自分達と同様道路は歩行者が多くこれらの殆んどは住み慣れた農村を捨て食を求めて他に移住せんとする難民の群である、漢中を過ぎ西安に到着した、西安はこの地方最大の工場地帯として知られて來たが自分の見たものは紡績工場が一つ黒い煙を吐いてゐるのを見ただけで、此處ではカキ色の服裝をしたアメリカ人を見た、西安から寶鷄まで百八十ドルを拂つて汽車に乗つたが到る所で、住民が徴發されて封

【上海二十五日發】重慶の對日戰務に出に躍起となつてゐる米國は空軍部隊の外既に機械化部隊でも支那大陸に進出せしめてゐる模様であるが、最近では更に謀略方面にまで手を延ばし和平地區の擾亂工作の積極的指導に乗り出してゐるといふ報に依れば去る五月安徽省最南部歙縣に中美訓練班なるものが組織され、同訓練班は約五個の中隊に分れ第一中隊は爆破訓練その他の中隊もそれぞれ三ヶ月にわたり特殊工作を訓練されるものと言はれるが、この教練には米人約四十數名より成る指揮

【上海二十五日發】重慶の對日戰務に出に躍起となつてゐる米國は空軍部隊の外既に機械化部隊でも支那大陸に進出せしめてゐる模様であるが、最近では更に謀略方面にまで手を延ばし和平地區の擾亂工作の積極的指導に乗り出してゐるといふ報に依れば去る五月安徽省最南部歙縣に中美訓練班なるものが組織され、同訓練班は約五個の中隊に分れ第一中隊は爆破訓練その他の中隊もそれぞれ三ヶ月にわたり特殊工作を訓練されるものと言はれるが、この教練には米人約四十數名より成る指揮

【太原十五日發】最近成都からの情報によれば成都西南五十キロの新津の地主農民は米第二十航空隊の飛行場建設地として同地東南部の一畝當り七、八萬元の土地を愛國の美名の下に二萬五千元で提供させられたが數ヶ月経つても代金を支拂はぬので地主農民は大舉三回到り米空軍の

【北京六日發】最近の重慶情報によれば重慶政權發言人は八月三日の記者團會見においてアメリカの軍事視察團一行が二日延安に到着した旨發表したといはれるが、今次視察團の延安訪問の目的が奈邊にあるかは疑問であり、重慶發言人もこの點に關しては沈黙を守つてゐるため軍事視察團の編成及び顔ぶれを豫想するこゝとは出來ぬが、兎も角從來の如きこの座北りの視察ではなく相當長期間に

【上海二十五日發】重慶の對日戰務に出に躍起となつてゐる米國は空軍部隊の外既に機械化部隊でも支那大陸に進出せしめてゐる模様であるが、最近では更に謀略方面にまで手を延ばし和平地區の擾亂工作の積極的指導に乗り出してゐるといふ報に依れば去る五月安徽省最南部歙縣に中美訓練班なるものが組織され、同訓練班は約五個の中隊に分れ第一中隊は爆破訓練その他の中隊もそれぞれ三ヶ月にわたり特殊工作を訓練されるものと言はれるが、この教練には米人約四十數名より成る指揮

【上海二十五日發】重慶の對日戰務に出に躍起となつてゐる米國は空軍部隊の外既に機械化部隊でも支那大陸に進出せしめてゐる模様であるが、最近では更に謀略方面にまで手を延ばし和平地區の擾亂工作の積極的指導に乗り出してゐるといふ報に依れば去る五月安徽省最南部歙縣に中美訓練班なるものが組織され、同訓練班は約五個の中隊に分れ第一中隊は爆破訓練その他の中隊もそれぞれ三ヶ月にわたり特殊工作を訓練されるものと言はれるが、この教練には米人約四十數名より成る指揮

班が訓練指導に當つてゐると傳へられ米國の執拗なる野望を如實に示してゐる

第四軍長張德能統帥

【上海廿八日發】重慶來電によれば過般の我が長沙攻略戦に際し同市守備軍司令官たる第四軍長張德能は蔣介石の死守命令にも拘らず作戦に努めず要害丘麓山を喪失し、次いで長沙市を陥落せしめた廉により軍法執行總監部に於て軍事最高機關代表として下に審理中の所極刑を課すること決定、去る廿五日銃殺に處せられたといはれる

米軍食糧不足に悩む

【リスボン卅一日發】怒江戦線に従事するユービー特派員ラウエンホルトは重慶軍とともに作戦する米軍の將兵が米國製食糧の補給不足と、同方面の物資不足及び物價の物漲高いの少なからず悩まされてゐることを次の通り報道してゐる

怒江方面の戦場地区の物價は非常に高いので、重慶軍とともに行動する米國軍部隊の連絡將校團は、自分等の乏しい米國製の給與食糧の足しに於ては、餌のやり方が足らずに瘦せかけてゐる鶏を買ふのに一羽につき米貨にして三十弗といふ法外な値段を支拂はされてゐるがそれが、當り前の状態なので驚きもしない、米軍用の補給品の一切は、先づ空路でヒマラヤの峯を越えて運ばれ、それから別に包装されて苦力馬の背に乗せて怒江の前線に送られるのである、米軍の將校や兵士は戦闘してゐる重慶軍に對し部落に歸つて来る農民から買へるものは何んでも買ひ込むように勧告してゐる、粗製の赤砂糖一付度につき米貨にして十二弗もの高

財政・經濟

經濟プロック制を一擲

【廣東三日發】惡性インフレーションの深刻な苦悶に喘ぐ重慶政權はききに十二中全會において物價管制緊急措置法案を可決、昨年この物價對策の破綻案をつくるひ、このインフレーションの切實に大童となつてゐたが、重慶中央社電によれば重慶政權は一日の國策總動員會議においてこれが具體的實施辦法を決定發表した、古によれば昨年一月より實施された物價管制經濟プロック制を一擲して各省間に物資の完全なる自由流通を認める地方割據經濟の打破を狙つてゐる事であるが、もともと重慶政權經濟統制の最大の痛は奥地に集食ふ強力な封建制による障壁と奸商の囤積居奇民衆の不協力であつて見れば如何程強權を發動しても物資交流の梗塞と物資の偏在は改善の餘地なく今次の物價抑制に對する最後の切札も再び失敗に歸することは明らかなであらう物價管制緊急實施要綱の主要なるもの左の通り

○各省間における物資の流通は完全自由とし省政府は如何なる名義を以つても省外移出を禁止或は妨害すべからず(但し接敵地區における利敵物資の流出措置についてはこの限りならず) ○從來の限價物品たる生活必需品、糧食、鹽食油、棉花、綿糸布、紙等は嚴重に價格の統制を實行し、これに對し何等の變更も許さず、然しこれ等以外の物品に對する

限價は各省政府は地方の實情に應じ參酌すること、○各省營企業公司貿易公司、並にこれに類するものは物價を操縱、壟斷し民間取引競争をなすべからず、○各省、銀行は現行法規に基き、如何なる名義乃至法式をもつてもその他の業務を行ふべからず、○各省間の運輸交通は陸運、水運を聯繫統一し、貨物運搬の調整を圖る



宮廷

鞍山被爆者に御救恤金 御下賜

【新京五日】皇帝陛下には鞍山地區空襲による罹災者御救恤の御恩召を以つて御内帑金一萬圓下賜あらせられた

對日協力に有難き御言葉

【新京卅一日】皇帝陛下には卅一日帝宮に張國務總理、武部總務長官を召させられ、左の有難き御言葉を賜はつた

今や戦局愈々重大なり、この秋に當り親邦 天皇陛下下戦力を物心兩面に充實すべき旨を訓させらる、全國官民は日本の興は滿洲の興、日本の亡は滿洲の亡、日滿の興廢は全東亞の興廢たるを深く認識し一切の手段を盡して戦争遂途の一途に集中し實踐射行、以て 天皇陛下下の宸慮に答へ奉り、わが目的達成を期すべし

機軸類統制規則公布

【新京二十四日】經濟部では機材施設統制法に基き重要機器類を發注より配分に至るまで全面的に強力統制を加へることとなり、近く部令をもつて機軸類統制規則を公布する同規則の骨子は機軸類需要票によつて生産機軸類等甲類七十四種、乙類二百四十八種の生産、發受を制限する

防空部新設

【新京五日】防空關係業務を迅速的確に處理する必要から總務廳に防空部を新設、また防空委員會を設けて官民防空中の核推進體とすること

となつた、防空部長事務取扱ひは源田總務廳次長、その他關係人事もそれぞれ五日發令、即日開廳した

空襲保險實施

【新京五日】政府は現下の時局に鑑み國內において空襲その他非常事態の發生したる場合生命財産に關する危険並びに損害に對し特別な保險制度を實施することとなり、右に關する時局特別保險實施要綱は三日の參議府會議を通過、正式決定を見るに至つた、よつて政府では早速これに法制化に着手、近く時局特別保險に關する法令を公布實施する

政

治

水力機、風力機については同様に報告を徴して登録を行ひ、その所在を明確にせんとするものである

興農本部外局の行政一元化

【新京六日】政府は今回興農部並に外局を打つて一元とする興農行政の綜合推進を期するため興農部各局長並びに開拓、林野兩總局總務處長をして參事官を兼務せしめると共にこれを大官官房辦事に發令、更に本部並びに外局理事官の一部を參事官兼務とし施策の全般的企畫に參謀本部的役割を果さしむることとなつた

企畫處を一括決定物動入動

【新京十八日】政府は行政運營の決戦化を圖るため重要産業（第一種事業體）に對する資材、糧食、勞務、輸送に關する官廳間の行政事務簡素化を決定その實施に乗出した、事業體に對する物動、入動などについては從來折衝箇所も數箇所に分れてゐる上に各部にある各局が各個に事務折衝を行つてゐるため事務の煩雜は著しいものがあり、場合によつては同部の司でありながら物動入動の獲得について不要の競合なども豫想され決戦行政とは縁遠いものがあつたので、今回事務簡素を行ひ重要産業について資材、勞務、糧食、輸送等を一

國民所得を調査

【新京二十三日】經濟部では戰時財政經濟諸政策、特に租稅政策の確立に資するため康徳十年度の國民所得を調査することに決定、本年未だに調査を完了せしめることとなつた、本調査方法によれば總括事務には稅務司企畫科、地方での各調査事務には稅務監督處及び稅捐局があたり、調査部門、農業、水産業、礦業、工業、商業、交通業、自由業などの各部門では法人個人別に企業者純收益額財產所有者總所得額（地代、利子）被備者所得額（俸給、賃銀）及び租稅公課を調査してその所得額を算出し、政府より上げる個人の所得額は公債利子、郵政貯金利子、恩給年金、官公吏の所得額を加算し、官公署所得額は官業益金並びに地方團體企業益金を合算することとなつてゐる

試驗研究機關を總動員

【新京十一日】政府は國內の各種試驗研究機關を總動員してその創意工夫を戰力増強に集中すると共に試驗研究體制調整方策要綱の策定、全滿主要試驗機關の總力を結集し、その研究成果の迅速なる達成を圖るべきことを期すこととなつた

運輸行政の強化

【新京二十一日】交通部では中央地方を通する運輸行政の強化を期し機構改革後初の各省運輸擔當參事官及び運輸科長會議を二十一日、二日の兩日總務廳講堂において開催、中央側令官陸軍中將 王作震、第○軍管區司令 周大路、第○軍管區司令官 千 徽、第○軍管區司令官 周大路、第○軍管區司令官 千 徽、歩兵旅長陸軍少將 王家良、第○軍管區參謀長陸軍少將 張金詳、陸軍少將 栗野重義、陸軍少將 千百精、第○軍管區參謀長陸軍少將 劉顯良、東滿總省次長 田村仙定、總務廳防空部長事務取扱を解、北安省次長 島崎庸一、任東滿總省次長（簡二） 都甲謙介、任北安省次長（簡二） 松村三次、任開拓總務處參事兼興農部參事開拓總局土地處長（簡二） 馬込信一、任大同學院教官（簡二） 補大同學院總務部長 古館 尙也、任龍江省次長（簡二） 山菅 正誠、任地政總局副局長（簡二） 竹内 節雄、任奉天副市長（簡二） 三井 明義、任三江省次長（簡二）

總理大臣の指定による試驗研究機關または事業體の管理者中から指定研究員を設けて重要研究命令をなす外これら研究成果の急速實用化を必要とする場合には所用の人員、經費、資材施設等の措置を講ずると共にさらの措置につきその決定指導機關として國務總理大臣管理下の軍官にからなる試驗研究部と委員會を創設する

勞務動員を徹底化

【新京廿四日】政府は滿洲國の負擔する戰力増強使命の増大、勞工の對華北依存の困難なる事情に鑑み、これが對策につき目下慎重に検討を行つてゐる、即ち明年度の勞務動員は殆んど國內動員のみで依存せざるを得ない情勢にあるので、一層徹底した國內勞務動員を行ひ、これが配置についても一段と重點配置を強化し、供出勤報隊は本年度に比し更に相當の増加をみる模様であるため計畫後の確實なる動員を期するため地方行政機關の末端にまで動員臺帳の如きものを整備する一方、勞務管理の徹底強化、受入體制の刷新などを行ひ勞務の定着化を圖るなど、明年度勞務政策は畫期的方針を盛るものと期待される

船舶及び帆船の輸送統制

他全輸送部門に亘つて詳細に指示あり、終つて「地方運輸行政緊急促進に關する諸對策」につき交通部の指示あつて第一日を終了、第二日は來年度の計畫について協議した

水上輸送力の統制強化

【新京二十一日】國內各河川による水上輸送に對する輸送需要が益々増大してゐる現況に鑑み、滿洲國交通部では本年度より水上輸送力の統制強化を圖ることになつた、この統制は内河及びその水域について荷主側の年間輸送要請量と現有船舶を眺み合せて行はれるもので、交通部を綜合監督機關とし各港務局指導のもとに航業公會がこれに當る

大學の修業年限短縮

【新京七日】政府は七日「國立大學における臨時年限短縮に關する件」を勅令をもつて公布即日施行した、この結果大學令第七條に規定する本科修業年限は文部大臣の定むるところにより當分の間六ヶ月以内短縮される、右は日本の在學中の徵集延期制の停止、徵兵適齡の引下げなどに依るもので、學生の入營入隊期日との調整を圖り學徒をして後顧の憂なく第一線に出陣せしめんとするにある

人事

△軍異動【新京二日發】一日附定時進級異動
令官陸軍中將 王作震
第○軍管區司令 周大路
第○軍管區司令官 千 徽
第○軍管區司令官 周大路
第○軍管區司令官 千 徽
補第○軍管區司令官 周大路
補第○軍管區司令官 千 徽
補第○軍管區司令官 周大路
補第○軍管區司令官 千 徽
補第○軍管區司令官 周大路
補第○軍管區司令官 千 徽

化、○船及び帆船の輸送統制その

補歩兵第○旅長

王家良
張金詳
栗野重義
千百精
劉顯良
田村仙定
島崎庸一
都甲謙介
松村三次
馬込信一
古館 尙也
山菅 正誠
竹内 節雄
三井 明義

補憲兵訓練所幹事

陸軍少將 千百精
陸軍少將 栗野重義
陸軍少將 千百精
陸軍少將 栗野重義
陸軍少將 千百精
陸軍少將 栗野重義

補混成第○旅長

東滿總省次長 田村仙定
總務廳次長 源田 松三
北安省次長 島崎庸一
任東滿總省次長（簡二） 都甲謙介
任北安省次長（簡二） 松村三次
任開拓總務處參事兼興農部參事開拓總局土地處長（簡二） 馬込信一
任大同學院教官（簡二） 補大同學院總務部長 古館 尙也
任龍江省次長（簡二） 山菅 正誠
任地政總局副局長（簡二） 竹内 節雄
任奉天副市長（簡二） 三井 明義
任三江省次長（簡二）

令官陸軍中將

王作震
周大路
千 徽
周大路
千 徽
周大路
千 徽

第○軍管區司令

周大路
千 徽
周大路
千 徽
周大路
千 徽

經濟

財政金融

明年度豫算編成方針

【東京廿一日】康德十二年度滿洲國豫算編成方針は去

廿三日の國務院會議で決定を見、廿一日參議府會議は通過した、これによれば明年度は政府施策の根本を直接戦力増強に傾注し臨機適切な處置を講じ、以て愈々熾烈化する大東亞戰爭完遂を期するため一段と戦時豫算の徹底化を圖る、特に前年度以上に多額の準備金を計上すると共に新たに更生豫算制度を設けて餘剰金の轉用を行ひ得ることの方針を採り、財政の弾力性及び機動性を強化することとしたことが注目される

即ち明年度豫算編成に當つては、一、施策を直接戦力増強に緊切にして且つ年度中に効果を擧げ得る事業に集中すること

一、既定經費についても右趣旨に基き充分なる檢討を加へ、經費並に定員の重點且つ効率性を圖ること

一、物資及び勞力を多量に要する事業は止むを得ざるものを除きこれを避けること

一、事業の施行に當つても資金及び勞務の綜合活用を徹底しその浪費を避ける措置として所要經費を準備金中に計上する途を開くこと

化するため地方分與稅制度に必要な調整を加へること

一、豫算單價を是正し豫算の合理化を圖ること

貯蓄増加率低調

【東京廿一日】本年度第一四半期の國民貯蓄増加率については經濟部當局で集計中と續く、このほど纏つたので八日發表された、これによつて実績は五億五千三百四十五萬二千圓で年間目標額に對し一八・四パーセントの達成比率である、各期平均達成率二五・五パーセントに對して六・一パーセントの不足であり、これを前年同期の実績比率二二・一パーセントに劣る不成績で、今後なほ一層の努力が要請されてゐる

中銀の上期業績

【東京廿二日】中銀では康德十一年上半期の決算を終へたので二十一日中銀クラブに業務報告懇談會を開催した、業績は貸出収入の増大により當期剩餘金は二千七百六十七萬三千圓に達し前期比八百二十八萬七千圓、前年同期に比すれば一千八十五萬圓の増加である、當期中の諸特徴は次の如くである、一、發行貨幣は時局緊急産業方面への資金需要増を反映して著増、當期末貨幣發行高は三十五億八千四百七十五萬餘圓と前期比五億四千九百九十五萬餘圓の増加となつてをり、期中平均發行殘高は三十一億三千七百五十五萬圓で、前年同期比十四億五千九百二十萬圓の著増であつた、二、政府預金並びに政府貸

普通銀行業務の移讓進捗に伴ひ一般預金の期中平均は前年同期比一億一千七百六十九萬圓の減少を示したが一般貸出並びに割引手形は對金融機關貸出増によりそれぞれ激増、一般貸出の期中平均は前年同期比四億七千四百九十五萬圓増加、割引手形は十一億五千三百七十九萬六千圓の増加を示してゐる、三、國債その他證券は一般消化の良好を反映して期中平均は十七億五千六百六十二萬五千圓と前年同期比二千二百七十七萬八千圓の減少である

興農部で有機證金證書發行

【東京三十日】興農合作社では農村浮遊資金の吸收を圖るため來る十月一日より興農増産有機證金證書を發行、本年度貯蓄目標四億五千萬圓の

一、本年度本備金により獲得する中となつた、本備金は預入期間中毎一年一回抽籤により獎勵金を支給する仕組で署名式となつてゐる、發行期間は毎年十月一日より翌年二月末日までで、預入期間は證書發行期間満了の翌日より起算して滿三年額面金額は一口十圓で滿期拂戻し金額は十圓である、また抽籤は四十萬口をもつて一部と一十部を八組に分ち、部當り獎勵金を十四萬四千圓とし、獎勵金の一等は一組一本で金額は千圓である

農産物増産確實

【東京廿八日】建國以來の農作物に恵まれた昨年引續き本年度滿洲の農産物作況は極めて良好で國內民食の充足とはより對日、對華北向け増送にも充分の成算を持ち日滿食糧自給體制の確立といふ至上命令を完全に果し得る頼もしい自信に満ちてゐる、一

五、五〇は確實に春耕播種開始以來、適温適濕の自然條件と旺盛な農民の増産意欲に加へて官、増産指導の適切とが相俟つて本年度作況は食用、一〇、五〇收穫確實といふ成果を収めるに至つた、二、日滿自給の基礎を成るに當つて對日本向け輸出量が本年のそれを遙かに凌ぐものであらうことが想像される、政府は來る十月の新穀年度開始に備へて蒐意、萬全の態勢を整へつつあり、同時に増産計畫を草荷目標量を基礎とする新年度物動計畫策定についてもその具體案を得るに至つてをり、對日、對華増送には充分の自信を抱いてゐる、特に本年度作況において食用、油料、飼料並に化學工業用として多角的な戰時作物たる大豆の増産が豫想されることは近年減産傾向を辿つてゐただけに頗る心強く、また水陸稻の飛躍的増産、糧穀類、油料子實等の堅實な作物維持等は日本内地、朝鮮、華北各地の民食確保は固より戰時生産に與へる好影響は蓋し大きいものがある、更に朗報の一つに豐作を傳へられる四省から早くも蒐荷計畫のほかに報恩出荷による對日輸送を行ふ旨を誓ふ叫びが擧つてゐる例があり、また農作物ではないが興安總省から食肉の報恩出荷を今から約束してある話題もある、報恩出荷とは政府の供出計畫のほかに農民が自發的に出荷してこれらにすべて親邦へ送らうといふ運動である、以上のやうに本年度農作物の作況好調と對日輸送體制の確立により日滿を通ずる食糧行政の基礎は極めて固いものがあり、

また從來陸路とされた輸送難を解決するため大豆のバラ積輸送計畫が樹てられ政府、滿鐵が共同して日本政府と目下折衝中である

大豆バラ積輸送實施【東京三十日】對日農産物輸送の累増と麻袋供給の現狀に鑑み、大豆の對日バラ積輸送を行ふべく滿洲國政府はさきに稻垣興農部長長らをして日本政府と折衝せしめた結果、この程兩國政府間において該輸送計畫につき最後の決定をみたの目下貨車、船舶その他輸送施設新設の改造を急ぎつつあり十二月早々に豫定通り實現をみる管である、なほ大豆バラ積輸送は昭和十六年滿鐵が試験的に行つたことがあるが、今回の如く本格的實施に移されたことははじめてである

滿洲林産公社の設立要綱決定

【東京四日】政府は林産物緊急増産特別措置要綱に基き滿洲林産公社設立要綱については三日の參議府會議を通過したので弘報から發表した、即ち林産物の飛躍的増産を圖る立場から、政府代行機關として滿洲林業株式會社、滿洲森林伐採協會、滿洲林産統制組合等三者の發展の合併による特殊法人滿洲林産公社（資本金七千萬圓、政府全額出資）を設立することとなり、これに伴ふ滿洲林産公社法の制定を急ぐと共に近く設立委員の任命を俟つて八月十五日正式設立をみる管である、右公社の事業目的は次の通り、一、林産物の收買配給並びに輸出入、二、生産並びに加工に要する勞工、役畜物の管理及機械の獲得配給の幹旋並びに管理、三、生産業者に対する融資、四、生産配給上必要な諸施設の經營、五、生産者及び加工者の輔導育成及び統制

農業

【東京廿八日】建國以來の農作物に恵まれた昨年引續き本年度滿洲の農産物作況は極めて良好で國內民食の充足とはより對日、對華北向け増送にも充分の成算を持ち日滿食糧自給體制の確立といふ至上命令を完全に果し得る頼もしい自信に満ちてゐる、一

五、五〇は確實に春耕播種開始以來、適温適濕の自然條件と旺盛な農民の増産意欲に加へて官、増産指導の適切とが相俟つて本年度作況は食用、一〇、五〇收穫確實といふ成果を収めるに至つた、二、日滿自給の基礎を成るに當つて對日本向け輸出量が本年のそれを遙かに凌ぐものであらうことが想像される、政府は來る十月の新穀年度開始に備へて蒐意、萬全の態勢を整へつつあり、同時に増産計畫を草荷目標量を基礎とする新年度物動計畫策定についてもその具體案を得るに至つてをり、對日、對華増送には充分の自信を抱いてゐる、特に本年度作況において食用、油料、飼料並に化學工業用として多角的な戰時作物たる大豆の増産が豫想されることは近年減産傾向を辿つてゐただけに頗る心強く、また水陸稻の飛躍的増産、糧穀類、油料子實等の堅實な作物維持等は日本内地、朝鮮、華北各地の民食確保は固より戰時生産に與へる好影響は蓋し大きいものがある、更に朗報の一つに豐作を傳へられる四省から早くも蒐荷計畫のほかに報恩出荷による對日輸送を行ふ旨を誓ふ叫びが擧つてゐる例があり、また農作物ではないが興安總省から食肉の報恩出荷を今から約束してある話題もある、報恩出荷とは政府の供出計畫のほかに農民が自發的に出荷してこれらにすべて親邦へ送らうといふ運動である、以上のやうに本年度農作物の作況好調と對日輸送體制の確立により日滿を通ずる食糧行政の基礎は極めて固いものがあり、

④、林産物の改善發展上必要なる事項、⑤、前各項に關聯する事業に對する投資

滿洲國農産物管理法制定

【新京十三日】政府は今同農産物管理法並びに同施行規則を制定、十四日公布即日施行した、現行農産物統制法令は特産物專管法、糧穀管理法及び米穀管理法の三法によつてゐるが、今回これらの一元的統制を行ひ需給の現段階に即應する強力且つ綜合的統制系統を整備した、しかし新管理法は原則として舊三法の統制方式を繼續し、ただ米穀管理中の水點造成に關する生産統制を除外したほか、新法の對象となるべき統制品目範圍は新たに從來指定加工品たりし小麦粉ほか五品目及び將來南方の油脂用農産物加へられたこと、農産物收買は原則として農産公社が行ふこと、その他糧糶總會の法人化を始め農産物價格、保管、加工搬出、消費等の流通面においては新たに適切有效なる統制措置を講ずることとした

農産物の收配金農會が一手取扱

【新京四日】特約買入制度廢止による蒐荷機構の變革に伴ひ滿洲農産公社は糧糶組合に對してその收買業務を委任し收買資金の前渡しを行ふこととなり、これが出納については農金支店において行ふことに決定したが、これが具體的運管方法については豫てより農産公社と滿洲興農金庫間に打合中のところ、このほど兩者間に協定成立、康德十一年糧穀年度における農産物收買資金及び配給代金の現地受拂ひは農金において一手に取扱ふことに正式決定した

糧糶組合順調に再編成

【新京十日】特約收買人廢止に伴ふ地方糧糶組合の法人化による再編成は新穀出廻期切迫と共に順調な進捗を示し七月末現在において約八割を完了、本月中旬までには全滿を通じ再編成を終る見込みである、即ち吉林、濱江、龍江等の重要生産地帯は既に法人化完了、通化その他においては目下結成を急ぎつつありまた近く新穀出廻が豫想される麥作地帯は何れも既に新方式による收買組織を整備するに至つてゐる、しかし新糧糶組合は各地とも舊特約收買人たる三井、三菱その他の資本参加が概ね行はれてをり、その熱意も極めて旺成なものがあり舊收買業者の資本、技術、體験は集約的に新糧糶組合に注入されつつあることは注目される

義倉制度の強化

【新京十日】滿洲國における義倉制度は去る康德二年公布の義倉管理規則により運営されてゐるが、現下諸情勢に鑑みこれを根本的に擴充強化し眞に決戦下の國家的厚生機關とならしめるべく目下民生部を中心にこれが法制化を急いでゐる、即ち滿洲は古くから旱害、冷害、風水害等天災地變の多い土地であるためかうし災害時に備へるため義倉、社會等が自然發生的に街村を單位として發達し現行の制度もまた建國前からの慣習的の舊制度を殆んどそのまま踏襲して今日に至つたものであるが、今同これに根本的修正を加へ決戦下の國家的厚生機關として新發足させ非常災害時における賑恤の徹底を圖ると共に農村食の自主的解決に寄與し街村自興の根柢を培ひ民心の安

定並びに農産物の増産を期さうといふのがその狙ひである

滿拓養蜂會社設立

【牡丹江七日】東北滿洲に無盡藏に繁茂する野生草花を利用して大養蜂を行ふため滿拓では資本金二百萬圓をもつて養蜂會社を設立した、同社は本社を哈爾濱に置き東北滿各開拓地を指導して一ヶ團十萬群を目標に養蜂を行はせる方針である、從來酷寒の滿洲には大規模な養蜂は不可能であつたといはれてゐたが、中央農業で囑託小島廣次氏の研究の結果氣候も地勢上から見ても東滿地方は絶好の條件を具備してゐることが判明、昨年渡滿以來幾多の試験を経てこのほど漸く大陸の大規模養蜂に成功したものである

牛馬豚血粉の採取を積極化

【新京二十九日】牛馬豚などを屠殺するときに流れる血液を乾燥して造つた血粉はベニヤ板製造の優秀な膠着材であり、興農部では廣く之が採取運動を展開することになり、その第一着手として二十八日新京屠殺場で新京特別市、吉林省、四平省の關係協議會を開催した、血粉を使用しベニヤ板は極めて堅固でしかも防水、電氣の不傳導性などを有し木製飛行機、木造船の合板骨格材として理想的とされ、從來捨ててゐた血液は今後滿鐵の出張所の手で全面的に收買されることとなつた

淡水魚族の研究所設置

【齊々哈爾七日】鹹水魚に惠まれぬ滿洲國にとつて淡水魚の緊急増産は職時下の喫緊事としてさきに政府でも國內水産物緊急増産對策要綱を決定したが、一方淡水魚族の調査、研

究についてはいまだ十分でない點が多い状態なので全滿淡水魚漁獲高の過半数を占める龍江の龍江水産開發會社では同社に魚族調査研究所を設置、本格的調査、研究を開始するべく準備を進めてゐるが、同所の調査研究によつて激江水系の魚族が學術的に明かにされるばかりでなく水産物緊急増産上にも寄與するところ大なるものありと期待されてゐる

蒙古桑の纖維化進捗

【奉天十六日】滿洲國における纖維資源の一翼を擔つて蒙古桑の纖維化が滿蒙毛織會社で着々進められてゐる、蒙古桑は内地桑に類似し同社の誇る雜草の纖維化方法と同様の作用により蒙古桑の莖から纖維を搾取するもので先づ莖を剥皮して發酵させ注油をして先づ特殊の分離行程を施す立派な纖維となる、纖維は強靱で弾力性を有し羅紗、毛巾等毛織物は勿論柔軟の特性を生かせばサージの如き薄織前にまで用途は可能であることが研究の結果實證された、蒙古桑は滿洲國內の土地にも活着率がよく三年程度で立派に成育する特性を持つ關係上原料資源には不足を來す心配はなく、これを多量移植すれば安配はなく、これを多量移植すれば安産化は戦後纖維界の生産増強に寄與するところ大なるものがあると期待がかけてゐる、また蒙古桑はパルプ漂白劑材を始め、桑の實はアルコール分を多量に含有しその用途は廣い

漢藥の増産運動展開

【新京十日】滿洲漢藥統制中央會社は漢藥の緊急増産對策を樹立、國內

こととなり、このほど關係各機關の代表者參集協議の結果國産品蒐荷の隘路打開については、蒐荷及び收買機構を整備時に末梢機構を整備するとともに從來の採集業者を活用する、③採集に當つては國民學校兒童を活用して蒐荷の徹底を期する、④全滿に採集方法の講習會を開催するなほ蒐荷は重要藥草に對する採集要藥草の保護育成については委員會を設置し、保護すべき藥草種類並びに保護地域の指定、採集時期の制限採集從事者の指定等を行ふことになつた

食糧自給農場設置累増

【新京二十三日】國內主要事業體の食糧自給を圖るため昨年度より實施中の自給農場設置計畫に滿鐵、滿電を始めとする特殊會社、特殊團體などより設立申込殺到し、本年度は現在までに興農部において認可せるもの四十七件、(三百ヘクタール以上のもの)累計三萬五千ヘクタールに及ぶ盛況である、なほこのほか省、縣認可の三百ヘクタール以下のものが相當ある見込みで、これらはいづれも認可と同時に農地造成、改良に着手してをり、昨年度の一萬七千ヘクタールと併せると五萬二千ヘクタールとなるが來年度は更に三萬六千ヘクタールの増加が見込まれてをり、各事業體自給農場設置は今後も累増が豫想され、食糧増産はこの方面よりも一段と實績を收めるものと期待される

第一四半期の出炭好調

【新京六日】滿洲石炭協議會調査による第一四半期出炭狀況は各炭礦とも好調を續け二、三小炭礦の減産を除いては

全面的に順調な出炭振りを示し計畫目標至近の好成绩を擧げるに至つたこれを昨年の同期に比すると相當大巾の増産であり更に夏期増産期間に入つた七月の出炭成績も良好である

滿山、特鐵、鉛鐵三社合併

【新京七日】滿業では人的、物的資源を最高度に活用するとともに日本鑛業の優秀なる技術、手持機材等を積極的の導入して子會社滿洲鐵山の強化擴充を圖るため、滿洲鐵山の姉妹會社たる滿洲鉛鐵、滿洲特殊鐵鐵の兩社を滿山に吸收合併した、合併の要領は滿山(資本金一億五千萬圓)が鉛鐵(資本金五千萬圓)特殊鐵鐵(六千萬圓)兩社の株式を買収し、資本金は現在の一億五千萬圓とし八月一日より新發足した、從來滿山は非鐵金屬一類、鑛鉛は鉛及びモリブデン、特鐵はヴァナジウムの開發に當つて來たもので、三社合併による綜合經營によつて非鐵金屬の飛躍的増産が期待される、なほ社長に諒事日本鑛業常務が取締役會長に高橋達之助氏が就任した

輕金屬生產機器四社に生産命令

【新京十六日】政府は輕金屬生産計畫の確保を期するため輕金屬生産用機器の製造業者滿洲工廠始め四社にたいし十六日産業統制法第十一條第三號に基づく生産命令を發動、納期の嚴守方につき四社責任者を經濟部に招致、命令を傳達した、重要産業に對する生命令産は既に鑛業統制法に基いて鐵、石炭に發せられたが産業統制法に基く生産命令は今回が初めてである

鐵道貨車塗料代替品を製造

【奉天二十二日】奉天鐵道技術研究所でかねて研究の鐵道貨車塗料代替品の製造はこの程完成、企業化の見透しがついたので資本金百萬圓(滿鐵、大信洋行折半出資)をもつて新會社を設立大量生産を圖ることとなつた、新塗料は北滿地區の松樹を原料としてこれを乾溜し若干の化學藥品を加へて生産するものである

關東軍が工場表彰

【新京二十三日】滿鐵撫順炭礦〇〇工場及び滿蒙毛織株式會社は戦争遂行上その戦力増強に貢献することから極めて大なりとして關東軍司令官から表彰され、二十二日右二工場に對し表彰状が授與された

炭礦保安協力委員會を設立

【新京二十三日發】炭礦保安の確立を圖るため政府及び關係機關関係者により滿洲炭礦保安協力委員會がこのほど設立された委員會は滿洲石炭協議會内に置き經濟部燃料局長以下關係官、在滿各大學探礦教授、勞務報國會代表及び各統制炭礦最高責任者を顧問、參與とし、會長には石炭協議會生産部長杉野理事が就任した會の主なる事業は次の通り

- △保安技術向上に關する諸研究並びに實施協力△保安技術交流方策の考究並びに實施協力△保安技術研究事項の發表及び表彰に關する事項△救護作業に關する事項△保安技術者の養成に關する事項△保安機器並びに用品改善の研究及びその一統單純化に關する事項並びにその新規採用可否の諮詢△特に炭礦處理促進に關する事項△事故原因の探究並びに對策檢討

酒石酸の製造好調

【新京二十三日】科學戰に不可欠な酒石酸の製造奮勵のため農商部では各局長を班長とする酒石酸製造激勵

工作班七班を現地派遣したが、このほど全滿各地の生産状況を齎してそれぞれ歸京した、この報告によると徹底した技術の指導と學徒動員による勞務問題の解決によつて山葡萄酒の採取は當初の計畫を樂々と突破し一部着手した製品も二十日現在で豫定總數量の三割を確保するといふ

開拓

【新京九日】收穫期を迎へた全滿八百の開拓團の作況は内地開拓民の旺盛なる増産意欲と適時適雨の天候に恵まれ順調なる作柄推移を辿つてゐるが、開拓總局最近の調査によれば作付面積は青年勇隊報國農場を除いた日本内地人開拓團だけで約三十萬ヘクタールに達し、昨年比約八割の増加を確保、これに單位面積當りの増收を加へ本年度の目標である増産倍加は殆んど確實と見られる、即ち南滿地方は最速の天候に恵まれ申分なく、多量の降雨を見た中滿も連日の氣温上昇のため發育極めてよく、氣遣は雨によりもち直るといふ狀況で、作物別に見れば水稻、大豆が特に良好で高粱、包米なども何れも平年作以上の出來榮えである、なほ全滿開拓團の種目別作付面積は次の通り、

短 信

【四日】鞍山、本溪湖、大連地區に敵機來襲、我が方被害なし
【十二日】哈爾濱市に人馬糞を原料とする西北滿肥料會社(六十萬圓)設立
【廿一日】西山滿洲中銀總裁日本側と金融業務打合せの爲め東上
【廿四日】農地開發公社理事大石義郎氏は滿洲國政府に復歸、後任に木村喜徳氏が發令された
【廿五日】滿洲生命では保險料の單位を圓單位に十一月一日より切上實施に決定
【廿九日】守島公使滿洲里渣

關 東 州

價格平衡金庫設置
【九日】政府は滿洲國物價調整問題解決のため關東州に價格平衡金庫制度を創設することになり、勅令案一關東州價格平衡金庫設置に關する件」を四日の閣議で決定、九日公布九月一日より實施の運びとなり、同日午後大東亞省よりその内容を發表した同金庫は基金百萬圓(金額政府支出)をもつて創設され、關東州における諸物資の價格平衡を圖るため價格引上げを要する物資につき價格平衡徵收金を徵收、引下げを要する物資につき價格平衡交付金の交付を行はんとするもので、これが運用に當つては滿洲國經濟平衡資金部との一體的

滿洲疎開者受入準備

【新京十六日發】滿洲國では日本の都市疎開に協力するため、疎開者受入れの準備を着々進める、これが受入れ施設として一部宿舍の新築、個人家屋、協同宿舍及び報國農場施設などの遊休施設を徹底的に調査開放各農場ではまづ一ヶ年を現行報國農場隊員並みに取扱ひ、定着希望者は歸農開拓團員として適當なる團に補充入植せしめる

新滿拓總裁談

【新京十八日發】滿拓新總裁齋藤藤平太中將は十七日入京の車中滿洲の開拓政策は日滿兩國の國家的政策として強力推進する要あり、また内地疎開問題の解決は滿洲移住が最適策であると語つた

開拓團の農作倍加

【新京九日】收穫期を迎へた全滿八百の開拓團の作況は内地開拓民の旺盛なる増産意欲と適時適雨の天候に恵まれ順調なる作柄推移を辿つてゐるが、開拓總局最近の調査によれば作付面積は青年勇隊報國農場を除いた日本内地人開拓團だけで約三十萬ヘクタールに達し、昨年比約八割の増加を確保、これに單位面積當りの増收を加へ本年度の目標である増産倍加は殆んど確實と見られる、即ち南滿地方は最速の天候に恵まれ申分なく、多量の降雨を見た中滿も連日の氣温上昇のため發育極めてよく、氣遣は雨によりもち直るといふ狀況で、作物別に見れば水稻、大豆が特に良好で高粱、包米なども何れも平年作以上の出來榮えである、なほ全滿開拓團の種目別作付面積は次の通り、

運用を圖り、滿洲を通ずる價格一體化の確立を期することとなつてゐる

對し廿九日徵用令施行規則並に同附則たる旅費規則、徵用扶助規則、徵用工服規則等の五規則を同時に、關東司令をもつて公布、九月廿日より實施した

【昭南新聞會異動】昭南新聞會では五日附を以て異動を發表した、主なるもの如し

は答申書と報國決議であつた、即ち最高指揮官の諮問事項(勞務防衛戰士の急進實現)に對する「參議院の答申」は勞働に對する新理念の確立

【大連二十五日發】關滿當局では豫て海洋漁業の經營を關滿一體的に運營する目的をもつて關滿海洋漁業會社(假稱)設立することに決定、二十五日第一回發起人會を開催した

【關東州學徒も通年動員】關東局では實施中の學徒勤勞動員を擴充して全學徒を收容廣範圍に配置し一ヶ年を通じて勤勞奉仕せしめる途を開き勤勞、即教育、工場、即學校の戦時學校體制を確立することに決定、目下受入側の選擇、動員中の學徒の身分給與、保健問題及び上級學校入學志望者に對する措置等について關係各機關と折衝中であるが、遅くも九月中旬迄に制定公布するよう成案を急いでゐる

昭南新聞會スマトラ總支部長兼スマトラ新聞社長、バダン日報社長へ

の勝利如何に懸つてゐる、萬一敵米英がジャワに上陸して來る場合にはたとへば徒手空拳であつても敵を撃滅せねばならぬ、米英の壓制下に呻吟するより寧ろ民族の死を擇ぶよめ烈々たる決意を披瀝し全議員ははじめ傍聴者に深い感銘を與へジャワ建設史上永久に記録されることである

【大連廿九日發】關東局では國家總動員法發動による關東州徵用令が七月廿五日勅令を以て公布されたのに

【昭南新聞會スマトラ總支部長兼スマトラ新聞社長、バダン日報社長へ】昭南新聞會スマトラ總支部長兼スマトラ新聞社長、バダン日報社長へ

昭南新聞會スマトラ總支部長兼スマトラ新聞社長、バダン日報社長へ

【昭南新聞會スマトラ總支部長兼スマトラ新聞社長、バダン日報社長へ】昭南新聞會スマトラ總支部長兼スマトラ新聞社長、バダン日報社長へ

【大連廿九日發】關東局では國家總動員法發動による關東州徵用令が七月廿五日勅令を以て公布されたのに

【昭南新聞會スマトラ總支部長兼スマトラ新聞社長、バダン日報社長へ】昭南新聞會スマトラ總支部長兼スマトラ新聞社長、バダン日報社長へ

昭南新聞會スマトラ總支部長兼スマトラ新聞社長、バダン日報社長へ

【昭南新聞會スマトラ總支部長兼スマトラ新聞社長、バダン日報社長へ】昭南新聞會スマトラ總支部長兼スマトラ新聞社長、バダン日報社長へ

南方諸國

政者地域

奢侈品稅新設

【タイピン七月卅一日發】マライ軍政監部ではマライ財政の健全化をはかるとともに通貨を是れは保存することとなつてゐるが、これに違反する者は三百ドル以下の罰金に處せられる



寫眞機(航空機用、顯微鏡用のものを除く)寫眞引伸機、映寫機、時計皮革製品、化粧品類、家具類等である、今回の奢侈品稅は南方軍政地區としての最新のもので課税の対象たる物品に關しては軍政當局は直接干與せず納税の成果は一に販賣業者の軍政當局に對する良心的協力に俟つこととしてゐる、小賣業者は物品毎に販賣價格及び奢侈品稅相當額を表示し、これらの物品を販賣したる場合には購買者に領收證を交付し、寫しは保存することとなつてゐるが、これに違反する者は三百ドル以下の罰金に處せられる

【ジャカルタ十八日發】ジャワ第四回中央參議院は當面の緊急問題たる勞務對策をはじめその他諸問題について十二日より五日間に亘る眞剣な討議を行ひ十六日閉會したが、その成果は次の如くである

【ジャカルタ二十四日發】現地住民に廣く經濟分野の運営に参加せしめその經濟能力を向上せしめるため、軍政監部では今回新に軍政監部產業部外局として住民經濟局を設置、住民經濟關係事務の處置に當ることとなつた、今回新設の住民經濟局は總務課、企業課、組合の三課に分れ、總務課は軍政監部他部局との連絡に當り、企業課は農耕牧畜、水産、商業などの各部門にわたり現地住民企業家の助長育成に關する研究指導の他現地住民の職業指導技術者の養成などを行ひ組合課は住民共同組合指導育成に當るが、住民經濟局の新設によつて住民經濟新體制施策は今後活潑に實施にうつされることとなつた

珊瑚、琥珀、象牙、七寶の各製品、金に處せられる

【ジャカルタ十八日發】ジャワ第四回中央參議院は當面の緊急問題たる勞務對策をはじめその他諸問題について十二日より五日間に亘る眞剣な討議を行ひ十六日閉會したが、その成果は次の如くである

【ジャカルタ二十四日發】現地住民に廣く經濟分野の運営に参加せしめその經濟能力を向上せしめるため、軍政監部では今回新に軍政監部產業部外局として住民經濟局を設置、住民經濟關係事務の處置に當ることとなつた、今回新設の住民經濟局は總務課、企業課、組合の三課に分れ、總務課は軍政監部他部局との連絡に當り、企業課は農耕牧畜、水産、商業などの各部門にわたり現地住民企業家の助長育成に關する研究指導の他現地住民の職業指導技術者の養成などを行ひ組合課は住民共同組合指導育成に當るが、住民經濟局の新設によつて住民經濟新體制施策は今後活潑に實施にうつされることとなつた

住民經濟局新設

【ジャカルタ二十四日發】現地住民に廣く經濟分野の運営に参加せしめその經濟能力を向上せしめるため、軍政監部では今回新に軍政監部產業部外局として住民經濟局を設置、住民經濟關係事務の處置に當ることとなつた、今回新設の住民經濟局は總務課、企業課、組合の三課に分れ、總務課は軍政監部他部局との連絡に當り、企業課は農耕牧畜、水産、商業などの各部門にわたり現地住民企業家の助長育成に關する研究指導の他現地住民の職業指導技術者の養成などを行ひ組合課は住民共同組合指導育成に當るが、住民經濟局の新設によつて住民經濟新體制施策は今後活潑に實施にうつされることとなつた

【ジャカルタ二十四日發】現地住民に廣く經濟分野の運営に参加せしめその經濟能力を向上せしめるため、軍政監部では今回新に軍政監部產業部外局として住民經濟局を設置、住民經濟關係事務の處置に當ることとなつた、今回新設の住民經濟局は總務課、企業課、組合の三課に分れ、總務課は軍政監部他部局との連絡に當り、企業課は農耕牧畜、水産、商業などの各部門にわたり現地住民企業家の助長育成に關する研究指導の他現地住民の職業指導技術者の養成などを行ひ組合課は住民共同組合指導育成に當るが、住民經濟局の新設によつて住民經濟新體制施策は今後活潑に實施にうつされることとなつた

【ジャカルタ二十四日發】現地住民に廣く經濟分野の運営に参加せしめその經濟能力を向上せしめるため、軍政監部では今回新に軍政監部產業部外局として住民經濟局を設置、住民經濟關係事務の處置に當ることとなつた、今回新設の住民經濟局は總務課、企業課、組合の三課に分れ、總務課は軍政監部他部局との連絡に當り、企業課は農耕牧畜、水産、商業などの各部門にわたり現地住民企業家の助長育成に關する研究指導の他現地住民の職業指導技術者の養成などを行ひ組合課は住民共同組合指導育成に當るが、住民經濟局の新設によつて住民經濟新體制施策は今後活潑に實施にうつされることとなつた

【ジャカルタ二十四日發】現地住民に廣く經濟分野の運営に参加せしめその經濟能力を向上せしめるため、軍政監部では今回新に軍政監部產業部外局として住民經濟局を設置、住民經濟關係事務の處置に當ることとなつた、今回新設の住民經濟局は總務課、企業課、組合の三課に分れ、總務課は軍政監部他部局との連絡に當り、企業課は農耕牧畜、水産、商業などの各部門にわたり現地住民企業家の助長育成に關する研究指導の他現地住民の職業指導技術者の養成などを行ひ組合課は住民共同組合指導育成に當るが、住民經濟局の新設によつて住民經濟新體制施策は今後活潑に實施にうつされることとなつた

【ジャカルタ二十四日發】現地住民に廣く經濟分野の運営に参加せしめその經濟能力を向上せしめるため、軍政監部では今回新に軍政監部產業部外局として住民經濟局を設置、住民經濟關係事務の處置に當ることとなつた、今回新設の住民經濟局は總務課、企業課、組合の三課に分れ、總務課は軍政監部他部局との連絡に當り、企業課は農耕牧畜、水産、商業などの各部門にわたり現地住民企業家の助長育成に關する研究指導の他現地住民の職業指導技術者の養成などを行ひ組合課は住民共同組合指導育成に當るが、住民經濟局の新設によつて住民經濟新體制施策は今後活潑に實施にうつされることとなつた

【ジャカルタ二十四日發】現地住民に廣く經濟分野の運営に参加せしめその經濟能力を向上せしめるため、軍政監部では今回新に軍政監部產業部外局として住民經濟局を設置、住民經濟關係事務の處置に當ることとなつた、今回新設の住民經濟局は總務課、企業課、組合の三課に分れ、總務課は軍政監部他部局との連絡に當り、企業課は農耕牧畜、水産、商業などの各部門にわたり現地住民企業家の助長育成に關する研究指導の他現地住民の職業指導技術者の養成などを行ひ組合課は住民共同組合指導育成に當るが、住民經濟局の新設によつて住民經濟新體制施策は今後活潑に實施にうつされることとなつた

【ジャカルタ二十四日發】現地住民に廣く經濟分野の運営に参加せしめその經濟能力を向上せしめるため、軍政監部では今回新に軍政監部產業部外局として住民經濟局を設置、住民經濟關係事務の處置に當ることとなつた、今回新設の住民經濟局は總務課、企業課、組合の三課に分れ、總務課は軍政監部他部局との連絡に當り、企業課は農耕牧畜、水産、商業などの各部門にわたり現地住民企業家の助長育成に關する研究指導の他現地住民の職業指導技術者の養成などを行ひ組合課は住民共同組合指導育成に當るが、住民經濟局の新設によつて住民經濟新體制施策は今後活潑に實施にうつされることとなつた

大河たる東部ジャワのプランタス河の氾濫を防ぎ沿岸數百萬の農民を水害から救ふため昨年二月一日着手されたケデリ州の治水工事は着工以來一年有半軍政監部、州廳、現地住民一體となつて進められてゐたがこのほど幾多の困難を克服して完成、七月三十一日午前十一時から同工事現場において最高指揮官臨場の下に着工當時から最近まで同工事に盡瘁した木原ブリアンガン州長官(前ケデリ州長官)も出席盛大な竣工式を舉行した、この結果幾千年來北流してゐたプランタス河の水は一瞬のうちに南流し始め參列者一同の破れるやうな歡呼のうちに水は大洞を通じインド洋に落下し始めた、現在までに所要經費七百七十五萬ギルダ二ヶ年半の日數のほか、勞務者出動總延人員二百萬人を要した



海軍軍政區に事業査察制

【マカツサル十四日發】海軍軍政當局では決戦必勝態勢確立の萬全を期するため今回新たに事業査察制度を設け、十五日以降マカツサルをはじめ管下各地事業の全般に亘つて徹底的に査察を行ひ、資材並に人的資源の全力を擧げて重點事業の促進を圖ることとなつた

原任民給與統制令公

【マカツサル廿九日發】海軍現地當局は戦力増強資源の開發および建設諸産業に雇傭された原任民職員を制し事業原任民暫定給與統制令を制定實施した、従來これら事業關係原任民職員にたいしては何ら給與規定がなく、加ふるに諸事業の飛躍的進捗にともなひ各事業場における原任

民職員の給與引上げによる争奪は益々激しくなる傾向にあつたが、給與統制令實施によつてこれを是正し、事業の圓滑な運営を期するとともに事業經費の膨脹と物價昂騰の抑壓に資せんとしたものである、本令の對象は一般民間業者に雇傭される原任民職員の給與であつて、船員及び一般勞務者は含まれてゐない、初任給の最高額(一三〇ギルダ)、及び昇給規定は原任民官廳職員給與令との均衡を考慮してをり、これにより海軍軍政地域における一切の原任民職員の給與は一律に規制されたわけである

布内地向送金手續を簡易化

【マカツサル八日發】現地海軍當局は在留邦人の内地向送金爲替管理令規程の一部を改正實施した、同改正令によれば従來在留邦人一人につき一ヶ月の送金額が二百ギルダを超える場合は現地當局の許可を要したのを簡易化し、現地向ける貯蓄及び内地向け旅行者の旅費送金(一口一千ギルダ)までは爲替取扱銀行において現地當局宛事後報告すればよいこととなつた

帆船十三隻一舉進水

【マカツサル二十一日發】セレベス民船運航會の帆船倍増建造計畫が見事奏功、一舉十三隻(四十トン型)の進水式が二十二日南部セレベスにおいて多數關係者の歡呼の裡に舉行された、帆船の一手統制に當るセレベス民船運航會では決戦輸送の緊急性を鑑み本年初頭計畫された帆船建造計畫をその後倍増達成に變更、凡ゆる物的不足を克服すると同時に生産隘路の探究に努め原任民船大工の效率的作業の促進を圖りつつあ

つたが見事奏功、今回のごとき大量進水をみたのであるが大型帆船の一舉十三隻、總トン數五百二十トンの進水はセレベス帆船建造開始以來初の快舉である

海上防護團結

【マカツサル發】現地邦人、原任民で組織する南部セレベス防護團本部は従來の地上防護に加へるに今回海上防護隊を組織、空襲下の海上防護に當ることとなつた、編成は民船運航會並びにマカツサルの水産に従事する邦人、原任民を糾合、發動機艇及び帆船數隻をもつて一朝有事の際に港内民船船地附近一帯並びに港口附近の監視警戒に當る

セレベス短信

【九日】同盟戦死三社員(大嶽、脇本、林)現地葬舉行(マカツサル支社) △帆船建造対策會議開催

食糧増産施設の一環としてバンジュエのラミン市郊外の大濕地を水田化するための延長二十一キロにおよぶ治水工事がこのほど完成をみたので盛大な竣工式を行つた、同工事は三十餘年前、舊蘭印時代にも計畫されたが實現をみず今日に至つた當時二ヶ年と豫定された工事日程を僅々一ヶ月の短時間で見事に完成したのである

銀行預金拂戻

【アビ二日發】現地軍當局では豫ねて横濱正金銀行によつて清算中の敵性チャータード、ステート兩銀行の預金拂戻を來たる九月一日より實施することになつた

北米ルネオ二敵性

皇軍が北ポルネオ裁定當時チャータード、ステート兩銀行は預金の大部分を英本國に送金し破産状態にあつたが、民生の向上を圖り現地住民のわが施策に對する協力的態度に酬むため今回の特別措置が講ぜられるに至つたもので、拂戻率は國籍の如何を問はず一律に預金高の三割である

表し、同時に右に關するコンミュニケを發表した、これにより佛印の戰時體制は本格的整備を完了、ドクトー總督を首班とする佛印の大東亞的性質は飛躍的に強化するものと期待される、しかしてこれが趣旨徹底を期するためドクトー總督は数日前より兼に創設せられた最高評議會常議員をはじめ各州理事長官をダラツトへ招致、既に一部とは要談をよびてゐるが、廿三日より正式に最高評議會及び理事長官會議を開催する模様である、本會議においてドクトー總督は全權を委任された事實を正式に表明、支持を求めるとともに今後の對日協力政策推進を中心に佛印の直面前の重要問題に關し協議するものと見られる

佛印

【サイゴン廿一日發】佛印對する全權委讓の發表に引續き佛印政廳は今朝再びラジオを通じ右措置は發表と同時に效力を發生せる旨公表した、この公表によればドクトー總督は一九四三年二月十八日附の非常權限委讓に關する本國法を昨二十日附を以て佛印に適用する旨總督令に署名即日公布ととも實施した

ドクトー總督に戰時獨裁權附與

【サイゴン廿一日發】佛印對する全權委讓の發表に引續き佛印政廳は今朝再びラジオを通じ右措置は發表と同時に效力を發生せる旨公表した、この公表によればドクトー總督は一九四三年二月十八日附の非常權限委讓に關する本國法を昨二十日附を以て佛印に適用する旨總督令に署名即日公布ととも實施した

【サイゴン廿一日發】佛印對する全權委讓の發表に引續き佛印政廳は今朝再びラジオを通じ右措置は發表と同時に效力を發生せる旨公表した、この公表によればドクトー總督は一九四三年二月十八日附の非常權限委讓に關する本國法を昨二十日附を以て佛印に適用する旨總督令に署名即日公布ととも實施した

せられたり、かかる情勢は久しき以前より豫測せられたる所に於て一九四三年二月十八日附法律の公布を見たるは實にこの所以に外ならず右法律第九十號は本國との電信杜絶に際し余に特別権限を附與するものにして、本國政府首相は右法律において憲法第十二條および同條附則に準據し閣議の承認を得て次の如く規定せり

第一條 佛本國および印度支那との間の連絡杜絶せる場合、右杜絶の全期間に亘り現存法律によつては當然本國政府の承認を必要とする如き事項に關しても一切これを決定施行するの権限を臨時に總督に對し附す(以下略)

右全權委任については既にドクター總督に對し本國政府より訓電あり、たとへ連絡が完全に杜絶するに至らざる時といへども、これを實施して差支へなき旨承認してきてをり、ドクター總督は茲に佛印戰時措置を施行し得る實質上の元首に比すべき地位を得た譯である

これがためには總督の署名する總督令を新に公布することが絶對必要であつた、總督は又本國の法律乃至法令といへども自己の判斷によりこれを公布を延期する権限を存してゐたに一九四〇年七月十一日までには總督の立法権が寧ろ國家首席より大きい點もあつた、それは本國における法律の公布には最大限一ヶ月の猶豫をおくことが必要であつたに拘はらず同一法律を佛印に適用する場合かかると猶豫は全然必要になつたことである、今回の権限獲得によつてドクター總督は一切の立法権を得、隨時必要に應じ如何なる法令をも制定實施出来ることになつた

二、外交権限、外交については總督は何等恒久的権限を有してなかつた即ち總督は本國政府の許可なくして外交交渉を行ふことを得なかつた訓令に基いて外國政府との間に條約協定又は取極めの成立に必要な権限を行使することが出来るほか佛印駐在の外國使臣と外交關係維持に當ることが出来る、今回の権限委譲により條約締結等の一切の外交権限をも獲得した譯である

三、軍事上の権限 佛印防衛に對し總督は佛印駐屯陸海空軍に對する區處權を有してをり、外國の侵略に對する防衛行動の場合以外の軍事行動は總督の許可なくしてはとり得なかつた、ただ指揮權は總督に屬してゐなかつた、佛印防衛に對しては陸軍最高指揮官(現在エー中將)これを設定し、海空軍指揮官(ペランセ海軍中將及びタヴエーニル空軍少將)は必要なる資料を提供することになつてゐる、外國の侵略

を受けたるか又は國內に重大なる事態が発生したる場合總督は戒嚴令を布告することが出来る、以上が今までの軍事上の總督権限であつたが、新權限移譲により總督は陸海空軍の指揮權を獲得する三軍最高指揮官となつた

四、財政上の権限、從來でも總督は佛印の豫算編成には殆んど全權を有してゐたが、税の點においては本國政府が處理權を留保してゐた、又官制府が處理權を留保してゐた、又官制府の處分に對しては本國政府の制肘を受けてゐたのであるが、今やこれら一切の留保、制肘は撤廢されたと同様であり、ドクター總督は財政上でもあらゆる権限を行使できる譯である、佛印總督であると同時に太平洋佛領高等事務官たるドクター總督は又ニューカレドニア其他東亞に在る佛領地に對する一切の権限獲得、これら地域に對しても同様の獨裁的権限を有してゐる

【サイゴン三日發】戰時自立經濟確立に邁進しつつある佛印では各種統制の徹底的強化を斷行、最近官報に掲載される法令は大部分經濟統制關係によつて占められてゐるが、最近の主要なる強化策をあげれば次の如くである

一、輸送制限強化 輸送關係はかねてより重點主義を採つてきたが、特に鐵道輸送は超重點主義を採用、日佛印間の話し合ひによる鐵道輸送量との制限を課して民需輸送には相當嚴格なる例外を課して来た、しかし民需輸送の順位決定には經濟局長官及び鐵道當局代表を正副委員長とする輸送委員會が當り、毎月十五日までに經濟局に提出される申請に基き決定を下してゐたが、八月一日以降は申請書提出期限を月の十日までに短縮するとともに、從來月〇〇トンの貨車を振り向けてゐた民需物資輸送量を相當大巾に縮減することとなつた、なほ民需物資は生必物資以外のものは貨車の豫備ある場合に隨時輸送される、しかしして不急の旅行並びに二鳥的効果を狙ひ政廳では最近旅行及び物品輸送に對する附加税を大中に引上げたのみならず旅行税には更に別の税が新設され三等一ビートル、四等〇・五ビートルが基本税として徴收され、これに旅行距離に應じた附加税が追加される、物品輸送の基本税は従量トン三ビートルであつたが、今回の改正により五ビートルに引上げられた

二、職能組合未加入者に配給停止 職能組合は産業各部門の中核統制團體として、政廳でもこれが強化育成に腐心してゐるが、國內商業分會加入義務を有する者で未加入の者が少くないのに鑑み、同分會ではこれ等未加入者に警告を發し即時加入を勸告するとともに引續き加入手續を怠る場合には商品の配給を停止する方針を決定した

三、皮革統制に新機關設置 皮革及びタンニンの統制には今回まで統制會が當つて来たがこの程南部佛印では皮タンニン業者聯合委員會が新設され統制會の統制を側面より促進することになつた

【サイゴン十日發】戰時特殊損害保險の南方諸地域適用に伴ひ在佛印邦商全部の保險加入をみたが、この程完了した調査に依れば保險金總額は約一億五千ビートル、保險料實際支拂約十五萬ビートルである、この保險金總額を基礎として我方資産を推定すれば大體二億ビートル前後とみられるが資産の増加は過去一ヶ年間に特に顯著であり、この事實は最近におけるわが商社の經濟的活動の活潑さを反映するものに外ならない、一方現在の我が投資狀況をみれば投資總額は約〇千萬ビートルで投資對象の主なるものは鑛山開發、木材採採、木造船建造、工場經營農業生産等である、今回の戰時特殊損害保險の對象になつた最大のものは商社の手持商品でその保險金額は總額の七割見當とみられ、木造船關係の〇千ビートルがこれに次いでゐる

【サイゴン十八日發】在佛印邦商の生産活動は近來頗る活潑化しその全投資額は〇千萬ビートルに達してゐるが、最近の新しい傾向として注目せられるのは南北佛印の生産企業を調整するため、一元的統制機關の設置が相次いで代表商社により實施されてゐることである、即ち〇〇田産では七月始めサイゴン支店長増田年尚氏を現職兼任のまま佛印總監督に任命、南方地域最初の總監督制を實施したが、〇〇商事でも從來の泰

業者に警告を發し切符賣りの嚴守を要請、違反者は長期營業停止乃至は營業取消は勿論體罰の嚴罰を更に峻厳化することになつた

佛印總監督制を廢し佛印單獨の監督
制を採用することに決定、初代監督
加藤佐一氏の就任をみた、このほか
○産業でも近くこの制度を實施す
る豫定になつてゐるが、これは代表
商社が新たな機構のもとに強力且
つ総合的な生産を推進せんとする
熱意を反映するものとして注視され
てゐる

佛 印 短 信

【廿九日】ドクレー總督全權把握以來
の初帝國大使館訪問、芳澤大使と
懇談
【卅日】芳澤大使、ドクレー總督以下
佛側要人招待晩餐會舉行

タイ

アパイウォン新内閣成る

【バンコック一日發】タイ國政府は
一日夜のラジヲを以て去る七月廿九
日挂冠したピアン内閣の後繼内閣首
班としてアパイウォン陸軍少佐が決
定したこと、又同時に第一攝政アチ
ット殿下の辭職をの如く發表した
攝政會議議長アチット殿下は七月三
十一日辭職されたが國民議會は八月
一日の議會に於て右辭職を承認、更
に攝政はプラヂット攝政一人とする
ことに決議せり、右決定は國民議會
議長により副書せられたり、プラヂ
ット・パノムヨン攝政は勅令を以て
ピアン・ソングロン元帥辭職後の後
繼内閣首班として八月一日以降クア
ン・アパイウォン少佐を任命したり
任命は國民議會議長によつて副書せ
られたり

▲新首相略歴【バンコック二日發】

ピアン元帥の後をうけてタイ國首相
の地位に就いたクアン・アパイウォ
ン(舊名コウエイット・アパイウォ
ン)少佐は本年四十三歳、父のチャオピ
ア・アパイ・ペーツ氏は最後のパツ
タンバン土侯であつた、一八七三年
同地が佛印に合併されるに及んで一
家はタイ國に亡命した、大正七年フ
ランスに留學し電氣事業を研究、第
一次革命の際には局外に在つたが、昭
和八年の舊王統派の兵亂に際しては
政府軍に舊王統派の兵亂に際しては
ビア・パホン内閣の無任所相として
始めて入閣、次いで經濟代理大臣に
就任、その後文部代理大臣、文部副
大臣、交通大臣、商務大臣を歴任し
た、その間昭和十二年には臺灣博物
館視察委員として臺灣に派遣され、
また昭和十四年三月フエノスアレ
スに開催された萬國郵便電信會議に
はタイ國代表として出席その歸途日
本にも立寄り我が電氣、通信事業を
視察した、また昭和十五年十月タイ
國軍の軍用通信整備の功績によつて
特に陸軍少佐に任ぜられ、今年の議
會においては副議長に選任せられた
アパイウォン新首相の就任は對日政
策にも一段と明朗性を加へ、タイ國
の對日協力の基本方針は更に強力に
推進されひいては我が戰爭完後、共
榮國建設の一翼を擔ふタイ國の將來
に明るい期待がかけられる

▲新内閣々僚決定【バンコック二日發】

後繼内閣首班として任命された
クアン・アパイウォン少佐は組閣を
急いでゐたが、僅か一日間をもつて
電撃組閣を完了、二日午後プラヂイ
ット攝政に閣員名簿を提出、攝政は
勅命を以てこれを正式に任命した旨
宣傳局より二日午後四時次の如く發

表された、よつて政府は三日午後の
議會に内閣の信任を問ふ豫定である
タイ國宣傳局發表
の如く任命せり
▲總理大臣兼交通大臣兼大藏大臣
クアン・アパイウォン陸軍少佐
▲國防大臣兼農務大臣シン・カモン
ナヴーン海軍中將(海軍最高指揮官)
▲外務大臣シ・セナ・ソムパードジ
(元駐日大使)
▲文部大臣タグ・ブンヤケイト
(元内閣書記官長元國務相)
▲文部副大臣デユン・ブンナーク
(留任)
▲司法大臣兼厚生大臣シット・シー
タマテイベツトナ・ソクラー
▲新内閣々僚追加【バンコック三日發】
タイ國新内閣の關係は二日正式
に任命されたが既報の閣員に左の閣
員が追加された
▲内務大臣ブングスマパチャラサイ海
軍大佐(前交通副大臣) ▲大藏副大
臣レン・シムウオン(タイ商業銀
行總支配人) ▲商業大臣モムルアン
・デトサユツトウオン(留任) ▲
工業大臣ブナク・ヴィシツト海軍
大佐(元國務相、元艦隊司令長官)
▲工業副大臣モムルアン・ウドム
・サニツトウオン(人民議會官選議員)
▲交通副大臣サブラン・フ・ハシン
(舊名ビヤ・パホン元首相) ▲國務
大臣シット・マンシン・シナトヨ
▲國務大臣陸軍少將(防空局長) ▲國
務大臣タハーン・カムヒラン海軍大
佐(艦隊司令官) ▲國務大臣ナイ
・シタマラット・カンチャナ・チヨ
ト(國民議會民選議員) ▲國務大

臣ビン・アモンヴィサイ・ソラデー
陸軍少將(民選議員) ▲國務大臣ボ
ラサマハーン(前内務副大臣) ▲國務
大臣チャリワット・クラカムト海軍
大佐(官選議員)
▲タヴィ文相を首相代理【バンコック
十五日發】泰國首相官房は四日タ
グ・ブンヤケイト文相を首相代理に
任命した旨發表した、右はクオン首
相が事務繁忙のため内閣更迭にとも
なふ人事異動のため内閣更迭に
當り文相を以て首相事務を代行せし
めんとするものである
▲デニエン副文相商事務取扱【バ
ンコック六日發】タイ國首相官房は
六日シタマラット・カンチャオ
・チョート國務大臣に内務行政を擔當
せしめ、またモムルアン・デツト
・サニョーン商務大臣病氣のためデニ
エ・ブンナーク文部副大臣を商務大
臣事務取扱に任命したる旨發表した

新政府政綱發表

【バンコック三日發】タイ國議會は
クアン新首相の要請により「兩行脚
入り」のタイ國國祭日にも拘らず、
三日午後二時から臨時に開催され、
クアン首相は新内閣の政綱六項目を
發表、議會の信任を問ふた結果満場
一致信任を得、クアン内閣はここに
正式に成立した新内閣の政綱左の通
り
○本政府は、タイ國憲法に遵據す
る國王の政府なり、
○本政府は革命
に際して人民投票の標榜せる左の六
大原則を遵守發展せしむ、即ち
①自
由獨立の原則、
②永遠の平和と秩序
の維持、
③人民の教育、
④國民の自由、
⑤人民の教育、
⑥本政府
は國王憲法及び國民に對し忠實たる
べし、國民の利益に對し、國民を困
難に導くが如き政策を避け、且つ議

會の勸告を尊重すべし、
○本政府は
人民に對する充分なる同情と理解と
を以て國政を處理す、
○本政府は國
家財政の安定を維持し極力元費の節
減を圖るべし、
○本政府は日本國と
の間に締結せられたる條約及び協定
に遵據し兩國間從來の親善關係を維
持するのみならず、更に一層の増進
強化を期す、他の諸外國に對しても
當該國との間に締結せられる條約或
は協定の精神に基き同様の政策を圖
る

新首相對日協力強調

【バンコック十六日發】クオン・ア
パイウォンタイ國新首相は十六日午
後三時首相官邸において日本人記者
團と初會見を行ひ大要次の如く語つ
た
新内閣の實施方針はさきの議會にお
ける余の演説の中の六大政綱に盡さ
れてをり、對日協力についても右政
綱中に述べた如く日本との間に締結
された條約協定を遵守するは勿論で
ある、その具體的方策としてはタイ
國は日本の戰爭遂行に對し全力を盡
して協力するつもりである、この爲
には先づ第一に經濟的協力をより眞
剣に行はねばならぬ、一方タイ國民
私經濟生活は戰局の推移とともにそ
の困難の度を加へることは當然覺悟
せねばならぬが、政府としては出來
得る限り民生の安定を圖るべく施策
してゆく考へである、先づ物價對策
についてはタイ國商工會議所、華僑
總會、印度人商業組合および日本商
工會議所の各代表をもつて一九と一
七の大委員會を構成しこれにより業者
の側において自主的物價、統制を行
はしめ、政府はこれに對して側面か
ら指導するやうにした、工業振興

についても民間工業の振興に努力し、政府はこれに技術的援助を與へるつもりである、空襲対策についても内務省防空委員会に研究せしめて居り、その資金を期してゐる、世界戦局、東亞戦局の見透しについてはタイ國は日本と同盟國の間柄にあり、日本の戦争必勝の決意は當然タイ國民の心でなければならぬ、タイ國の繁榮は戦争完勝以外に途はないと考へてゐる

新内閣の初議會

【バンコック十七日發】クオン内閣初の議會は十七日午後二時から開催先づクオン前副議長、首相就任のため缺員となつた副議長後任としてアユティア選出議員フエン・スパンサン氏を選任、引き続き議事に入り曩のビボン内閣において公布された緊急勅令ベチャヤーン市特別行政区昇格に關する勅令始め九件の撤回法案を一括上程、これを可決、次いで○大藏省證券發行に關する法案、○防空業務の國防省より内務省への移管に關する法案、○總額五千萬バーツの内國債發行の權限附與に關する三法案を提出、それぞれ第一議會を通過委員付託となつた

軍省幹部異動發表

【バンコック廿四日發】前首相ビボン元帥は挂冠後もタイ國防軍最高司令官の地位に上り依然として軍權の一切を掌握してゐたが、クオン新内閣は軍政の統合を圖るため、廿四日朝勅令をもつて現在の國防軍最高司令官の地位を廢し新に野戰警察をも含む陸海空軍總指揮官を新設し、これにボツト・パホン・ヨテイン大將を任命、同時にビボン元帥は國政顧問としその他國軍首腦の陣容整備を斷行、廿四日夜左のラジオをもつてこれに伴ふ勅令並に首相告示を公表した

タイ艦隊長官任命

【バンコック廿五日發】タイ國軍首腦の陣容整備に伴ひタイ國海軍では廿四日勅令をもつて軍令部長兼艦隊司令長官チャロン・ラチナワ大佐の兼任を解き、パン・ナワウイテット少將を艦隊司令長官に任命した

タイ短信

【十八日發】アパイウォン新首相各國使臣と懇談同日セナ外相在バンコック外交團招待祝賀會開催、【廿四日發】首相對日本國民メッセジ發表、兩一ヶ年後の國民意識の昂揚に應ずる

明、【同】パホン新陸海軍總指揮官國軍將兵に告示放送、【廿九日發】日泰首相、外相メッセジ交換、【卅日發】帝國石井代理大使タイ國新閣僚招待晚餐會開催



政治

獨立一周年記念式典舉行 【ラングーン一日發】ビルマ國獨立一周年記念日の八月一日を迎へた首都ラングーンでは午前十時から記念會館に於てパー・モウ國家代表、ビルマ國軍官民多數出席、河邊最高指揮官、澤田大使以下在緬日本軍官民代表並にボリス自由印度假政府首班參列して盛大な獨立記念式典が舉行された、大ビルマ聯盟結成を發表

【ラングーン一日發】ビルマ政府宣傳當局は一日ラングーンに開催されたビルマ獨立一周年記念式典の席上參集した各團體代表に對し「ビルマ政府は今回ビルマ國力の總結集體として新たに「マハ・バマ・アジョン」大ビルマ聯盟」を結成し、新團體統率の下に大同團結、斷乎として第四次回英緬戰爭を戦ひ抜く」旨發表した

▲新機構「大ビルマ聯盟」の構成

【ラングーン二日發】獨立一周年記念式典に際しビルマ政府は國民總力結集體たるマハ・バマ・アジョンの結成を發表したが、マハ・バマ・アジョン今回の結成目的はビルマ各政黨の大同團結を圖り從來のド・バマ・シンエタ・アジョンに代り獨立獲得法を次の如く闡明した

一、性格 同聯盟はビルマにおける一切の組織並に運動と異り政治的、黨派的なものではなく、國民的、即ちビルマ國民の統一體である、從つて一國民的目的に對して政治的、社會的又は宗派的相違を度外としてビルマ國民を統合組織する國民組織である、ここにはじめてビルマの各民族を融合し大ビルマ民族を生み出す機關が出来上り、過去の民族史は終幕して新たな國民歴史が開幕した

二、組織 大ビルマ聯盟は現存國家奉仕團、民防衛組織及び今回解消したバマ・シンエタ黨の組織を活用しこれに若干の修正を施して全ビルマ國民を聯盟會員として組織される、その機構は古代から村落の行政組織として存在する千戸をもつて最下部單位とし、その上部に百戸を單位とする組合を置き、更に都市委員會、地方委員會といふ如くピラミッド型に下部組織を集約して最高部には全ビルマ中央事務局を置き、事務總長がこれを掌握する、總裁には國民の信望ある人物をあて、國家代表は必ずしも總裁とはならない、今回は國家代表が總裁としてではなく聯盟理事會の要員を任命し得る、なほ今後二週から推舉されたパー・モウ博士として就任せるもので、その權限行使に當つては國家第一主義を堅持する旨言明した、事務總長には無任所大臣が就任し政府と國家との連繫を密にする、但しかかる政府と聯盟との一體化は戦時の要請に基づく一時的の措置であつて、戦後には大ビルマ聯盟は純粹なる國民團體形態に復する聯盟組織の指導問題では取り敢へずビルマ獨立運動に従事した者、國家

奉任傳指導者ド・バマ・シエンタ
黨及び東亞青年聯盟などのうちから
一萬人を選抜し三ヶ月間の訓練を施
して指導者とするが、將來は更に廣
範圍の指導者訓練を行ひ聯盟各組織
を指導せしめる、指導方針の根本は
強力なる國民と適當なる指導者及び
適切なる組織を基幹とし國民運動の
強力遂行を期するにある

三、目的 大ビルマ聯盟の目的はビ
ルマの自由のための戦ひ、勝ち抜く
といふ單一の國民的的に立脚する
従つて政治的目的を有せず、聯盟の
機能は統後活動の上に集中され、民
防衛、國民の戦争遂行努力及び戦時
における國民の福祉に主眼がおかれ
これを中樞として聯盟一切の活動を
展開される、しかして國民の總力を
總動員し、國民の戦争目的に沿つて
最高度の能力を發揮せしめるのが聯
盟の直接擔當とするところである
四、實踐方針 國民總動員實施のた
めに先づ下部組織たる十戸制といふ
全國的組織網を利用して國民登録制
度を實施し、一人の遊休人もなく夫
々の分野において國民の全力を發揮
せしめ、かくて眞の大眾的民防衛、
大衆的宣傳等を行はんとする

【ラングーン十二日發】ビルマ國政
府は今回タキン・ヌー外務大臣の辭
職に伴ひ後任にタキン・ミヤ副總理
を兼任せしめるとなると十一月十一日附
官報を以て左の如く發令した

免本官
外務大臣 タキン・ヌー
副總理 タキン・ミヤ
兼任外務大臣
タキン・ヌー
任無任所大臣

【ラングーン十一日發】ビルマ政府
は從來ビルマ内務大臣ウ・バ・ウイ
ン氏の兼務であつたシャヤン總督に副
總督ウ・チン・ムン・イン氏を起用
することに決定した、なほビルマ政府は
もつて發表した、なほビルマ政府は
シャヤン、カレンニ兩州をそれぞれ代
表してきたシャヤン地方ニョー・シ
ユウエ土侯サオ・シユウエ・タイク
氏及び南シャヤン地方土侯サオ・タン
パン・セイン氏の兩氏を樞密顧問官
に任命した

【ラングーン十一日發】ビルマ政府
は從來ビルマ内務大臣ウ・バ・ウイ
ン氏の兼務であつたシャヤン總督に副
總督ウ・チン・ムン・イン氏を起用
することに決定した、なほビルマ政府は
もつて發表した、なほビルマ政府は
シャヤン、カレンニ兩州をそれぞれ代
表してきたシャヤン地方ニョー・シ
ユウエ土侯サオ・シユウエ・タイク
氏及び南シャヤン地方土侯サオ・タン
パン・セイン氏の兩氏を樞密顧問官
に任命した

【ラングーン十一日發】ビルマ政府は
獨立一周年記念日に當り一日受刑者
にして刑務所において進んで労働奉
仕隊に参加しその労働をもつて戦争
努力に寄與したる者に對し減刑を行
ふことに決定、法令公布とともに即
日實施した

【ラングーン十一日發】ビ
ルマ銀行協會設立
ルマ國の銀行總裁ウ・バ・
モン氏の提唱により進めら
れてゐた日緬印銀行協會設立問題は
今般在ラングーン日本側南方開發金
庫ビルマ支庫、横濱正金ラングー
ン支店、ビルマ側ビルマ國立銀行、
ビルマ庶民銀行及びインド側インド
國民銀行の五行をもつて結成するこ

ととなり、十日午後石田南發、護得
久正金、ウ・バ・モン國立、ムター
ア庶民、エラツパ印度國各銀行代
表者參列して結成式を舉行した、同
協會はビルマ銀行協會と名付けられ
ウ・バ・モン國立銀行總裁を會長と
して日緬印銀行相互間の連絡、親睦
を圖るとともに金利、預金吸收等一
般銀行業務の綜合の運営に必要な
事項並に貯蓄増強、通貨膨脹防止の
各對策に關する日損當局の施策への
協力につき協議する

【ラングーン二十五日發】新生ビル
マ經濟建設の推進機關として期待さ
れるビルマ合作社はこのほど企業擔
當商社と提携し代用セメントの大量
生産に乗り出すこととなつた、即ち
ビルマ合作社運動の口火を切つたタ
トン縣農事振興會では同地方に廣く
賦存する石灰と代用セメントの原料
たる特殊木炭の開發に當り、一方企
業擔當商社は振興會より右原料木炭
並びに石灰の供給をうけ小型簡易盛
産○個を新設して代用セメントを生
産することとなり、既に準備に着手
した、近くこの種原始的方法により
代用セメントが大量生産され重要需
要を満す筈であるが、代用セメント
の生産は戦争後中絶されてゐたビル
マセメント工業の復活及び邦人商社
と合作社との緊密なる提携の最初の
例として注目される

【ラングーン三十一日發】ビルマ敵
性地名改正委員會では敵性的性格を
有する市名、町名全部をビルマより
締め出しビルマ本然の市名、町名を
附すべく考究中の所、この種第一次
として市名ではアランミヨウの如く

【ラングーン三十一日發】ビルマ敵
性地名改正委員會では敵性的性格を
有する市名、町名全部をビルマより
締め出しビルマ本然の市名、町名を
附すべく考究中の所、この種第一次
として市名ではアランミヨウの如く

第三次緬英戰爭英將軍の名たる「ア
ラン」の名が附されてゐたものをミ
エーテ・ヨウとメイミヨウをビンウ
ールインミヨウと何れもビルマ語名
に改稱、ラングーン市内四十三街路
名、全國百二十九街路名が改められ
た

【一日】河邊陸軍最高指揮官戦争協
力のビルマ功勞者二名表彰
【二日】ビルマ特別調査團バ・ハン
博士一行歸國

【マニラ廿四日發】ラウレ
ル大統領は最近の時局に即
應して廿四日左の如く内閣
の強化を斷行した旨同日午後一時比
島政府情報局より發表された

【マニラ廿六日發】比島現下の情勢
に鑑みラウレル大統領は地方行政の
圓滑強力なる運営を圖るため比島全
島を七管區に分轄各管區毎に一名の
地方行政委員を任命した、地方各官
公廳の行政並に財政上の直接監督に
當らしめるとなつた旨廿六日左
の如く發表された

比島

【リスボン一日發】ワシントン來電
米國にある比島亡命政權は僞大統
領マヌエル・ケソンセラナツク、レ
イクの避暑地で肺病のため死亡した
旨發表した、享年六十五
【マニラ十一日發】ラウレル大統領
は十一日法令をもつて國立陸海運會
社を設立した旨情報局より發表され
た、同會社は島内各地よりマニラ市
に食糧を運搬することを主要任務と
し、資本金一千萬ペソ、同社總裁に
は土木交通大臣キンテン・パレデ
ス氏が就任した

【マニラ十一日發】ラウレル大統領
は十一日法令をもつて國立陸海運會
社を設立した旨情報局より發表され
た、同會社は島内各地よりマニラ市
に食糧を運搬することを主要任務と
し、資本金一千萬ペソ、同社總裁に
は土木交通大臣キンテン・パレデ
ス氏が就任した

【マニラ廿六日發】比島現下の情勢
に鑑みラウレル大統領は地方行政の
圓滑強力なる運営を圖るため比島全
島を七管區に分轄各管區毎に一名の
地方行政委員を任命した、地方各官
公廳の行政並に財政上の直接監督に
當らしめるとなつた旨廿六日左
の如く發表された

【マニラ廿六日發】比島現下の情勢
に鑑みラウレル大統領は地方行政の
圓滑強力なる運営を圖るため比島全
島を七管區に分轄各管區毎に一名の
地方行政委員を任命した、地方各官
公廳の行政並に財政上の直接監督に
當らしめるとなつた旨廿六日左
の如く發表された

内閣改造強化
【マニラ廿四日發】ラウレ
ル大統領は最近の時局に即
應して廿四日左の如く内閣
の強化を斷行した旨同日午後一時比
島政府情報局より發表された

比島全島を七管區に分轄
【マニラ廿六日發】比島現下の情勢
に鑑みラウレル大統領は地方行政の
圓滑強力なる運営を圖るため比島全
島を七管區に分轄各管區毎に一名の
地方行政委員を任命した、地方各官
公廳の行政並に財政上の直接監督に
當らしめるとなつた旨廿六日左
の如く發表された

比島現下の情勢
に鑑みラウレル大統領は地方行政の
圓滑強力なる運営を圖るため比島全
島を七管區に分轄各管區毎に一名の
地方行政委員を任命した、地方各官
公廳の行政並に財政上の直接監督に
當らしめるとなつた旨廿六日左
の如く發表された

比島現下の情勢
に鑑みラウレル大統領は地方行政の
圓滑強力なる運営を圖るため比島全
島を七管區に分轄各管區毎に一名の
地方行政委員を任命した、地方各官
公廳の行政並に財政上の直接監督に
當らしめるとなつた旨廿六日左
の如く發表された

並に重要各派の間に憲法作成方法に
ついで原則的諒解が必要である
▲ガ翁精神的抗争を聲明【リスボン
十八日發】インド總督ウエーヴェル
は十五日附の返書においてガンデー
のインド獨立に關する提案を拒否
したがボンベイ來電によれば十七日
右書翰を入手したガンデー翁はボン
ベイにおいて記者團と會見、殘され
た道は斷乎抗争あるのみと次の通り
言明したといはれる

インド民衆が英國から權限を奪ひと
ることが出来るところまでその力量
を充實しない限り英國政府がインド
支配の權限を拋棄する用意はないと
餘りにも明瞭である、然し予はイン
ドが純粹に精神的手段に依て英國か
らその權限を奪ひ去ることが出来る
と信じてゐる、總督の提案の意味す
るところはインド各派間に將來の憲
法に關する意見の一致を見、且つ英
國政府とインド各派間にも意見の一
致が見られない限りインドの憲法的
地位に何らの變更なくインド政廳は
依然現在の儘であるといふことなの
である

國民會議派議員大會

【リスボン廿日發】ボンベイ來電
國民會議派の立法會議議員は廿日ボ
ンベイで大會を開催、ガンデー翁の
印度獨立案を支持する旨の決議を採
擇した

ガ翁とジンナーとの會見延期

【リスボン十七日發】ボンベイ來電
ガンデー翁は十九日ボンベイで回
教代表ジンナーと會見する豫定であ
つたが、ジンナーが突然熱病に悩ま
されたため會談は延期されるに至つ
た

セイロン島の燈管撤廢

【リスボン廿日發】コロコボ來電
セイロン島駐屯の反樞軸軍司令官は
同島の行政當局に對し全島に亘る燈
火管制を一時停止するよう要求した
セイロン島の燈管は日本軍が印度洋
に進出されて以來既に二年以上に亘り
實施されて来たが、今回コロコボ港
灣地區のみを除きその他地域の燈管
は全部解除されることとなつた、但
し海上及び空中からの調査により必
要ある場合は再び新燈管設置が實施
されることとならう

米代表會議派領袖の釋放を要請

【リスボン廿日發】印度政廳が會議
派の領袖を一網打盡に逮捕した八月
八日の二周年を前に米國各界の代表
百十名は英國大使ハリアツクスに公
開狀を突き付け會議派領袖の釋放を
要請した、右公開狀に署名してゐる
のは米國における印度聯盟の會長シ
ラノ、學者ではアインシュタイン博
士、著作家ではパール・バック等の
他であるがチャーチル、アメリー反
樞軸の印度政策に對しては米國內に
非難の聲高く英國政府が反樞軸内部
の現状において従來通り印度政策に
對する米國內の批判を無視出来るか
どうか疑問と見られる、ニューヨーク
ク來電によれば聲明の要旨次の通り
印度政廳が公判に付せず會議派の領
袖並びに黨員數千名を投獄してから
正に二ケ年を経過した、これら黨員
の多數は自由と民主主義とに對する
信條を以て知られてゐる、特にバン
デット・ジャワハル・ネルル、マウラ
ナ・アブツール・アザツト等は印度
人の間に多數の支持ありしかも印度
政廳の大量逮捕によつて諸懸案は些
も解決されず却て英印兩國間の深刻

米代表會議派領袖の釋放を要請

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

セイロン島の燈管撤廢

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

米代表會議派領袖の釋放を要請

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

セイロン島の燈管撤廢

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

な乖離を尖鋭化したに過ぎない、印
度の民主主義領袖を引續き逮捕して
争目的に對する挑戦であり、眞の文
明が據つて立つ民權の廣汎な原則に
對する否定である、印度の自由は印
度だけの問題ではない、人類自由の
問題である、最近ガンデー翁は健康
上の理由で釋放され印度の政治的行
詰りを打開するため思ひ切つた提案
を出してゐる、これらの提案に對し
ては充分検討を加へる必要あり、ガ
ンデー翁が會議派の領袖並に執行委
員會の同志と協議出来るからは提案
の審議は一段と促進されよう、茲に
貴下に對し印度要人の即時釋放を英
國政府に傳達するやう要請する所以
である

セイロン島の燈管撤廢

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

米代表會議派領袖の釋放を要請

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

セイロン島の燈管撤廢

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

米代表會議派領袖の釋放を要請

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

セイロン島の燈管撤廢

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

言するだらうといふのがみんなの意
見だから英國政府をしてもうたう
何等かの措置に出ねばならぬ時期が
到來したとフイリップスは報告して
ゐる、右報告は八月廿五日のワシ
ントン・ポスト紙に掲載され英國政界
筋に異常な衝撃を與へたことは勿論
で、殊に英國首相チャーチルは激怒
してロンドン駐劄米國大使ジョン・
ワイナントを通じてフイリップスが依
然印度並びに英國の印度政策に對し
て同じ意見を抱いてゐると詰問した
勿論フイリップスは從來に比し確信
を深めるに至つたと答へ唯大統領に
對する報告が新聞に出たことに對し
遺憾を表明し更に今後印度に關する
余の報告は一層強硬とならうが、外
部に漏洩しないよう留意しようとな
言した、その結果英國外相イデー
ンは米國國務省に對し印度政策に關
する批判に鑑みフイリップスは英國政
府の「ヘルンナ・ノン・グラタ」(不
同人物)となつたから即時召還して
貰ひたい旨を申入れた、フイリップ
ス辭任の内幕は全く以上の通りだ
【リスボン廿日發】ワシントン來
電米國務省は廿六日次の通り發表
した

セイロン島の燈管撤廢

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

米代表會議派領袖の釋放を要請

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

セイロン島の燈管撤廢

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

米代表會議派領袖の釋放を要請

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

セイロン島の燈管撤廢

【リスボン廿日發】英國の印度政
策については米國內に相當辛辣な批
判があり最近各界代表百餘名が英國
大使ハリアツクスを通じて會議派
領袖の釋放を要請したが、ニューヨ
ーク來電によれば素破抜き記事で有
名なスクリツパス・ハワード系のド
ルー・ビヤリソンがワシントン・ポ
スト紙上で、反樞軸軍最高司令アイ
ゼンハワーの外交顧問で「戰略事務
長」の肩書を持つウィリアム・フイ
リップス辭職の経緯をバスタした起
米國政界にまたまた波紋を捲き起
してゐると傳へられる、ビヤリソン
報道要旨次の通り

新豫算案提出さる
【リスボン十六日發】ニュ
ー・デリー來電インド財
務長官ジェレミー・レイズ
マンは今議會に對し一九四四一四
五年度豫算案を提出した、内課はつ
ぎのごとくである(單位千英貨磅)
△歳出 二七七、〇〇〇
△歳入 二〇八、〇〇〇
△赤字 六九、〇〇〇

△赤字 六九、〇〇〇
△赤字 六九、〇〇〇
△赤字 六九、〇〇〇
△赤字 六九、〇〇〇
△赤字 六九、〇〇〇
△赤字 六九、〇〇〇
△赤字 六九、〇〇〇
△赤字 六九、〇〇〇
△赤字 六九、〇〇〇
△赤字 六九、〇〇〇

戰費は戦前の國防費の六倍に激増し
た、赤字の内二千八百萬磅は直接税
及び間接税の増徴により、殘餘は公債
により賄ふ豫定である、戰費の急増
については早くも糾弾の聲が上つた
フレイズマンはインドは自分自身の國
防費の全額を自ら負擔するに至つて
ゐる、と歪曲的陳辯を行ひ、これに
伴ふインフレへの壓迫加重に對して
は物價統制を強化すると述べた、ま
た彼は食糧品の暴騰は供給の不足は
かりで多い、商人の吊上げによると
ころも多いと認めめた

準備最初の銀塊放出
【リスボン十五日發】八月九日付ロ
ンドン・タイムズ紙所報、インドが
さきにアメリカより貸與された一億
オンスに上る銀塊の用途については
大體貨幣鑄造用、工業用及び公開市
場放出の用に向けられてゐるが、今ま
何等の發表もない、ただ八月八日に
至りインド準備銀行は初めて公開市
場への銀塊放出を行ひ棒銀百五十本
を百三十一ルービー以上の相場で賣却
してをり、今後一日二百本の棒銀が
賣却されるはずと傳へられてゐるが
これは實現の可能性が多い

【リスボン十五日發】八月九日付ロ
ンドン・タイムズ紙所報、インドが
さきにアメリカより貸與された一億
オンスに上る銀塊の用途については
大體貨幣鑄造用、工業用及び公開市
場放出の用に向けられてゐるが、今ま
何等の發表もない、ただ八月八日に
至りインド準備銀行は初めて公開市
場への銀塊放出を行ひ棒銀百五十本
を百三十一ルービー以上の相場で賣却
してをり、今後一日二百本の棒銀が
賣却されるはずと傳へられてゐるが
これは實現の可能性が多い

【リスボン十五日發】八月九日付ロ
ンドン・タイムズ紙所報、インドが
さきにアメリカより貸與された一億
オンスに上る銀塊の用途については
大體貨幣鑄造用、工業用及び公開市
場放出の用に向けられてゐるが、今ま
何等の發表もない、ただ八月八日に
至りインド準備銀行は初めて公開市
場への銀塊放出を行ひ棒銀百五十本
を百三十一ルービー以上の相場で賣却
してをり、今後一日二百本の棒銀が
賣却されるはずと傳へられてゐるが
これは實現の可能性が多い

【リスボン十五日發】八月九日付ロ
ンドン・タイムズ紙所報、インドが
さきにアメリカより貸與された一億
オンスに上る銀塊の用途については
大體貨幣鑄造用、工業用及び公開市
場放出の用に向けられてゐるが、今ま
何等の發表もない、ただ八月八日に
至りインド準備銀行は初めて公開市
場への銀塊放出を行ひ棒銀百五十本
を百三十一ルービー以上の相場で賣却
してをり、今後一日二百本の棒銀が
賣却されるはずと傳へられてゐるが
これは實現の可能性が多い

【リスボン十五日發】八月九日付ロ
ンドン・タイムズ紙所報、インドが
さきにアメリカより貸與された一億
オンスに上る銀塊の用途については
大體貨幣鑄造用、工業用及び公開市
場放出の用に向けられてゐるが、今ま
何等の發表もない、ただ八月八日に
至りインド準備銀行は初めて公開市
場への銀塊放出を行ひ棒銀百五十本
を百三十一ルービー以上の相場で賣却
してをり、今後一日二百本の棒銀が
賣却されるはずと傳へられてゐるが
これは實現の可能性が多い

【リスボン十五日發】八月九日付ロ
ンドン・タイムズ紙所報、インドが
さきにアメリカより貸與された一億
オンスに上る銀塊の用途については
大體貨幣鑄造用、工業用及び公開市
場放出の用に向けられてゐるが、今ま
何等の發表もない、ただ八月八日に
至りインド準備銀行は初めて公開市
場への銀塊放出を行ひ棒銀百五十本
を百三十一ルービー以上の相場で賣却
してをり、今後一日二百本の棒銀が
賣却されるはずと傳へられてゐるが
これは實現の可能性が多い

【リスボン九日發】ハイデラバット
來電ヒヒスタスタン政府は今回灌漑
目的のため、四十萬ルビーの資金を
もつてハイデラバット州内にダムを
建設することになつた、右ダムの建
設によつて長さ十七哩に亘る貯水池
を作る筈であるが、約一萬七千エ
ーカーの土地に灌漑を行ふことが出来
るといはれてゐる

印度 短 信

【九日】ガ翁信奉者二五名ボンベ
市内で逮捕さる
【十日】右釋放さる



政府國民投票に修政

【リスボン二十日發】キャンベラ來
電ニ濠洲政府は戦後の混亂を防止す
るため戦争終了後五ヶ年を限り、
政府に十四ヶ條から成る非常特權の
附與を要求、これを國民投票に附し
たが、二十日まで判明した投票結
果では反對投票が壓倒的多数を占め
政府の大惨敗に歸した、また開票さ
れてない投票の大部分は、出征將兵の
投票だが將兵有權者が全部政府を支
持したにしても大勢を覆へずだけの
票數なく、國民投票の結果は既に決
定したと見てよい、政府がかかる敗
北を喫した原因としては

一、カーチン政府戦時諸施策の失敗
一、政府の官僚化に對する國民の不
満

一、政府反對黨の活躍
等が挙げられてゐるが、反對黨たる
濠洲統一黨首メンジースは投票の結
果の略々判明した二十日、「カーチ

ン政府はこの敗北を卒直に認め適當
な行動に出るべきである」と暗に内
閣が辭職する必要があることを示唆し
てをり、國民投票の結果政變の可能
性も考慮されはじめてゐる、濠洲各
紙も國民投票の結果を重大視し政府
派と見られる「サンデー」(ラルド)
紙すらも濠洲國民の多くは聯邦濠洲
國の多くは聯邦政府が全國的に統
制ある戦後施策をなすため特に非常
特權を與へることの必要を認めてゐ
るが然るにも拘らず、今度の國民投
票で政府が敗れたのは、カーチン内
閣最近の失政に對して、國民が憤慨し
てゐるからだと述べ、更に「モーニ
ング・ヘラルド」紙の如きは政府の
戦時政策を口を極めて罵り次の通り
論じてゐる

濠洲國民は政府に非常特權を與へる
時は濠洲の産業が戦後に事實上政府
により徵發されるやうな事態に立至
ることを恐れてゐるのだ、國民のこ
の恐怖はカーチン政府が最近その戦
時非常特權を濫用した例を見せつけら
れてゐるので益々深められてゐる、
即ち國民は議會制度下に國民に屬す
べき權利が政府の官僚主義により次
々と横取りされるのを體驗して來た
信書は必要な場合も開封されてゐ
る、シドニー市では日刊新聞全部が
停刊となつた、國民が政府の職權濫
用に憤慨するの、も當然である

對日戦強せん

【リスボン廿日發】キャンベラ來電
ニ濠洲首相カーチンは三十日下院に
臨み戦争遂行方針並びに對内政策に
關する報告演説を行つたが特に對日
戦の強化を呼號して次の通り述べた
歐洲戦争が終了しても日本は今まで
に示したと同様の頑強さと決意とを

もつて戦争を繼續するだらう、然し
ながら反極軸軍はドイツは勿論日本
に對しては兩國が國內を再編成して
新たな戦力を養ふやうな暇を與へな
いだらう、敵に對する攻撃は一刻の
休みもなく續けられなければならない
これについては過去數週間以來反極
軸軍最高首魁が對日戦の強化に關し
廣汎な分野に亘り喜ぶに堪へてゐる
ことには濠洲として喜びを加へない
カナダより技術將校來電
【リスボン廿七日發】オッタワ來電ニ
カナダ軍司令部は七日次の通り發表
した
カナダ軍の專門將校四百名乃至五百
名が近く濠洲及び印度に派遣される
こととなつた、濠洲に赴く者は技
術將校であり、又印度派遣將校は西
南太平洋戦域で使用される專門兵器
を扱ふためである
ニュー・サウス・ウェルズの罷
業擴大
【リスボン廿三日發】ニュー・サウス
ウェルズ州ポートランドの肉屋が女
子従業員を解雇したことからポート
ランドおよび附近一帯の肉屋、炭坑
夫、交通および次々と同情罷業を
開始し二日遂に十三炭坑に波及、リ
スゴのガス工場までが怠業状態に
入つた
▲争議彈壓政策奏功せず【リスボン
十八日發】シドニー來電ニニュー・
サウス・ウェルズ州の炭坑罷業に關
し濠洲首相カーチンは七月八日強權
を發動して就業令を出したが、坑夫
達は賃銀値上、労働時間短縮を要求
して未だ解決に至らない
▲炭坑争議重大化【リスボン廿五日
發】キャンベラ來電ニニュー・サウ
ス・ウェルズ地方の炭坑争議は濠洲

政廳の彈壓にも拘らず未だ解決に至
らず炭坑夫組合聯合會代表が最後の
手段として首相ジョン・カーチンに
會見を申込んだが、カーチンは會見
申込みを拒否、他の關係にも同様拒
否するよう言渡した、一方政廳は就
業令を無視し、八月七日以來罷業を
開始した坑夫百十四名を起訴した、
更に戦時組織並に戦時工業相デット
マンは重工業向け石炭配給を二〇パ
ーセント、他は十パーセント方削減
する旨發表した
▲石炭饑饉深刻【リスボン二十六日
發】シドニー來電ニニュー・サウス
ウェルズ州の石炭争議は依然解決の
見込なく七月二十八日以來の罷業件
數は四十件、これにより出炭額の減
少は四十萬二千噸に達しと推定さ
れ、石炭不足のため列車の運轉も一
層削減されるに至つたが「シドニー
デリーミター」紙は「石炭の産出高
が必要量の三分の二にも過ぎないた
め濠洲政廳は軍需生産計畫を根本的
に擧げて直さねばなるまい」と報じて
ゐる

國民所得と女子勞務動員現況
【チネリツヒ七月三十一日發】キ
ヤムベラ來電ニ濠洲國勢統計局およ
び情報省の發表によれば濠洲一九四
二—四三年度の國民所得は十二億二
千萬磅で戦費は現在一日八十一萬九
千磅以上になり、第一次大戦當時の
わずかに十七萬磅程度にくらば異常な
増加である、また租税二億八千三
百五十萬磅と戦前の一億二千四百五
十萬磅にくらべこれもまた非常な増加
をしめしてゐる、戦争以來軍需工業
に働く女子の數も激増した、戦前に
あつて軍需工場に働く女子勞務者の
數は一千人以下であつたが、今日で

は十九萬人が軍需工業に従事してゐ
る
三十年来の大旱魃
【リスボン八日發】シドニー來電ニ
最近オーストラリア各地は甚だしい
旱魃に悩み、これがため農作物の被
害はすこぶる甚大で恐らく一九一四
年の旱魃以來の大損害をもたらすこ
とにならうとみられてゐる
米國紙濠洲版を發行
【リスボン二十七日發】シドニー來
電ニ濠洲政廳は近く米國各紙に對し
濠洲版發行の權限を賦與するに決定
した濠洲版は主として濠洲並に南太
平洋地區に駐屯する米軍相手である

ニュージールランド

ニュージールランド本年度豫算
【リスボン二十七日發】ウヰリント
ン來電ニニュージールランド藏相ナツ
シュは過般明年二月に終る現會計年
度の豫算報告を行つたが、これによ
ると本年は増税は行はない方針であ
る、本年三月まで戦費支出總額は三
億八千三百萬磅で昨會計年度は一億
五千二百九十萬磅と當初の見積りを
越ゆること四百九十萬磅であつた、
主要なる内課つぎの通り(單位千磅)

陸軍 七、八、一〇〇
海軍 八、二〇〇
逆貨與費 二四、五〇〇
右戦費はつきのごとき方法で賄はれ
た(單位千磅)
戦時諸税 四五、四〇〇
武器貸與 三、五〇〇
イギリス本國の安全保 六、七〇〇
障覺書による借入れ

【二三〇頁へ續く】

世界情勢

歐洲

ドイツ

政治
ヒムラー國內軍司令布告
 【ベルリン二日發】親衛隊總司令兼內相ハインリッヒヒムラー博士は、一日國內軍司令としてドイツ全國民に對し次の軍命令を公布した

七月二十日總統兼最高軍司令官アドルフ・ヒトラー氏は余を豫備軍總司令兼軍需司令に任命した、八月一日ドイツ民族が自存のための闘争を開始した當日の卅周年に當り余は初めて諸君に告げる、前線と國內とは豫備軍から最も大きい業績を期待してよい、我等は前線における戦友と我々に最も親愛な妻子と親とを斷じて失望させないであらう、國內軍が以て範とすべき忠誠と従順を示すであらうことを棄却してゐる、余は守備隊とその隊員が毎月毎日少くとも軍需工員が工場で勤務する限り訓練し勤勞し且つその任務を果すことを命令する、余は國內軍の將兵並びにすべての構成員が些も屈せず且つ衷心から自己本位と呪はれた「銃後

的心構へ」を切り棄てることを要求する、國內で割愛出来る將校と兵卒とは當人の希望通り一人残らず前線へ、年齢、健康等の事情で前線任務に適しない將兵は解放して軍需工場へ派遣するべきことを命令する、將校並びに官吏に對しては特に前線の兵士よりも一層多くの任務を果し更に多く働か、より一層勇敢に粘り強く頑張る事を余は期待する、忠誠心と信念とに絶対揺ぎなく服従するに躊躇せず、擧措に節度を失はず力行して撓まず慎重任務を果し乍ら我等は茲に我等の行動と業績とに依て七月廿日の汚辱を拭ひ去り總統とドイツ國とのナチ人民軍たらん事を誓ふ

叛逆分子を處刑

【ベルリン八日發】ドイツ政府は八日夜次の公報を発表した

大ドイツ國民人民法廷は八月七日並に八日、七月廿日の犯行に加擔し、軍から除籍された叛逆分子八名を審理に付した、被告はヘルムウイン・フオン・ウィツレーベルン、エリツヒ・ヘブナー、ヘルムウ・ステーツヒ、アルブレヒト・フオン・ハーゲン、バル・フオン・ハーゼ、ロベルト・ベルナルデ、フリードリッヒ・カーラ、クラウジング並にフオン・ワル

テンブルグ伯は宣誓を破り名譽の觀念なく徒らに野望を抱き叛逆罪を犯した罪によつて死刑の宣告を受け私財は沒收された、判決後二時間にして絞首により死刑が執行された

ケルテラー遂に就縛

【ベルリン十九日發】ヒ總統暗殺未遂事件に參畫した元ライプテヒ市長カール・ケルテラーは爾來一月に亘るドイツ官憲の搜索の結果十九日ドイツ空軍婦人部隊並に航空隊員二名によりプロイセン地方で逮捕された

政府勝利の信念を吐露

【ベルリン廿日發】ドイツ軍の精銳親衛師團に從軍してゐる報道班員ヨアヒム・フェルチウ君は廿九日「勝利は目前に在り」と題する前線報道において兩軍の決戦が愈々目前に迫つたことを述べドイツ軍が秋まで各戦線で頑張れば戦争の完遂期に待つべき旨を強調した、ドイツ各紙は廿九日の夕刊並に廿日の朝刊紙上に同君の記事を一齊に掲げドイツ軍の新兵器が驚異的威力を發揮するのは目睫の間に迫つたことを示唆したのがドイツ通信社を通じ戦局の前途につき次の通り全幅の確言を披瀝した

一、世界大戦は正に第六年目に入らうとして諸國民の抗争と理念の戦ひとはまさに最高潮に達した、兩軍は今や決戦の信號を出した、反樞軸軍は東西南三面からの攻勢により、ドイツ國民は勞働力と軍需資源の熱狂的根こそぎ動員によつて

一、反樞軸軍が注ぎ込んでゐる戦力は正に巨人的であり、ドイツ軍が各戦線に於て重大な敗退を喫したことは事實である、しかし冷靜な計畫をすればドイツ國民は滿五年前に

比べて獨り自國の國境線を支配してゐる許りでなく約十萬平方料の「前哨分野」とポーランド、ベルト三國、デンマルク、オランダ、ベルギー各國並にフランス國內一部の人口を保持してゐるではないか加ふるにフィンランド、ハンガリー、スロヴァキア、クロアチヤ各國並にイタリア國の大半は依然ドイツ軍の潜在戦力として貯蓄してゐる、以上の領域を綜合すれば一億以上の人口を擁しているが故にドイツ軍の戦力は開戦當時に比し依然として二倍に達してゐる、しかし戦局の現状を判斷するに當つて更に重要なのは、他の要因である、勿論反樞軸軍は右要因の歴史的意義を充分認識せず乃至認識しようとしもない、他の要因とは何ぞ、反樞軸軍は目前の勝利に醉つてドイツ國民を墮落した民主主義各國と同視しようとしてゐるが、ナチ・ドイツ國民は今や新たな革命的活力をもつて戦闘を開始しようとしてゐるのである、一、戦ひの歸趨は未だ決してゐない、反樞軸軍は全力を傾注して僅に戦局の主導權を維持してゐるが中立國における具限の人士は却つてドイツ國民の底力を瞻目してゐるではないからドイツ本國の前哨分野にはドイツ軍が着々集結し新鋭師團は續々前線に繰り出してゐる、各新兵器の使用は既に始つた、戦争が將に第六年目に入らうとして戦ひは今や反樞軸軍の攻勢をドイツ軍が反樞軸軍を一定の戦線に釘付け出来るかどうかの競争となつてゐる、しかしドイツ軍の新鋭地上兵力、空軍師團並に新秘密兵器は必ず反樞軸軍に甚大な打撃を與へ、戦争が決して一九四四年九月乃至十月に終らぬことが實證されよう

ゲ總力動員統監激勵

【ベルリン廿一日發】ドイツ總力動員統監ゲツベルス博士は、週刊「ダス・ライヒ」誌上で「磐石の信念」と題し次の通り述べてゐる

反樞軸軍は今や全力を擧げて今年中に戦争を終結せしめんと必死になつてゐる、反樞軸軍の占むる技術的優勢は一朝一夕に凌駕し得るものではなくドイツ國民が現情勢に伴ふありとあらゆる困難を克服するために、しかしながらドイツ軍が漸次立直りつつあることは疑問の餘地なく、遠からずして戦局はドイツ軍に有利に展開しよう、我々として新兵器のみに頼つて戦局の轉回を望んでゐるわけではない、戦争が國民生活全面に齎す根本問題の把握、克服に力むべきであり、物心いづれの面でも輕視することは許されぬ、現代戦の勝敗は士氣の如何によつて決まるといふ獨斷は、戦争技術第一主義と同様の謬論だといふべきであらう、戦争を遂行するには技術と士氣との調和を計り、究極において全國民の努力

を無爲に終らせまいようになされねばならない、いつの日か歴史家は現大戦の各段階においてドイツ軍が技術によつてドイツ國民の士氣昂揚に努め、戦争技術の分野に現に痛感されてゐる新らしい刺戟を齎らすに成功したことを、必ずや認めるであらう、現在の大闘争はドイツ國の存亡を決する戦であり、國家の總力を戦争努力に傾注するは明瞭なる論理的歸結だ、問題は如何にせば總力が最も有効に活用されるかである、ドイツ軍の士氣は明らかに經濟力を凌駕してゐる、今後の努力は主として軍隊の量と質及び自由に使用し得る武器等の物質力を向上し再びドイツ軍の士氣とその水準を等しからしむるために集中されなければならない、過去四週間には大きな期待に應へるに足る再組織が完了した、この改革は國民から結局更に多くの犠牲を要求するが、總べては勝利のためであり、これこそ勝利へ通じる唯一の道なのである、國防軍の統後に對する豫備兵力の要求も充分に充された、究極における勝利の鍵が悉く我が掌中にあることを、我々は最後までドイツ國民に對して説き示さう、現在の問題は戦局がどうなつてゐるからではなく我々が如何に戦つてゐるかにある、負擔の大ききや心勞に疲れて弱音を吐いてはならない、戦争が長くなれば重荷や心配は増すばかりだしかし反樞軸軍とて永遠に戦争を續ける譯には行かない、去年の冬恐怖爆撃によつてドイツ國民の士氣を奮起させたやうに今年の夏から秋にかけては大規模な作戦を展開して、ドイツ軍を屈辱せしめようとしてゐる、しかしながら恐怖爆撃が何等目的を達しなかつたごとく、敵の企圖は再び失敗に歸するだらう、時局が逼迫し、負擔が大きくなるに従つて戦争に對する我々の抵抗力も愈々増さなければならぬ、自己及び自己の力に自信を持ち、日々職務を定め、自分の命ずる所に忠實でなければならぬ、そしてこそ最後の勝利は我々のものだ、ドイツ軍が敗戦の姿を曝すときこそは有り得ない、ドイツ國民はいかなることに驚かない覺悟が出来てゐる、反樞軸軍が如何に脅迫を繰返さうとも我々ドイツ國民誓石の信念をゆるがすことは絶対に不可能なのである

【ベルリン三十一日發】ヒトラー總統は三十一日民防空をナチ黨に委嘱した

【ベルリン十五日發】總統大本營は十五日ヒトラー總統は前アンカラ駐劄ドイツ大使フォン・パーベン博士に對し劍付騎士十字勳章を賜つたと發表した

【ベルリン十五日發】總統大本營は十五日ヒトラー總統は前アンカラ駐劄ドイツ大使フォン・パーベン博士に對し劍付騎士十字勳章を賜つたと發表した

【ベルリン二日發】根こそぎ資源統監ザウケル博士は七月二十八日はゆる「假裝勞務撲滅」を宣言し、情實に絡まる錯節を斷乎斷ち切る決意を表明したが、三十日第二段として女子勞務申告義務年齢を四十歳から五十歳まで引上げる旨を發表した、スターリングラードの悲劇を契機として勞力總動員法が發布され十四歳から四十五歳までの女子に勞務申告義務が課せられたが、今回さらに範圍が五十歳までに擴大され、緊急非常態勢に即應することと

總動力員

女子の勞務申告を擴充

【ベルリン二日發】根こそぎ資源統監ザウケル博士は七月二十八日はゆる「假裝勞務撲滅」を宣言し、情實に絡まる錯節を斷乎斷ち切る決意を表明したが、三十日第二段として女子勞務申告義務年齢を四十歳から五十歳まで引上げる旨を發表した、スターリングラードの悲劇を契機として勞力總動員法が發布され十四歳から四十五歳までの女子に勞務申告義務が課せられたが、今回さらに範圍が五十歳までに擴大され、緊急非常態勢に即應することと

なつた、現在ドイツ國內では四十五歳から五十歳までの女子は凡そ三百万人、内極く大雜把に見て勞働に從つた百萬人は、種々の事情で勞働に従事出来ないが、残りを軍需工場に配置する段取である

【ベルリン十日發】總動力員統監ゲッベルス博士は十日次の通り發表した

先週既に女子の徵用年齢を五十歳に引上げ、更に一切の「假裝勞働」を禁止する法令を公布したが、ドイツ勞動力動員に關する新施策が茲に用意を了した、これら施策の一部は應急措置であり一部は主要且つ徹底的性質の方策である、これらの施策によりドイツ國民の公的生活は各方面において重要制限を受けることとならう、總動力員統監は戦争負擔の正しい分配を最も重視する、以上の施策は軍需工場へより多くの勞務員を前線へより多くの兵士を送る目的に役立つであらう、これらの施策の範圍内で次の緊急令が公布された

一、外人僱婢を今後すべて軍需工場へ振り向け、他は特に子供が多く僱婢を必要とする家庭に振り向けられよう

一、従來徵兵を免除された壯丁の各級でいかも前線において特に必要としてゐる人員は軍需相アルベルト・シュベア博士の同意のもとに、後任の勞働員の訓練を了するとともに軍需工場から引き抜く

一、従來哈ど戦争努力に寄與する機會のなかつた人々も出来るだけ廣範圍に亘り家庭勞務を強化して軍需工業に寄與出来るようにする

一、文化生活は可成りの限度まで制限する、即ち映畫並に劇場關係の青年社員はすべて軍需工場に振り向け

一、一般内務行政、鐵道、遞信並びに文化部門においても重要な節約措置を或は既に開始し或は着々準備してをり實施に先立ち一般に通達するであらう

一、公的生活の標準は原則として總力戰の諸要請に應ずるやうに是正されねばならない、一切の公的集會儀禮は今後極めて簡素としレセプション就任の儀禮、特別の劇乃至音楽會の開催、展覽會並に記念式典等は共同戦争努力と直接關係ないから禁止する、したがつて本人の生活標準が戦争のため益々影響を受けるのは必ずである、自存のための抗争の苛烈さと合致しないすべてのことが公的生活から取り除かれねばならない、ドイツ國民は生活標準のすべてを捧げて如何なる犠牲を拂はうとも存亡の戦ひを最後の勝利まで戦ひ抜く不撓の決意を實證するであらう

【ベルリン十日發】總動力員統監ゲッベルス博士は過般來所謂根こそぎ動員の立案實施を急いでゐるが特に數日前必要を力説した、ゲッベルス博士は十日の「ダス・ライヒ」誌上で以上の方針を闡明した

ドイツ國內戰線を絶對的な戰時體制に樹て直す必要あり、一部官廳の繁文縟禮を一掃しなければならぬ、その結果貴重な時間と不必要な「紙の上での戦争」を取除くことが出来るやう、より少い書類でより多くの常設インテリゲンツ紙とターゲス・ツァイト紙と統合

【ベルリン十七日發】ゲッベルス博士の協力者マックス・アマン氏は十七日の「ダス・ライヒ」誌上に「總力戰のために」と題する所論を發表したの通り述べてゐる

ドイツ新開界においては既に苛酷な制限令を實施し多數の人員を前線並に軍需工場に振り向けたが依然として國論指導の任務達成に必要な多様性を遺憾なく發揮してゐる、今回ドイツ政府は一段と峻嚴な新聞制限令を實施するが爆撃の場合の對策については充分考慮を加へてゐる、以上の前提のもとにアマン氏は全國の新開統合令を發表してゐるが要旨次の通り

△ベルリン B、B、Z (ベルリンナ・ベルゼン・ツァイトン) 紙と D、A、Z (ドイツツェ・アルゲマイン・ツァイトン) 紙と統合、ベリナー・ロカール・アンツァイガ紙とベルリナー・モルゲンポスト紙と統合、ベルリナー・フォルクツァイトン紙 (現在の發行部數每日廿五萬) は廢刊、近郊の各紙も夫々統合

△ワイオン フォルクスツァイトン紙その他小新聞は悉く「クライネ・ウイナ・クリーグス・ツァイトン」紙に統合

△ドレスデン ドレスドナ・ツァイトン紙とフライハイツカンフ紙と統合

△ハンノーヴェル ハンノーヴェル・ツァイトン紙とクリエル・ツァイトン紙と統合

△ターゲスツァイトン紙とターゲス・ツァイトン紙と統合

獨新聞統合令發表

【ベルリン十七日發】ゲッベルス博士の協力者マックス・アマン氏は十七日の「ダス・ライヒ」誌上に「總力戰のために」と題する所論を發表したの通り述べてゐる

ドイツ新開界においては既に苛酷な制限令を實施し多數の人員を前線並に軍需工場に振り向けたが依然として國論指導の任務達成に必要な多様性を遺憾なく發揮してゐる、今回ドイツ政府は一段と峻嚴な新聞制限令を實施するが爆撃の場合の對策については充分考慮を加へてゐる、以上の前提のもとにアマン氏は全國の新開統合令を發表してゐるが要旨次の通り

△ベルリン B、B、Z (ベルリンナ・ベルゼン・ツァイトン) 紙と D、A、Z (ドイツツェ・アルゲマイン・ツァイトン) 紙と統合、ベリナー・ロカール・アンツァイガ紙とベルリナー・モルゲンポスト紙と統合、ベルリナー・フォルクツァイトン紙 (現在の發行部數每日廿五萬) は廢刊、近郊の各紙も夫々統合

△ワイオン フォルクスツァイトン紙その他小新聞は悉く「クライネ・ウイナ・クリーグス・ツァイトン」紙に統合

△ドレスデン ドレスドナ・ツァイトン紙とフライハイツカンフ紙と統合

△ハンノーヴェル ハンノーヴェル・ツァイトン紙とクリエル・ツァイトン紙と統合

△ターゲスツァイトン紙とターゲス・ツァイトン紙と統合

【ベルリン八日發】 ナアツソノ來電

【ベルリン十三日發】 ミラノ來電

黒シヤツ旅團の活躍

【ベルリン十三日發】 ミラノ來電

官憲の被害

【ベルリン十三日發】 ミラノ來電

フアシスト黨書記長負傷

【ベルリン十三日發】 ミラノ來電

【リスボン二日發】 反樞軸

商船隊を組織

【リスボン四日發】 ヴァチカン來電

米使節法王に謁見

【リスボン十三日發】 ヴァチカン市

リスポン王と會見

【リスボン廿二日發】 ヴァチカン市

リスポン廿五日發

【リスボン廿五日發】 ヴァチカン市

リスポン廿二日發

【リスボン廿二日發】 ヴァチカン市

リスポン廿一日發

【リスボン廿一日發】 ヴァチカン市

リスポン廿一日發

【リスボン廿一日發】 ヴァチカン市

【リスボン廿一日發】 ヴァチカン市

フランス

新戦士「コーシー」團

【パリ七日發】 ノルマンディー戦線

救済委員會

【リスボン廿二日發】 ヴァチカン市

リスポン廿二日發

【リスボン廿二日發】 ヴァチカン市

リスポン廿二日發

【リスボン廿二日發】 ヴァチカン市

リスポン廿二日發

【リスボン廿二日發】 ヴァチカン市

リスポン廿二日發

【リスボン廿二日發】 ヴァチカン市

リスポン廿二日發

【リスボン廿二日發】 ヴァチカン市

【リスボン廿二日發】 ヴァチカン市

【リスボン廿二日發】 ヴァチカン市

政府東部に移る

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

故スベイン外相薩儀

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

故スベイン外相薩儀

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

故スベイン外相薩儀

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

故スベイン外相薩儀

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

故スベイン外相薩儀

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

故スベイン外相薩儀

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

スイス

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

スイス

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

スイス

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

スイス

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

スイス

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

スイス

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

スイス

【リスボン廿二日發】 ドイツ外務省

得して以來スペインの國際親善關係は從來會て見られなかつた程増進した、今後はフランコ將軍はスペインの利益を念願しつゝ從來通りの政策を續行するであらうとスペインの外交政策を闡明した

須臾公使と會談【マドリド十四日發】須臾公使は十四日午前十時スペイン新外相レケリカ氏と會談した、右會見は要するに新任外相との挨拶が主眼だが、レケリカ外相が外交團の内特に日本公使と先づ會見したのは注目に値ひする、會談は個人的範圍にもわたり打ちつけて意見を交換したといはれる

北政諸國

織維研究所新設

【リスボン八日發】コペンハーゲン來電ハデンマーク織維工業界では科學者と協力して同國織維の改良を協するため來る九月一日デンマーク織維研究所を設置することとなつた

對スイス通商協定延長

【ストックホルム八日發】スウェーデン政府は今回一九四〇年八月締結の對スイス通商協定が期限満了になつたにつき、さらにこれを本年末まで延長するに兩國間に意見一致をみた旨發表した

ドイツ向航海停止

【ストックホルム廿四日發】スウェーデン戰時保險委員會が今回北海、バルト海沿岸のドイツ領港灣向けス

ウェーデン船舶に對する保險を廢止したため同方面におけるスウェーデン船舶の航海は差し當つて中止されることとなつた、従つて鐵嶺並に石炭の輸送はドイツ船舶による分だけ續けられることになつた

芬公使歸國

【ストックホルム廿五日發】スウェーデン駐紮フィンランド公使グリツペンベルグ氏は廿四日ストックホルムを出發、ヘルシンキに向つた

反樞軸大艦隊侵犯

【ストックホルム三十日發】反樞軸空軍約五百機は二十九日夜スウェーデン南部上空に飛來、スウェーデン高射砲隊の邀撃に遭つて内六機は墜落少くも五機は不時着した

ドンラスイア

大統領華府へ

【リスボン二十一日發】ワシントン來電ハアイズランド大統領領事スヴェイン・ピョルソンは大統領ルーズヴェルト並に國務長官ハルと會見のため二十一日ワシントンに到着した

米軍の撤退を要求

【リスボン廿六日發】ワシントン來電ハアイズランド共和大統領領事スヴェイン・ピョルソンは目下ワシントン訪問中だが、廿六日新聞記者團と會見次の通り述べた

ドンランイフ

大統領更迭

【ストックホルム一日發】ヘルシンキ來電ハフィンランド政府は一日次の通り發表した、フィンランド大統領リトホフ・リチ氏は健康上の理由もあ

する、我が國民の不動の信頼と團結は最上の防衛力である、【ストックホルム九日發】ヘルシンキ來電ハフィンランド新首相ハクゼル氏は八日組閣を完了した、顔觸れ次の通り

ノ聯邦

政治

モスクワに神學研究所

【モスクワ五日發同誌】モスクワ教區のギリシヤ正教機關誌はモスクワ市内ノヴォデヴーキ僧院に今回神學研究所が設立された旨發表した、ソ聯における宗教復活運動の一具體化として注目される

シベリア大移住を計畫

【モスクワ十五日發】ストックホルムからのD・N・B電報によればソ聯の某大使館員が最近スウェーデン外交官と極秘會談を行つた際、次の如きソヴェト政府の計畫を仄したと傳へられる

芬前藏相外交委員に

【ベルリン三十日發】ヘルシンキ來電ハ最近フィンランド藏相を辭任せるワイノ・タンネル氏は三十日政府外交委員に任命された

芬二將軍に鐵十字章贈與

【ベルリン廿日發】總統大本營廿日發表ハヒトラー總統はフィンランド國防軍總司令マンネルハイム元帥に柏葉騎士鐵十字章を、參謀長アクセル・エリツヒ・ハイニンツクス大將者は戰爭中ドイツ軍と接觸のあつた者達で、ソ聯政府は國境地域を純粹のソ聯民族で固める意向である

波解放委員會と使節交換

【ストックホルム一日發】モスクワ來電ハソヴェト政府はさきにケルムに樹立されたポーランド解放委員會との間に外

米軍の撤退を要求【リスボン廿六日發】ワシントン來電ハアイズランド共和大統領領事スヴェイン・ピョルソンは目下ワシントン訪問中だが、廿六日新聞記者團と會見次の通り述べた

【ストックホルム九日發】ヘルシンキ來電ハフィンランド新首相ハクゼル氏は八日組閣を完了した、顔觸れ次の通り

【ストックホルム一日發】モスクワ來電ハソヴェト政府はさきにケルムに樹立されたポーランド解放委員會との間に外

交使節を交換することに決定しソヴ
エト代表としてニコライ・ボルガ
ニンを任命、同時にポーランド解放
委員会は、グインセツト・ロジモフ
スキーを代表に任命した

【ストツクホルム四日發】

モスクワ
來電ニスターリン議長は三日ポーラ
ンド亡命政權首相ニコライチツクを
引見二時間餘に亘つて協議した、右
會談にはポーランド側から首相のほ
か外相ロメル、國民會議々長グラ
フスキが出席し、ソヴェト側からは
プロトフ外相が列席した、ニコライ
チツクは宿舎に歸還後記者團と會見
して四日には何か聲明出来るかも知
れないと述べた

ワルソー蜂起問題紛糾

【ストツクホルム廿一日發】ワルソ
ーにおけるポーランド遊撃隊はドイ
ツ軍のため殲滅の運命に陥つたが英
國外交評論家ヴァーノン・ペイトレ
ットが「ニューズ・クロニクル」紙
上で「ワルソーの蜂起は事前にソ聯
に對して通告されてゐたのだが、蜂
起の時期をあやまつたため、ソ聯の
援助を受けることが出来なかつたの
だ」と素破抜いた結果、俄然問題は
表面化するに至つた、ロンドン來電
によれば、亡命ポーランド政權首相
ニコライチツクは廿一日記者團に對
して聲明を發表、ペイトレットの素
破抜き記事を肯定して次の通り言明
したといはれる、ポーランド政權は
ワルソー蜂起計畫をロンドンの反樞
軸合同參謀本部に提出、同本部は計
畫を検討した上モスクワに通告した
余がモスクワを訪問した際、スター
リン議長は赤軍にワルソー蜂起を援
助させると確約したが約束に實現さ

對羅休戰條件

【リスボン廿四日發】アンカラ來電
ニトルコ外交界の見解によればルー
マニアに對するソ聯の休戰條件は
ルーマニアの無條件降伏と民主主義
的政權の樹立で、以上の反對給付と
してソ聯はルーマニアの獨立を保障
し、トランシルヴァニア全地方に對
するルーマニアの主權を認めるもの
と傳へられる

休戰の經緯を發表

【ストツクホルム
二十六日發】モスクワ來電ニソヴェ
ト政府は二十六日夜次の公式聲明を
行つた

ルーマニア國王ミハイ一世は八
月二十四日夜ソ聯との休戰に關する
布告を行つた

一、ドイツ軍は高角砲をもつてブカ
レスト市を砲撃、市内の兵營に爆撃
を加へた
一、獨逸軍はトランシルヴァニアの
防衛措置を講じてゐる
一、ルーマニア軍はカルパチヤの各
峠を占領、ドイツ軍と戰鬪を交へて
ゐる

再び洪を恫喝

【ストツクホルム廿一日發】ソヴェト
政府は廿日夜のモスクワ放送をもつ
て再びハルトガリーに對し、もしも直
ちに戦線から離脱して、ドイツとの運
命は保障し難いと恫喝したといはれ
る

ネルソン、モスクワ着

【モスクワ三十一日發】大統領ルー
ズヴェルトの特使として重慶に派遣
された戦時生産局長官ネルソン並に
陸軍少將バトリック・ハーレーは三
十日空路モスクワに到着した

の内容次の通り
新政權は國民統一の示現であり、國
民々々主義プロツクを形成する四政
黨の首班ニユー・ブラチアナ、ハト
ロチアナ、プロテスコ等によつて代
表されてゐる、新政權は直ちに休戰
を實現せしめ、ドイツ軍をルーマニ
ア領土より驅逐するに議決した
【モスクワ三十一日發】ルーマニア使節團はソヴェト
政府と休戰交渉のため三十一日午前
モスクワに到着した、使節團の顔
次の通り
ヌチルベイ大公、司法大臣バルトラ
スカヌ、内務大臣代理デマカヌ、陸
軍中將フォクスニアヌ
【リスボン廿七日發】メキシコ市來
電ニメキシコ大統領アグイラ・カマ
チョはモスクワ駐劄メキシコ大使ル
イス・キンタニヤがコスタリカ公使
を兼任することを承認した、因ちメ
キシコ駐劄ソヴェト大使コンスタ
ンチン・ウマンスキー氏は、六月以
來コスタリカ駐劄公使を兼任してゐ
る

眼科醫學の大家逝去

【モスクワ三日發】ソヴェト聯邦
が誇る眼科醫學の世界的權
威アグエラ・バクサ博士は
去る二十九日宿病のため逝去した、
享年七十二

キリギス外務人民委員決定

【ストツ
クホルム十日發】モスクワ來電ニキ
リギス共和國最高會議はカシイ・デ
イロム・ペーイーエフ氏を外務人民委
員に任命した

兩司令軍大將に昇進

【モスクワ一日
發】第二白露戰線軍司令官ザハロフ
及び第三白露戰線軍司令官マシロフ
ニコフの兩大將は廿八日付をもつて
それぞれ軍大將に進級した

新政勢指揮官

【ストツクホルム二十
二日發】モスクワ來電によればチラ
スボリ南方で新政勢を開始した第三
ウクライナ戰線軍の指揮官マリノフ
スキー軍大將に代つてトルブーヒン
軍大將が採つてゐるといはれる、ト
ルブーヒン軍大將は冬季戦まで第四
ウクライナ戰線軍を指揮してゐた

ソ聯紙増産を要求

【ストツクホルム一日發】
モスクワ來電によればソヴ
エト政府の機關紙イズヴェ
エト紙は一日の社説において増産の
急務を強調して次の通り述べてゐる
といはれる

水運界の新記録

【モスクワ三日發】ソヴェトの油槽
船一隻は今回カスピ海岸のアストラ
ハンからモスクワまで石油の直接輸
送に成功した、右油槽船は大型貨物
列車十輛分に相當する二千五百噸の
石油を積載して六月二十六日アスト
ラハンを出發、途中規則的な航程を
續けてモスクワまで三千二百噸の水
路を進行し二日モスクワに到着した

移動發電所を米に注文

【リスボン八日發】ソ聯は第一線後
方で直ちに戰車、トラツクを修理す
るため移動發電所の建造をアメリカ
に注文してゐたが、スケネクタデー
(ニューヨーク州)來電によればア
メリカ駐在ソ聯物資購入使節團長ル
デンコ少將はパーウィック(ペンシ
ルヴァニア州)における最初の移動
發電所の引渡式に際し次の通り言明
したといはれる
ソ聯は現在四十基の移動發電所の建
造をアメリカに注文してゐるが、こ
の發電所は列車に据ゑつけられ、目
的地到着後二、三時間で三千キロワ
ットの電力を供給することができる
この移動發電所は回復地域の市町村
の復興工作にも大いに利用されてゐ
る

東南歐洲の戦局と政局

【アタペスト廿二日發】歐洲戰爭の
現段階を決定する最大の要素は時間
である、この際貴重な時を稼がらと
する、ドイツ軍と一擧に押しまくつて



ドイツ軍に立直る餘地を與へまいとする反樞軸軍との鬭争こそ今全戦線に支配する第一の命題である、トルコ政府の斷交から動き始めた東南歐洲の情勢はルーマニア政府の裏切り後一週間の現在正に沸騰點に近づいてゐるが、ドイツ軍現在の防衛態勢全般からみればドナウ河以南を一時放棄することも考へられるし、ドイツ軍も現實にこの對策を練つてゐるといはれる、しかし以上の對策のためには出来る限り時を稼ぐ必要あり目下あらゆる點で反樞軸軍の政略を阻害する工作に出でゐる、これに對し米英ソ三國が遮二無二東南歐洲をドイツ軍から切り離し時を移さず八方からドイツ本國を押し潰さうと焦慮してゐる、東南歐洲に對する反樞軸軍の攻撃企圖は豫想以上に熾烈である、就中ルーマニア國に入つた赤軍が早くも開始したハンガリーに對する執拗な攻撃振りは單にルーマニア占據だけに甘んじないソヴェト政府の意圖を示し米英兩國がブルガリア政府に軍隊の通過、鐵道の提供を要求してゐるの單にソヴェト政府との競争からとみることは出来ない、東南歐洲で最早政治工作の舞臺から漸く軍事行動の場面に入つたといへよう、現に東南歐洲に對する反樞軸軍の爆撃も威嚇本位を止め約一月半前から軍需工場、精油所等直接ドイツ軍の防衛力に響く對象を一つ一つ組織的に狙つてゐる、以上の見地から次に羅、勃、洪三國の現狀を検討しよう

一、ルーマニア 軍事的に依然大混亂を來たしてゐるため裏切り政權も國民政府も未だ政府が判然してゐない、赤軍は全面的に進撃を續行し西部のハンガリー領土トランシルヴァニア地方は特殊及山岳部隊がギメスパス、ギトツバスの二通路の國境軍を攻撃し、ドナウの深谷の縱貫鐵道を確保しようとしてゐる、中央はプザウに迫りプロエスチ油田を脅威し、東部はドナウ三角州の北半を占據しようとしてゐる、ドイツ軍はプロエスチ油田を含む地方からルーマニア西部をカルパチア山脈にドナウ河を結ぶ線に據り防衛する方針と解されるがプロエスチ油田も最前線となれば採油も殆ど出来ず、同地死守によつて無敵な兵力の損耗を避け右防衛戦にも相當弾力を持たせようとしてゐる、イスタンブール情報によれば米英兩國は近くルーマニア國內の空軍基地を利用する意圖あり、プカレストへ赴く軍事政治使節團は現にイスタンブールで待機してゐるといはれる

二、ハンガリー ハンガリー政府はルーマニア政府の裏切りにつき公式に聲明してゐないが、各新聞は廿八日に至り一齊にルーマニア政府の裏切りを攻撃し共同防衛の態度を明らかにした、政治的にはいろいろ複雑微妙な情勢も政治的が廿九日に至りカトス大將を首班とする新内閣が成立、祖國防衛戰線の繼續を宣言して國內和平派の蠢動を抑制してゐる、ドイツ政府も以上の情勢を重視して把握力の強化に努めドイツ軍幹部、外交官等が頻りにベルリン、ブダペスト間を往來してゐる、問題はドイツ政府がどれだけ武器兵力を注ぎ込んでいるかである、更にイスタンブール情報によればソ羅兩國間の休戦條件が全く米英兩國の利害を無視してゐる點から見て米英兩國は自軍によつてハンガリー領土を占據することを策しこのためにブルガリア政府に軍隊の通過を要求し既にハンガリー占領委員會を米國はカイロに英國はナポリに設定したと傳へられる

三、ブルガリア ブルガリア元首首相ムシヤノフ氏が米英兩國と和平交渉のためアンカラへ赴いたことはDNBも認めてゐるがムシヤノフ氏は既にソフイヤへ歸着攝政と内閣の間に重要會議が續けられてゐるといはれる、但し和平條件についてソヴェト政府と米英兩國との間に相當喧ひ違ひがあり米英兩國は未だ最後の條件を提示するに至つてゐない様子だが最大の問題は常にブルガリア政府が中立を希望し、外國軍隊の駐屯通過を拒否するに對し米英兩國が飽くまで軍事施設、鐵道港灣の提供、ソイヤ駐劄ドイツ公使ベツケル氏がブルリンから歸任、ブルガリア政府と交渉してゐると云はれるが、ブルガリア政府が完全に中立化するならばドイツ政府としても反對せず、自國軍の撤收にも同意するのではないかとみられてゐる、然し米英兩國はバルカン全體をソヴェト政府に讓る意圖のないことは漸次明かとなつてをリトルコ、ギリシャ兩國はもとよりブルガリア、舊ユーゴスラビヤ領土にも勢力を張らうとし西亞軍をトルコから、またはギリシャ領、黒海方面に上陸させようとして準備してゐると傳へられる、タイムズ紙等英國の新聞界がブルガリア交通線等の重大性を説き、中立宣言だけで和平條件とならずと叫んでゐる點から推して米英兩國は強引に軍隊通過の要求を押し切る肚と見られる

アニマール

米英ソ三國と休戦

【リスボン四日發】ブカレスト來電によればルーマニア政府は廿三日次の通り發表したといはれる

- 一、米英ソ三國の休戦條約を受諾し三國との戰爭を終結させる
- 一、首相アントネスコ將軍は桂冠しサナテス・キユー將軍が後繼内閣を組織した
- 一、ルーマニア政府がハンガリー領トランシルヴァニア地方の一部を併合したウイーン裁定を破棄する
- 一、國民は此の際國王を中心にして難局の打開に努めること
- 一、屈辱的な休戦條件【ベルリン廿八日發】ブカレスト來電ルーマニア政府當局がルーマニア軍の高級將校から得た情報によれば、今このソ羅休戦條件は史上に例をみぬほどの不名譽で屈辱的なものであり、次の諸條件を含むといはれる
- 一、ルーマニア軍は一切の武器及び裝備を赤軍當局に引渡さねばならぬ
- 一、ルーマニア軍がトランシルヴァニアでハンガリー軍と戦ふために要する武器、裝備の量その他についてはソヴェト政府代表がこれを決定する
- 一、ソヴェト政府は自國內の戰禍を蒙つた地區の復興のため、百四十萬のルーマニア人労働者及び百二十萬の建築、機械その他の専門家を自由で使用せう
- 一、ソヴェト領内に收容されてゐるルーマニア軍俘虜はルーマニアがソヴェト政府によつて課せられた仕事に完全に遂行した後始めて釋放される
- 一、ベツサラビヤ、ブコヴィナの兩地方は即座にソヴェト聯邦に再編入される、北部ドブルジャ行政地區をソヴェト政府の直接管轄下におく、また、赤軍は戰時中ダニューブ河船舶航行に對する支配權を保持し、更に、必要によつてルーマニア國內に自由に陸海空軍基地を設定しうる
- 一、ルーマニア政府は赤軍及びソヴェト官憲の命令を迅速に履行する責任がある
- 一、ルーマニア政府は國民が國民投票によつて將來におけるルーマニアの政體を決定するのを許す旨宣誓しなければならぬ
- 一、新内閣の構成【ストツクホルム二十五日發】ブカレスト來電ルーマニア新内閣の主なる顔觸れ次の通り
- △首相 陸軍大將
- △外相 ニグルスク・グエステイ
- △最高會議 ユリウス・マニウ
- △ベルテスク
- △ベルテスク
- △ティノ・ブラテイヤヌ
- △ペルトラスカヌ

國民政府成立

【ベルリン廿四日發】ブカレスト來電D・N・B・ルーマニア國王ミハイ一世は廿三日夜布告をもつてソヴェト政府の休戦條件を受諾し、戰闘を停止する旨宣言し、同時にアントネスコ將軍を首班とする内閣が總辭職してコンスタンチン・サナテス陸軍大將に依つて新内閣が組織されたが、右發表とともにルーマニア國內には翕然として愛國運動が起り廿

四日ルーマニア國民政府が結成され、並びにルーマニア軍が如何なる場合にも斷じて國王の命令乃至ブカレストにおける商賈人どもの命令に從はず、ルーマニア國土防衛のために國民の血を流してゐる盟邦ドイツ政府にあくまで忠實ならんことを要請する。

ルーマニア國民諸君、ボルシェヴィイズムに對する今回の戦ひが容易ならぬ戦争であることはわれわれのすべてが承知してゐるところである、しかし品位ありし祖國と國民とを愛するルーマニア人にとつては「最後まで戦ふ」との一語あるのみ

失望する勿れ、ボルシェヴィイズトは多年に亘る戦ひによつて既に疲勞困憊してゐる、一切を賭してあくまで頭張ればルーマニア國民の自由は救はれよう

ルーマニア萬歳
一九四四年八月二十四日

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】DNBがルーマニア國境線からとして報道する所によればルーマニア鐵衛隊の首領ホリア・シマ氏は廿日ルーマニア軍に對し次の通り訴へたと傳へられる

「ドイツ軍は勝利を目指して今や全力を展開しつゝあり、歐洲戦争の歸趨は未だ決定してゐない、ドイツ國民の決意には些の搖ぎなく裏切り分子は叛罪行為を正當づけようとして列擧した理由の如きはユダヤ的フリーメ

ンに過ぎない、ミハイ一世の裏切り行為はルーマニア軍將兵を殺すに等しいからルーマニア軍將兵が裏切り政權の命令に從ふ理由は毫もない

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

ボルシェヴィイズムに對し祖國を防衛し祖國の將來のために戦ふことこそルーマニア軍の任務である、ルーマニア國民が今日において國內の均衡を回復するため全力を結集しなければルーマニア國民從來の努力は悉く水泡に歸さる、ルーマニア將兵は最後に一人に至るまで裏切り政權の打倒に全力を傾注しなければならぬ、ルーマニア軍に對する軍命令は「ボルシェヴィイズムに對してルーマニア國を防れ」との一語に盡さる

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

【ベルリン廿一日發】ルーマニア國民政府

アリガルブ

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電
ソフイア來電によればブルガリア外務省當局は九日次の通り言明した

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

【ブダペスト九日發】ソフイア來電

刑を言渡された外人も釋放される豫定である

駐日土新大使動靜

【リスボン五日發】アンカラ來電 東京駐劄のトルコ新大使ムザアア、ゲケル氏は四日イノニニ一大統領と會談した、ゲケル大使は近日中東京に向け赴任の途につく筈である

在留獨人引揚

【アムステルダム五日發】アンカラ來電 獨逸兩國の國交關係斷絶に伴ひトルコ在留の獨逸人は續々本國への引揚を開始してゐるが右に關しトルコ政府當局は五日次の通り言明した

トルコ内には一時五千名に及ぶ獨逸人が在留してゐるが、最近ではこの數は一千五百名程度に減少、しかもこの大部分も既に獨逸本國に向け出發した、但し獨逸國籍のユダヤ人は希望によりトルコ國內に残留することを認めることとならう

國內燈火管制

【リスボン七日發】アンカラ來電 トルコ政府は七日國內全都市に對し燈火管制を發令した

國內防備を強化

【リスボン八日發】アンカラ來電 トルコ政府は凡そ一十萬人の男女を以て自警團を組織、外部からの空襲部隊侵入に對し海岸地帯に配備したといはれる、一方トルコ國會は十六歳以上六十歳までの男子及び二十歳以上四十五歳までの女子に武器をとり各自の家庭から半徑十五キロメートルの地域を防禦する義務を課する法案を可決した

内閣改造

【リスボン卅一日發】ハムディ・エル・パチャチを首相とするイラク内閣は卅日

總辭職したが同首相は再組閣を委嘱され即日組閣を完了した、なほ閣僚の顔觸次の通り

首相 ハムディ・エル・パチャチ 外相 マルシャト・エル・オマリ 藏相兼供給相 シヤバ 藏相兼公共事業相 アブドゥル・エル・アスリ

文相

イブラヒム・アキフ 社會事業相 モハメット・ハツサン

内閣總辭職

【リスボン卅日發】テヘラ來電 モハメッド・エス・サイドを首相とするイラク内閣は廿九日總辭職した

米國大使テヘラへ

【リスボン十三日發】テヘラ來電 米國務次官ステテニアスは七日の新開記者團會見で米英ソ重慶會談は来る十四日からワシントンで開催されることとなつてゐるが、二十一日に延期開催することとなつた、これはソヴェト政府が會談參加準備のため延期を申込んできた爲であると發表した

ソ蘇代表任命

【リスボン廿一日發】ソヴェト政府は来る二十一日からワシントンで開催されることになつてゐる米英ソ重慶國會議談のソヴェト首席代表はワシントン駐劄大使グロムミヨ氏が任命された旨十一日發表した、ソヴェト代表團にはこの他にロデオノフ海軍少將、スラヴィン陸軍少將等が加はる筈である

戰後機構米國案

【リスボン廿四日發】廿一日からワシントン郊外のダンバートン・オークスで開催されてゐる米英ソ三國會談には既に三國代表から夫々戰後機構に關する具體案が提出された模様だが、ニューヨーク來電によると廿二日のニューヨーク・タイムズ紙は信賴し得る筋から入手したと稱して三國會談に提案された米國案の内容を暴露した、米國案の内容次の通り

一、國際安全保障機構は反極軸國全部の代表から組織される總會、主として大國の代表により組織される理事會、國際司法裁判所、書記局より成る

一、總會は一年に一回各國の首都に於いて開催され理事會の行動を援助し、且つこれに實効性を與ふ、總會において各國は夫々一票宛の投票権を有す

一、理事會は十一名の委員より成り米、英、ソ、重慶政權の四國が常任理事國として四つの席を占め、他の七委員がその他の各國から任命される

一、理事會は主として國際紛争の平和的解決に當る、然し侵略を防止するために武力をも使用し得べく、武力制裁發動は理事會の過半数を以て決定す、但し四常任理事國全部の賛成投票を必要とす

一、武力制裁の發動はあらゆる平和的解決措置が悉く失敗に終つた場合のみに限る

【チネーリツヒ十五日發】英國首相チャーチルは十二日ローマに到着したが現在ローマには米軍補給本部長ソマヴィル大將、陸軍次長ベターソン、海軍長官フオレストル等が滞在して、海軍バカソンの作戦につき協議してゐると解される

米英首腦近く會談せん

【リスボン卅日發】米國大統領ルーズベルト英國首相チャーチルとの會談接近が各方面から傳へられてゐるが卅日のBBCは右に關し次の通り放送した

チャーチルは近くルーズベルトとドイツに對する對策及び今後の對日作戰強化を協議するため近く會談することとならう、政界消息筋の意見によるとチャーチルは近く戰時内閣に彼のイタリヤ職域觀察並にユーゴのチトその他と會談したことが報告する筈だがそれが終つて間もなく英國を離れることとならう

再びケベックか

【リスボン廿一日發】ワシントンからのUP電報が確實な筋の情報として傳へるところによればルーズベルトとチャーチルの會談は極く近い内に實現することとなり、會談地はカナダのケベックに決定したといはれる、以上の會談にはスターリン議長も參加するとの説が行はれてゐるが、英國消息筋は疑問視してゐる

中心議題は對日戰

【リスボン卅一日發】ワシントンからのUP電によればワシントンの外交消息筋は卅一日次の見解を洩したといはれる

ルーズベルトとチャーチルが反極軸作戰指導部首腦を加へて純軍事上の問題につき協議する筈だ、協議の

アフリカ

ブルガリア代表カイロ着

【リスボン卅日發】カイロ來電 ブルガリア代表カイロに到着した

トプチエ

【リスボン廿日發】モシヤノフ氏を首班とするブルガリア代表團は卅日空路カイロに到着した

反極軸國會議

【リスボン三日發】ニューヨーク來電によれば米洲二十一ヶ國をもつて組織されてゐる「米洲司法委員

會」は三日米洲各國政府に對して反極軸國際組織の即時樹立に關する勸告案を通過したといはれる、勸告案は新國際組織には反極軸陣營にあらゆる國家がその大小の別なく參加することを先決條件としてゐるが、反極軸陣營の指導綱領たる大西洋憲章の存在にも拘らず最近反極軸諸小國の立場が殆んど無視され、あらゆる問題が米英ソ聯等のいはゆる大國によつて獨斷的に決定されることに對してこれ等小國の不滿強々今回の右の勸告案もこの現はれの一つだが反極軸四國會談がワシントンで開催される直前にかゝる勸告案が發表されたのは特に注目される

内容については種々の見解が行はれてゐるが、ルーズヴェルトが最近太平洋戦域を巡歴したことと、會議にスターリン議長が参加したところからみても對日戦が中心となるものとみられる

反樞軸政治顧問辭職

【リスボン十八日發】ワシントン來電 歐洲侵攻反樞軸軍總司令官アイゼンハワーの政治顧問ウイリアム・フィリップスは「家庭の事情」により辭職する旨十七日發表した同人は會に駐伊大使としてローマに駐在した新政治顧問【リスボン廿一日發】ワシントン來電 米國務省は廿一日次の通り發表した

地中海方面反樞軸軍政治顧問にバー・ト・マリーは最近歸米したウイリアム・フィリップスの後任としてアイゼンハワーの下に歐洲侵攻反樞軸軍政治顧問に任命された、マリーは大使の資格をもつて専ら對獨問題の處理に當る筈である、因みに前政治顧問フィリップスは英國の印度政策を攻撃した廉で最近米國に召還され現に米英兩國間の泥試合の的となつてゐる

印度問題で米英泥試合

【リスボン廿日發】歐洲侵攻反樞軸軍の米人外交顧問フィリップスが英國の對印政策を攻撃したとの理由で米本國に召還された事實は米英兩國間の重大政治問題化し、米國新聞記者ドリュー・ヒアソンの素破抜き記事に引續き、上院議員チャンドラーの議會における英國爆撃演説にまで發展したが、これに對しては英國側もだまつてはゐらず、ロンドン來電によると廿日のデイリー・スケッチ紙は政治評論家キャンディダスの署名

記事を發表逆に米國の黒人問題と人問題に世界の大問題として取りあげ非難する米國の獨善主義を痛烈に攻撃した、印度問題をめぐつて恒例の米英泥合戦が再び開幕した形だがキャンディダスの論文要旨次の通り

米國民が米英兩國の緊密な提携關係の維持を希望するならば英國の對印政策を大袈裟に攻撃するやうなひとりよがりやめて貰ひたい、チャンドラーの上院における演説などはその好適例だ、彼は大統領ルーズヴェルトが印度の現状につき完全な真相を明かにした報告を出すよう要求したが、かかる要求は無作法、無適切であり、單に米國民の對英反感に油を注ぐ結果を招来するのみだ、チャンドラーは更に印度は内亂の巷と化すかも知れないと述べたが、若し内亂が起るにしてもこれは英國の罪ではない、印度に内亂の起るやうな問題は先づあり得ない、又もしかかる事態が発生したとしても大部分の印度人は治安恢復のため英國軍が印度に乘込んだことを歓迎しよう、印度における治安を維持することこそ英國が自ら引受けた役制なのである

印度人はたしかに印度が米國に支配されるより英國により統治されることを選ぶに相違ない、何故なら印度人は最近フィラデルフィアで起つた交通罷業のやうな事件が米國內で頻發してゐる事情をちゃんと知つてゐるからだ、この交通罷業の原因はフィラデルフィアの市當局が數名の黒人労働者を雇ふせんとしたのに對して白人労働者が反對した結果であり、英國の印度政策攻撃では君子面をす

ことを想起しよう、米國における黒人問題こそ世界の大問題であり、たしかに戦後の世界再樞軸に参加した有色人種は民族解放を説き聞かされ、これが爲に戦つてゐるのだと信じてゐる、然らば彼等の協力によつて反樞軸側が勝利を得た場合に我々は彼等に何を與へんとするのであるか、白人は彼等有色人種に對して「お前達は勝利のために我々に非常な助力を與へた、然しお前達は勝利の日、果實を分け合ふことは出来な

い」といはずとするのであるが白人は、彼等に對して彼等有色人種であるといふ理由のために均等な機會は與へることが出来ない」と主張する白人がかか考へ方をもつてゐるとするならば、反樞軸側が例へて戦争に勝つたとしてもこれに加擔して有色人種は完全に敗北したといはなければならぬ、更に長い目でみれば白人達も結局戦争に負けたといふことになる、何故なら有色人種達は白人のかかる無法な主張に對し彼等の人種的劣等の地位を從順に甘受すること

を拒否するに違ひないからであるかくて世界の歴史はまづて以來の最も恐る可き戦争、即ち白色人種對非白色人種間の戦ひの種が蒔かれることにならう

米英蘭國會議

【リスボン廿日發】ワシントン來電 米國務省は十日次の通り發表した

米英蘭三國政府代表は去る一日から九日までロンドンでゴム會議を開催した、會議には三國の民間ゴム業者代表も參加したが將來の天然並びに人造ゴムに關するあらゆる問題につき意見を交換、多くの取り決めを行

【リスボン十七日發】ワシントン來電 米國務省は今回、過激行

【リスボン十七日發】ワシントン來電 米國務省は今回、過激行をなした米英蘭國會議の結果、右三國間に新たな國際ゴムカルテルが結成されることに意見一致をみた旨發

【リスボン廿八日發】カンディ來電 東南アジア反樞軸軍司令部は廿八日次の通り發表した

【リスボン廿一日發】亡命ボラー首相は現在第三戰術航空隊を指揮してゐる

ポラー首相

【リスボン廿一日發】亡命ボラー首相は現在第三戰術航空隊を指揮してゐる

【リスボン廿一日發】亡命ボラー首相は現在第三戰術航空隊を指揮してゐる

ヘウム政權代表モスクワ着

【ストツクホルム六日發】モスクワ來電 トラウスキは副委員長グイトスその他を帶同、五日モスクワに到着した

【ストツクホルム八日發】折衝徒勞か【ストツクホルム八日發】亡命ボラー首相ミコラエジクは外相ロメル、教授グラブスキと共に七日四時に亘つてヘウム政權代表と會談後米英兩國大使と更に數時間に亘り協議した

【ストツクホルム九日發】デーリー、メイル紙の報道によれば過般副大統領を辭した亡命ボラー軍總司令官ソンスコウスキーの後任にエム・アルチエウスキーを任命したといはれる

【ストツクホルム十日發】亡命ボラー首相は右要求を鵜呑みし今回漸くモスクワに乘込むに至つたと解される

ポロランド領内の遊撃隊に對する兵
站援助等が主要な論點で、屢次の交
渉にも拘らず三者間に妥協點を見出
すことが出来なかつたと解される

【ストツクホルム十七日發】

ポロランド國民評議會は十七日の會議
でポロランド解放委員會に對し赤軍
占領下の舊ポロランドにおいて法律
及び命令を公布する權限を賦與し、
更に動員並びに兵役義務の登錄令を
採擇したと傳へられる

【ストツクホルム廿五日發】

エクス
チュンジ・テレグラフ紙のモスクワ
電報が廿五日報ずるところによれば
ソヴェト政府は濠洲政府に對して次
の通り公式に通告したといはれる
ソヴェト政府並にヘウム政權間にお
ける外交代表交換の結果ソ聯におけ
るポロランドの利益はヘウム政權の
外交使臣によつて代表されるため、
濠洲政府は最早モスクワにおけるポ
ロランドの利益を代表する必要を認
め得ない

【リスボン廿六日發】

暗殺を免る
リ來電によればパリに乗り込んだア
ルジェエ政權の主席ド・ゴールは廿
六月ノートル・ダム寺院入口で狙撃
されたがその彈が外れてド・ゴール
は危ふく暗殺を免れたと傳へられる
狙撃犯人は佛人【ストツクホルム廿

【リスボン廿六日發】

放委員會首席ド・ゴールは
廿日隨員を帶同、北佛戦線に到着し
たといはれる

【リスボン廿九日發】

臨時政權成立
ベルリン廿九日發】DNBのアム
ステルダム電報によればアルジェエ
政權は近くパリに移る豫定で、既に
ド・ゴールを首班に次の臨時政權が
組織されたと傳へられる

七日發】B C 放送によれば、廿六
日ノートル・ダム寺院で勤行中ド
ゴールを狙撃したのは親獨フランス
人の一味で、禮拜に出席中のフラン
ス警官及び反極軸軍隊との間に一時
アルジェエ政權との協定調印か

【リスボン廿八日發】

アルジェエ來電によればアルジェエ政權の外
務委員ルネ・マシグリアは廿日ロンド
ンに到着、廿一日英國外相イーデン
と會見する豫定と傳へられる、一方
イーデンはノルマンディ戦線でアイ
ゼンハワー、モントゴメリー並にフ
ランス叛軍司令等と會見した後廿一
日ロンドンに歸還したが、愈々米英
兩國はアルジェエ政權との間にフラ
ンス占領地區の民政に關する協定に
調印する段取と解される

【リスボン廿八日發】

アルジェエ來
電によればド・ゴール傀儡政權は東
亞戰域に於いて米英軍と協力して對
日戰に参加するため笑止千萬にも東
亞遠征軍の組織を計畫してゐるとい
はれる、フランス本土における戰闘
でさへ米英軍の驥尾に附して戰つて
ゐるフランス傀儡軍が東亞に有力な
遠征軍を派遣し得る餘裕のある筈は
なく、たとへ派遣したとしても全く
無目的な弱少軍隊に過ぎぬと見られ
る、一方ド・ゴール政權は八日開議
を開き佛領印度支那の地位につき協
議したといはれる

【リスボン廿九日發】

臨時政權成立
ベルリン廿九日發】DNBのアム
ステルダム電報によればアルジェエ
政權は近くパリに移る豫定で、既に
ド・ゴールを首班に次の臨時政權が
組織されたと傳へられる

【リスボン廿九日發】

親獨派を選捕
マドリッド廿一日發】スペイン通
信社の報道によればド・ゴール叛軍
はパリ陥落後多數の親獨派フランス
人を檢擧したと報じ、次の諸名士の
名を擧げてゐる

【リスボン廿九日發】

切切政權危機に瀕す
リスボン廿六日發】ポ
ミが六派を基礎に傀儡政權
を組織して以來イタリヤ南
部地區の政治經濟情勢は益々悪化し

同政權は愈々崩壞の危機に瀕するに
至つた、政局不安の根本原因は同地
區内における食糧の不足、失業群の
増大にあるが、政治的には反極軸軍
との休戰條件發表に絡んで特に左右
各派の攻撃が辛辣だと傳へられる、
右翼の攻撃が承認した共和黨
民主黨がポロミ政權を論難し、蜂先
は一轉して英國首相チャーチルにま
で向けられ、共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる

【リスボン廿九日發】

共和黨の領袖ドロフ
オ・パチアルデの如き十五日民衆大
會の席上次の通り述べてゐる



イギリス

瞬間撃鐵が雷管を衝き雷管から出る
火花によつて中央管内の導火薬が發
火する、導火薬はテルミットに點火
し、その熱によつて爆彈の内部の壓
力が高まり、壓力が十分高くなると
ガソリンは噴出孔から落下傘室を通
つて噴流となつて吐き出されるが、
その時隙間から噴き出すテルミット
の炎によつて點火するのであつて炎
の噴射は二分間續く

流星彈威

英國首相報告

【ストックホルム二日發】ロ
ンドン來電 英國首相チャ
ーナルは二日下院において
世界戦争の現段階について
報告したが、V一號による被害につ
いて次の通り述べた

ロンドンの周邊の諸縣特に公道沿ひ
の地區は過去七週間殆ど間斷なくド
イツ軍流星彈の攻撃を受けてゐる最
近の數字によれば落下流星彈總數五
千三百四十個、ために死者四千七百
三十五人を出し重傷傷合せて一萬四
千に達してゐる、他に多數の輕傷者
を出した、この結果は人間の悲しみ
受難の哀話であり、家庭の全面的破
壊である、戦争關係の仕事を持つて
ゐない市民約百萬人一内二十五萬人
は子供を持つた母親だが一に對して
は當局がロンドンを立退くよう勸告
し立ち退きに協力してゐる、流星彈
攻撃の効果を阻止緩和するために人
の力で専門委員が解決に苦心してゐ
るが結局流星彈の發射基地のある地
域を反輻軸軍が占據しない限り完全
な解決が出来ると保障は出来難い、
六月十五日夜から七月卅一日の夜ま
で英國に落下した流星彈の重量は約
四千五百噸である

各紙一齊に報道

【リスボン六日發】二日チャーナル
が下院で演説した途端に、V一號の
攻撃は俄然激化し、例の十四時間攻
撃はロンドン市民をこの世の地獄に
追込んだ模様で、四日の各紙記事は
一齊に攻撃の集中化と市民の困惑状
態を傳へてゐる、各紙の記事を紹介
するの次の通りだ

【デーリー・テレグラフ】紙 此の頃
のV一號の量は従来より著しく増加
した、攻撃はチャーナルの演説直後
特に強化された、モリソン内相の發
表した警報方式も大して役立つてゐ
るとはいへない、内務當局の發表に
よればサイレンその他特殊設備の生
産命令が出たのは僅か数日前のこと
だから新警報方式の實現までは相當
の期間があるといふことだつた、し
かも大量生産に入る前にサイレンの
原型を試験しなければならぬわけ
だ

【デーリー・ヘラルド】紙 二日の晩
は米軍まで高射砲隊の應援に出かけ
た、保健相ウイリントはロンドンの
病院から病人を安全地帯に疎開させ
るために保健省としては最善を盡す
つもりだと述べてゐるが、全部を安
全地帯に移す見込みはない、戦時經濟
相アサー・ヘンダソンは議會宛の
書翰において大ロンドン地區の剽盜
激増を指摘、國內警備隊員はこの種
犯罪の絶滅に凡ゆる手段を盡すべき
であると強調してゐる

【デーリー・メール】紙 (投書) ロ
ンドン市民は地方に行つても快い寢
臺を得る望みはないが、非常に疲れ
切つてゐるので鋪裝の上にもとに
かく睡眠がとれるといふことを喜んで
ゐる

なほ「デーリー・ヘラルド」紙は同
社屋上から撮影した寫眞を四枚掲載
してゐるが、その一枚には裁判所の
影がクツキリ浮び、流星彈の落下し
たドリユーリー・レイン大通りの横
町は一面の黒煙に蔽はれてゐる、こ
の流星彈の爆風はフリート街の同社
建築物にまで達しガラス五萬平方呎
を破壊し扉二百枚を破つたといはれ
る、別の一枚は半壊家屋多數の寫眞
で、一軒は屋根から天井まで完全に
粉碎されてゐる

攻撃開始以來の死傷

【リスボン二十三日發】ロンドン來
電 二日開始されてから英國に於ける
市民の死傷は漸次増加してゐるが、
下院におけるチャーナル報告によれ
ば攻撃開始以來八月四日までの流星
彈による死者四千七百三十五名、負
傷者一萬四千名

バツキングラム宮殿破損

【リスボン十七日發】ロンドン來電
ロンドン軍の流星彈攻撃は十六日も
繼續され、一彈は遂にバツキングラ
ム宮殿に飛び込み、アツシユの大木し
の中、地上に落下しない中に炸裂し
て宮殿の窓硝子並びに窓框が多數吹
飛ばされた

流星彈に對策なし

【ストックホルム廿日發】ロンドン
來電 流星彈攻撃の激化に鑑み英國
保健相ウイリントは去る二十五日重
ねてロンドン市民に警告、流星彈に
よる被害は今後も益々増大するであ
らうと述べたが「タイムズ」紙は廿
九日の紙上で次の通り報じてゐる
大ロンドン地區で絶対に重要な仕事
に従事してゐる労働者達は過去十週
間來あらゆる困難をおかして不眠不

休の活躍を續けてゐるが既に多數の
死者並びに重傷者を出してゐる、ロ
ンドン市が蒙つた物的損害は特に著
しい、



將校を印奪へ派遣

【リスボン四日發】オッタワ來電
カナダ軍當局四日の發表によればカ
ナダ軍將校並に下士官四百名乃至五
百名が近く印度並派洲へ派遣され
豫定である、内印度派遣軍は主に特
科隊である

ソ聯への空輸中繼

【リスボン八日發】オッタワ來電
開戦以來カナダは米國からソ聯及び
英國への重要な飛行機空輸の中繼地
となつてゐるがカナダ政府當局は七
日右につき次の通り言明した
カナダのエドモントンからアラスカ
のフェアバンクス經由、即ちカナダ
の西北空輸路を通じて現在までソ聯に
輸送された飛行機の數は約五千機に
達する、一方東北空輸路を通じても
夥しい飛行機が英本國に送られた

日本人迫害法案

【リスボン七日發】近着の米國週刊
誌「タイムズ」の七月十七日號は、カ
ナダ議會における日系市民の選舉權
剝奪法につき次の通り報じてゐる
先週カナダの下院は満場一致をもつ
て出征將兵投票法案を可決したが、
このうちには一つの思はしい條項
即ちカナダの各州は人種的理由によ

つて州住民の選舉權を勝手に剝奪し
得るとの規定があつた、これが日本
人を目標としたものであることは勿論
で、太平洋洋では既に久しき以前から
日本人の選舉權は事實上剝奪されて
あつたが、この條項は先づ同州出身
の議員により支持され、コロンビア
州のみに限らずカナダ全土に擴大せ
んとするものだ、下院を通過した法
案は日本人と同時に獨伊系市民にも
適用し得ることになつてゐるが、上
院では日本人のみに適用するやうに
修正した、この法案に對してカナダ
の一部新聞は流石に義憤を感じたか
「卑劣な法案」だとこれをこき下して
如何なる態度をとるかは見物で、
問題の條項をその儘承認すれば市民
權の侵害だとして攻撃するべく、又
この條項を拒否して攻撃すれば、又
ユ・コロンビア州選舉民の支持を失
ふことになるので進退兩難の窮地に
陥つたわけだ

對英戦争協力は御免

【リスボン十日發】ケベック來電
カナダの敗北に終つた州議員選舉は自
由黨の敗北に終つたが、同州のフラ
ンス系市民によつて組織されてゐる
政府反對派の人民黨黨首ジャック・
ソクセルが十日選舉終了に當り次の
通り演説した
英帝國なる組織は唯に不必要なばか

りでなく最も排斥すべき組織である
何故なら英帝國はその生命を保つた
めに廿五年に一度は必ず戦争しなけ
ればならぬからだ、人民黨員は總つ
る合法的手段に訴へてカナダの青年
達を英本國のために歐洲といふ屠殺
場で定期的に殺されることを阻止し
よう、人民黨員は決して反英的では
ないが、唯カナダの完全なる自治の達
成を第一の目標としてゐる

政治・外交

アメリカ

【米第一黨選挙戦
乗出し】

【リスボン一日發】
デトロイト來電】米
國の孤立主義、對外
干渉政策を標榜す
る「アメリカ第一黨」は一日デト
イトで同黨最初の大會を開き本年の
大統領選挙に對する黨候補として同
黨々首ジェラルド・スミスを指名し
た

共和黨知事大會報告案
【リスボン三日發】セント・ルイス
來電】米國共和黨出身の州知事二十
六名は來るべき大統領選挙戦に對す
る運動方針協議のため二日からセン
ト・ルイスに會議を開催したが、三
日次の六項目から成る報告案を採擇
した

戦争後軍需産業の平和産業への轉換
を促進し、更に商、工、農業を刺戟

して高賃銀による完全雇傭を確保
米國の有するあらゆる生産設備を有
效に利用するため次の六政策の實行
を勧告する
一、聯邦政府による行き過ぎた企業
への干渉は州及び地方自治機關の機
能に由らしき脅威を與ふべく米國の
自由が消滅する惧あり
二、歸還將兵に對しては彼等の將來
のためあらゆる機會が與へらるべく
聯邦、州、地方機關は出来るだけの
便宜を提供すべきである
三、州政廳は州の公共事業に關し聯
邦政府の援助を出来るだけ避ける方
針をとる必要がある
四、全道建設に當つての聯邦及び州
機關の協力は今後も繼續さるべし
ガソリン及び自動車に對する聯邦税
は廢止し、各州に適宜分配されるを
要す
五、州兵は州の管轄下におき、同時
に米國陸軍の豫備兵力たるの地位を
維持せしむ
六、過剰軍需物資は産業轉換計畫と
にらみ合せて通常の商取引をもつて
一般に分配すべし
動員解除法案もめる

【リスボン七日發】ワシントン來電
】民主黨のキルゴア、マレー兩議員
の提案した動員解除法案は共和黨議
員の猛烈な反對があつたにも拘らず
五日上院陸軍委員會を通過して八日
から本會議の審議に附されることが
なつた、然るに本會議では民主黨の
一部が同法案は州權の侵害なりとし
て反對、これが共和黨に合流する形
勢顯著となり、無修正のままでは上
院通過は困難されるに至つた、右
動員解除法案は議會再開後提案され
た最も重要な法案だが、共和黨側は

この法案をもつて「新版ニラ法案」
なりとし特に共和黨上院議員タフト
の如きは法案中の「聯邦政府は戦争
終了後二ヶ年間に限り失業者の統制
を行ふ」との規定は強制徵用法にも
等しいと彈劾してゐる、動員解除に
關しては他に民主黨議員ジョージ提
案の法案が上院に提出されてゐるが
これはキルゴア、マレー法案よりそ
の内容が穩健であり、民主黨の大部
分はこの法案の方を支持してゐる模
様だ

太平洋全域支配の野望

【リスボン十日發】米國副大統領ウ
オーレスは重慶に赴く直前、六月中
旬米國で「太平洋における米國の任
務」と題する小冊子を出した、論文
要旨次の通り
米國は自國の利益において戦後に印
度、蘭印その他太平洋の植民地領域
の經濟的、政治的自由を促進すべきで
ある、自由アジア地域のソヴエト聯
邦、支那、及びその他の地域におけ
る秩序正しい進歩はその他の植民地
域における秩序正しい進歩と解放と
に裨益する大いなる壓力とならう、
植民地的諷刺と苦力の經濟から、自
治及び機會と報酬の經濟へと向上す
るの進化の階梯があることは、米國の
利益である、アジアは戦後に「自由
アジア」と「隸屬乃至植民地アジア」
とに分割されるであらう、前者には
支那、ソヴエト聯邦領アジアが入り
後者にはその他の地域並に夥しい數
の太平洋諸島が入るであらう、然し
斯かる區分を存続させないのが米國
の利益である、米國の主要目標は日
本を武装解除のままにして置くこと
でなくてはならない

【リスボン二十日發】米國在郷軍
人會ニューヨーク州支部は近く開か
れる全國年次大會への代表者を決定
するため十二日バツファローで州大
會を開催したが要旨左の決議を採擇
した
我々は戦局の現段階において和平運
動或ひは妥協平和を支持するあらゆる
運動を排斥する、かかる運動は非
アメリカ的であり、國賊的行爲に他
ならぬ
殿中騒動再燃
【リスボン二十五日發】ワシントン
來電】米國政府内の「殿中騒動」は
最近またまた再燃し、戦時生産局次
長ウイットソンが長官ネルソンと喧嘩
して辭職したが、これに引續きネル
ソンとゴム長官デニウイの醜い對立
も明るみに出された、即ちデニウイ
は二十五日上院の軍需調査委員會に
出席して痛烈にネルソンを攻撃して
次の通り述べた
ネルソンは最近米國のゴム生産計畫
は順調に運んでゐるが遺憾ながらタ
イヤ生産だけが計畫におくれたと述
べた、これはゴム生産局に對する侮
辱の言葉であり、ワシントン政界に
おける卑劣なる人身攻撃の典型的な

ものである、かかる人身攻撃が行は
れたからこそ最近生産局長のウイ
ットソンが辭職したのであり、このやう
な人身攻撃が行はれてゐる以上、米
國は戦争に必要な有爲な人材を今後
も多數失ふだらう
戦時生産局次長後任【リスボン廿五
日發】ワシントン來電】米白聖館當
局は突如辭職した戦時生産局長チ
ヤールズ・ウイットソンの後任に海軍
少佐R・A・コッヅを任命した旨發
表した

【リスボン二十九日發】ニユーヨ
ーク來電】米國南部諸地方は民主黨の
地盤でありながら今年の大統領選挙
戦ではルーズヴェルトの四選に反對
する者多く、これら反ルーズヴェル
ト派の民主黨員は二十九日ワシントン
州ジャクソンビルで一獨立政黨を
組織した、結黨式にあたり同黨は次
の聲明を發表した
我々は眞の民主黨員から成り、米國
及び民主黨をルーズヴェルト四選に
よる獨裁政治から救出せんことを誓
ふ、我々は來るべき大統領選挙にお
いて民主黨の精神を支持する眞の民
主黨員を選舉するであらう
ネルソン重慶に出發
【リスボン廿五日】ワシントン來電
】大統領ルーズヴェルトの特使とし
て重慶訪問を命ぜられた戦時生産局
長官ネルソンは廿五日ワシントン出
發、重慶に向つた、出發に先立ちネ
ルソンは白聖館にルーズヴェルトを
訪問して最後の打合せを行つた
氣がとがめたル大統領領
【リスボン九日發】米國民
主黨下院議員ウォルターは
さきに大統領ルーズヴェル

大統領

【リスボン九日發】米國民
主黨下院議員ウォルターは
さきに大統領ルーズヴェル

トに對して日本兵戦死者の骨から作成した紙切り小刀を寄贈したが、この紙切り小刀事件をはじめ日本軍兵士の戦死犠牲事件は全世界に米國人の野蠻性の正體を暴露し國際的に轟々たる非難の嵐をまき起した、ワシントン來電によれば米軍の意外な發展に流石のルーズヴェルトも氣がとがめ、且つ狼狽したと見えて紙切り小刀をその儘ワオルターに返還した模様でホワイト・ハウスは九日次の通り發表した

太平洋戦域視察談放送

【リスボン十三日發】シヤトル來電 ハワイ及びアリユージヤン方面の視察を終へて米本土に歸還した大統領ルーズヴェルトは十二日午後五時(米國太平洋岸戦時時間)ヒュートン海軍基地に碇泊中の巡洋艦上からラヂオを通じ全米に太平洋戦域視察談を放送したその要旨次の通り

太平洋作戦會議開催

【リスボン十日發】ホノルル來電 米國大統領ルーズヴェルトは去る七月二十六日突然ホノルルに到着、三日間に亘り太平洋戦域の米軍首腦を集めて作戦會議を開催した、作戦會議には西南太平洋反樞軸軍司令官マツカーサー、米太平洋艦隊司令官マニッツ、太平洋第三艦隊司令官チャードン、太平洋戦域陸軍司令官リチャードン、大統領附總參謀長ルイをはじめ、ルーズヴェルトがホノルル到着の際には海軍將官十九名陸軍將官十五名が埠頭に出迎へたところから見て、太平洋全戦域の主要米軍指揮官の殆んど全部が参加したと見られる、ルーズヴェルトは右會議後ハワイ地區の各軍事施設を視察した

アリユージヤンに現はる

【リスボン十一日發】ダツチハーバー來電によれば七月末ハワイを訪問

して太平洋米軍首腦を召集、作戦會議を開いた米國大統領ルーズヴェルトは去る八月三日突然アリユージヤン群島中の某軍事基地に現はれたといはれる、ルーズヴェルトは北太平洋艦隊司令官フランク・フレッチャーと會談した後軍事施設を視察した

余はハワイにおいて西南太平洋反樞軸軍司令官マツカーサー太平洋艦隊司令官マニッツを始め太平洋戦域に於ける作戦會議を開催したがこの會議に於て今後米國軍が敢行可き太平洋作戦を始めこれに伴ふ將來の太平洋問題を協議した

余はアリユージヤン水域には四日間滞在した、二年前にはこの方面の米國の防備は極めて手薄でために日本軍の進攻により米本土自體の安全さへ脅威される有様だったが、今日ではその防備は全く完成し來つたがその方面から再び日本軍の脅威を受けやうな事はあるまい

米國は北米大陸の西海岸を防衛すると同時に南米大陸の西海岸をも防衛することに同じ程度の重要性を感じてゐる、この防衛のために太平洋上に散在する無数の島嶼が重大な役割を演じよう、現在これ等島嶼の大

部分は英國の領土だが米國は必ずしもこれ等島嶼を領有せんとするものではない、然し乍ら英國はこれ等島嶼の防衛のために米國と或る種の協定を結ぶことを歓迎するだらう、開戦以來米國艦隊の勢力は非常に増大した、現在今度の旅行で余が搭乗した巡洋艦は海軍條約廢棄後建造された新鋭巡洋艦の一つだがこれは從來の巡洋艦に比しその噸數火力速力等總ゆる點で優れてゐる、この軍艦は僅か一年前に太平洋艦隊に編入されたばかりだが現在迄に既に十五回の戰闘に参加してゐる、太平洋戦域の戦局は現在米國に有利に展開してゐる、然し乍ら歐洲戦局と同様東亞に於ける對日戦が何時終るか豫想などすることは出来ない、唯米國民が一層努力して前線の將兵に謝し艦船飛行機その他の軍需品を補給するならば戦争は遙かに早く終るだらう

日獨兩國を完全占領せん

【リスボン十七日發】ワシントンは太平洋戦域視察旅行を終へて十七日ワシントンに歸還したが、途中車中において新聞記者團と會見次の通り述べた

日獨兩國がたとへば戦争が兩國の國境に至らぬ前に抵抗をやめたとしても反樞軸軍は兩國を確實に占領するまで進撃を續けるだらう、日本に對しては永久に世界から締め出しを喰はせねばならぬ、太平洋戦域においては米國はニュージブラント、濠洲等に比較すれば遙かに強大な國家であるからビスマルク線を除いては今後も對日戦を引受けるのは専ら米國軍とな

【リスボン廿三日發】ワシントン來電 大統領ルーズヴェルトは最近太平洋戦域視察旅行を行つたが非常な豪華版だつた模様で、議會方面でもこれが問題となり、共和黨下院議員シユーフアーは廿二日次の通り言明した

二千萬弗の大名旅行

下院議會委員會がルーズヴェルト今回の豪華な太平洋旅行を調査しない場合、余は議會に對してこれが調査を要求しよう、ルーズヴェルトが太平洋水域に在つた間戦艦、航空母艦數百臺の飛行機から成る有力な機動部隊がついて廻つたといはれ、この大袈裟な旅行に費した費用は實に二千萬弗に上つたと推定される、二千萬弗はいくら國債總務額が三千億弗に達しようとする國にとつても少し贅澤過ぎると思ふ

【リスボン廿五日發】ワシントン來電 重慶政權財政部長孔祥熙は二十五日白雲館に大統領ルーズヴェルトを訪問、蔣介石からの親書を傳達した

【リスボン廿八日發】ワシントン來電 米國務長官ハルは二十八日の新聞記者團會見で次の通り發表した

ソ羅休戰調印に参加

【リスボン廿八日發】ワシントン來電 米國務長官ハルは二十八日の新聞記者團會見で次の通り發表した

【リスボン廿五日發】ワシントン來電 重慶政權財政部長孔祥熙は二十五日白雲館に大統領ルーズヴェルトを訪問、蔣介石からの親書を傳達した

外 交

米國務次官言葉を濁す 【リスボン一日發】ワシントン來電 ヴァアチカ駐劄の原田帝國公使に對する米國兵の侮辱事件は一日の國務省新聞記者團會見でも問題となり、記者團から色々な質問が出たが、國務次官ステチニナスはまだスペイン政府でら公式の通牒がないと一點張りであり苦し逃げて打ち、ただ「米國政府は米國軍がローマに入るに先立ち國際法その他の取極めにより樞軸國外交官に對する待遇については萬端の準備を行つてゐた」と白をきつた

【リスボン七日發】「デーリー・エクスプレス」紙の報道によれば、米軍司令部はアルジェエ政權主班ド・ゴールの間に近くフランス本國の占領地區における行政に付き實行協定に調印する段取といはれる、但し右協定には「戦争遂行に關聯した諸問題の最後の決定はアイゼンハワーに一任する」○永續の政府の樹立に關しては専らフランス國民の決定に俟つといふ留保條件がついてゐるといはれる

【リスボン廿五日發】ワシントン來電 重慶政權財政部長孔祥熙は二十五日白雲館に大統領ルーズヴェルトを訪問、蔣介石からの親書を傳達した

英國大使大統領を訪問

【リスボン十九日發】ワシントン來電... 英國大使ハリファアックスは十九日ホワイト・ハウスに大統領ルーズヴェルトを訪問最近英國首相チャーチルと會見した結果に基き協議を遂げた、會見後英國大使は「流星彈攻撃の實相について、大統領に報告した」と述べた

駐西米大使歸任

【マドリッド十九日發】マドリッド駐米大使カールトン・ヘイスは過般來ワシントンに歸國してゐたが十九日空路マドリッドに歸任した

エクアドルに觸手

【リスボン二十二日發】キトト來電... エクアドル駐在アメリカ商務官はアメリカ・エクアドル間の通商關係につき「エクアドルは將來アメリカの農産物・機械・鐵鋼・鐵鋼製品・鐵道資材・織維製品の輸出市場として有望であり、同時にアメリカに於いて、油脂を供給することとならう」と述べたことはアメリカの對エクアドル政策を示唆するものとして注目されてゐる、これにたいしエクアドル側の希望は全く蹂躪されてゐる有様である

軍事

軍の死傷三十五萬

一般

【リスボン三十一日發】ワシントン來電... 陸軍次官バタソンは三十一日次の通り發表した、西部戦線の熾烈した、米國陸軍兵員損害は八月六日現在に比し二萬三千二百四十九名増加、開

戦以來の合計は二十八萬四千八百三十八名に達した、一方海軍の兵員損害は六日までの五萬六千二百五十七名に對し十三日現在では五萬八千三百五十五名となり陸海軍合計は三十三萬四千九百九十一人に達するに至つたが内譯次の通り

- 陸軍 二八四、八三八名
- 内譯 五三、一〇一名
- 戰死 一四二、六八六名
- 戰傷 四四、六四三名
- 行方不明 四四、四〇八名
- 俘虜 五八、三五三名
- △海軍 二二、五四四名
- 戰死 二〇、七〇一名
- 戰傷 九、六五二名
- 行方不明 四、四五六名
- △陸軍 一、二四七名
- 戰死 五、〇九〇名
- 戰傷 六、三三七名
- 合計 一、一六三、七〇七名

級に編入され兵役を免除されてゐたが、若年壯丁不足のため今回これ等壯丁の再検査を行ひ、合格者を兵役に徴集することをなした

【リスボン廿一日發】ワシントン來電... 歐洲反攻反樞軸軍總司令官アイゼンハワーは三十一日陸軍補給本部長ソマヴェルに第二日線における米國軍の軍需品消耗状況に關する報告を送つたが、その要旨次の通り

フランス本土に上陸した米國軍は完全な裝備を有する軍隊だつたにも拘らず上陸以來最初の七十日間にその損耗のため九百臺の戦車を補給しなければならなかつた、一方地上部隊の作戦を掩護した空軍はこの期間に三千機を喪つた、この空軍が消費したガソリンの量は四千四百萬ガロンに達した

【リスボン廿一日發】ワシントン來電... 大統領ルーズヴェルトは一日印緬支派進米國陸軍司令官中將ジョセフ・スチルウェルを大將に指名し上院の承認を求めた、スチルウェルの大將指名は米國が最近支那戦線を如何に重大視するに至つたかを示すものとして注目される

【リスボン廿一日發】ワシントン來電... 海軍少將チャールズ・セシルが廿一日太平洋の某基地で飛行機事故により死亡した旨發表した

【リスボン廿一日發】ワシントン來電... 米國海軍省は去る二十七日陸軍中將レズリー・マクネアはノルマンディー戦線において現在進行の突破作戦開始に先立つて行はれた準備爆撃に際し米軍爆撃機隊が誤つて自軍陣地に投下せる爆弾のため戦死を遂げた旨發表した

【リスボン廿一日發】ワシントン來電... 米國海軍省は去る二十七日陸軍中將レズリー・マクネアはノルマンディー戦線において現在進行の突破作戦開始に先立つて行はれた準備爆撃に際し米軍爆撃機隊が誤つて自軍陣地に投下せる爆弾のため戦死を遂げた旨發表した

【リスボン廿一日發】ワシントン來電... 米國海軍省は去る二十七日陸軍中將レズリー・マクネアはノルマンディー戦線において現在進行の突破作戦開始に先立つて行はれた準備爆撃に際し米軍爆撃機隊が誤つて自軍陣地に投下せる爆弾のため戦死を遂げた旨發表した

【リスボン廿一日發】ワシントン來電... 米國海軍省は去る二十七日陸軍中將レズリー・マクネアはノルマンディー戦線において現在進行の突破作戦開始に先立つて行はれた準備爆撃に際し米軍爆撃機隊が誤つて自軍陣地に投下せる爆弾のため戦死を遂げた旨發表した

【リスボン廿一日發】ワシントン來電... 米國海軍省は去る二十七日陸軍中將レズリー・マクネアはノルマンディー戦線において現在進行の突破作戦開始に先立つて行はれた準備爆撃に際し米軍爆撃機隊が誤つて自軍陣地に投下せる爆弾のため戦死を遂げた旨發表した

【リスボン廿一日發】ワシントン來電... 米國海軍省は去る二十七日陸軍中將レズリー・マクネアはノルマンディー戦線において現在進行の突破作戦開始に先立つて行はれた準備爆撃に際し米軍爆撃機隊が誤つて自軍陣地に投下せる爆弾のため戦死を遂げた旨發表した

【リスボン廿一日發】ワシントン來電... 米國海軍省は去る二十七日陸軍中將レズリー・マクネアはノルマンディー戦線において現在進行の突破作戦開始に先立つて行はれた準備爆撃に際し米軍爆撃機隊が誤つて自軍陣地に投下せる爆弾のため戦死を遂げた旨發表した

陸軍

落下傘兵増員

【リスボン廿一日發】七月廿五日附の「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙は米國陸軍省は米落下傘部隊の増設に努力してゐると次のやうに報じてゐる

ノルマンディーへの侵攻作戦に際して米落下傘部隊或は空挺師團の示した作戦展開力に鑑み今後これを地上部隊に對する「第三翼」或ひは「垂直翼」と呼稱することになり、今後歐洲並に太平洋兩作戦に多數の空挺師團を參加せしむべく目下その増設に全力を注いでゐる、この當局の意圖は落下傘部隊により、ニューヨーク北方作戦に明瞭に示されてゐるといへよう、奇襲こそは落下傘部隊の重大な要素であつて、落下傘部隊が寡く衆を制するのこの要素のため従つて今後落下傘部隊は「空の機動部隊」として編成され、太平洋戦線に活動する可能性が十分にある

【リスボン廿一日發】ワシントン來電... 米國海軍省は去る二十七日陸軍中將レズリー・マクネアはノルマンディー戦線において現在進行の突破作戦開始に先立つて行はれた準備爆撃に際し米軍爆撃機隊が誤つて自軍陣地に投下せる爆弾のため戦死を遂げた旨發表した

米國政府が戦争に参加して以來一九四四年七月一日までに米軍航空隊は各戦線を通じて六十七萬七千二百噸の爆弾を投下した開戦以來一時間に廿噸二分間に一噸の爆弾を投下した割合である

海軍

【リスボン十一日發】ワシントン來電米國海軍當局は二萬七千噸の航空母艦アンテイタム、一萬三千噸の巡洋艦シカゴ及びロサンジュエルの三艦が来る二十日ワイラデルフイアで進水する旨十日發表した

【リスボン十四日發】ワシントン來電米國海軍省は十四日議會に書翰を送り海軍の眞珠灣における潜水艦基地の擴張計畫を報告した、但し基地擴張の具體的内容には觸れてない

【リスボン十四日發】ワシントン來電米海軍當局は太平洋洋上の一孤島ベイカー島が約一年前から米海軍の航空基地となつてゐたことを十四日に至りはじめて發表した、ベイカー島はホルルを距る西南二千哩、ギルバート諸島からは東へ約七百哩で昨年頃から航空基地として使用してゐた模様である

【リスボン二十九日發】ワシントン來電米海軍航空作戦次長オーブレ年以來に三萬機の飛行機を必要とするが、その九十三%までは戦闘用飛行機である

新兵器

【リスボン九日發】ニューヨーク、タイムズ紙のワシントン電報は最近記事解

【リスボン九日發】ニューヨーク、タイムズ紙のワシントン電報は最近記事解

【リスボン九日發】ニューヨーク、タイムズ紙のワシントン電報は最近記事解

【リスボン九日發】ニューヨーク、タイムズ紙のワシントン電報は最近記事解

【リスボン九日發】ニューヨーク、タイムズ紙のワシントン電報は最近記事解

【リスボン九日發】ニューヨーク、タイムズ紙のワシントン電報は最近記事解

【リスボン九日發】ニューヨーク、タイムズ紙のワシントン電報は最近記事解

【リスボン九日發】ニューヨーク、タイムズ紙のワシントン電報は最近記事解

【リスボン九日發】ニューヨーク、タイムズ紙のワシントン電報は最近記事解

【リスボン九日發】ニューヨーク、タイムズ紙のワシントン電報は最近記事解

【リスボン九日發】ニューヨーク、タイムズ紙のワシントン電報は最近記事解

とり替へられたといはれる、これら機關銃は翼の下部の小さな流線型彫出部内に据えられてゐる

【リスボン廿四日發】ワシントン來電米國海軍少佐ラッセル・G・ウィザーは同大尉ウィリアム・F・リーチは海軍軍醫部の機關誌上において新型航空服につき發表、次のやうに述べてゐる

「常装止血器」を有する新型航空服は空中戦闘中、乗員の負傷に際し、止血を容易ならしめるため考案され各航空服一個づつ裝備してゐるがどんな航空服も簡單に改裝される

【ストツクホルム廿一日發】廿四日附のタイムズ紙は次の通り報道してゐる

米第九航空部隊司令部は「闇夜の寡婦」P61夜間戦闘機がフランスの基地から出撃歐洲における米軍地上部隊の掩護作戦に参加してゐる旨廿二日發表した、これは双尾双発の夜間戦闘機で今までに製作された最大の戦闘機の一つである、同機はノースロップ飛行機会社製でアラウト・アンド・ホイットニー發動機二基を備へ果、去る六月三十日をもつて終つた一九四三―四四會計年度の稅收額は四百四十一億四千九百萬弗だつた

【ストツクホルム廿一日發】「ストツクホルム二十三日發」アメリカ豫算局長ハロルド・スマスは八月上旬現會計年度改訂豫算を發表、租稅收入は當初見積より約五十億ドル増加し、一方公債増發は漸次減退する旨言明したが本年六月末公債額が二千億ドルであつたに比し一九四五年六月の公債豫定額は二千五百十億ドルに達

國豫算改訂數字を發表した、その主要數字次の通り(單位百萬弗、豫算原案は本年一月大統領の豫算致書に掲げられたもの)

改訂豫算 豫算原案

△戰費支出 八、九〇〇 九、〇〇〇

△稅收 一、八五五 一、八二三

△個人直接稅 一、六八八 一、五〇四

△法人直接稅 一、五〇七 一、四三三

財政・經濟

改訂豫算發表

【リスボン二日發】ワシントン來電米國聯邦豫算局長スミスは二日本會計年度の米

△聯邦養老年金其他差引 一、六三三 一、六三六

△差引總稅收額 四、六三三 四、七六九

△改訂豫算の說明にあたりスミスは次の諸點をあげた

一、改訂豫算における稅收額が豫算原案より減少してゐるものは雇傭稅及び關稅のみだが、雇傭稅の減少は議會が政府の雇傭稅増稅案を否決した結果である

一、雜收入が一擧十六億弗を増加してゐるのは軍需契約再協議により政府に返還される金額が意外に多い結果である

一、去る六月三十日をもつて終つた一九四三―四四會計年度の稅收額は四百四十一億四千九百萬弗だつた

インフレ依然憂慮さる【ストツクホルム二十三日發】アメリカ豫算局長ハロルド・スマスは八月上旬現會計年度改訂豫算を發表、租稅收入は當初見積より約五十億ドル増加し、一方公債増發は漸次減退する旨言明したが本年六月末公債額が二千億ドルであつたに比し一九四五年六月の公債豫定額は二千五百十億ドルに達

するだらうと推定してゐる。

なほ同局長は一九四四年中國民所得を約二千億ドルと見積つてゐるが、このうち四百五十億ドルを聯邦税、九十億ドルを州税として納付せしめるから、大衆の消費向所得は一千四百六十億ドル残るとみてゐる。しかし一九四四年中の消費財およびサービス供給高は約一千億ドルと推定されてゐるから、約四百六十億ドルが過剩購買力として残され、これがインフレの原因になるだらうとして憂慮されてゐる。

金融業者會議

【リスボン十一日發】ニューヨーク來電「財界消息筋のもらすところによればモルガン商會、チエーズ・ナショナル銀行、ナショナル・シティ銀行等米國主要金融業者の代表が秘密裡に十日からニューヨークで會議を開催してゐるといはれる、米國の金融界は過般ニュー・シブキで開かれた反極軸通貨會議の採擧した國際爲替安定基金案並びに國際復興開發銀行案に反對であり、今回の會議は米國金融業者の立場からこれ等の案に對抗する具體案を作成して、會議に働きかけて彼等の利益を擁護せんとするにあるといはれる

七月中の戦費最低記録

【リスボン十九日發】ワシントン來電「アメリカ戦時生産局は七月中の戦費について次の通り發表した一、七月中の戦費は總額七十三億五千五百萬弗で本年の最低記録を示した、戦費は財務省の支出分および復興金融會社ならびにその子會社の支出を含む一、一日平均の戦費は休日を除き一月を二十六日とすれば二億八千二百

九十萬弗である、なほ一九四〇年七月一日以降本年七月末日までの戦費支出總計は二千七百七十二億弗に達した

武器與貸

對ソ飛行機供給數

【リスボン五日發】ワシントン來電「アメリカ政府筋の言明によれば、一九四一年十月米ソ兩國間に武器貸與協定が成立して以來、ソ聯に對して供給した飛行機は本年一月から四月までに引渡されたといはれる、その一部はアラスカのフェアバンクス經由で、ソグエト飛行士自ら空輸してゐる模様である

武器貸與二百八十億弗

【リスボン廿三日發】ワシントン來電「米國大統領ルーズヴェルトは廿三日議會に對し武器貸與に關する第十六次報告を提出したが要旨次の通り

一、一九四一年三月武器貸與法成立以來本年六月三十日までに米國が同法に基づき反極軸各國に供給した軍需品その他物資の總額は二百八十二億七千三百五十五萬一千弗に達した、これは米國總戦費の十五%に當る、主要各國に對する貸與額次の通り(單位千弗)

英國

ソ聯

印度及重慶

一、四〇二、四二六

五、九三一、九四四

九、三二一、五九九

△工業原料品並に製品

△食料その他特殊物資

△勞務(修繕乃至備船料など)

△船隻(武器貸與法により反極軸諸國に貸與された船舶は一千四百隻、その大部分は上陸用舟艇である、これはB29超空の要塞重爆撃機、コンソリデーテッド・ヴァルチャーB32重爆撃機の二種である、この結果影響を受ける會社は次の通り

△飛行機

國艦隊の勢力も最近大いに増強され一方重慶地區内の米空軍勢力も急速に増大してをり、日本に對して新たな攻撃を加へんとしてゐる。一、米國が反極軸各國から逆貸與と受けた額は約三十億弗である、米國からの貸與額に比較すればこの逆貸與額は勿論遙かに少ないが、貸與乃至逆貸與の役割は少で表示された金額をもつて測定すべきものでなく、戦果によつて測定すべきものである。一、日獨兩國が無條件をもつて降伏し反極軸軍が最後の勝利を得るまで武器貸與は續行されるべきである、武器貸與に手加減を加へるやうなことがあればそれだけ勝利の日は先に延びるのであり、これに伴つて戰場に命を棄てる米國青年の數も増加するであらう、反極軸軍が敵國に對し最大の攻撃力を發揮するために必要なた物資は飽くくても確保されなければならぬ

【リスボン廿三日】ワシントン來電「米國大統領ルーズヴェルトは第十六次武器貸與報告において貸與品の内譯を次の通り示した

一、七月中の飛行機生産高はちよほど八千機だつた
一、八月の飛行機生産目標は八千二百七十四機だが今後年末までこの水準を維持する豫定で、これは從來の計畫に比すれば月平均二百五十機の削減に當る
【リスボン十一日發】ワシントン來電「米國陸軍省は十一日次の通り發表した
陸軍飛行機生産計畫に重大な變更を加へ、超重爆撃機の生産に重點をおくため戦局の推移に鑑み比較的重要な性を失つた 機種の減産を行ふこととなつた、これにより差當りその生産を減少した將來は全然生産を停止することとなつた機種はC46輸送機B24リベレーター重爆撃機、P47サンダーボルト戦闘機の三種で、今後大いに増産されることとなつたものはB29超空の要塞重爆撃機、コンソリデーテッド・ヴァルチャーB32重爆撃機の二種である、この結果影響を受ける會社は次の通り

一、C46の生産に當つてゐるニューヨークのヒギンズ航空會社に對し月五十機の生産契約取消し
一、テキサス州ダラスのノースアメリカン工場におけるリベレーター機の生産は逐次減少して將來はこれを完全に停止し、またミシガン州ワイロリアン「フオード」工場、カリフォルニア州サン・オディエゴのコンソリデーテッド・ヴァルチャー工場における日産、二十四機を十四機に減産する
【リスボン八日發】サンディエゴ來電によればB29に匹敵する大型爆撃機B32は現在コンソリデーテッドヴァルチャー航空會社で生産中であり、八日それに關する記事差止めが解除になつたといはれる
【リスボン八日發】「リスボン二十四日發」サンディエゴ來電「コンソリデーテッド・ヴァルチャー會社設計の超重爆撃機B32は今後「ドミネーター」(支配者)と呼ばれる旨二十四日會社當局から發表された

戦車二百廿臺その他の軍用自動車六千九百臺を反輻軸各國に輸出してゐる、右三ヶ月間の總計は戦車三千臺、その他の軍用車九萬臺で後者にはトラックやジープ等が入つてゐる三十萬の労働者を必要

【リスボン廿八日發】ワシントン來電 戦時情報局は二十八日次の聲明を發した

米國軍はいまだ依然としてトラック、タイヤ、重火器等の兵器を緊急必要としてゐるのであり、軍需産業の現在必要としてゐる労働力は三十萬にも達する、戦局は未だ米國民がその戦争努力を緩めてもいややうな段階には達してゐない

罷 罷業の交通機關接收

【リスボン三日發】ファイラデルフィア來電 ファイラデルフィア市交通關係労働者罷業の重大化に鑑み大統領ルーズヴェルトは三日陸軍に對し同市の交通機關の接收を命じた、陸軍省は接收權を少將フリーツァ・ヘイズに委任しファイラデルフィア市交通機關が四日朝までに平常通り回復するやう命じ、既に一切の接收準備を整へてゐる

【リスボン廿五日發】ファイラデルフィア來電 ファイラデルフィア市の交通労働者罷業は大統領令によつて陸軍が全交通機關を接收したに拘らず、労働者側が斷乎罷業繼續の態度に出た爲、陸軍當局は五日遂に軍隊を出動させるに至つた、即ちペンシルヴァニア州の州兵約三ヶ聯隊は五日早曉出動命令を受け完全に武装した兵士は夫々多數のトラックに分乗して續々ファイラデルフィア市に到着してゐる、まだ軍隊と労働者

との衝突事件は報ぜられてゐないが陸軍は既に労働者側に對して即時従來の「最後通牒」を發したといはれ、これに對し労働者側は六日正午までに回答を與へる旨申出たと報ぜられる

【リスボン廿七日發】ニューヨーク來電 ファイラデルフィア市の交通労働者罷業は陸軍による全交通機關の接收に引續き、最後通牒の發出によつて遂に労働者側の敗北に歸し、罷業は七日に至つて終了したが、交通罷業は全米各地に波及して東部マサチューセツツ州街路電車就業員一千八百名が七日から罷業を開始したのをはじめインディアナ、ペンシルヴァニア兩州でも小規模な交通労働者罷業あり、更にカナダのモントリオールにも及んで同市では約四千名の交通労働者が罷業を行つてゐる

兵器生産に打撃 【リスボン九日發】ワシントン來電 ファイラデルフィアの交通労働者罷業は陸軍による交通機關接收後も依然熾ぶに、重大影響をあたへてゐるが、戦時人的資源委員會發表によれば先週中における同工業喪失延労働時間推定は四百萬時間に達したといふ、これは驅逐艦五隻建造に要する労働時間に相當する勘定である

罷業交通機關を接收 【リスボン十一日發】ワシントン來電 米國中部地方の交通労働者罷業は政府當局の彈壓にも拘らず終熄せず、大統領ルーズヴェルトは十一日に至り遂に強権を發動して中部地方の罷業交通機關を接收した、政府に接收された交通機關は主としてバス

【リスボン廿五日發】ニューヨーク來電 セント・ルイス自動車會社の労働者約一千二百名は賃銀問題で會社當局と衝突、五日から罷業を開始した、同社は海軍の水陸兩用戦車の製造に當つてゐるが、罷業の結果その製造が中止されるに至つた

【リスボン廿五日發】ニューヨーク來電 米國の労働罷業は今や全國に波及した形で各地に大小の労働罷業が頻發してゐる、AP通信社の推定によれば十日現在で全米を通じ罷業労働者の總數は五萬八千から七萬四千に上るといはれるが、各地の主な罷業次の通り

一、中西部地方に發生したバス、トラック運轉手罷業は十日にはその範圍八州に及び参加人員も二萬五千と稱され、大統領ルーズヴェルトは再戦時非常大権を發動して交通機關の接收を行ふのではないかとみられる

一、ニュージャージー州パタソンのライト航空機會社五工場労働者約二萬名罷業中である

一、デトロイト市ジェネラル自動車會社シヴォレ工場の労働者七千名罷業は依然繼續十日には遂に戦時労働局が罷業労働者に對し即時復業の最後の指令を發したその他にも全米を通じ現在二十以上の大小罷業が行はれてゐる

罷業工場を又接收 【リスボン十四日發】ワシントン來電 米國大統領ルーズヴェルトは十四日海軍長官フォレストに對し目下罷業中のサンフランシスコ所在船舶機關製造五工場を接收を命じた

【リスボン十五日發】ニューヨーク來電 コネチカット州グロトンの「イレクトリック・ボート」會社職工約四千五百名は十五日から一齊に罷業を開始した、同社は海軍の發注を受け潜水艦の製造に當つてゐる會社である

【リスボン廿一日發】ニューヨーク來電 最近のメキシコ灣岸石油市場をみるに精製油所原油供給の減少を眺め先高期待に家庭用燃料ガソリンに對する需要が増大してゐる、ガソリンの引渡は輸送難のためいぢるしく困難となつてをり、トラック、車輛不足のため注文は數週間も遅れる有様である

【リスボン十六日發】メキシコ市來電 石油會社にたいし、戦争終了後新油田は一切同政府において接收する旨通告した

【リスボン廿一日發】メキシコ市來電 海軍外國水域で作戦 シコ海軍が外國水域において反輻軸

海軍と共に作戦を行ふ旨の大統領令に廿一日署名した

【リスボン二十四日發】ラバツツ來電 ポリヴィア經濟相チャコンは最近演説を行ひポリヴィア政府が同國の農業および鑛業の發展に意を用ひてゐる點を強調、左の通り

【リスボン廿六日發】ボゴタ來電 コロムビア政府は今回キニーネの輸出を禁止した

【リスボン十七日發】フオリン・コムマリス・ウイクリ誌によれば一九四四年一四月間のパラグワイ貿易高つぎの通り(單位千

金ペソ) 出 一、二、九〇〇

輸出は主としてアルゼンチン向けに仲

輸出は主としてアルゼンチン向けに仲
大統領ベロン八日公開發演説に
おいて「アルゼンチン國民は相携へ
て適當な機會に共產主義を打倒せね
ばならず政府が現在中産階級の確立
に努めてゐるのは全く共產主義と戦
ふためだ」と述べた後國內の獨立資
本を攻撃し「國の富は極く少數の人
々が養澤三昧を耽り一般國民が餓死
するのために存するのでは無い富はす
べての人々のため、特に國のために
存在する」と言明したが米國々務省
がアルゼンチン政府の全體主義を論
難して外交上異例と稱される不承認
宣言を出した後だけに右演説は米亞
兩國の關係に新たな波紋を捲き起す
のではないかと見られる

ンチンゼルア

【ストックホルム四日發】

アルゼンチンに對する不法
壓迫に對しては米英兩國の
間に深刻な利害の對立あり
これがため米國政府が對亞
經濟制裁の實行を焦るに拘
らず、反樞軸陣營の共同動作は行儀
よれば英國の經濟誌「エコノミスト」
は四日發行の誌上でアルゼンチン問
題をめぐり米英兩國の對立を率直に
認め次の通り述べるといはれる

アルゼンチン問題は米英兩國關係の
最も痛い點にふれた、敢て率直に云
ふならばアルゼンチンとの關係にお
いて兩國は相互に相手の動機を猜疑
の眼をもつて見なければならぬやう
な立場におかれてゐる、即ち米國人
はアルゼンチンに對する英國の勢力
は反動的且つ反民主主義的である

米外交官歸國の途

【リスボン四日發】ブエノスアイ
ス來電によればブエノスアイレス駐
劄米國大使館一等書記官ヒュー・ミ
リヤード陸軍武官その他數名の館員
は近くブエノスアイレスに出發する
豫定といはれる

南米兩國も斷交か

【リスボン七日發】ニューヨーク電
が南米情報として傳へるところによ
ればコロンビア、ヴェネズエラ兩國
は七日アルゼンチンとの外交關係斷
絶を發表したといはれる

ベロン大佐共產主義を打倒

【リスボン八日發】アルゼンチン副
大統領ベロン大佐は八日公開發演説に
おいて「アルゼンチン國民は相携へ
て適當な機會に共產主義を打倒せね
ばならず政府が現在中産階級の確立
に努めてゐるのは全く共產主義と戦
ふためだ」と述べた後國內の獨立資
本を攻撃し「國の富は極く少數の人
々が養澤三昧を耽り一般國民が餓死
するのために存するのでは無い富はす
べての人々のため、特に國のために
存在する」と言明したが米國々務省
がアルゼンチン政府の全體主義を論
難して外交上異例と稱される不承認
宣言を出した後だけに右演説は米亞
兩國の關係に新たな波紋を捲き起す
のではないかと見られる

國內政策を闡明

【リスボン十日發】ブエノスアイ
ス來電によればアルゼンチン副大
統領ベロンは十日政府の對內政策を
闡明して次の通り演説した

アルゼンチンの富は少數富裕階級の
手に獨占さるべきでない、國家の富
は國民大衆に平等に分配さるべき、
これがよつて國家自身も利益を得る
ことが出来る、この見地から健全
な中産階級を維持することが必要であ
る、フアル政府が總ゆる階級
の運動を政府の指導下に統一したこ
とに對し非難を加へるものがあるが
彼等は何れも從來労働運動によつて
金錢的に利益を得てゐたもの達であ
る、アルゼンチン國內にはいまだ共
産黨の脅威が存在してゐるこの共産
主義の脅威を除去してアルゼンチン
の社會崩壞を避けるためには國民の協
力と堅い團結が必要である

新聞發禁を解く

リスボン十五日發

ブエノスアイ
レス來電によればアルゼンチン政府は米亞
國交關係の停止に伴ふ國際情勢の緊
張に應じ全國に非常事態を宣言する
と共に通信、報道に對し嚴重な檢閲
を實施してゐたが、最近この檢閲制
度を廢止し、更に十五日には發行禁
止處分に附してゐた國內諸新聞の再
發行を許可した、再發行許可にあつ
た政府は各言論機關に對し「アルゼ
ンチンの直面前に對する現在の困難な
時期に不穩當な報道を行つて國家の
利益を危殆に瀕せしめないう」警
告した、但し非常事態の宣言のみは
未だ撤回されず、また共產主義系新
聞だけは依然として發行が停止され
てゐる

亞法相辭職

【リスボン廿六日發】ブエノスアイ
レス來電によればアルゼンチン法相兼教育
官アルベルト・バルドリツ氏は廿
六日辭表を提出、大統領フアルは
これを受理した、辭職の原因は明ら
かでない

共產黨員のデマを否定

【リスボン廿七日發】ブエノスアイ
レス來電によればアルゼンチン政府は共產
黨員が惡質なデマ宣傳を流布してゐ
るのに對し廿六日次の聲明を發表し
た

共產黨員は民心攪亂を企圖して種々
虚報をバラ撒いてゐるが、彼等の策
謀は何等の効果も收めてゐない、當
局は萬全の措置を講じたので民心を
離反させることは出来ない、デマ宣
傳の一例を擧げると、フアル大
統領が辭職し、エドアル將軍指揮の
叛軍が首都に向け進軍してゐるとい
ふ如きだが、全く何等の根據もない
虚報である、民心を不安に陥れる惡

質デマの流布乃至かかる行動を企圖 するものは嚴罰に處す

【リスボン廿日發】ブエノスアイ
レス來電によればアルゼンチン陸軍省は三十
日昨年六月の同國革命の指導者でフ
アル現大統領が就任するまでアル
ゼンチン大統領だつたアルツィロ・
ラウソンを逮捕し、これを自邸内に
軟禁した、この理由はラウソンが去
る二十四日反樞軸軍のバリ突入を祝
してヴェネズエラ市内で示威運
動を指導したためである

米、航行保證發給中止

【リスボン一日發】ブエノスアイ
レス來電によればアメリカ政府はアル
ゼンチンのスエーデンからの新聞用
紙輸入にたいし今後安全航行保證の
發給を中止したといはれる

自給自足に邁進

【リスボン七日發】ブエノスアイ
レス來電によればアルゼンチン政府は米國の
不當壓迫にも拘らず依然毅然たる態
度をもつて独自の政策を押し進めて
ゐるがベロン陸相は七日再びアルゼ
ンチンの立場を闡明して次の通り述
べた

アルゼンチンは他國を侵害せずして
ただ自國の獨立を擁護せんとするに
ある、されば政府は國內の自給自足
經濟を達成すべく努力してゐるが、
幸ひにも我が國はその必要とする資
源の全部を國內に保有してゐる、問
題はこの資源の開發にあるが、政府
見地から今後の新産業をすべて自國
資本により賄ふ方針である

農産物の對米輸出困難

【リスボン十三日發】ニューヨーク
現在アルゼンチンにはヴェネズエラにた
いても小麦その他の食糧品を輸出

チンから各種農産物を買付けはる
が、最近の主なる買付物資は、亞麻
仁一萬五千トン、落花生一萬トン、
棉實油一千トンとなつてゐる、しか
しアメリカおよびアルゼンチンの外
交關係は近時著しく惡化してをり、
アメリカが今後アルゼンチンとの通
商關係に如何なる措置を講ずるか
はまだ判明しないが、國務省當局が
後アルゼンチンからの農産物買上げ
を即座に中止する意向をすでに示唆
してゐるところからみて、當分アル
ゼンチンの對米農産物輸出は不可能
になるものとみられてゐる

資金凍結は第一歩

【リスボン十七日發】十六日斷行さ
れた米國內におけるアルゼンチン金
資金の凍結に關し十七日の英國新聞
「タイムズ」紙ワシントン特電は金
資金凍結は米國の對亞經濟制裁の第
一步に過ぎず、米國政府當局は更に
思ひきつた經濟壓迫措置の實施を考
慮中で、たとへばアルゼンチンが米
國內に有する全銀行預金の沒收など
も計畫してゐると傳へてゐる、一方
ブエノスアイレス來電によれば米國
の對亞資金凍結の報にも拘らずア
ルゼンチン國內は意外に平靜を持し
てゐると傳へられるが、政府は特に
聲明を發して「各種の誇張された報
道はいづれも事實無根だから國民は
これ等報道によつて、動搖しないよ
う」警告を發したといはれる

ヴェネズエラ物資買付

【リスボン廿二日發】ブエノスア
イレス來電によればアルゼンチン
給國としてのアルゼンチンの役割は
ますます重要性を加へつつあるが、
現在アルゼンチンにはヴェネズエラ
にたいても小麦その他の食糧品を輸出

してをり、このほかにウエネズエラは目下アルゼンチンにたいし同國の油脂製造に重要な落花生の大量買付交渉を行つてゐる

商船沈没

【リスボン二十一日發】アカブルコ來電「アルゼンチン貨物船「リオ・デ・プラタ」は二十二日、新開用紙、セメント、アスファルト、小麦粉等五萬五千トンを積載してアカブルコ港を出帆しようとした際、突然火災を起して沈没した

一七月輸出増加

【リスボン二十三日發】ブエノスアイレス來電「本年一七月間のアルゼンチン輸出果計左の通り（單位數量は千トン、金額は百萬ペソ）

數量 一、三九六 一、〇九四 三、六四五 二、六八九 一、七月 前年同期

主要品目内譯をみれば肉類、酪農製品、羊毛、皮革、穀物、亜麻仁その他農産物が特に目立つて増加を示してゐた

船隻に公定運賃率適用

【リスボン二十六日發】ブエノスアイレス來電「アルゼンチン政府の貨物船調整委員會は今同中南米、南アおよびインドの一切の港向に横出されるあらゆる貨物にたいする公定運賃表を發表し、右運賃表はアルゼンチン旗のものに航行する一切の船舶に適用されるが、この措置により船主の利潤はごく低額に抑へられることになつた

農産物作柄狀況

【リスボン二十八日發】ブエノスアイレス來電「玉蜀黍の植付準備は着々進んでをり、本年度は前年度に比しさらに増加を見越されてゐる、そ

の他農産物は作柄良好ながら、極北部地帯は降雨が必要とされてゐる、なほアルゼンチンは前週中に手持在荷中からさらに三十萬クオターの小麥積出を行つた

鐵道会社に資金補償金支拂を命令

【ストツクホルム三十日發】ストツクホルム・チドミンゲン紙「ニューヨーク電によればアルゼンチン政府は今同國におけるイギリス所有鐵道会社に對し、同社が雇傭するアルゼンチン従業員の賃金保償として約六千五百萬磅を支拂ふべしと通告した

なほこれらアルゼンチン従業員は他日補償金を與へられるとの協定のもとに過去十年間低賃金で同社に働いてきたものであるが、同社が一向にその約束を果しきやうにもないので、遂にアルゼンチン政府がこの手段に出たものである、なほブエノスアイレス在の外國經濟筋ではブアルセル権が斷乎この擧に出たことにはたい驚愕の色を示してゐる

米、對亞通商繼續

【リスボン三十一日發】ワシントン來電によればアメリカ國務省は最近の米亞關係の險惡化にも拘らずこの當分の間アルゼンチンとの間にいかなる種類の通商も禁止しない方針であることとつたへられる

石炭輸送に優先權

【リスボン三十一日發】ブエノスアイレス來電によればアルゼンチン政府は現下の石炭不足に鑑み、本年八月末まで石炭輸送を優先的に行ふ旨命じた

ルジラブ

對亞貿易の緊密化顯著

【リスボン六日發】リオデジャネイロ來電「本年上半期におけるアルゼンチン貿易のうちとくに顯著な事實はブラジルからの輸入が歴史的に多くなつてゐることであるが、右に關聯しブラジルの一經濟紙はつぎのごとく論じてゐる

アルゼンチンのブラジル向け輸出は九千六百萬ペソと輸出總額中の八%で、イギリスおよびアメリカ向け輸出については第三位であるが、その額は英米に比し格段低い、しかるにブラジルからの輸入は一億四千四百萬ペソと第二位のアメリカからの輸入額七千二百萬ペソに比し二倍に達してゐる、すなはちアルゼンチンはブラジルにたいしてのみ異常な輸入超過を示してゐるのであるが、かかる状態は最近輸出超過の膨脹にとどまらず國內經濟の困難を幾分でも緩和することにならう、アルゼンチンは現在ブラジルにたいして消費財のほか機械その他工業製品を要望してゐるが、かかる要望はアルゼンチン經濟の健全なる發展のため至極當然なことといはなければならぬ

アルミ工場新設

【リスボン九日發】リオデジャネイロ來電「ブラジルでは今回アルミニウム工場を新設することとなつた、その生産能力、場所など詳細については不明であるが、大體ブラジルの工業中心地ミナス・ジェラス州に設けられることは確實とみられる、なほこのアルミ工場新設はアメリカのイニシアチブによつたものと解される

米穀收穫新記録

【リスボン十三日發】リオデジャネイロ來電「リオ・グランデ州（ブラジル）米穀協會が最近發表したところによれば、同州の今季米穀收穫は九百萬袋と新記録が豫想され、そのうち五百五十萬袋は毎月三十五萬袋づつイギリス向けに輸出され、また五百五十萬袋はサンパウロ州に移出される、なほ右米穀輸出価格は農場渡し一袋につき五十五クルゼイロ（十二志六片）となつてゐる

努力不足でゴム生産不振

【リスボン二十六日發】ワシントン來電「アメリカは開戦以來ブラジルのゴム増産に躍起となつてきたが、戦時生産局はこの程これが不成績を指摘つぎのごとく増産對策の促進を強調してゐる

アマゾン地域の天然ゴム開發計畫は十分に遂行されてをらず、右計畫實施にあつたてゝあるゴム開發會社は労働力不足その他のため非常な困難を嘗めてをり、フォード自動車會社その他アメリカ諸會社が建設經營してゐるゴム園では採用不可能に陥つてゐるゴム樹も多い、労働力不足を反映して賃金は騰貴し、この結果アマゾン・ゴムの生産費は一封度一弗の高率をしめしてゐる

米から軍艦護渡

【リスボン十二日發】南米方面から情報によれば米國政府は最近ブラジルに對して多數の軍艦を護渡したといはれる、讓渡艦船の内譯は明らかでないが、一情報によれば驅逐艦二十隻、その他に數隻の艦船が含まれてゐると傳へられる、米國政府のかかる措置がアルゼンチンの競争國たるブラジルの兵備を強化することによりアルゼンチンに脅威を與へんとする險險な對亞壓迫工作の一つであることは明らかだが、ブエノスアイレス來電によればこの報道は早くもアルゼンチンに重大な反響を與へた模様だ、アルゼンチン陸相ペロンも最近新聞記者團會見で「亞伯國境にアルゼンチン側の守備兵一名に對しブラジル側は多少名を配してゐると暗に兩國境が多少緊張してゐることを示唆したが但しペロンは「たとへばブラジルが武力を強化しても亞伯兩國は極めて親善な關係にあるからアルゼンチンがこれによつて脅威を受けるやうなことはない」と附加した

外相辭任

【リスボン二十三日發】リオデジャネイロ來電「ブラジル外相オスワルド・アラニアは二十三日辭職した

前外相逮捕

【リスボン廿六日發】ブエノスアイレス來電によれば最近突然辭職したブラジルの前外相オスワルド・アラニアは逮捕されたとの噂が流布されてゐるといはれる

外相の後任決定

【リスボン二十七日發】リオデジャネイロ來電「ブラジル外相オスワルド・アラニアの辭職に伴ひレ・ソヴアロゾが二十七日外相に任命された

政府、食糧委員任命

【リスボン二十七日發】リオデジャネイロ來電「ブラジルは國內家畜數が多いにも拘らず國民の食肉配給は一週二百五十グラムに過ぎず、これとても閣議場の横行で維持困難となり、今回政府は食糧委員會を任命、對策を講じてゐるといはれる

對米コーヒー輸出増大に懸念

【リスボン二十二日發】リオデジャ

時事文獻彙報

凡
一、大字は縦行
一、昭和十九年七月二十六日より八月二十五日迄
平行的もの
資料室

論 題 記 筆者 (雜誌名) 發行 月日

指導階級としての資格... 藤森清一郎 復興亞細亞 八
徹底化(鼎談)... 佐藤通次他 時局日本 八
民族の闘力... 毛里英於苑 公論 九
太平洋戦への執着... 橋本欣五郎他 右同 九
對日宣傳戦の動向... 白村益次郎 宣傳 八

政治・外交(法律)
戦時下の言論統制(増補)... 平出 禾 柏葉書院 八
交易團の使命と活動... 營團經濟研究会 ダイヤモンド社 八
政治理論と經濟理論との交渉... 池内信行 巖松堂 七
國土計畫の理論的基礎... 小畑 謙爾 一橋論叢 七
新段階に立つ國民運動... 藤田 武夫 都市問題 六
地方制度の劃期的展開... 中村 哲 現代 九
戰間基地臺灣の新段階

財政・經濟
經濟新秩序の形成原理... 赤松 要 理想社 八
近世日本經濟倫理思想史... 東 晋太郎 應應出版社 八
日本總力戰經濟論... 土屋 清編 柏葉書院 八
戰時金融統制の再吟味... (特輯) ダイヤモンド 八三
貸出増加の危険性—資金政策の再検討が肝要... 右 同 八二

産業・勞務
我が第二戰線と通貨戰線... 金原賢之助 實業之日本 九二
通貨膨脹と資金使用の効率化... 工藤昭四郎 大東洋經濟 八二
企業に於ける資本と經營... 高宮 晋 科學主義工業 八二
決戦生産態勢確立の緊急課題... 國策研究會週報 八・五
價格と所有... 高田 保馬 經濟論叢 四
決戦下統制會の新動向... 帆足 計 鐵鋼統制 六

稻米増産の方策... 日本評論社編 同 社
生産對策の緊急課題(特輯)... 武田晴爾他 科學主義工業 八三
新生産戰の方途(座談會)... 武田次郎他 時局情報 八三
一億の糧當り... 遠藤 三郎 右同 八二
戦力倍增の具體策(特輯)... 竹島富三郎 經濟毎日 八二
戦力増強と經濟統制問題... 森本 忠 經濟學雜誌 六
資本と人—皇道産業燒津踐團を訪ねて... 高倉 正 滿洲經濟 八二
戦力増強對策の方向... 大河内正敏他 國策研究會週報 八二
機械工業の動員轉換問題... 古澤 有造 法律時報 八
工場防空即時強化の必要... 松本潤一郎 都市問題 六
生産對策の緊急整備... 天野 利武 大陸東洋經濟 七
空襲下の經濟動員(特輯)... 國策研究會週報 七
労働力新統制と集團構成... 永丘智太郎 國策研究會週報 八・五
半島人勞務者の素質—心理學的検査の結果—... 金子鷹之助 一橋論叢 七
日備勞務者の現状と其の對策... 金子鷹之助 科學主義工業 八
アルミニウム工業小史... 德田 貞一 ダイヤモンド 八二
決戦資源の新檢討(特輯)... 阿部 源一 一橋論叢 七
朝鮮の資源開發... 大東洋經濟 八二
朝鮮の航空機工業立地... 正夫 經濟學雜誌 四
南方米輸入と内地農業... 阿部 源一 一橋論叢 七
第一次大戰以後の我國工業化と米穀自給率の地方別變化—農工調整問題の基本的考察—

交通・通信
關ふ通信機... 早田 保實 科學教材社 八
通信兵器... 柴芝 幸憲 潮文閣 八五
戰爭と輕金屬の役割(特輯)... 林 一夫 海と空 八六
B29を發く... 航空朝日 八二
撃墜の殘骸にB29を描く... 航空朝日 八二
B29性能の詳細... 同 同 八二
空中列車による空挺部隊の理論と效用... 三木 鐵夫 航空朝日 八二
航空機設計の新傾向(座談會)... 航空文化 八三
ロケット時代の展望(右同)... 東洋經濟報 八三
基地建設と進攻兵器(特輯)... 科學朝日 八三
雷擊機... 圖解科學 八三
戰車(特輯)... 泰信 軍事と技術 四

都市・農村問題と兼農居住... 景山 實 恒星社厚生閣 八
新生農村の研究... 東京農大編 東京農大刊行會 八
國民居住居論攷... 西山 卯三 伊藤書店 八三
國民厚生基金制度私案要綱... 矢次 一夫 國策研究會週報 八三
貯蓄の生活理論... 大河内 保馬 日本評論 八
食糧の革新... 高田 保馬 公論 九
綜合配給制度序論... 竹村庄太郎 經濟學雜誌 六
自由市場設置の具體策... 國策研究會週報 八・六
耐戰國民生活確保對策案... 現下鮮食料確保の問題點... (特輯) 都市問題 七
生活必需品の確保・配給... (特輯) 都市問題 七
食糧確保策の展開(特輯)... 小笠原三九郎他 經濟毎日 九一
粉食論の展開... 經濟毎日 九一

歷史・傳記(地理)
明治史研究(收訂増補)... 渡邊幾治郎 照林堂 八
鎖國史論... 海老澤有道 株式會社 八
尊皇史概説... 今村 文英 修文館 八
學 藝
教育維新(日本思想戰大系)... 伏見 猛爾 旺文社 八
標準日本語發音大辭典... 寺川喜四郎 大雅堂 八
太平洋醫學論叢 第一輯... 日下 三好 南洋協會編 八
生産増強の思想性... 野村 重臣 言論報國 七

大東亞建設日誌(五)... 東洋文化研究会 目黒書店 八
アツツ島... 鶴田 知也 國民圖書刊行會 八
重大戰局縱橫談... 末次 信正 時局日本 八二
日本は政治戰に勝つて... 同 同 八二
在支米空軍の新動向(特輯)... 航空文化 八二
腥風サイパン島(特輯)... 同 同 八二
サイパン島とその後... 同 同 八二

世界一般(歐米)
圖說戰國々々... 有賀 春雄 帝國書院 八二
交戰國戰力増強策の特色(特輯)... 經濟毎日 九二
交戰各國の最高統帥組織... 同 同 九二
米英戰時財政の暗闘(特輯)... 經濟毎日 九二
テヘラン會談の真相... 同 同 九二
科學と科學者の戰時動員(特輯)... 同 同 九二
米英の戰後通貨案批判... (特輯) 國際文化 九二
決戦段階の米英謀略(鼎談)... 大谷喜一郎他 國際文化 九二

商才の育成と米英兩國の動員努力

交戦國の輕金屬増産態勢 (特輯) 右 同盟世界週報 八・八

大東亞一般

太平洋變・民族と文化 太平洋協會編 河出書房
大東亞經濟建設論 (特輯) 油谷 堅藏 良書房
戰力化される共榮圏の資源 (特輯) 同盟世界週報 八・五
共榮圏現下の交易事情 (右) 同 新東亞經濟 八・八
大東亞の國家秩序と廣域秩序 岡地與四松 大 八・九
大東亞戰局に於ける支那戰線 東 亞 七
大陸經濟の新局面 木村禧八郎 實業之日本 九・一

滿洲

滿洲家族制度・慣習調査 滿洲國司法部 有斐閣 七・三
戰時協和會の諸問題 (特輯) 滿洲評論 七・三
滿洲に於ける國防的工業確立の要請とその基盤 石田 興平 經濟叢論 四
飛躍する滿洲林業界の相貌 (特輯) 滿洲經濟 七
滿洲國勞務増強の促進 (右) 同 右 同

支那・蒙古

山西省大觀 (六) 陸軍山岡部隊編 生活社 八・五
中國における清鄉剿共工作の現狀 同盟世界週報 七・七
大陸新作戦と黄河治水 出口 勇藏 東亞經濟叢論 七・四
支那の民生主義 後藤朝太郎 大 八
支那庶民論 鈴木 安藏 東亞文化 八
支那問題直論 藤田 福平 東 洋 五
支那現下の課題 國策研究会週報 八・三
參戰國府に於ける對戰寄與の現段階 尾崎金右衛門 東亞研究 七
中國の地下資源 鈴木 信弘 東亞文化 八
支那鐵道と列國 鈴木 信弘 新東亞經濟 七
中國産業の開發現情 (特輯) 鈴木 信弘 東亞經濟叢論 三・四
戰時中國の農業命脈と合作金 鈴木 信弘 東亞經濟叢論 三・四
軍制度 大井 專三 東亞研究所報 四
轉換した北支棉花對策—その總決算の意味— 大東洋經濟 七・五
支那の支那化 (鼎談) 張 國 輝 反共情報 八
大陸總反抗と重慶 曹 爾 益 他 東 亞 七
重慶軍の配備 東 亞 七
重慶軍事力の檢討 支 那 同

重慶戰時經濟の解剖

重慶戰時經濟の解剖 (特輯) 大陸洋經濟 八・五

南方

ジャワ年鑑 (一三) (一五) 南洋經濟研究所編 同 所 四
臺灣大年鑑 (一三) (一五) 南洋經濟研究所編 同 所 四
南部印度の住民狀況 野村秀雄編 ジャワ新聞社 同 四
インド民族の結集と歐起を望む—工業化論の統一— 田中於克彌 東亞研究所報 同 四
戰時タイ國の農業増産對策 中島 太一 日本タイ 六
強化された泰の經濟統制 北原信一郎 右 同 六
タイの共同住宅建築計畫 今井 泰三 右 同 六
泰國新聞界の現狀と發達經路 森下 春一 右 同 六
ラウレル政治と比島民 森下 春一 右 同 六
新西蘭及び濠洲の近情 同 同 六

歐洲

ソ聯北極地方の經濟開發 タラコチオ 圖書出版
ソ聯百題 中村 強譯 株式會社 七
戰時に於ける黨の任務 布施 勝治 日獨文化 七
日獨共同戰爭目的に就いて (特輯) R.シニバーン 右 同 七
戰時下のドイツ フランツ・ジニバーン 國際文化 七
ヒトラー暗殺事件経緯 寺村 誠一 時局情報 八・五
七・二〇事件公判の經過 同盟海外版 八・四
獨逸に於ける會社資本是正 大藏省調査月報 一・二
ドイツの國民保護政策: A.フォン・テリンガー ドイツ 八
空襲下の生活—西獨逸爆撃地— マイヤー・ジンク 大 八
帶を語る! ケンタイツク 大 八
戰時下のソ聯報告記 永川 秀男 ドイツ 八
歐洲のソ聯進出 海外事情通信 八
歐洲のソ聯進出 (座談會) 中山 貞雄 同盟海外版 八
ソ聯の空襲對策 世界週刊 八
ソ聯の空襲對策 世界週刊 八
ソ聯の空襲對策 世界週刊 八
カムチャツカの近狀 國際文化協會會報 七・五
ソ聯の兵器庫ウラル—イー・アドロシヤ 右 同 七
戰後經營案の英吉利の形勢 大河内 一男 國際經濟研究 八
英國の人口老衰化と動員狀況 國際情報 八
イギリス財政の趨勢 本邦財情情報 七
英國の石炭問題 同盟海外版 八
英國の國防對策 同盟世界週報 八
英國の國民防空 法律時報 八

北米
アメリカの民情 不井 長一 ナ盟會 八・六
續敵國アメリカの通信 中野 五郎 東洋社 八・六
米國の大統領選舉 松本 正壽 同 八・二
數字から見た戦争下の米國 松本 正壽 同 八・二
米國式物量の本體 松本 正壽 同 八・二
決戦段階における米國 松本 正壽 同 八・二
民の再動員 松本 正壽 同 八・二
世界油田の獨占狙ふ合衆國 ドイツエ 七
最近の紐育株價—平和株の進出強まる— アルゲマイネ 協會文化報 七
アメリカ合衆國の大東亞共榮 經濟學雜誌 四
米國の労働需給近況 同盟海外版 八・八
米國の物資需給近況 同盟海外版 八・八
米國の労働力確保對策 同盟海外版 八・八
米國の黒人兵問題 同盟海外版 八・八
黒人排斥から交通罷業 同盟海外版 八・八

後記 南瓜の秋、花も葉も日毎に疎になつて豊かな實りの一際目につく南瓜の秋も終りに近い。「何が何でも南瓜をつくれ」といふ程の意氣込みで見廻る南瓜の花にいつか情が移つてか、朝毎の媒助に一夏を送つて南瓜の花の親しみが今更の如く懐しまれる今日此頃である。空地といつても日蔭の利用を狙つて二十株ほど植ゑた南瓜が百三十個、七十貫ほど植ゑた南瓜も上々家内大喜びである。隣近所の本職も今年も案外振はなかつた。「媒助してやんなさい」さうするとよびあうで「これ」の南瓜に目をつけて媒助を始めたころは時既に遅かつたのである。毎朝三十分の媒助が生んだ成果を眺めて私は努力の恐るべきことを今更の如く感じていふところである。

昭和九年 六月十日印刷納本
昭和九年 九月十日發行
（定価）圓幸錢送料別
特別行爲稅相當額 九錢
合計發行人 藤川 覺
編輯發行人 伊藤 愛二
印刷所 關東印刷株式會社
（東京七〇）
發行所 法人 同盟通信社
發行所 法人 同盟通信社
（日本出版會）
（會員番號 四三三）
（編輯部 東京市本町三丁目）
（編集部 東京市本町三丁目）
（電話 銀座 67）
東京郵政特准掛號 第三〇〇番
振替東京六〇〇番
東京郵神田區淡路町二ノ番
配給 日本出版配給株式會社

同 盟 通 信

内外速報版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

國內および國外の政治、經濟、社會各部に生起する各種重要ニュースを迅速にタイプ印刷して一日數回配達し、特に重要なものはその要點を刻々電話を以て連絡す各方面指導者にとりて不可欠の預針

海外電報版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

同盟獨自の世界通信網を通して蒐集する日歐萬語の世界情報と壓縮編輯せるものにして、新聞に掲載されざる海外電報は擧げてこの版に蒐録。附録、世界各國政府人名録、月二回發行、毎回約三〇頁

東亞電報版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

大東亞諸地域に日日生起する政治、經濟、軍事、文化その他全ニュースの集大成版。東亞新秩序の歩みは本通信版を通してのみ正確且つ迅速に把握し得る。附録、大東亞各國主要人名録、月一回發行、毎回約三〇頁

時事解説版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

内外の各種重要時事問題を捉へて簡潔平明に解説し、隨時隨地高價等を挿入して理解に便ならしめ、空論直ちに當面の時事問題の真相を把握せしむ。時論要解欄新設、政治、法律、經濟、產業、社會、思想の各部門

映画・藝能版

一日一回發行
年額一、〇〇〇圓

映画・演劇・音楽・舞踊・音聲等各種藝能界の企業動靜の報知のほか、劇評、論評等適切な記事掲載、業界人および一般藝能愛好者の好資料

海外經濟版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

絶大の信用を博せる同盟外國經濟通信の活字版。歐戰、盟邦、中立國の一切の經濟現象は専門的編輯の下に除すところなく本通信版に収録

東亞經濟版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

大東亞經濟建設の諸相を同盟獨自の無電報により日歐萬語集録せるもの。大東亞に南方全域の經濟動向は本通信版によつて刻々把握し得る

交通運輸版

一日一回發行
年額一、〇〇〇圓

海運、郵便、鐵道、小運送、自動車、官運、交易等戰時最重要の諸問題につき詳細なる報道記事、解説、資料、論評等を掲載

重工業版

一日一回發行
年額一、〇〇〇圓

鐵鋼、合金鋼、鑄山、輕金屬、機械工業、車輛、電力、石炭、石油、勞務技術等の重工業全般にわたる専門記事の速報版

纖維・化學版

一日一回發行
年額一、〇〇〇圓

纖維、バルブ、製紙、ゴム、皮革、染料、セメント、油脂、曹達等輕工業化學工業の全領域を包括せる専門通信

金融・財政版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

銀行、保險、無償、信託、證券等金融證券部門全般の動きを刻々傳へ、その關係を明示した日本經濟界の羅針盤

東京部比谷公團

同 盟 通 信 社

電話二一五八番 東京東區比谷

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可

發行所 東京都麴町區日比谷公園

同人盟通信社 電話代辨掛號東京二二二番(分) 振替貯金口座東京三五八〇〇番

賣價一圓五十九錢(税込)

日本發送電株會社

總裁 新井 章 治

東京都小石川區小石川一



本劑はエステル型 合成女性ホルモンの確保を期した新製劑である。

生理障害

不快感、下腹痛、腰痛、下腹部緊満感、頭痛、頭重、生理不順、生理過多、生理減少

更年期障害

頭痛、逆上、眩暈、耳鳴、肩凝、心悸亢進、四肢冷感

乳汁分泌

乳汁分泌不足・減退

一錠中含有効量 五〇ガンマ
☆一〇〇錠 三〇〇錠

武田發賣品

オベスイン錠

製法特許

製造發賣元 武田藥品工業株式會社 大阪道修町